坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

図面リスト

図面番号	図面種別	図面番号	図面種別	図面番号	図面種別	図面番号	図面種別	図面番号	図面種別
Ａ－０１	図面リスト	Ａ－３７	１．２．３階屋外階段平面詳細図	Ａ－７３	１階天井伏図	Ａ－１０９	家具詳細図-3	Ｓ－０１	構造設計標準仕様書
Ａ－０２	建築工事仕様書　５-１	Ａ－３８	４階屋外階段平面詳細図	Ａ－７４	２階天井伏図	Ａ－１１０	家具詳細図-4	Ｓ－０２	鉄骨構造標準図
Ａ－０３	建築工事仕様書　５-２	Ａ－３９	屋外階段断面詳細図	Ａ－７５	３階天井伏図	Ａ－１１１	家具詳細図-5	Ｓ－０３	RC構造配筋標準図1/3
Ａ－０４	建築工事仕様書　５-３	Ａ－４０	既存１階　技術室(木工)平面詳細図・展開図	Ａ－７６	４階・塔屋天井伏図	Ａ－１１２	家具詳細図-6	Ｓ－０４	RC構造配筋標準図2/3
Ａ－０５	建築工事仕様書　５-４	Ａ－４１	改修１階 技術室平面詳細図・展開図	Ａ－７７	１階建具キープラン	Ａ－１１３	家具詳細図-7	Ｓ－０５	RC構造配筋標準図3/3
Ａ－０６	建築工事仕様書　５-５	Ａ－４２	既存１階　技術準備室平面詳細図・展開図	Ａ－７８	２階建具キープラン	Ａ－１１４	家具詳細図-8	Ｓ－０６	角形鋼管ベースパック柱脚工法 設計施工標準図
Ａ－０７	外壁改修工事仕様書　（１）	Ａ－４３	改修１階　技術準備室平面詳細図・展開図	Ａ－７９	３階建具キープラン	Ａ－１１５	家具詳細図-9	Ｓ－０７	円形鋼管ベースパック柱脚工法 設計施工標準図1/2
Ａ－０８	外壁改修工事仕様書　（２）	Ａ－４４	改修1階　美術準備室・PS平面詳細図・展開図	Ａ－８０	４階・塔屋階建具キープラン	Ａ－１１６	部分詳細図-1	Ｓ－０８	円形鋼管ベースパック柱脚工法 設計施工標準図2/2
Ａ－０９	工事概要・工事区分表・ 石綿含有材撤去特記仕様書	Ａ－４５	既存１階　技術室(木工)平面詳細図・展開図	Ａ－８１	建具表-1（既存改修）	Ａ－１１７	部分詳細図-2	Ｓ－０９	QRデッキ合成スラブ 設計施工標準仕様書
Ａ－１０	建築概要・附近見取図・配置図	Ａ－４６	改修1階　美術室平面詳細図・展開図	Ａ－８２	建具表-2（既存改修）	Ａ－１１８	部分詳細図-3	Ｓ－１０	スクリューパイルEAZET 設計施工標準
Ａ－１１	仮設計画図	Ａ－４７	既存　1階廊下展開図	Ａ－８３	建具表-3（既存改修）	Ａ－１１９	部分詳細図-4	Ｓ－１１	基礎伏図、１階床伏図
Ａ－１２	面積表	Ａ－４８	改修　1階廊下展開図	Ａ－８４	建具表-4（新設）	Ａ－１２０	部分詳細図-5	Ｓ－１２	１階柱２階梁伏図 ２階柱３階梁伏図
Ａ－１３	日影図	Ａ－４９	既存２階　第１理科室平面詳細図・展開図	Ａ－８５	EV棟　1.2階平面図	Ａ－１２１	部分詳細図-6	Ｓ－１３	３階柱４階梁伏図 ４階柱Ｒ階梁伏図
Ａ－１４	仕上表１	Ａ－５０	改修２階　第１理科室平面詳細図・展開図	Ａ－８６	EV棟　3.4階平面図　屋根伏図	Ａ－１２２	既存渡り廊下　平面図・矩計図・建具表	Ｓ－１４	Ｙ１～Ｙb通軸組図
Ａ－１５	仕上表２	Ａ－５１	既存２階　理科準備室平面詳細図・展開図	Ａ－８７	EV棟　立面図01	Ａ－１２３	改修渡り廊下　平面図・矩計図・建具表	Ｓ－１５	Ｙ２通軸組図 Ｘ１通軸組図
Ａ－１６	仕上表３	Ａ－５２	改修２階　理科準備室平面詳細図・展開図	Ａ－８８	EV棟　立面図02	Ａ－１２４	改修ｽﾛｰﾌﾟ　断面図・矩計図	Ｓ－１６	Ｘ２～Ｙb通軸組図
Ａ－１７	仕上表４	Ａ－５３	既存２階　第２理科室平面詳細図・展開図	Ａ－８９	EV棟　立面図03	Ａ－１２５	B-B矩計図	Ｓ－１７	基礎リスト１
Ａ－１８	1階全体平面図	Ａ－５４	改修２階　第２理科室平面詳細図・展開図	Ａ－９０	EV棟　断面図01	Ａ－１２６	既存　外構図	Ｓ－１８	基礎リスト２
Ａ－１９	2階全体平面図	Ａ－５５	既存　２階廊下展開図	Ａ－９１	管理教室棟　既存矩計図	Ａ－１２７	改修　外構図	Ｓ－１９	柱脚リスト、地中梁リスト
Ａ－２０	3階全体平面図	Ａ－５６	改修　２階廊下展開図	Ａ－９２	EV棟　矩計図01			Ｓ－２０	部材リスト、スラブリスト 部分詳細図
Ａ－２１	4階全体平面図	Ａ－５７	既存３階　家庭科室（調理） 平面詳細図・展開図	Ａ－９３	EV棟　矩計図02			Ｓ－２１	Ｙ１－Ｙa通鉄骨詳細図
Ａ－２２	１階平面図	Ａ－５８	改修３階　家庭科室（被服） 平面詳細図・展開図	Ａ－９４	EV棟　矩計図03			Ｓ－２２	鉄筋コンクリート標準図
Ａ－２３	２階平面図	Ａ－５９	既存３階　家庭科準備室平面詳細図・展開図	Ａ－９５	EV棟　平面詳細図・建具表			Ｓ－２３	既存・改修　2階平面図
Ａ－２４	３階平面図	Ａ－６０	改修３階　家庭科準備室平面詳細図・展開図	Ａ－９６	EV棟　展開図			Ｓ－２４	撤去・改修　東立面図
Ａ－２５	４階・塔屋階平面図	Ａ－６１	既存３階　家庭科室（被服） 平面詳細図・展開図	Ａ－９７	管理教室棟 既存　1階　平面詳細図・展開図・撤去建具表			Ｓ－２５	2階梁床伏図
Ａ－２６	立面図-1	Ａ－６２	改修３階　家庭科室（調理） 平面詳細図・展開図	Ａ－９８	管理教室棟 改修　1階　平面詳細図・展開図・撤去建具表			Ｓ－２６	撤去　Xc通り軸組図
Ａ－２７	立面図-2	Ａ－６３	既存　３階廊下展開図	Ａ－９９	管理教室棟 既存　2.3.4階　平面詳細図・展開図			Ｓ－２７	改修　Xc通り軸組図
Ａ－２８	立面図-3、外壁改修工事概要	Ａ－６４	改修　３階廊下展開図	Ａ－１００	管理教室棟 改修　2.3.4階　平面詳細図・展開図			Ｓ－２８	撤去　Xc通り詳細図
Ａ－２９	既存矩計図	Ａ－６５	既存４階　第1音楽室平面詳細図・展開図	Ａ－１０１	EV棟　各階天井伏図			Ｓ－２９	改修　Xc通り詳細図
Ａ－３０	改修矩計図	Ａ－６６	改修４階　第1音楽室平面詳細図・展開図	Ａ－１０２	エレベーター詳細図（1）				
Ａ－３１	既存階段断面詳細図	Ａ－６７	既存４階　音楽準備室平面詳細図・展開図	Ａ－１０３	エレベーター詳細図（2）				
Ａ－３２	改修階段断面詳細図	Ａ－６８	改修４階　音楽準備室平面詳細図・展開図	Ａ－１０４	エレベーター詳細図（3）				
Ａ－３３	1・2階屋内階段平面詳細図	Ａ－６９	既存４階　第２音楽室平面詳細図・展開図	Ａ－１０５	エレベーター詳細図（4）				
Ａ－３４	3・4階屋内階段平面詳細図	Ａ－７０	改修４階　第２音楽室平面詳細図・展開図	Ａ－１０６	エレベーター詳細図（5）				
Ａ－３５	塔屋屋内階段平面詳細図	Ａ－７１	既存　４階廊下展開図	Ａ－１０７	家具詳細図-1				
Ａ－３６	屋内階段展開図	Ａ－７２	改修　４階廊下展開図	Ａ－１０８	家具詳細図-2				

株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第 231917　号
武元　順一

坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
図面リスト	NO.SCALE	Ａ－０１
鹿児島市建設局建築部建築課		

建　築　工　事　特　記　仕　様　書

Ⅰ.工 事 概 要

1. 工 事 名 称　坂元中学校校舎2号棟長寿命化改良その他本体工事
2. 工 事 場 所　鹿児島市玉里団地三丁目45番2号
3. 工 事 種 目　（ ・新築　⊙増築　・改築　⊙改修　・その他 ）
4. 工 事 期 間　令和　8　年　8　月　28　日まで

Ⅱ.建 築 工 事 仕 様

○ 1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書」(建築工事編)(令和4年版)、「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編)(令和4年版)及び「公共建築木造工事標準仕様書」(令和4年版)による。

○ 2. 特記事項の適用は次のとおりとする。
1) 項目は ○ 印の付いたものを適用する。
2) 特記事項は ⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ◎ の付いた場合は、共に適用する。
3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、公共建築工事標準仕様書(建築工事編)の当該項目、当該図、又は当該表を示す。
4) 形状寸法の単位は、特記なきかぎりミリメートルとする。

Ⅲ.一 般 事 項

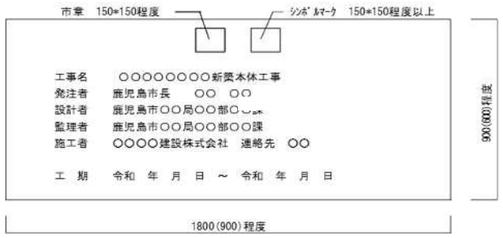
適用	特　記　事　項
○	1. 本工事は鹿児島市建設工事請負契約書に基づき、施工するものとする
○	2. 前払金　※請求することができる　⊙令和7年度中に請求すること
○	3. 中間前金払 1) 請負金額が100万円以上で年度内に完成する工事は，契約時において中間前金払か部分払かのいずれかを選択すること。 ただし、令和7年度中に請求することは出来ない。なお，契約に当たり部分払をすることを選択した場合には，中間前金払は行わない。 2) 中間前金払を受けるための要件（全て満たすこと。） ｱ) 請負金額の10分の4の前金払がなされていること。 ｲ) 工期の2分の1を経過していること。 ｳ) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施するべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。 ｴ) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。 3) 中間前払金の割合について 請負代金の10分の2以内とする。ただし，中間前払金を支出した後の前払金の合計額が請負代金の額の10分の6を超えてはならないものとする。
○	4. 部分払　部分払については、鹿児島市契約規則による。
○	5. 部分払対象品目 工事の出来形部分並びに、工事現場に搬入した工事材料のうち、次の工事に含まれるものは部分払いの対象とする。ただし、監督員の検査に合格したものであって確認写真及び出来高等の確認ができるものに限る。 1.仮設工事　2.土工事　3.地業工事　4.鉄筋工事　5.ｺﾝｸﾘｰﾄ工事　6.鉄骨工事　7.ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾟﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 8.防水工事　9.石工事　10.ﾀｲﾙ工事　11.木工事　12.屋根及びとい工事　13.金属工事　14.左官工事　15.建具工事 16.ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ工事　17.塗装工事　18.内装工事　19.ﾕﾆｯﾄ及びその他の工事　20.排水工事　21.舗装工事　22.植栽及び屋上緑化工事
○	6. 火災保険等 請負契約締結後速やかに次の工事保険に加入し、証券又はこれに代わるもの（保険証券等）の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満21日間（24時）までとする。 ※ 火災保険等（工事目的物及び工事材料（支給材料を含む）等に生じる損害を填補） （ ※ 火災等　※ 工事材料等の盗難等　・その他（　　）に対応したものを含むこと。） ※ 請負業者賠償責任保険（工事の施工に伴い第三者に与えた損害を填補） なお、上記の保険内容が含まれる火災保険、建設工事保険、組立保険等でも可とする。 その場合、保険証券等により保険内容が確認できるものであること。
	7 住宅瑕疵担保履行法について 受注者は、「特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律」(平成19年法律第66号)に基づき、保険への加入又は保証金の供託を行うものとする。なお、保険加入の場合は、着工前に保険法人に申し込む必要があるので注意すること。
○	8. 契約不適合担保責任検査 契約不適合担保責任（鹿児島市建設工事請負契約書第41条）の確実な履行を図るため、受注者は、契約不適合責任期間の満了前に、受注者の負担で、契約不適合担保責任検査を実施すること。受注者は、発注者から契約不適合担保責任検査実施の通知を受けた場合は、発注者の指定する方法により速やかに契約不適合担保責任検査の実施日及び報告書提出日を回答したうえで、契約不適合担保責任検査を実施し、その結果を報告すること。なお、履行の追完方法は発注者と協議のうえ、実施すること。
○	9. 施工体制台帳の提出等 1) 建設工事の一部を下請に付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に備え置くとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。 2) 工事を施工するために、建設工事の一部又は以下の各号の業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し提出すること。 (1)伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務　(2)土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務 (3)工事現場の警備（交通誘導を含む）を行う業務　(4)その他監督職員が記載を指示した業務等
○	10. 環境基本計画 1) 本工事に伴う環境への影響を抑制するため、工事車両通行往復ルートの分別、交通整理員の配置、走行速度の制限、ルートの設定等の対策を講じること。 2) 本工事に使用する建設機械については、原則として、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針に適合するものを使用すること。 3) 本工事に伴い提出する関係書類については、可能な限り、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律第10条第1項に基づく環境物品等調達方針適合製品又はエコマーク製品、グリーンマーク製品などの環境ラベリング製品を使用すること。 4) 本工事に伴い提出する関係書類については、写真やメーカー提出の資料等、両面印刷では支障を生ずるものは除き、可能な限り、両面印刷とすること。 5) 工事に伴い発生する廃棄物については、缶・ビン、ペットボトル、プラスチック容器類を搬出しやすいような分別ボックスの設置スペース又は分別ヤードを設置するなどして、分別の徹底及びリサイクルに努めること。
○	11. 排出ガス対策型建設機械の使用について 本工事において以下の対象機種を使用する場合は、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用を原則とする。ただし、①リース業者等が対策型建設機械を供給できない場合、②自社で未対策型建設機械を保有し対策型建設機械を使用することが妥当でない場合等は、監督員との協議により、未対策型建設機械を使用してもよいものとする。 （1）バックホウ　（2）ホイールローダ　（3）ブルドーザ　（4）発動発電機　（5）空気圧縮機　（6）油圧ユニット　（7）ローラ類 （8）ラフテレーンクレーン なお、排出ガス対策型建設機械又は「排出ガス浄化装置」装着機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。
○	12. 低騒音型建設機械の使用の原則化について 本工事は「建設工事に伴う騒音振動対策技術指針」(昭和62年建設省経機発第58号)に基づき「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定」(平成9年建設省告示第1536号)により指定された低騒音型建設機械の使用を原則とする。 なお、低騒音型建設機械の使用の有無を施工計画書に明示すること。
○	13. ダンプトラック等による過積載等の防止について 1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。 2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。 3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。 4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。 5)「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。 7) 1)から6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。

適用	特　記　事　項
○	14. 産業廃棄物収集運搬車に係る表示及び書面備え付けについて 両側面に「産業廃棄物の収集又は運搬に供する運搬車である旨」及び「排出事業者名」を表示するとともに、その運搬車に「産業廃棄物の収集又は運搬の用に供する運搬車であることを証する書面」を備え付けること。 [表示例]　産業廃棄物収集運搬車　←140ポイント(おおむね縦横50mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字 ○○株式会社　←90ポイント(おおむね縦横30mm)以上の識別しやすい色の文字及び数字 なお、産業廃棄物収集運搬許可業者に委託して収集又は運搬させる場合には、別途「廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則」に基づく、表示規定によること。
○	15. 内装仕上に使用する材料等の選定について 1) ホルムアルデヒドを発散する建材については、F☆☆☆☆の規格に適合すること。 ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議し、承諾を得ること。 対象となる材料(居室に使用する内装材、並びに、造り付け木製家具) 木質建材(合板、木質フローリング、パーティクルボード、MDF等)、壁紙、ホルムアルデヒドを含む断熱材、接着剤、仕上塗材等 2) クロルピリホスについて クロルピリホスを添加しないこと。 クロルピリホスを添加した材料でないこと。 3) 建築材料の種別、種類、数量、及び面積等について 必要書類等 ｱ) 施工計画書提出時に、JIS、JASの表示、又は、国土交通大臣認定書の写し等を添付し監督員の承諾を得ること。 ｲ) 材料搬入時に表示等の確認をし、記録写真を提出すること。 ｳ) 工事終了後に、内装仕上部分を写した写真を提出すること。 ※ 塗料は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。(水廻り及び湿度の高い箇所を除く) ただし、有機溶剤系塗料を使用する場合は、トルエンやキシレンの放散が極力小さいものとする。
○	16. 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合について 1) 現場代理人の工事現場への常駐を要しない場合 現場代理人は現場に常駐し、その運営、取締りを行うこととされているが、以下の要件を満たす場合には、工事請負契約第10条第3項の「工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がない」ものとして取り扱うこととする。ただし、いずれの場合にも連絡が常にとれる体制を確保する必要や、現場保全の義務(現場の巡回等)があるため、現場代理人を設置しておくことは必要である。 ｱ) 契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間 ｲ) 工事請負契約書第20条により工事が一時中止されている期間 ｳ) 橋梁、ポンプ、ゲート、エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間 ｴ) 前3号に掲げる期間のほか、受注者から工事完成の通知があり、完成検査、事務手続、後片付け等のみが残っているなど、工事現場において作業等が行われていない期間 2) 発注者への報告 上記1)の要件を満たす場合は、現場代理人の工事現場における常駐は不要とし、他の工事と兼務することを可能とするが、「工事打合簿」等により、工事現場において作業等が行われていない期間を明確にしておくこと。
○	17. 現場代理人の兼任について 1) 現場代理人の兼任を認める工事 現場代理人は、請負契約の的確な履行を確保するため、工事現場の運営、取締りのほか、工事の施工及び契約関係事務に関する一切の事項(請負代金の変更、契約の解除等を除く。)を処理する受注者の代理人であるが、次の ｱ)から ｵ)の全てを満たし、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がないと発注者が認めた場合、工事現場の兼任を認めるものとする。 なお、専任の主任(監理)技術者と現場代理人を兼務する場合において、専任の技術者配置の特例により他の現場と兼任が認められた工事については、ｲ)、ｴ)、ｵ)の要件を満たすものとし、兼任できる工事は2件までとする。 ｱ) 兼任できる工事は3件までとし、それぞれの工事の請負金額が4，500万円未満であること。 ｲ) 発注者又は監督員と常に携帯電話等で連絡が取れること。 ｳ) 兼任する工事は、概ね1時間以内で移動できる範囲 ｴ) 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応を行うこと。 ｵ) 兼任する現場代理人は、必ず担当工事現場のいずれかに常駐するとともに、1日1回以上、担当工事現場を巡回し、現場管理等に当たること。 2) 手続き 現場代理人の兼任を行う場合には、兼任(変更)申請書を提出し、発注者の承認を得たのち、必要に応じ、現場代理人等変更通知書により、発注者に通知すること。なお、各々の工事において、発注者に現場代理人の兼任の承認を得ること。 3) 受注者に対する措置請求 安全管理の不徹底や現場体制の不備に起因する事故等が発生した場合、建設工事請負契約書第12条に基づき、受注者に対して、必要な措置を取るべきことを請求するものとする。
○	18. 低入札価格調査に基づく措置について 低入札価格調査基準価格未満の価格での受注者に対しては、次に掲げる措置を講じるものとする。 1) 施工体制の強化 ｱ) 低入札価格調査の対象となった工事(以下「調査対象工事」という。)には、専任の主任技術者等を配置すること。 ｲ) 調査対象工事を施工する場合において、契約日の属する年度及びその前年度に完成した工事に関し、次のいずれかに該当する場合は、配置すべき主任技術者又は監理技術者とは別に、同等の要件を満たす技術者を専任で1人配置すること。 a) 65点未満の工事成績評定を通知された場合 b) 工事請負契約書に基づき修補又は損害賠償を請求された場合 c) 品質管理・安全管理に関し、指名停止又は書面による警告・注意の喚起を受けた場合 d) 自らに起因して工期を大幅に遅らせた場合 2) 監督体制の強化 ｱ) 受注者は、施工体制台帳を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。 ｲ) 受注者は、特記仕様書に基づく施工計画書を提出し、その内容についてのヒアリングを求められたときはこれに応じなければならない。
○	19.「快適トイレ」の試行について 1) 本工事は、建設現場における「快適トイレ」設置の試行対象工事である。 2) 受注者は積極的に快適トイレの試行に取り組むこと。 3) 快適トイレを設置する場合は、「建設現場における「快適トイレ」設置の試行の改定について(令和3年7月26日付け鹿児島市建設局通知)」に基づき行うものとする。なお、通知は鹿児島市ホームページから入手できる。
○	20. 枠組足場の設置について 枠組足場の設置を必要とする場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」(厚生労働省平成21年4月)によるものとする。 なお、これにより難い場合は、監督員と協議の上、決定することとする。
○	21. 交通誘導員について 本工事の交通誘導員の編成人員は、見積関覧書によるものとするが、交通管理者等との協議の結果、又は現場条件等により変更が生じた場合は別途協議する。 また、受注者は工事着手前に、実施工程に対応した配置予定図と配置予定時間を施工計画書に記載しなければならない。
○	22. 地下工事について 地下室等(地下工作物)がある場合等は、周辺地盤や地下水への影響について、建設場所や建物の規模などを考慮した上で観測体制を含めた施工をすること。施工の際は周辺環境に配慮しながら地下水等の観測を行い、異常が生じた場合は必要な措置を行うこと。 建設場所毎の事前調査等は事前に打合せを行い遺漏のないようにすること。
○	23. 杭打ち・地盤改良工事について 地下水汚濁への影響などについては事前調査を行い(近隣に井戸がある場合や中間に逸水層がある場合)、工法について施工計画段階で検討し、施工の際は十分に注意しながら施工を行い異常が生じた場合には必要な措置を行うこと。
○	24. 周辺住民への説明等について 工事現場の周辺住民に対しては、事前に十分な工事内容の説明(作業時間、工法、期間等)を行い協力を得られるように努めるとともに、工事期間中は迷惑、紛争等のないように十分注意すること。 (近隣住民から相談・苦情の申立て等があった場合には誠意をもって、速やかに対処すること。)
○	25. 本工事は公共工事であることを十分認識し、工事の施工に必要な官公署その他への手続きは、速やかに行うとともに、安全管理を含む諸管理に十分留意して作業を行うこと。 管理に十分留意して作業を行うこと。

適用	特　記　事　項
○	26. ヤンバルトサカヤスデのまん延防止対策について ヤンバルトサカヤスデのまん延を防止するため、当該現場での土壌や植物等の般出入に当っては、以下の項目を参考に、十分注意を払うとともに、ヤンバルトサカヤスデの棲息が確認された場合は、棲息状況等の調査報告書を監督員に提出し、まん延防止対策を講ずること。(※発生地については、鹿児島市ホームページで確認すること。) 1) 原則、土・樹木等は、発生地区からの搬出を極力おさえ、廃棄木材については、産業廃棄物の取扱いが可能な焼却施設にて、焼却処理を行うこと。 2) 工事区域周辺部への拡散防止のため、周辺部に薬物散布等の措置を行うこと。 3) やむを得ず、土・樹木等を発生地区から搬出する場合は、薬剤処理・薫蒸後、搬出を行うこと。 4) 発生地区に搬入した建設機材等は、付着土壌の除去および薬剤処理後、搬出を行うこと。 5) 未発生地区においても、発生地区からの土・樹木等の搬入や、建設機材の移動等があった場合は、1)～4)の措置が講じられているかを確認すること。
○	27. 本工事の施工に伴う災害及び公害の防止は、建築基準法、労働安全衛生法、騒音規制法、振動規制法、大気汚染防止法、道路交通法及び建設工事公衆災害防止対策要綱その他関係法令等に従い適切に処理すること。また、必要な届出等は滞りなく行うこと。
○	28. 工事現場及びその周囲は危険防止に十分注意し工事を行い、現場周辺の公共物(特に側溝等)の維持管理及び地域住民、通行人への危害防止に万全を期すること。万一事故の起きた場合、受注者が復旧し、又、補償をするものとする。
○	29. 工事現場への通行、諸運搬にあたっては、特に現場周辺の住民・通行人及び児童・生徒等への危害防止に万全を期すること。
○	30. 工事現場内での火気責任者を定め、火気の取扱いには十分注意すること。
○	31. 工事において支障物件がある場合は、その処理方法等は監督員との協議による。
○	32. 工事現場の快適な作業環境を確保するため、受注者事務所、監督員事務所、従業員休憩所、便所等は関係法令に従い、適切な材料・構造などのものとすること。
○	33. 本工事の施工に際しては、地場産業育成の立場から、できるだけ市内の専門業者や作業員を活用し、資材についても市内業者から購入し、使用するよう努めること。
○	34. 再生資源利用計画書・再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含めて提出するとともに、工事現場の見やすいところに掲示(デジタルサイネージによる掲示も可)して公衆の閲覧に供することとし、あわせてインターネットに公表するよう努めるものとする。また、その実施状況を記録した実施書を完成書類に含めて提出するものとする。
○	35. 本工事により発生する建設廃棄物のうち、焼却施設及び最終処分場に搬入する産業廃棄物には、産業廃棄物税が課税されるので適正に処理すること。
○	36. 暴力団関係者等による不当介入を受けた場合の措置 暴力団関係者等による不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく発注者及び警察に通報すること。また、暴力団関係者等による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じた場合は、発注者と協議を行うこと。
○	37. 駐車場は建設業者の責任において確保し、周辺道路上への駐車は絶対に行わないこと。
○	38. 工事現場隣接家屋について、事前に状況調査(建物の実情)を実施し写真等記録に残すこと。調査範囲は監督員と打合せをすること。 また、工事完了後家屋、構造物に被害不具合等の申出があった場合は、速やかな対応をすること。
	39. 本工事に伴いスラブに設ける墨出し用の開口部については、建築基準法を満足する工法で確実に塞ぐこと。
○	40. 工事完成写真の仕様について 1) インク、用紙等は普通の使用条件のもとで、5年程度で顕著な劣化が生じないものとすること。 2) カラー写真(ネガフィルムタイプ)と電子媒体による写真の混合管理は行わないこと。 3) 完成検査若しくは、工事目的物引渡完了後5年間写真管理に利用した電子媒体を保管すること。
○	41. 再生資材(再生クラッシャラン等)については、再資源化施設製造のものを使用すること。
○	42. 法定外労災保険の付保等について 1)法定外の労災保険の付保 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。 なお、当該保険契約を締結したときは、その証券またはこれに代わるもの(保険証券等)の写しを直ちに監督員に提出すること。 保証期間は工期後満21日間(24時)までとする。 2)墜落制止用器具の使用について 高さが2m以上の作業床がない箇所、または作業床の端・開口部等で囲い・手すり等の設置が困難な箇所における作業については、労働者の危険を防止する手段として、墜落制止用器具の使用を講じること。
○	43. 営繕工事における週休2日試行工事について 1)本工事は、営繕工事における週休2日試行工事の対象である。 2)試行に当たっては、「営繕工事における週休2日試行工事実施要領(令和6年5月7日施行)(以下、「実施要領」という。)」に基づき行うものとする。なお、実施要領は鹿児島市ホームページから入手できる。
○	44. 電子納品 1)本工事は、電子納品試行対象工事とする。電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子成果品とは、「鹿児島市電子納品運用ガイドライン(案)【建築・設備編】(以下、ガイドラインという。)」に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。 2)ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体(CD－RヌはDVD－R)で正本1部、副本1部の計2部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱とする。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。
○	45. 架空線の防護措置について 架空線の防護措置における防護管設置については、受注者が架空線管理者と協議するものとし、防護管設置の必要があるとされた場合は、監督員と協議により設計変更の対象とする。
○	46. 施工体制点検等への協力 請負代金額が4，500万円(建築一式工事は9，000万円)以上の工事においては、「鹿児島市施工体制点検要領」に基づく点検を、また請負代金額が4，500万円(建築一式工事は9，000万円)未満の建設工事の下請契約を締結した工事においては、同要領の枠組外における「一括下請負に関する確認」を実施するので、受注者はこれに協力すること。
○	47. 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の提出 工事の施工により発生する産業廃棄物については、処分状況等の記録(E票の写し及び産業廃棄物管理票(マニフェスト)総括表)を工事完成図書に添付すること。なお、工事完了時点で最終処分が完了せず、E票が処分業者より返送されていない場合は、A票、B2票及びD票のうち直近に返送されたものの写しを添付すること。 ただし、この場合においても、最終処分が完了し、E票が処分業者より返送され次第、直ちに同票の写しを提出すること。 電子マニフェストの場合は、受渡確認表の写しを添付すること。
○	48. 監理技術者等の途中交代 監理技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、疾病、退職等、真にやむを得ない場合の他、下記に該当する場合である。 1)受注者の責によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合 2)橋梁、ポンプ、ゲート等の工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点 3)ダム、トンネル等大規模な工事で1つの契約工期が多年に及ぶ場合 上記の場合にあっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。
○	49. 監理技術者等の途中交代の試行について 本工事は、工程上一定の区切りと認められる時点で、監理技術者又は主任技術者の途中交代を認める試行工事である。 1)工程上一定の区切りと認められる時点とは、品質管理・出来形管理が必要な工事目的物の施工が完了した時点とし、仮設備の撤去、後片付け及び検査等を行う期間は、監理技術者等の途中交代を認めることとする。 2)受注者と発注者が協議し、工事の継続性、安全管理、工程等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。なお、総合評価落札方式の場合は、当該工事の入札契約手続きにおける競争参加資格を満足する者を配置しなければならない。
○	50. 公共工事における現場一斉閉所の実施について 受注者は、公共工事における現場一斉閉所の実施に協力するものとする。なお、現場閉所の実施への協力は、受注者の判断によるもの(任意)とし、実施の有無等について発注者への報告は必要ないものとする。なお、県ホームページに本取組みに係るチラシを掲載しているので確認のこと。

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917 号 武元　順一	坂元中学校校舎2号棟長寿命化改良その他本体工事	
	建築工事特記仕様書　5－1	A－02
	鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.R70401	

章	適用	項目	特記事項
1 各章共通事項	○	1. 適用基準等	⊙ 建築工事標準詳細図 ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和４年版） ・敷地調査共通仕様書 ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和元年版） ・ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編） ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） ・ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） ・ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編） ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） ・ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編） ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） ・ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編） ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） ・ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編） ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修（令和4年版） ⊙ 営繕工事写真撮影要領（平成31年版）・同解説 ⊙ 工事写真撮影ガイドブック（建築工事及び解体工事編） ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 ・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施方針 ： 国土交通省大臣官房官庁営繕部制定 ・ 営繕工事における工事関係図書等に関する効率化実施要領 ： 関東地方建設局営繕部作成
		2. 電気保安技術者	※ 適用する （1. 3. 3）
	○	3. 施工条件	＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ （1. 3. 5）
	○	4. 技能士	・鉄筋施工(鉄筋組立作業) ・ｺﾝｸﾘｰﾄ圧送施工 ・型枠施工 ⊙ とび ・ﾌﾞﾛｯｸ建築 （1. 5. 2） ・鉄工(・構造物鉄工作業 ・製缶作業) ⊙ ｴｰｴﾙｼｰﾊﾟﾈﾙ施工 ・石材施工(石張り作業) ・防水施工(・ｳﾚﾀﾝｺﾞﾑ系塗膜防水工事作業 ⊙ ｼｰﾘﾝｸﾞ防水工事作業 ・合成ｺﾞﾑ系ｼｰﾄ防水工事作業 ・ｱｽﾌｧﾙﾄ防水工事作業 ・ｱｸﾘﾙｺﾞﾑ系塗装防水工事作業) ・タイル張り ・建築大工 ・かわらぶき ・建築板金(内外装板金作業) ⊙ 左官 ・ｻｯｼ施工 ⊙ ｶﾞﾗｽ施工 ・ｶｰﾃﾝｳｫｰﾙ施工 ⊙ 建具製作(⊙ 木製建具 手加工作業 ・ｱﾙﾐ製室内建具製作作業 ・木製建具 機械加工作業) ⊙ 内装仕上げ施工(・ﾎﾞｰﾄﾞ仕上げ工事作業 ⊙ 鋼製下地工事作業 ⊙ ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ系床仕上げ工事作業 ・ｶｰﾍﾟｯﾄ系床仕上げ工事作業) ⊙ 塗装(建築塗装作業) ・畳製作 ・表装 ・造園 ・熱絶縁施工(吹付硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ断熱工事作業) ・樹脂接着剤注入施工
	○	5. 工事実績情報の登録	受注者は、受注時又は変更時において工事請負代金額が500万円以上の工事について、 （1. 1. 4） 工事実績情報ｼｽﾃﾑ（CORINS）に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「通知書」を作成し監督員の確認を受けたうえ、受注時は契約後10日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から10日以内に、完成時は工事完成後10日以内に、(一財)日本建設情報総合ｾﾝﾀｰに登録しなければならない。 また、登録完了後は、(一財)日本建設情報総合ｾﾝﾀｰ発行の「登録内容確認書」を、監督員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できる。 （ただし、期間には、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日は含まない）
	○	6. 建築材料等	本工事に使用する建築材料等のうち、特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督員の承諾を受ける。なお、「評価名簿(による)」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(最新版)」による。また、評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出し、その確認をもって、品質・性能の確認があったものとすることができる。
	○	7. 特別な材料の工法	建築工事共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。
	○	8. 発生材の処理等	建設副産物の処理 （1. 3. 11） 1. 本工事より発生する建設副産物については、再生資源の活用を行うことを原則とし、「廃棄物処理法」、「資源の有効な利用の促進に関する法律」(ﾘｻｲｸﾙ法)、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(建設ﾘｻｲｸﾙ法)、「建設工事公衆災害防止対策要綱」及び「建設副産物適正処理推進要綱」を遵守するとともに、ﾏﾆﾌｪｽﾄｼｽﾃﾑにより適正処理を行うこと。 2. 建設発生土及び建設廃棄物にあたっては、建設副産物適正処理推進要綱や関係法令を遵守すること。 3. 建設発生土及び建設廃棄物処理に起因する災害及び苦情については、受注者の責任において処理すること。 4. 建設廃材処分場は、不燃物は最寄りの処分場、可燃物は最寄りの焼却施設とする。 5. 建設廃棄物のうち、再生資材として有効利用できるｺﾝｸﾘｰﾄ・ｱｽﾌｧﾙﾄ塊、金属くず、木くず等については、最寄りの再資源化施設(許可を受けた施設)へ搬出すること。 6. ﾏﾆﾌｪｽﾄ(管理票)の備考欄にせっこうﾎﾞｰﾄﾞの有無を明記するとともに、せっこうﾎﾞｰﾄﾞが含まれている場合は製造会社名等を明記すること。 7. 特別管理産業廃棄物の種類及び処理方法は図示による。
	○	9. 施工図等の取扱い	施工図等の著作権に係る当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。
	○	10. 設備工事との取合い	施工範囲 図示した鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ梁の貫通孔及び鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ部で、補強を必要とする貫通孔、開口部の補強、壁、天井の仕上材、下地材の補強、駆動装置が電動による建具類の2次配線及び操作ｽｲｯﾁ並びに自動開閉装置取付け箇所の切込み及び補強は標準詳細図などのとおりとし、本工事とする。 なお、細部については監督員と協議する。 施工図 設備機器の位置、取合いなどの検討のできる施工図を提出して、監督員の承諾を受ける。
	○	11. 完成図等	・ 完成図等を提出する。 (1) 電子データ ⅰ) データ提出媒体：「CD－R」又は「DVD－R」とする。 ⅱ) データ保存形式： CADﾃﾞｰﾀ （国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ｶﾞｲﾄﾞﾗｲﾝ【営繕業務編】」のCADﾃﾞｰﾀ交換標準に対応したもの）及び画像ﾃﾞｰﾀ。 ただし、原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るものとする。 (2) 2つ折製本（A3判)2部を監督員に提出する。装丁や文字の仕上げについては監督員と協議。 ・ 保全に関する資料 部数1部(監督員の指定する様式) ・取扱い説明書 部数 部 （建設戸数＋2戸分）
	○	12. 工事写真	区分 / 分類 / 規格 / 撮影枚数 / 部数 / 原画の大きさ / 備考 ※ 着工前 / ※ カラー ・ / ※ L版程度 ・ / / ※ 1部 ・ / 24×36以上 / ※ 工事中 / ※ カラー ・ / ※ L版程度 ・ / / ※ 1部 ・ / 24×36以上 / ※ 完成時 / ※ カラー ・ / ※ L版程度 ・ キャビネ版 / 枚 / ※ 1部 ・ / ・ 60×90以上 ・ 24×36以上 / 外観4面 主要内部 ・ 実績報告用写真（2部）を監督員に提出する。 着工前と完成時の外観4面及び完成時の主要内部その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真、その他監督員の指示する工種の状況及び完成写真
	○	13. 竣工写真	竣工写真は下記業者の撮影とし、箇所及び方法については監督員の指示による。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者（ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。） ・ 完成後（解体工事の場合は、着工前及び完成後）の航空写真及びその電子データを提出すること。 撮影業者 ※ 監督員の承諾する撮影業者（ただし、建築竣工写真撮影の実績のある業者とする。）
	○	14. 既存建物との取合い	工事中、取合部その他本工事範囲外の部分に汚損又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。
	○	15. 揮発性有機化合物の室内濃度の測定	揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、報告すること。 また、指針値を上回った場合は、引渡しをするまでの間、換気の繰り返し又はﾍﾟｰｸｱｳﾄ等により濃度の低下に努め、指針値以下になるようにすること。なお、住宅については「住宅の品質確保の促進等に関する法律」の評価方法基準第5の6-3の(3)の定めにより測定等を行うこと。 測定対象 ・ 住宅 （建設戸数の1割以上（10戸未満の場合は1戸以上）で，各住戸2室以上） ⊙ 非住宅 （測定対象室(4室)） 測定項目 ・ 5項目（ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ、ﾄﾙｴﾝ、ｷｼﾚﾝ、ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ、ｽﾁﾚﾝ） ⊙ 6項目（上記5項目及びﾊﾟﾗｼﾞｸﾛﾛﾍﾞﾝｾﾞﾝ）
	○	16. 部分使用	⊙ 有 （部分使用の場所等 ）
	○	17. 指定部分	⊙ 有 （範囲、時期については監督員の指示による ）

章	適用	項目	特記事項
1 各章共通事項	○	18. 品質計画	建築基準法により定められた風速 Vo(※38 ・) 地表面粗度区分 ・Ⅰ ・Ⅱ ⊙ Ⅲ ・Ⅳ 適用工種 ・ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ ⊙ ALCﾊﾟﾈﾙ ・押出成形ｾﾒﾝﾄ板工事 ・防水工事 ・石工事 ⊙ 屋根及びとい工事 ・金属工事
		19. 住宅性能評価	・適用する ・しない 住宅の品質確保の促進等に関する法律第3条第1項の規定に基づく評価方法基準の下記項目ごとに示した等級基準を満たすこと。 性能評価項目 / 等級評価説明 / 等級 劣化の軽減 / 劣化対策等級(構造躯体等) / ※ 3 ・( ) 維持管理への配慮 / 維持管理対策等級 / ※ 2 ・( ) 温熱等級 / 省エネルギー対策等級 / ※ 4 ・( ) 空気環境 / ホルムアルデヒド対策 / ※ 3 ・( ) 音環境 / 重量床衝撃音対策 等価損失等級(外壁開口部) / ※ 2 ・( ) 高齢者等への配慮 / 高齢者等配慮対策等級 / ※ 3 ・( )
2 仮設工事	○	1. 監督員事務所	※ 設ける（規模： ⊙ 1号(10㎡程度) ・2号(20㎡程度) ・3号(35㎡程度) ・4号(65㎡程度) （2. 3. 1） ・5号(100㎡程度) ・設けない ・ 仮設便所 ・ 工事用電話 ・ 設置する備品等の種類及び数量（監督員との協議による） 仕上げは下表を標準とする。 部位等 / 仕上げ 床 / 合板張り又はビニル床シート張り 内壁、天井 / 合板又はせっこうボード張り、合成樹脂エマルションペイント塗り 屋根 / 塗装溶融亜鉛めっき鋼板張り、又は鉄板張り、調合ペイント塗り
	○	2. 工事用水	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる （ ※ 有償 ・ 無償 ） 構内既存の給水設備を利用する場合は、水道局へ臨時給水の申請を行い、水道ﾒｰﾀｰを設置すること。
	○	3. 工事用電力	構内既存の施設 ※ 利用できない ・ 利用できる （ ※ 有償 ・ 無償 ）
	○	4. 敷地調査	平板、周辺設備マンホール等の取り合い。
	○	5. その他	※表示板の大きさ等： ※下図による。 設置位置は監督員との協議による。また，取付けは，強風等に対し安全な工法とする。 （参考例） 
3 土工事	○	1. 埋戻し及び盛土	種別 ⊙ A種 ※ B種 ・ C種 ・ D種 （3. 2. 3）(表3. 2. 1） 各層厚さ ※ 300mm程度ごとに締め固める
	○	2. 地均し	工事完了後の整地は建物周囲2m程度の範囲について水はけよく地均しを行う。 （3. 2. 4） ただし、仮設等で使用した範囲については原形に復する。
	○	3. 建設発生土の処理	※( )処分場へ搬出するものとする。その他処分場にて投棄処分を行う場合は、 （3. 2. 5） 必ず処理場変更願承諾申請書を提出し、監督員にその承諾を得るものとする。 ・ 構内指示の場所にたい積 ・ 構内指示の場所に敷き均し
	○	4. 山留め	・ 存置する ※ 存置しない （3. 3. 3）
4 地業工事	○	1. 砂利地業	材料 ・ 再生クラッシャラン ・ 切込砂利及び切込砕石 （4. 6. 2） 厚さ ※ 60 ・( ) （4. 6. 3） 再生クラッシャランは、原則としてかごしま認定ﾘｻｲｸﾙ製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。
	○	2. 砂地業	厚さ ※ 30 ・( ) （4. 6. 3）
	○	3. 捨ｺﾝｸﾘｰﾄ地業	厚さ ※ 50 ・( ) （4. 6. 2）(4. 6. 4）
	○	4. 床下防湿層	施工箇所 ※ 建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） （4. 6. 2）(4. 6. 5） 材料 ※ ポリエチレンフィルム ・( ) 厚さ ※ 0.15 ・( ) 重ね合せ及び基礎梁際の折り下がりは、250mm程度とする。
5 鉄筋工事	○	1. 鉄筋の種類	※JIS G3112 ・JIS3117 （5. 2. 1）(表5. 2. 1） 種類の記号 / 呼び名 (mm) ⊙ SD295 / D16以下 ⊙ SD345 / D19以上 ・ SD390 / D29以下 ・ / ・高強度せん断補強筋（建築基準法第37条認定を受けたもの、種別、使用部位、加工： ( ) ※ 図面による
	○	2. 溶接金網	・鉄線の形状、網目寸法及び鉄線の径： ※ 図示による （5. 2. 2）
	○	3. 継手及び定着	柱及び梁の主筋 (※ D19以上 ・) ・ 重ね継手 ※ ガス圧接 （5. 3. 4） その他の鉄筋 (※ D16以下 ・) ※ 重ね継手 ・( )
	○	4. 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔	かぶり厚さは目地底から算定する。 （5. 3. 5） ※(表5. 3. 6)による ・構造特記仕様書による ・図示による ・耐久上不利な箇所及び鉄筋のかぶり厚さ 施工箇所 / 鉄筋のかぶり厚さ(mm)
		5. 帯筋	形の種別 ・ H形 ・ W－1形 ・ SP形（ｽﾊﾟｲﾗﾙ筋） ・ 丸形 （別図2. 2）
		6. 最上階柱頭補強	※ 行う ・ 行わない
		7. 壁開口部の補強	一般壁 ・ A形 ※ B形 ・ 図示 （別図4. 3)(表4. 3)(表4. 4） 耐震壁 ※ B形 ・ 図示
	○	8. 土間ｺﾝｸﾘｰﾄ補強	補強箇所 ⊙ 土間 ・ 犬走り ・( )
	○	9. 梁貫通孔の補強形式	補強形式 ※ H形 ・ （別図7. 1)(表7. 1～3）
	○	10. 圧接完了後の試験	検査方法 ・ 引張試験 ※ 超音波探傷試験 ※ 外観試験 （5. 4. 10）
	○	11. 各部配筋	図示のないものは、各部配筋参考図による。

章	適用	項目	特記事項
6 コンクリート工事	○	1. 一般事項	コンクリートの種別 ※ Ⅰ類 ・Ⅱ類 （6. 2. 1） 気乾単位容積質量による種類 ⊙ 普通コンクリート ・ 軽量コンクリート （6. 2. 1） 設計基準強度(Fc) （6. 2. 2） 種別 / 普通コンクリートの設計基準強度 Fc (N/mm²)：15 / 18 / 21 / 24 / 27 / 30 / 36 部品 / 土間 / 基礎・床等 軽量コンクリートの設計基準強度 Fc(N/mm²) ・15 ・18 ・21 ・24 ・27 ・( ) （6. 2. 2） ※ 構造体強度補正値（普通ポルトランドセメント） その他のセメント種類は(表6. 3. 2)による コンクリート打込みから材齢28日までの予想平均気温θの範囲(℃) / 0≦θ<8 / 8≦θ 構造体強度補正値(N/mm²) / 6 / 3 （6. 3. 2）
	○	2. コンクリートの品質	普通コンクリート気乾単位容積質量 ※ 2.3t/m3程度 ・( ) （6. 2. 3） スランプ （6. 2. 4） 打込み箇所 / 基礎、基礎梁、土間スラブ / 柱、梁、スラブ、壁 所要スランプ(cm) / ※ 15 ・18 ・ / ※ 18 ・ 部材の位置及び断面寸法の許容差並びにその測定方法 ※ 6. 2. 5(1) ・( ) （6. 2. 5） 合板使用打放し仕上げ種別 （6. 2. 5)(6. 8. 2） 種別 / 適用箇所 / JAS種別 / 合板厚さ / 塗装 ・ A種 / ※ 表面加工品 ・ B-C / ※12 ・ 15 / ※ 有 ・ 無 ・ B種 / ・ 表面加工品 ※ B-C / ※12 ・ 15 / ・ 有 ※ 無 ・ C種 / ・ 表面加工品 ※ B-C / ※12 ・ 15 / ・ 有 ※ 無 平たんさ ※表6. 2. 5 ・( ) （6. 2. 5）
	○	3. コンクリートの材料	セメント ※普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ又は混合セメントのA種 ・( ) （6. 3. 1)(表6. 3. 1） ・( )(適用箇所：) ・ 普通ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄは、JIS R 5210ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄに示された規定の他、右の規定に適合しなければならない。全ｱﾙｶﾘの算出は、JIS R 5210ﾎﾟﾙﾄﾗﾝﾄﾞｾﾒﾝﾄ(低ｱﾙｶﾘ形)による。 水和熱(J/g) / 7日 / 352以下 28日 / 402以下 全アルカリ(%) / 0.75以下 塩素(%) / 0.02以下 骨材 フェロニッケルスラグ骨材及び銅スラグ細骨材 (・使用する ・使用しない) アルカリシリカ反応性区分(※ A ・ B) （6. 3. 1） 混和材料 ・混和剤(・ AE剤 ・ AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・) ・混和材(・ フライアッシュⅠ種 ・ フライアッシュⅡ種 ・ 高炉スラグ微粉末 ・ ｺﾝｸﾘｰﾄ用膨張材 ・) （6. 3. 1）
	○	4. 型枠	外部コンクリート打放し仕上げ打増し厚さ ※ 20mm ・( ) ひび割れ誘発目地位置等 ※ 図示による ・( ) （6. 8. 1） 床型枠用鋼製デッキプレート 建築技術評価「鉄筋コンクリートの建築物等における床型枠用鋼製デッキプレートの開発」において評価を取得したもの又は、評価名簿によるもの。 （6. 8. 3） MCR工法用シート ・使用する ・使用しない スリーブ材種 ・鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・溶融亜鉛めっき鋼板 ・つば付き鋼板 （6. 8. 2)(表6. 8. 1）
		5. 軽量コンクリート	種別 ・ 1種 ・ 2種 （6. 10. 1)(表6. 10. 1） スランプ ※ 21cm以下 ・( ) （6. 10. 2） 気乾単位容積質量( )
		6. 無筋コンクリート	適用箇所( ) （6. 14. 1） 設計基準強度 ※ 18N/mm2 ・( ) （6. 14. 1） スランプ ※ 15cm ・18cm ・( )
	○	7. 防水剤入ｺﾝｸﾘｰﾄ	施工箇所(屋根スラブ) スランプ(cm) ・15 ・( ) 混和剤(活性進化防水剤) 製造所 (監督員の承諾を得るものとする)
7 鉄骨工事	○	1. 鉄骨製作工場	※ 製作工場 （グレード ・H ・M ・R ・J ・指定なし） （7. 1. 3） 施工管理技術者 ※ 適用する ・ 適用しない （7. 1. 4）
	○	2. 材料	鋼材 （7. 2. 1)(表7. 2. 1） 種類の記号 / 使用箇所 / 規格等 SS400 / 図面による / ※ JIS規格 SN490C / 図面による / ※ JIS規格 STKR400 / 図面による / ※ JIS規格 BCR295 / 図面による / ※ JIS規格 STKN400 / 図面による / ※ JIS規格 高力ボルト （7. 2. 2） ※ トルシア形高力ボルト（セットの種類2種（S 10 T）） ・ JIS形高力ボルト（セットの種類2種（F 10 T）） ・ 溶融亜鉛めっき高力ボルト（セットの種類1種（F 8 T相当）） 径 ( ) 普通ボルト （7. 2. 3)(表7. 2. 3） ボルト(※ 六角ボルト ・) ナット(※ 六角ナット ・) ボルト径 ( ) アンカーボルト （7. 2. 4） 構造用材質 (※ SNR400 ・) 建方用材質 (※ SS400 ・) 形状及び寸法 ( ) ターンバックル （7. 2. 6） ターンバックル胴の種類： ※割枠式 ・( ) ターンバックルボルトの種類： ※羽子板ボルト ・( ) デッキプレート （7. 2. 7） 構造用材質 ( ) 形状及び寸法 ( ) スタッド （7. 2. 8） 種類 ( ) 柱底均しモルタル （7. 2. 9） ・ 無収縮モルタル（製造所：評価名簿による） スカラップ ※ 改良型（国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」 別図3. 11） ・( ) 材料試験 （7. 2. 10） ※ 規格品証明書を提出
	○	3. 工作一般	仮組 ・ 実施する ※ 実施しない （7. 3. 10） 高力ボルト及び普通ボルトのゲージ、ピッチ、ヘリあき等（国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による）

株式会社 武元順壱アトリエサンク 一級建築士 第 231917 号 武元 順一	坂元中学校校舎2号棟長寿命化改良その他本体工事 建築工事特記仕様書 5－2 鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.R70401	A－03

章	適用	項目	特記事項
7 鉄骨工事	○	4. 溶接接合	開先形状(国土交通省大臣官房官庁営繕部「建築鉄骨設計基準」による) ・レ形　・K形　・(　　)　(7. 6. 4) 余盛り高さ　※ 鉄骨精度検査基準による　・(　　)　(7. 6. 7) ・鋼製エンドタブを切断する箇所及び範囲 (　　) 溶接部の試験　(7. 6. 12) ※ 外観試験 (a)(　　) (b)(　　) ※ 超音波探傷試験　※行う AOQL(工場溶接)　※ 4.0%　・2.5% 検査水準　※第6水準　・(　　)
	○	5. 錆止め塗装	耐火被覆材の接着する面の塗装範囲(　　)　(7. 8. 2) 耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲(　　) 種別　鋼製スリーブ内面(　※ A種　・ B種)　(7. 8. 4)(表18. 3. 1) 耐火被覆材の接着面　(　　)　(7. 8. 4)
	○	6. 耐火被覆	種類 (　　)　(7. 9. 2) 材料 (　　) 工法 (　　) 耐火性能(　　)　(7. 9. 3)
	○	7. 工事現場施工	建方精度　※ 鉄骨精度検査基準による　・(　　)　(7. 10. 2) アンカーボルト　・構造用アンカーボルト　形状(　　)寸法(　　)　(7. 10. 3) ・アンカーフレーム　形状(　　)寸法(　　) ・建方用アンカーボルト 保持及び埋込工法(・A種　※ B種　・C種)　(表7. 10. 1) 柱底均しモルタル工法　工法(※A種 ・ B種) 厚さ(　　)
		8. 軽量形鋼	ボルト接合　※ 普通ボルト接合　・(　　)　(7. 11. 2)
	○	9. 溶融亜鉛めっき工法	亜鉛めっき　(7. 12. 4)(表14. 2. 2) 亜鉛めっき種別 / 材料 / 適用部位 A 種 / 最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板類 / B 種 / 最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板類 / C 種 / 最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板類 普通ボルト・ナット類及びアンカーボルト類 / 高力ボルト接合摩擦面　・ブラスト処理　・(　　)　(7. 12. 5)
8 コンクリートブロック工事		1. 補強コンクリートブロック造	ブロックの種類　(　　)　(8. 2. 2) モデュール呼び寸法(　　) 正味厚さ　(　　) 各部の配筋　※図示による　(8. 2. 5)
		2 コンクリートブロック帳壁及び塀	ブロックの種類　※ 表8. 3. 1　(8. 3. 2) 配筋　(8. 3. 4) 縦筋 / 横筋 / 開口補強筋(縦横) / 端部補強筋 D10−400@ / D10−400@ / 1−D13 / 1−D13 壁鉄筋の継手(　　)　定着(　　)　末端部折り曲げ形状(　　)
	○	3 ＡＬＣパネル	区分(　　)単位荷重(　　)厚さ(　　)幅(　　)長さ(　　)　(8. 4. 2) 耐火性能(　　) 外壁パネル構法　構法の種別:(・ A種　・B種)工法(　　)目地幅(　　)　(8. 4. 3) 耐火目地材(　　)
		4 押出成形セメント板	種類(　　)形状(　　)厚さ(　　)幅(　　)　(8. 5. 2) 外壁パネル工法　工法の種別:(・ A種　・B種)工法(　　)目地幅(　　)　(8. 5. 3) 間仕切壁パネル工法　工法の種別:(・B種　・C種)　(8. 5. 4)
9 防水工事		1. 合成高分子系ルーフィングシート防水	(9. 4. 2～3)(表9. 4. 1) 工程種別 / 適用箇所 / 仕上げ塗料塗り / 厚さ ・ S−F1 / / ・カラー　・シルバー / ※1.2mm　・ ・ S−F2 / / / ※1.5mm　・ ・ S−M1 / / ・カラー　・シルバー / ※1.5mm　・ ・ S−M2 / / / ※1.5mm　・ 機械的固定方法　建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること　(9. 4. 4) 可塑剤移行防止用シート　※ 発泡ポリエチレンシート　・(　　)
	○	2. 塗膜防水	ウレタンゴム系塗膜防水　(9. 5. 3)(表9. 5. 1～2) 工程種別 / 施工箇所 / 備考 ・ X-1 (絶縁工法) / ※ 屋根 / ⊙ X-2 (密着工法) / ※ 屋根 / ゴムアスファルト系塗膜防水 工程種別 / 施工箇所 / 備考 ・ Y-1 / 地下外壁 / ・ Y-2 / 屋内 / 保護層　・ 適用する　・ 適用しない
	○	3. シーリング	シーリングの種類は、表9. 7. 1による　(9. 7. 2)(表9. 7. 1) 目地寸法　※ 9. 7. 3(1)(ア～ウ)　・(　　)　(9. 7. 3) 接着性試験　※ 簡易接着性試験　・ 引張接着性試験　(9. 7. 5)
	○	4. 屋根コンクリート防水	屋上等の活性進化防水剤入りコンクリートタンピング金ごて押え(防水剤は6章 コンクリート工事による)
	○	5. 保証書及び期間	防水工事の施工については、10年保証書を提出すること。 なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする(シーリングを除く)。 保証書の必要な防水工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。
10 石工事		1. 共通事項	石の割付け　・(　　)　・図示による　(10. 1. 3) 石材の加工 粗面仕上げの場合　・監督員と協議　・図示による ワックスの使用　・使用する　・使用しない　(10. 1. 5)
		2. 材料	テラゾ　(10. 2. 1) 種類及び大きさ　※ 大理石(1.5～12mm)　・(　　) テラゾブロック　形状　・ 平物　・ 役物 仕上げ面　・ 片面　・ 両面 寸法 (図示による) 表面仕上げ　・ 粗磨き　・ 水磨き　・ 本磨き

章	適用	項目	特記事項
11 タイル工事		1. 共通事項	伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地　(11. 1. 3) 位置　外壁(　※表11. 1. 1　・図示による)　屋内(・　　) 寸法　※9. 7. 3　・(　　)
		2. 施工後の確認及び試験	※ 外観の確認　※ 打診による確認　・ 引張接着試験　(11. 1. 7)
		3. 材料	タイルの種類　(11. 2. 2)(11. 3. 2) 施工箇所 / 形状・寸法 / 耐凍害性 / 耐滑り性 / 役物 / 色 ・有　・無 / ・有　・無 / ・有　・無 / ・標準　・特注 ・有　・無 / ・有　・無 / ・有　・無 / ・標準　・特注 ・有　・無 / ・有　・無 / ・有　・無 / ・標準　・特注 ・有　・無 / ・有　・無 / ・有　・無 / ・標準　・特注 製造所　(　監督員の承諾を得るものとする。) タイル試験張り　(　・実施する　・実施しない)　タイル見本焼き(　・実施する　・実施しない)
		4. セメントモルタルによるタイル張り	・ 既調合モルタル(　　)　(11. 2. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ　(　・MCR工法　・目荒し工法(高圧水洗))　(11. 2. 7)(表11. 2. 3) タイル張りの種別　・(　　)　・(　　) 工法　(　　)　・(　　)
		5. 有機系接着剤によるタイル張り	・ 外装タイルにおける目地詰め　(　・行う　・行わない)　(11. 3. 3) ・ 下地及びタイルごしらえ　(　・MCR工法　・目荒し工法)　(11. 3. 5)
12 木工事	○	1. 材料	木材　木材については、市内で生産・加工された木材の使用に努めること。市内産材の確保が難しい場合でも、可能な限り県産材の使用に努めること。　(12. 2. 1) ・ 地域産材の場所　(　　)地域 ただし、次の部位については「認証かごしま材」又は「認証かごしま材」と同等の基準を満足している市内産材を使用すること。 なお、「認証かごしま材」同等材の使用にあたっては、下記の条件を満足したものとする。 ア. 認証かごしま材の品質(乾燥、寸法、面材品質)と同等の基準を満足している旨及び原木の生産地を記載した旨の出荷証明書が添付されたもの イ. 監督員の立会い検査により、上記アの品質が確認されたもの 指定部分　・構造材全て　⊙ その他(下地材、造作材(巾木、額縁、建具枠、見切縁)) 含水率　構造材　※ 20%以下とする。 下地材　※ A種　・ B種 造作材　※ A種　・ B種 製材 「JAS1083」による製材 下地用針葉樹製材　樹種、等級、寸法、形状、含水率、保存処理及び材面の品質 ※ 図示による 等級　・ 図示による　※ 2級 造作用針葉樹製材　樹種、寸法、等級、形状、含水率、保存処理及び材面の品質　※ 図示による 板類における等級　※ 枠、額縁、敷居、かもい、かまちの類の見え掛り面は上小節、それ以外は小節以上 ・ 図示による 広葉樹製材　樹種、寸法、保存処理及び材面の品質　※ 図示による 等級　※ 1等　・ 図示による　・(　　) 含水率　※ 10%以下　・ 図示による　・(　　) 「JAS1083」以外の製材 下地、造作及び仕上げに用いる製材　樹種、寸法、材面の品質、含水率及び防虫処理　※ 図示による 造作材の材面の品質の基準　※ A種　・ B種　(表12. 2. 2) 造作用集成材 「集成材のJAS」による造作用集成材 造作用集成材　品名、樹種、見付け材面数、寸法　※ 図示による 見付け材面の品質　※ 1等　・ 図示による 化粧ばり造作用集成材　品名、樹種、化粧薄板の厚さ、見付け材面数、寸法　※ 図示による 見付け材面の品質　※ 1等　・ 図示による 化粧ばり構造用集成柱　品名、樹種、化粧薄板の厚さ、寸法、見付け材面の品質　※ 図示による 「集成材のJAS」以外の造作用集成材 造作用集成材　樹種、寸法、見付け材面の品質　※ 図示による 含水率　※ 15%以下　・図示による ・(　　) 化粧ばり造作用集成材　樹種、寸法、化粧薄板の厚さ、見付け材面の品質　※ 図示による 含水率　※ 15%以下　・図示による ・(　　) 化粧ばり構造用集成柱　樹種、寸法、見付け材面の品質、化粧薄板の厚さ　※ 図示による 含水率　※ 15%以下　・図示による ・(　　) 造作用単板積層材 「JAS0701(単板積層材)」に基づく造作用単板積層材 品名、寸法、表面の品質及び防虫処理　※ 図示による 「JAS0701(単板積層材)」以外の造作用単板積層材 寸法、表面の品質及び防虫処理　※図示による 含水率　※ 14%以下　・図示による ・(　　) JAS3079 (直交集成板)　品名、曲げ強度、種別、接着性能(使用環境)、樹種及び寸法　※ 図示による 合板等 下地用普通合板　品名、単板の樹種名、防虫処理　※ 図示による 厚さ　※ 5. 5mm　・ 図示による　接着の程度　※ 1類　・ 図示による 板面の品質　※ 2等以上(広葉樹)　※ C−D以上(針葉樹)　・ 図示による 下地用構造用合板　品名、単板の樹種名、保存処理、防虫処理、強度等級　※ 図示による 厚さ　※ 12mm　・ 図示による 接着の程度　※1類(湿潤箇所を除く)　※ 特類(湿潤箇所)　・ 図示による 等級　※ 2級以上　・(　　) 板面の品質　※ C−D以上　・ 図示による 化粧ばり構造用合板　品名、厚さ、単板の樹種名、接着の程度、防虫処理　※ 図示による 湿潤状態となる場所に使用する場合の接着の程度　※特類　・ 図示による 天然木化粧合板　厚さ、接着の程度、化粧板に使用する単板の樹種名、防虫処理　※ 図示による 特殊加工化粧合板　品目、厚さ、接着の程度、単板の樹種名、化粧加工の方法、防虫処理　※ 図示による パーティクルボード　表裏面の状態による区分、難燃性による区分及び厚さ　※ 図示による 曲げ強さによる区分、耐水性による区分、厚さ ※ 厚さ15mm、曲げ強さ13タイプ、耐水性MR1(M)又はMR2(P)タイプ 構造用パネル　品名、厚さ　※ 図示による ＭＤＦ　表裏面の状態による区分、曲げ強さによる区分、接着剤による区分　※ 図示による 難燃性による区分、厚さ　※ 図示による 接合具等　(12. 2. 2) 造作材の化粧面の釘打ち　※隠し釘打ち　・ 釘頭埋め木　・ つぶし頭釘打ち　・ 釘頭現し 諸金物の形状、寸法、材質　※ 12. 2. 2(2)(ア)による　・(　　)　・ 図示による 諸金物の形状、寸法、材質　※ 12. 2. 2(2)(ア)による　・(　　)　・ 図示による

章	適用	項目	特記事項
12 木工事	○	2. 防腐・防蟻・防虫処理	しろあり防除工事 鹿児島県土木部建築課監修　鹿児島県しろあり防除工事特記仕様書により、社団法人日本しろあり対策協会鹿児島県支所登録施工業者が施工する。(使用薬剤は、非有機リン系薬剤とする) 土壌処理　※ 行う(範囲:　　)　⊙ 行わない 木材処理　※ 行う(範囲:各階のFL+1m以下の下地材(合板等除く))　・ 行わない 防腐・防蟻処理　・ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理　(12. 3. 1) ⊙ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理 防虫処理　・ 行う　※行わない　(12. 3. 2) 土壌処理、木材処理共に行った際は、受注者と白蟻防除工事施工業者連帯の5年保証書を提出する。 木材処理のみ行った際は、白蟻防除工事施工業者による施工証明書を提出する。
		3. RC造等の内部間仕切軸組及び床組	木材　(12. 4. 1) 間仕切軸組に用いる製材　・ 杉　・ 松　・(　　) 床組に用いる製材(土間スラブ類の土台、転ばし大引、転ばし根太)　・ ひのき　・ 保存処理木材　・(　　) 床組に用いる製材(上記以外)　・ 杉　・ 松　・(　　)
	○	4. 窓、出入口その他	木材　窓、出入口、その他に用いる製材　吊元枠、水掛りの下枠、敷居　※ ひのき　・(　　)(12. 5. 1) その他　・ 松　※ 杉　・(　　)
	○	5. 床板張り	木材　(12. 6. 1) 縁甲板、上がりがまちに用いる製材　※ひのき　・(　　)　・ 図示による
	○	6. 壁及び天井下地	木材　(12. 7. 1) ⊙ 杉　・ 松　・(　　)　・ 図示による
12-1 軸組構法(壁構造系)工事		1. 共通事項	※ 公共建築木造工事標準仕様書(平成31年版)5章の規定による。 ※ 建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる軸組を用いて、同4項の壁量を満たす建築物　木標仕(5. 1. 1)
		2. 木材	部材寸法、その他　木標仕(5. 2. 2) 柱　:　(　120*120　)　@ 950 間柱　:　(　120*60　)　@ 455 胴縁　:　(　13*45　)　@ 455 木摺　:　(　13*75　)　@ 455 天井 吊木受　:　(　45*120～150)　@ 950 吊木　:　(　45*45　)　@ 950 野縁受　:　(　45*45　)　@ 950 野縁　:　(　45*45　)　@ 455 ※ 但し、下地材の間隔は、使用材料の規格寸法にあわせる。
		3. 接合金物・接合具等	構造材及び下地材に対する釘の打ち込み本数等　木標仕(5. 2. 4) ※ 木標仕5章の規定以外は図示による。 ボルトの径　(　※図示　・(　　)) ※ 木標仕5章の規定以外は図示による。 ボルトが受ける応力の種類 ・ 引張りを受けるボルト　(　※図示　・(　　)) ・ せん断力を受けるボルト　(　※図示　・(　　)) 複合金物の工法等を木材に接合するためのボルト等の種類、形状、寸法及び本数 ※ 図示及び木標仕5章各節の規定による。 ・(　　) ※ 構造金物はZマーク品又は(公財)日本住宅・木材技術センターにより認定されたものを使用する。
		4. 仕口及び継手の工法	※「木造の継手及び仕口の構造方法を定める件」(平成12年5月31日　建設省告示第1460号)　木標仕(5. 4. 2) による。
13 屋根及びとい工事		1. 長尺金属板葺	(13. 2. 2)(13. 2. 3)(表13. 2. 1) 屋根葺き形式 / 材種 (板・コイル) / 表面処理 / 板厚(mm) ・ 心本なし瓦棒葺 ・ 立て平葺 ・ 横葺 / ・ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板(JIS G 3312) ・ 溶融アルミニウムめっき鋼板(JIS G 3314) ・ 塗装溶融亜鉛−5%アルミニウム合金めっき鋼板(JIS G 3318) ・ 溶融55%アルミニウム−亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3321) ・ 塗装溶融55%アルミニウム−亜鉛合金めっき鋼板(JIS G 3322) / ・ フッソ樹脂塗装 ・ 亜鉛めっき塗装 ・ 焼付塗装 ・ / ※0.4　・0.5 ・0.6　・0.8 ・0.8　・1.0 ・1.2　・ ・ 鼻隠し・ケラバ / ・ / ※0.6 専門工事業者は製造所の指定業者とする 塗膜の耐久性の種類　表面　・ 1類　・ 2類　・ 3類　裏面　・ 1類　・ 2類　・(　　) めっき付着量　・(　　) 下葺材料　※ アスファルトルーフィング940　・ 改質アスファルトルーフィング下葺材 工法　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法　※ 図示による 横葺きの場合のけらば納め　・ つかみ込み納め　・ けらば納め
		2. 折板葺	材料　※ 塗装溶融亜鉛めっき鋼板　(板厚(mm)　・ 0.6　・ 0.8)　(13. 3. 2)(13. 3. 3) ・　(板厚(mm)　・　　) 寸法　山高 (　　)mm　山ピッチ (　　)mm 形式　※ 重ね形　・ はぜ締め形　・ かん合形 直接外気の影響を受けない屋内のタイトフレームに使用する材料　※ 図示による 軒先面戸板　※ 有り　・ 無し 断熱材張り　(種別 :　厚さ :　防火性能 :　) 工法　建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法　※ 図示による
	○	3. とい	とい　(13. 5. 2)(表13. 5. 1) 材種等　※図示による 外部縦どい受け金物　※ ステンレス製　・ 鋼製(亜鉛めっき)　(13. 5. 2) 形状・取付間隔　※図示による
		4. 保証書及び期間	屋根工事の施工については、10年保証書を提出すること。なお、保証書は、受注者と施工業者の連帯とする。 保証書の必要な屋根工事の施工業者は建設業法の許可業者とする。

株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第 231917 号
武元　順一

坂元中学校校舎2号棟長寿命化改良その他本体工事

建築工事特記仕様書　5−3

鹿児島市建設局建築部建築課

A−04

Ver.R70401

章	適用	項目	特記事項

14 金属工事

○ 1. 一般事項
あと施工アンカー施工後の確認引張試験　・実施する　・実施しない　（14. 1. 3）

○ 2. 表面処理

⊙ アルミニウム及びアルミニウム合金　（14. 2. 1）（表14. 2. 1）

種類	施工箇所
・AB－1種(無着色)	
・AB－2種(　・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)	
・AC－1種(無着色)	
・AC－2種(　・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)	
・BA－1種(無着色)	
・BA－2種(　・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)	
※BB－1種(無着色)	アルミ建具
・BB－2種(　・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)	
・BC－1種(無着色)	
・BC－2種(　・ブラウン系　・ブラック　・ステンカラー)	
・C種	

陽極酸化皮膜着色方法　※二次電解着色　(色合:　　)・(　　)

⊙ 鉄鋼の亜鉛めっき　（14. 2. 2）（表14. 2. 2～4）

表面処理方法	種類	施工箇所
溶融亜鉛めっき	・A種	
	⊙ B種	2～4階渡り廊下スロープ
	・C種	
電気亜鉛めっき	・D種	
	・E種	
	・F種	

○ 3. 軽量鉄骨天井下地
野縁等の種類　屋内　※19形　・25形　（14. 4. 2）（表14. 4. 1）
屋外　・19形　※25形
・野縁受、吊ボルト及びインサート間隔(屋外)(　　)　（14. 4. 3）（表14. 4. 2）
・野縁の間隔(屋外)(　　)
・ダクト等により吊りボルトの間隔が900㎜を超える場合の補強方法 ※図示による　・(　　)　（14. 4. 4）
・天井ふところが1.5m以上の補強方法　※図示による　・(　　)
・屋外の軒･ピロティ等の天井における耐風圧性を考慮した補強　※図示による　・(　　)

○ 4. 軽量鉄骨壁下地
スタッド、ランナーの種類　（14. 5. 1～14. 5. 4）（表14. 5. 1）

種類	部材		施工箇所
・50形	・スタッド	・ランナ	
⊙ 65形	⊙ スタッド	⊙ ランナ	図示
⊙ 90形	⊙ スタッド	⊙ ランナ	図示
⊙ 100形	⊙ スタッド	⊙ ランナ	図示

5. 金属成形板張り　（14. 6. 2）（14. 6. 3）

形状	製法	材種	寸法(mm)	厚さ(mm)	表面処理 (14.2.1～3、表14.2.1～2 による)
・スパンドレル形	・押出し	※アルミニウム製			
	・ロール	・			
・パネル形	※プレス				

伸縮調整継手　※設けない　・設ける(施工箇所は図示)

○ 6. アルミニウム製笠木　（14. 7. 2）（14. 7. 3）

種類	表面処理				備考
・250形	・AB－1種	・AB－2種	・AC－1種	・AC－2種	・隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による
・300形	・BA－1種	・BA－2種	※BB－1種	・BB－2種	
・350形	・BC－1種	・BC－2種	・C種		

※工法は建築基準法に基づく風圧力に対応した工法とし監督員の承諾を受けること

15 左官工事

○ 1. モルタル塗り
材料　（15. 3. 2）
モルタル　・現場調合材料　・既調合材料(材料は監督員の承諾による)
防水モルタルの防水剤
製造所(監督員の承諾を得るものとする。)
・既製目地材　形状(　　)

○ 2. 仕上塗材仕上げ
材料　（15. 6. 2）（表15. 6. 1～2）
JIS A 6909(建築用仕上塗材)

種類	呼び名	仕上げ形状等
・薄付け仕上塗材	※外装薄塗材E	・砂壁状　・着色骨材砂壁状
・複層仕上塗材	※複層塗材E ・複層塗材RE ・防水形複層塗材E	※ゆず肌状　・凸部処理　・凹凸状 耐候性　※耐候形3種 上塗材 溶媒　※水系　・溶剤系 樹脂　※アクリル系 外観　※つやあり　・つやなし ・メタリック

16 建具工事

○ 1. アルミニウム製建具　（16. 2. 2,4,5）（表16. 2. 1, 2）

種別		外部に面する建具	内部建具	枠見込み(mm)
※普通ドアセット、サッシ	※コンクリート系・鉄骨下地	・A種　⊙ B種		※ 70　・
		・C種		※ 100　・図示
	・木下地	・D種　・E種		※ 70
・防音ドアセット		遮音性の等級(　　)		
・断熱ドアセット		断熱性の等級(　　)		
・耐震ドアセット		面内変形追随性の等級(　　)		
表面処理(表14.2.1による)		※BB-1種　・	※AC-1種　・	

網戸防虫網　※合成樹脂製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　・ステンレス(SUS316)製　（16. 2. 3）
製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

2. 鋼製建具　（16. 4. 2,4,5）（表16. 4. 1,2）

種別	簡易気密型ドアセットの性能	外部に面する建具の耐風圧性	鋼板類の厚さ
・標準型建具	・表16. 4. 1を適用する ・適用しない	・S－4　・S－5 ・S－6　・	※表16. 4. 2による ・適用しない
・標準型建具以外の建具	・表16. 4. 1を適用する ・適用しない	・S－4　・S－5 ・S－6　・	※表16. 4. 2による ・適用しない

製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

○ 3. ステンレス製建具
材料　※SUS304　・SUS430J1L　・SUS443J1　・(　　)　（16. 6. 3）
表面仕上げ　※HL　・No.8(鏡面)　・#400　・No.2B　・(　　)　（16. 6. 4）
曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ　（16. 6. 5）
製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

○ 4. 木製建具
建具材の含水率　※A種　・B種　・C種　（16. 7. 2）（表16. 7. 1）
かまち戸の樹種　かまち(　　)　鏡板(　　)
ふすま紙の上張り　・新鳥の子　・鳥の子　・ビニル紙　・雲花紙
枠　⊙ 木製枠　・鋼製枠　・(　　)
くつずり　⊙ ステンレス製(HL仕上げ)　・(　　)
フラッシュ戸　表面板の厚さ　※表16.7.6　・(　　)　（16. 7. 3）
見込み寸法　かまち戸(　※36㎜　・　)　ふすま戸(　※19.5　・21　・18　)　（16. 7. 3）
戸ぶすま(　※30㎜　・　)　紙張り障子(　※30㎜　・　)

○ 5. 建具用金物
※建具製作所の仕様による　・図示による　（16. 8. 1,2,3）（表16. 8. 1）
マスターキー　※製作する　・製作しない　（16. 8. 4）
鍵箱　※必要(　　組用)　・不要

6. 重量シャッター　（16. 11. 2～5）

種類	耐風圧性能	開閉機能	シャッターケースの設置	危害防止機構
・管理用シャッター	・50　・80	※上部電動式	・有　・無	
・外壁用防火シャッター	・120　・	(手動併用)		※危険防止措置
・屋内用防火シャッター		・上部手動式	※有	・シャッターの二段降下方式
・防煙シャッター				

7. 軽量シャッター
開閉形式　※手動式　・上部電動式(手動併用)　（16. 12. 2）
耐風圧性能　・50　・65　・80　・
スラットの材質　※塗装亜鉛めっき鋼板又は鋼帯　・(　　)　（16. 12. 3）
スラットの形状　・インターロッキング形　・オーバーラッピング形　（16. 12. 4）

○ 8. ガラス
JIS規格品　（16. 14. 2）
※材料、厚みは図示による

○ 9. ガラス留め材
アルミニウム製建具　※シーリング(SR-1)　（16. 14. 2,3）
・ガスケット(グレイジングチャンネル形)(窓に適用)
鋼製･ステンレス製建具　※シーリング(SR-1)　（表 9. 7. 1）
木製建具　※シーリング(SR-1)

10. ｶﾞﾗｽﾌﾞﾛｯｸ積み　（16. 14. 5）
JIS A 5212(ガラスブロック(中空))
表面形状(　　)　呼び寸法(　　)　厚さ(　　)
壁用金属枠及び補強材　(　　)
力骨

材質	寸法	形状
※ステンレス鋼(SUS304) ・	※径5.5mm ・	※はしご形状腹筋及び単筋 ・

シーリング材(　　)
金属製化粧カバー　材質(　　)　寸法(　　)　形状(　　)
ガラスブロックの目地幅の寸法
平積み　※8～15mm　・(　　)
曲面積み　※外側15mm以下、内側6mm以上　・(　　)
伸縮調整目地位置　※6m以下　・(　　)
目地部の力骨の補強方法　※製造所の仕様　・(　　)

18 塗装工事

○ 1. 材料
※屋内の壁及び天井の塗装仕上げ材は，防火材料の指定がある場合は建築基準法に基づき、指定又は認定を受けたものとする。基材同等の認定表示のあるものとする。

○ 2. 素地ごしらえ
⊙ 木部　不透明塗料塗り　(※A種　・B種)　（18. 2. 2）（表 18. 2. 1）
透明塗料塗り　(・A種　※B種)
⊙ 鉄鋼面　(・A種　・B種　※C種)　（18. 2. 3）（表 18. 2. 2）
(耐候性塗料塗り(DP)の場合は、B種とする)
・亜鉛めっき鋼面　(・A種　・B種)　（18. 2. 4）（表 18. 2. 3）
⊙ モルタル及びせっこうプラスター面　(・A種　※B種)　（18. 2. 5）（表 18. 2. 4）
⊙ コンクリート及びALCパネル及び押出成形セメント板面　(・A種　※B種)　（18. 2. 6）（表 18. 2. 5）
(耐候性塗料塗り(DP)、2液形ﾎﾟﾘｳﾚﾀﾝｴﾅﾒﾙ塗り、ｱｸﾘﾙｼﾘｺﾝ樹脂ｴﾅﾒﾙ塗り、　（表 18. 2. 6）
常温乾燥形ふっ素ｴﾅﾒﾙ塗りについては、表18. 2. 6による)
⊙ せっこうボード及びその他ボード面　継目処理工法　(※A種　・B種)　（18. 2. 7）（表 18. 2. 7）
その他　(・A種　※B種)

○ 3. 塗料塗り
⊙ 錆止め塗料塗り　（18. 3. 2～3）（表 18. 3. 1～6）

下地	塗料種別		塗り種別	
鉄鋼面	SOP	※A種	見え掛り部分	※A種　・B種
	EP-G	・A種　※B種	見え隠れ部分	・A種　※B種
	DP	1回目　※C種 2･3回目　※D種	表18. 3. 4	
亜鉛めっき鋼面	SOP	※A種　・B種	鋼製建具	※A種　・B種
	EP-G	※C種	その他	・A種　※B種
	DP	※B種		

⊙ 合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)
塗料種類　※1種　・2種　（18. 4. 2）
木部塗り種別　(屋外)　※A種　・B種　（18. 4. 3）
(屋内)　・A種　※B種 (多孔質広葉樹の場合を除く)
鉄鋼面塗り種別　・A種　※B種　（18. 4. 4）
⊙ クリヤラッカー塗り(CL)　（18. 5. 2）（表 18. 5. 1）
塗り種別　・A種　※B種
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD)　（18. 6. 2）（表 18. 6. 1）
塗り種別　・A種　※B種

⊙ 耐候性塗料塗り(DP)
・鉄鋼面上塗り塗料の等級　・1級　・2級　・3級　（18. 7. 2）（表 18. 7. 1）
・亜鉛めっき鋼面上塗り塗料の等級　・1級　・2級　・3級　（18. 7. 3）（表 18. 7. 2）
・ｺﾝｸﾘｰﾄ面・押出成形ｾﾒﾝﾄ板面上塗り塗料の等級　（18. 7. 4）（表 18. 7. 3）
・1級　・2級　・3級
⊙ つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP-G)　（18. 8. 2～5）（表 18. 8. 1～4）
・塗り種別(下地:ｺﾝｸﾘｰﾄ、ﾓﾙﾀﾙ、ﾌﾟﾗｽﾀｰ、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ等)　・A種　※B種
・塗り種別(下地:鉄鋼面及び亜鉛めっき鋼面)　・A種　※B種
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)　（18. 9. 2）（表 18. 9. 1）
塗り種別　・A種　※B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)　（18. 10. 2）（表 18. 10. 1）
木部塗り種別(一般木部及びフローリングは1液形)　・A種　※B種
・オイルステイン塗り(OS)　（18. 11. 2）（表 18. 11. 1）
塗料　・(　　)　・図示による
・木材保護塗料塗り(WP)　（18. 12. 2）（表 18. 12. 1）
塗り別　・A種　※B種

19 内装工事

○ 1. ﾋﾞﾆﾙ床シート、ﾋﾞﾆﾙ床タイル及びｺﾞﾑ床タイル張り
接着剤　壁紙、ビニル床タイル、ビニル床シート、ビニル幅木に使用する接着剤は、ホルマリン不検出のもので、水性形のものとする。　（19. 2. 2）
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする(水廻り及び湿度の高い箇所を除く)。
ビニル床シート

種類	色柄	厚さ	工法	備考
※FS ・	⊙ 無地 ⊙ 模様	※2.0 ・	※熱溶接 ・突付け	⊙ 防滑性ビニル床シート ・

ビニル床タイル

種類	色柄	厚さ(mm)	備考
・単層ビニル床タイル(TT) ・複層ビニル床タイル(FT) ・コンポジションビニル床タイル(KT) ・	・無地 ・模様	※2 ・3	・防滑性床タイル

特殊機能床材
帯電防止床シート又は床タイル　種類(　　)　性能(　　)　厚さ(　　)
視覚障害者用床タイル　種類(　　)　形状(　　)
耐動荷重性床シート　種類(　　)　厚さ(　　)
ビニル幅木　厚さ(　※1.5mm以上　・　)　高さ(　※60mm　・100mm　)　種類(　　)
ゴム床タイル　種類(　　)　厚さ(　　)　色柄(　　)　寸法(　　)
下地がセメント系及び木質系以外の場合の接着剤種別　ビニル床シート、タイル(　　)
ゴム床タイル(　　)

2. カーペット敷き
・織じゅうたん　種別 (・A種　・B種　・C種)　織り方(　　)　（19. 3. 2～3）（表19. 3. 1～2）
パイル形状　(・カットパイル　・ループパイル　・　)
帯電性(人体帯電圧　※3kv以下　・　)
・タフテッドカーペット　パイル形状　(・カットパイル　・ループパイル　・　)
パイル長(　　)　帯電性(人体帯電圧　※3kv以下　・　)
工法 (・グリッパー　・全面接着)
・タイルカーペット　種類 (※第1種　・　)　パイル形状(※ループパイル　・　)
寸法 (※500mm角　・　)　総厚さ(※6.5mm　・　)
平場敷き方　(※市松敷き　・　)
階段敷き方　(※模様流し　・　)
下敷き材　(※JIS L 3204 第2種2号　呼び厚さ8mm　・　)
取付け用付属品　見切り　材質(　　)　種類(　　)　形状(　　)
押え金物　材質(　　)　種類(　　)　形状(　　)

3. 合成樹脂塗床　（19. 4. 2～3）（表19. 4. 4～8）

材料	種類	仕上げの種類
・厚膜型塗床材	・弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床材	※平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ
	・エポキシ樹脂系塗床材	・薄膜流しのべ工法　(※平滑　・防滑) ・厚膜流しのべ工法　(※平滑　・防滑) ・樹脂モルタル工法　(※平滑　・防滑)
・薄膜型塗床材	・エポキシ樹脂系塗床材	・平滑仕上げ

4. フローリング張り　（19. 5. 2～7）（表19. 5. 1～5）

工法		フローリング種類		寸法等	樹種
※釘留め工法(接着剤併用)	※根太張り工法	単層	※フローリングボード	表19. 5. 1	・なら ・さくら ・
		複合	・A種 ・B種 ※C種	表19. 5. 2	
	・直張り工法	単層	※フローリングボード	表19. 5. 3	・なら ・さくら ・
		複合	・A種 ・B種 ・C種	表19. 5. 4	
・接着工法		単層	・フローリングブロック	※図示による	・なら ・さくら ・
			・フローリングボード	表19. 5. 5	
		複合	・A種 ・B種 ・C種	表19. 5. 6	

5. 畳敷き
畳の種別　(和室)　・A種　・B種　・C種　（19. 6. 2）（表 19. 6. 1）
・D種 (・KT-Ⅰ　・KT-Ⅱ　・KT-Ⅲ　・KT-K　・KT-N)
(柔道場)　製造所 (監督員の承諾を得るものとする。)

株式会社 武元順壱アトリエサンク 一級建築士 第 231917 号 武元 順一	坂元中学校校舎2号棟長寿命化改良その他本体工事 建築工事特記仕様書 5－4 鹿児島市建設局建築部建築課	A－05

Ver.R70401

章	適用	項目	特記事項

19 内装工事

○ 6. せっこうボード、その他ボード及び合板張り

せっこうボード、その他ボード類 (19. 7. 2～3)(表 19. 7. 1～5)

種類	種別	張り方			厚さ	備考
⊙ せっこうボード	⊙ GB-R ⊙ GB-S ⊙ GB-F ・GB-L	⊙ 下地張り	天井	※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・	
			壁	⊙ 突付け ・ 突付けV目地 ⊙ 継目処理 ・ 目透し	⊙ 9.5 ◎ 12.5 ・ 15.0 ・	
	GB-D	・ 上張り	天井	※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	◎ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・	
			壁	・ 突付け ・ 突付けV目地 ▪ 継目処理 ※ 目透し	・ 9.5 ※ 12.5 ・ 15.0 ・	
⊙ 化粧せっこうボード	⊙ トラバーチン模様 (GB-D)	直張り		※ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ・ 目透し	※ 9.5	※ 不燃 ・ 準不燃 ※ 455×910 ・ 910×910
	・ 木目模様 (裏桟付) (GB-D)			・ 突付け ・ 突付けV目地 ・ 継目処理 ※ 目透し	※ 9.5 ・ 12.5 ・ 15.0 ・	防火認定は準不燃とし専用軽鉄下地材付き
⊙ 無石綿けい酸カルシウム板				・ 突付け ・ 突付けV目地 ⊙ 継目処理 ※ 目透し	◎ 6 ・ 8 ・ 10 ・ 12 ・	JIS A5430に準拠したノンアスベストのもの
・ 木毛セメント板	・ 難燃木毛セメント板 (2級以上) ・ 断熱木毛セメント板	・ 30分耐火以上 ・ 準不燃		継目用金物	・ 15 ・ 20 ※ 25 ・ 30 ・ 40 ・ 50	監督員の承諾による工場

合板類

材種	樹種など	厚さ(mm)	工法
⊙ 普通合板	・ 生地のまま又は透明塗料塗りの場合 (・ ラワン ⊙ しな ・)	・ 5.5 ・ 9 ・ 12	・ A種 ※ B種
	・ 不透明塗料塗りの場合 (・ ラワン ・ しな ・)	・ 5.5 ・ 9 ・ 12	・ A種 ※ B種
・ 特殊合板	・ 天然木化粧合板の化粧単板 (・ ラワン ・ しな ・)	化粧単板厚 ※ 0.3未満 ・ 板厚 ・ 4.2 ・	・ A種 ※ B種
	・ 特殊加工化粧合板の仕上げの種類 (・)	板厚 ・ 4.0 ・	・ A種 ※ B種

下地 ・ 軽量鉄骨下地 ・ 木下地 ・

7. 壁紙張り (19. 8. 2～3)

施工箇所	壁紙の種類					防火性能の級別	素地ごしらえ
	紙	織物	ビニル	化学繊維	無機質		
	・	・	・	・	・	※ 1級 ・ 級	・ A種 ※ B種
	・	・	・	・	・	※ 1級 ・ 級	・ A種 ※ B種
	・	・	・	・	・	※ 1級 ・ 級	・ A種 ※ B種

○ 8. 断熱・防露 (19. 9. 2～3)

種類		施行箇所	厚さ(mm)	品質等
・ 押出法ポリスチレンフォーム保温材	※ 2種b	・ 一般部 ・	・ 20 ・ 45,50	特定フロンを使用しないもの
	※ 3種b	・ 屋根 ・ ピット上部	・ 20 ・ 45,50	
・ 吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材 (現場発泡断熱材)		※ 断熱材補修部分		特定フロンを使用しないもの
		・ 一般部 ・ 熱橋部	・ 15 ・ 25,40	難燃性 (※ 3級 ・) ※A種1 ・A種1H
		製造所 ： 監督員の承諾する製造所		

○ 9. その他

・ メラミン樹脂化粧板 厚さ(mm) ※ 1.2 ・ 1.6 ・ 2.5～3.0
・ 内装プレハブ工法: 製造所の仕様による

20 ユニット及びその他の工事

1. フリーアクセスフロア (20. 2. 2)

床面から仕上げ材天端までの寸法 ※ 100 ・ 110 ・
表面仕上材 ※ カーペット ・ 帯電防止ビニル床タイル (・ 置敷タイプ ・ パネル一体タイプ)
床パネルの材質 ※ アルミ合金ダイカスト製 ・ スチール製又は複合材等 ・
寸法 ※ 450角以上、600角以下 ・
適用地震時水平震度(Ks) (1階及び地階) ※ 0.6以上 ・
(中間階) ※ 0.6以上、1.0以下 ・
(最上階) ※ 1.0以上 ・
耐荷重性能 ※ 3,000N(製造所は評価名簿による) ・ 5,000N ・
空調用孔あきパネル 枚数 ( ) 材質 ( )
コンセント開口 適用室 ( )
コンセント部分以外にフリーアクセスフロア内からフロア面上へ配線取り出し開口を全パネルに有すること。
試験方法は、JIS A 1450(フリーアクセスフロア試験方法)による。
特記以外の仕様は製造所の仕様とする。

2. 可動間仕切 (既製間仕切) (20. 2. 3)

構造形式	表面板及び厚さ	パネル仕上げ	パネル見込み
※ パネル式 ・ スタッド式	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上 ・	※ 焼付塗装(常備色程度) ・	※ 60以上 ・ 50
・ スタッドパネル式	鋼板厚さ(mm) ※ 0.5以上 ・ スタッド アルミニウム製 40角	※ 焼付塗装(常備色程度) ・	※ 30以上 ・

品質 JIS A 6512 又は 評価名簿による

3. 移動間仕切 (スライディングウォール) (20. 2. 4)

パネル操作方法 ( )
パネル表面材の材質 (※ 鋼板 ・)
パネル表面材仕上げ (・ 焼付け塗装 ・ 壁紙張り ・)
パネル圧接装置操作方法 ( ) 遮音性能 (・ 一般タイプ(36dB未満) ・ 遮音タイプ(36dB以上))
ハンガーレール 取付下地補強方法 (※ 20. 2. 4(3)(ウ) ・
固定方法 (・ あと施工アンカー(材質: 、寸法:) ・
製造所 評価名簿による

4. トイレブース (20. 2. 5)

表面仕上げ材 ※ メラミン樹脂系化粧板同等品以上(標準色 アルミ製コーナーエッジ付き)
・ ポリエステル樹脂系化粧板
脚部 ※ 幅木タイプ ・ 足金物型
製造所 評価名簿による

5. 手すり及びタラップ (20. 2. 6)(20. 2. 12)

種類	材料の種別	表面処理(14.2.1～3、表14.2.1～2 による)
・ 手すり	※ ステンレスSUS304	※ HL程度 ・ 鏡面程度 ・ #400
	・ 鉄(亜鉛めっき)	(外部) ※ C種 ・ (内部) ・
	・ アルミ	(外部) ・ (内部) ・
・ タラップ	※ ステンレスSUS304	※ 研磨無し ・
	・ 鉄(亜鉛めっき)	(内外部) ※ C種 ・

ステンレスSUS430を使用する箇所 ( )

○ 6. 階段滑り止め (20. 2. 7)

材種 ※SUS ・ ( )
形状 ※ビニルタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り ・ ゴムタイヤなし
両端フラットエンド ・ 無 ※ 有
幅(mm) ・ 35 ※ 40
取付け工法 ※ 接着工法 ・ 埋込み工法(溶接)

○ 7. 床目地棒 (20. 2. 8)

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。
・ 黄銅製 4×12 ・ ステンレス製 4×12 ※ ステンレス製∩型(幅40 内外厚さ2)

○ 8. 黒板及びホワイトボード (20. 2. 9)

	種類	寸法(mm)	色彩	備考
・ 黒板	※ 研出し ・ 焼付け		※ 緑 ・ 黒 ※ 緑 ・ 黒	※ 曲面 ・ スクリーン付引分け
・ ホワイトボード	※ ほうろう白板		※ 白 ※ 白	・ 曲面 ・ スクリーン付引分け

黒板及びホワイトボードについて5年保証書を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。
(製品には、製造年月、製作所記名プレートを取り付ける。)

9. 鏡

厚さ ※ 5mm ・ (20. 2. 10)

○ 10. 表示

・ 対人衝突防止表示 ※ 図示(市販品 ※ ステンレス製 径約30mm ・) ・ 無し
・ 誘導標識、非常用進入口等の表示は消防法に適合する市販品とし、その他は共通詳細図による。 (20. 2. 11)
・ 室名表示 ※ 図示による

11. ブラインド (20. 2. 13)

形式	スラットの材種	開閉方式	スラットの幅 (mm)	ヘッドボックス及びボトムレール
・ 横形	※ アルミニウム合金	※ ギヤ式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ 25 ・	※ 鋼製
・ 縦形	・ アルミスラット ・ クロススラット	※ 2本操作コード式	・ 80 ・ 100	

○ 12. カーテン及びカーテンレール

レール、ブラケットの強さによる区分 ※ 10-90 ・ ( ) (20. 2. 16)(表 20. 2. 1)
材料 カーテンレール ※ アルミニウム及びアルミニウム合金の押出成型材(アルマイト仕上げ)
・ ステンレス製
工法 暗幕用カーテン両端、上部及び召合せ重なり ※ 300㎜以上 ・

21 排水工事

○ 1. 屋外雨水排水

材料 ※ 図示による

○ 2. 縁石及び側溝

材料 ※ 図示による

22 舗装工事

○ 1. 路盤

・厚さ: ※図面による (22. 3. 2)
・材料: ※ 再生クラッシャランRC-40 ・ クラッシャランC-40 ・ 図面による (22. 3. 3)
再生クラッシャランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。

2. アスファルト舗装

・構成及び厚さ: ※図面による (22. 4. 2)
・ 再生アスファルトの種類 ・ 60～80 ・ 80～100 ・ ( )
・ シールコートの適用: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 3)
・ 表層の加熱アスファルトの混合物の種類: ・ ( ) (22. 4. 4)
・切取り検査: ・ 行う ※ 行わない (22. 4. 6)
・アスファルト混合物等の抽出試験: ・ 行う ※ 行わない

○ 3. コンクリート舗装

・構成及び厚さ: ※図面による (22. 5. 2)
・寒冷期に施工する場合で早強セメントを用いる場合: ※ 用いない ・ 用いる (22. 5. 3)
・注入目地材料のタイプ: ※ 低弾性タイプ ・ ( )
・溶接金網の網目の形状寸法、鉄線の径: ※ 鉄線径 6㎜ 網目150㎜

4. 透水性アスファルト舗装

・構成及び厚さ: ※図面による (22. 7. 2)
・路盤材料: フィルター層は良質なシラスとする

5. ブロック系舗装

・種類: ・ コンクリート平板舗装 ・ インターロッキングブロック舗装 ・ 舗石舗装 (22. 8. 1)
・構成及び厚さ: ※図面による (22. 8. 2)
・ブロックの敷設パターン: ※ 監督員の指示による ・ ( )

6. 砂利敷き

・構成及び厚さ: ※図面による
・種別: ・ A種 ・ B種 (22. 9. 2)
再生クラッシャランは、原則としてかごしま認定リサイクル製品認定制度の認定を受けた製品を使用すること。

章	適用	項目	特記事項

株式会社 武元順壱アトリエサンク
一級建築士 第 231917 号
武元 順一

坂元中学校校舎2号棟長寿命化改良その他本体工事
建築工事特記仕様書 5－5
鹿児島市建設局建築部建築課
Ver.R70401
A－06

外壁改修工事特記仕様書

Ⅰ．一　般　事　項

1．適 用 範 囲

本特記の範囲は、設計図書に示した外壁のうちコンクリート打放し仕上げ外壁、モルタル塗り仕上げ外壁を対象とし、これらの浮き、欠損、爆裂、ひび割れの劣化を改修する工事に適用する。その他の仕上げ外壁については、監督員と協議し、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築改修工事標準仕様書」（建築工事編）（令和4年版）に基づき施工する。

※ 仕上塗材が石綿含有の場合は、各工法において下線部分を遵守すること。

2．打診調査及び調査報告書

外壁の改修範囲については、施工前に建築仕上診断技術者（ﾋﾞﾙﾃﾞｨﾝｸﾞﾄﾞｸﾀｰ）による全面打診調査を行い、その結果に基づき、数量表及び図面（A3サイズ紙とJW-CADﾃﾞｰﾀ）で構成する「調査報告書」を作成し、監督員に提出すること。

なお、調査にあたってはマーキングを行い、監督員の打診検査後、全ての改修箇所について番号を表示すること。

3．検　　査

施工数量調査のマーキング後、監督員による打診検査を受けること。また、外壁改修完了後は吹付工事前に監督員の完了検査を受けること。

なお、施工中に、設計図書に明示のない箇所又は判断出来ない箇所が発見された場合は、監督員と協議を行い、施工すること。

4．試　　験

ポリマーセメントモルタル充填工法による改修箇所のうち監督員の指示する箇所について、表面引張り試験を監督員立会いのうえ実施し、その試験成績書を完成書類に添付すること。

5．工 事 施 工

浮き部、ひび割れ部の樹脂注入工事に際しては、樹脂接着剤注入施工技能士を1名以上選任し、当該工事作業中自ら作業をするとともに他の技能者の作業指導を行い、施工品質の向上に努めるものとする。

左官、塗装工事は技能士を適用する。

6．施 工 報 告 書

改修工事完了後、施工数量表及び施工図面（A3）で構成する「施工報告書」を作成し、完成書類に添付すること。

7．工 事 写 真

改修工事を行った部分については、工程（工法・状態別に各2ヶ所）、完了後の写真を提出すること。

工事写真はすべてカラーとし、サイズはL版程度とする。

※ 撮影箇所及び方法等は、監督員と協議の上、決定すること。

8．電子ファイリングデータ

1）提出データ　　：施工報告書、工事写真（完了後）

2）データ提出媒体：データ提出用は、「CD－R」または「DVD-R」とする。

3）データ保存形式：図面データは、国土交通省の「官庁営繕事業に係る電子納品運用ガイドライン【営繕業務編】」の標準形式とする。

写真データは、JPEG（写真帳等にまとめる場合はPDF）とする。

※ 原則に依りがたい場合は、事前に監督員の承諾を得るもの とする。

9．保　証　書

改修工事の施工については、保証書（3年）を提出すること。なお、保証書は受注者と施工業者の連帯とする。

※ マーキング、調査報告書、施工報告書、完成写真に付与する番号（面毎の通し番号）は統一させること。

Ⅱ．特　記　事　項

1．ポリマーセメントモルタル充填工法

① 適 用 範 囲

コンクリート打放しの欠損、爆裂の改修で全ての部位に適用し、モルタル塗り仕上げ面の欠損、爆裂、落下の恐れのある浮き（※1）の補修で下記の部位に適用する。ただし、0．25㎡未満で塗厚が30mmを超える場合は、監督員と協議の上、工法を決定すること。

イ）パラペット　　ロ）庇鼻　　ハ）窓面台及び笠木　　ニ）揚裏　　ホ）全ての部位の爆裂部

ヘ）柱壁、だき、まぐさの0．25㎡未満の部分

※ 改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。（補修範囲及び周囲5㎝部分）

② 材　　料

1）ポリマーセメントモルタルは、合成ゴム系、アクリル系とし既調合とする。なお、製品については次の品質基準に適合するものとする。

曲げ強さ：6N/mm²、　圧縮強さ：20N/mm²、　接着強さ：1N/mm²

2）被着面に塗布するプライマーは、ポリマーセメントモルタルの製造所の指定する製品とし、ポリマーセメントモルタルの付着に支障のないものとする。

3）防錆材等は、製造所の指定する製品とする。

4）鉄筋及びコンクリート面に塗布する防錆材等は、ポリマーセメントモルタルの付着に支障のないものとする。

③ 工　　法

1）テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督員と協議する。

2）欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。

3）下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。

4）プライマーを被着面に刷毛を用いて塗布する。

5）各層の塗り厚は7mm程度とし、養生期間は1週間以上とする。ただし、製造所の仕様等により期間を短縮する場合は、資料を監督員に提出し承諾を受けること。

6）ポリマーセメントモルタルの面積が0．25㎡以上で塗厚が厚い（厚さ25mm以上）場合は、ポリマーセメントモルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横200mm間隔程度に駆体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてからポリマーセメントモルタル塗りを行う。ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。

7）表面は金コテ又は刷毛引き仕上げとする。

8）各層とも急激な乾燥を避け、適切に養生する。

9）各工程に伴う作業は、製造所の仕様を準用する。

④ 確　　認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。

2．モルタル塗替工法

① 適 用 範 囲

モルタル塗り仕上げ面の欠損、落下の恐れのある浮き（※1）の改修で下記の部位及び他工法により施工ができない部分に適用する。

イ）柱壁、だき、まぐさの0．25㎡以上の部分　　ロ）庇天端

※ 改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。（改修範囲及び周囲5㎝部分）

② 材　　料

1）ポリマーセメントモルタル、ポリマーセメントペースト用の混和材料は、JIS A 6203（セメント混和用ポリマーディスパージョン及び再乳化形粉末樹脂）の規格に適合したもので監督員の承諾を受けたものとする。

2）保水剤は、メチルセルロースの類とし、使用量等の資料を監督員に提出し承諾を受けること。

③ 工　　法

1）テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督員と協議する。

2）欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。

3）コンクリート面等の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行った後、次の層を塗る。

4）下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。

5）コンクリート下地には、モルタルとの付着力を大きくするためにセメントペースト（1mm程度、保水剤使用）又は、製造所の指定する吸水調整材を薄く塗付け、引き続き下塗りを行う。

6）モルタルの塗厚が厚い（厚さ25mm以上）場合は、モルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横200mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてから接着剤混入モルタル塗りを行う。ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。

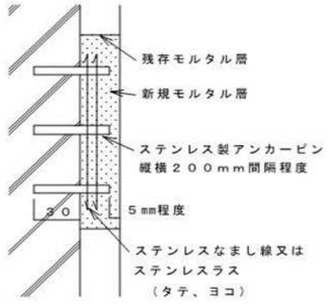
7）現場調合ポリマーセメントモルタルの調合は、公共建築改修工事標準仕様書「4．4．9」による。

8）各層の塗厚は、7mm程度とし、下塗りの養生期間は2週間以上とること。（中塗り以降は乾燥次第随時塗付け可）

④ 確　　認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。

図－１　鉄筋露出の場合（ポリマーセメントモルタル充填工法）



図－２　塗厚が２５mmを超える場合

坂元中学校校舎2号棟長寿命化改良その他本体工事	
外壁改修工事特記仕様書（1）	A-07
鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.R70401	

3. アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

① 適 用 範 囲

モルタル塗り仕上げ面で落下の恐れのない（※2）浮き部に適用する。

② 材　　料

1）エポキシ樹脂は、JISA6024（建築補修用注入エポキシ樹脂）に適合するものとする。

2）アンカーピンの材質は、ステンレス鋼（SUS304）とし、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したものとする。

③ 工　　法

1）テストハンマーを用いて浮き部を確認し、チョーク等で明示の上、注入範囲について監督員と協議すること。

2）浮き部分に対するアンカーピン本数は、一般部分（壁面等）は16本／㎡、指定部分（揚裏、パラペット）は25本／㎡、狭幅部は幅中央に5本／mとする。又、所定の本数が浮き部分に対して均等に配置されるよう穿孔位置をマーキングする。

3）穿孔はコンクリート用ドリルを用い、使用するアンカーピンの直径より約2mm大きい直径とし、壁面に対し直角に穿孔する。穿孔はマーキングに従って行い、構造体コンクリート中に30mm程度の深さに達するまで行う。穿孔後は、十分孔内を清掃して、接着の妨げとなる切粉等を除去する。（清掃は電気ブロア器具同等以上の清掃器具を使用すること。）

※ 石綿含有仕上塗材の穿孔にあたっては、粉じん飛散防止の為、水循環式ﾄﾞﾘﾙ又は集じん装置（HEPAﾌｨﾙﾀｰ）ﾄﾞﾘﾙ使用とすること。

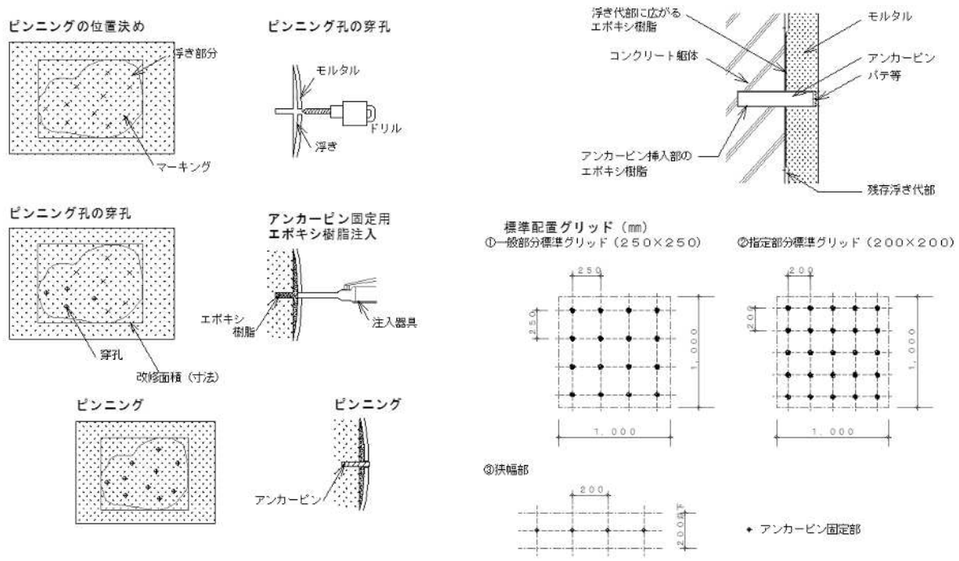
4）アンカーピン固定用エポキシ樹脂を手動式注入器を用い、注入口の最深部より徐々に充填する。充填量は、挿入孔1箇所当たり25mlとする。

5）アンカーピンを挿入孔最深部まで挿入し、パテ状エポキシ樹脂等で仕上げる。

6）注入部以外に付着した材料は、適切な方法で除去し、清掃する。

④ 確　　認

アンカーピン固定部のエポキシ樹脂の広がり、固着状況について全数をテストハンマーの打診により確認する。



図－3　アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

4. 防水モルタル塗替工法

① 適 用 範 囲

モルタル塗り仕上げ面の改修で監督員の指定する部分。

※ 改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。（改修範囲及び周囲5㎝部分）

② 材　　料

防水剤は、JISA1404に適合するものとする。

③ 工　　法

1）テストハンマーの打撃により、はがれ、剥落のおそれのある部分を確認し、補修範囲について監督員と協議する。

2）欠損部及び塗替部周辺の脆弱部は、健全部にカッターを入れ、他の部分の浮きを誘発することのないよう内側のモルタルをハンマー等により除去し、欠損部の状況を目視で確認する。

3）コンクリート面等の下地及び各塗り層は、清掃のうえ適度の水湿しを行った後、次の層を塗る。

4）下地部分はワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除去、清掃を行う。又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり落とし、ワイヤーブラシ等でケレンを行い、錆を除去し、防錆材等を塗布して防錆処理を行う。

5）コンクリート下地には、モルタルとの付着力を大きくするためにセメントペースト（1㎜程度.保水剤使用）を薄く塗付け、引き続き下塗りを行う。

6）防水モルタルの塗厚が厚い（厚さ25mmを超える）場合は、防水モルタルの下塗りに先立ち、ステンレスアンカーピンを縦横200mm間隔程度に躯体コンクリートに固定し、ステンレスなまし線を張り、足がかりをよくしてから防水モルタル塗りを行う。
ステンレスアンカーピンは塗厚に応じて長さを変えること。

7）防水モルタルの調合は、防水剤製造所の仕様による。

8）各層の塗厚は、15mm以下とし、下塗りの養生期間は2週間以上とること。（中塗り以降は乾燥次第随時塗付け可）

④ 確　　認

下地の脆弱部分の除去と堅固な下地を確認する。

5. 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

① 適 用 範 囲

コンクリート打放し仕上げ及びモルタル塗り仕上げのひび割れ幅が、0.2～1.0㎜以下のひび割れ部について適用する。

② 材　　料

1）エポキシ樹脂はJISA6024（建築補修用注入エポキシ樹脂）に適合するものとする。

2）シール材は、注入材料製造所の指定する製品とし、既存の塗材、塗料等又は新規の塗材、塗料等に支障のないものとする。

③ 工　　法

1）ひび割れに沿って幅50㎜程度の汚れを除去し、清掃する。

※ 石綿含有仕上塗材の清掃にあたっては、粉じん飛散防止のため、飛散の恐れがあるワイヤブラシ等によるケレンは行わないこと。

※ コケ等汚れにより清掃が困難な場合は、監督員と協議を行い、改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。

2）注入孔位置をスケール等で測定し、チョーク等でその位置のマーキングを行う。

3）注入孔間隔は250㎜程度とする。

4）注入器具又は台座をひび割れが中心にくるようにして、仮止めシール材等で取り付ける。

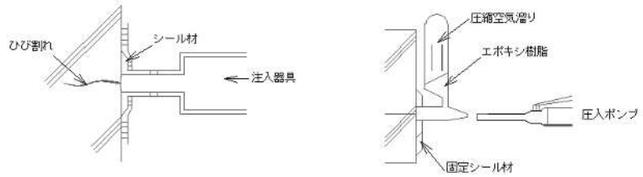
5）混練りしたエポキシ樹脂を注入器具に入れ、ゴム、バネ、空気圧等により注入圧を0．4N/㎟以下として注入する。

6）注入時は、台座やシール部からの漏れをチェックし、注入器具内のエポキシ樹脂の減量状態を確認して、足りない場合は補充する。なお、注入完了後は、注入器具を取り付けたまま硬化養生をする。

7）エポキシ樹脂注入材の硬化を見計らい、仮止めシール材及び注入器具を適切な方法で撤去し、清掃を行う。

④ 確　　認

注入時の確認は一つ上の注入器具から漏出することを確認する。注入後の確認は注入が行われたか否かを目視する。



図－4　自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

6. Uカットシーリング材充填工法

① 適 用 範 囲

コンクリート打放し仕上げ及びモルタル塗り仕上げのひび割れ幅が1.0㎜を超え、かつ挙動されるひび割れ部をUカットシーリング用材を充填しポリマーセメントモルタルを塗り込む場合に適用する。

※ 改修工事に先立ち石綿含有仕上塗材を除去すること。（ひび割れ沿いの幅5㎝部分）

② 材　　料

1）シーリング材は、JISA5758（建築用ｼｰﾘﾝｸﾞ材）に適合するものとする。

2）プライマーは、主材製造所の製品とし、被着体（塗装してある場合は塗料）に適したものとする。

3）バックアップ材は、合成樹脂又は合成ゴム製でシーリング材と接着しないものとし、使用箇所に適した形状で大きさが目地幅より2㎜程度広いものとする。

③ 工　　法

1）ひび割れ状況について確認し、補修範囲について監督員と協議すること。

2）ひび割れ部に沿って電動カッター等を用いて幅10㎜程度、深さ10～15㎜程度にU字型の溝を設ける。

3）Uカット溝内部に付着している切片、粉塵等はワイヤーブラシ、はけ等で除去する。

4）被着体に適したプライマーを溝内部に塗残しのないよう均一に塗布する。

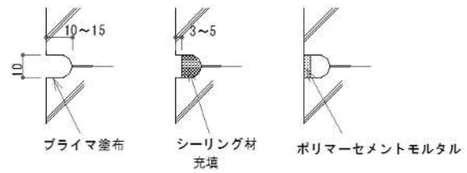
5）プライマー塗布後、ごみ・ほこり等が付着した場合又は当日充填が出来ない場合は再清掃し、プライマーを再塗布する。

6）プライマー塗布後、シーリング材を隅々まで行きわたるようにコーキングガンのノズルをUカット溝に当て、加圧しながら空隙、打残しがないように充填し、コンクリート表面から3～5㎜程度低めに充填し、充填後はへらで押え、下地と密着させて表面を平滑に仕上げる。

7）ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合わせて平滑に塗り込む。

④ 確　　認

シーリング材の充填状況を目視により確認する。



図－5　Uカットシーリング材充填工法

7. その他

① 以下の場合については、監督員と協議の上工法を決定すること。

イ）構造耐力に関するコンクリートの劣化ある場合

ロ）漏水がある場合

ハ）その他、施工方法について、判断出来ない箇所が発見された場合

② 発注時の外壁改修数量は推計値によるものである。

③ **石綿含有仕上塗材の高圧洗浄にあたっては、粉じん飛散防止のため、高圧水洗工法（15MPa 以下）とすること。**

※1　通常レベルの打撃力によってはく落する恐れのあるモルタル浮き

※2　通常レベルの打撃力によってはく落する恐れのないモルタル浮き

坂元中学校校舎2号棟長寿命化改良その他本体工事	
外壁改修工事特記仕様書（2）	A-08
鹿児島市建設局建築部建築課 Ver.R70401	

既存建物概要		工事概要
工事名称	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	□長寿命化改良工事
工事場所	鹿児島市玉里団地三丁目45番2号	外部　：　外壁改修工事（全面塗替え）
用途地域	第１種中高層住居専用地域（200 / 60）	内部　：　内装(床・壁・天井・各下地)の改修工事
防火地域	法22条地域	内部間仕切り壁、家具等の改修工事
主要用途	中学校	
構造/階数	鉄筋コンクリート造　4階建	
改修面積	特別教室棟　1.474.40㎡　管理教室棟　210.78㎡	
増築面積	ＥＶ 149.40㎡+渡り廊下	□環境対策工事
		開口部：　各階全面窓ガラスの取替え
工事種目	長寿命化改良工事+エレベーター設置工事	（アタッチメント付ペアガラスの採用）
	※大規模の修繕、大規模の模様替えには該当せず	
	※設備工事は別途	

工事区分（電気設備、給排水設備、空気調和設備工事は別途工事）

	工事項目	建築工事	電気設備工事	給排水設備工事	空気調和設備工事
1	仮囲い	○			
2	仮設仕切壁	○			
3	外部仮設足場	○			○
4	屋外仮設流し設置（配管共）			○	
5	外壁改修（塗装改修）	○			
6	室内仕切壁	○			
7	天井改修	○			
8	天井点検口	○			
9	同上天井開口補強	○			
10	1階土間ハツリ・復旧	○			
11	電気配電盤用開口ハツリ	○			
12	衛生器具面台	○			
13	アルミパネル改修	○			
14	衛生器具（補強裏板共）			○	
15	給湯器撤去			○	
16	発信機・表示灯・消火ポンプ起動スイッチ		○		
17	発信機・表示灯・消火ポンプ起動スイッチ撤去後穴埋め補修	○			
18	分電盤撤去後の穴埋め補修	○			
19	スイッチ類撤去後の穴埋め補修		○		
20	換気設備（壁換気扇）		○		
21	換気設備（天井換気扇）				○
22	既設配管撤去後の配管貫通部穴埋め		○	○	○
23	屋外配管用犬走コンクリート及びアスファルトハツリ・復旧		○	○	○
24	空調室外機の基礎増打ち				○
25	実験台及び化学水栓、排水トラップ	○			
26	同上ガスコック、給排水配管接続			○	
27	調理台及び自在水栓、排水トラップ	○			
28	同上ガスコック、給排水配管接続			○	
29	ステンレス流し及び排水トラップ、水栓用開口	○			
30	同上水栓、給排水配管接続			○	
31	設備配管等防火区画貫通部分の耐火処理		○	○	○
32	屋内消火栓箱の新設、撤去			○	
33	同上壁ハツリ			○	
34	設備配管用コア抜き		○	○	○
35	衛生器具のコーキング処理			○	
36	ガス漏れ警報器			○	

◎内装仕上塗材等の除去について

１．分析状況

既存仕上塗材における石綿含有の有無

・　未調査（以下の既存仕上塗材について石綿含有の分析調査を行い、監督員に結果を報告すること。
石綿が含有されている場合は、施工範囲や工法等について監督員と協議すること。）
調査箇所（　　計　　か所）

・　調査済

⊙　有　　【使用箇所】　2号棟(特別教室棟)　　床：長尺ｼｰﾄ、ﾊﾟｯｹｰｼﾞﾌﾛｱ、壁：仕上塗材、天井：ﾊﾟﾙﾌﾟｾﾒﾝﾄ板
1号棟(管理教室棟)　外壁：ｱｸﾘﾙ系ﾘｼﾝ吹付面、壁：仕上塗材、天井：大平板
※使用箇所のとりこわし及び改修工事に先立ち、石綿含有仕上塗材の除去工事を行うこと。

・　無

２．法令等の遵守

大気汚染防止法、労働安全衛生法及び石綿障害予防規則、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令を遵守するとともに、関係機関等と協議を行い、必要に応じて手続き等を遺漏なく適正に行うこと。
大気汚染防止法、石綿障害予防規則に定められた事項を掲示板により公衆及び作業員の見やすい箇所に掲示すること。
また、必必要に応じて周辺住民等へ掲示等で周知すること。

３．事前調査

除去作業に先立ち、事前調査を実施し、結果について工事現場に備え置くとともに、発注者へ書面により説明を行うこと。

４．施工計画

除去作業に先立ち、施工計画書（除去作業管理組織図、除去作業方法、掲示方法、産業廃棄物処理方法等）を作成して監督員に提出すること。
施工計画にあたり、令和3年3月厚労省及び環境省作成「建築物等の解体等作業に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」及び令和3年3月環境省作成「石綿含有廃棄物等処理マニュアル(第3版)」を参考とすること。
作業従事者及び施設利用者等の安全に配慮するとともに、施設利用者等の活動に支障が生じないよう留意すること。

５．除去作業

1）共通事項

① 石綿作業主任者・・・処理作業にあたって石綿障害予防規則に基づき選任すること。
② 処理作業従事者・・・石綿障害予防規則に基づく特別の教育を受けた者とすること。
③ 作業を行う作業場所を、それ以外の作業を行う作業場所からビニールシート等で隔離し、立入禁止措置を講ずること。
④ 除去作業後、石綿作業主任者が目視により取り残しがないことを確認すること。
⑤ 隔離の解除に当たっては、あらかじめ隔離空間の内部をHEPAフィルター付真空掃除機で清掃すること。
⑥ 除去した仕上・下地塗材及び養生材、保護具等は、排出形態に応じて適切に保管・運搬・処分を行うこと。

2）除去作業

① 除去工法は、以下の　　処理工法とすること。それ以外の工法とする場合は監督員と協議すること。
・剥離剤併用手工具ケレン工法
・集じん装置付きディスクグラインダーケレン工法
② 使用する剥離剤については環境配慮型とし、使用前に事前試験を行い、適正条件を確認してから本施工すること。

６．その他

除去作業中に以下の表に基づき石綿粉塵濃度を測定すること。

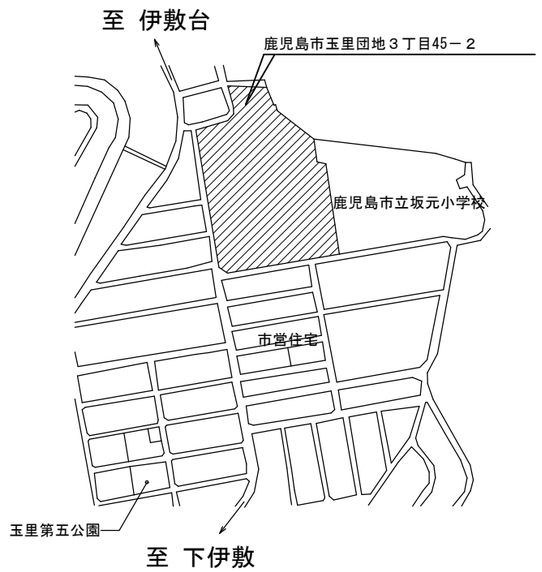
防火材料・不燃材料等一覧表

名称		品質・規格・寸法など	認定番号
１時間耐火間仕切り壁		LGS(W=100)下地 強化石膏ボード t=12.5の上、けい酸カルシウム板 t=6.0	FP060NP-0384(1)・(2) （ケイカル板：NM-2773）
不燃・準不燃材料	けい酸カルシウム板（ケイカル板）	t=6.0、t=8.0　（無石綿）	NM-2773（同等品以上）
	石膏ボード（不燃）	t=12.5	NM-8619（同等品以上）
	石膏ボード（準不燃）	t=9.5	QM-9828（同等品以上）
	耐水石膏ボード（準不燃）	t=9.5、t=12.5	QM-9826（同等品以上）
塗料		EP、EP-G、SOP	基材同等　第0001号

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	工事概要・工事区分表 石綿含有材撤去特記仕様書	NO.SCALE	Ａ－０９
	鹿児島市建設局建築部建築課		

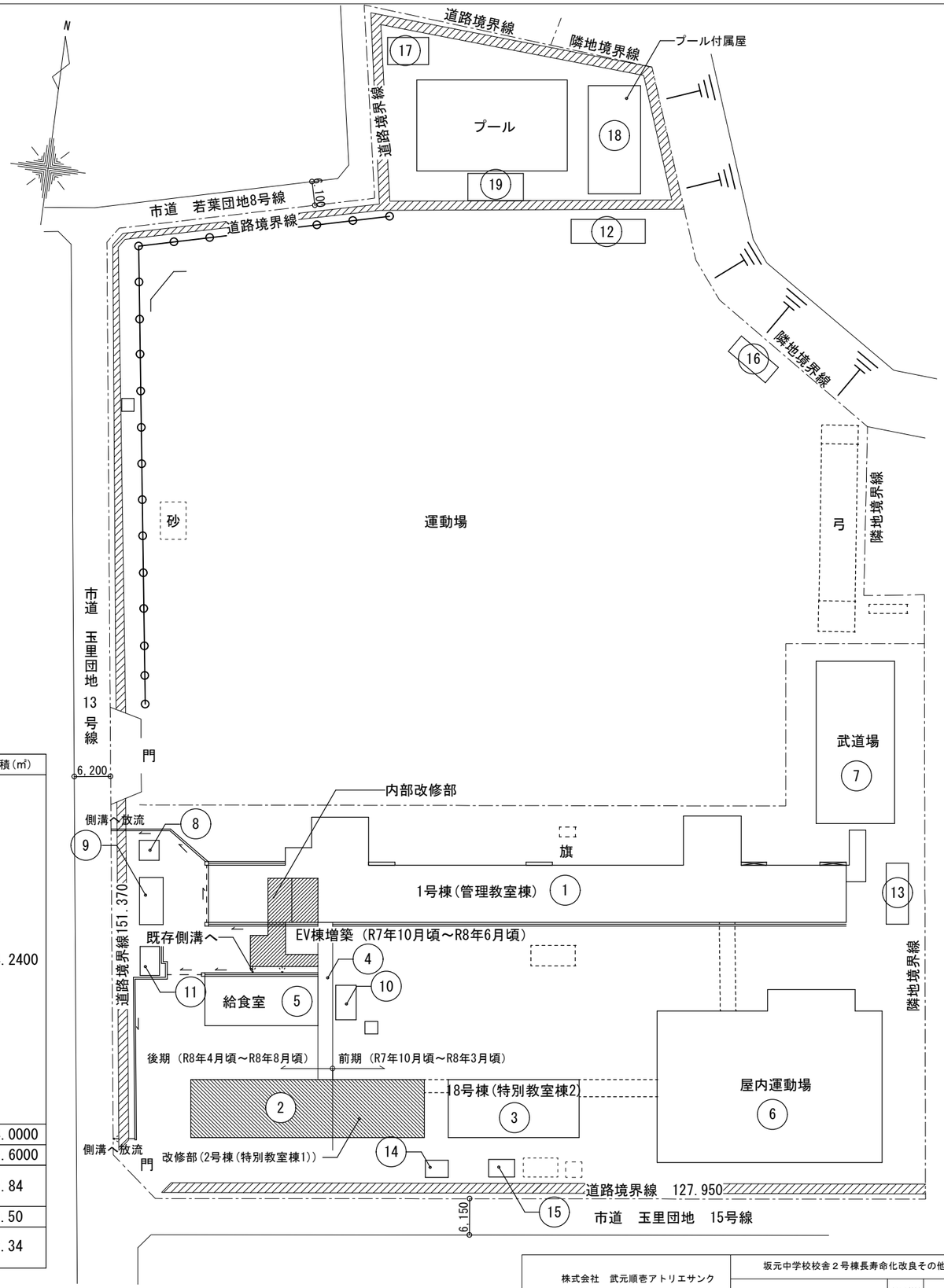
建築概要				
工事名称	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事			
地名地番	鹿児島市玉里団地2681-38			
都市計画区域の内外	都市計画区域内			
防火地域	指定なし			
その他の区域、地域	22条地域			
敷地面積	21.780 ㎡			
用途地域	第１種中高層住居専用地域（200 / 60）			
容積率	8011.40㎡ / 21780.0㎡ × 100 ＝ 36.79% ＜ 200% …ＯＫ			
建ペイ率	3357.34㎡ / 21780.0㎡ × 100 ＝ 15.42% ＜ 60% …ＯＫ			
主要用途	中学校			
工事種別	増　築			
	EV増築棟	管理教室棟	既存部分	合　計
延床面積	149.40㎡	3,773.66㎡	7891.00㎡	8040.40㎡
	3.923.06㎡			
建築面積	49.50㎡	1,270.89㎡	3307.84㎡	3357.34㎡
	1.320.39㎡			
高　さ	15.580 m	15.580 m		
軒　高	14.980 m	15.130 m		
階　数	４階	４階		
構　造	鉄骨造	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造		
備　考	・配管設備は、建築基準法施行令第129条の2の5に基づき施工する。			
	・高圧ガス保安法第24条に基づき施工する。			
	・水道法施行令第5条に基づき施工する。			
	・電気設備については、電気事業法により施工する。			
	・下水道については、『下水道法第10条第1項及び第3項に基づき施工する。』			
	・道路幅員、崖、敷地の高低差、方位については現場調査済み。			
	・CB塀等の安全性の確認等実施要領の対象となるCB塀等は無い。			

附近見取図



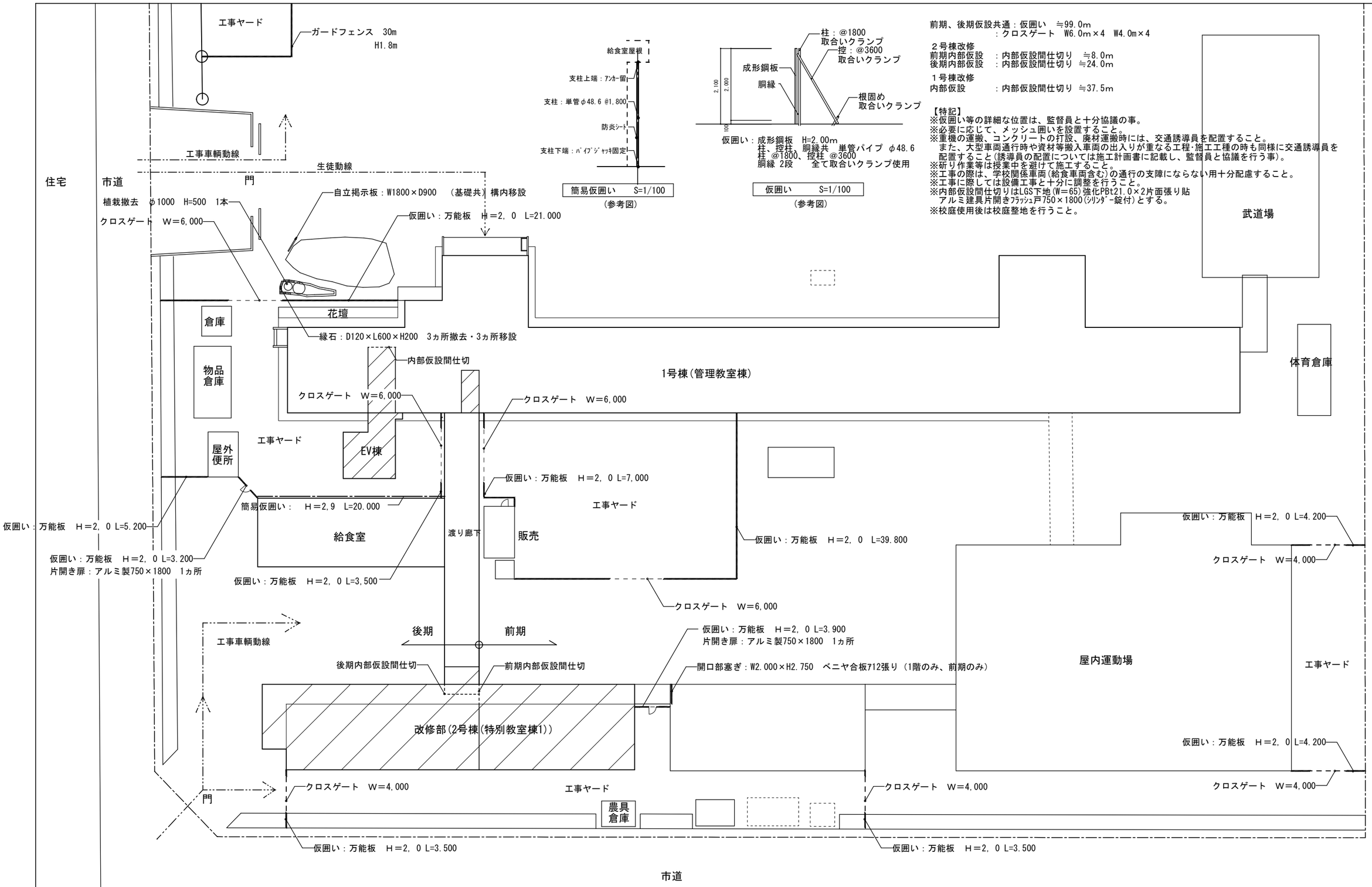
面積表

符号	棟名	延べ面積(㎡)	建築面積(㎡)
①	1号棟(管理教室棟)	3773.6600	3224.2400
②	2号棟(特別教室棟1)	1474.4000	
③	18号棟(特別教室棟2)	826.5000	
④	渡り廊下	0.0000	
⑤	給食棟	150.4000	
⑥	屋内運動場	1015.9500	
⑦	武道場	349.7000	
⑧	倉庫	10.0000	
⑨	物品倉庫	29.0600	
⑩	販売	19.2600	
⑪	屋外便所	15.4000	
⑫	体育倉庫１	46.7700	
⑬	体育倉庫２	35.0000	
⑭	農具倉庫	9.9400	
⑮	楽焼釜庫	11.0000	
⑯	更衣室	28.0000	
⑰	プール機械室	10.3600	
⑱	プール付属棟	68.0000	74.0000
⑲	屋根付休憩所	17.6000	9.6000
既存面積合計		7891.00	3307.84
	EV棟増築	149.40	49.50
改修後面積合計		8040.40	3357.34



配置図　S=1：800

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	建築概要・附近見取図・配置図	A1:1/400 A3:1/800
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－１０



凡例

工事範囲を示す。

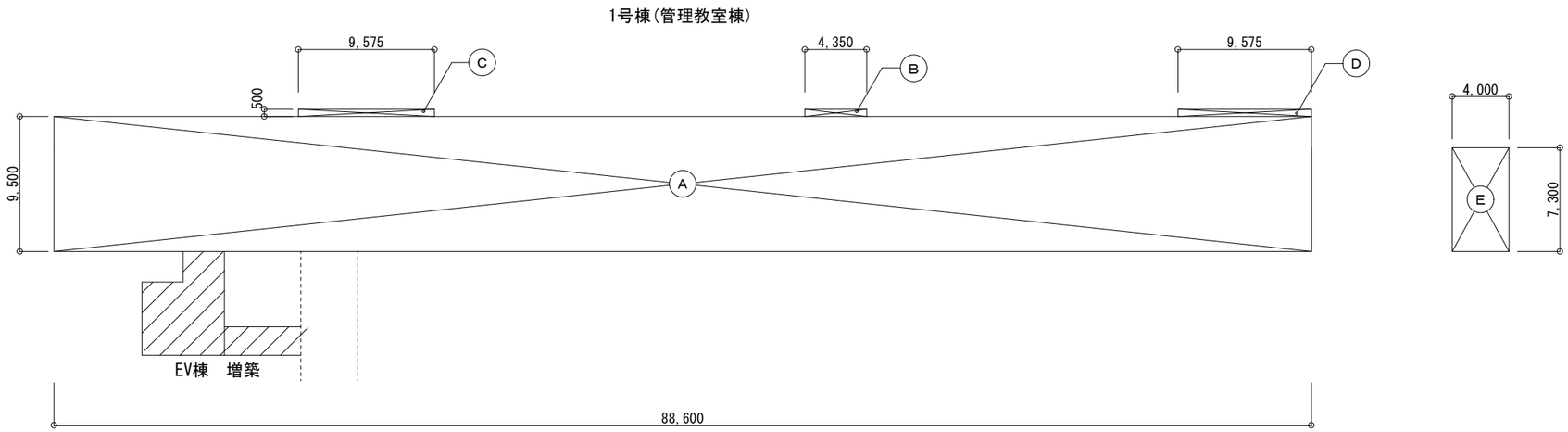
市営住宅

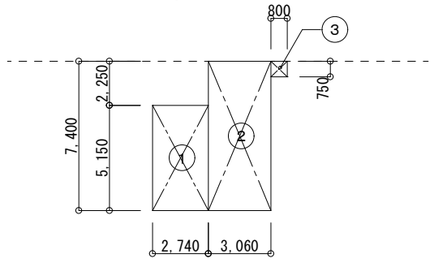
仮設計画図 S=1：400

株式会社 武元順壱アトリエサンク 一級建築士 第 231917 号 武元 順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	仮設計画図	A1：1/200 A3：1/400
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－１１

２．３．４階面積算定表

塔屋階面積算定図

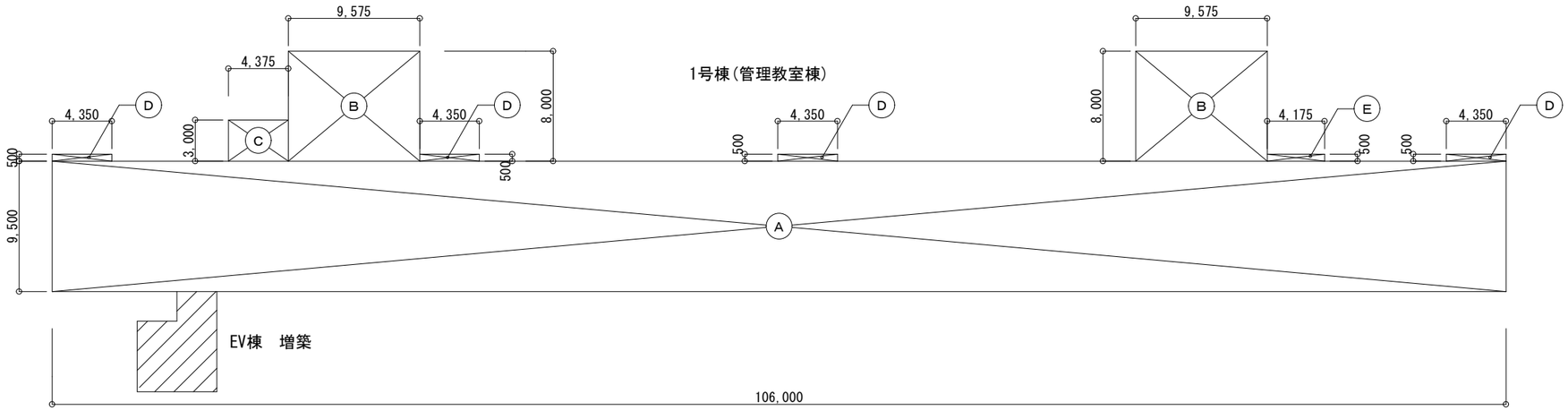


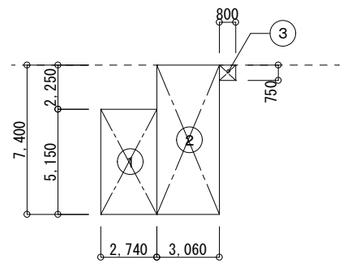


増築部　EV棟　床面積表　　1：300

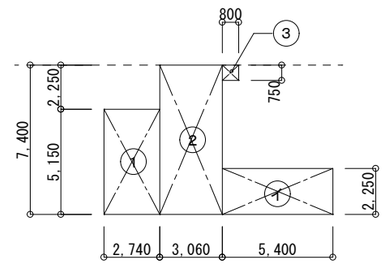
		床面積	
		計算式	㎡
既存管理教室棟	A	88.600 × 9.500 × 1 ＝	841.7000
	B	4.350 × 0.500 × 1 ＝	2.1750
	C	9.575 × 0.500 × 1 ＝	4.7875
	D	9.575 × 0.500 × 1 ＝	4.7875
	E	4.000 × 7.300 × 1 ＝	29.2000
増築部	1	2.740 × 5.150 × 1 ＝	14.1110
	2	3.060 × 7.400 × 1 ＝	22.6440
	3	0.800 × 0.750 × 1 ＝	0.6000

１階面積算定表





増築部　EV棟　床面積表　　1：300



増築部　EV棟　建築面積表　　1：300

		床面積	
		計算式	㎡
既存管理教室棟	A	106.000 × 9.500 × 1 ＝	1007.0000
	B	9.575 × 8.000 × 2 ＝	153.2000
	C	4.375 × 3.000 × 1 ＝	13.1250
	D	4.350 × 0.500 × 4 ＝	8.7000
	E	4.175 × 0.500 × 1 ＝	2.0875
増築部	1	2.740 × 5.150 × 1 ＝	14.1110
	2	3.060 × 7.400 × 1 ＝	22.6440
	3	0.800 × 0.750 × 1 ＝	0.6000
	イ	5.400 × 2.250 × 1 ＝	12.1500

床面積算定表

	EV増築部床面積	管理教室棟床面積	合　計
塔屋面積		29.20 ㎡	29.20 ㎡
4階床面積	37.35 ㎡	853.45 ㎡	890.80 ㎡
3階床面積	37.35 ㎡	853.45 ㎡	890.80 ㎡
2階床面積	37.35 ㎡	853.45 ㎡	890.80 ㎡
1階床面積	37.35 ㎡	1184.11 ㎡	1.221.46 ㎡
延べ床面積	149.40 ㎡	3,773.66 ㎡	3.923.06 ㎡
建築面積	37.35 ㎡		
渡り廊下建築面積	12.15 ㎡		
建築面積合計	49.50 ㎡		

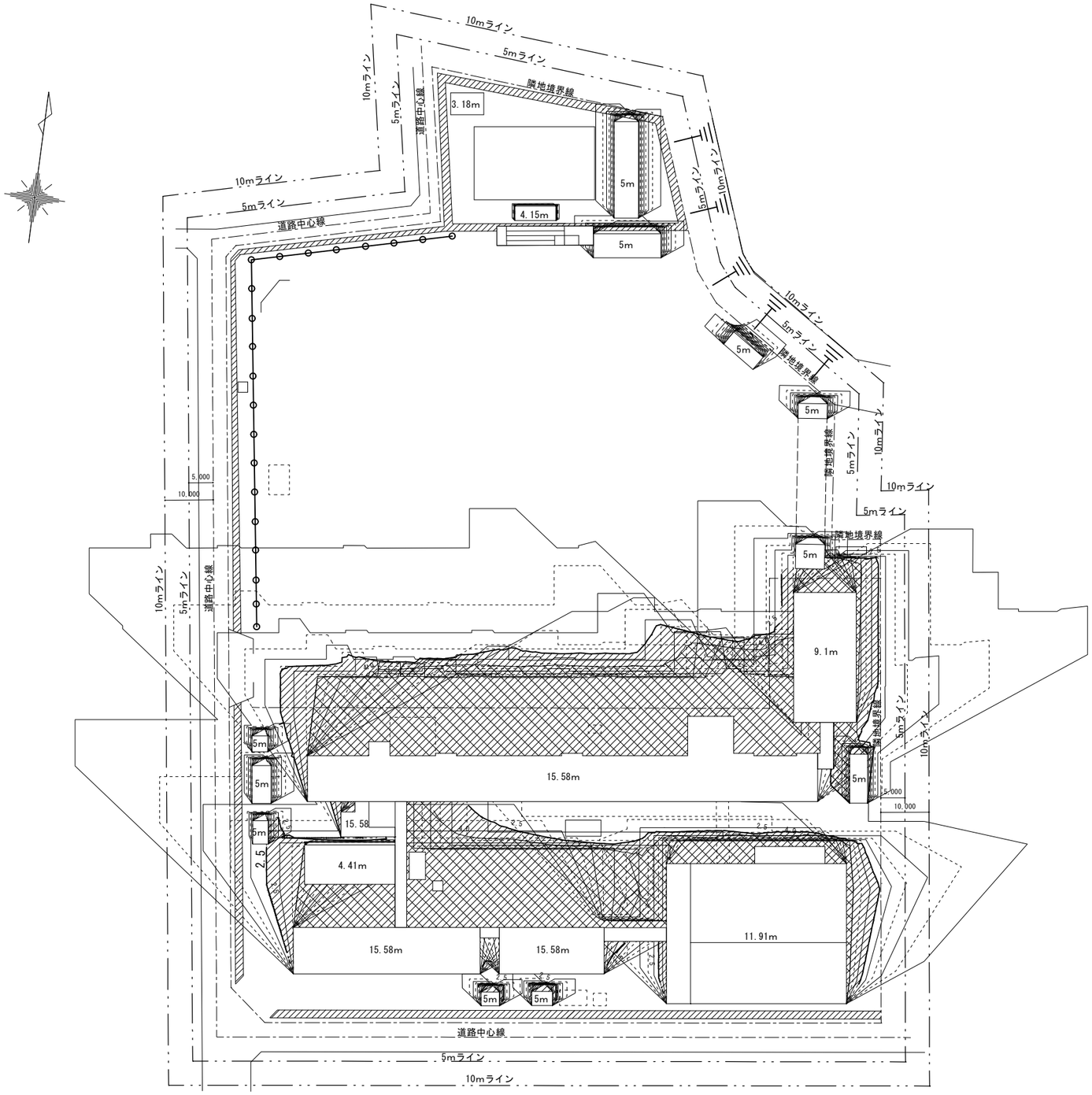
株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第 231917　号
武元　順一

坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

面積表　A1：1/150.200　A3：1/300.400

鹿児島市建設局建築部建築課

Ａ－１２



影倍率表　[測定高 4.0m][冬至]

時 刻	太陽　高度	太陽方位角	影長倍率
8:00	10°30'	-53°54'	5.396
8:30	15°30'	-49°03'	3.607
9:00	20°07'	-43°42'	2.729
9:30	24°18'	-37°47'	2.215
10:00	27°55'	-31°16'	1.887
10:30	30°54'	-24°09'	1.671
11:00	33°07'	-16°28'	1.533
11:30	34°29'	-8°21'	1.456
12:00	34°57'	0°00'	1.431
12:30	34°29'	8°21'	1.456
13:00	33°07'	16°28'	1.533
13:30	30°54'	24°09'	1.671
14:00	27°55'	31°16'	1.887
14:30	24°18'	37°47'	2.215
15:00	20°07'	43°42'	2.729
15:30	15°30'	49°03'	3.607
16:00	10°30'	53°54'	5.396

４時間日影

２．５時間日影

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	日影図	A1:1/500 A3:1/1000	Ａ－１３
	鹿児島市建設局建築部建築課		

特記事項

・内装の仕上げに用いる建築材料は、全てＦ☆☆☆☆を使用する
・法37条の指定建築材料は、全て日本工業規格又は、日本農林規格に適合したものを使用する。

1.LGS壁は、特記なき限り防火上主要な間仕切り部はW＝100、それ以外は平面詳細図による。
2.内部ボード目地処理で、ケイ酸カルシウム板は面取りの上突き付け張り、GB-R（仕上げ材）はベベルエッジ現しとする。
3.内部仕上げ壁のケイ酸カルシウム板突合せ部は面取を行うこと。
4.外部コンクリート土間は特記なき限り2%勾配とする。
5.内部木部は特記なき限りＣＬ塗装とする。内部鉄部は特記なき限りSOP塗りとする。
6.天井下地は全てLGSとする。
7.犬走以外の外部土間コンは、特記以外t=120再生砕石+t=150　D10@200(タテ、ヨコ共）ダブル、チドリとする。
8.ステンレスは外部は鏡面、内部はヘアラインとする。
9.床の仕上げ色はスロープ部分と平場部分で分けること。
10.改修工事に先立ち石綿含有材を除去すること。
11.4階天井裏には、グラスウール(24kg/m3)を充填すること。

外装仕上表（2号棟(特別教室棟1)　改修部）

笠木	改修前		巾木	改修前	モルタルｺﾃ押え	庇	改修前	アルミ製（アルミ製幕板）
	改修後	既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ可とう形改修塗材E(ﾛｰﾗ仕上げ)		改修後	既存高圧水洗浄の上DP塗装		改修後	アルミ製(アルミ製幕板)洗浄
壁	改修前	モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	竪樋	改修前	VU φ100 VP塗装	上裏	改修前	モルタル刷毛引 吹付タイル(エポキシ)
	改修後	既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ可とう形改修塗材E		改修後	下地調整の上DP(ポリウレタン系)塗装		改修後	既存高圧水洗浄の上 アクリル系軒天井用仕上塗材
柱型	改修前	モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	掴み金物	改修前	ステンレス製	軒裏	改修前	コンパネ打ち放し下地 厚肉アクリル系リシン吹付
	改修後	既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ可とう形改修塗材E		改修後	既存のまま		改修後	既存高圧水洗浄の上 アクリル系軒天井用仕上塗材
梁型	改修前	モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	手洗場	改修前	人研台		改修前	
	改修後	既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ可とう形改修塗材E		改修後	既存のまま		改修後	
パラペット	改修前	モルタル刷毛引　吹付タイル エポキシ仕上	庇	改修前	防水モルタルｺﾃ押え ｱｸﾘﾙ系吹付ﾀｲﾙ		改修前	
	改修後	既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ可とう形改修塗材E		改修後	既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E(ﾛｰﾗ仕上げ)		改修後	

内装仕上表（2号棟(特別教室棟1)　改修部）

位置	改修前後	室　名	床 下地	床	巾木	H	壁 下地	壁 腰壁	壁	天　井	CH	備　考
共通	改修前	階段室	ﾓﾙﾀﾙ	人造石金コテ押え　真鍮目地入り ライン：50角タイル貼　撤去	AEP塗装		RC		モルタルコテ押え VP塗装	天井：モルタル刷毛引き ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付		
	改修後	階段室	ﾓﾙﾀﾙ	下地調整の上、防滑性ビニル床シート張	下地補修の上 EP-G		RC		既存下地調整の上 EP-G	天井：既存下地調整の上 EP-G		
1階	改修前	廊下	ﾓﾙﾀﾙ	人造石金コテ押え　真鍮目地入り ライン：50角タイル貼　撤去	木製巾木 OP塗装 AEP塗装	90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 木製学校間仕切 撤去・ T1ベニヤ 75.5 OP塗装(木組下地・躯体・木胴縁共撤去)	軽天下地・パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装・化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ		掲示板
	改修後	廊下	ﾓﾙﾀﾙ	下地調整・緩衝材72.0下地の上 防滑性ビニル床シート張	ソフト 下地補修の上 EP-G	90	RC		既存下地調整の上 EP-G ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G	天井：軽天下地・化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5 梁型：既存下地調整の上 EP-G		
	改修前	技術室 (木工)	W	t=18 桧縁甲板貼　(木造床組下地共撤去)	木製巾木 OP塗装	90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 T1ベニヤ 75.5 OP塗装(木胴縁共撤去)	天井：軽天下地・パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	木製カーテンボックス：t=21 OP塗装 上下黒板3600×1800・棚 掃除具入れ・室名札
	改修後	技術室	W	乾式二重床＋構造用合板712mm二重張 緩衝材72.0下地 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張	ソフト	90	RC		既存下地調整の上 EP-G 木胴縁下地新設 PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G	天井：軽天下地・化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5 梁型：下地調整の上 EP-G塗装	3,060	既存流用：上下黒板3600×1800 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・額縁:下地調整の上 SOP塗装 新設：収納棚、掃除用具入、室名札、掲示板
	改修前	技術室 (金工)	W RC	t=18 桧縁甲板貼　(木造床組下地共撤去) コンクリート金コテ押え	木製巾木 OP塗装	90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 T1ベニヤ 75.5 OP塗装(木胴縁共撤去)	天井：軽天下地・パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	木製カーテンボックス：t=21 OP塗装 上下黒板3600×1800・棚 掃除具入れ・室名札・カウンター
	改修後	美術室	W RC	乾式二重床＋構造用合板712mm二重張 緩衝材72.0下地 ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張 レベル調整の上、 緩衝材72.0下地 ビニル床シート張	ソフト	90	RC		既存下地調整の上 EP-G 木胴縁下地新設 PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G	天井：軽天下地・化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5 梁型：下地調整の上 EP-G塗装	3,060	既存流用：上下黒板3600×1800 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・額縁:下地調整の上 SOP塗装 新設：収納棚、掃除用具入、SUS製流し台、室名札、掲示板 面台
	改修前	技術準備室	W RC	t=18 桧縁甲板貼　(木造床組下地共撤去) 一部：構造用合板ｔ15の上塩ビシートｔ2.5 モルタル金コテ押え	木製巾木 OP塗装	90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 PS廻り：ｺﾝｸﾘｰﾄ躯体共撤去 木製学校間仕切 撤去 T1ﾍﾞﾆﾔ 75.5 OP塗装(木胴縁共撤去)	天井：軽天下地・パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装・ｱﾙﾐ製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ 行事黒板2700×1200・棚・掃除具入れ・室名札
	改修後	技術準備室	W RC	乾式二重床＋構造用合板712mm二重張 緩衝材72.0下地 ビニル床シート張 流し台下 増打ちｺﾝｸﾘｰﾄ・モルタル 撤去・補修 の上構造用合板712mm二重張	ソフト	90	RC		既存下地調整の上 EP-G 木胴縁下地新設 PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G LGS壁下地 強化PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G 柱型：木胴縁下地 PB79.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G	天井：軽天下地・化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5 梁型：下地調整の上 EP-G塗装	3,060	既存流用　木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・木額縁:下地調整の上SOP塗装 額縁:アルミ額縁　既存のまま 新設　収納棚・掃除用具入・室名札・面台・既製品流し台
	改修前	技術準備室	W RC	t=18 桧縁甲板貼　(木造床組下地共撤去) 一部：構造用合板ｔ15の上塩ビシートｔ2.5 モルタル金コテ押え	木製巾木 OP塗装	90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 PS廻り：ｺﾝｸﾘｰﾄ躯体共撤去 木製学校間仕切 撤去 T1ﾍﾞﾆﾔ 75.5 OP塗装(木胴縁共撤去)	天井：軽天下地・パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装・ｱﾙﾐ製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ 行事黒板2700×1200・棚・掃除具入れ・室名札
	改修後	美術準備室	W	乾式二重床＋構造用合板712mm二重張 緩衝材72.0下地 ビニル床シート張	ソフト	90	RC		既存下地調整の上 EP-G 木胴縁下地新設 PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G LGS壁下地 強化PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G 柱型：木胴縁下地 PB79.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G	天井：軽天下地・化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5 梁型：下地調整の上 EP-G塗装	3,060	既存流用　ｱﾙﾐ製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ 既存のまま 額縁：下地調整の上　SOP塗装 新設　収納棚、掃除用具入、行事用黒板 2700×1200、 室名札、面台

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	仕上表１	NO.SCALE	Ａ－１４
	鹿児島市建設局建築部建築課		

内装仕上表

位置	改修前後	室　名	床 下地	床	巾木	H	壁 下地	壁 腰壁	壁	天　井	CH	備　考
1階	改修前	倉庫 (階段室)	RC	モルタルコテ押え					モルタル金コテ押え AEP塗装	モルタル金コテ押え AEP塗装		
	改修後	倉庫 (階段室)	RC	既存のまま					既存下地調整の上 EP-G	既存下地調整の上 EP-G		
2階	改修前	第１理科室	ﾓﾙﾀﾙ	塩ビシート t=2.5貼 モザイクタイル貼 流し下：モルタル金コテ押エ	木製巾木 OP塗装 ﾓﾙﾀﾙ	90 90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 木製学校間仕切 撤去･ T1ベニヤ 75.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	ﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装、暗幕ﾚｰﾙSUS (S)ﾚｰﾙ 窓手摺：ｽﾁｰﾙ：□-75×45×2.5　OP塗装 上下黒板3600×1800･棚･掃除具入れ･室名札
	改修後	第１理科室	ﾓﾙﾀﾙ	既存撤去後、ビニル床シート張	ソフト	90	RC		既存下地調整の上 EP-G 木胴縁下地新設 PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G LGS壁下地 強化PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G 柱型：木胴縁下地 PB79.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G	天井：軽天下地･化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5 梁型：下地調整の上 EP-G塗装	3,060	既存流用　上下黒板3600×1800、暗幕レール 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・木額縁・窓手摺:下地調整の上SOP塗装、 新設　収納棚･掃除用具入･実験台･教師用実験台 ･SUS製流し台･面台･室名札･掲示板
	改修前	第２理科室	ﾓﾙﾀﾙ	塩ビシート t=2.5貼 モザイクタイル貼 流し下：モルタル金コテ押エ	木製巾木 OP塗装 ﾓﾙﾀﾙ	90 90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 木製学校間仕切 撤去･ T1ベニヤ 75.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	ﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装、暗幕ﾚｰﾙSUS (S)ﾚｰﾙ 窓手摺：ｽﾁｰﾙ：□-75×45×2.5　OP塗装 上下黒板3600×1800･棚･掃除具入れ･室名札 面台:人研ぎ・TVハンガー:2台
	改修後	第２理科室	ﾓﾙﾀﾙ	既存撤去後、、ビニル床シート張	ソフト	90	RC		既存下地調整の上 EP-G 木胴縁下地新設 PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G LGS壁下地 強化PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G 柱型：木胴縁下地 PB79.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G	天井：軽天下地･化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5 梁型：下地調整の上 EP-G塗装	3,060	既存流用　上下黒板3600×1800、暗幕レール 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・木額縁・窓手摺:下地調整の上SOP塗装、 新設　収納棚･掃除用具入･実験台･教師用実験台 ･SUS製流し台･面台･室名札･掲示板
	改修前	理科準備室	ﾓﾙﾀﾙ	塩ビシート t=2.5貼 流し下：モルタル金コテ押エ	木製巾木 OP塗装 ﾓﾙﾀﾙ	90 90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 木製学校間仕切 撤去･ T1ベニヤ 75.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	ﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装･ｱﾙﾐ製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ 行事黒板2700×1200･棚･室名札・人研ぎ流し台 見切縁
	改修後	理科準備室	ﾓﾙﾀﾙ	既存撤去後、ビニル床シート張	ソフト	90	RC		既存下地調整の上 EP-G 木胴縁下地新設 PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G LGS壁下地 強化PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G 柱型：木胴縁下地 PB79.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G	天井：軽天下地･化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5 梁型：下地調整の上 EP-G塗装	3,060	既存流用　ｱﾙﾐ製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・額縁・手摺:下地調整の上 SOP塗装 新設　収納棚･掃除用具入･既製品流し台･面台･室名札 室名札･掲示板
	改修前	暗室	ﾓﾙﾀﾙ	モルタル金コテ押エ	ﾓﾙﾀﾙ　VP	90	RC W	モルタル金コテ押え AEP塗装 H=1000	T1ベニヤ 75.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	2,500	人研ぎ流し台
	改修後	理科準備室		仕様は理科準備室による					仕様は理科準備室による	仕様は理科準備室による		
	改修前	薬品庫	ﾓﾙﾀﾙ	モルタル金コテ押エ	木製巾木 OP塗装	90	RC W		T1ベニヤ 75.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	2,400	棚板
	改修後	理科準備室		仕様は理科準備室による					仕様は理科準備室による	仕様は理科準備室による		
	改修前	廊下	ﾓﾙﾀﾙ	人造石金コテ押え　真鍮目地入り ライン：50角タイル貼　撤去	木製巾木 OP塗装 AEP塗装	90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 木製学校間仕切 撤去･ T1ベニヤ 75.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装･化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ	2,750	掲示板
	改修後	廊下	ﾓﾙﾀﾙ	下地調整の上、防滑性ビニル床シート張	ソフト 下地補修の上 EP-G	90	RC		既存下地調整の上 EP-G ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G	天井：軽天下地･化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5	2,750	新設　掲示板
3階	改修前	家庭科室 (調理)	ﾓﾙﾀﾙ	塩ビシート t=2.5貼 モザイクタイル貼	木製巾木 OP塗装 ﾓﾙﾀﾙ	90 90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 木製学校間仕切 撤去･ T1ベニヤ 75.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	ﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装 窓手摺：ｽﾁｰﾙ：□-75×45×2.5　OP塗装 上下黒板3600×1800 棚:掃除具入れ･室名札･調理台
	改修後	家庭科室 (被服)	ﾓﾙﾀﾙ	下地調整の上、ビニル床シート張	ソフト	90	RC		既存下地調整の上 EP-G 木胴縁下地新設 PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G LGS壁下地 強化PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G 柱型：木胴縁下地 PB79.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G	天井：軽天下地･化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5 梁型：下地調整の上 EP-G塗装	3,060	既存流用　上下黒板3600×1800 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・額縁・手摺:下地調整の上 SOP塗装 新設　収納棚、掃除用具入、SUS製流し台、面台、 室名札、掲示板、洗濯機ﾊﾟﾝ架台
	改修前	家庭科室 (被服)	ﾓﾙﾀﾙ	塩ビシート t=2.5貼 モザイクタイル貼	木製巾木 OP塗装 ﾓﾙﾀﾙ	90 90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 木製学校間仕切 撤去･ T1ベニヤ 75.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	ﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装 窓手摺（一部撤去）：ｽﾁｰﾙ：□-75×45×2.5　OP塗装 上下黒板3600×1800 棚:掃除具入れ･室名札･調理台
	改修後	家庭科室 (調理)	ﾓﾙﾀﾙ	下地調整の上、ビニル床シート張	ソフト	90	RC		既存下地調整の上 EP-G 木胴縁下地新設 PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G LGS壁下地 強化PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G 柱型：木胴縁下地 PB79.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G	天井：軽天下地･化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5 梁型：下地調整の上 EP-G塗装	3,060	既存流用　上下黒板3600×1800 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・額縁・手摺:下地調整の上 SOP塗装 新設　収納棚、掃除用具入、SUS製流し台、面台、 室名札、掲示板、調理台
	改修前	家庭科準備室	ﾓﾙﾀﾙ	塩ビシート t=2.5貼 モザイクタイル貼	木製巾木 OP塗装 ﾓﾙﾀﾙ	90 90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 木製学校間仕切 撤去･ T1ベニヤ 75.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	ﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装 行事黒板2700×1200･棚･室名札･洗濯機ﾊﾟﾝ
	改修後	家庭科準備室	ﾓﾙﾀﾙ	既存撤去後、ビニル床シート張	ソフト	90	RC		既存下地調整の上 EP-G 木胴縁下地新設 PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G LGS壁下地 強化PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G 柱型：木胴縁下地 PB79.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G	天井：軽天下地･化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ79.5 梁型：下地調整の上 EP-G塗装	3,060	既存流用 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・額縁・手摺:下地調整の上 SOP塗装 新設　収納棚、掃除用具入、既製品流し台、面台、室名札 行事用黒板、洗濯機ﾊﾟﾝ架台、転落防止手摺

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	仕上表２	NO.SCALE	Ａ－１５
	鹿児島市建設局建築部建築課		

内装仕上表

位置	改修前後	室　名	床 下地	床	巾木	H	壁 下地	壁 腰壁	壁	天　井	CH	備　考
３階	改修前	廊下	ﾓﾙﾀﾙ	人造石金コテ押え　真鍮目地入り ライン：50角タイル貼　撤去	木製巾木 OP塗装 AEP塗装	90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 木製学校間仕切 撤去･ T1ベニヤ 7.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	2,750	緩降機BOX、フックφ70 掲示板
	改修後	廊下	ﾓﾙﾀﾙ	下地調整の上、防滑性ビニル床シート張	ソフト 下地補修の上 EP-G	90	RC		既存下地調整の上 EP-G ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G	天井：軽天下地･化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5	2,750	既存流用：緩降機BOX下地調整の上SOP塗装、フックφ70 新設　掲示板
４階	改修前	第１音楽室	ﾓﾙﾀﾙ	ニードルパンチカーペット貼	木製巾木 OP塗装	90	RC W		木製学校間仕切 撤去 有孔ﾍﾞﾆﾔ 7.5 OP塗装(木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･PB t=9.0 の上 t=9.0 吸音板貼 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装、暗幕レール 窓手摺：スチール：□-75×45×2.5 OP塗装 上下黒板3600×1800、棚、掃除具入れ、地図掛ﾚｰﾙ ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(S)、室名札
	改修後	第１音楽室	ﾓﾙﾀﾙ	既存撤去後、ビニル床シート張	木製巾木 OP塗装	90	RC		有効シナ合板(7)9 目透し張の上 CL LGS壁:(W=100)下地 強化PB厚12.5 +ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上有孔ｼﾅ合板(7)9 目透し張の上 CL (ｸﾞﾗｽｳｰﾙ寒冷紗押え厚50mm充填)	天井：軽天下地･PB 7.9.5 の上 岩綿吸音板7.9.0 貼 梁型：下地調整の上 EP-G塗装	3,060	既存流用　上下黒板3600×1800、暗幕レール 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・額縁・手摺:下地調整の上 SOP塗装
	改修前	第２音楽室	ﾓﾙﾀﾙ	ニードルパンチカーペット貼	木製巾木 OP塗装	90	RC		木製学校間仕切 撤去 有孔ﾍﾞﾆﾔ 7.5 OP塗装(木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･PB t=9.0 の上 t=9.0 吸音板貼 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装 窓手摺：スチール：□-75×45×2.5 OP塗装 上下黒板3600×1800、棚、掃除具入れ、地図掛ﾚｰﾙ 暗幕ﾚｰﾙ、室名札
	改修後	第２音楽室	ﾓﾙﾀﾙ	既存撤去後、ビニル床シート張	木製巾木 OP塗装	90	RC		有効シナ合板(7)9 目透し張の上 CL LGS壁:(W=100)下地 強化PB厚12.5 +ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上有孔ｼﾅ合板(7)9 目透し張の上 CL (ｸﾞﾗｽｳｰﾙ寒冷紗押え厚50mm充填)	天井：軽天下地･PB 7.9.5 の上 岩綿吸音板7.9.0 貼 梁型：下地調整の上 EP-G塗装	3,060	既存流用　上下黒板3600×1800、暗幕レール 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・額縁・手摺:下地調整の上 SOP塗装
	改修前	音楽準備室	ﾓﾙﾀﾙ	パッケージフロア貼 モザイクタイル貼	木製巾木 OP塗装	90	RC W		木製学校間仕切 撤去 有孔ﾍﾞﾆﾔ 7.5 OP塗装(木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･PB t=9.0 の上 t=9.0 吸音板貼 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装 窓手摺：スチール：□-75×45×2.5 OP塗装 行事黒板2700×1200･棚･室名札･面台
	改修後	音楽準備室	ﾓﾙﾀﾙ	既存撤去後、ビニル床シート張	ソフト	90	RC		PB厚9.5(GL工法)+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G LGS壁下地 強化PB厚12.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G 柱型：木胴縁下地 PB7.9.5+ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上EP-G	天井：軽天下地･化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5 梁型：下地調整の上 EP-G塗装	3,060	既存流用　木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ:下地調整の上 SOP塗装 木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ・額縁・手摺:下地調整の上 SOP塗装 新設　収納棚、掃除用具入、室名札、面台
	改修前	廊下	ﾓﾙﾀﾙ	人造石金コテ押え　真鍮目地入り ライン：50角タイル貼　撤去	木製巾木 OP塗装 AEP塗装	90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 木製学校間仕切 撤去･ T1ベニヤ 7.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	2,750	緩降機BOX、フックφ70 掲示板
	改修後	廊下	ﾓﾙﾀﾙ	下地調整の上、防滑性ビニル床シート張	ソフト 下地補修の上 EP-G	90	RC		既存下地調整の上 EP-G ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G	天井：軽天下地･化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5	2,750	既存流用：緩降機BOX下地調整の上SOP塗装、フックφ70 掲示板

株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第 231917　号
武元　順一

坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

仕上表３　NO. SCALE　Ａ－１６

鹿児島市建設局建築部建築課

特記事項

・内装の仕上げに用いる建築材料は、全てＦ☆☆☆☆を使用する
・法37条の指定建築材料は、全て日本工業規格又は、日本農林規格に適合したものを使用する。

1.LGS壁は、特記なき限り防火上主要な間仕切り部はW＝100、それ以外は平面詳細図による。
2.内部ボード目地処理で、ケイ酸カルシウム板は面取りの上突き付け張り、GB-R（仕上げ材）はベベルエッジ現しとする。
3.内部仕上げ壁のケイ酸カルシウム板突合せ部は面取を行うこと。
4.外部コンクリート土間は特記なき限り2%勾配とする。
5.内部木部は特記なき限りＣＬ塗装とする。内部鉄部は特記なき限りSOP塗りとする。
6.天井下地は全てLGSとする。
7.犬走以外の外部土間コンは、特記以外t=120再生砕石+t=150　D10@200(タテ、ヨコ共）ダブル、チドリとする。
8.ステンレスは外部は鏡面、内部はヘアラインとする。
9.床の仕上げ色はスロープ部分と平場部分で分けること。
10.改修工事に先立ち石綿含有材を除去すること。
11.4階天井裏には、グラスウール(24kg/m3)を充填すること。

外装仕上表（EV増築棟）

屋根	EV棟：ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押エ　増打ｱ40（ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭφ6×150×150）ｳﾚﾀﾝ塗膜防水（X-1）立上り共 渡り廊下：防水ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押ｴ　増打40(ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭφ150×150×6)	巾木	EV棟：コンクリート打放し補修 渡り廊下（台柱）：コンクリート打放し補修	EXP.J	ＳＵＳ製既製品（床用） アルミ製既製品（壁・笠木）
笠木	EV棟：アルミ製既製品　W400 渡り廊下：コンクリート打放し下地調整(C-1)の上複層塗材Ｅ	床	渡り廊下：防水モルタルの上　防滑性ＶＳｔ2.5（屋外用）	柱・梁	渡り廊下：溶融亜鉛ﾒｯｷ処理
壁	EV棟：ALC板 ｱ120　下地処理(C-1)の上複層塗材Ｅ 渡り廊下：コンクリート打放し下地調整(C-1)の上複層塗材Ｅ	ドレイン	EV棟：鋳鉄製：横引きドレイン　φ100用（蓋あり） 渡り廊下：鋳鉄製：縦引きドレイン・中間ドレイン　φ100用（蓋あり）		
軒裏	EV棟：ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板　ｱ8.0張の上　アクリル系軒天用仕上塗材 渡り廊下：コンクリート打放し下地処理の上　アクリル系軒天用仕上塗材	竪樋	EV棟：VPφ100　ｶﾗｰ（掴み金物：ALC用SUS製掴み金物はさみ固定タイプ共@1,200以内、下がり止め@2,400以内）内部ｺｰﾝ式 渡り廊下：VPφ100　ｶﾗｰ（掴み金物：SUS製@1,200以内、下がり止め@2,400以内）内部ｺｰﾝ式		

内装仕上表（EV増築部）

位置	改修前後	室　名	床 下地	床	巾木	H	壁 下地	壁 腰壁	壁	天　井	CH	備　考
共通		ホール	RC (1F) ﾓﾙﾀﾙ	緩衝材ｱ2.0 防滑性ビニル床シート張	ソフト	90	LGS		主要間仕切壁 LGS(W=100)強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0 EP-G LGS(W=100)石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0 EP-G	化粧石膏ボードｱ9.5張り（準不燃）	2,250 ～ 2,500	床下点検口、床見切、EXP.J
		バリアフリー 車いす対応 トイレ	RC (1F) 防水 ﾓﾙﾀﾙ	緩衝材ｱ2.0 防菌・防滑性ＶＳビニル床シート	床材立上	100	LGS	ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板　ｱ3.0貼	主要間仕切壁 LGS(W=100)強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0 EP-G LGS(W=100.65)耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5 ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0 EP-G	化粧石膏ボードｱ9.5張り（準不燃）	2,400	床下点検口、壁点検口、面台
		EVﾋﾟｯﾄ	RC	コンクリート金コテ押エ ケイ酸質系塗布防水	ケイ酸質系 塗布防水		S LGS		外壁側：ALC　ｱ120縦張り 主要間仕切壁 LGS(W=100)強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0	吹付硬質ウレタンフォーム　ｱ50 鉄骨部材の上　ロックウール吹付		
		床下ﾋﾟｯﾄ	RC	コンクリート金コテ押エ（水勾配）	ソフト 下地補修の上 EP-G	90	RC		コンクリート打ち放し補修のまま	コンクリート打ち放し補修のまま		ステンレスタラップφ22、排水目皿SUS製φ50 水抜きパイプVPφ50

内装仕上表（1号棟(管理教室棟）改修）

位置	改修前後	室　名	床 下地	床	巾木	H	壁 下地	壁 腰壁	壁	天　井	CH	備　考
１階	改修前	主事室	ﾓﾙﾀﾙ	パッケージフロア貼	木製巾木 OP塗装	90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 T1ベニヤ ｱ5.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	2,750	
	改修後	主事室		既存のまま　一部補修	既存のまま 一部 ソフト	90	RC		既存のまま 一部　ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G	既存のまま　一部補修	2,750	
	改修前	事務倉庫	ﾓﾙﾀﾙ	パッケージフロア貼	木製巾木 OP塗装	90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 T1ベニヤ ｱ5.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	
	改修後	廊下	ﾓﾙﾀﾙ	既存撤去の上、防滑性ビニル床シート張	ソフト 下地補修の上 EP-G	90	RC		主要間仕切壁 LGS(W=100)強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0 EP-G LGS(W=100)石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0 EP-G	化粧石膏ボードｱ9.5張り（準不燃）	2,750	縦枠、コーナー見切縁（天井・壁）
共通	改修前	多目的(4F) 生徒会室(3F) 普通教室(2F)	W ﾓﾙﾀﾙ	化粧フローリング貼『3.4F』 パッケージフロア貼『2F』	木製巾木 OP塗装	90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 T1ベニヤ ｱ5.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	曲面黒板3600×1200、掲示板、テレビ台、掃除具入 ロッカー、給食棚、スチール手摺
	改修後	多目的（学習） (3F・4F) 倉庫(2F)		既存のまま　一部補修	既存のまま 一部 ソフト	90	RC		既存のまま 一部　ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G	化粧石膏ボードｱ9.5張り（準不燃） 梁型：下地調整の上　EP-G塗装	3,050	既存のまま：掃除具入、ロッカー、給食棚 既存流用：曲面黒板3600×1200、テレビ台、 新設：掲示板
	改修前	多目的(4F) 生徒会室(3F) 普通教室(2F)	W ﾓﾙﾀﾙ	化粧フローリング貼『3.4F』 パッケージフロア貼『2F』	木製巾木 OP塗装	90	RC W		モルタル金コテ押え AEP塗装 T1ベニヤ ｱ5.5 OP塗装(木組下地･躯体･木胴縁共撤去)	天井：軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装 梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装	3,050	曲面黒板3600×1200、掲示板、テレビ台、掃除具入 ロッカー、給食棚、スチール手摺
	改修後	廊下	ﾓﾙﾀﾙ	既存撤去の上、防滑性ビニル床シート張	ソフト 下地補修の上 EP-G	90	RC		主要間仕切壁 LGS(W=100)強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0 EP-G 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ厚12.5＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0 EP-G	化粧石膏ボードｱ9.5張り（準不燃）	2,750	縦枠、コーナー見切縁（天井・壁）

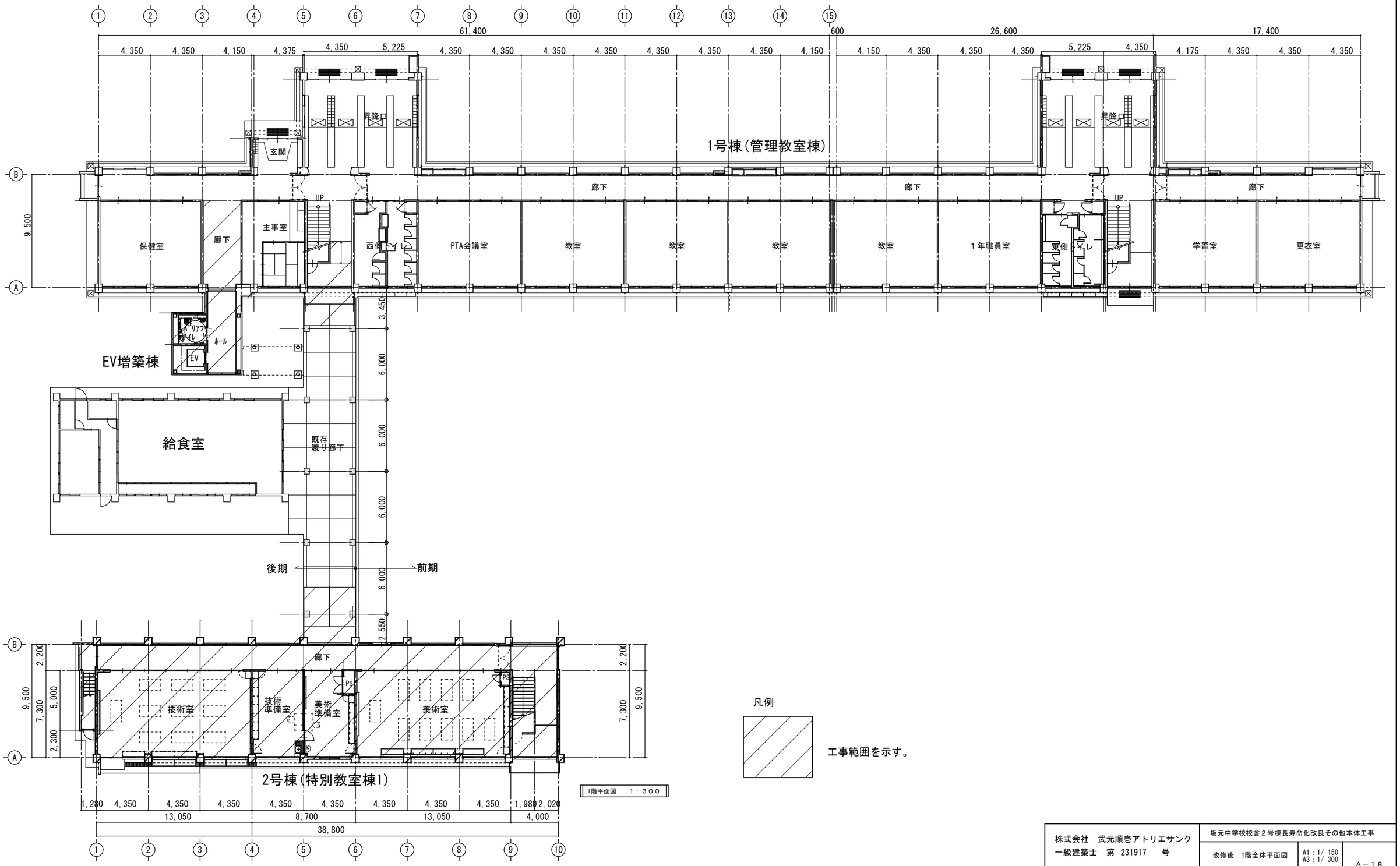
耐火構造

○ 柱　：鉄骨　吹付ロックウール ｱ25（1時間耐火）　FRO060BM-9460
○ 梁　：鉄骨　吹付ロックウール ｱ25（1時間耐火）　FRO060BM-9408
○ 床・屋根：デッキプレート（床1時間耐火）仕様は構造図による。
○ 外壁　：ALC版　ｱ120（1時間耐火）　H12　第1399号

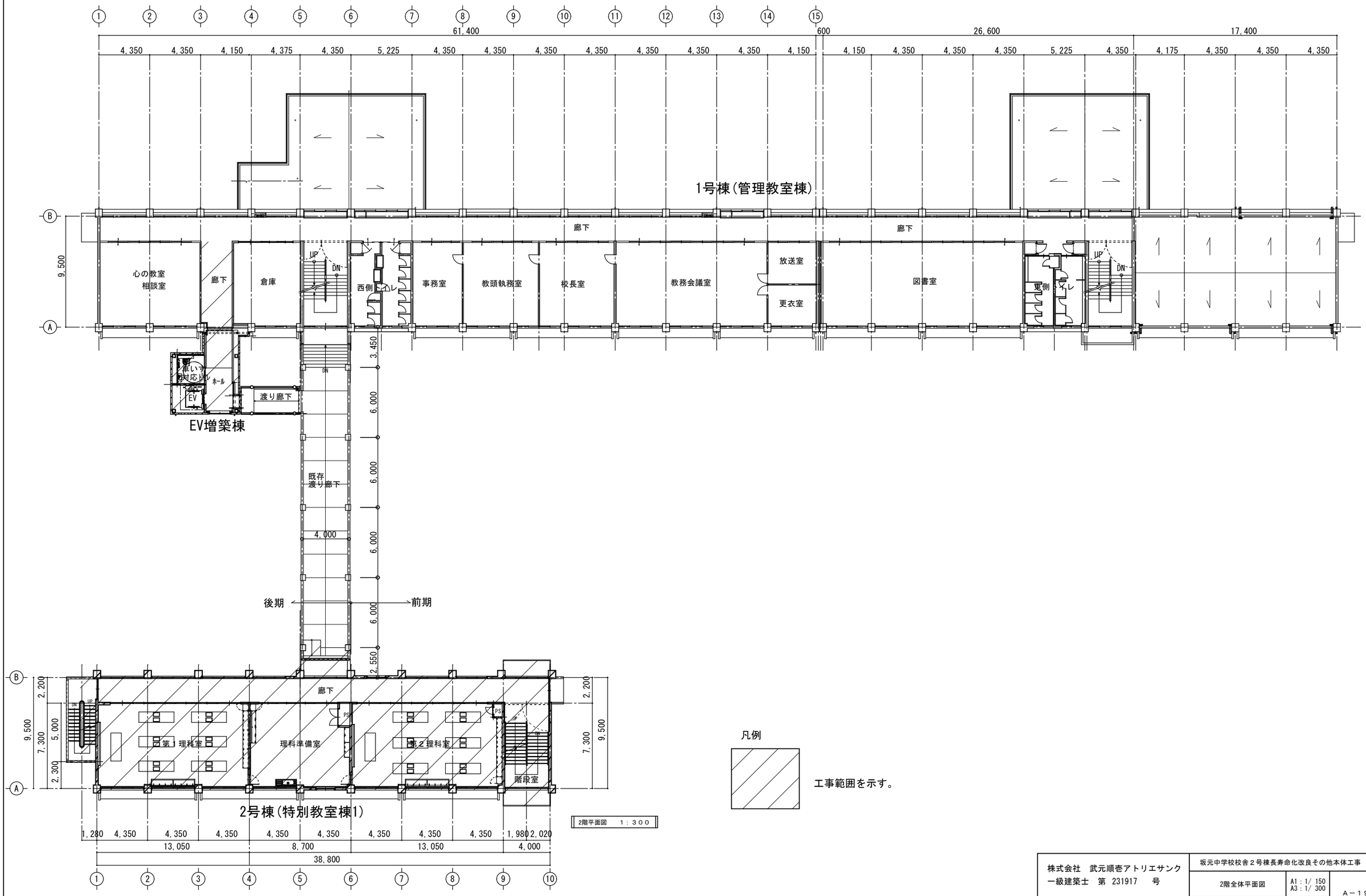
● 略記号
複層塗材Ｅ：合成樹脂エマルション系複層仕上げ塗り材　ＣＬ：クリアラッカー塗
ＥＰ-Ｇ　：艶あり合成樹脂エマルジョンペイント塗

株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第　231917　号
武元　順一

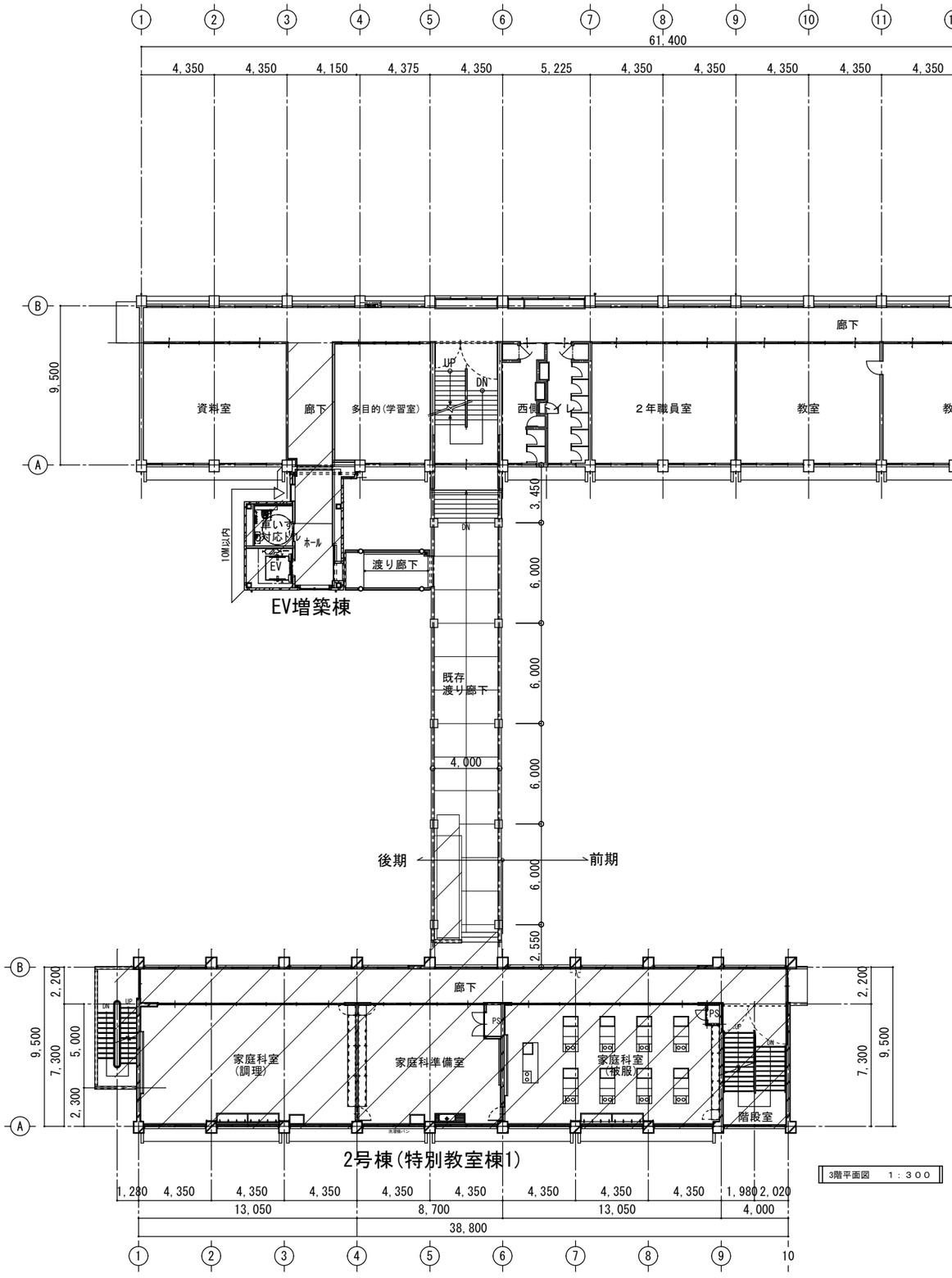
坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事
仕上表４　NO.SCALE　Ａ－１７
鹿児島市建設局建築部建築課



株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	改修後　1階全体平面図	A1：1/ 150 A3：1/ 300	Ａ－１８
	鹿児島市建設局建築部建築課		



株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	2階全体平面図	A1：1/ 150 A3：1/ 300	A－１９
	鹿児島市建設局建築部建築課		

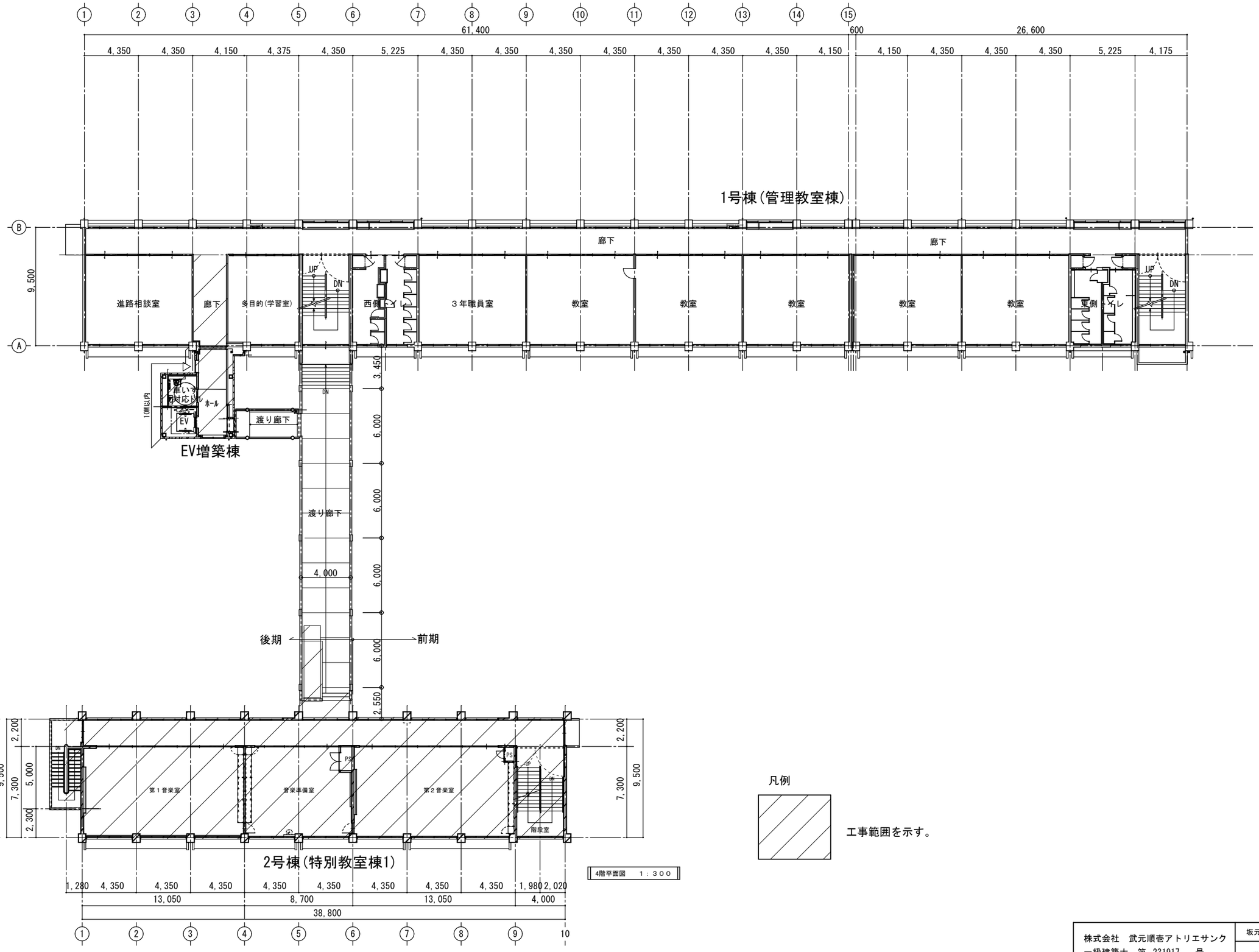


3階平面図　1：300

凡例

工事範囲を示す。

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	3階全体平面図	A1：1/ 150 A3：1/ 300
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－２０



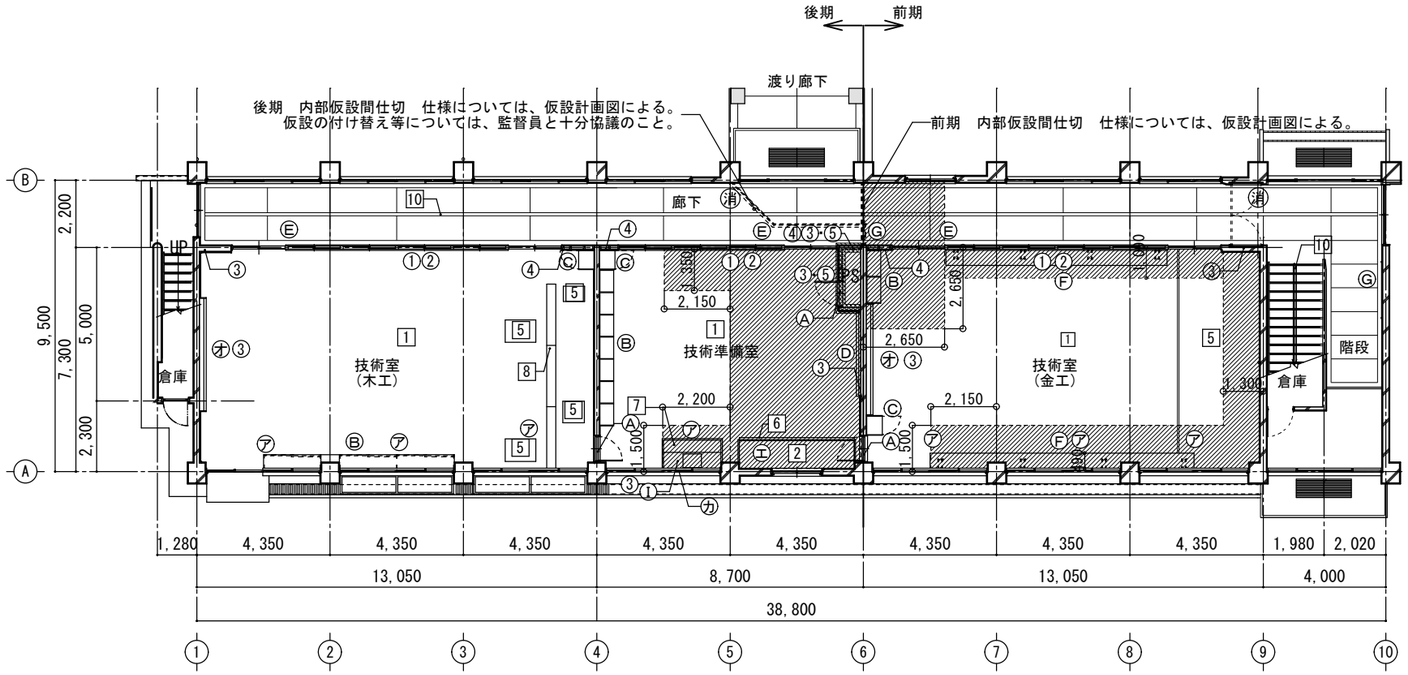
凡例

工事範囲を示す。

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	4階全体平面図	A1：1/ 150 A3：1/ 300
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－２１

改修前　1階平面図

	番号	部分名称
撤去	1	床：t=18 桧縁甲板貼(木造床組下地共)
撤去	2	床：構造用合板t=15の上 塩ビシートt=2.5張(木床組共)
撤去	3	床：パーケットフロア張
撤去	4	床：モザイクタイル張
撤去	5	床：ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押エ(レベル同準)
撤去	6	床：ステンレス見切 W=40
撤去	7	床：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押え
撤去	8	床下点検口 300×2000 3ヵ所
撤去	9	床：塩ビシート t 2.5貼
撤去	10	床：ライン　50角タイル貼
撤去	①	壁：木製学校間仕切　撤去
撤去	②	腰壁：T1ﾍﾞﾆﾔ 75.5 OP塗装(ｺﾝｸﾘｰﾄ・木下地共)
撤去	③	壁：T1ﾍﾞﾆﾔ 75.5 OP塗装(木胴縁共撤去)
撤去	④	壁：T1ﾍﾞﾆﾔ 75.5 OP塗装(木組下地・躯体共撤去)
撤去	⑤	壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ躯体共撤去
撤去	Ⓐ	木製建具･アルミ建具
撤去	Ⓑ	収納棚
撤去	Ⓒ	掃除具入
撤去	Ⓓ	行事用黒板
撤去	Ⓔ	室名札
撤去	Ⓕ	カウンター
撤去	Ⓖ	掲示板
撤去	Ⓗ	面台
撤去	Ⓘ	人研ぎ流し台
撤去	Ⓙ	TVハンガー
撤去	Ⓚ	調理台
撤去	Ⓛ	洗濯機ﾊﾟﾝ
撤去	Ⓜ	地図掛ﾚｰﾙ
撤去	Ⓝ	カーテンレール (S)
撤去	Ⓞ	窓手摺：スチール：ロ-75×45×2.5　OP塗装
撤去	Ⓟ	棚
既存流用	㋐	木製カーテンボックス：t=21 OP塗装
既存流用	㋑	窓手摺：スチール：ロ-75×45×2.5　OP塗装
既存流用	㋒	暗幕レールSUS (S)レール取外し。再取付。
既存流用	㋓	アルミ製カーテンボックス
既存流用	㋔	上下黒板
既存流用	㋕	アルミ額縁
既存流用	㋖	緩降機ボックス

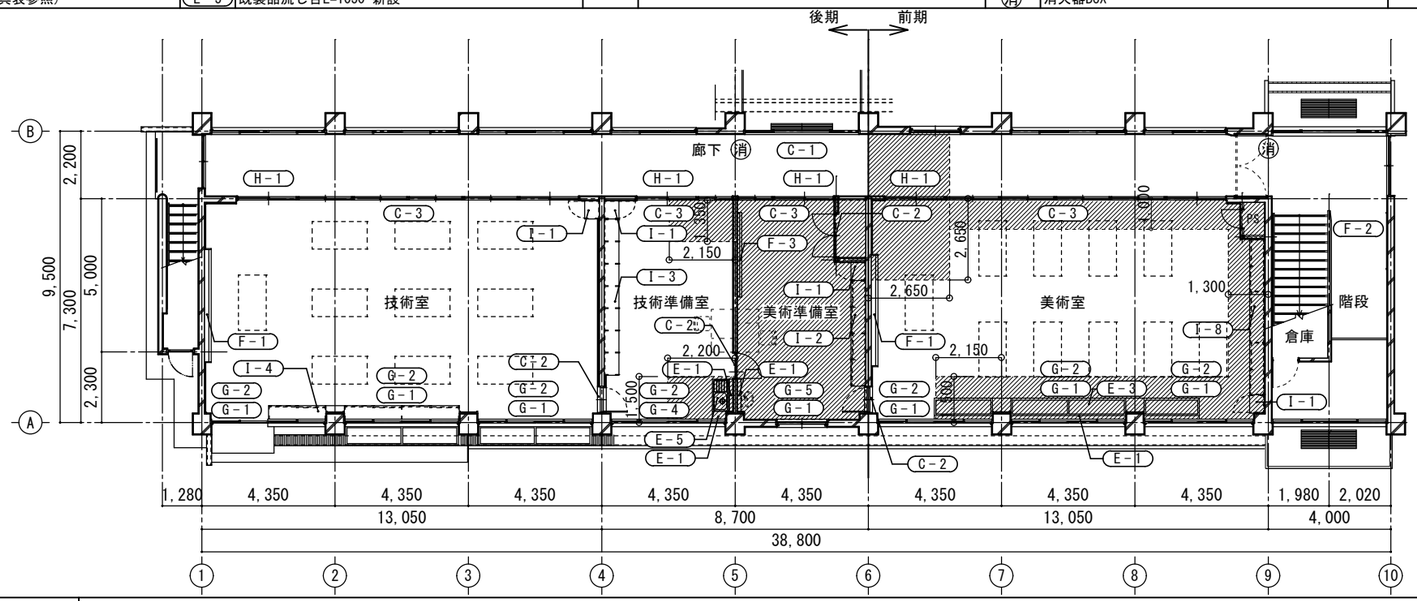


凡例

土間コンクリート撤去範囲を示す。

改修後　1階平面図

番号	部分名称
A-1	SUS床見切
C-1	アルミ建具 新設（建具表参照）
C-2	木製建具 新設（建具表参照）
C-3	木製学校間仕切 新設（建具表参照）
E-1	面台 新設
E-2	SUS製流し台 新設
E-3	SUS製流し台 新設
E-4	既製品流し台L=1800 新設
E-5	既製品流し台L=1050 新設
E-6	洗濯機ﾊﾟﾝ架台　新設
F-1	上下黒板 表面張り替え
F-2	掲示板新設
F-3	行事用黒板 新設
F-4	転落防止手摺・手摺受 新設
消	消火器BOX
G-1	既存額縁：下地調整の上　SOP塗装
G-2	既存木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装
G-3	既存手摺：下地調整の上　SOP塗装
G-4	既存ｱﾙﾐ製額縁：既存流用
G-5	既存ｱﾙﾐ製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：既存流用
G-6	既存暗幕レール(S)：既存流用
H-1	室名札
I-1	掃除具入れ
I-2	収納棚
I-3	収納棚
I-4	収納棚
I-5	収納棚
I-6	収納棚
I-7	収納棚
I-8	収納棚
I-9	収納棚
I-10	収納棚
I-11	収納棚
I-12	収納棚
I-13	収納棚
I-14	収納棚
J-1	実験台 新設
J-2	教師用実験台 新設
J-3	調理台 新設
J-4	教師用調理台 新設



凡例

土間コンクリート復旧範囲を示す。

凡　例			
	鉄筋コンクリートを示す	消	消火器(既存)
	LGSを示す	丸	丸環(既存)
	木間仕切を示す		

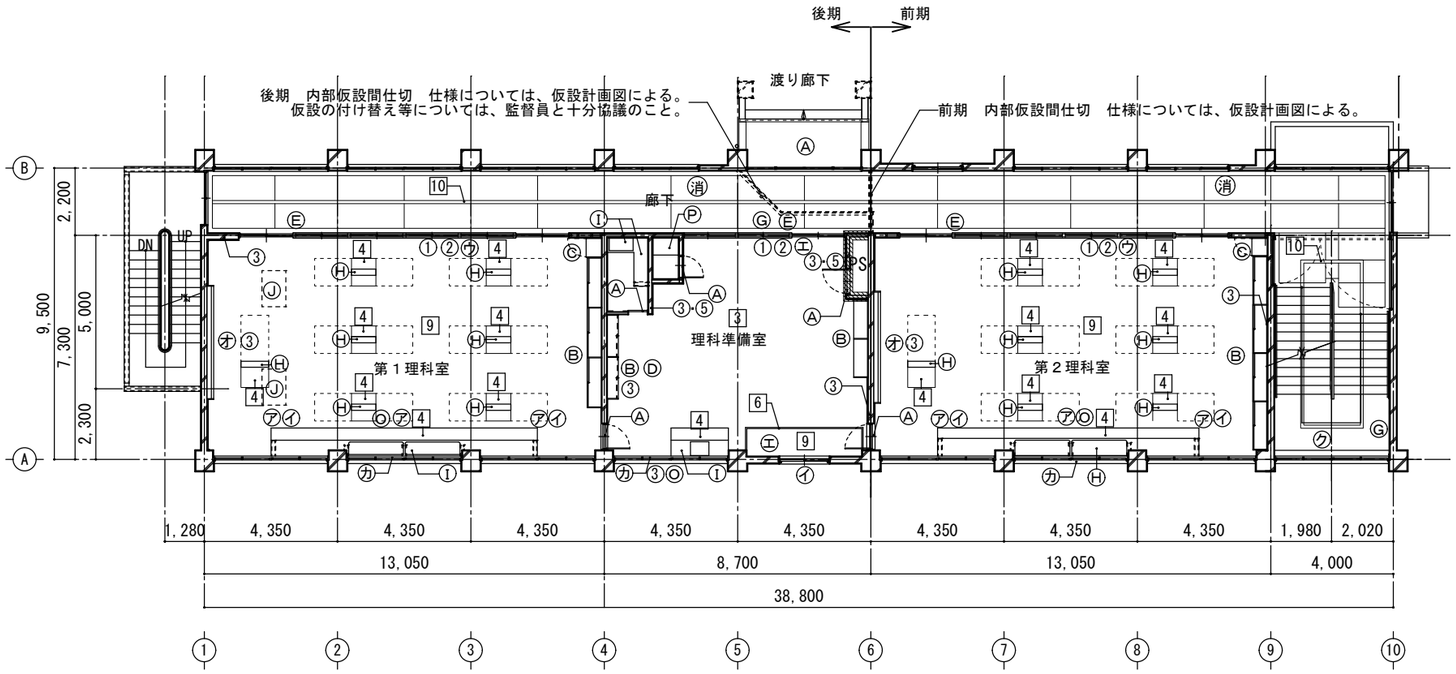
株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第 231917　号
武元　順一

坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

1階平面図	A1：1/ 100 A3：1/ 200	A－２２
鹿児島市建設局建築部建築課		

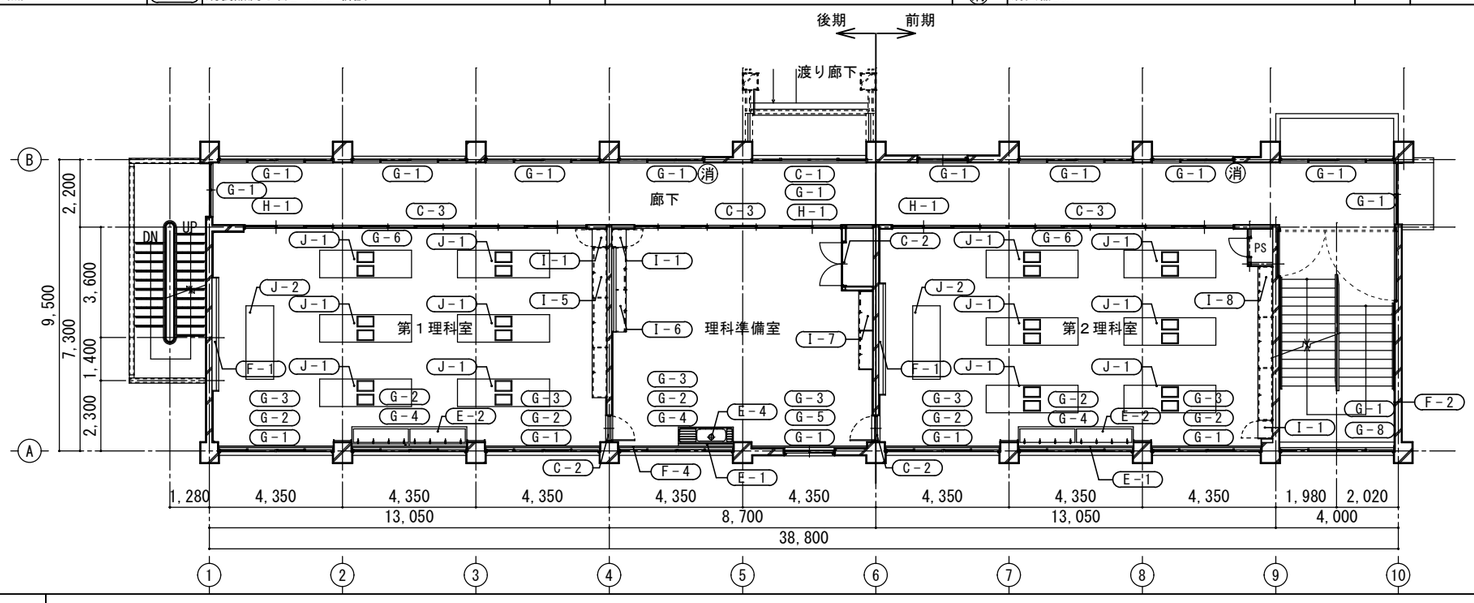
改修前　２階平面図

	番号	部分名称
撤去	1	床：t=18 桧縁甲板貼(木造床組下地共)
撤去	2	床：構造用合板t=15の上 塩ビシートt=2.5張(木床組共)
撤去	3	床：パーケットフロア張
撤去	4	床：モザイクタイル張
撤去	5	床：ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押エ(レベル同準)
撤去	6	床：ステンレス見切 W=40
撤去	7	床：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押え
撤去	8	床下点検口 300×2000 3ヵ所
撤去	9	床：塩ビシート t 2.5貼
撤去	10	床：ライン　50角タイル貼
撤去	11	床：ニードルパンチカーペット貼
撤去	①	壁：木製学校間仕切　撤去
撤去	②	腰壁：T1ﾍﾞﾆﾔ 75.5 OP塗装(ｺﾝｸﾘｰﾄ・木下地共)
撤去	③	壁：T1ﾍﾞﾆﾔ 75.5 OP塗装(木胴縁共撤去)
撤去	④	壁：T1ﾍﾞﾆﾔ 75.5 OP塗装(木組下地・躯体共撤去)
撤去	⑤	壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ躯体共撤去
撤去	Ⓐ	木製建具･アルミ建具
撤去	Ⓑ	収納棚
撤去	Ⓒ	掃除具入
撤去	Ⓓ	行事用黒板
撤去	Ⓔ	室名札
撤去	Ⓕ	カウンター
撤去	Ⓖ	掲示板
撤去	Ⓗ	面台
撤去	Ⓘ	人研ぎ流し台
撤去	Ⓙ	TVハンガー
撤去	Ⓚ	調理台
撤去	Ⓛ	洗濯機ﾊﾟﾝ
撤去	Ⓜ	地図掛ﾚｰﾙ
撤去	Ⓝ	カーテンレール (S)
撤去	Ⓞ	窓手摺：スチール：□-75×45×2.5　OP塗装
撤去	Ⓟ	棚
既存流用	㋐	木製カーテンボックス：t=21 OP塗装
既存流用	㋑	窓手摺：スチール：□-75×45×2.5　OP塗装
既存流用	㋒	暗幕レールSUS (S)レール取外し。再取付。
既存流用	㋓	アルミ製カーテンボックス
既存流用	㋔	上下黒板
既存流用	㋕	アルミ額縁
既存流用	㋖	緩降機ボックス
既存流用	㋗	面台：人研ぎ



改修後　２階平面図

番号	部分名称
A-1	SUS床見切
C-1	アルミ建具 新設（建具表参照）
C-2	木製建具 新設（建具表参照）
C-3	木製学校間仕切 新設（建具表参照）
E-1	面台 新設
E-2	SUS製流し台 新設
E-3	SUS製流し台 新設
E-4	既製品流し台L=1800 新設
E-5	既製品流し台L=1050 新設
E-6	洗濯機ﾊﾟﾝ架台　新設
F-1	上下黒板 表面張り替え
F-2	掲示板新設
F-3	行事用黒板 新設
F-4	転落防止手摺・手摺受 新設
消	消火器BOX
G-1	既存額縁：下地調整の上　SOP塗装
G-2	既存木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装
G-3	既存手摺：下地調整の上　SOP塗装
G-4	既存ｱﾙﾐ製額縁：既存流用
G-5	既存ｱﾙﾐ製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：既存流用
G-6	既存暗幕レール(S)：既存流用
G-7	緩降機BOX：下地調整の上　SOP塗装
G-8	面台：人研ぎ　既存のまま
H-1	室名札
I-1	掃除具入れ
I-2	収納棚
I-3	収納棚
I-4	収納棚
I-5	収納棚
I-6	収納棚
I-7	収納棚
I-8	収納棚
I-9	収納棚
I-10	収納棚
I-11	収納棚
I-12	収納棚
I-13	収納棚
I-14	収納棚
J-1	実験台 新設
J-2	教師用実験台 新設
J-3	調理台 新設
J-4	教師用調理台 新設



凡　例			
	鉄筋コンクリートを示す	消	消火器(既存)
	LGSを示す	丸	丸環(既存)
	木間仕切を示す		

株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第 231917　号
武元　順一

坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

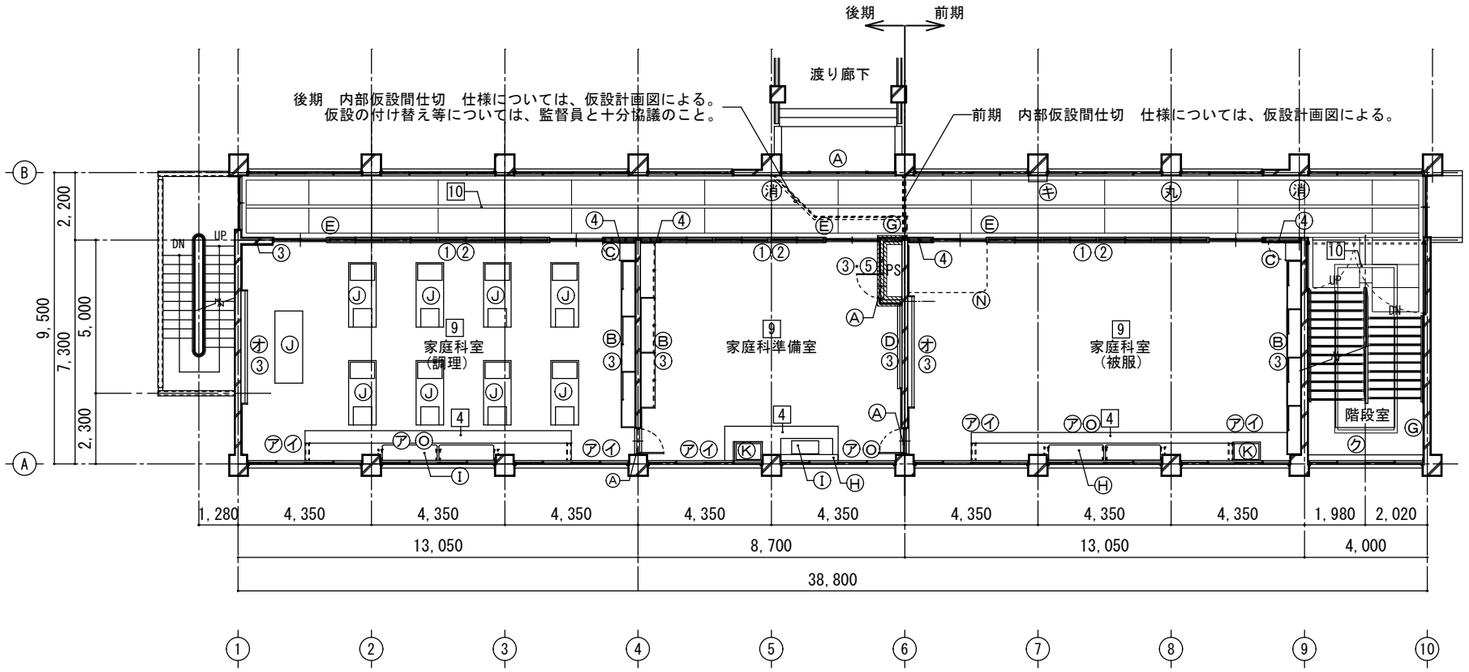
２階平面図　A1：1/ 100　A3：1/ 200

鹿児島市建設局建築部建築課

A－２３

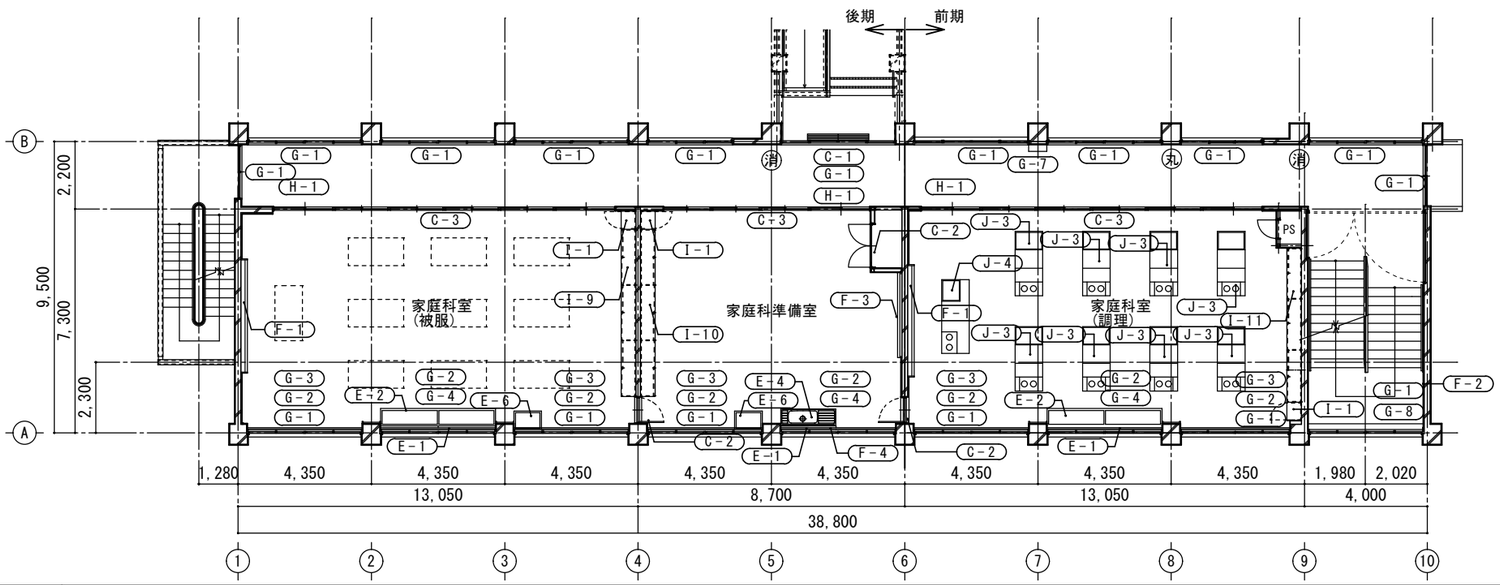
改修前　３階平面図

撤去	番号	部分名称
	1	床：t=18 桧縁甲板貼(木造床組下地共)
	2	床：構造用合板t=15の上 塩ビシートt=2.5張(木床組共)
	3	床：パーケットフロア張
	4	床：モザイクタイル張
	5	床：ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押エ(レベル同準)
	6	床：ステンレス見切 W=40
	7	床：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押え
	8	床下点検口 300×2000 3ヵ所
	9	床：塩ビシート t 2.5貼
	10	床：ライン　50角タイル貼
	11	床：ニードルパンチカーペット貼
	①	壁：木製学校間仕切　撤去
	②	腰壁：T1ﾍﾞﾆﾔ 75.5 OP塗装(ｺﾝｸﾘｰﾄ・木下地共)
	③	壁：T1ﾍﾞﾆﾔ 75.5 OP塗装(木胴縁共撤去)
	④	壁：T1ﾍﾞﾆﾔ 75.5 OP塗装(木組下地・躯体共撤去)
	⑤	壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ躯体共撤去
	Ⓐ	木製建具･アルミ建具
	Ⓑ	収納棚
	Ⓒ	掃除具入
	Ⓓ	行事用黒板
	Ⓔ	室名札
	Ⓕ	カウンター
	Ⓖ	掲示板
	Ⓗ	面台
	Ⓘ	人研ぎ流し台
	Ⓙ	TVハンガー
	Ⓚ	調理台
	Ⓛ	洗濯機ﾊﾟﾝ
	Ⓜ	地図掛ﾚｰﾙ
	Ⓝ	カーテンレール (S)
	Ⓞ	窓手摺：スチール：ロ-75×45×2.5　OP塗装
	Ⓟ	棚
既存流用	㋐	木製カーテンボックス：t=21 OP塗装
	㋑	窓手摺：スチール：ロ-75×45×2.5　OP塗装
	㋒	暗幕レールSUS (S)レール取外し。再取付。
	㋓	アルミ製カーテンボックス
	㋔	上下黒板
	㋕	アルミ額縁
	㋖	緩降機ボックス
	㋗	面台：人研ぎ



改修後　３階平面図

番号	部分名称	番号	部分名称	番号	部分名称	番号	部分名称	番号	部分名称	番号	部分名称
A-1	SUS床見切	E-1	面台 新設	E-6	洗濯機ﾊﾟﾝ架台　新設	F-1	上下黒板 表面張り替え			G-1	既存額縁：下地調整の上　SOP塗装
		E-2	SUS製流し台 新設			F-2	掲示板新設			G-2	既存木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装
C-1	アルミ建具 新設（建具表参照）	E-3	SUS製流し台 新設			F-3	行事用黒板 新設			G-3	既存手摺：下地調整の上　SOP塗装
C-2	木製建具 新設（建具表参照）	E-4	既製品流し台L=1800 新設			F-4	転落防止手摺・手摺受 新設			G-4	既存ｱﾙﾐ製額縁：既存流用
C-3	木製学校間仕切 新設（建具表参照）	E-5	既製品流し台L=1050 新設			消	消火器BOX			G-5	既存ｱﾙﾐ製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：既存流用
										G-6	既存暗幕レール(S)：既存流用
										G-7	緩降機BOX：下地調整の上　SOP塗装
										G-8	面台：人研ぎ　既存のまま
										H-1	室名札
										I-1	掃除具入れ
										I-2	収納棚
										I-3	収納棚
										I-4	収納棚
										I-5	収納棚
										I-6	収納棚
										I-7	収納棚
										I-8	収納棚
										I-9	収納棚
										I-10	収納棚
										I-11	収納棚
										I-12	収納棚
										I-13	収納棚
										I-14	収納棚
										J-1	実験台 新設
										J-2	教師用実験台 新設
										J-3	調理台 新設
										J-4	教師用調理台 新設



凡　例

	鉄筋コンクリートを示す	消	消火器(既存)
	LGSを示す	丸	丸環(既存)
	木間仕切を示す		

株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第 231917　号
武元　順一

坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

３階平面図　A1：1/ 100　A3：1/ 200

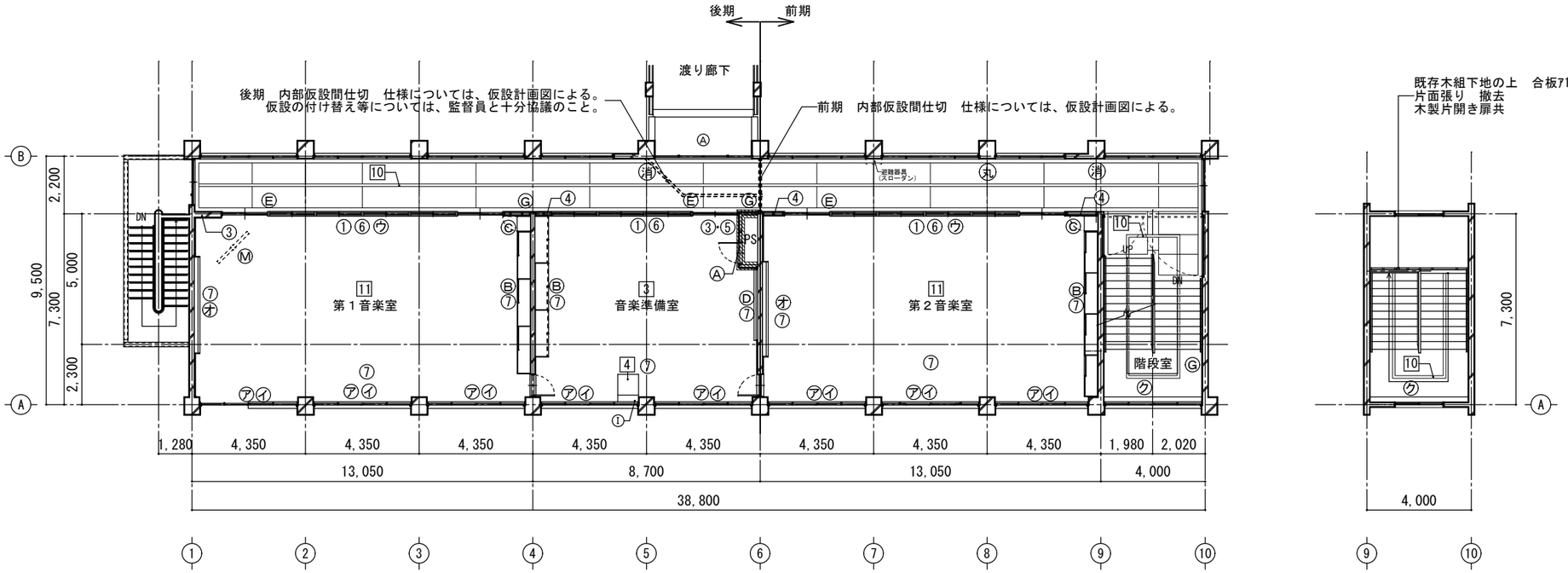
鹿児島市建設局建築部建築課

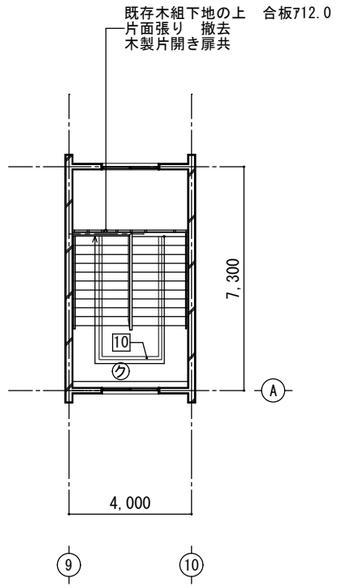
Ａ－２４

改修前　４階平面図・塔屋階平面図

撤去	番号	部分名称
	1	床：t=18 桧縁甲板貼(木造床組下地共)
	2	床：構造用合板t=15の上 塩ビシートt=2.5張(木床組共)
	3	床：パーケットフロア張
	4	床：モザイクタイル張
	5	床：ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押エ(レベル同準)
	6	床：ステンレス見切 W=40
	7	床：ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ押え
	8	床下点検口 300×2000 3ヵ所
	9	床：塩ビシート t 2.5貼
	10	床：ライン　50角タイル貼
	11	床：ニードルパンチカーペット貼
	①	壁：木製学校間仕切　撤去
	②	腰壁：T1ﾍﾞﾆﾔ 75.5 OP塗装(ｺﾝｸﾘｰﾄ・木下地共)
	③	壁：T1ﾍﾞﾆﾔ 75.5 OP塗装(木胴縁共撤去)
	④	壁：T1ﾍﾞﾆﾔ 75.5 OP塗装(木組下地・躯体共撤去)
	⑤	壁：ｺﾝｸﾘｰﾄ躯体共撤去
	Ⓐ	木製建具･アルミ建具
	Ⓑ	収納棚
	Ⓒ	掃除具入
	Ⓓ	行事用黒板
	Ⓔ	室名札
	Ⓕ	カウンター
	Ⓖ	掲示板
	Ⓗ	面台
	Ⓘ	人研ぎ流し台
	Ⓙ	TVハンガー
	Ⓚ	調理台
	Ⓛ	洗濯機ﾊﾟﾝ
	Ⓜ	地図掛ﾚｰﾙ
	Ⓝ	カーテンレール (S)
	Ⓞ	窓手摺：スチール：ロ-75×45×2.5　OP塗装
	Ⓟ	棚

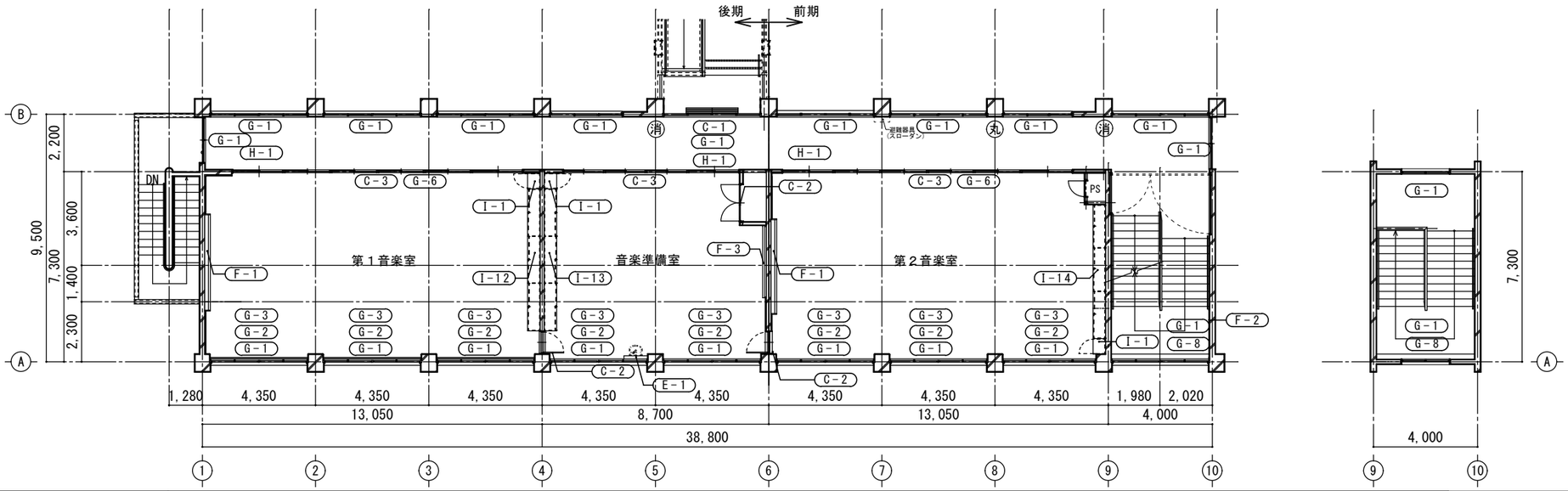
既存流用	番号	部分名称
	㋐	木製カーテンボックス：t=21 OP塗装
	㋑	窓手摺：スチール：ロ-75×45×2.5　OP塗装
	㋒	暗幕レールSUS (S)レール取外し。再取付。
	㋓	アルミ製カーテンボックス
	㋔	上下黒板
	㋕	アルミ額縁
	㋖	緩降機ボックス
	㋗	面台：人研ぎ

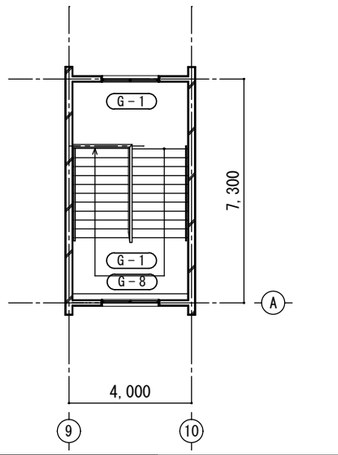




改修後　４階平面図・塔屋階平面図

番号	部分名称
A-1	SUS床見切
C-1	アルミ建具 新設（建具表参照）
C-2	木製建具 新設（建具表参照）
C-3	木製学校間仕切 新設（建具表参照）
E-1	面台 新設
E-2	SUS製流し台 新設
E-3	SUS製流し台 新設
E-4	既製品流し台L=1800 新設
E-5	既製品流し台L=1050 新設
E-6	洗濯機ﾊﾟﾝ架台　新設
F-1	上下黒板 表面張り替え
F-2	掲示板新設
F-3	行事用黒板 新設
F-4	転落防止手摺・手摺受 新設
消	消火器BOX
G-1	既存額縁：下地調整の上　SOP塗装
G-2	既存木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装
G-3	既存手摺：下地調整の上　SOP塗装
G-4	既存ｱﾙﾐ製額縁：既存流用
G-5	既存ｱﾙﾐ製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：既存流用
G-6	既存暗幕レール(S)：既存流用
G-7	緩降機BOX：下地調整の上　SOP塗装
G-8	面台：人研ぎ　既存のまま
H-1	室名札
I-1	掃除具入れ
I-2	収納棚
I-3	収納棚
I-4	収納棚
I-5	収納棚
I-6	収納棚
I-7	収納棚
I-8	収納棚
I-9	収納棚
I-10	収納棚
I-11	収納棚
I-12	収納棚
I-13	収納棚
I-14	収納棚
J-1	実験台 新設
J-2	教師用実験台 新設
J-3	調理台 新設
J-4	教師用調理台 新設





凡　例

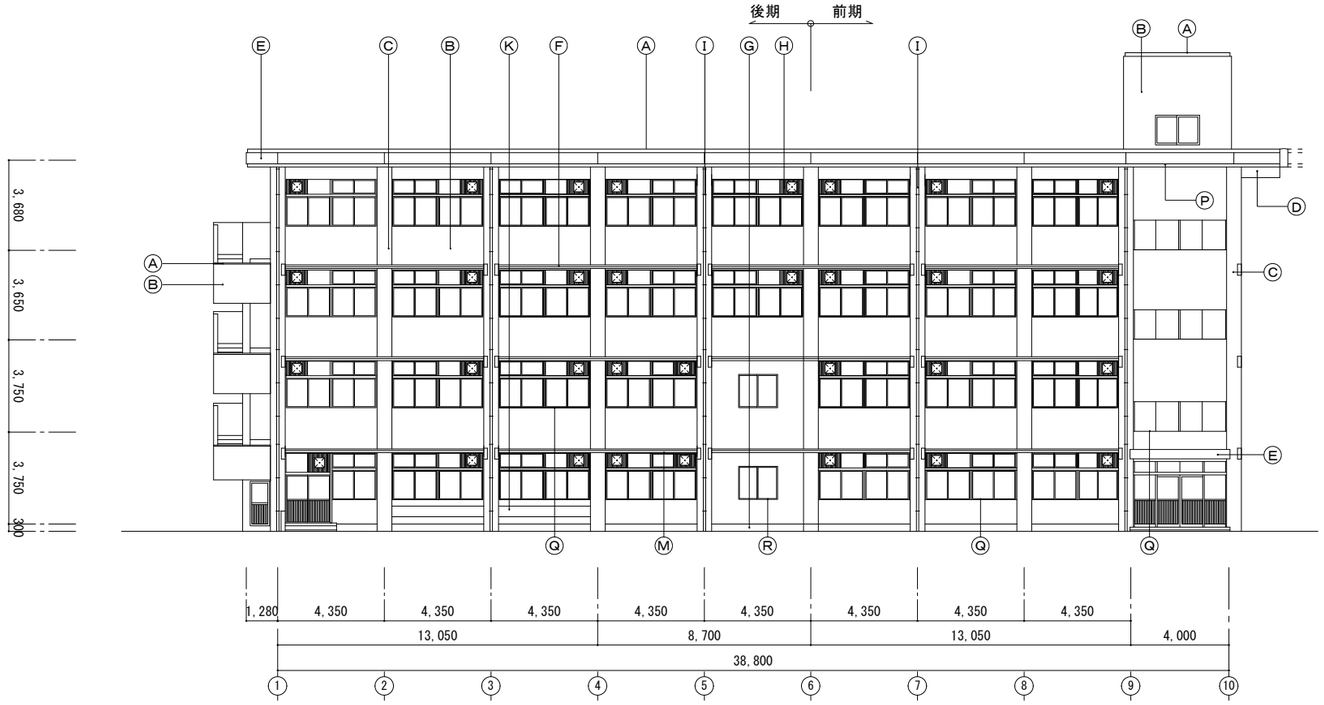
鉄筋コンクリートを示す	消　消火器(既存)
LGSを示す	丸　丸環(既存)
木間仕切を示す	

株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第 231917　号
武元　順一

坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

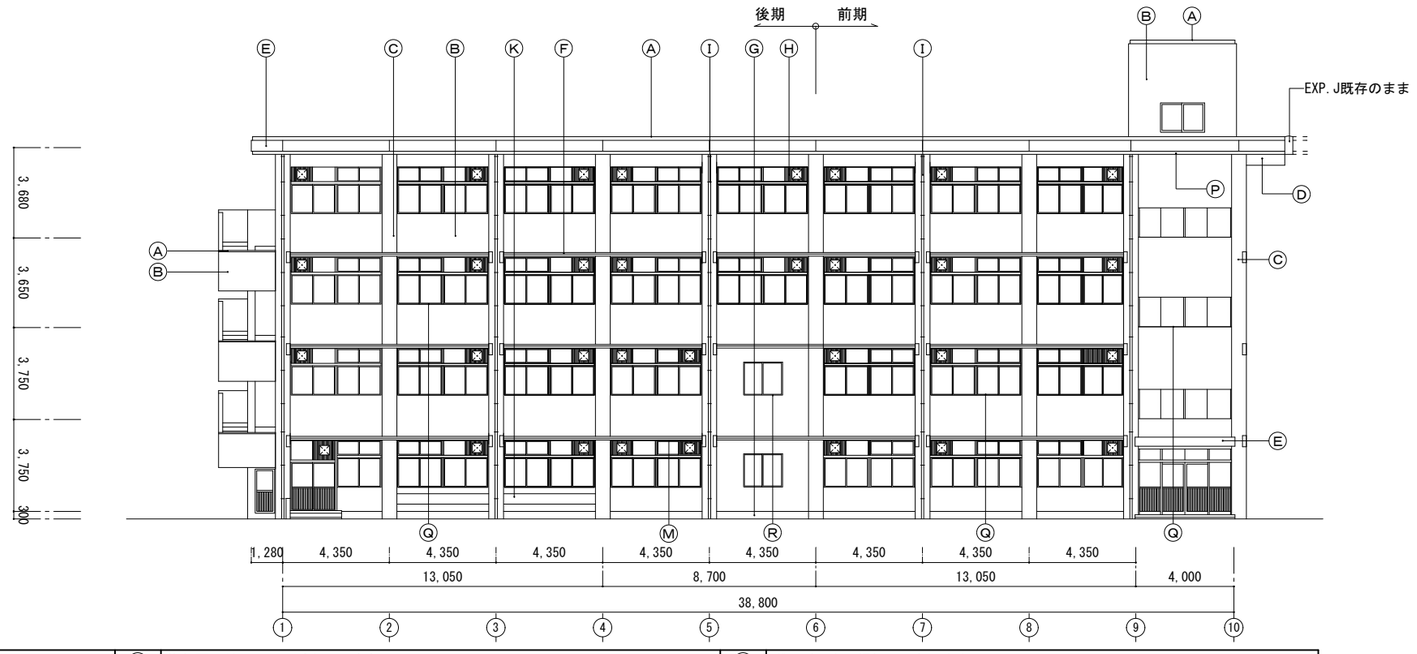
４階・塔屋階平面図	A1：1/ 100 A3：1/ 200	Ａ－２５
鹿児島市建設局建築部建築課		

改修前	南　立面図



Ⓐ	笠木：防水モルタルコテ押え	Ⓔ	パラペット：モルタル刷毛引　アクリルリシン吹付	Ⓘ	竪樋：VU φ100 VP塗装　ステンレス製掴み金物	Ⓜ	上裏：モルタル刷毛引 吹付タイル(エポキシ)	Ⓠ	面台：防水モルタルコテ押エ　アクリル系塗装
Ⓑ	壁：モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	Ⓕ	庇：防水モルタルｺﾃ押え ｱｸﾘﾙ系吹付ﾀｲﾙ	Ⓙ	タラップ：ステンレス製	Ⓝ	庇：アルミ製（アルミ製幕板）	Ⓡ	面台：アルミ製
Ⓒ	柱型：モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	Ⓖ	巾木：モルタルｺﾃ押え	Ⓚ	手洗場：人研台	Ⓞ	ガルバリウム鋼板		
Ⓓ	梁型：モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	Ⓗ	換気扇取付用アルミパネル	Ⓛ	PCフェンス	Ⓟ	軒裏：コンパネ打ち放し下地 厚肉アクリル系リシン吹付		

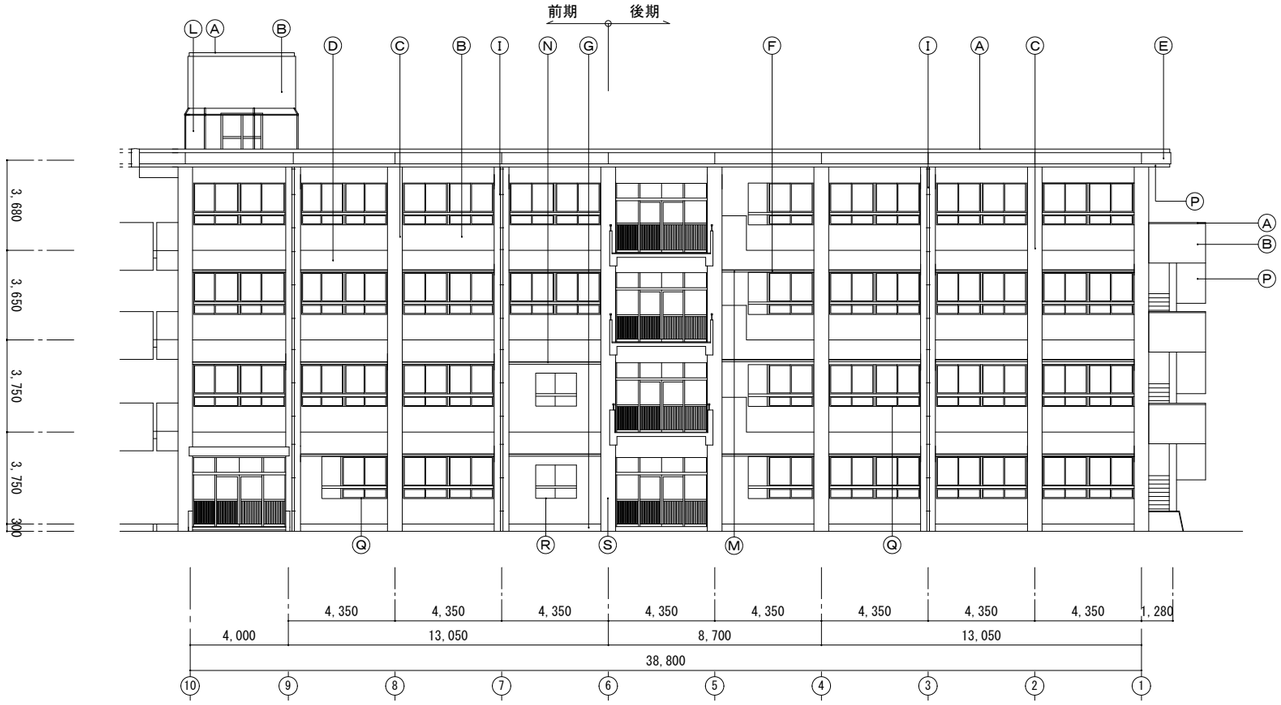
改修後	南　立面図



Ⓐ	笠木：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ可とう形改修塗材E(ﾛｰﾗ仕上げ)	Ⓗ	換気扇取付用アルミパネル：洗浄	Ⓞ	ガルバリウム鋼板：既存のまま
Ⓑ	壁：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E	Ⓘ	竪樋：下地調整の上DP(ポリウレタン系)塗装　掴み金物：既存のまま	Ⓟ	軒裏：既存高圧水洗浄の上 アクリル系軒天井用仕上塗材
Ⓒ	柱型：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E	Ⓙ	タラップ：既存のまま	Ⓠ	面台：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E(ﾛｰﾗ仕上げ)
Ⓓ	梁型:既存高圧洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E	Ⓚ	手洗場：人研台 既存のまま	Ⓡ	面台：既存のまま
Ⓔ	パラペット：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E	Ⓛ	PCフェンス：既存のまま	Ⓢ	竪樋：カラーVPφ50　掴み金物：SUS304製@1000以内
Ⓕ	庇：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E(ﾛｰﾗ仕上げ)	Ⓜ	上裏：既存高圧洗浄の上 アクリル系軒天用仕上材		
Ⓖ	巾木：既存高圧水洗浄の上DP塗装	Ⓝ	庇：アルミ製(アルミ製幕板)洗浄		

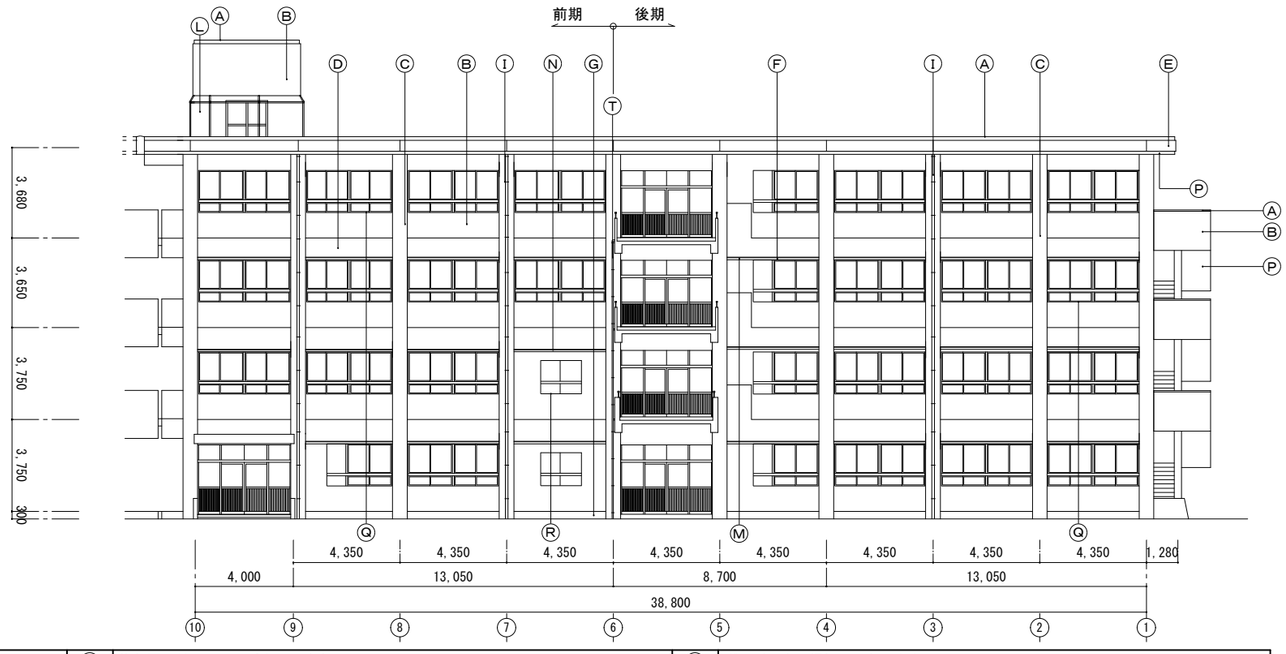
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	立面図-1	A1：1/ 125 A3：1/ 250	Ａ－２６
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修前	北　立面図



Ⓐ	笠木：防水モルタルコテ押え	Ⓔ	パラペット：モルタル刷毛引　アクリルリシン吹付	Ⓘ	竪樋：VU φ100 VP塗装　ステンレス製掴み金物	Ⓜ	上裏：モルタル刷毛引 吹付タイル(エポキシ)	Ⓠ	面台：防水モルタルコテ押エ　アクリル系塗装
Ⓑ	壁：モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	Ⓕ	庇：防水モルタルｺﾃ押え ｱｸﾘﾙ系吹付ﾀｲﾙ	Ⓙ	タラップ：ステンレス製	Ⓝ	庇：アルミ製（アルミ製幕板）	Ⓡ	面台：アルミ製
Ⓒ	柱型：モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	Ⓖ	巾木：モルタルｺﾃ押え	Ⓚ	手洗場：人研台	Ⓞ	ガルバリウム鋼板		
Ⓓ	梁型：モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	Ⓗ	換気扇取付用アルミパネル	Ⓛ	PCフェンス	Ⓟ	軒裏：コンパネ打ち放し下地 厚肉アクリル系リシン吹付		

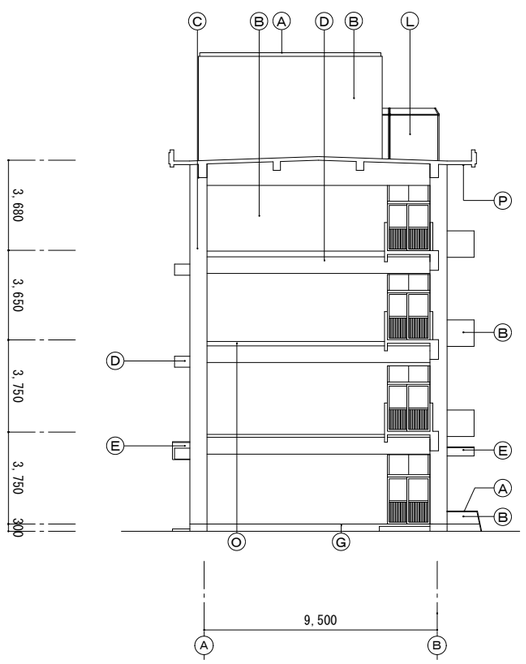
改修後	北　立面図



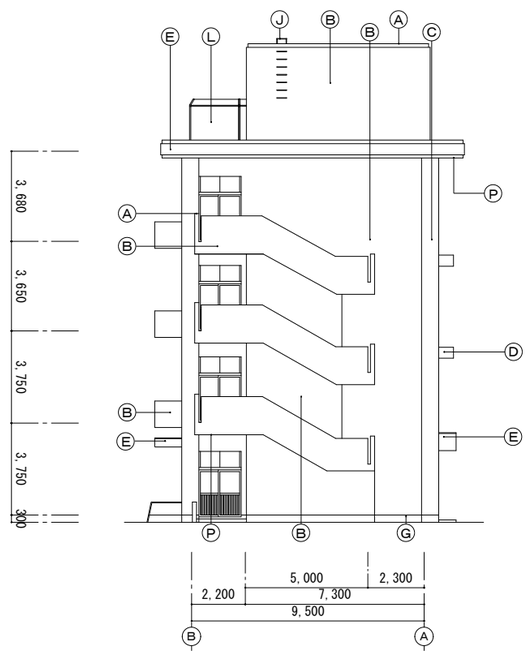
Ⓐ	笠木：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ可とう形改修塗材E(ﾛｰﾗ仕上げ)	Ⓗ	換気扇取付用アルミパネル：洗浄	Ⓞ	ガルバリウム鋼板：既存のまま
Ⓑ	壁：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E	Ⓘ	竪樋：下地調整の上DP(ポリウレタン系)塗装　掴み金物：既存のまま	Ⓟ	軒裏：既存高圧水洗浄の上 アクリル系軒天井用仕上塗材
Ⓒ	柱型：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E	Ⓙ	タラップ：既存のまま	Ⓠ	面台：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E(ﾛｰﾗ仕上げ)
Ⓓ	梁型:既存高圧洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E	Ⓚ	手洗場：人研台 既存のまま	Ⓡ	面台：既存のまま
Ⓔ	パラペット：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E	Ⓛ	PCフェンス：既存のまま	Ⓢ	竪樋：カラーVPφ50　掴み金物：SUS304製@1000以内
Ⓕ	庇：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E(ﾛｰﾗ仕上げ)	Ⓜ	上裏：既存高圧洗浄の上 アクリル系軒天用仕上材	Ⓣ	竪樋：カラーVPφ75　掴み金物：SUS304製@1000以内
Ⓖ	巾木：既存高圧水洗浄の上DP塗装	Ⓝ	庇：アルミ製(アルミ製幕板)洗浄		

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	立面図-2	A1：1/ 125 A3：1/ 250	Ａ－２７
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修前	東　立面図

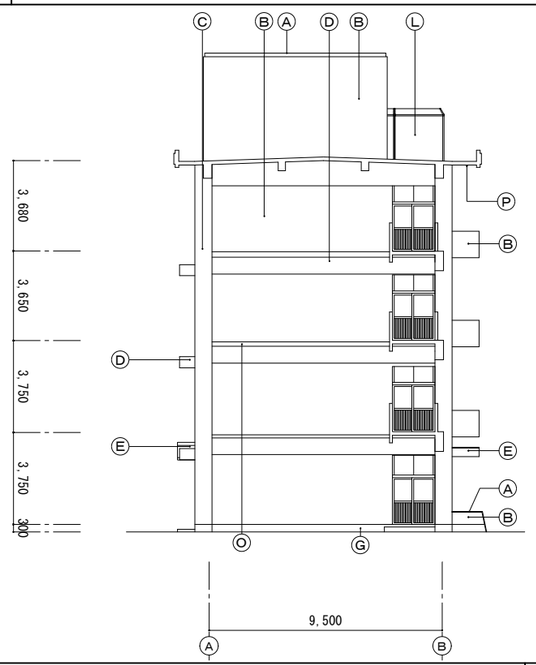


改修前	西　立面図

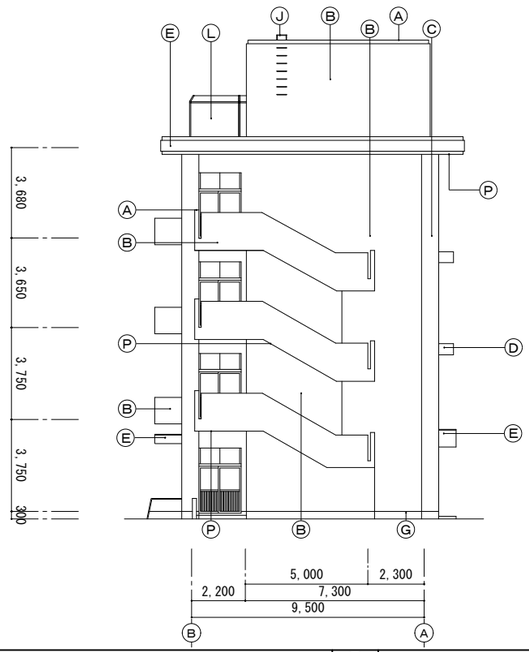


Ⓐ	笠木：防水モルタルｺﾃ押え	Ⓕ	庇：防水モルタルｺﾃ押え アクリルリシン吹付	Ⓚ	手洗場：人研台	Ⓟ	軒裏：コンパネ打ち放し下地 厚肉アクリル系リシン吹付
Ⓑ	壁：モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	Ⓖ	巾木：モルタルｺﾃ押え	Ⓛ	PCフェンス	Ⓠ	面台：防水モルタルコテ押エ　アクリル系塗装
Ⓒ	柱型：モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付	Ⓗ	換気扇取付用アルミパネル	Ⓜ	上裏：モルタル刷毛引 吹付タイル(エポキシ)	Ⓡ	面台：アルミ製
Ⓓ	梁型：モルタル刷毛引き アクリルリシン吹付	Ⓘ	竪樋：VU φ100 VP塗装　ステンレス製掴み金物	Ⓝ	庇：アルミ製（アルミ製幕板）		
Ⓔ	パラペット：モルタル刷毛引　吹付タイル エポキシ仕上	Ⓙ	タラップ：ステンレス製	Ⓞ	ガルバリウム鋼板		

改修後	東　立面図



改修後	西　立面図



Ⓐ	笠木：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ可とう形改修塗材E(ﾛｰﾗ仕上げ)	Ⓗ	換気扇取付用アルミパネル：洗浄	Ⓞ	ガルバリウム鋼板：既存のまま
Ⓑ	壁：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E	Ⓘ	竪樋：下地調整の上DP(ポリウレタン系)塗装　掴み金物：既存のまま	Ⓟ	軒裏：既存高圧水洗浄の上 アクリル系軒天井用仕上塗材
Ⓒ	柱型：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E	Ⓙ	タラップ：既存のまま	Ⓠ	面台：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E(ﾛｰﾗ仕上げ)
Ⓓ	梁型:既存高圧洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E	Ⓚ	手洗場：人研台 既存のまま	Ⓡ	面台：既存のまま
Ⓔ	パラペット：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E	Ⓛ	PCフェンス：既存のまま	Ⓢ	竪樋：カラーVPφ50　掴み金物：SUS304製@1000以内
Ⓕ	庇：既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E(ﾛｰﾗ仕上げ)	Ⓜ	上裏：既存高圧洗浄の上 アクリル系軒天用仕上材		
Ⓖ	巾木：既存高圧水洗浄の上DP塗装	Ⓝ	庇：アルミ製(アルミ製幕板)洗浄		

外壁改修工事　概要

①塗装工事

・外壁：高圧水洗浄(15MPa以下)の上、仕上材塗り

位　置	部　位		塗装種別
壁・柱	一般		シリコン系可とう形改修塗材E　ローラー
梁	一般・天端		シリコン系可とう形改修塗材E　ローラー
	上裏		シリコン系可とう形改修塗材E　ローラー
巾木	一般		DP塗(C-2種)
開口部	だき		シリコン系可とう形改修塗材E　ローラー
	まぐさ		シリコン系可とう形改修塗材E　ローラー
パラペット	笠木		シリコン系可とう形改修塗材E　ローラー
	立上り	内部	シリコン系可とう形改修塗材E　ローラー
		外部	シリコン系可とう形改修塗材E　ローラー
		返し・鼻	シリコン系可とう形改修塗材E　ローラー
	EXP.j		既存のまま
庇	天端・鼻		シリコン系可とう形改修塗材E　ローラー
	上裏		アクリル系軒天用仕上塗材

※１：庇、パラペット揚裏と一体になっている場合は、庇、パラペット上裏等の仕様による。

・竪樋：素地ごしらえ(RC種)の上、DP塗装(ポリウレタン系)
※外部配管等について、塗装が劣化している場合は、監督員に報告すること。
なお、電線類は養生し塗装しない。

②外壁改修

・外壁仕上げの不良個所（浮き部、ひび割れ等）について、特記仕様書に基づく工法にて改修を行うこと。

工　　法

＜ 外壁改修工事工法一覧表 ＞	部　位	数量(推計値) 前期	数量(推計値) 後期
ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填工法 (PBL)	爆裂部 柱壁	１９．２　ｍ	２２．２　ｍ
ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法 (A16)	浮き部	９２４　本	１，０６４　本
自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法　(H)	ひび割れ部	４８．１　ｍ	５５．４　ｍ

※　施工数量は推計値のため、全面調査後、監督員と協議のうえ決定するものとし、設計変更の対象とする。

③防水改修(シーリング打替)
・既存建具廻りシーリング打替(MS-2)10×10

④その他
※既存樋の樋受け金具について、腐食・外れ又はゆるみ等、安全上支障のある場合は監督員に報告すること。

※定置する足場は、別契約の関連する工事業者にも仕様させること。

庇防水工事　概要

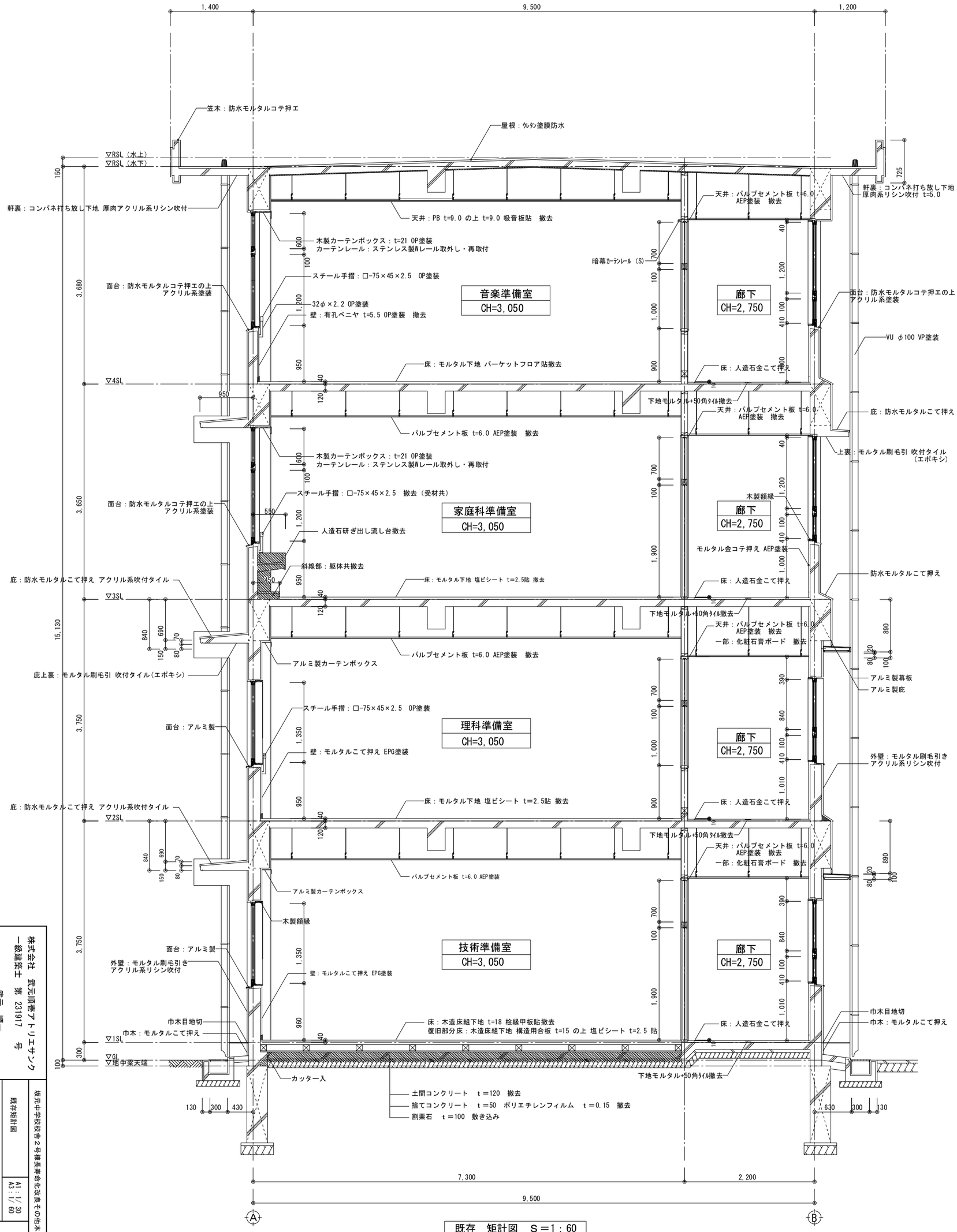
①玄関・昇降口・昇降口庇 防水改修
・屋根面：高圧水洗浄(15MPa)、下地調整(ポリマーセメントモルタル)の上ウレタン塗膜防水(X-2)

・笠木・立上り：高圧洗浄(15MPa)、下地調整(ポリマーセメントモルタル)の上、ウレタン塗膜防水(X-2)

・その他：塗膜防水の端部納まり及び重ね幅Wについては、主材料製造所の仕様とすること。

□特記事項
※外部配管などについて、塗装が劣化している場合は監督員に報告すること。
なお、電線類は養生し塗装しない。
※施工年月日、施工会社、連絡先、工法を記入したプレートを設置すること。
(A4版程度)

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	立面図-3、外壁改修工事概要	A1：1/ 125 A3：1/ 250	Ａ－２８
	鹿児島市建設局建築部建築課		



既存 矩計図 S＝1：60

株式会社 武元順壱アトリエサンク
一級建築士 第 23917 号
武元 順一

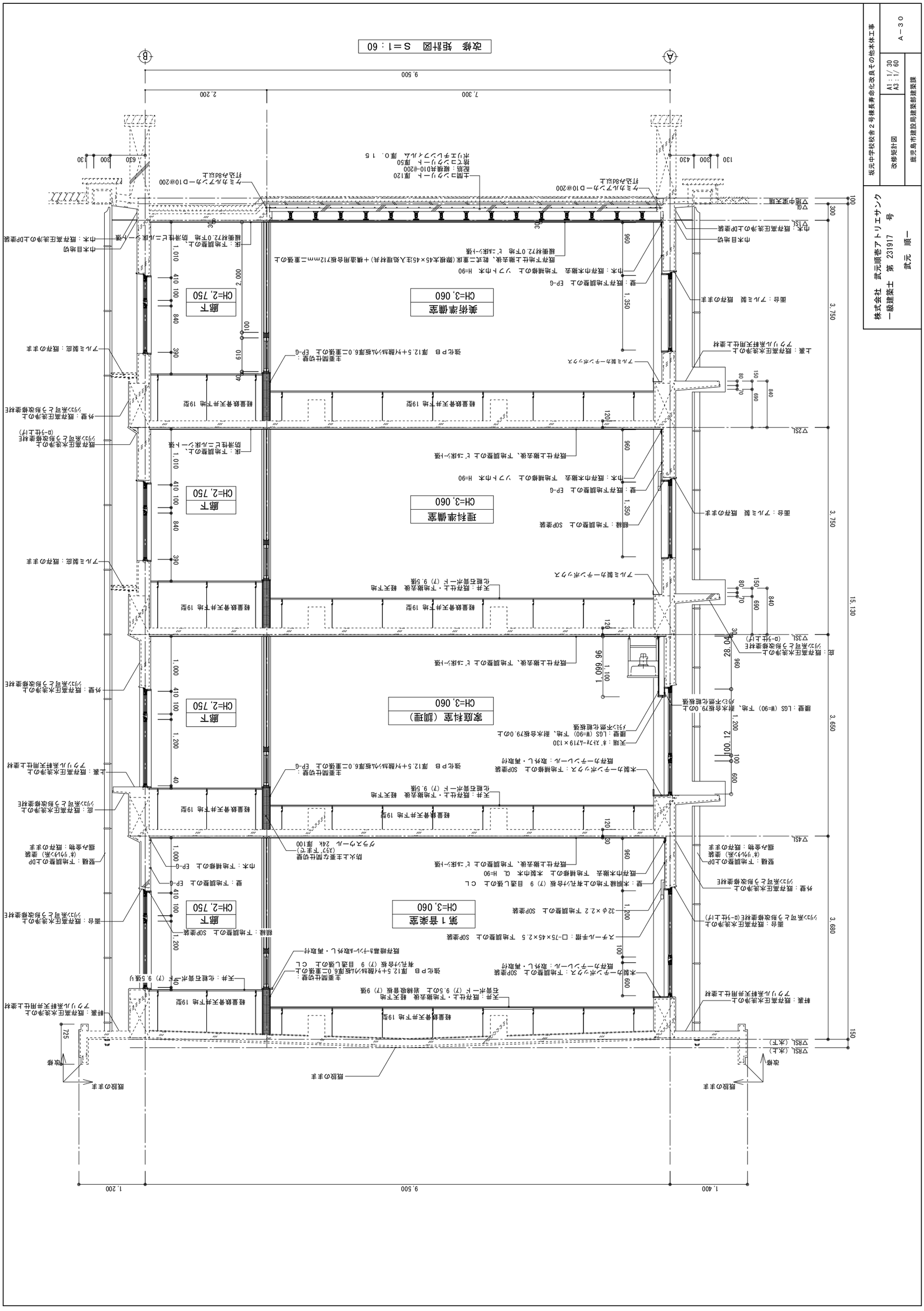
坂元中学校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

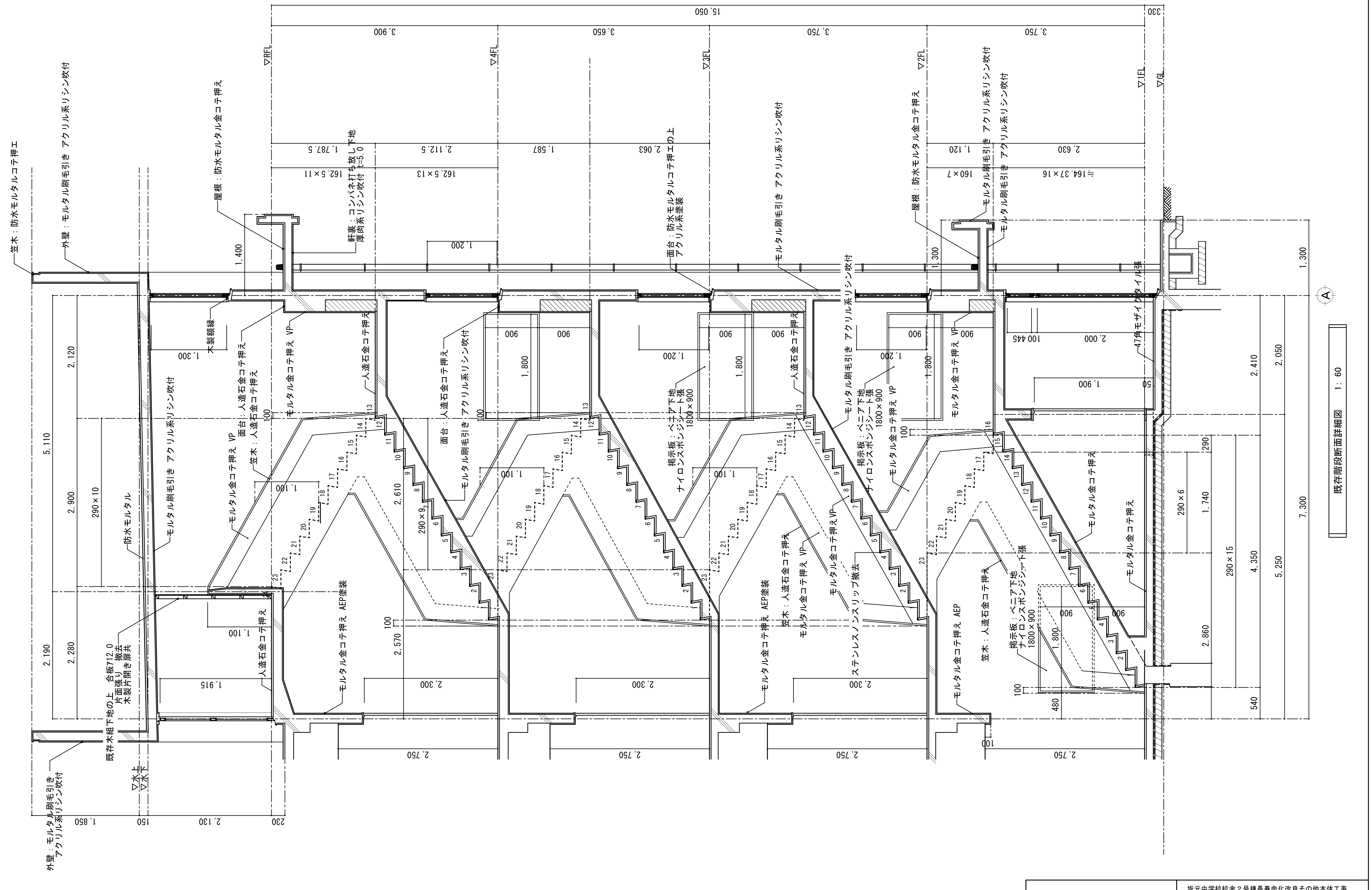
既存矩計図

A1：1/30
A3：1/60

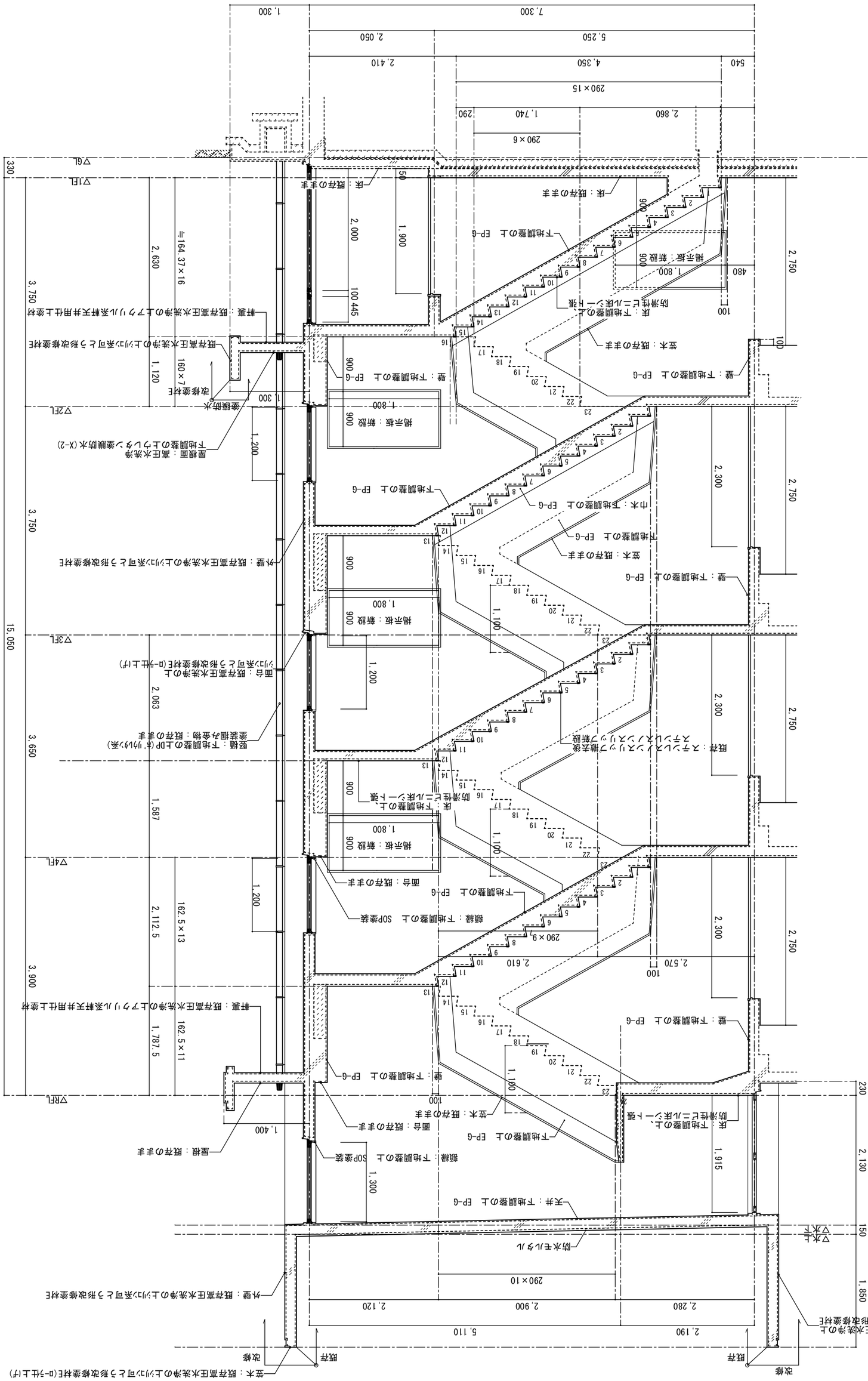
鹿児島市建設局建築部建築課

A－29


改修 矩計図 S＝1：60
理科準備室
CH=3,060
家庭科室（調理）
CH=3,060
第１音楽室
CH=3,060
美術準備室
CH=3,060
廊下
CH=2,750
軽量鉄骨天井下地 19型
ルミ製カーテンボックス
ルミ製庇：既存の手
面台：ルミ製 既存の手
壁：既存下地調整の上 EP-G
巾木：既存巾木撤去 下地補修の上 ソフト巾木 H=90
既存仕上撤去後、下地調整の上 ビニ床シート張
床：下地調整の上、防滑性ビニル床シート張
既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E (U-7仕上げ)
外壁：既存高圧洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E
軒裏：既存高圧水洗浄の上 アクリル系軒天井用仕上塗材
天井：既存仕上・下地撤去後 軽天下地 化粧石膏ボード (7) 9.5張
天井：化粧石膏ボード (7) 9.5張り
既存撤去ルーバー取外し・再取付
既存上撤去後、下地調整の上 ビニ床シート張
既存巾木撤去 下地補修の上 ビニ
壁：木胴縁下地の上有孔ケイ酸板 (7) 9 目透し張の上 CL
壁：下地調整の上 EP-G
巾木：下地補修の上 EP-G
竪樋：下地調整の上DP (ポリバケツ系) 塗装 掘っ立て物：既存の手
既存上撤去後、下地調整の上 ビニ床シート張
防火上主要な間仕切壁 (ALC) 下地ビ 24K 厚100
アクリルガラス 24K 厚100
軽量鉄骨天井下地 19型
天井：既存仕上・下地撤去後 軽天下地 化粧石膏ボード (7) 9.5張
木製カーテンボックス：下地調整の上 SOP塗装
既存カーテンレール：取外し・再取付
天端：ポリカ-L719×130
腰壁：LGS (W=90) 下地、耐水合板79.0の上 クリア不燃化粧板張
腰壁：LGS (W=90) 下地、耐水合板79.0の上 クリア不燃化粧板張
既存上撤去後、下地調整の上 ビニ床シート張
既存撤去カーテンボックス取外し・再取付
スチールパイプ手摺：□-75×45×2.5 下地調整の上 SOP塗装
32φ×2.2 下地調整の上 SOP塗装
額縁：下地調整の上 SOP塗装
強化PB 厚12.5+ケイ酸カルシウム板厚6.0二重張の上 EP-G
主要間仕切壁：
強化PB 厚12.5+ケイ酸カルシウム板厚6.0二重張の上 EP-G
主要間仕切壁：
ルミ製庇：既存の手
ルミ製庇：既存の手
上塗：既存高圧水洗浄の上 アクリル系軒天用仕上塗材
面台：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E
既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E
外壁：既存高圧水洗浄の上 シリコン系可とう形改修塗材E
巾木目地切
巾木：既存高圧洗浄の上DP塗装
巾木：既存高圧洗浄の上DP塗装
ルミ製庇：既存の手
面台：ルミ製 既存の手
壁：既存下地調整の上 EP-G
巾木：既存巾木撤去 下地補修の上 ソフト巾木 H=90
既存下地仕上撤去後、乾式二重床（鋼根太45×45注入処理材）＋構造用合板712mm二重張の上
縁側材72.0下地 ビニ床シート張
床：下地調整の上、防滑性ビニル床シート張
縁側材72.0下地 ビニ床シート張
巾木目地切
巾木：既存高圧洗浄の上DP塗装
ドミカルアンカーD10@200
打込み8d以上
土間コンクリート 厚120
配筋：縦横共D10-@200
掘っコンクリート 厚50
ポリエチレンフィルム 厚0.15
ドミカルアンカーD10@200
打込み8d以上
改修
既設の手摺
既設の手摺
改修
A
B
1,400
9,500
1,200
9,500
7,300
2,200
15,130
3,680
3,650
3,750
3,750
150
100
300
28.04
96,600
100.12
▽RSL（水上）
▽RSL（水下）
▽35L（U-7仕上げ）
▽25L
▽45L
▽GL
▽FL
▽TSL
▽地中梁天端
株式会社 武元順壱アトリエサンク
一級建築士 第 231917 号
武元 順一
坂元中学校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事
改修矩計図
A1：1/30
A3：1/60
A－３０
鹿児島市建設局建築部建築課



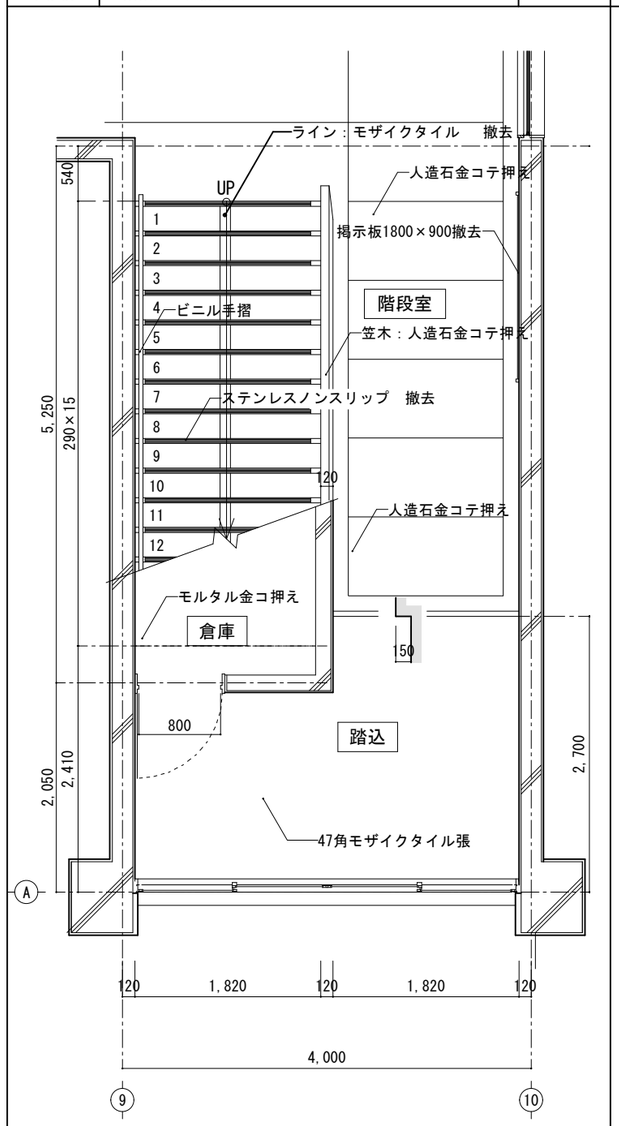
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第　231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事
	既存階段断面詳細図　A1：1/ 30　A3：1/ 60　Ａ－３１
	鹿児島市建設局建築部建築課



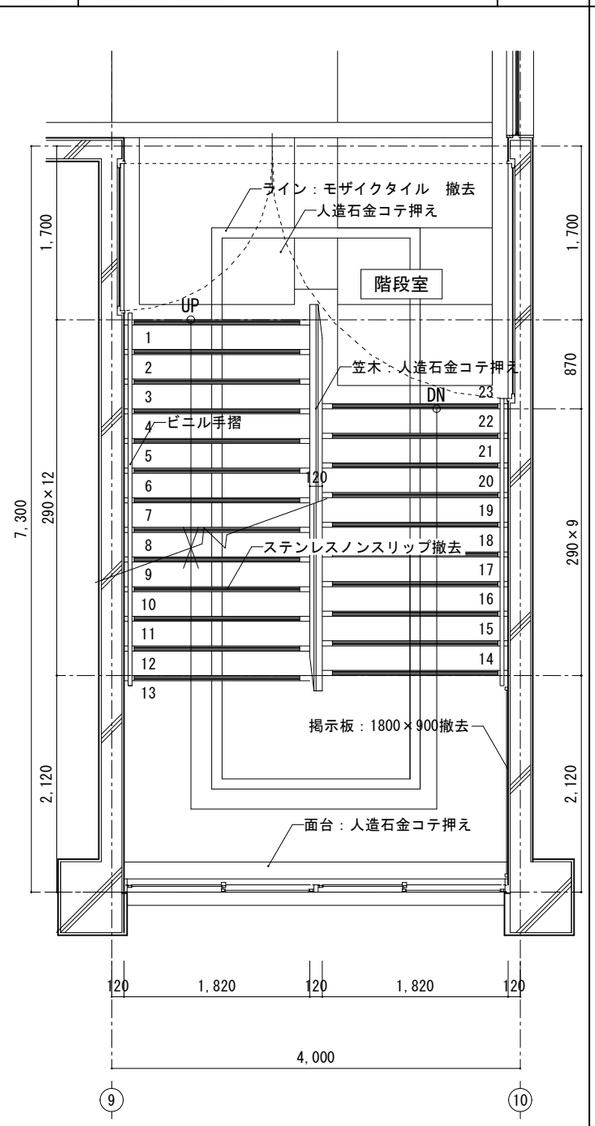
坂元中学校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
改修階段断面詳細図	A1：1/30 A3：1/60
鹿児島市建設局建築部建築課	A－32

株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第　231917　号
武元　順一

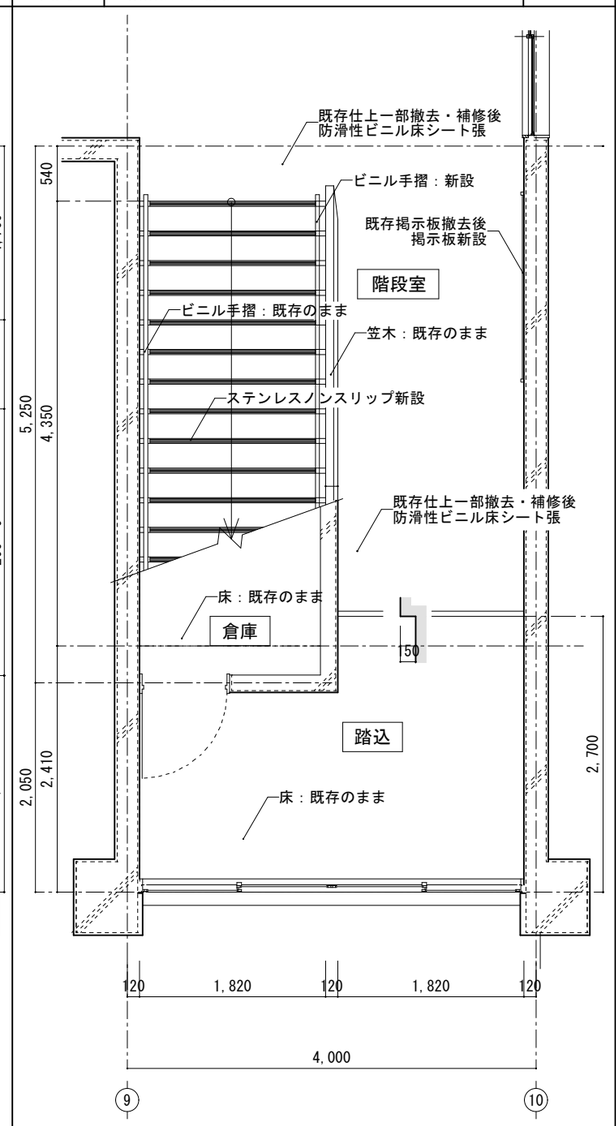
改修前	１階階段平面詳細図	S=1：60



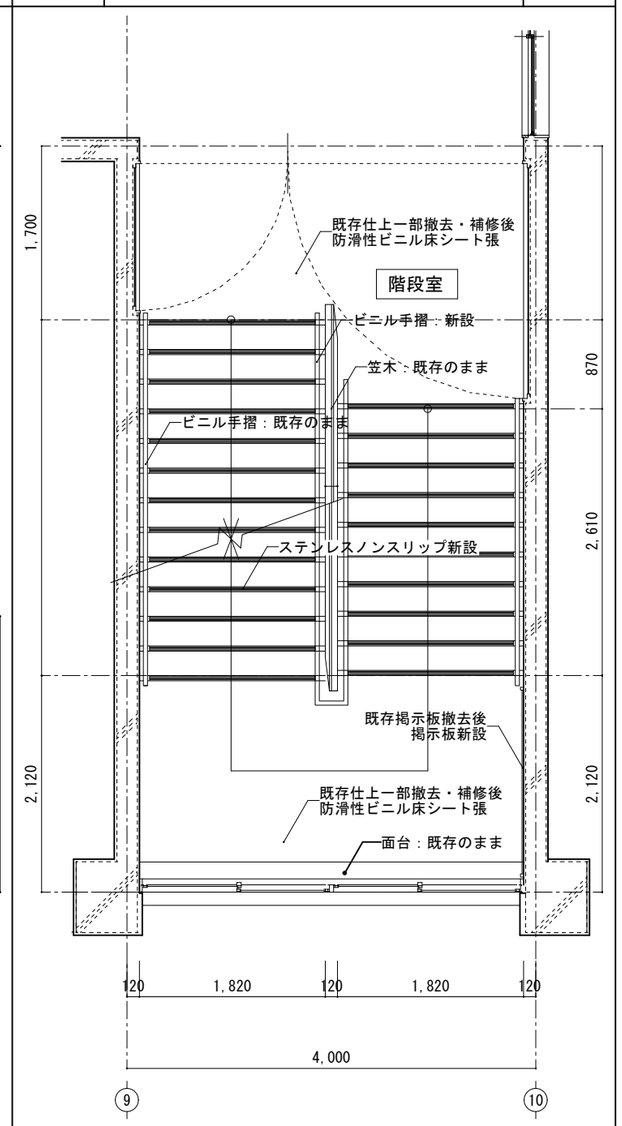
改修前	２階階段平面詳細図	S=1：60



改修後	１階階段平面詳細図	S=1：60



改修後	２階階段平面詳細図	S=1：60



階段室『既存』	
天井	モルタル刷毛引き アクリル系リシン吹付
壁	モルタル金コテ押え VP モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	モルタル金コテ押え VP
床	人造石金コテ押え ライン：50角タイル貼　撤去
手摺壁	モルタル金コテ押え VP 笠木：人造石金コテ押え
備考	撤去　掲示板、ステンレスノンスリップ 既存 手摺、面台

階段室『改修』	
天井	既存下地調整の上 EP-G
壁	既存下地調整の上 EP-G
巾木	既存下地調整の上 EP-G
床	既存仕上一部撤去・補修後防滑性ビニル床シート張
手摺壁	既存下地調整の上 EP-G 笠木：既存のまま
備考	新設　掲示板、ステンレスノンスリップ 既存流用 手摺、面台

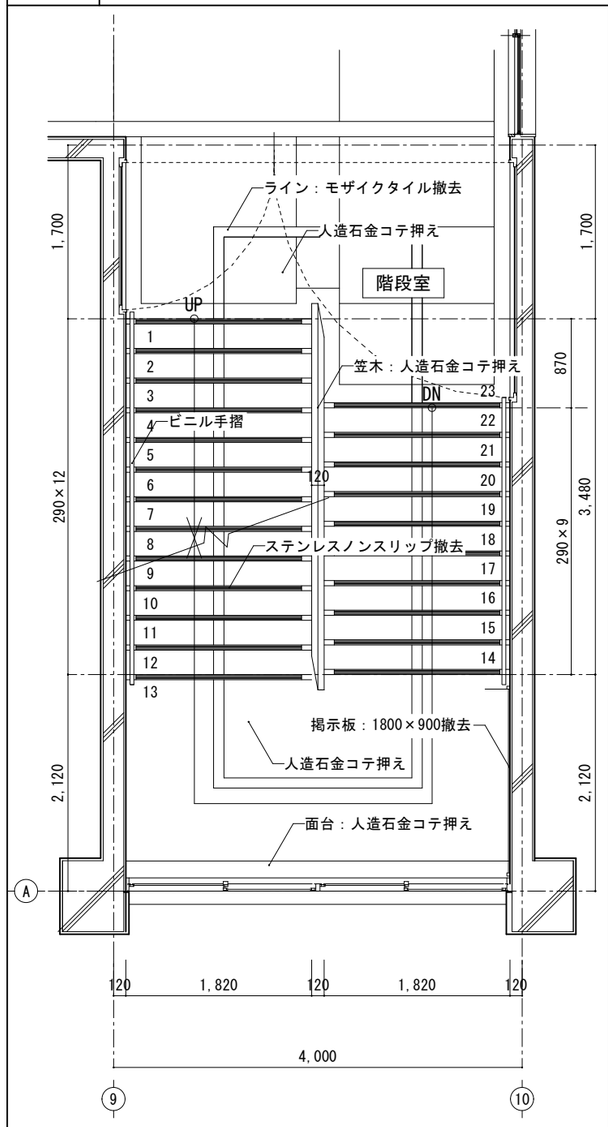
株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第 231917　号
武元　順一

坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

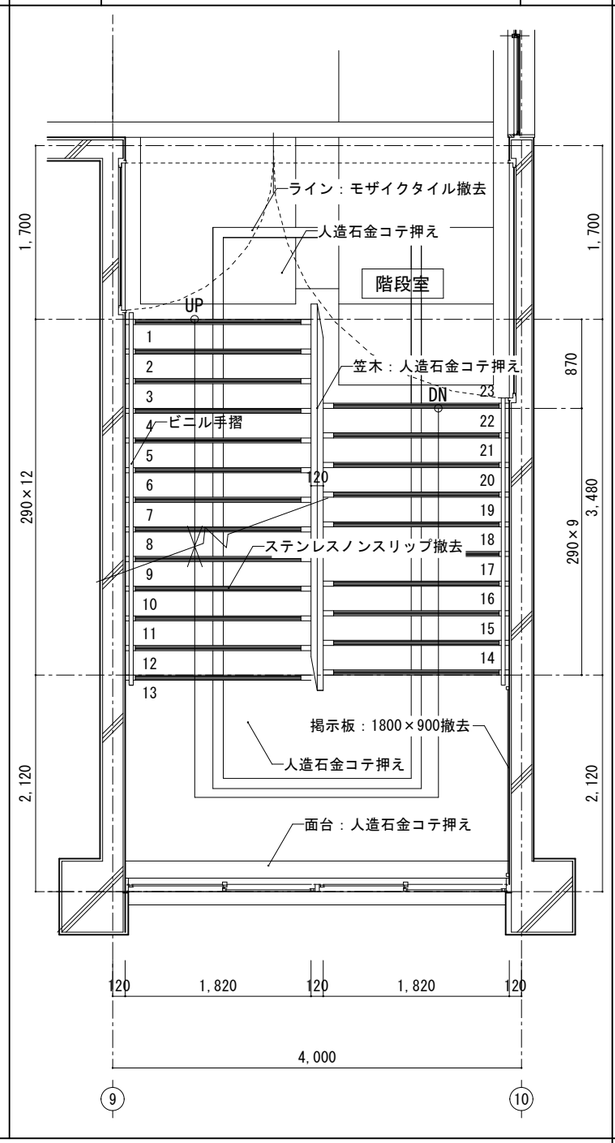
1・2階屋内階段平面詳細図	A1：1/ 30 A3：1/ 60	Ａ－３３

鹿児島市建設局建築部建築課

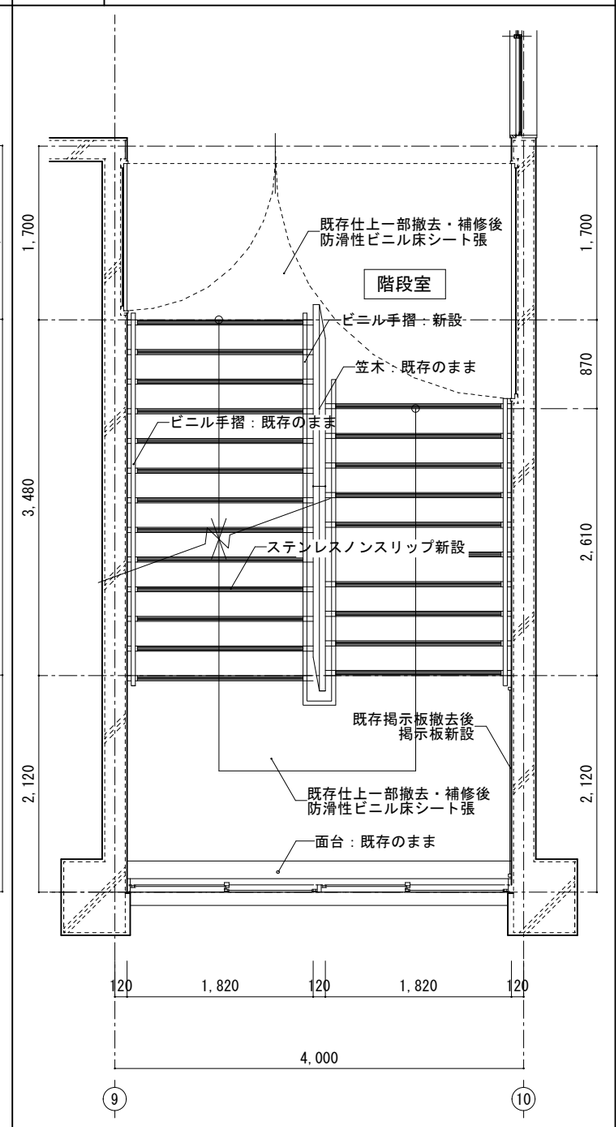
改修前　３階階段平面詳細図



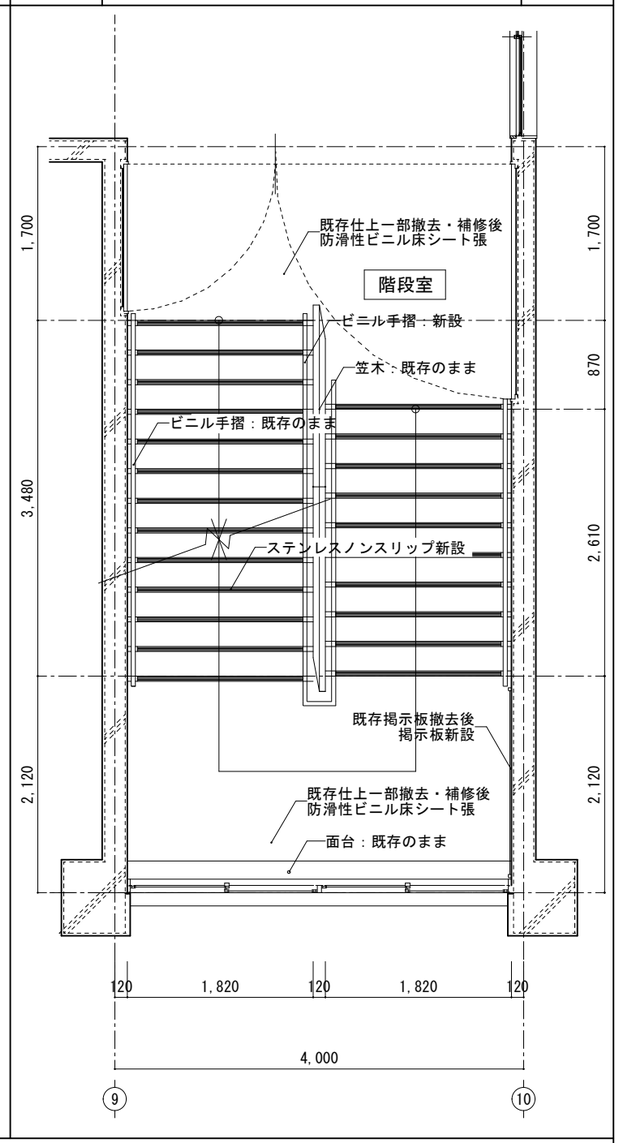
改修前　４階階段平面詳細図　S＝1：60



改修後　３階階段平面詳細図



改修後　４階階段平面詳細図　S＝1：60



階段室『既存』	
天井	モルタル刷毛引き アクリル系リシン吹付
壁	モルタル金コテ押え VP モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	モルタル金コテ押え VP
床	人造石金コテ押え ライン：50角タイル貼　撤去
手摺壁	モルタル金コテ押え VP 笠木：人造石金コテ押え
備考	撤去　掲示板、ステンレスノンスリップ 既存 手摺、面台

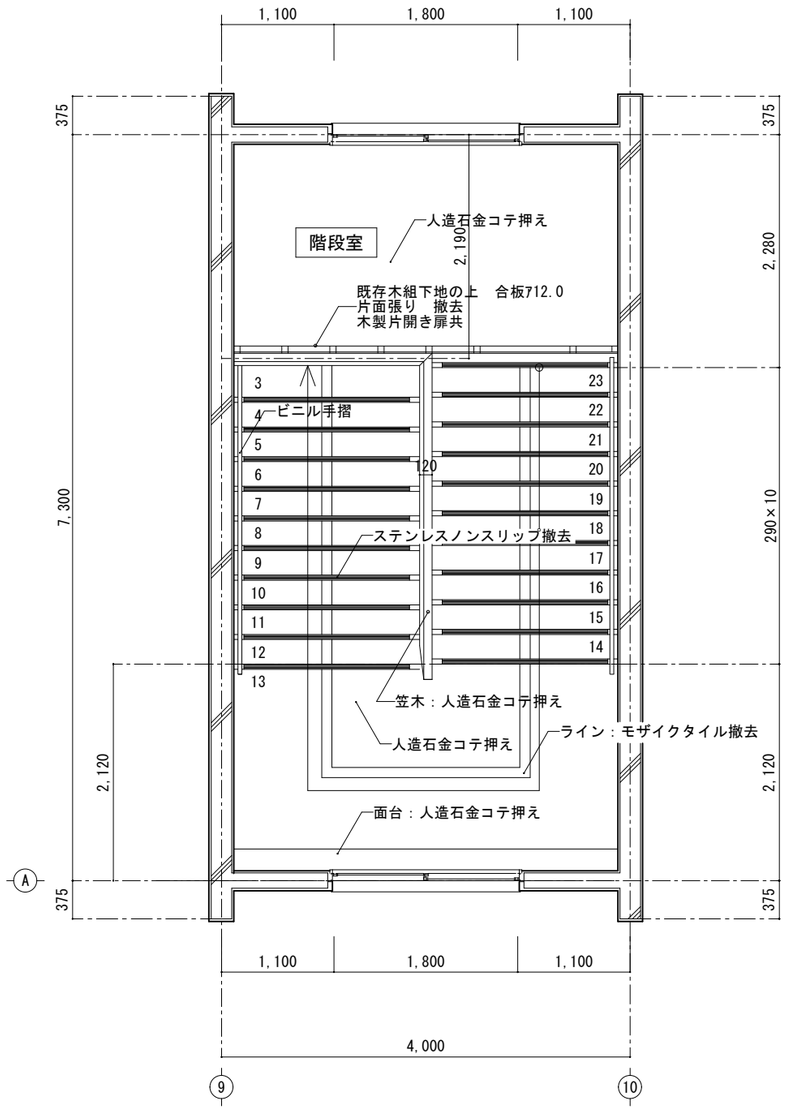
階段室『改修』	
天井	既存下地調整の上 EP-G
壁	既存下地調整の上 EP-G
巾木	既存下地調整の上 EP-G
床	既存仕上一部撤去・補修後防滑性ビニル床シート張
手摺壁	既存下地調整の上 EP-G 笠木：既存のまま
備考	新設　掲示板、ステンレスノンスリップ 既存流用 手摺、面台

株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第 231917　号
武元　順一

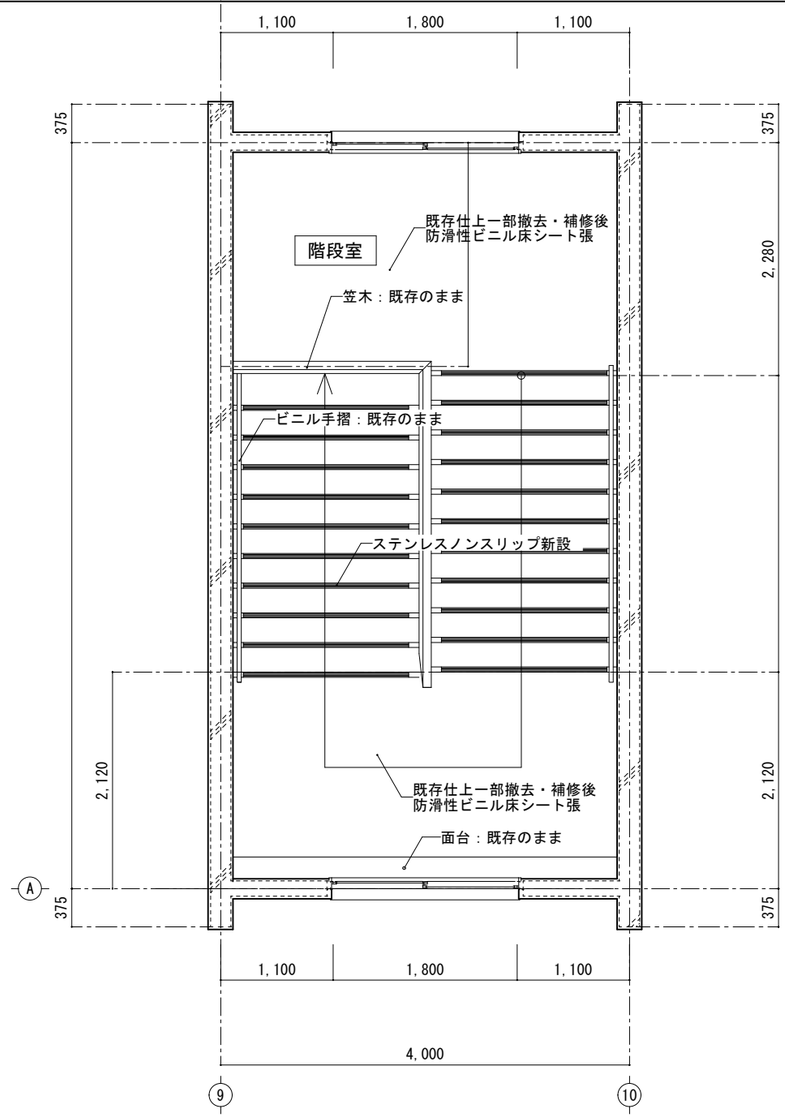
坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

３・4階屋内階段平面詳細図	A1：1/ 30 A3：1/ 60	Ａ－３４
鹿児島市建設局建築部建築課		

改修前	R階段平面詳細図	S=1：60



改修後	R階階段平面詳細図	S=1：60

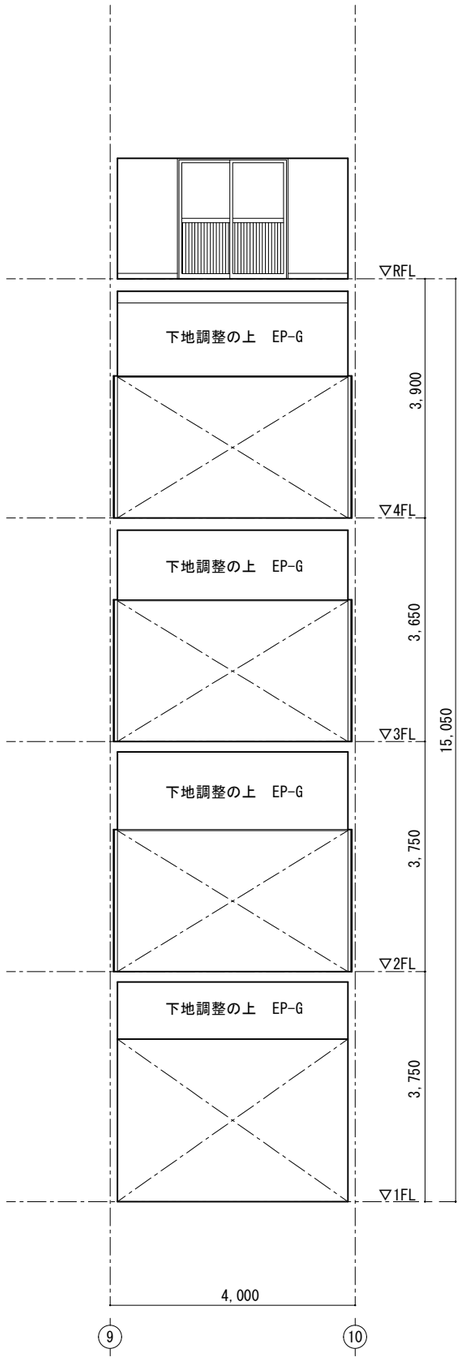


階段室『既存』	
天井	モルタル刷毛引き アクリル系リシン吹付
壁	モルタル金コテ押え VP モルタル金コテ押え AEP塗装
巾木	モルタル金コテ押え VP
床	人造石金コテ押え ライン：50角タイル貼　撤去
手摺壁	モルタル金コテ押え VP 笠木：人造石金コテ押え
備考	撤去　掲示板、ステンレスノンスリップ 既存 手摺、面台

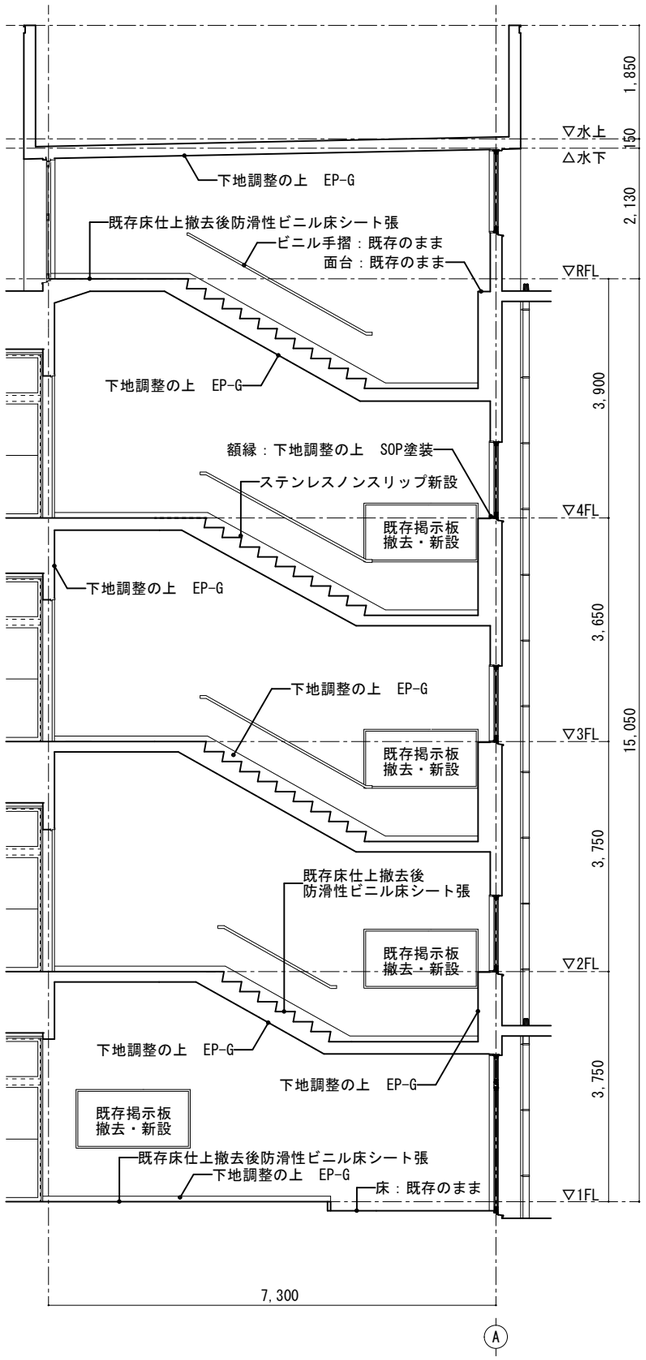
階段室『改修』	
天井	既存下地調整の上 EP-G
壁	既存下地調整の上 EP-G
巾木	既存下地調整の上 EP-G
床	既存仕上一部撤去・補修後防滑性ビニル床シート張
手摺壁	既存下地調整の上 EP-G 笠木：既存のまま
備考	新設　掲示板、ステンレスノンスリップ 既存流用 手摺、面台

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	塔屋屋内階段平面詳細図	A1：1/ 30 A3：1/ 60	Ａ－３５
	鹿児島市建設局建築部建築課		

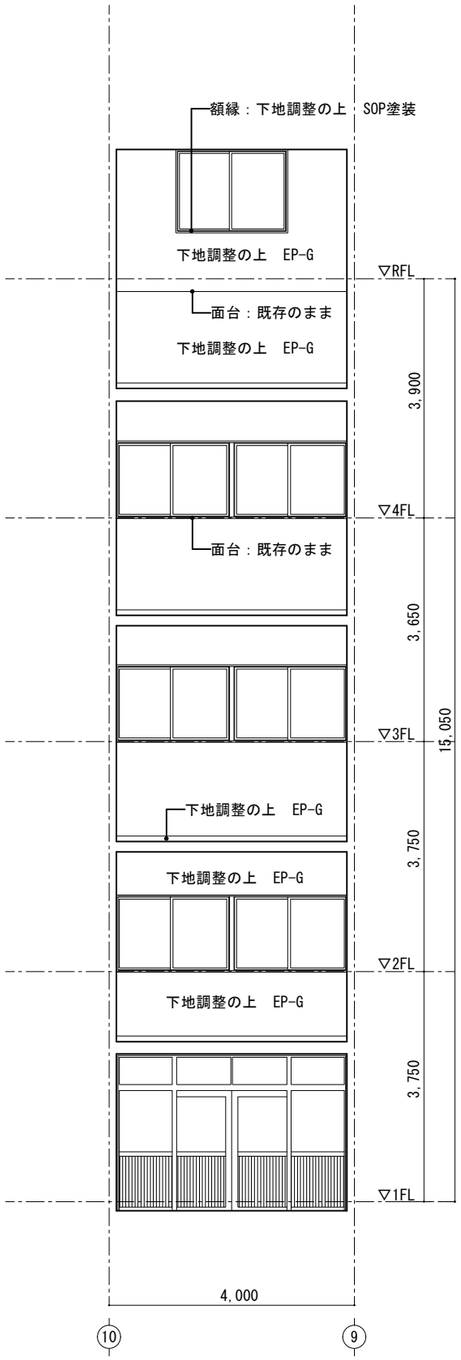
改修前後	A面　展開図	S=1：100



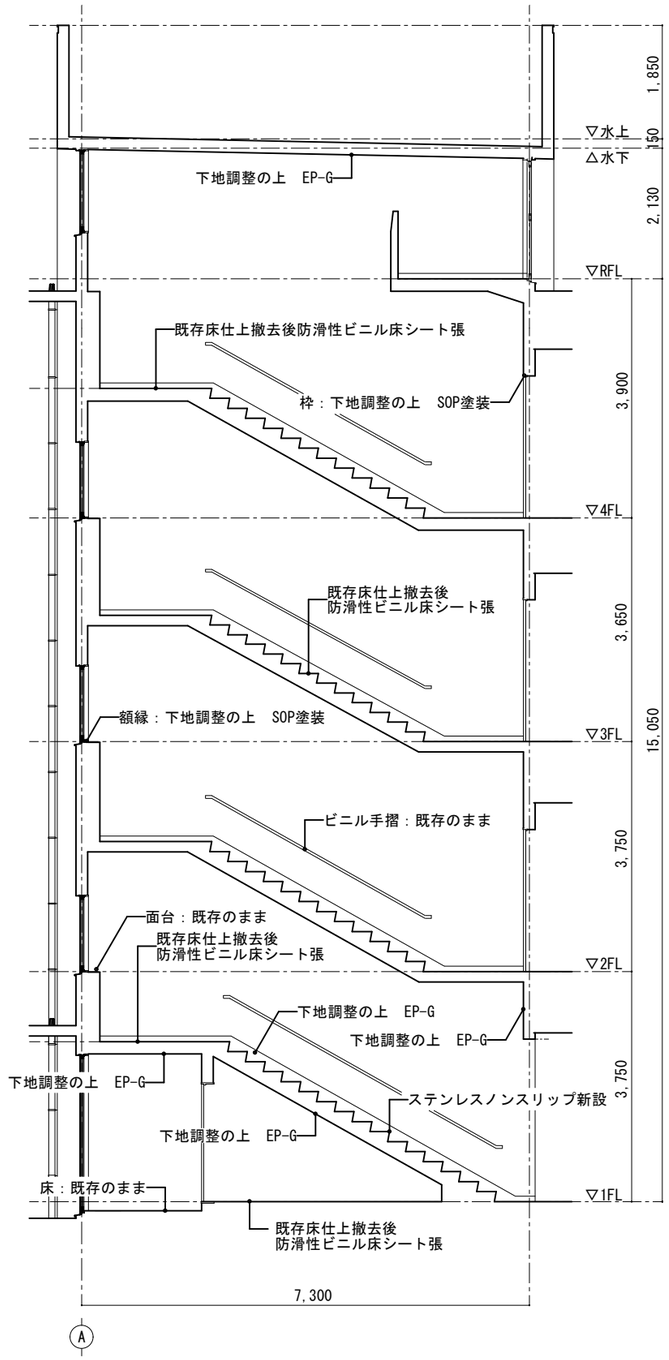
改修前後	B面　展開図	S=1：100



改修前後	C面　展開図	S=1：100

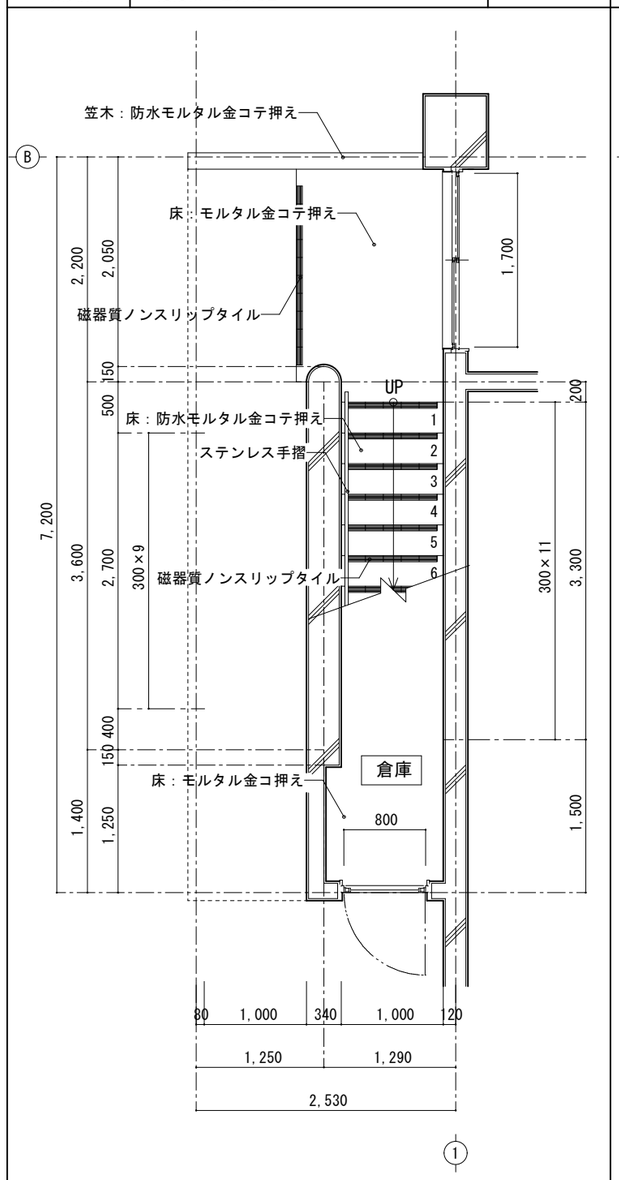


改修前後	D面　展開図	S=1：100

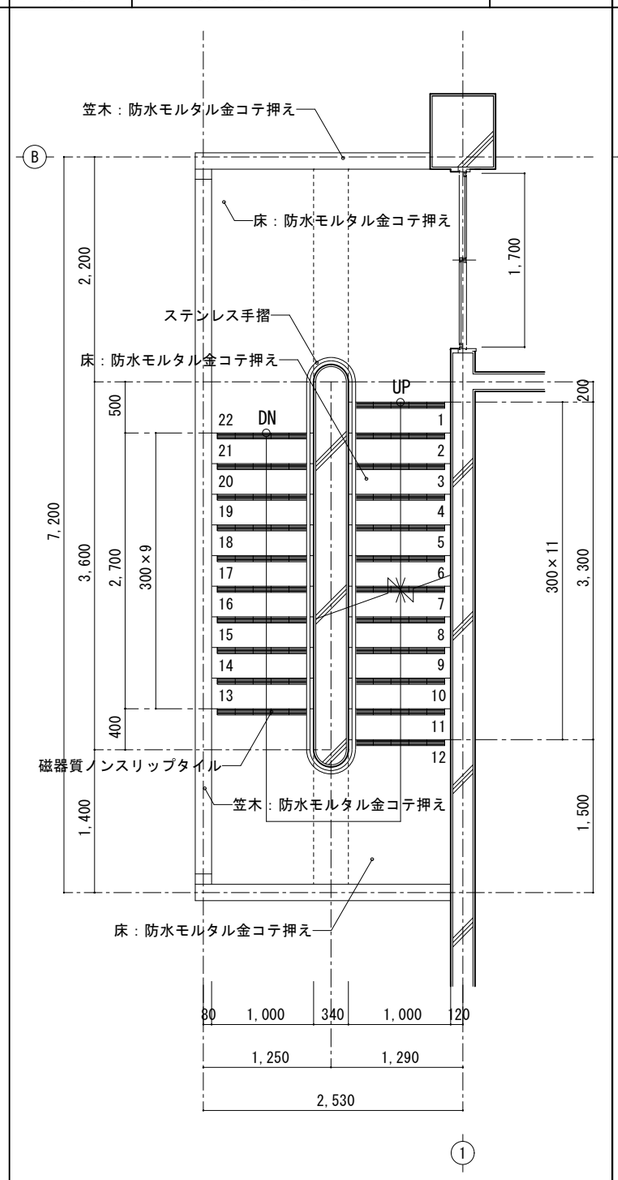


株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	屋内階段展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－３６
	鹿児島市建設局建築部建築課		

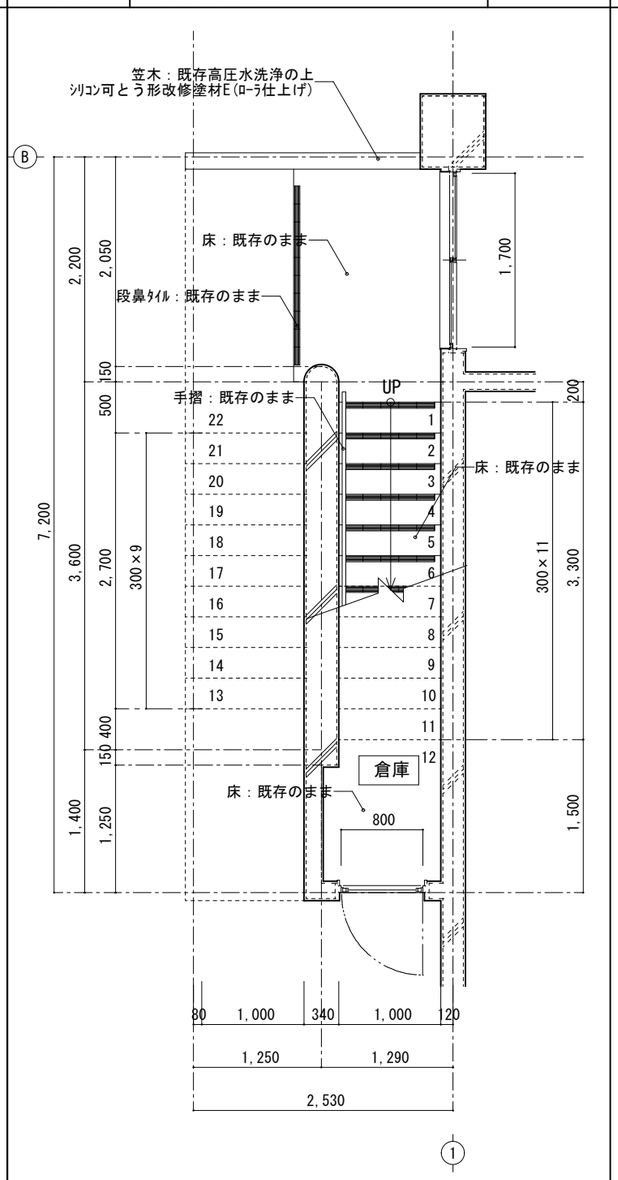
改修前	１階階段平面詳細図	１：６０



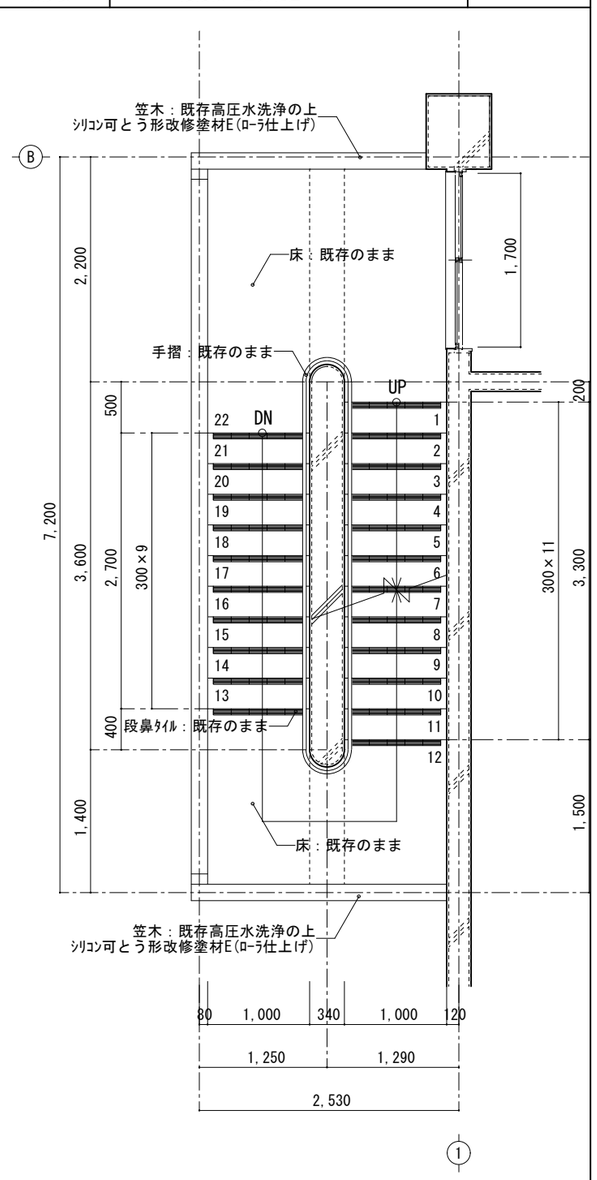
改修前	２・３階階段平面詳細図	１：６０



改修後	１階階段平面詳細図	１：６０



改修後	２・３階階段平面詳細図	１：６０

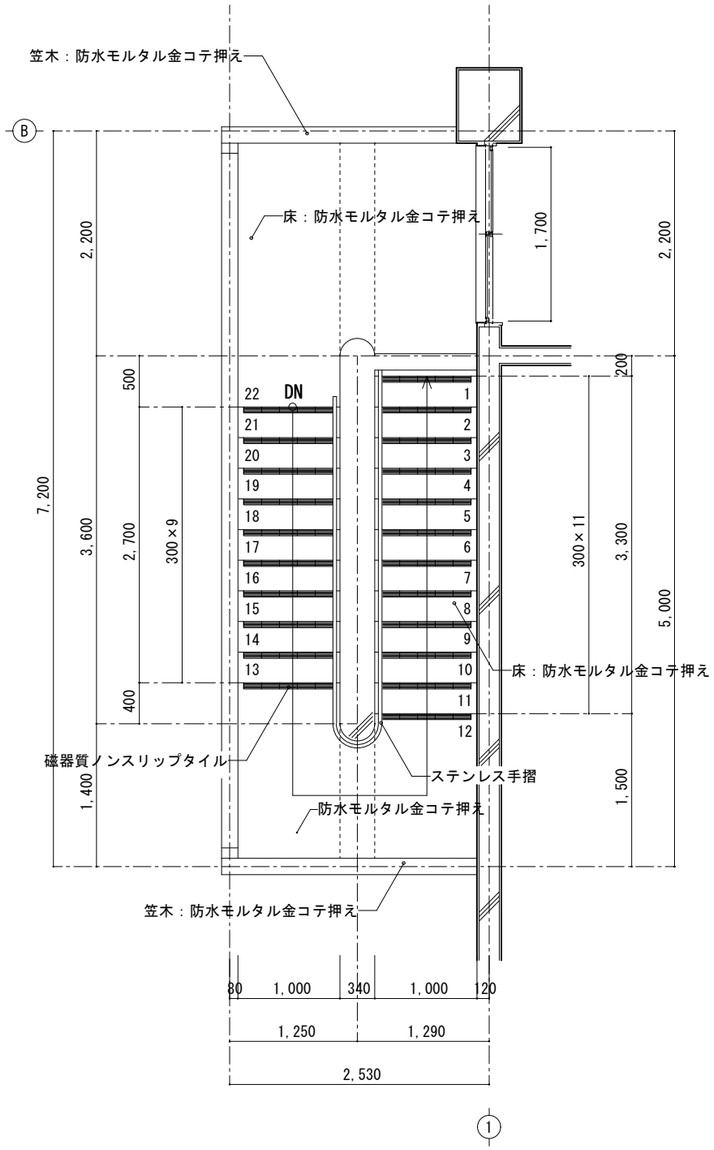


屋外階段『既存』	
天井	モルタル刷毛引き アクリル系リシン吹付
壁	モルタル刷毛引き アクリル系リシン吹付
巾木	防水モルタルコテ押え
床	防水モルタル金コテ押え 段鼻：磁器質ノンスリップタイル
備考	ステンレス手摺

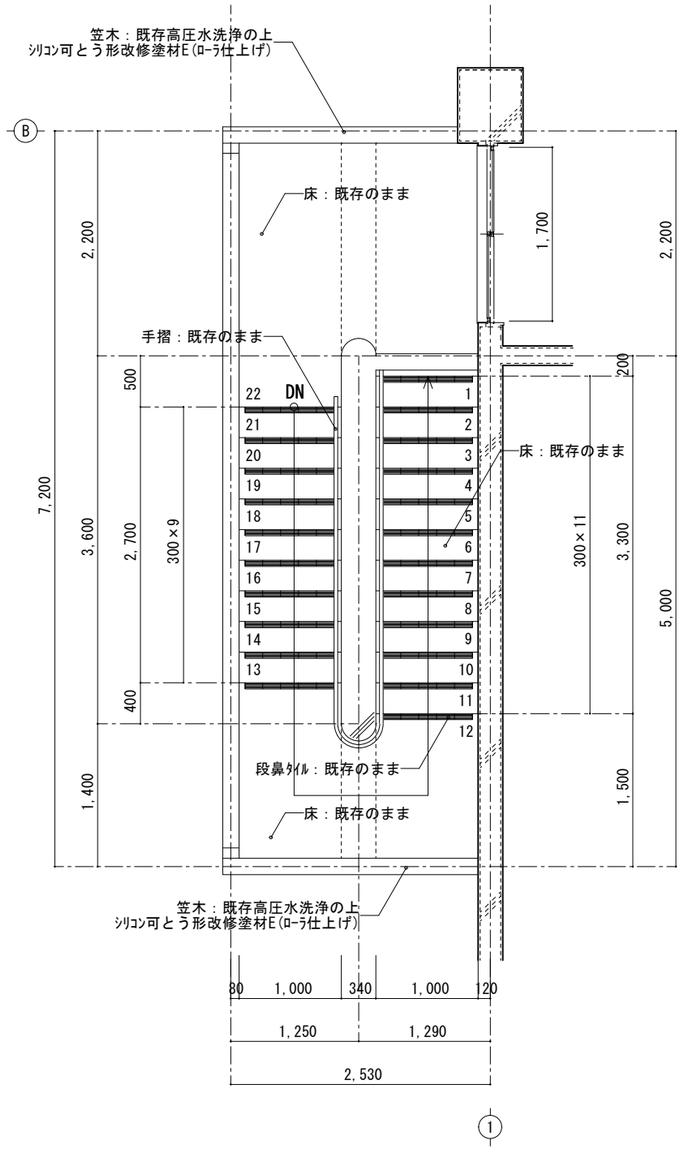
屋外階段『改修』	
天井	既存高圧水洗浄の上 アクリル系軒天井用仕上塗材
壁	既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E
巾木	既存高圧水洗浄の上DP塗装
床	既存のまま
備考	ステンレス手摺：既存のまま

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	１．２．３階 屋外階段平面詳細図	A1：1/ 30 A3：1/ 60	Ａ－３７
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修前	４階階段平面詳細図	１：６０



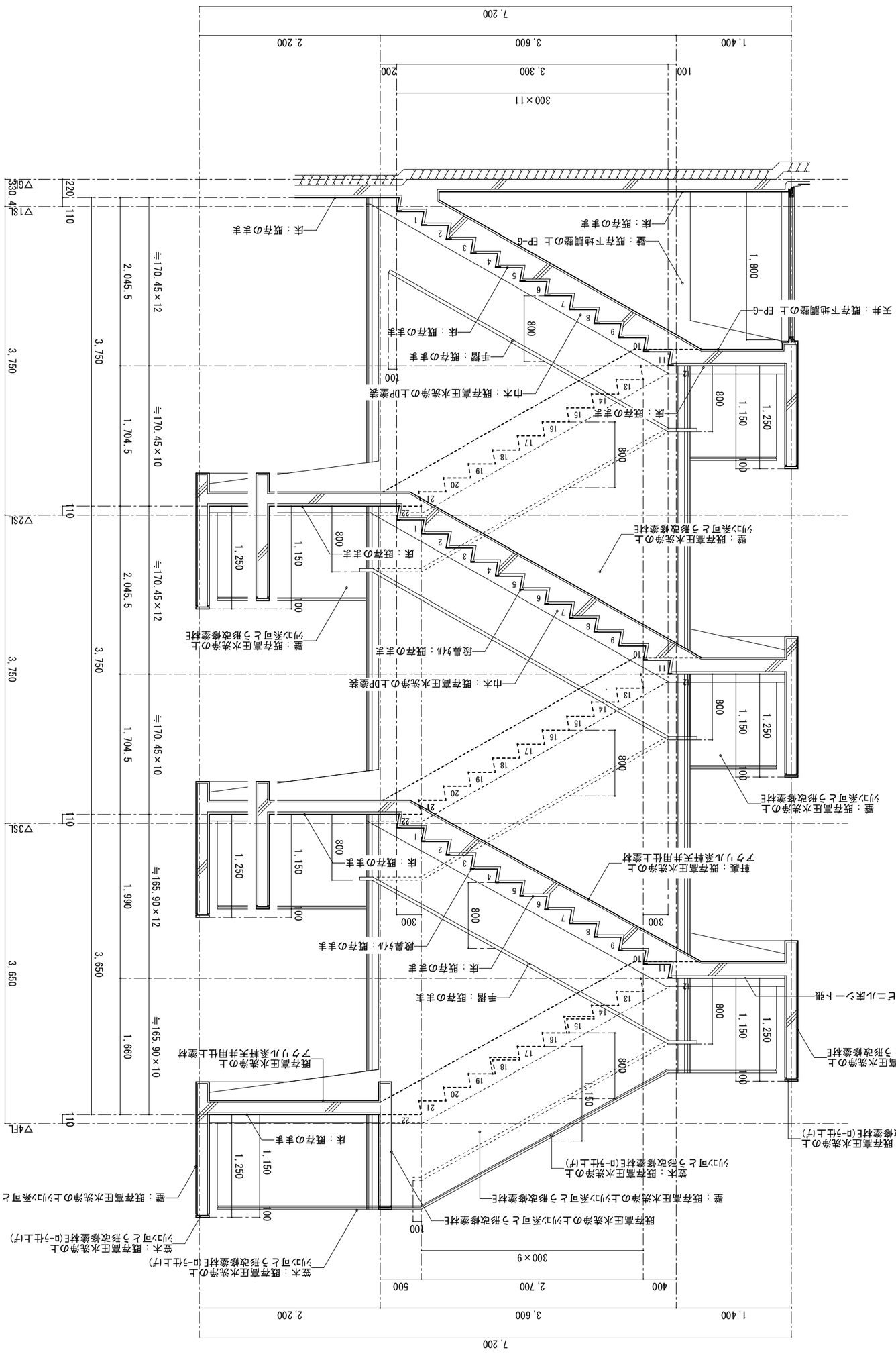
改修後	４階階段平面詳細図	１：６０



屋外階段『既存』	
天井	モルタル刷毛引き アクリル系リシン吹付
壁	モルタル刷毛引き アクリル系リシン吹付
巾木	防水モルタルコテ押え
床	防水モルタル金コテ押え 段鼻：磁器質ノンスリップタイル
備考	ステンレス手摺

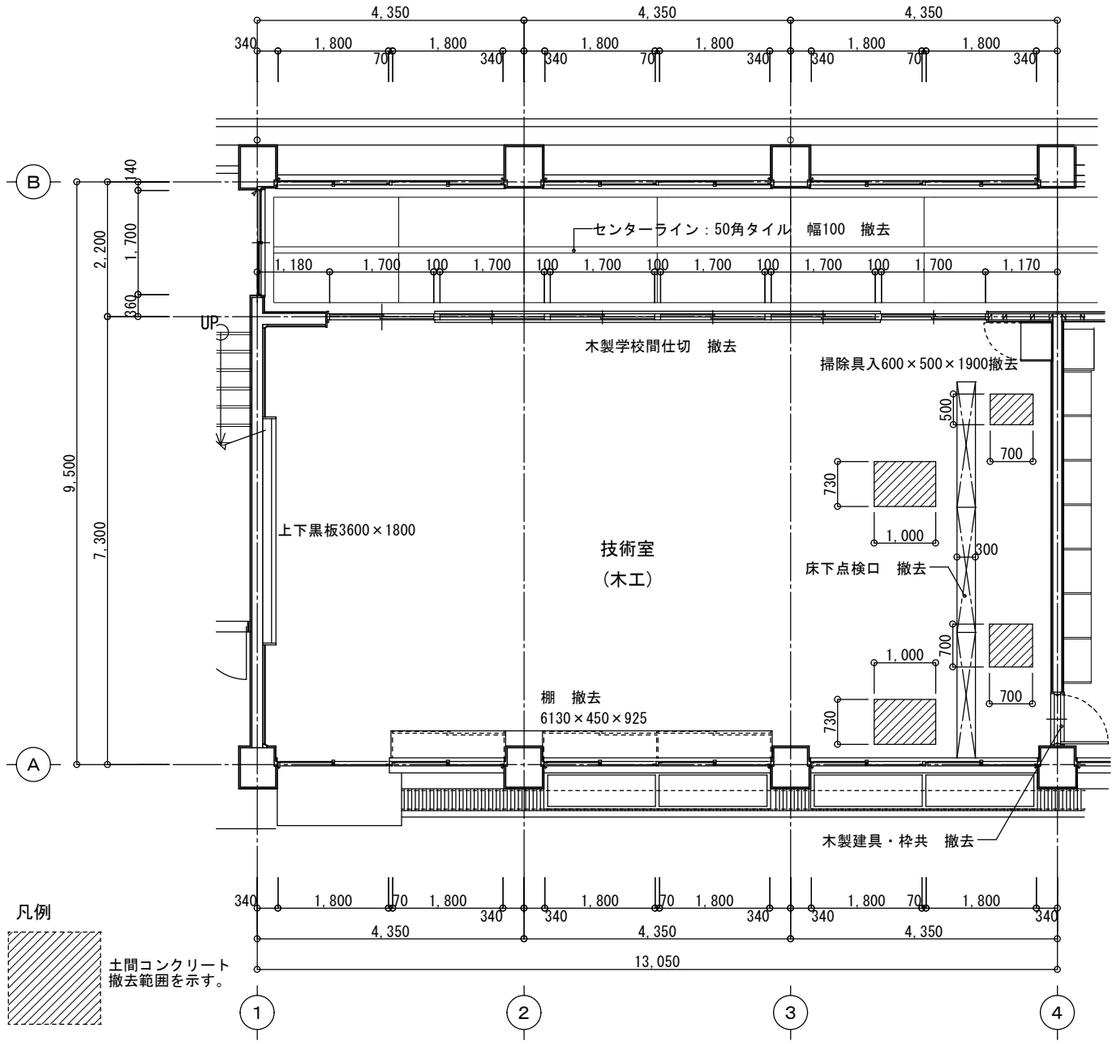
屋外階段『改修』	
天井	既存高圧水洗浄の上 アクリル系軒天井用仕上塗材
壁	既存高圧水洗浄の上ｼﾘｺﾝ系可とう形改修塗材E
巾木	既存高圧水洗浄の上DP塗装
床	既存のまま
備考	ステンレス手摺：既存のまま

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	４階屋外階段平面詳細図	A1：1/ 30 A3：1/ 60	Ａ－３８
	鹿児島市建設局建築部建築課		



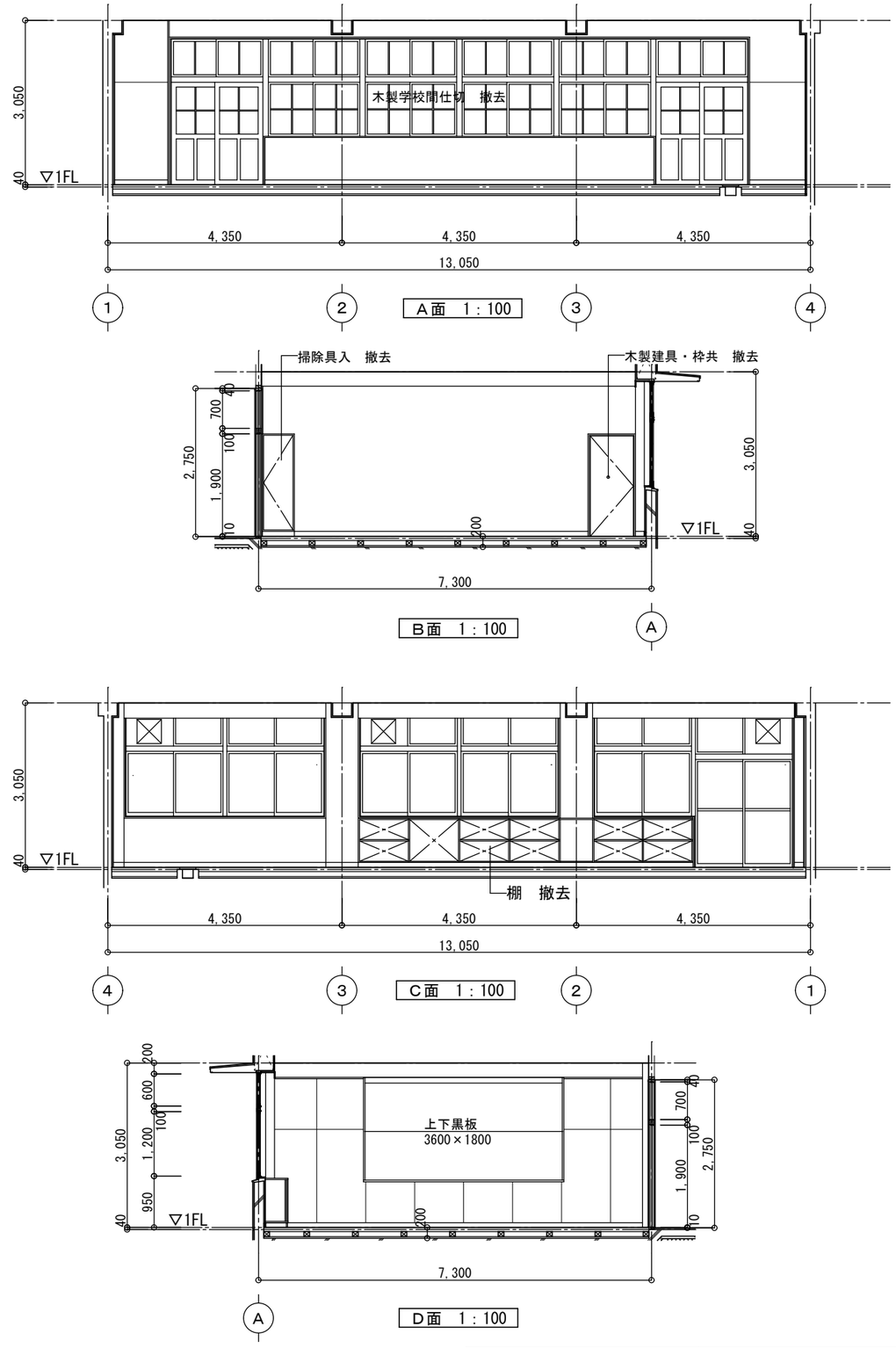
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事
	屋外階段断面詳細図
	A1：1/25 A3：1/50
	A－３９
	鹿児島市建設局建築部建築課

改修前	１階　技術室（木工）　平面詳細図	１：100



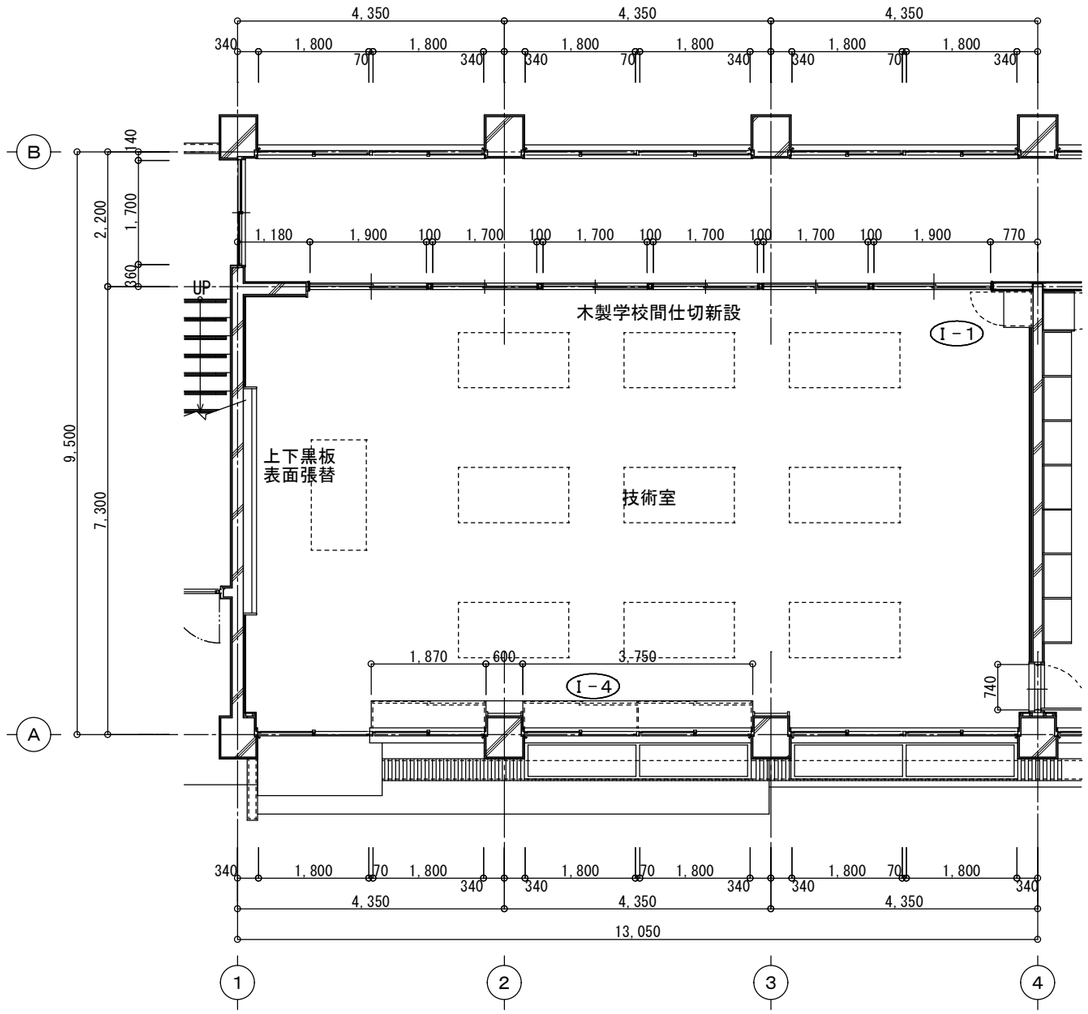
室名	技術室（木工）				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90
	下地	軽天下地	床	仕上	t=18 桧縁甲板貼　撤去 コンクリート金コテ押え　撤去（斜線部）
		梁型　モルタル金コテ押え　AEP塗装			
壁	仕上	A面　木製学校間仕切　撤去 木胴縁下地 木組下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁・木組下地共撤去） B面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 C面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） 柱型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	床	下地	木造床組下地　撤去
			備考		既存流用 木製カーテンボックス：t=21 OP塗装 上下黒板3600×1800 撤去 棚、掃除具入れ 室名札 床下点検口：300×2000（3ヵ所）

改修前	１階　技術室（木工）　展開図	１：100



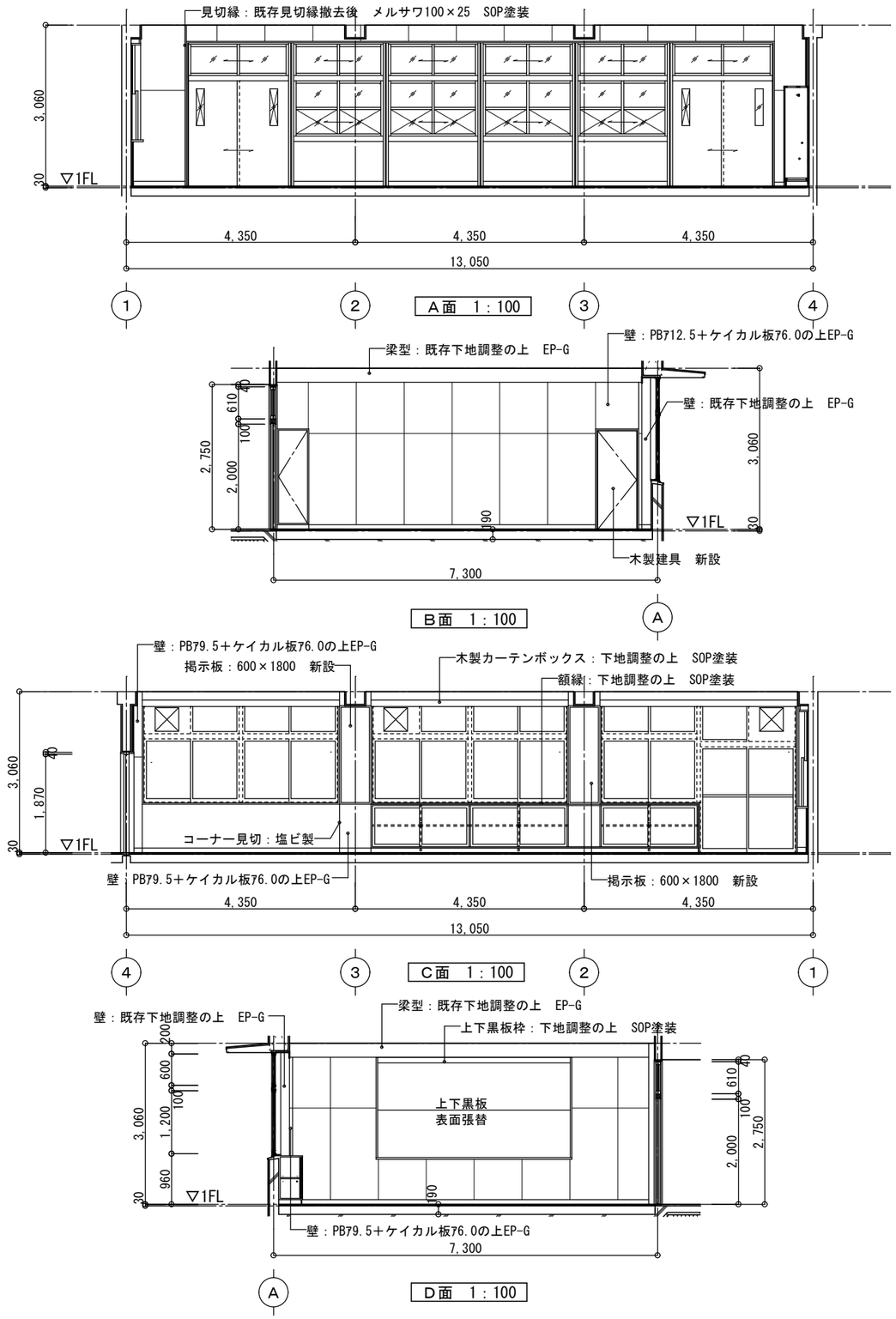
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	既存１階 技術室(木工) 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－40
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修後	１階　技術室　平面詳細図	１：100



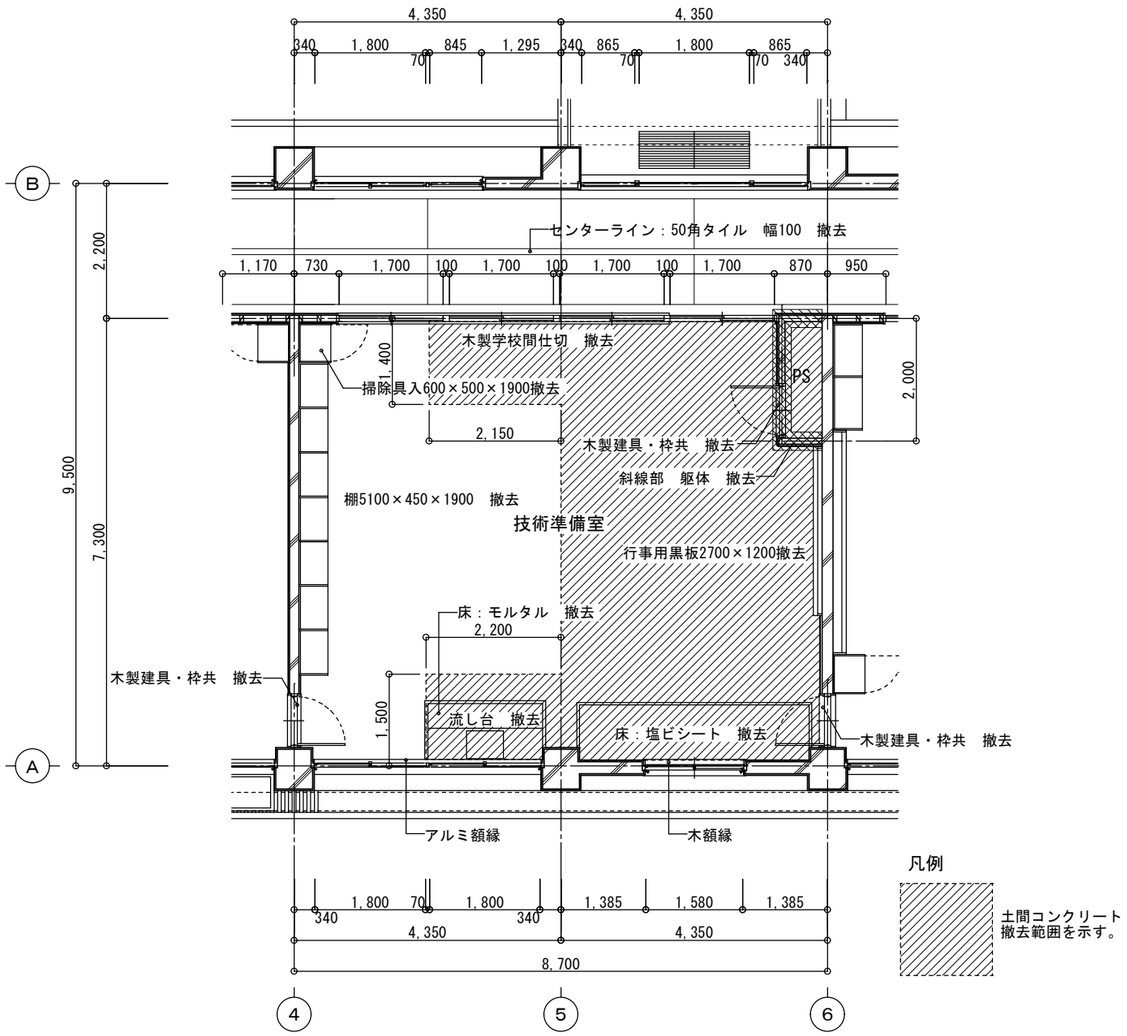
室名	技術室				
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
	下地	軽天下地	床	仕上	既存下地撤去後、乾式二重床（際根太45×45注入処理材共） ＋構造用合板712mm二重張
		梁型　下地調整の上　EP-G塗装		下地	既存下地撤去後、転ばし床組＋構造用合板712mm二重張
壁	仕上	A面　木製学校間仕切 既存RC下地 既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G 既存木組下地 既存木組下地＋ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りH=100共撤去後 ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G B面　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G C面　既存下地調整の上　EP-G D面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G 柱型　既存下地調整の上　EP-G （「正面：小口）　木胴縁下地 PB79.5＋ｹｲｶﾙ板76.0二重張の上 EP-G	備考		既存流用 木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装 額縁：下地調整の上　SOP塗装 上下黒板3600×1800 新設 収納棚、掃除用具入 室名札 掲示板 柱型コーナー部：見切（塩ビ製）

改修後	１階　技術室　展開図	１：100



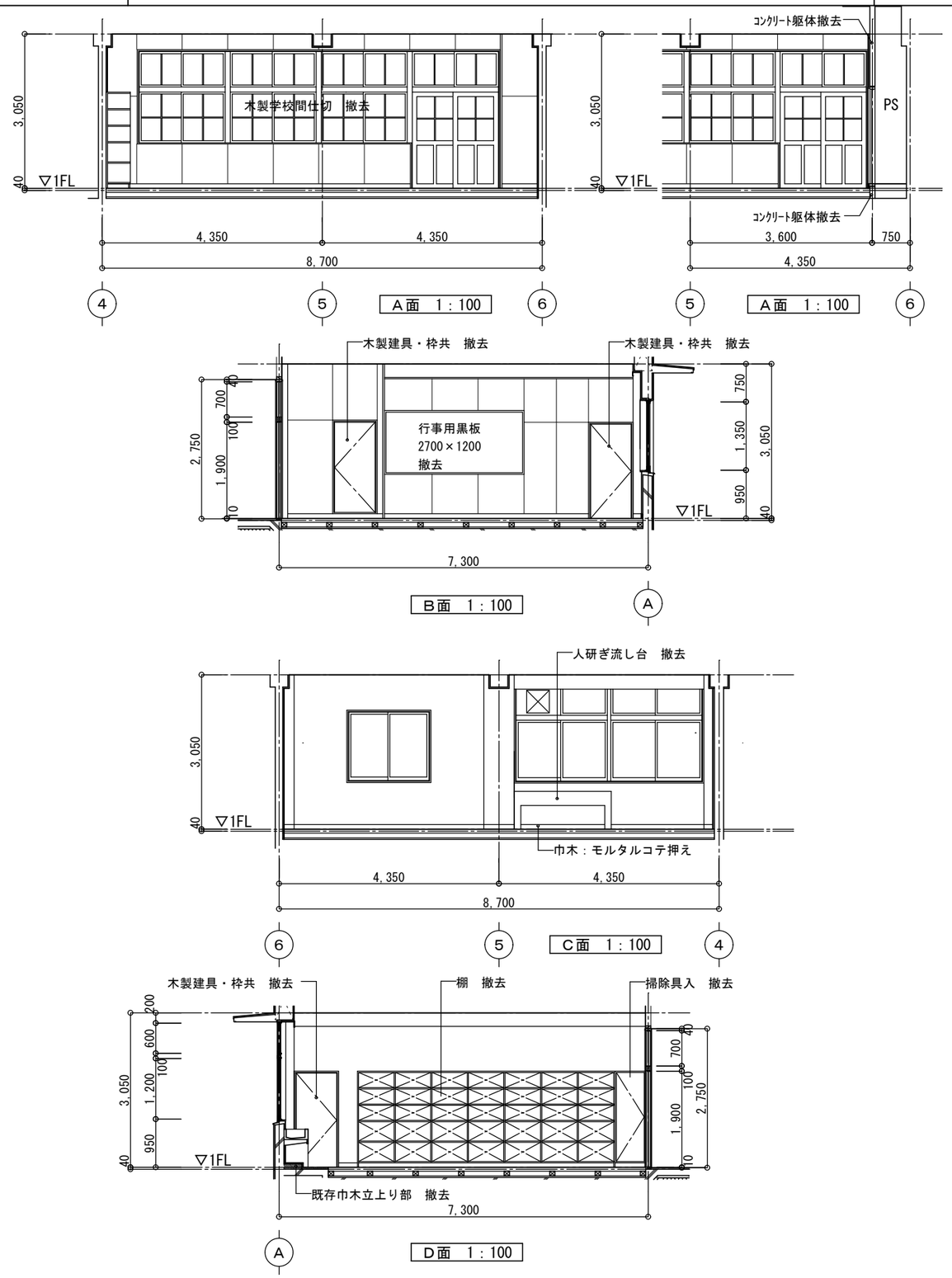
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事 改修１階 技術室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－４１

改修前	１階　技術準備室　平面詳細図	１：100



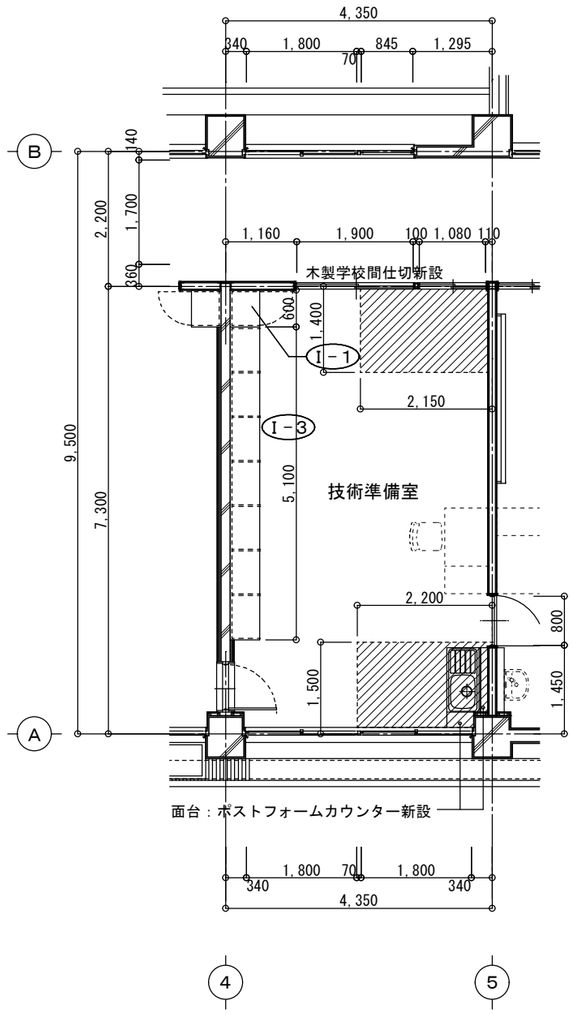
室名	技術準備室				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90
	下地	軽天下地			流し台下　モルタルコテ押え　H=90
		梁型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	床	仕上	t=18 桧縁甲板貼　撤去
壁	仕上	A面　木製学校間仕切　撤去 木胴縁下地 木組下地 T1ベニヤ　7.5　OP塗装 （木胴縁・木組下地共撤去） B面　木胴縁下地 T1ベニヤ　7.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） PS廻り：コンクリート躯体共撤去 C面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 柱型　モルタル金コテ押え　AEP塗装		下地	木造床組下地　撤去
				仕上	構造用合板 t=15の上 塩ビシート t=2.5 貼　撤去
				下地	木造床組下地　撤去
				仕上	モルタルコテ押え
				下地	土間コンクリート　一部撤去
			備考		既存流用 木製カーテンボックス：t=21 OP塗装 アルミ製カーテンボックス 撤去 行事用黒板2700×1200 棚、掃除具入れ、 室名札

改修前	１階　技術準備室　展開図	１：100



株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	既存１階　技術準備室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－４２

改修後	１階　技術準備室　平面詳細図	１：100



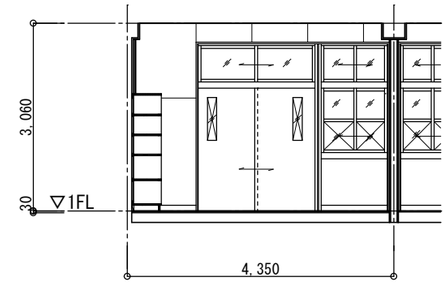
凡例

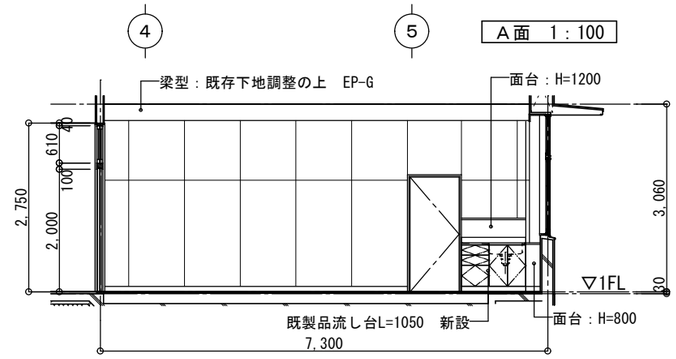
土間コンクリート
復旧範囲を示す。

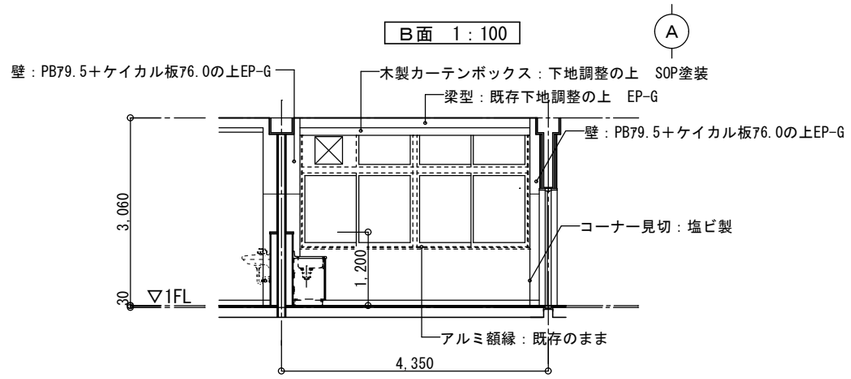
既存下地撤去後、乾式二重床（際根太45×45注入処理材共）
＋構造用合板712mm二重張

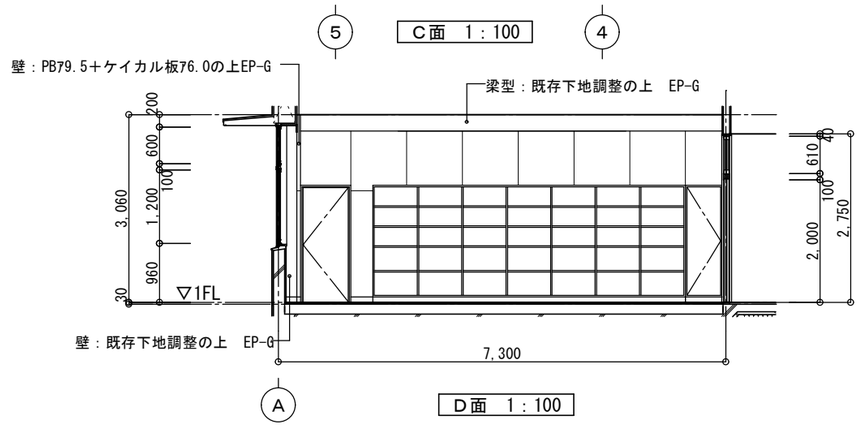
室名	技術準備室				
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
	下地	軽天下地			流し台下　モルタルコテ押え　撤去補修
		梁型　下地調整の上　EP-G塗装	床	仕上	既存撤去後、緩衝材72.0下地　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張
壁	仕上	A面　木製学校間仕切 既存木組下地 既存木組下地＋ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りH=100共撤去後 ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G B面　ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G C面　既存下地調整の上　EP-G D面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G 柱型　既存下地調整の上　EP-G （「正面：小口）　木胴縁下地 PB79.5＋ｹｲｶﾙ板76.0二重張の上　EP-G		下地	**既存下地撤去後、乾式二重床（際根太45×45注入処理材共） ＋構造用合板712mm二重張** 流し台下　増打ちコンクリート・モルタル撤去・補修の上 構造用合板712mm二重張 土間コンクリート　一部復旧
			備考		既存流用 木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装 額縁：下地調整の上　SOP塗装 額縁：アルミ額縁　既存のまま 新設 収納棚、掃除用具入 室名札 柱型コーナー部：見切（塩ビ製） 面台：LGS（W=90）下地、耐水合板79.0の上 ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板張 天端：ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ719×120・250

改修後	１階　技術準備室　展開図	１：100



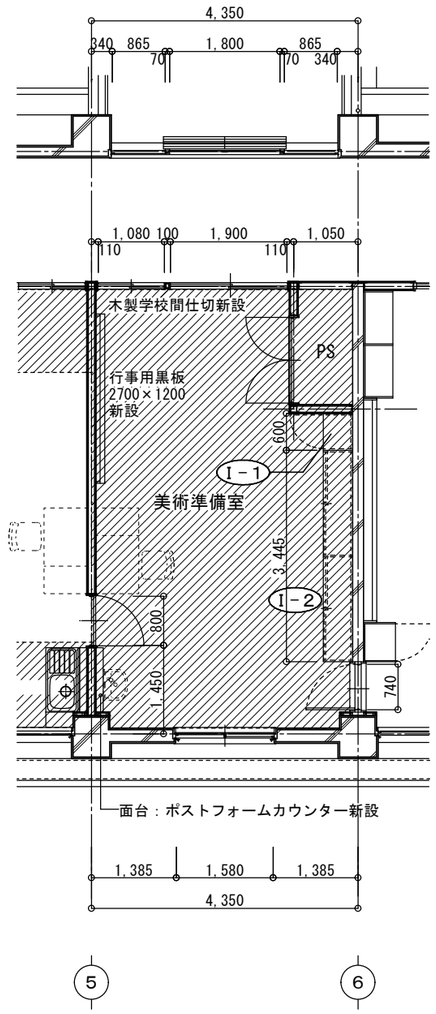






株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	改修１階　技術準備室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－４３
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修後	１階　美術準備室　平面詳細図	１：100

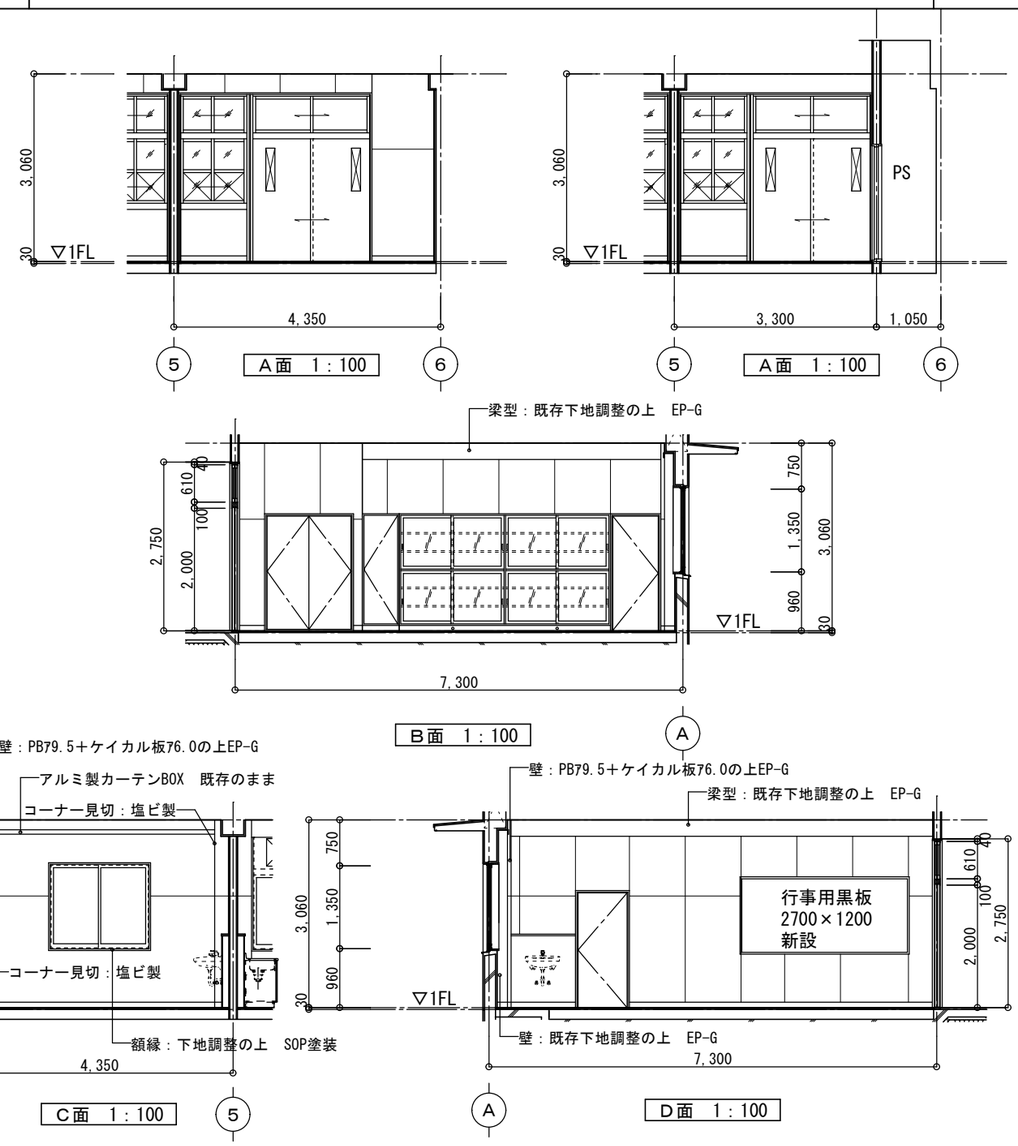


凡例

土間コンクリート
復旧範囲を示す。

室名	美術準備室				
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
	下地	軽天下地			
		梁型　下地調整の上　EP-G塗装	床	仕上	既存撤去後、緩衝材7.2.0下地　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張
壁	仕上	A面　木製学校間仕切 既存木組下地 既存木組下地＋ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りH=100共撤去後 ＬＧＳ壁:（Ｗ＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G B面　木胴縁下地・ｺﾝｸﾘｰﾄ下地撤去後 ＬＧＳ壁:（Ｗ＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G 既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G C面　既存下地調整の上　EP-G D面　ＬＧＳ壁:（Ｗ＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G 柱型　既存下地調整の上　EP-G （「正面：小口）　木胴縁下地 PB79.5＋ｹｲｶﾙ板76.0二重張の上　EP-G	床	下地	既存下地撤去後、乾式二重床（際根太45×45注入処理材共） ＋構造用合板712mm二重張 土間コンクリート　一部復旧
			備考		既存流用 アルミ製カーテンBOX　既存のまま 額縁：下地調整の上　SOP塗装 新設 収納棚、掃除用具入 行事用黒板　　2700×1200 室名札 柱型コーナー部：見切（塩ビ製） 面台：LGS（W=90）下地、耐水合板79.0の上 ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板張 天端：ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ719×110

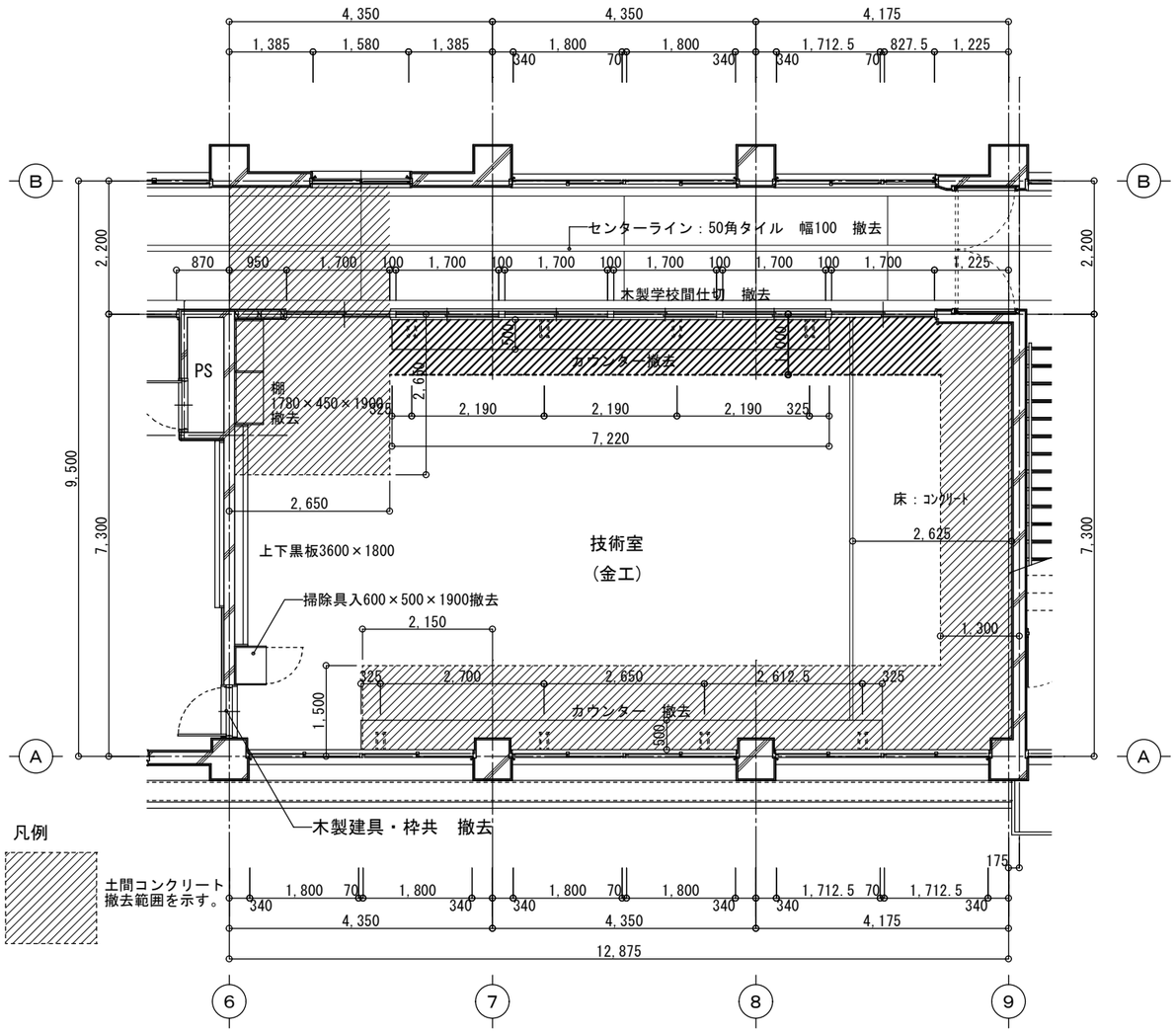
改修後	１階　美術準備室　展開図	１：100



室名	PS				
天井	仕上	既存のまま（ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し）	巾木	仕上	
	下地				
壁	仕上	A面　既存ｺﾝｸﾘｰﾄ壁　撤去後 ＬＧＳ壁:（Ｗ＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張 B面　既存ｺﾝｸﾘｰﾄ壁のまま（一部補修） C面　既存ｺﾝｸﾘｰﾄ壁　撤去後 ＬＧＳ壁:（Ｗ＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張 D面　既存ｺﾝｸﾘｰﾄ壁　撤去後 ＬＧＳ壁:（Ｗ＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張	床	仕上	土間・増打ちｺﾝｸﾘｰﾄ部　撤去後　土間コンクリート復旧
				下地	
			備考		

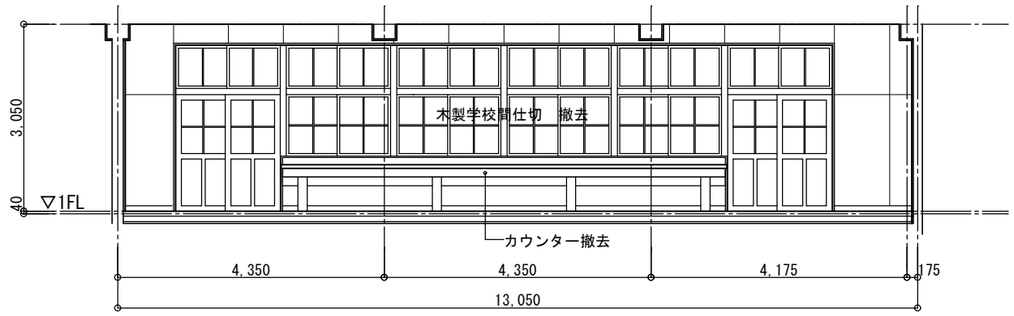
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	改修1階　美術準備室・PS 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－４４
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修前	１階　技術室（金工）　平面詳細図	1：100

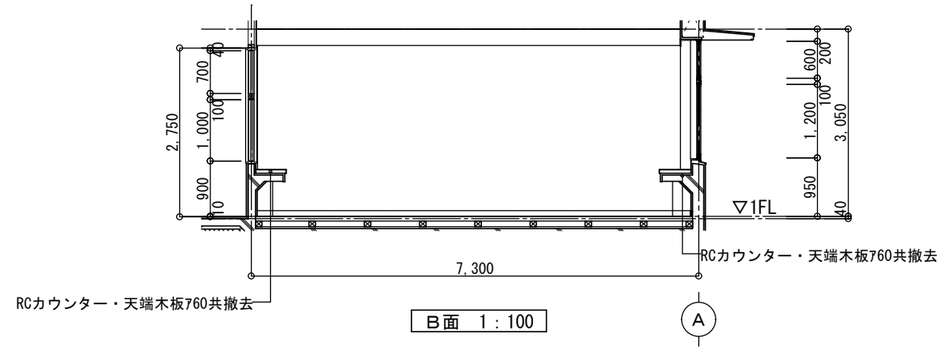


室名	技術室（金工）				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90
	下地	軽天下地	床	仕上	t=18 桧縁甲板貼　撤去
		梁型　モルタル金コテ押え　AEP塗装			コンクリート金コテ押え
壁	仕上	A面　木製学校間仕切　撤去 腰壁：コンクリート下地 木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （コンクリート・木胴縁共撤去） 木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） B面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 C面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） 柱型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	床	下地	木造床組下地　撤去 土間コンクリート　一部撤去
			備考		既存流用 木製カーテンボックス：t=21 OP塗装 上下黒板3600×1800 撤去 棚、掃除具入れ、カウンター 室名札

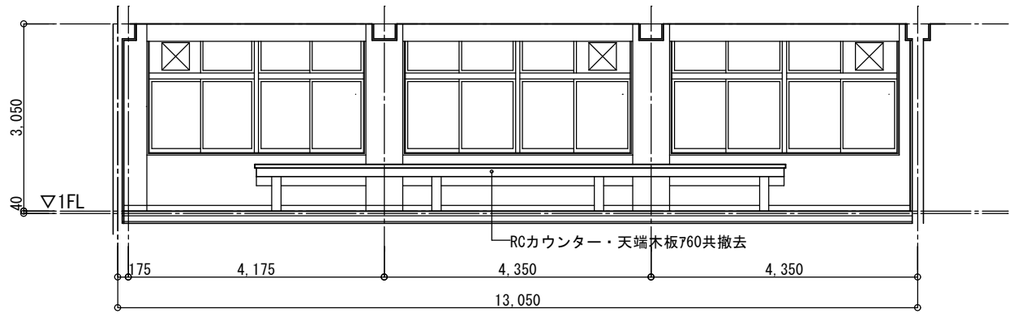
改修前	１階　技術室（金工）　展開図	1：100



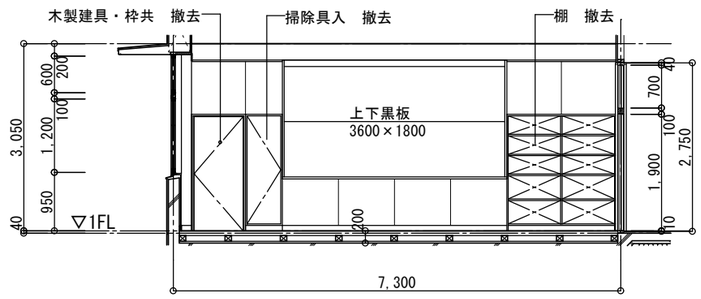
A面　1：100



B面　1：100



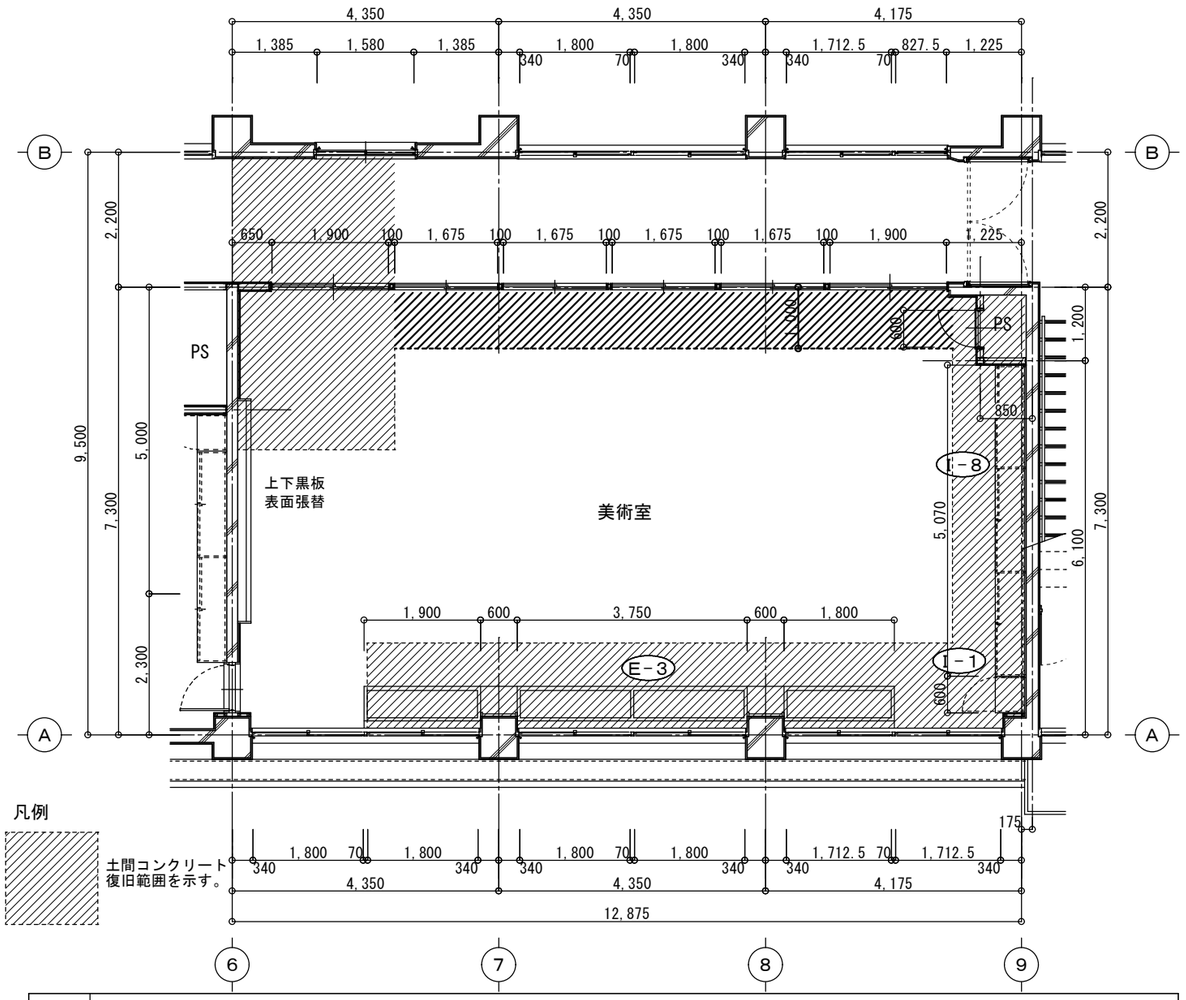
C面　1：100



D面　1：100

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	既存１階　技術室(木工) 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	Ａ－４５
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修後	１階　美術室　平面詳細図	１：100

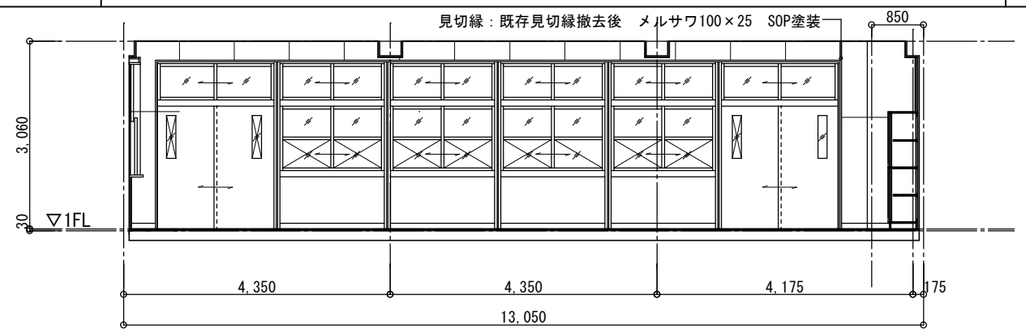


凡例

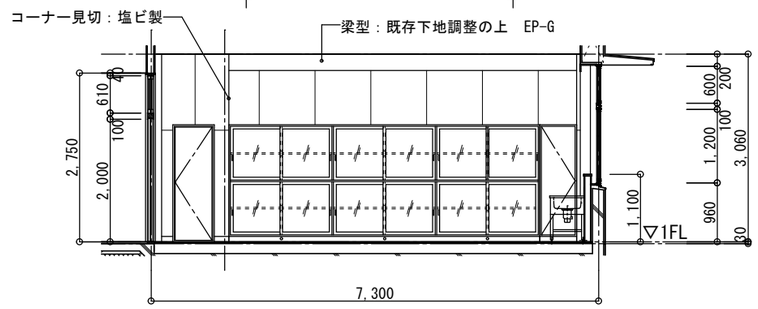
土間コンクリート復旧範囲を示す。

室名	美術室				
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
	下地	軽天下地	床	仕上	既存撤去後、緩衝材72.0下地　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張
		梁型　下地調整の上　EP-G塗装			既存コンクリートレベル調整の上、 緩衝材72.0下地　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張
壁	仕上	A面　木製学校間仕切 既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G 既存木組下地 既存木組下地＋ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りH=100共撤去後 ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100) 下地　ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G B面　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100) 下地　ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G C面　既存下地調整の上　EP-G D面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G 柱型　既存下地調整の上　EP-G （「正面：小口）　木胴縁下地 PB79.5＋ｹｲｶﾙ板76.0二重張の上 EP-G	床	下地	既存下地撤去後、乾式二重床（際根太45×45注入処理材共） ＋構造用合板712mm二重張
					土間コンクリート　一部復旧
			備考		既存流用 木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装 額縁：下地調整の上　SOP塗装 上下黒板3600×1800 新設 収納棚、掃除用具入 SUS製流し台 室名札 掲示板 面台：LGS（W=90）下地、耐水合板79.0の上 ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板張 天端：ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ719×130 柱型コーナー部：見切（塩ビ製）

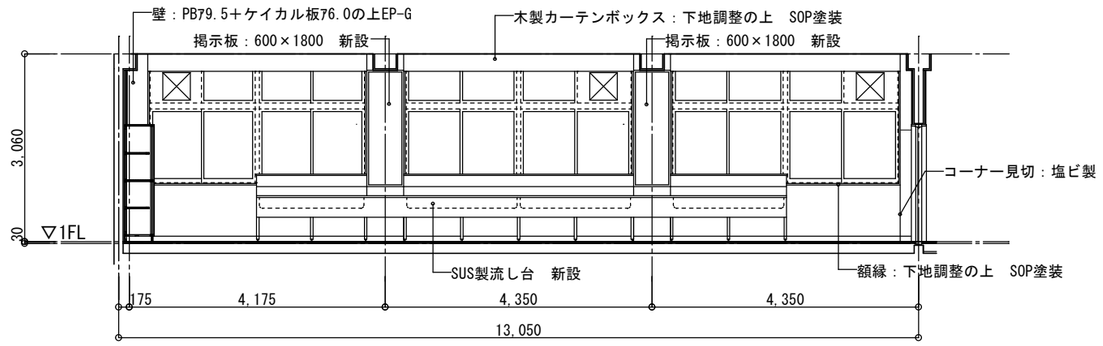
改修後	１階　美術室　展開図	１：100



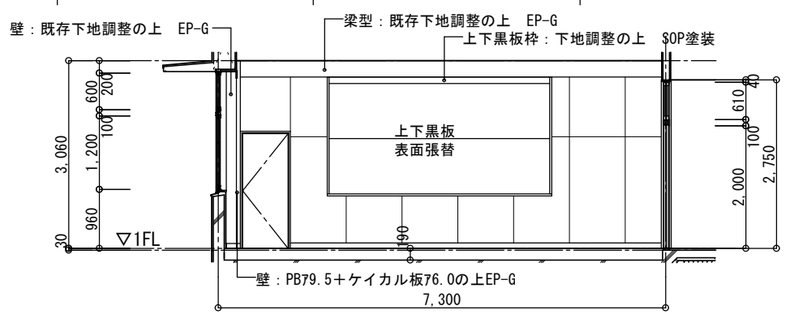
A面　1：100



B面　1：100



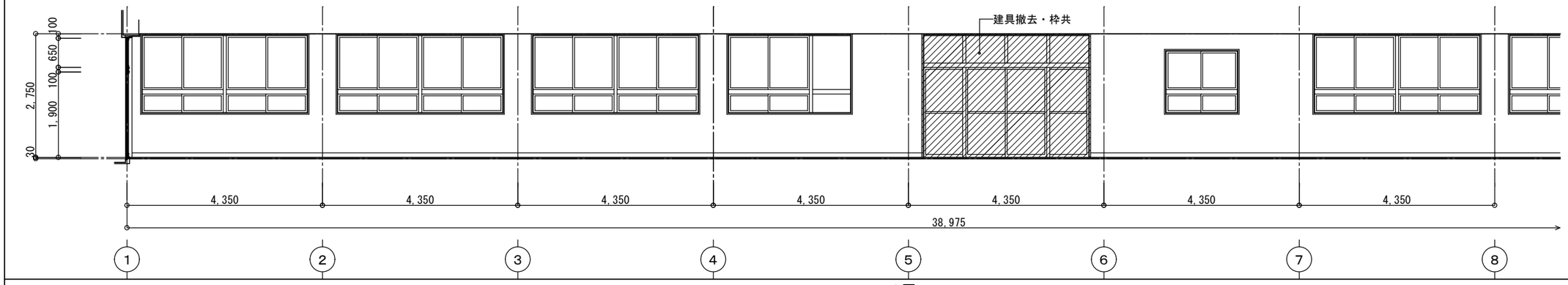
C面　1：100



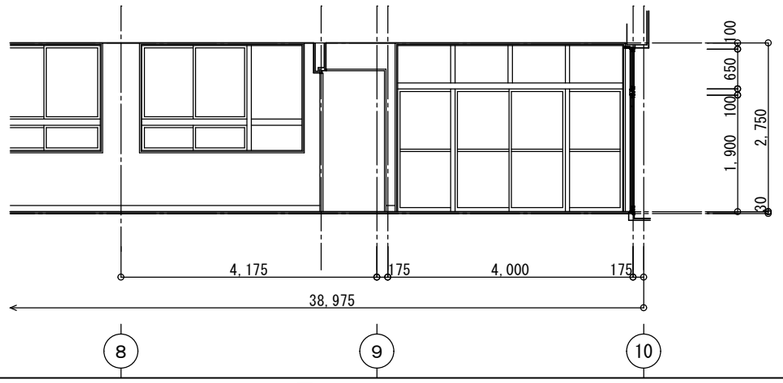
D面　1：100

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	改修1階　美術室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	Ａ－４６
	鹿児島市建設局建築部建築課		

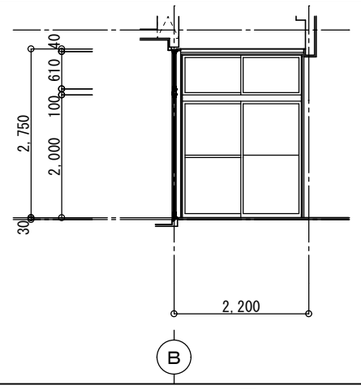
改修前	１階廊下　展開図	1：100



Ａ面

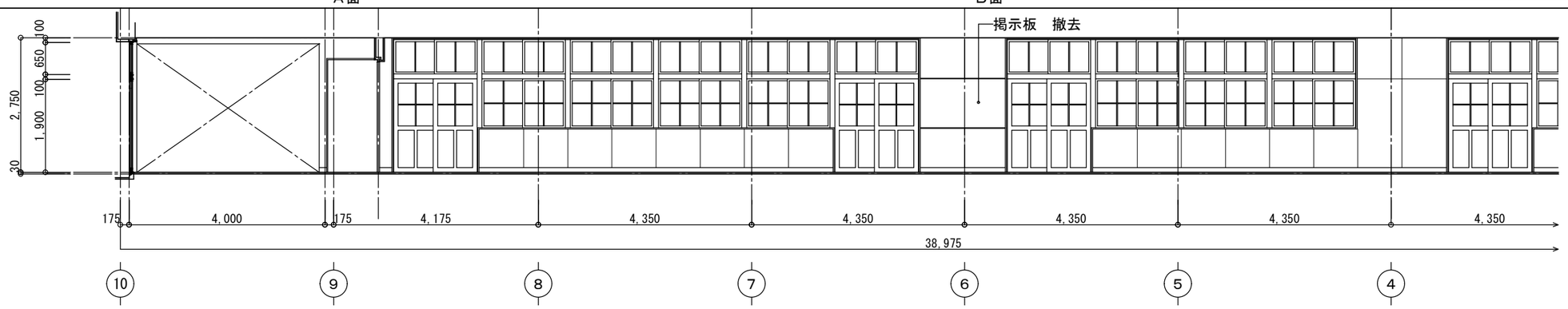


Ａ面

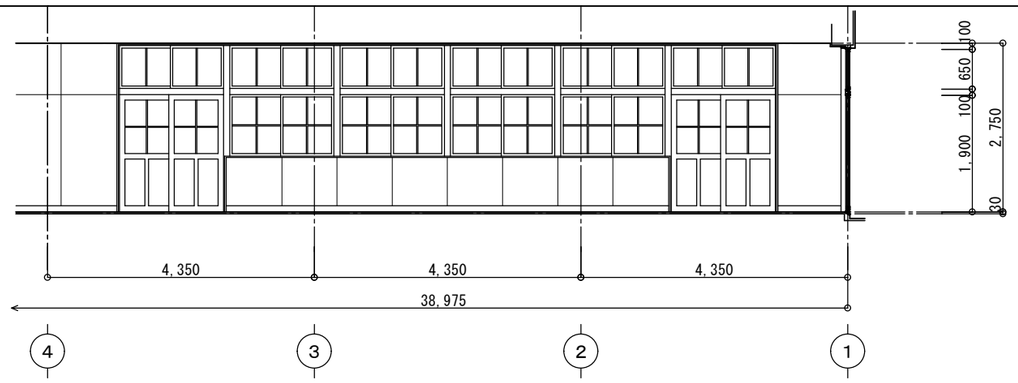


Ｂ面

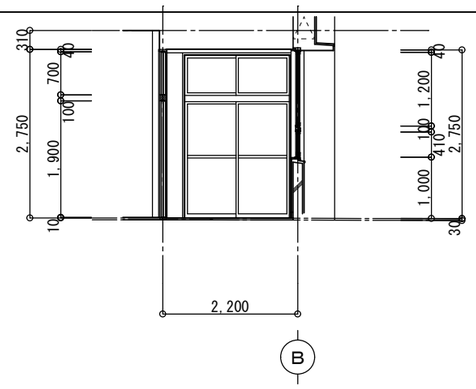
室名	1階廊下				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装　撤去	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90　撤去
		化粧石膏ボード　撤去			モルタル金コテ押え　AEP塗装
	下地	軽天下地　撤去	床	仕上	人造石金コテ押え　真鍮目地入り
					ライン：50角タイル貼　　撤去
壁	仕上	A面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 B面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 C面　木製学校間仕切　撤去 木組下地（コンクリート下地H=100） 木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木組下地・躯体・木胴縁共撤去） モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　モルタル金コテ押え　AEP塗装		下地	モルタル 土間コンクリート　一部撤去
			備考		既存流用 撤去 掲示板



Ｃ面



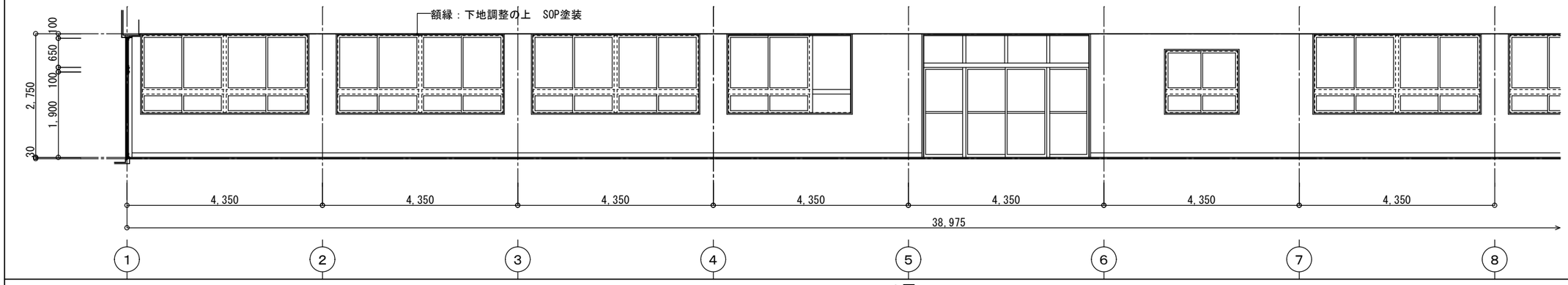
Ｃ面



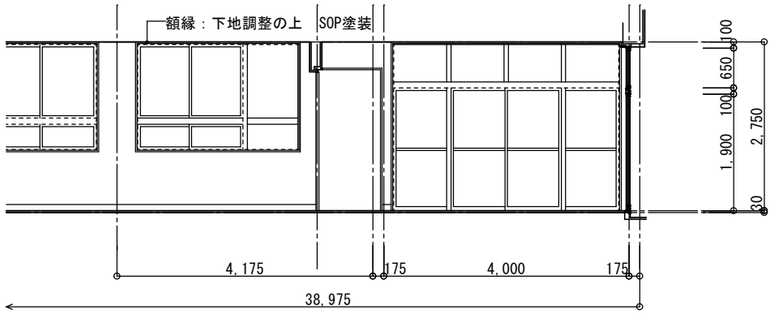
Ｄ面

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	既存　1階廊下展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	Ａ－４７
	鹿児島市建設局建築部建築課		

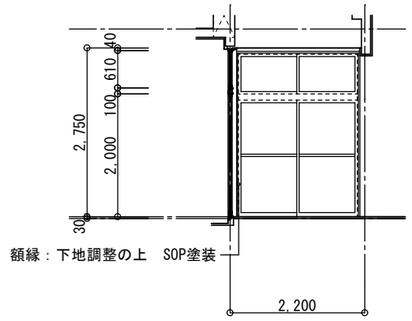
改修後	１階廊下　展開図	1：100



Ａ面

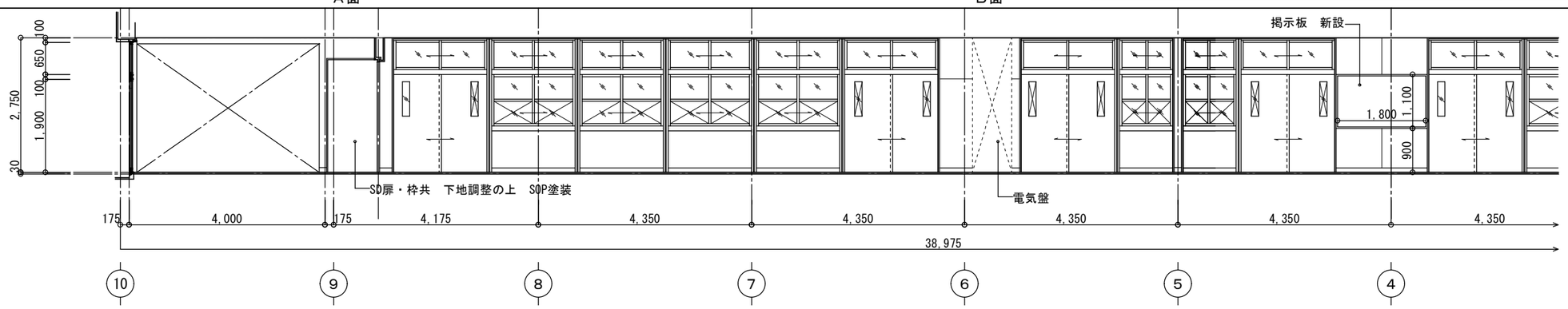


Ａ面

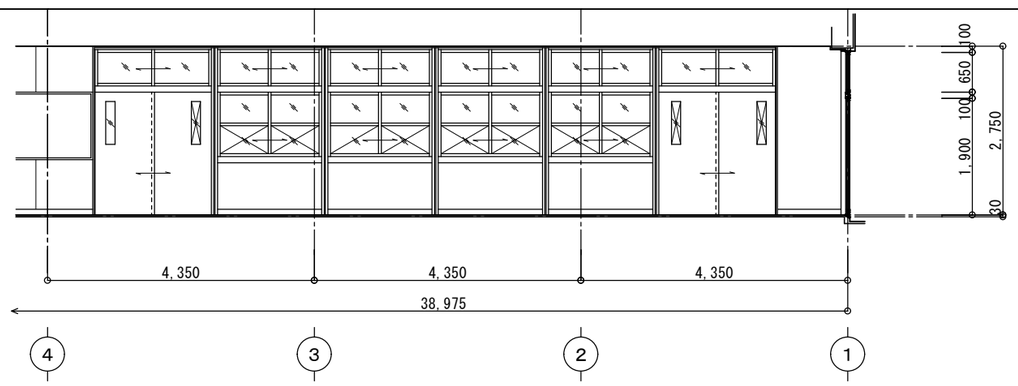


Ｂ面

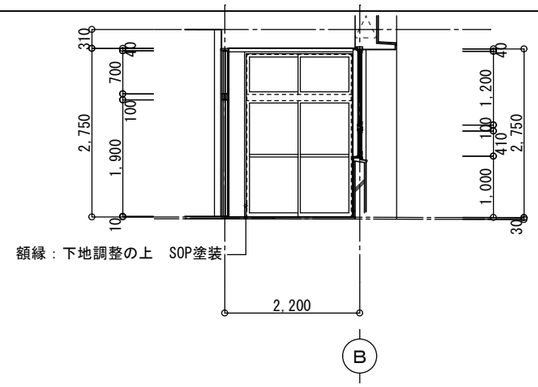
室名	1階廊下				
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
					下地補修の上　EP-G
	下地	軽天下地	床	仕上	下地調整.緩衝材72.0下地の上
					防滑性ビニル床シート張
壁	仕上	A面　下地調整の上　EP-G B面　下地調整の上　EP-G C面　木製学校間仕切　新設 ＬＧＳ壁:(W＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　下地調整の上　EP-G		下地	モルタル 土間コンクリート　一部復旧
			備考		既存流用 額縁：下地調整の上　SOP塗装 新設 掲示板



Ｃ面



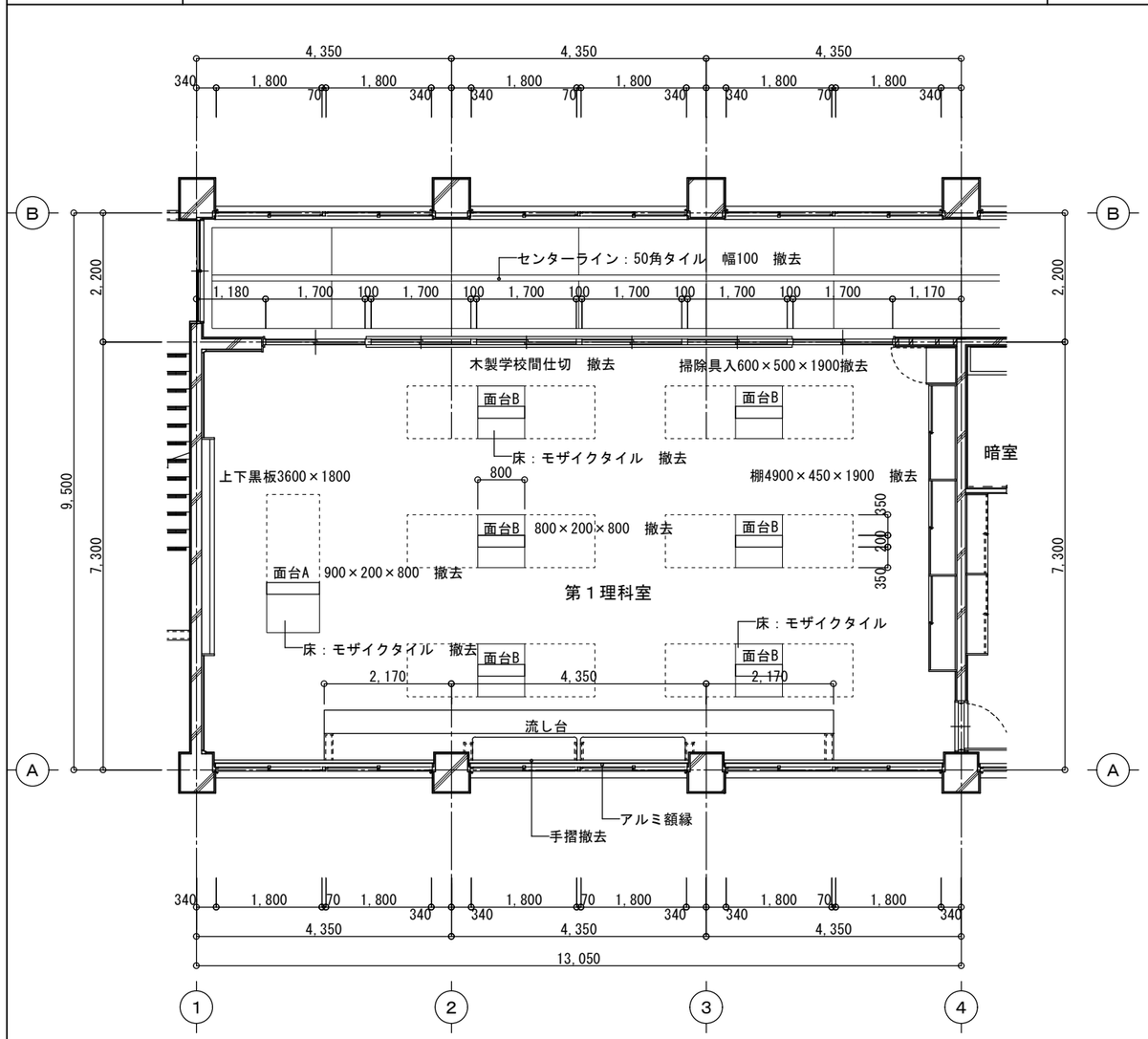
Ｃ面



Ｄ面

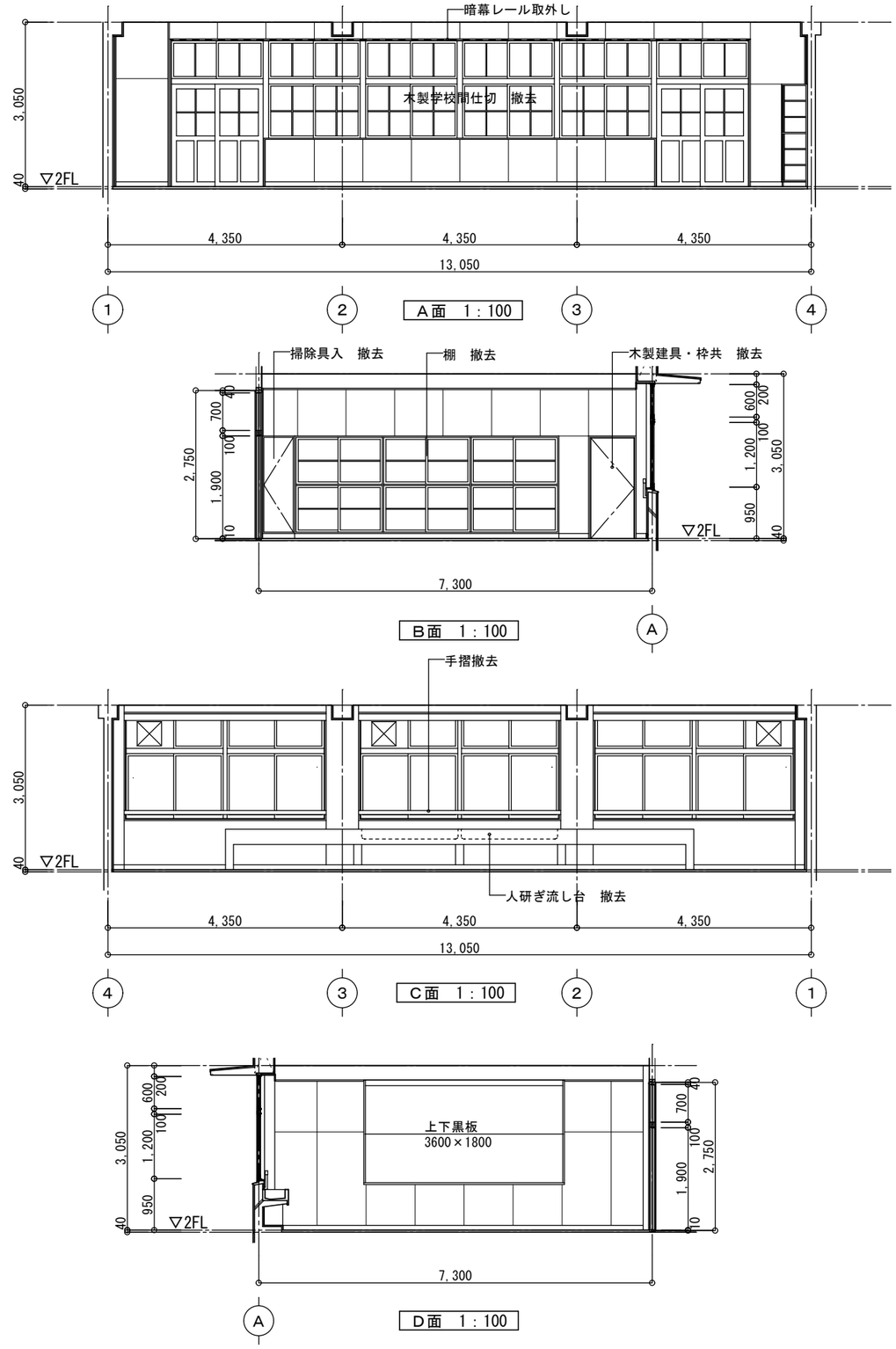
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	改修　1階廊下展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	Ａ－４８
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修前	２階　第１理科室　平面詳細図	1：100



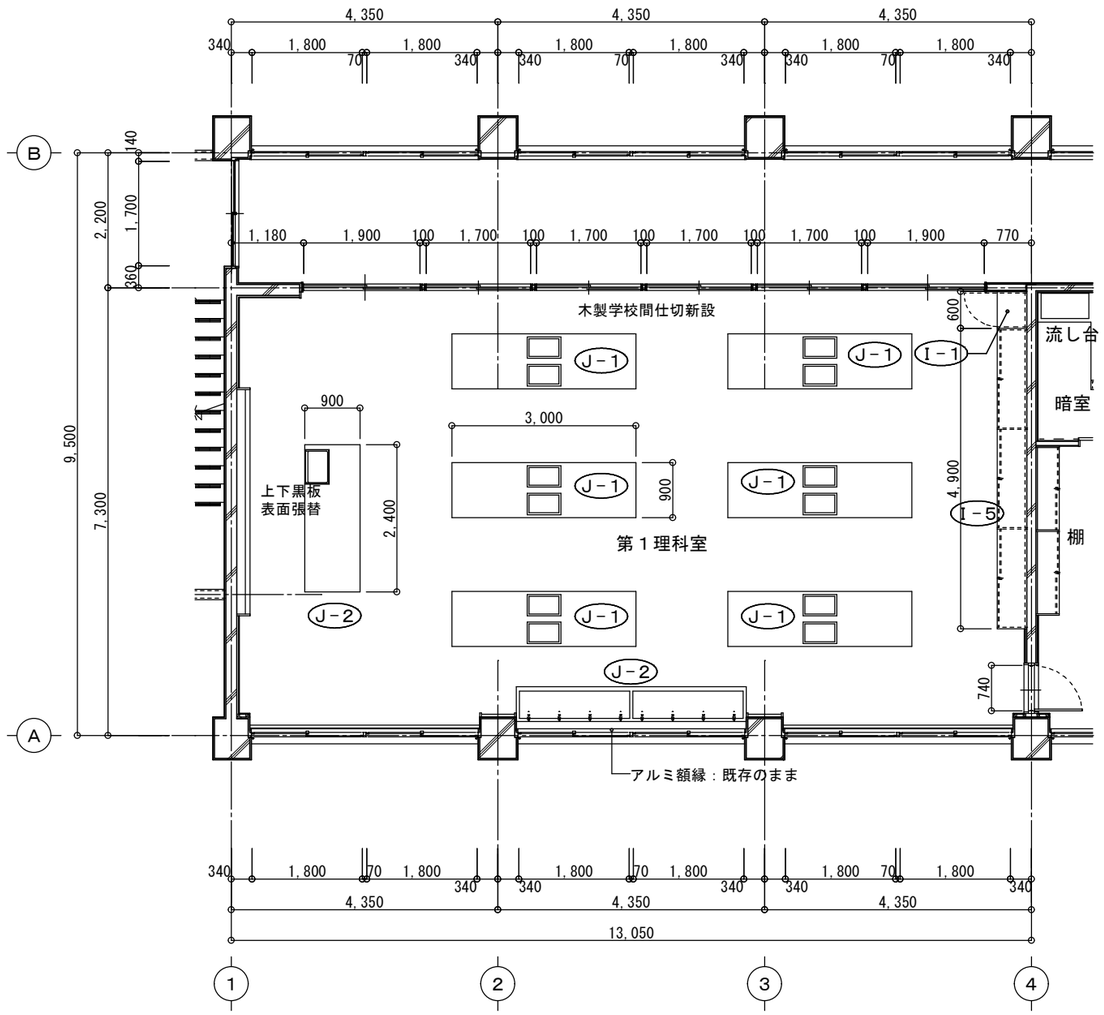
室名	第1理科室				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90
	下地	軽天下地			流し台下　モルタルコテ押え　H=90
		梁型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	床	仕上	塩ビシート t=2.5貼
壁	仕上	A面　木製学校間仕切　撤去 木組下地（コンクリート下地H=100） 木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） B面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 C面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） 柱型　モルタル金コテ押え　AEP塗装			モザイクタイル貼
				下地	モルタル
			備考		既存流用 木製カーテンボックス：t=21 OP塗装 窓手摺：スチール：□-75×45×2.5　OP塗装 暗幕レールSUS（S）レール 上下黒板3600×1800 アルミ額縁 撤去 棚、掃除具入れ 面台：人研ぎ　撤去 TVハンガー　2台 室名札

改修前	２階　第１理科室　展開図	1：100



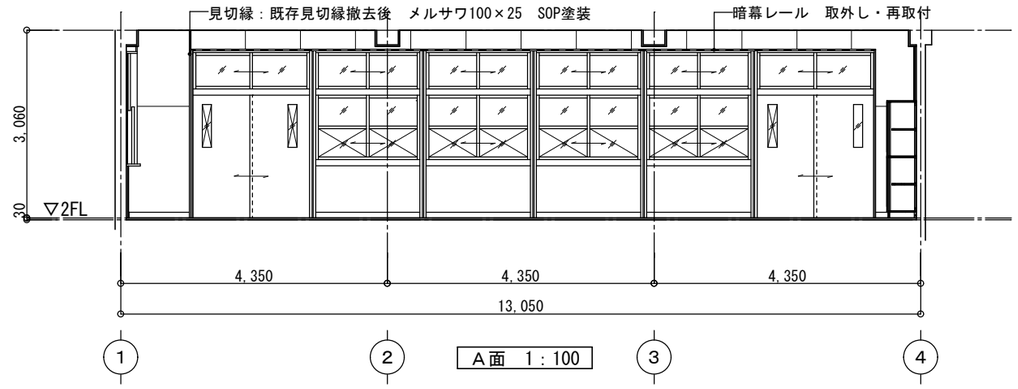
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	既存２階　第１理科室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－４９
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修後	２階　第１理科室　平面詳細図	１：100

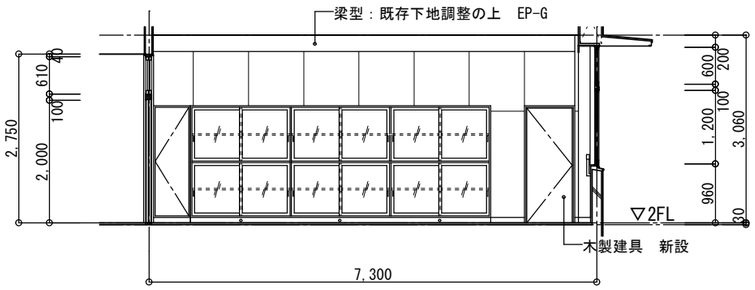


室名	第１理科室				
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
	下地	軽天下地	床	仕上	既存仕上撤去後　下地調整の上、　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張
		梁型　下地調整の上　EP-G塗装	備考		既存流用 木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装 額縁：下地調整の上　SOP塗装 手摺：下地調整の上　SOP塗装 上下黒板3600×1800 暗幕レール
壁	仕上	A面　木製学校間仕切 既存RC下地 既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G 既存木組下地 既存木組下地＋ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りH=100共撤去後 ＬＧＳ壁:（Ｗ＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G B面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G C面　既存下地調整の上　EP-G D面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G 柱型　既存下地調整の上　EP-G （「正面：小口）　木胴縁下地 PB79.5＋ｹｲｶﾙ板76.0二重張の上　EP-G				新設 収納棚、掃除用具入 実験台、教師用実験台 SUS製流し台 室名札 掲示板 面台：LGS（W=90）下地、耐水合板79.0の上 ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板張 天端：ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ719×130 柱型コーナー部：見切（塩ビ製）

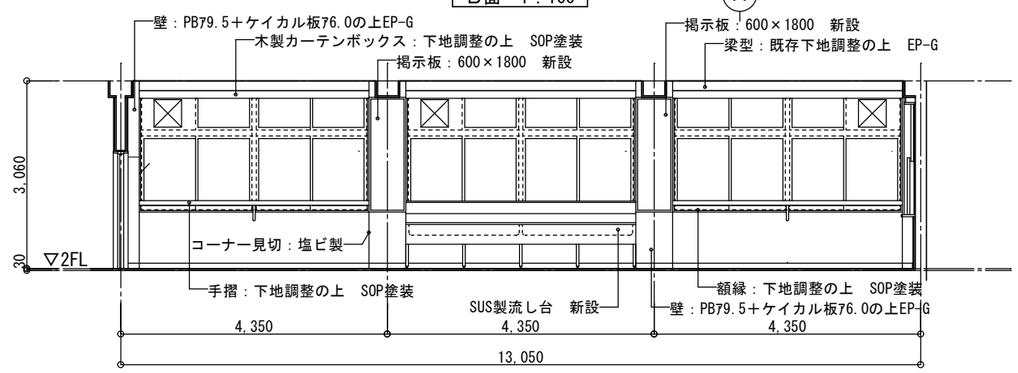
改修後	２階　第１理科室　展開図	１：100



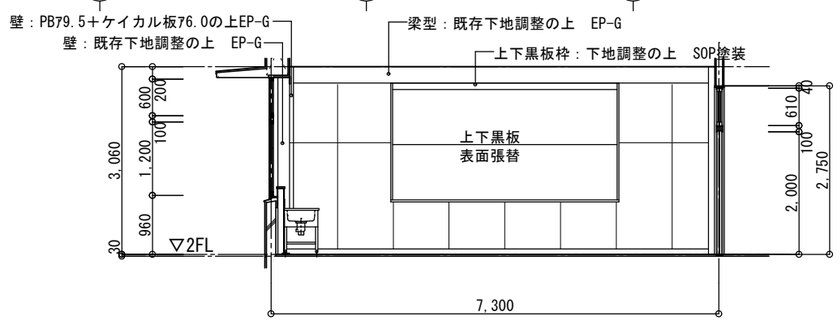
Ａ面　１：100



Ｂ面　１：100



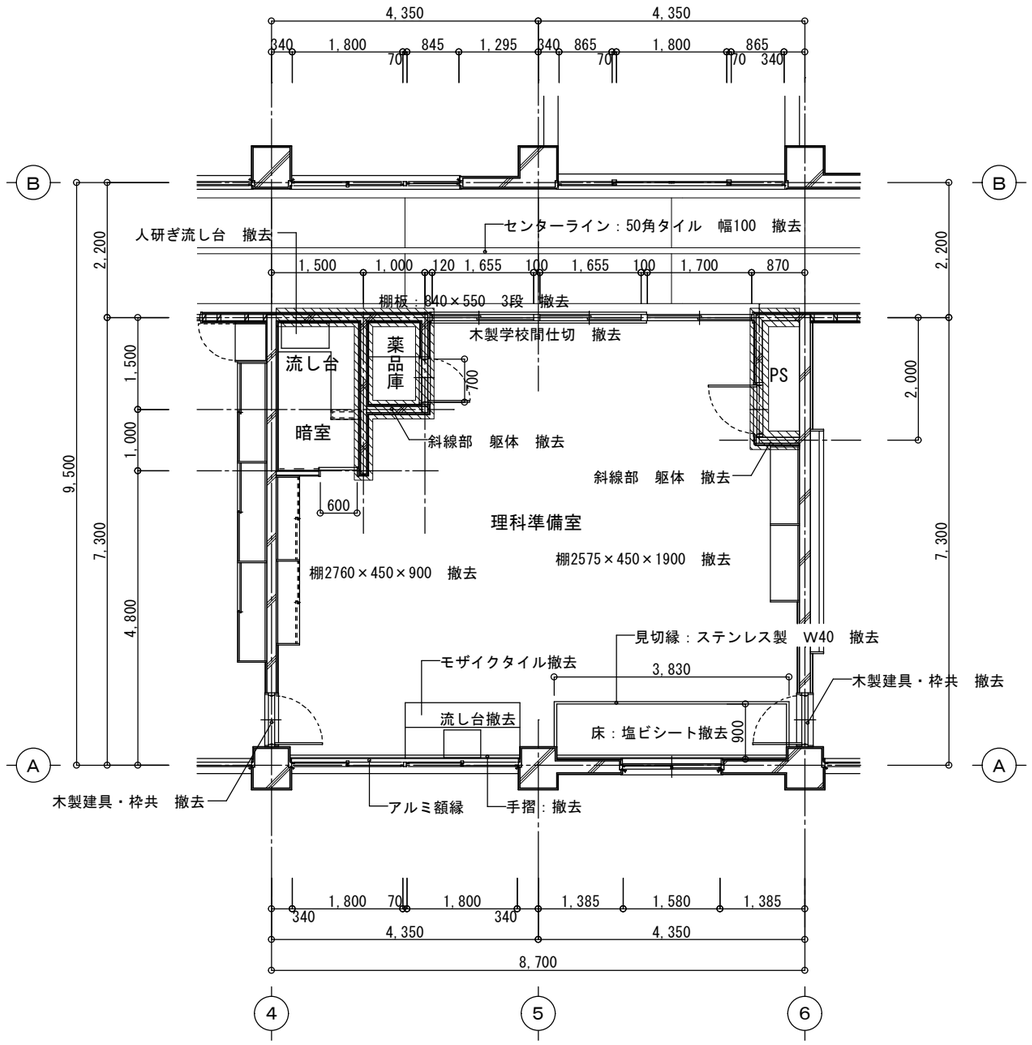
Ｃ面　１：100



Ｄ面　１：100

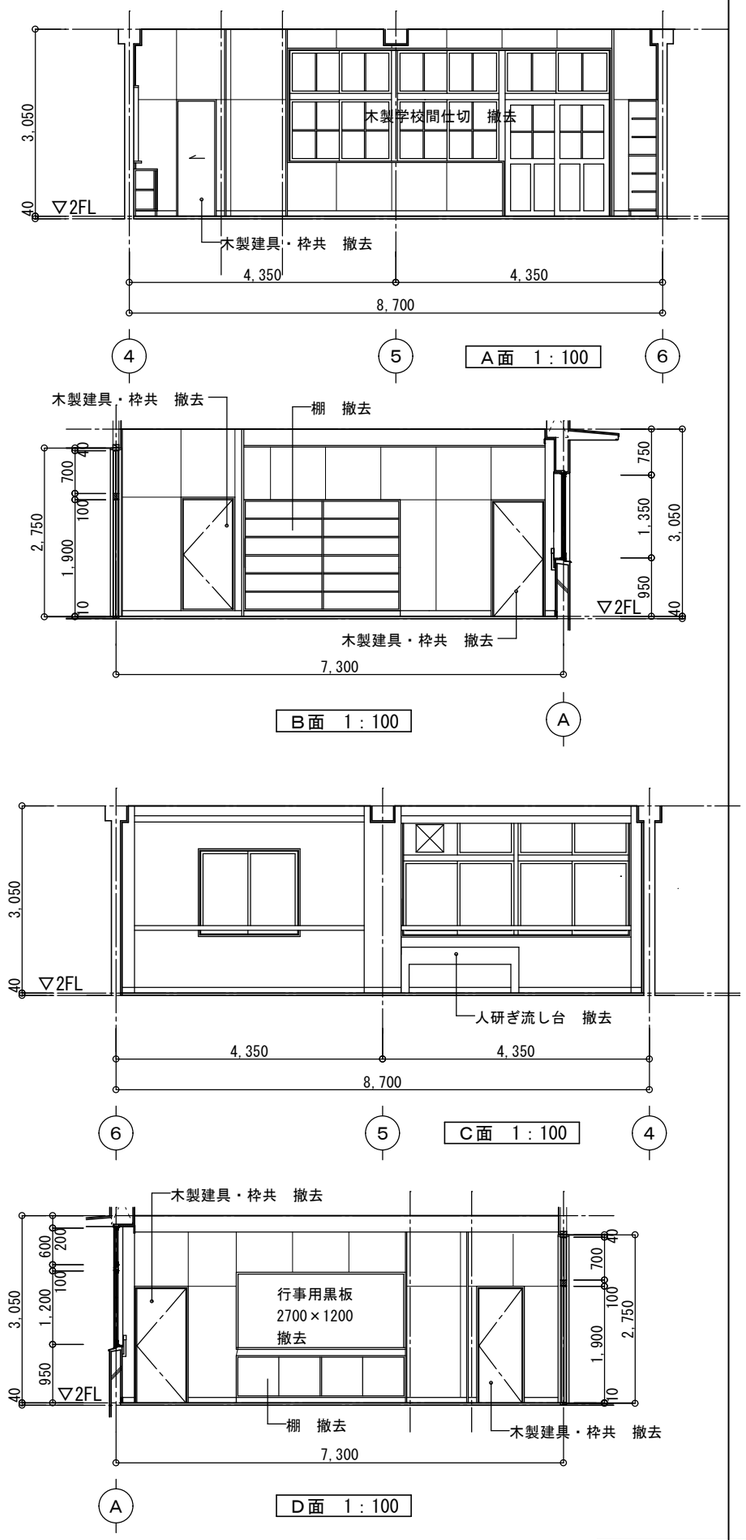
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	改修２階　第１理科室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	Ａ－５０
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修前	２階　理科準備室　平面詳細図	1：100

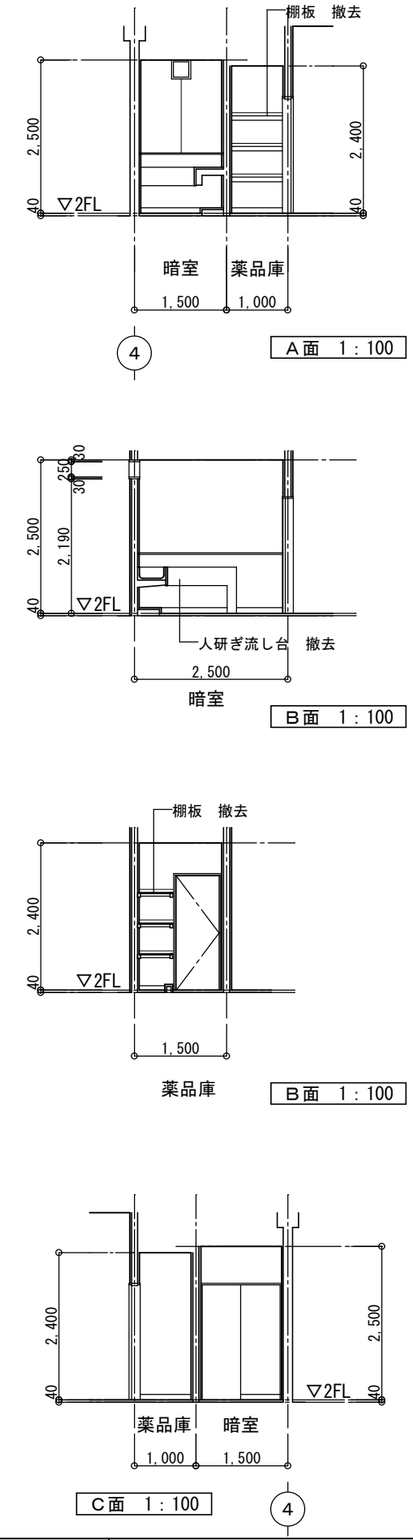


室名	理科準備室				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90
	下地	軽天下地			流し台下　モルタルコテ押え　H=90
		梁型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	床	仕上	塩ビシート t=2.5貼
壁	仕上	A面　木製学校間仕切　撤去 木組下地（コンクリート下地H=100） 木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁共撤去）			モザイクタイル貼
		B面　モルタル金コテ押え　AEP塗装		下地	モルタルコテ押え
		C面　モルタル金コテ押え　AEP塗装	備考		既存流用 木製カーテンボックス：t=21 OP塗装 アルミ製カーテンボックス
		D面　木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁共撤去）			撤去 行事用黒板2700×1200 棚、見切縁、人研ぎ流し台 室名札
		柱型　モルタル金コテ押え　AEP塗装			

改修前	２階　理科準備室　展開図

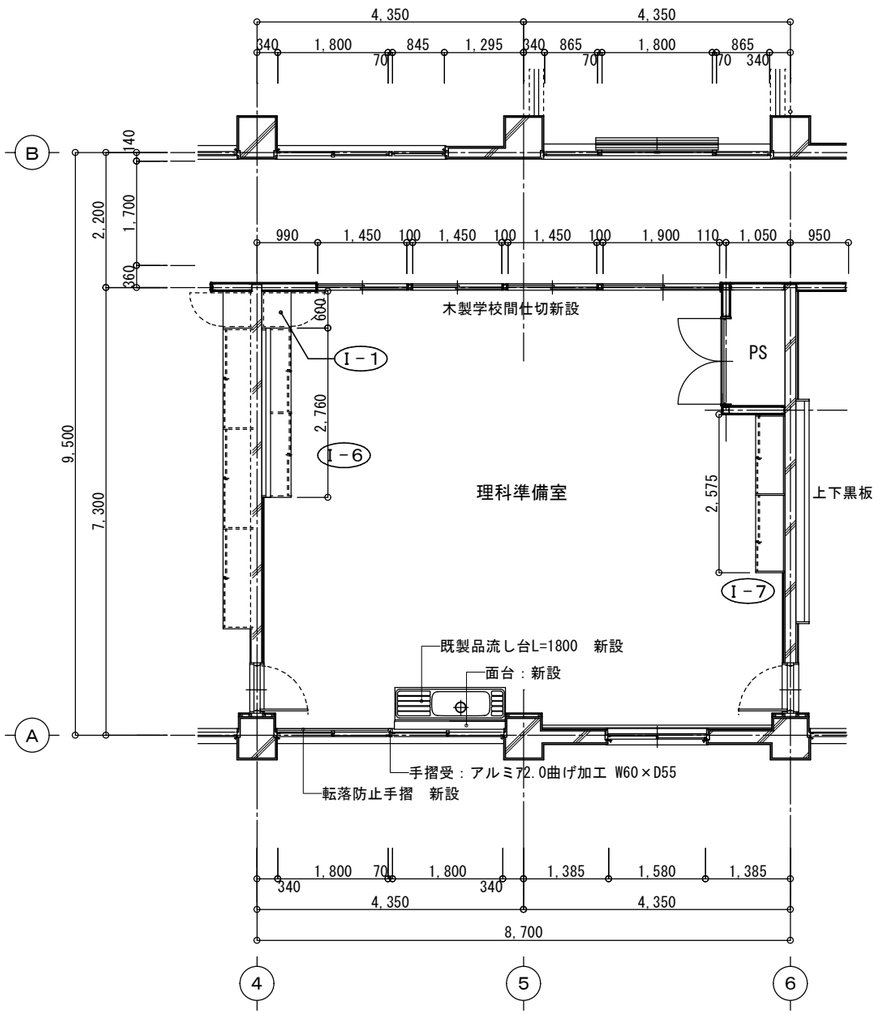


２階　暗室・薬品庫　展開図



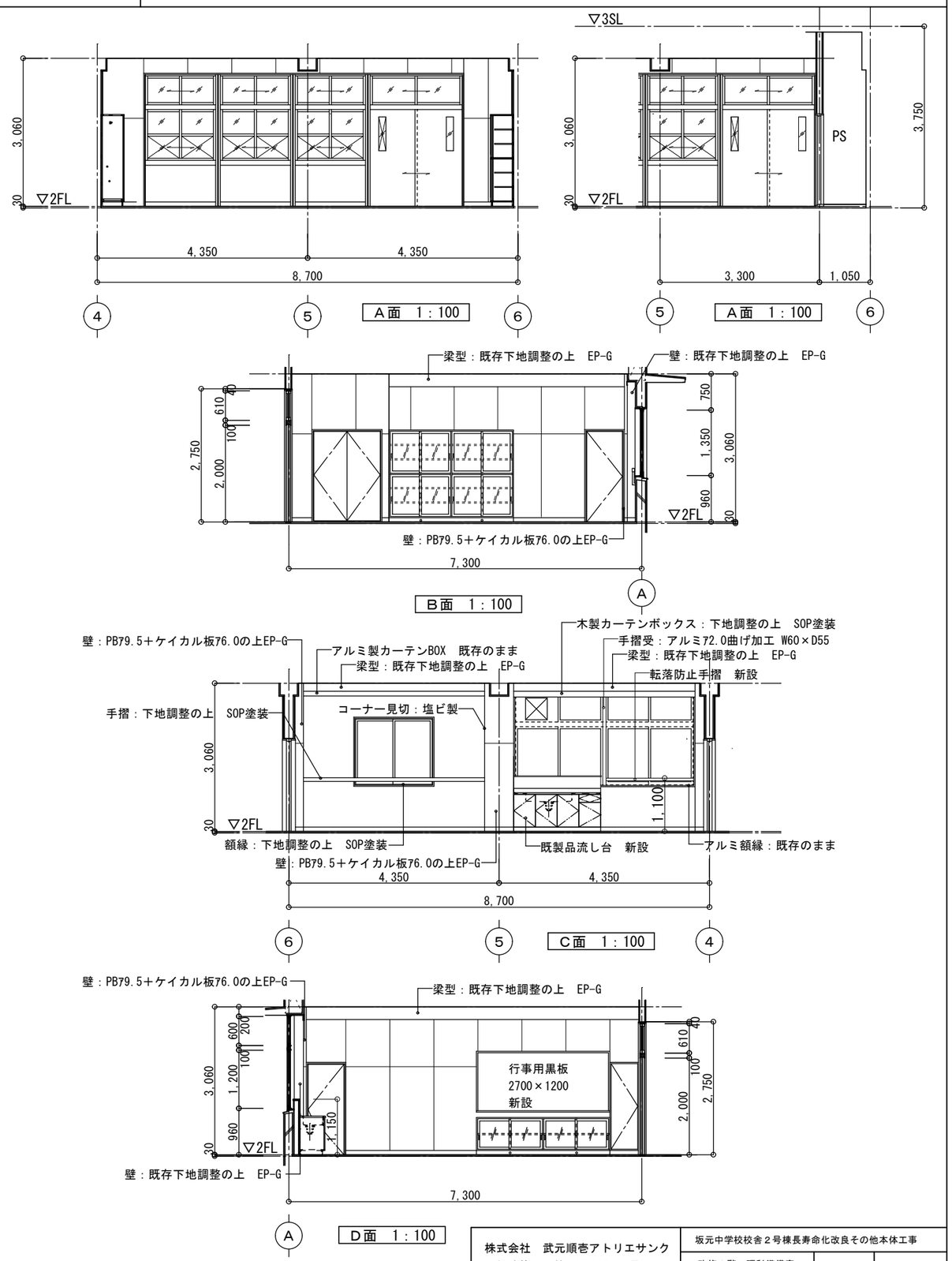
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	既存２階　理科準備室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－５１
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修後	２階　理科準備室　平面詳細図	1：100



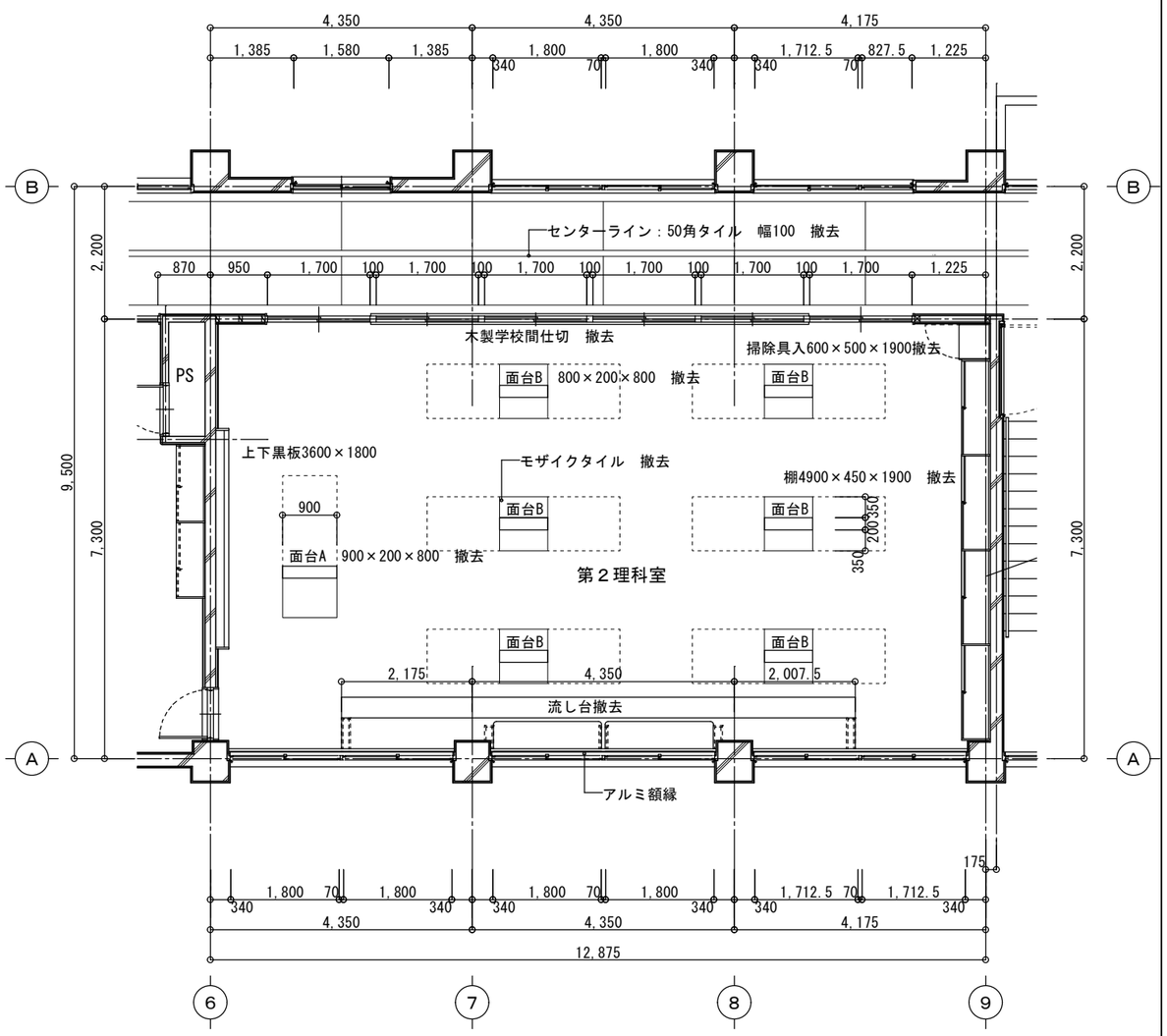
室名	理科準備室				
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
	下地	軽天下地	床	仕上	既存仕上撤去後　下地調整の上、　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張
		梁型　下地調整の上　EP-G塗装	備考		既存流用 木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装 額縁：下地調整の上　SOP塗装 手摺：下地調整の上　SOP塗装 アルミ製カーテンBOX
壁	仕上	A面　木製学校間仕切 既存RC下地　撤去 既存木胴縁下地撤去 既存木組下地 既存木組下地＋ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りH=100共撤去後 ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G B面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G C面　既存下地調整の上　EP-G D面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP 柱型　既存下地調整の上　EP-G （「正面：小口）　木胴縁下地 PB79.5＋ｹｲｶﾙ板76.0二重張の上　EP-G			新設 収納棚、掃除用具入 行事用黒板　2700×1200 既製品流し台L=1800、面台 室名札 面台：LGS（W=90）下地、耐水合板79.0の上 ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板張 天端：ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ719×110　L=1,810 転落防止手摺：アルミ製既製品　25×50　L=1,800 柱型コーナー部：見切（塩ビ製）

改修後	２階　理科準備室　展開図



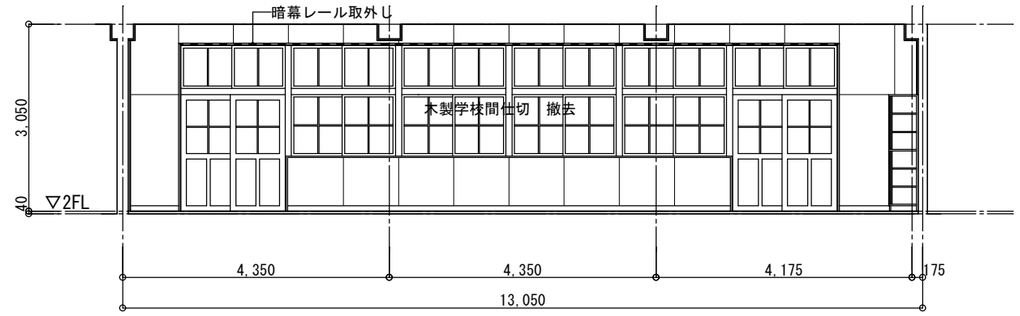
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	改修２階　理科準備室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	Ａ－５２
	鹿児島市建設局建築部建築課		

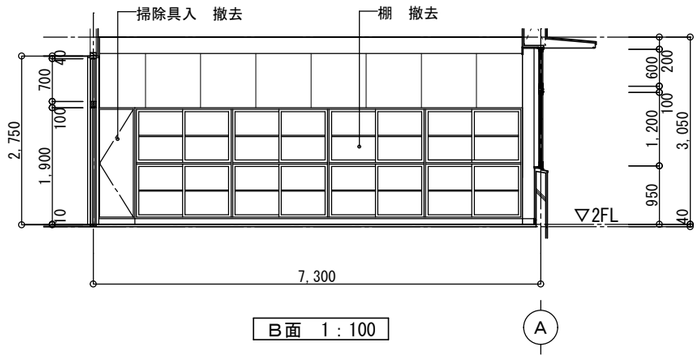
改修前	２階　第２理科室　平面詳細図	1：100

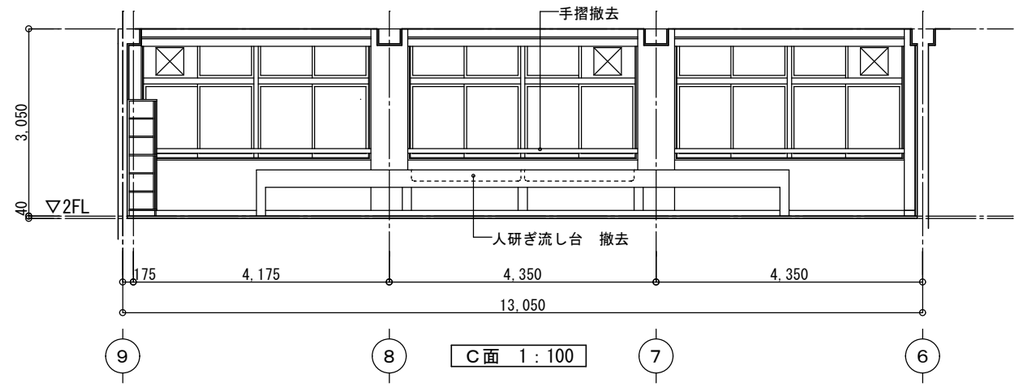


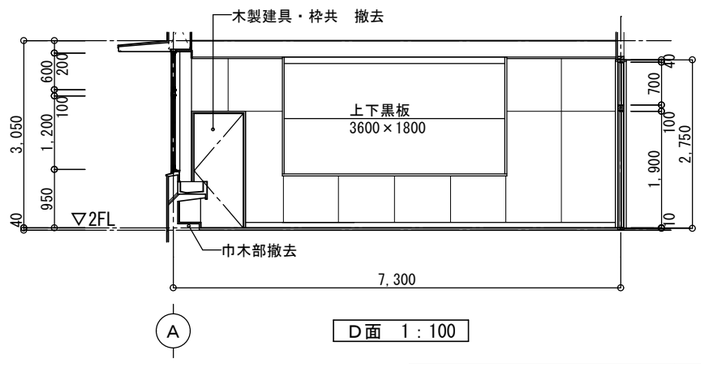
室名	第2理科室				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90
	下地	軽天下地			流し台下　モルタルコテ押え　H=90
		梁型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	床	仕上	塩ビシート t=2.5貼
壁	仕上	A面　木製学校間仕切　撤去 木組下地（コンクリート下地H=100） 木胴縁下地 T1ベニヤ　7.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） B面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 C面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　木胴縁下地 T1ベニヤ　7.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） 柱型　モルタル金コテ押え　AEP塗装			モザイクタイル貼
				下地	モルタル
			備考		既存流用 木製カーテンボックス：t=21 OP塗装 窓手摺：スチール：□-75×45×2.5　OP塗装 暗幕レールSUS（S）レール 上下黒板3600×1800 暗幕レール 撤去 棚、掃除具入れ 面台：人研ぎ　撤去 室名札

改修前	２階　第２理科室　展開図	1：100



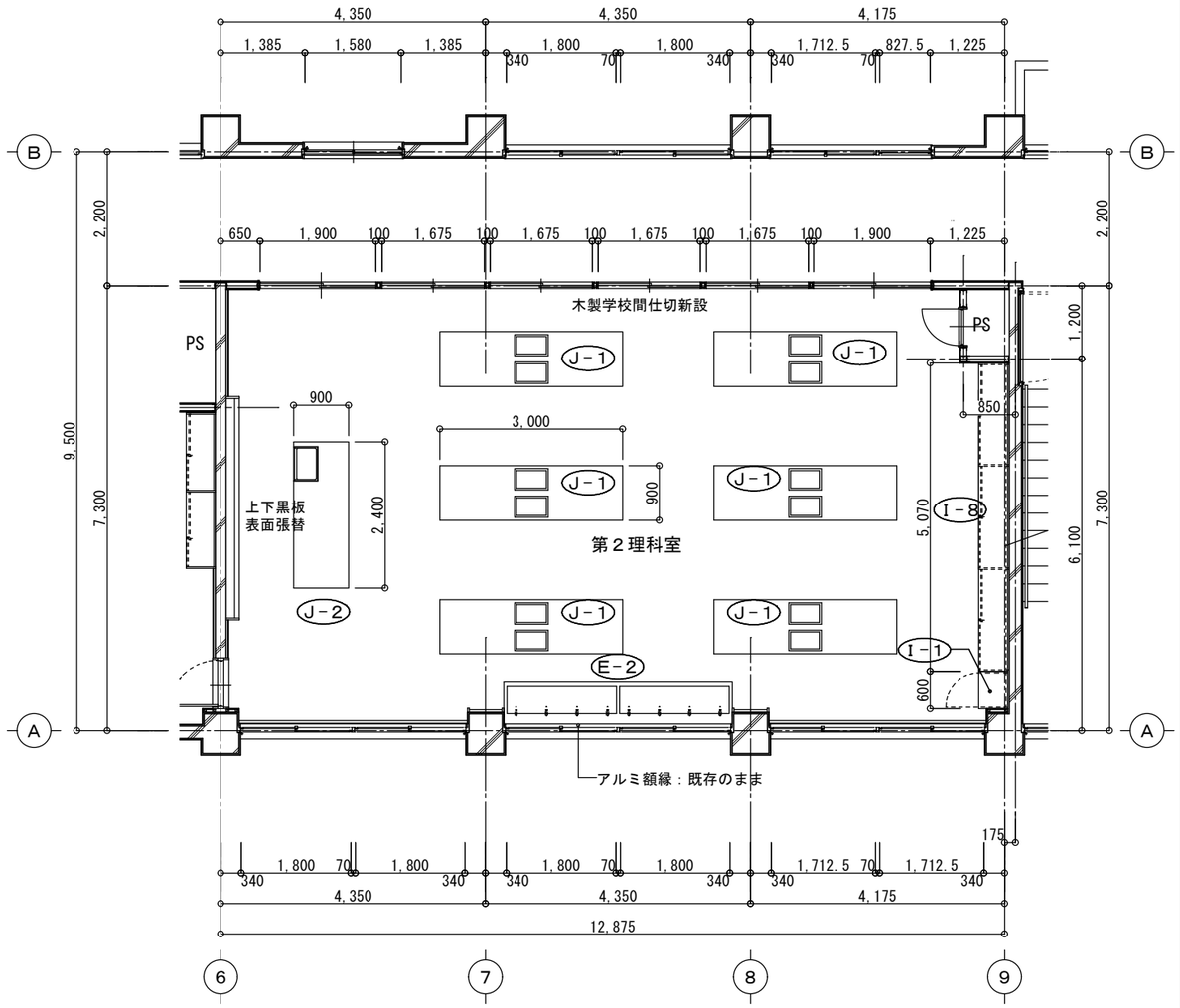






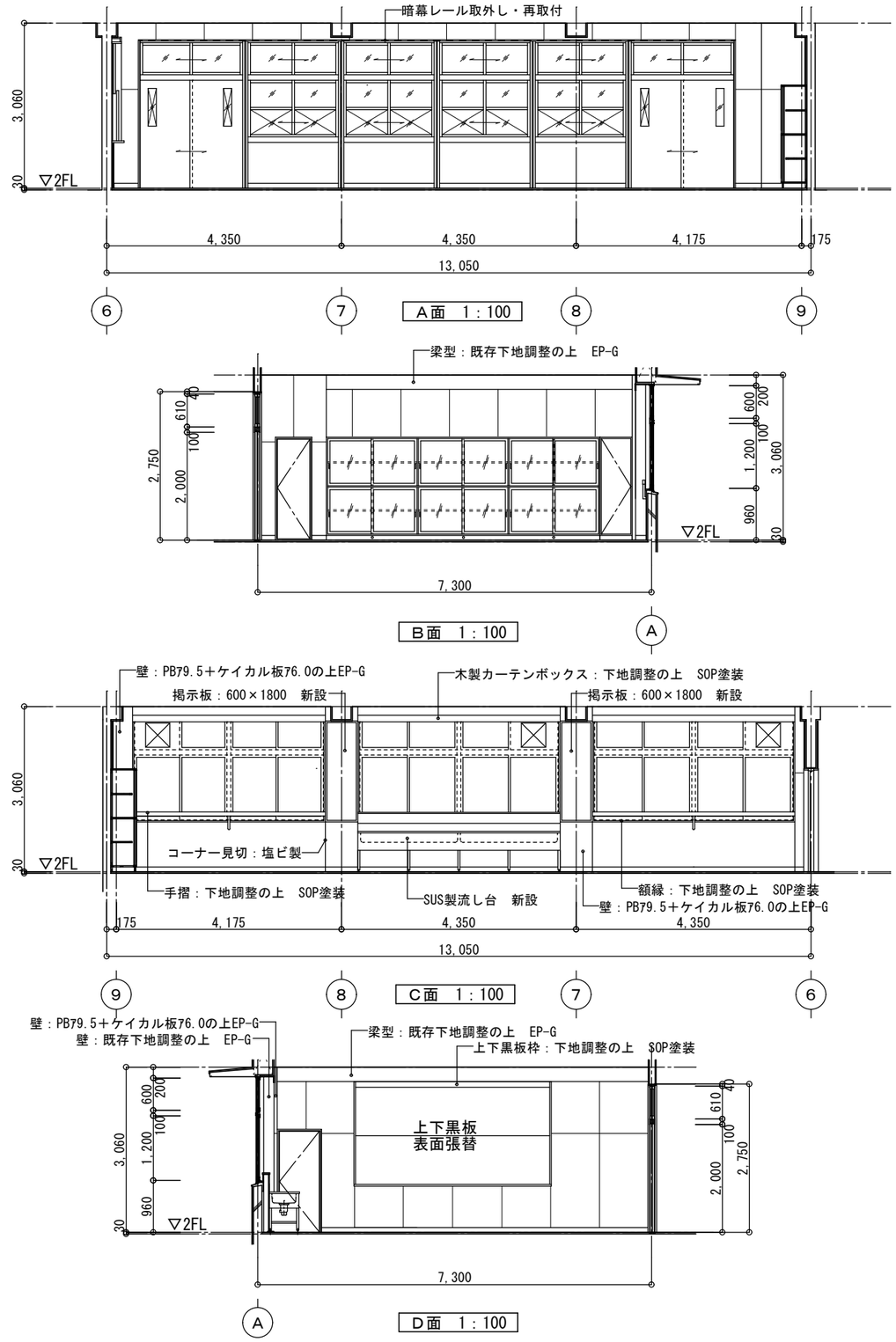
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	既存２階　第２理科室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－５３

改修後	２階　第２理科室　平面詳細図	1：100



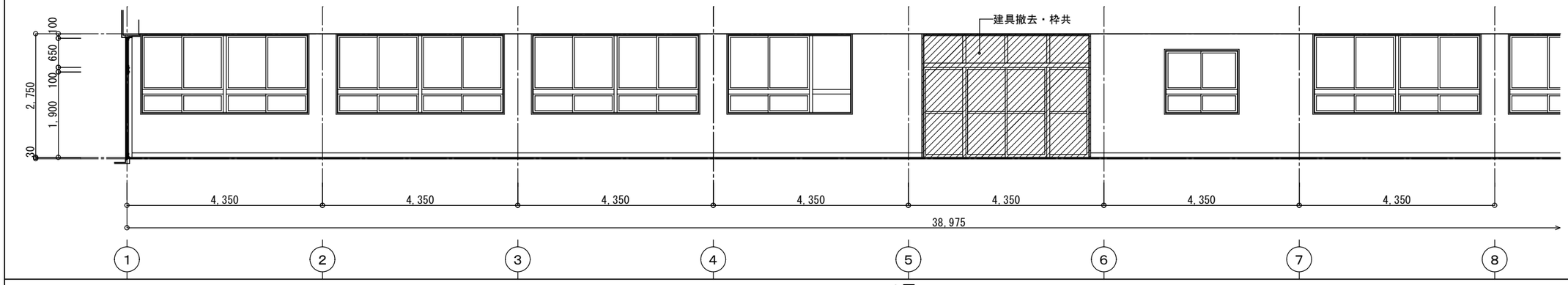
室名	第２理科室				
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
	下地	軽天下地	床	仕上	既存仕上撤去後　下地調整の上、　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張
		梁型　下地調整の上　EP-G塗装	備考		既存流用 木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装 額縁：下地調整の上　SOP塗装 手摺：下地調整の上　SOP塗装 上下黒板3600×1800 暗幕レール
壁	仕上	A面　木製学校間仕切 既存木組下地 既存木組下地＋ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りH=100共撤去後 ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G			新設
		B面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G			収納棚、掃除用具入 実験台、教師用実験台 SUS製流し台、 室名札 掲示板
		C面　既存下地調整の上　EP-G			面台：LGS（W=90）下地、耐水合板79.0の上 ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板張
		D面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G			天端：ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ719×130
		柱型　既存下地調整の上　EP-G （「正面：小口）　木胴縁下地 PB79.5＋ｹｲｶﾙ板76.0二重張の上　EP-G			柱型コーナー部：見切（塩ビ製）

改修後	２階　第２理科室　展開図	1：100

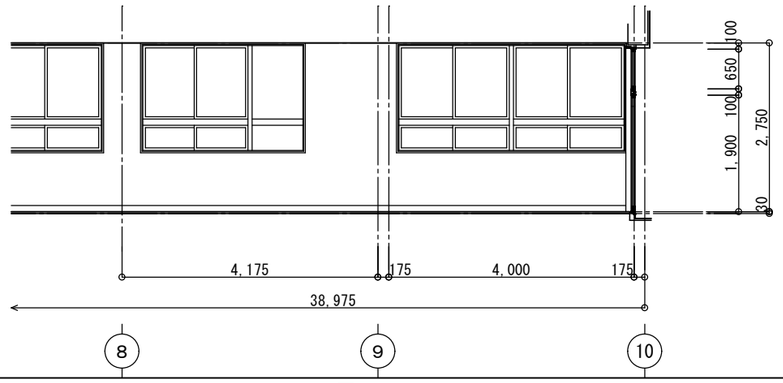


株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	改修２階　第２理科室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－５４

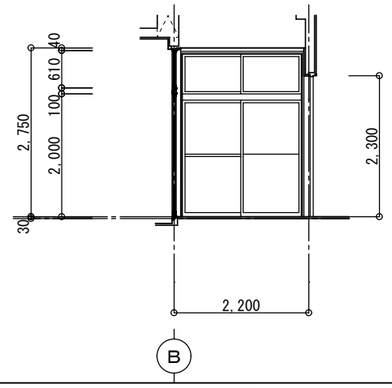
改修前	２階廊下　展開図	1：100



Ａ面

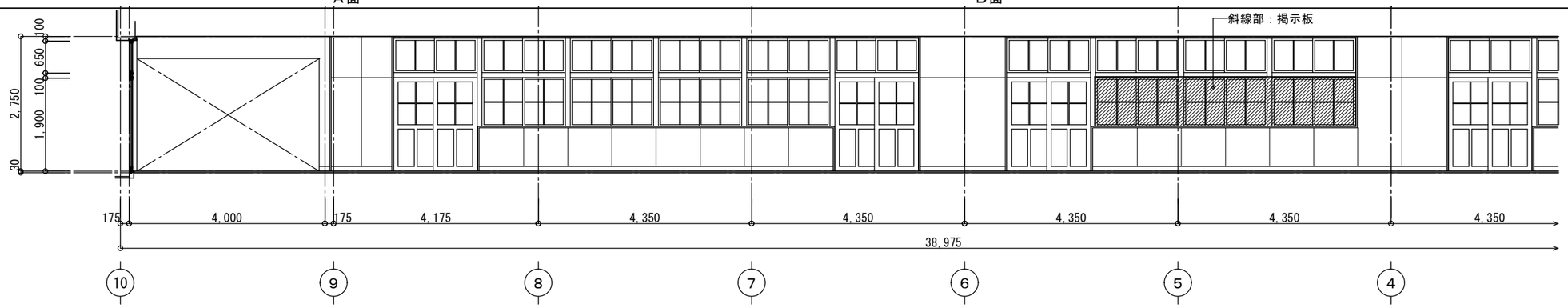


Ａ面

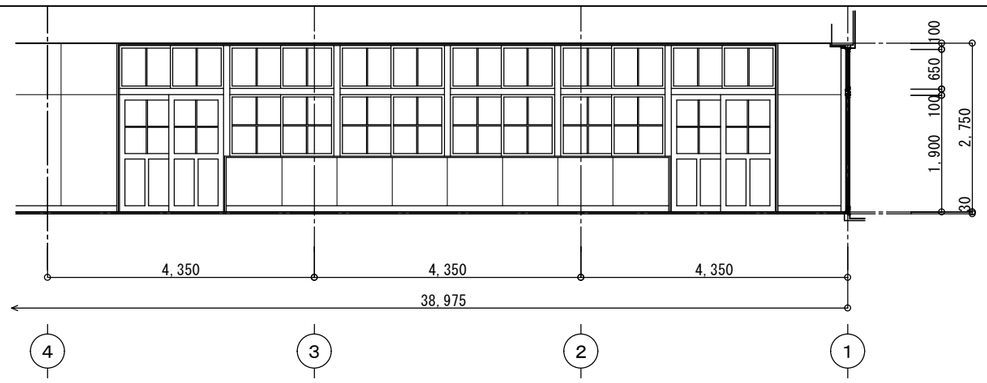


Ｂ面

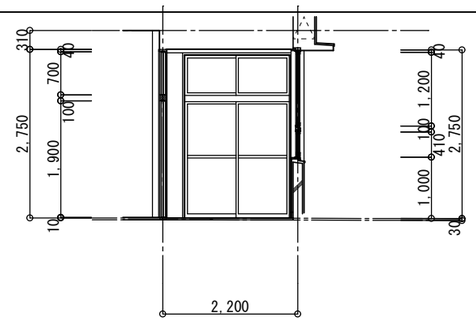
室名	2階廊下				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装　撤去	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90　撤去
		化粧石膏ボード　撤去			モルタル金コテ押え　AEP塗装
	下地	軽天下地　撤去	床	仕上	人造石金コテ押え　真鍮目地入り
					ライン：50角タイル貼　撤去
壁	仕上	A面　モルタル金コテ押え　AEP塗装		下地	モルタル
		B面　モルタル金コテ押え　AEP塗装	備考		既存流用
		C面　木製学校間仕切　撤去 木組下地（コンクリート下地H=100） 木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木組下地・躯体・木胴縁共撤去） モルタル金コテ押え　AEP塗装			撤去 掲示板
		D面　モルタル金コテ押え　AEP塗装			



Ｃ面



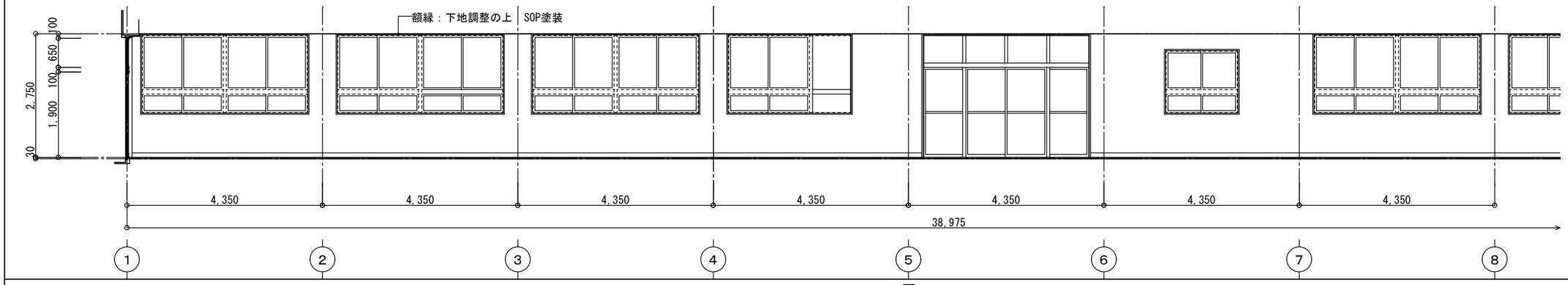
Ｃ面



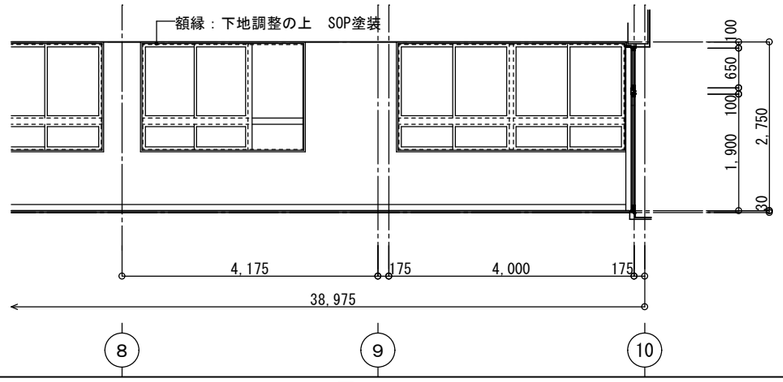
Ｄ面

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	既存　２階廊下展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－５５

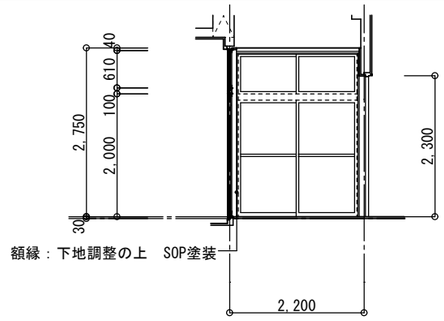
改修後	２階廊下　展開図	1：100



Ａ面

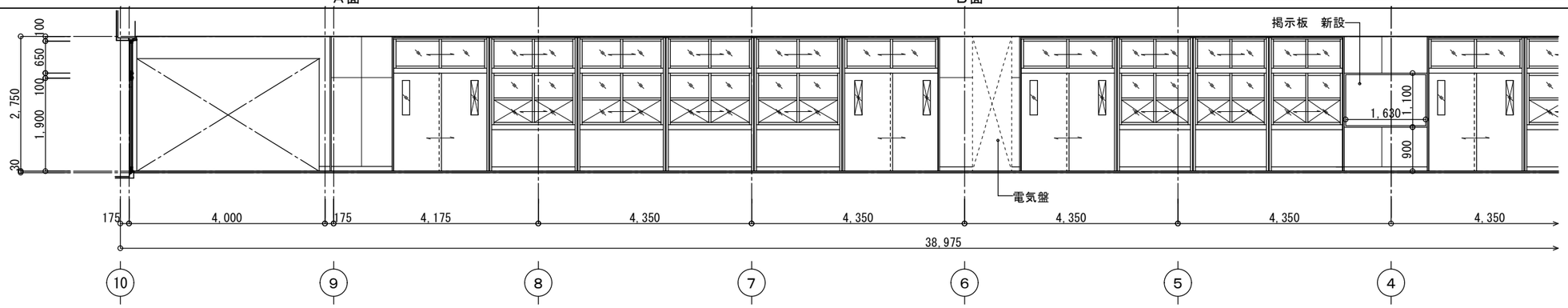


Ａ面

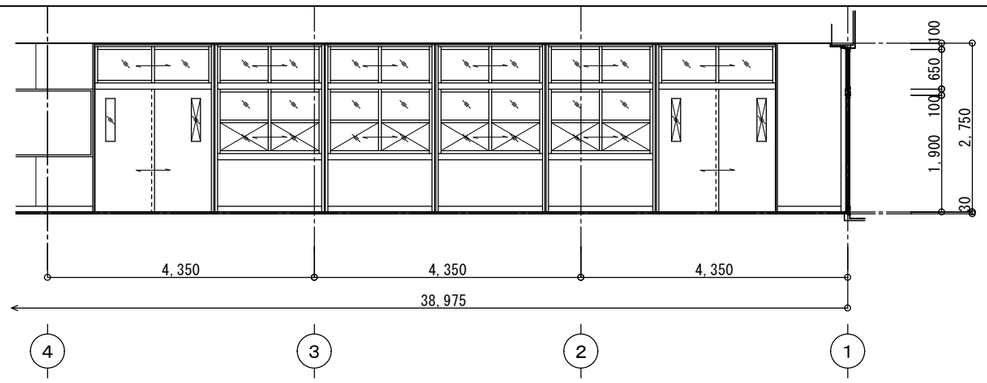


Ｂ面

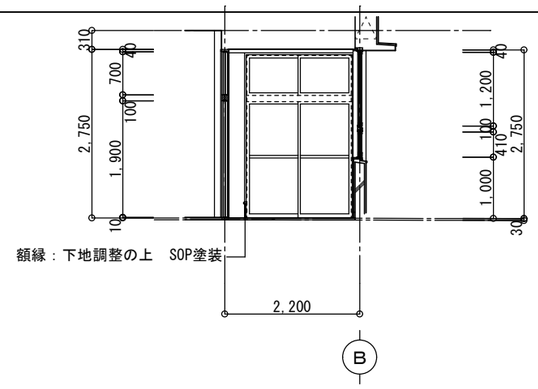
室名	2階廊下				
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
					下地補修の上　EP-G
	下地	軽天下地	床	仕上	下地調整の上、防滑性ビニル床シート張
壁	仕上	A面　下地調整の上　EP-G B面　下地調整の上　EP-G C面　木製学校間仕切　新設 ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G モルタル金コテ押え　EP-G D面　下地調整の上　EP-G		下地	モルタル
			備考		既存流用 額縁：下地調整の上　SOP塗装 新設 掲示板



Ｃ面



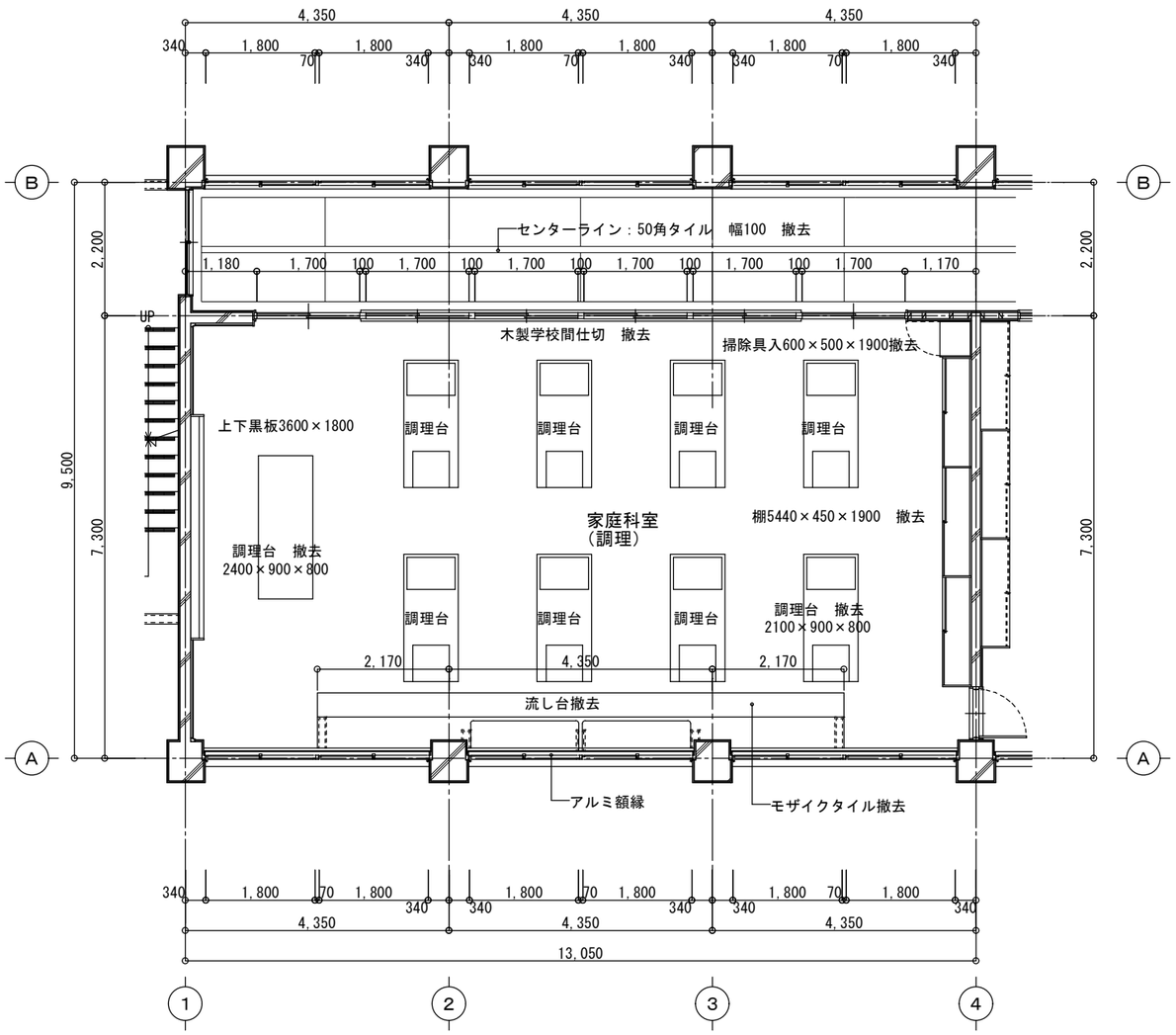
Ｃ面



Ｄ面

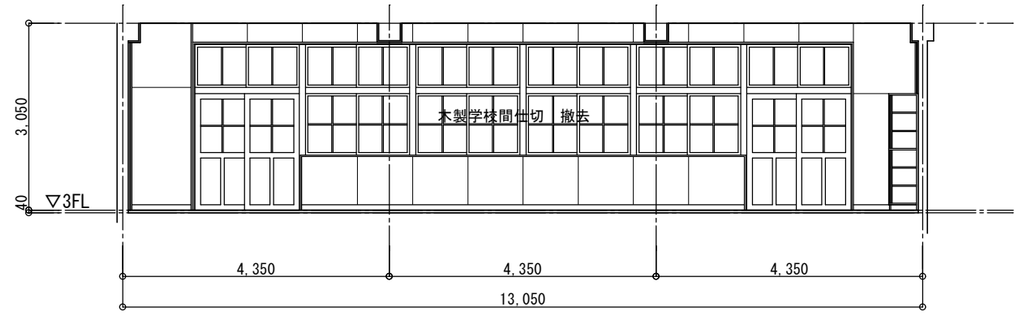
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	改修　２階廊下展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－５６

改修前	３階　家庭科室（調理）　平面詳細図	1：100

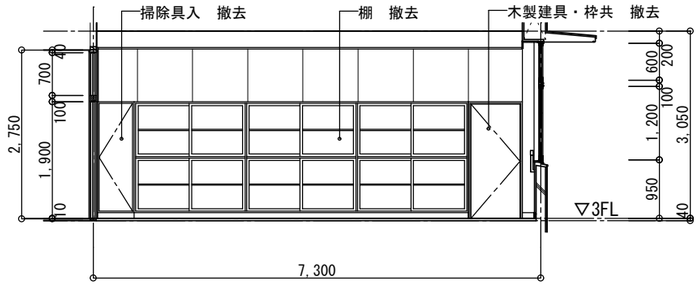


室名	家庭科室（調理）				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90
	下地	軽天下地			流し台下　モルタルコテ押え　H=90
		梁型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	床	仕上	塩ビシート
壁	仕上	A面　木製学校間仕切　撤去 木組下地（コンクリート下地H=100） 木胴縁下地 T1ベニヤ　7.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） B面　木胴縁下地 T1ベニヤ　7.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） C面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　木胴縁下地 T1ベニヤ　7.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） 柱型　モルタル金コテ押え　AEP塗装			モザイクタイル貼
				下地	モルタル
			備考		既存流用 木製カーテンボックス：t=21 OP塗装 窓手摺：スチール：□-75×45×2.5　OP塗装 上下黒板3600×1800 撤去 棚、掃除具入れ 調理台 室名札 流し台

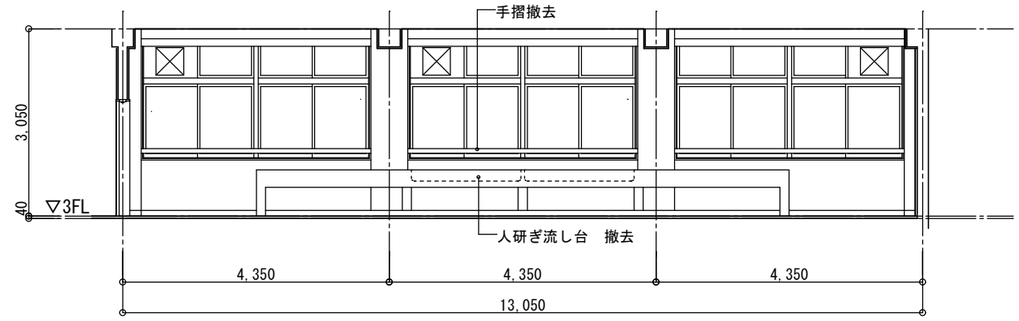
改修前	３階　家庭科室（調理）　展開図	1：100



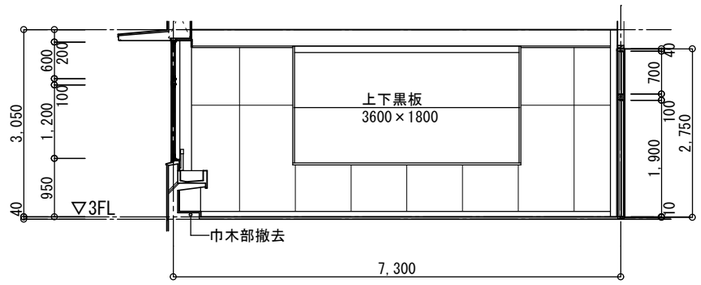
A面　1：100



B面　1：100



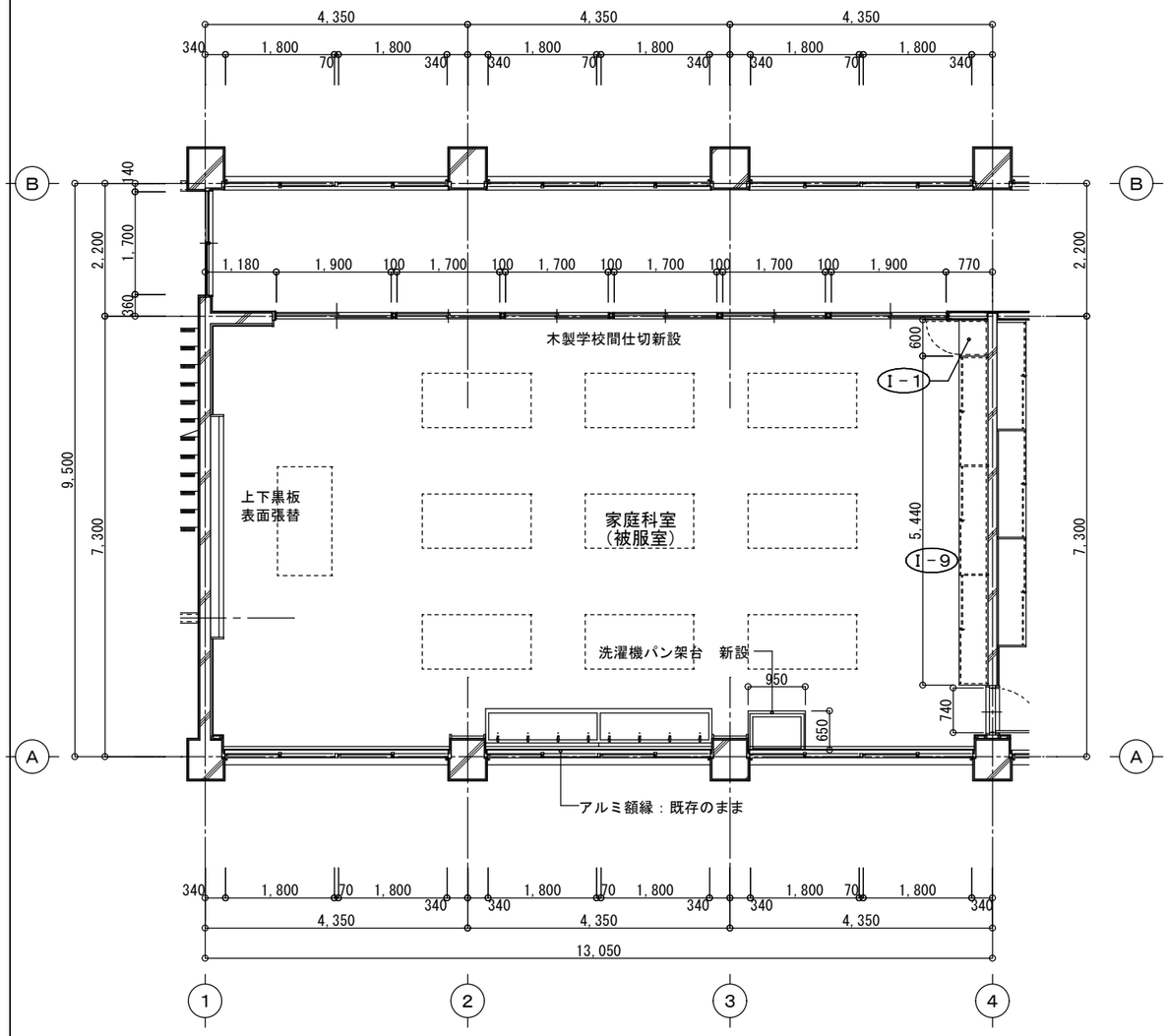
C面　1：100



D面　1：100

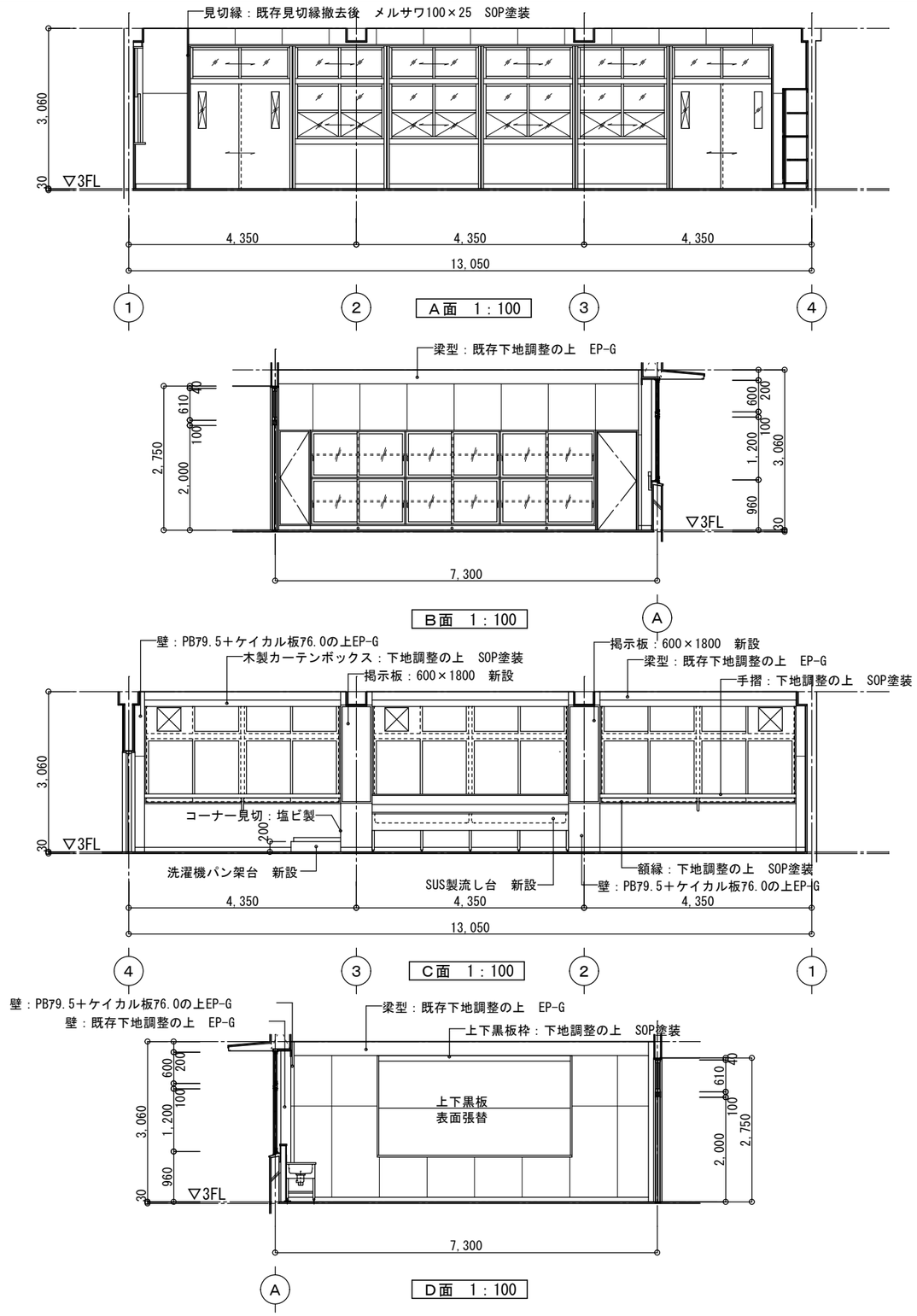
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	既存３階　家庭科室（調理） 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－５７
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修後	３階　家庭科室（被服室）　平面詳細図	1：100



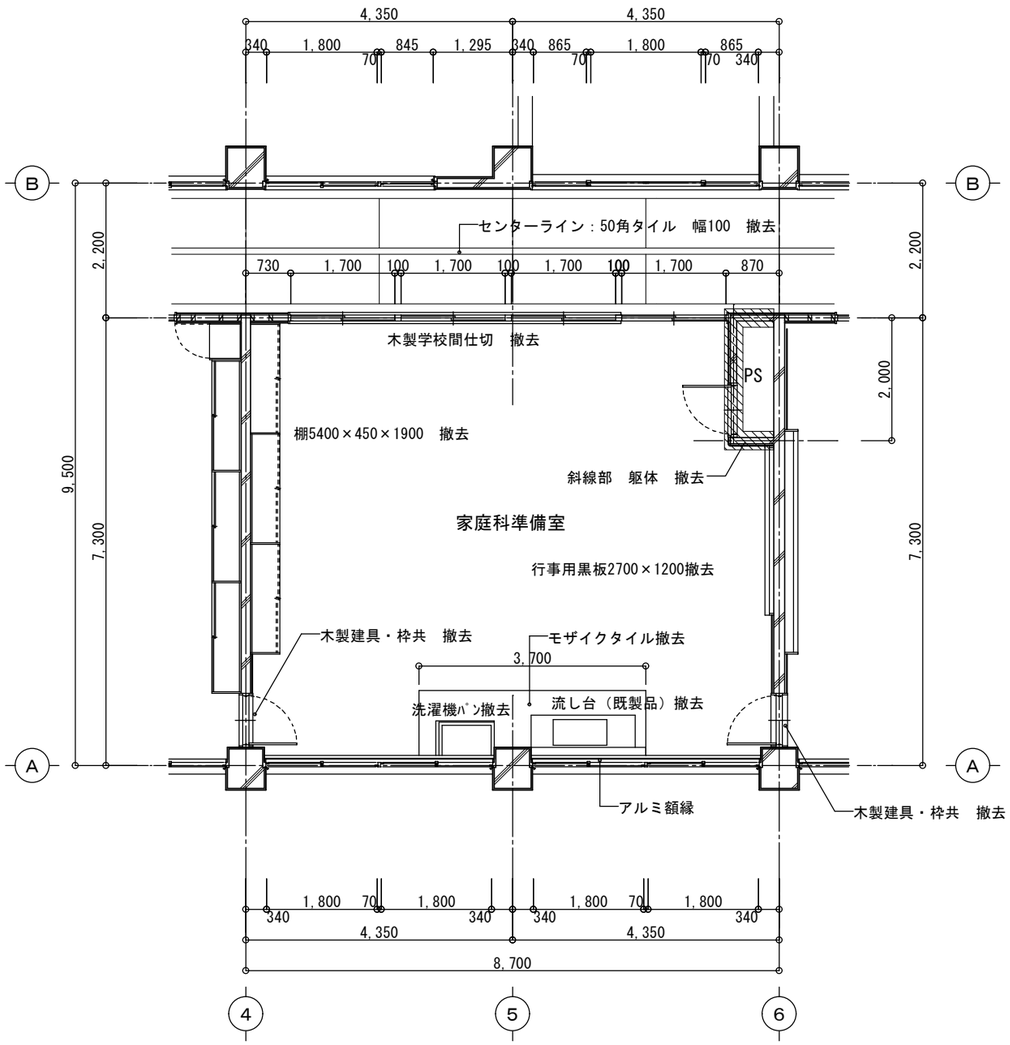
室名	家庭科室（被服室）				
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
	下地	軽天下地	床	仕上	既存仕上撤去後　下地調整の上、　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張
		梁型　下地調整の上　EP-G塗装	備考		既存流用 木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装 額縁：下地調整の上　SOP塗装 手摺：下地調整の上　SOP塗装 上下黒板3600×1800
壁	仕上	A面　木製学校間仕切 既存RC下地 既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G 既存木組下地 既存木組下地＋ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りH=100共撤去後 ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G B面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G C面　既存下地調整の上　EP-G D面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G 柱型　既存下地調整の上　EP-G （「正面：小口）　木胴縁下地 PB79.5＋ｹｲｶﾙ板76.0二重張の上　EP-G			新設 収納棚、掃除用具入 SUS製流し台 洗濯機パン架台　木組下地　Ｔ1合板712.0の上　床材立上 室名札 掲示板 面台：LGS（W=90）下地、耐水合板79.0の上 ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板張 天端：ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ719×130 柱型コーナー部：見切（塩ビ製）

改修後	３階　家庭科室（被服室）　展開図	1：100



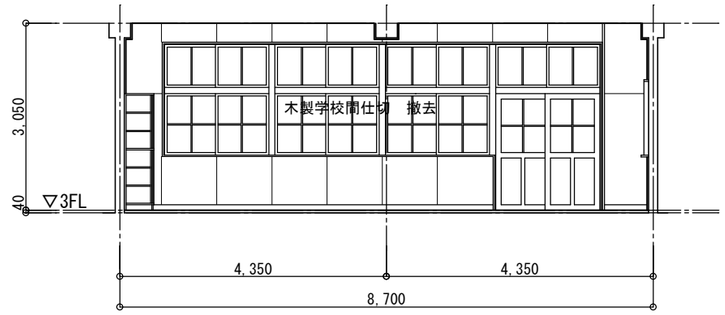
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事 改修３階　家庭科室（被服室） 平面詳細図・展開図 A1：1/ 50 A3：1/ 100	Ａ－５８
	鹿児島市建設局建築部建築課	

改修前	３階　家庭科準備室　平面詳細図	1：100

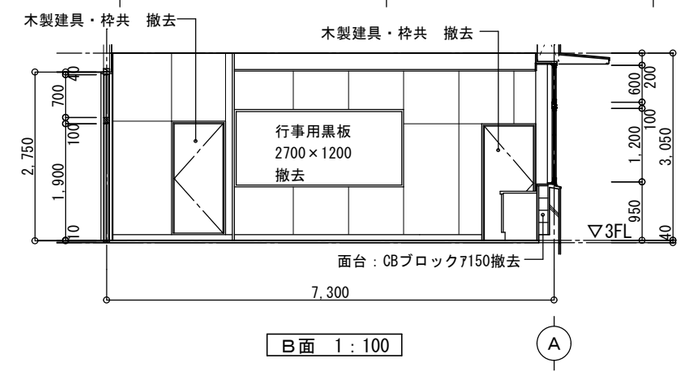


室名	家庭科準備室				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90
	下地	軽天下地			洗濯機パン下　モルタルコテ押え　H=90
		梁型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	床	仕上	塩ビシート貼
壁	仕上	A面　木製学校間仕切　撤去 木組下地（コンクリート下地H=100） 木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） B面　木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） C面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） 柱型　モルタル金コテ押え　AEP塗装			モザイクタイル貼
				下地	モルタルコテ押え
			備考		既存流用 木製カーテンボックス：t=21 OP塗装 撤去 行事用黒板2700×1200 棚、洗濯機パン 既製品流し台、面台 室名札

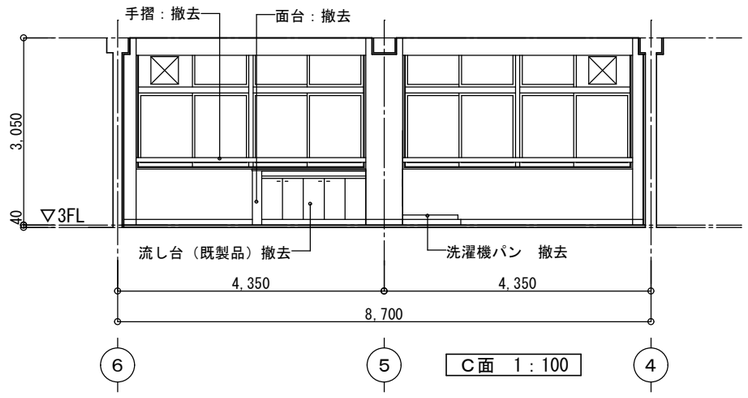
改修前	３階　家庭科準備室　展開図	1：100



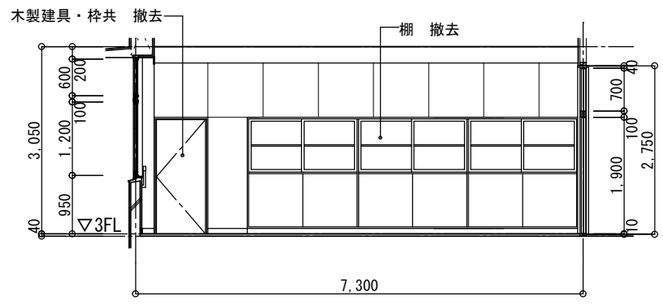
A面　1：100



B面　1：100



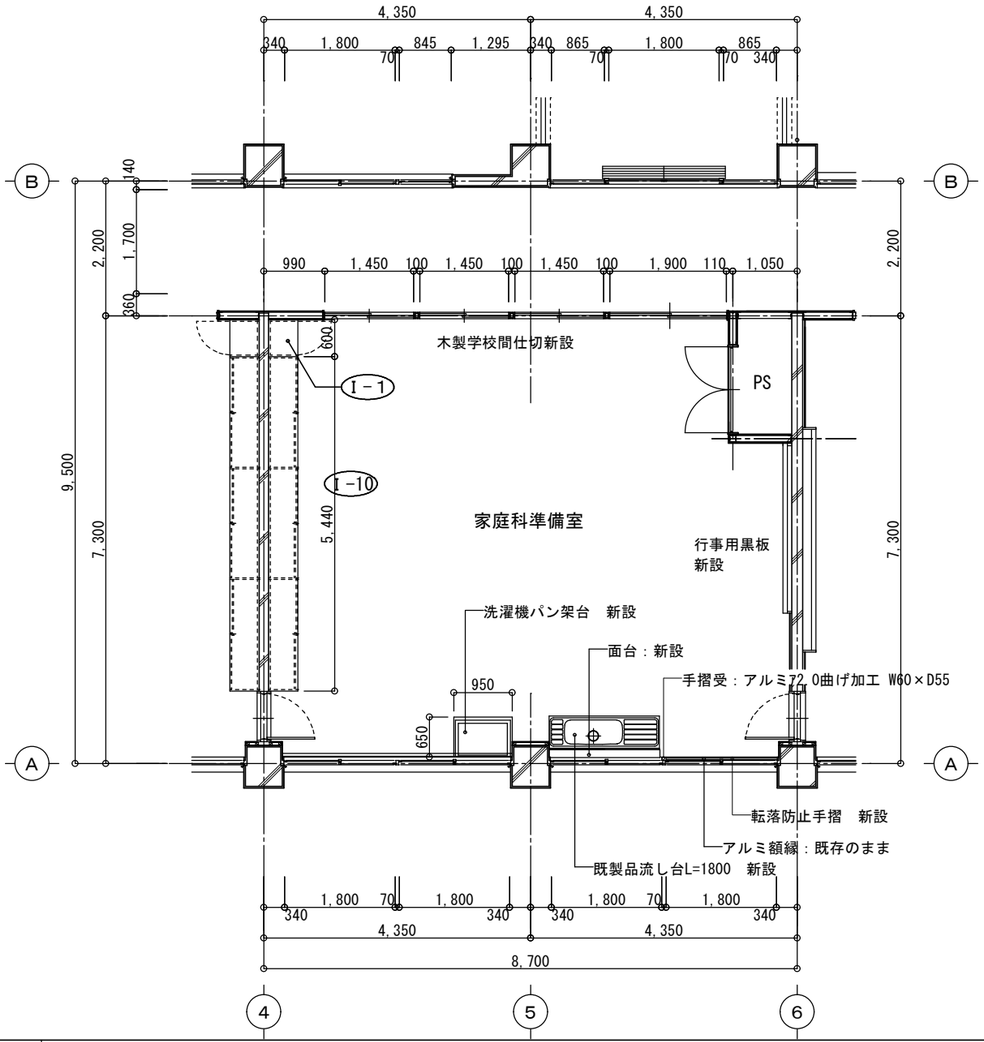
C面　1：100



D面　1：100

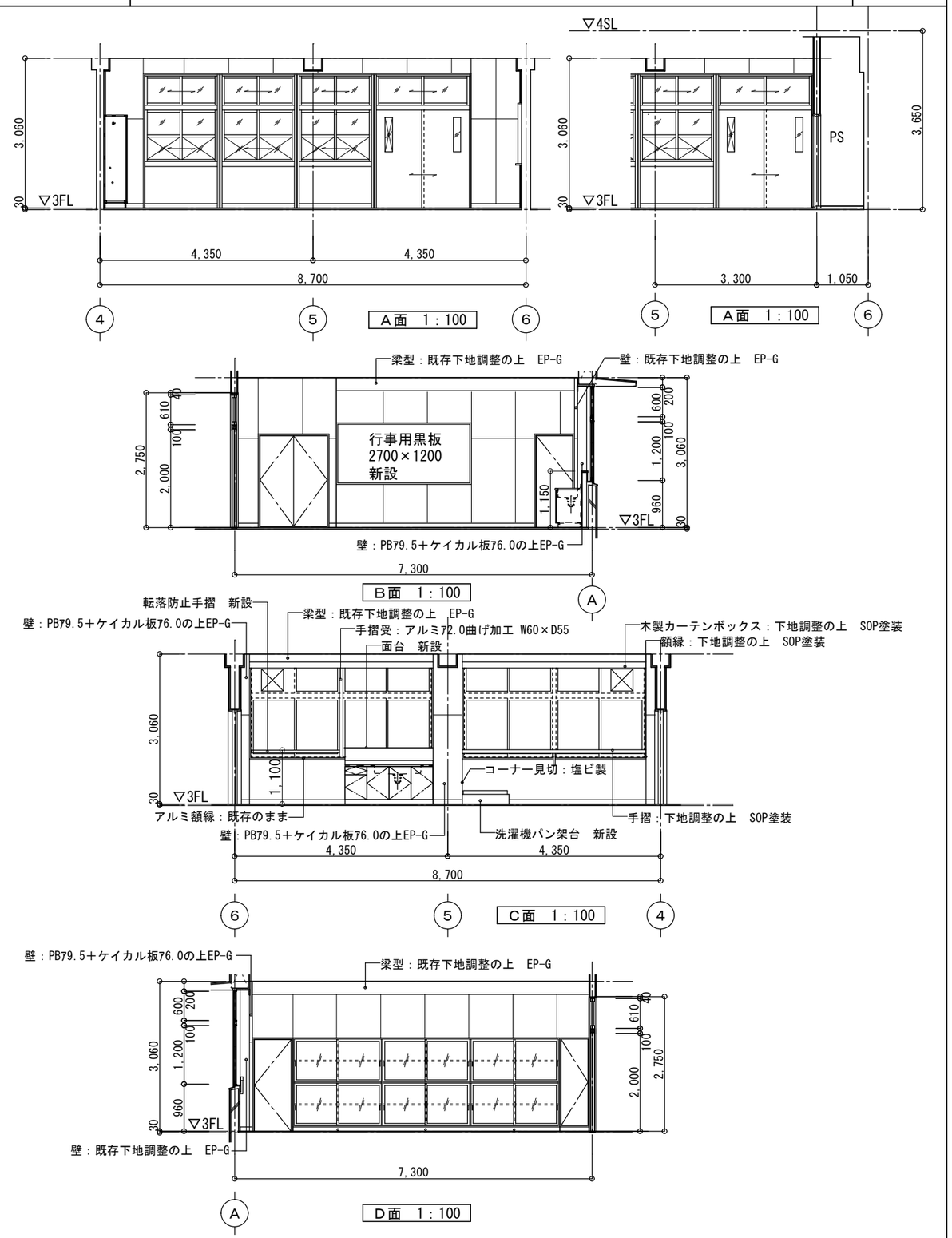
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	既存３階　家庭科準備室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－５９
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修後	３階　家庭科準備室　平面詳細図	1：100



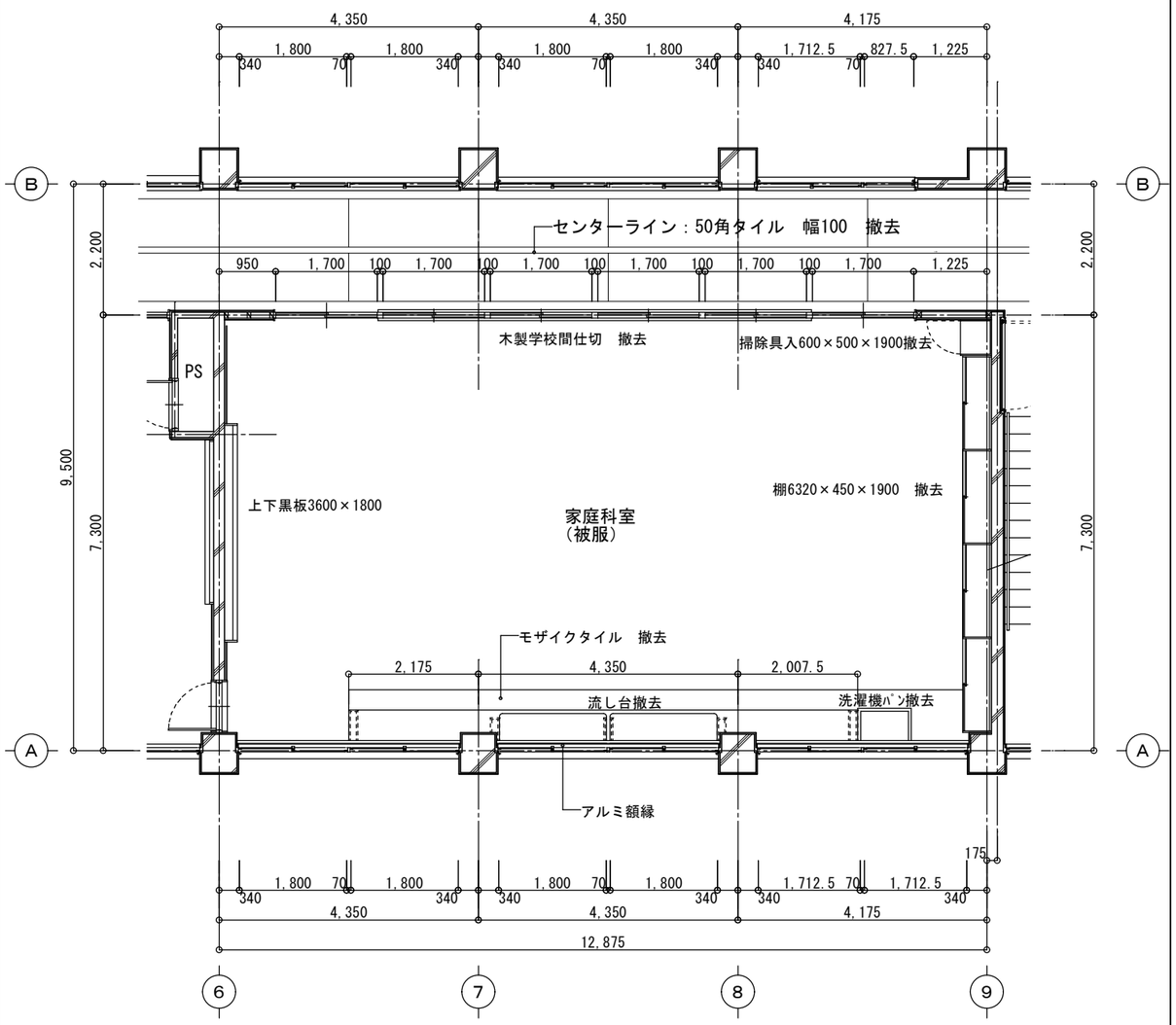
室名	家庭科準備室				
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
	下地	軽天下地	床	仕上	既存仕上撤去後　下地調整の上、ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張
		梁型　下地調整の上　EP-G塗装	備考		既存流用 木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装 額縁：下地調整の上　SOP塗装 手摺：下地調整の上　SOP塗装
壁	仕上	A面　木製学校間仕切 既存RC下地　撤去 既存木胴縁下地撤去 既存木組下地 既存木組下地＋ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りH=100共撤去後 ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G B面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G C面　既存下地調整の上　EP-G D面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G 柱型　既存下地調整の上　EP-G （「正面：小口）　木胴縁下地 PB79.5＋ｹｲｶﾙ板76.0二重張の上EP-G			新設 収納棚、掃除用具入 行事用黒板　2700×1200 既製品流し台L=1800 洗濯機パン架台　木組下地　Ｔ1合板712.0の上　床材立上 室名札 面台：LGS（W=90）下地、耐水合板79.0の上 ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板張 天端：ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ719×130　H=1,150 転落防止手摺：アルミ製既製品　25×50　L=1,800 柱型コーナー部：見切（塩ビ製）

改修後	３階　家庭科準備室　展開図	1：100



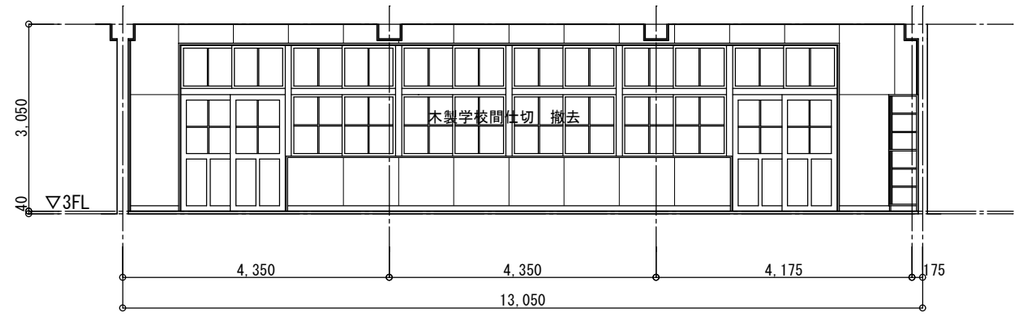
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	改修３階　家庭科準備室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	Ａ－６０
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修前	３階　家庭科室（被服）　平面詳細図	1：100

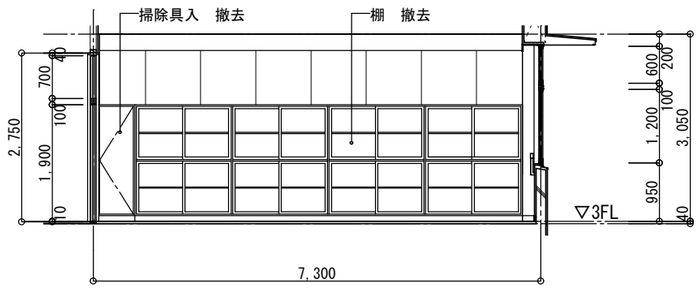


室名	家庭科室（被服）				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90
	下地	軽天下地			流し台下　モルタルコテ押え　H=90
		梁型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	床	仕上	塩ビシート貼
壁	仕上	A面　木製学校間仕切　撤去 木組下地（コンクリート下地H=100） 木胴縁下地 T1ベニヤ　7.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） B面　木胴縁下地 T1ベニヤ　7.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） C面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　木胴縁下地 T1ベニヤ　7.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） 柱型　モルタル金コテ押え　AEP塗装			モザイクタイル貼
				下地	モルタル
			備考		既存流用 木製カーテンボックス：t=21 OP塗装 窓手摺：スチール：□-75×45×2.5　OP塗装 撤去 上下黒板3600×1800 棚、掃除具入れ 洗濯機パン 室名札

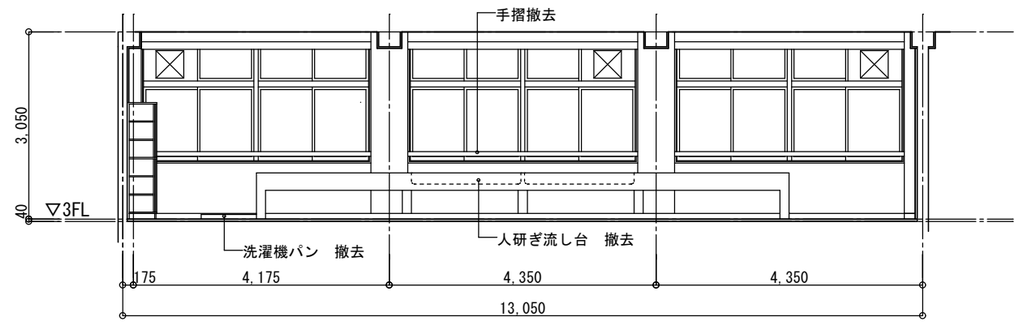
改修前	３階　家庭科室（被服）　展開図	1：100



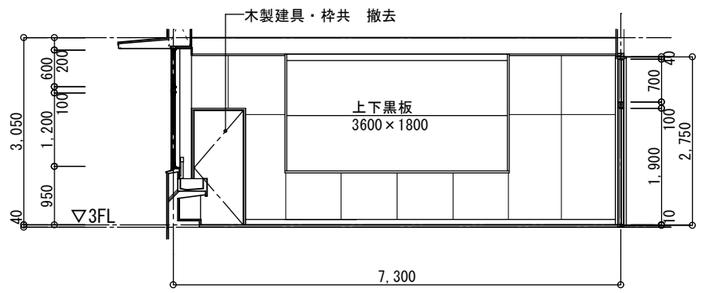
A面　1：100



B面　1：100



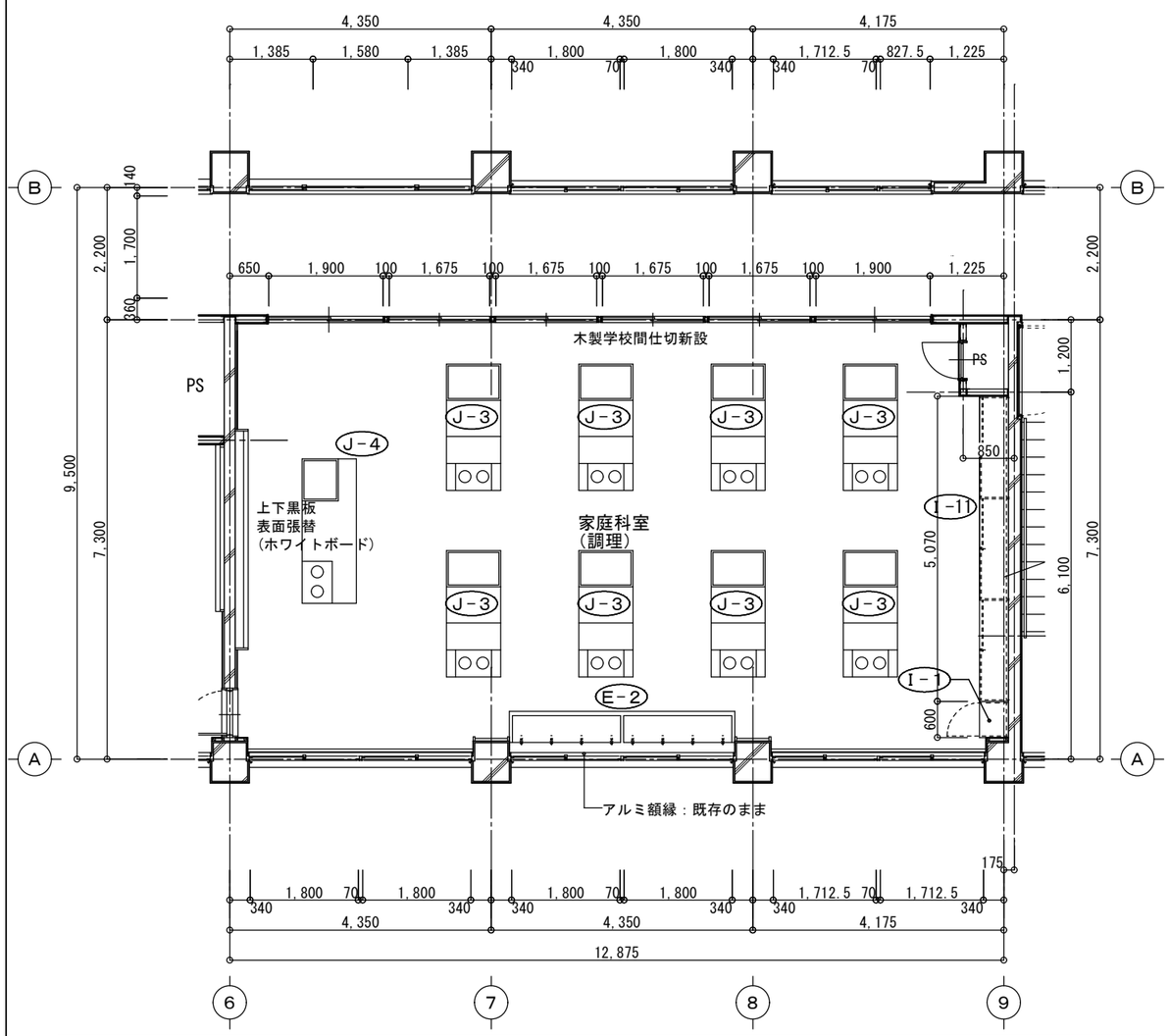
C面　1：100



D面　1：100

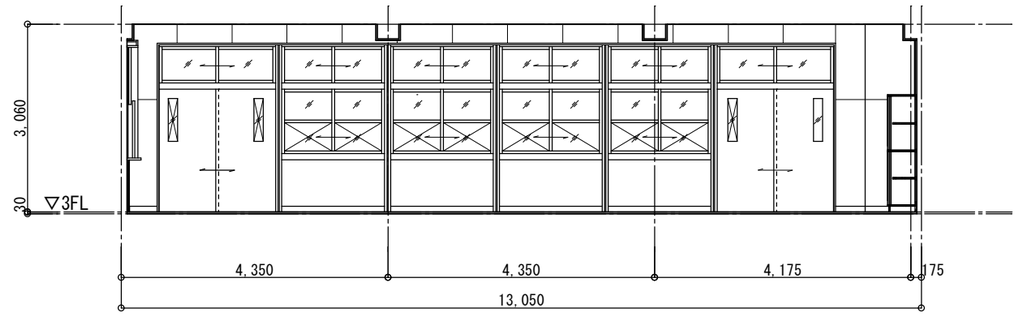
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	既存３階　家庭科室（被服） 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－６１

改修後	３階　家庭科室（調理）　平面詳細図	1：100

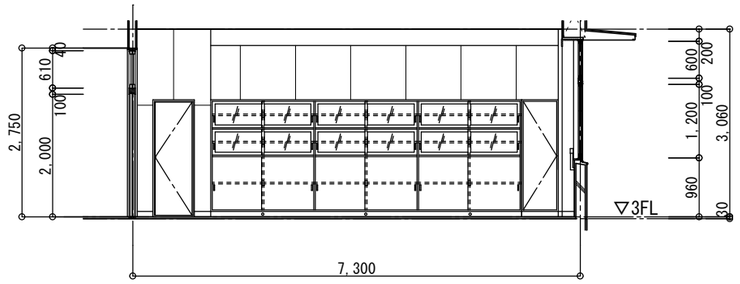


室名	家庭科室（調理）				
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
	下地	軽天下地	床	仕上	既存仕上撤去後　下地調整の上、　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張
		梁型　下地調整の上　EP-G塗装	備考		既存流用 木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装 額縁：下地調整の上　SOP塗装 手摺：下地調整の上　SOP塗装 上下黒板3600×1800（ホワイトボードへ変更）
壁	仕上	A面　木製学校間仕切 既存木組下地 既存木組下地＋ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りH=100共撤去後 ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G B面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G C面　既存下地調整の上　EP-G D面　既存木胴縁下地撤去後　木胴縁下地新設 PB厚12.5＋ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G 柱型　既存下地調整の上　EP-G （「正面：小口）　木胴縁下地 PB79.5＋ｹｲｶﾙ板76.0二重張の上　EP-G			新設 収納棚、掃除用具入、調理台 SUS製流し台 室名札 掲示板 面台：LGS（W=90）下地、耐水合板79.0の上 ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板張 天端：ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ719×130 柱型コーナー部：見切（塩ビ製）

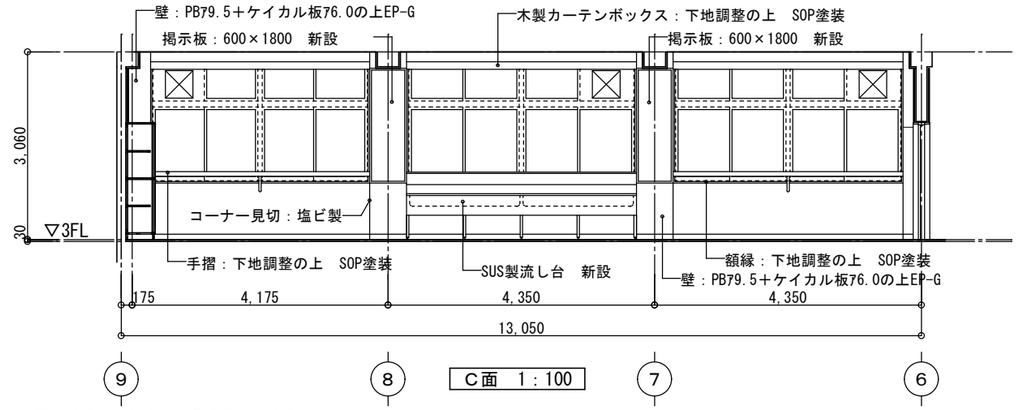
改修後	３階　家庭科室（調理）　展開図	1：100



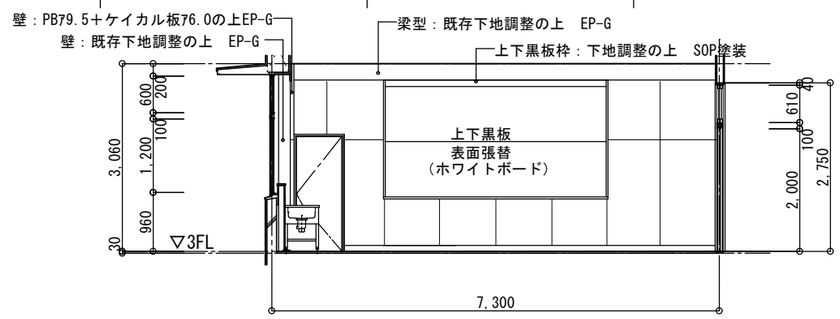
A面　1：100



B面　1：100



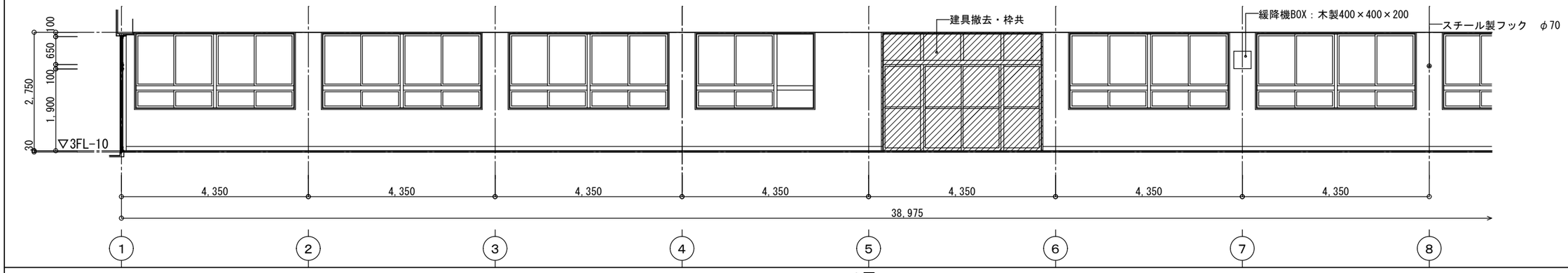
C面　1：100



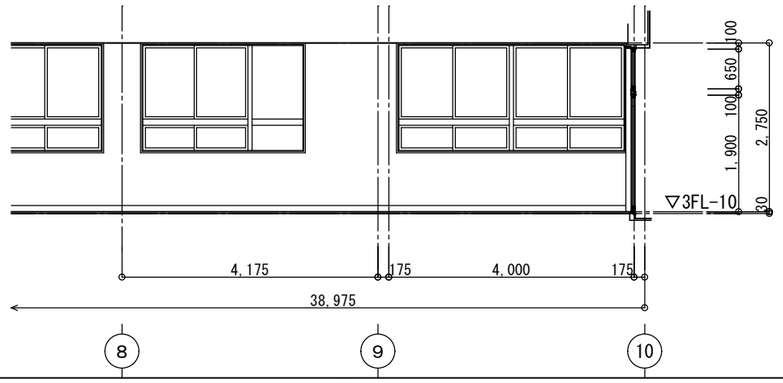
D面　1：100

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	改修３階　家庭科室（調理） 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－６２

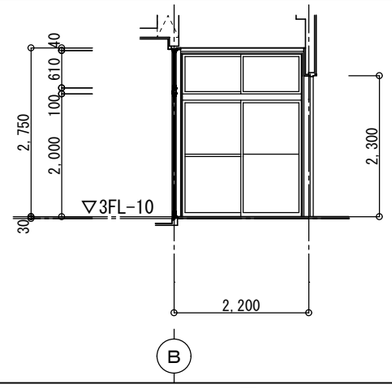
改修前	３階廊下　展開図	1：100



Ａ面

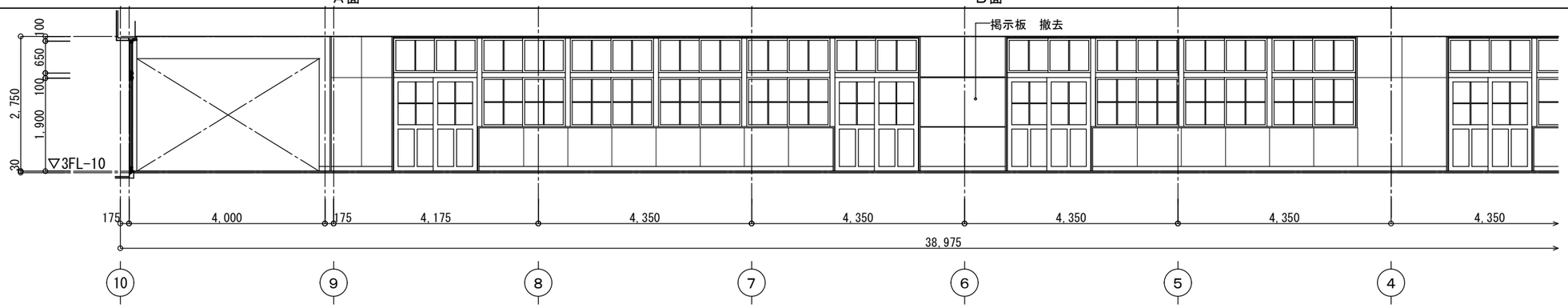


Ａ面

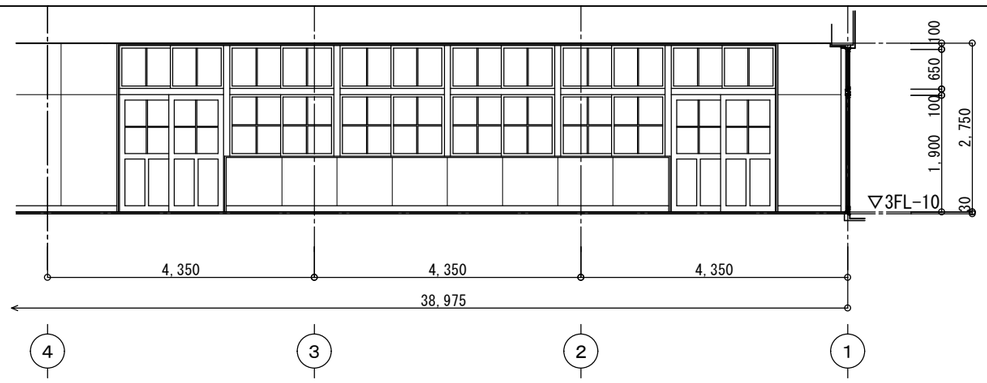


Ｂ面

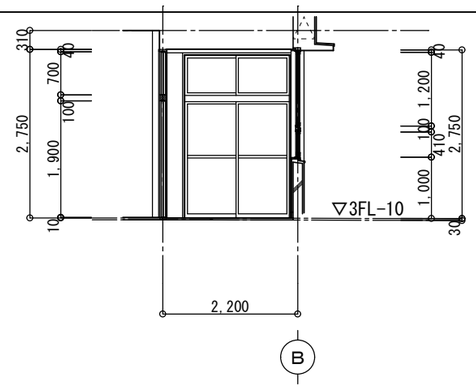
室名	3階廊下				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装　撤去	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90　撤去
					モルタル金コテ押え　AEP塗装
	下地	軽天下地　撤去	床	仕上	人造石金コテ押え　真鍮目地入り
					ライン：50角タイル貼　撤去
壁	仕上	A面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 B面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 C面　木製学校間仕切　撤去 木組下地（コンクリート下地H=100） 木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木組下地・躯体・木胴縁共撤去） モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　モルタル金コテ押え　AEP塗装		下地	モルタル
			備考		既存流用 緩降機BOX スチール製フックφ70 撤去 掲示板



Ｃ面



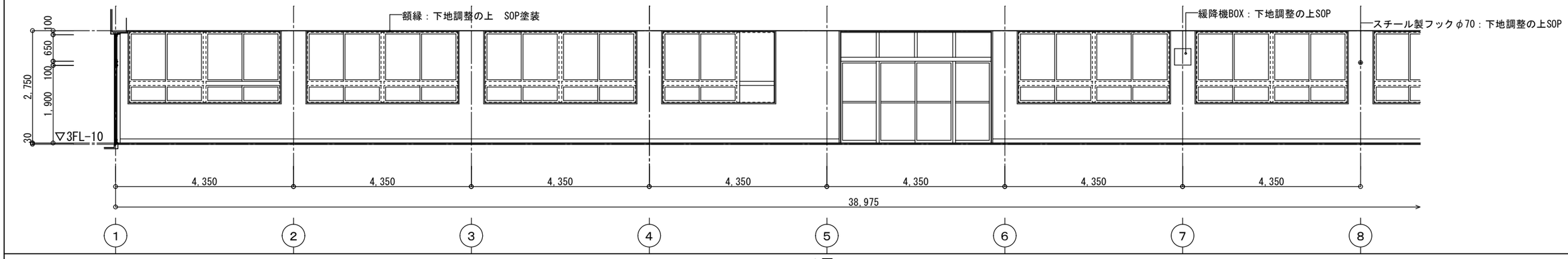
Ｃ面



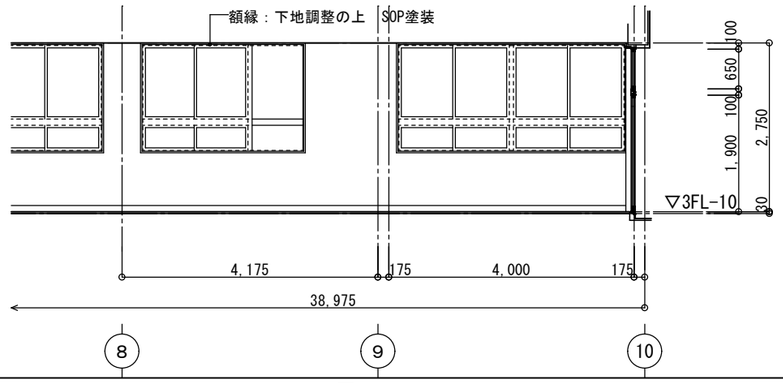
Ｄ面

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	既存　３階廊下展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	Ａ－６３
	鹿児島市建設局建築部建築課		

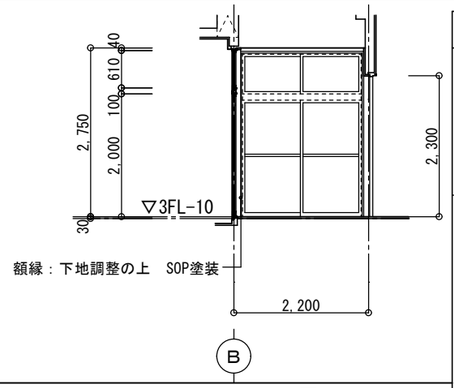
改修後	３階廊下　展開図	1：100



Ａ面

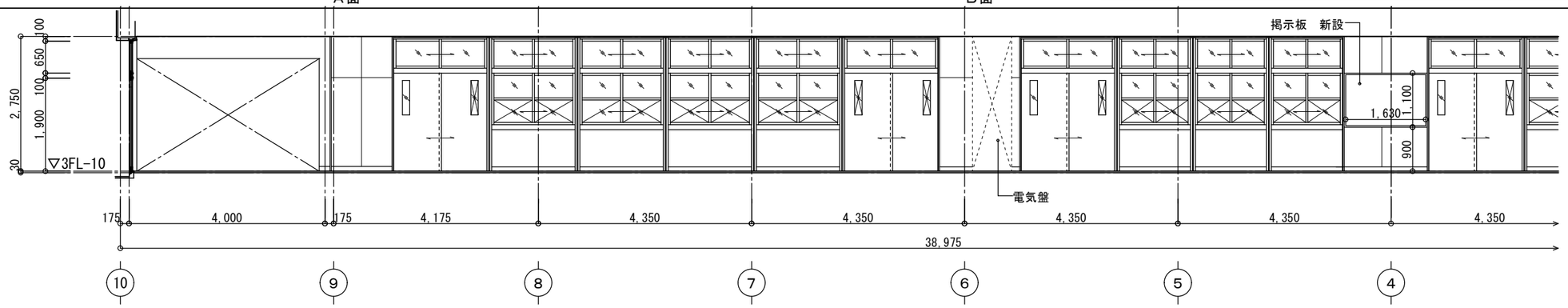


Ａ面

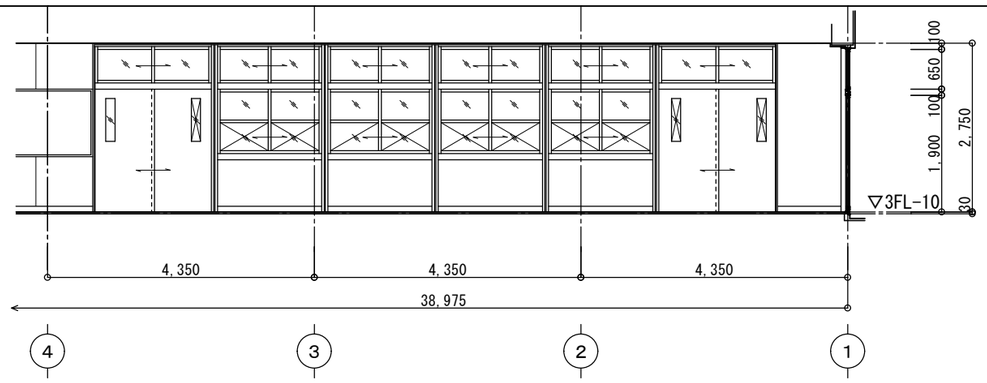


Ｂ面

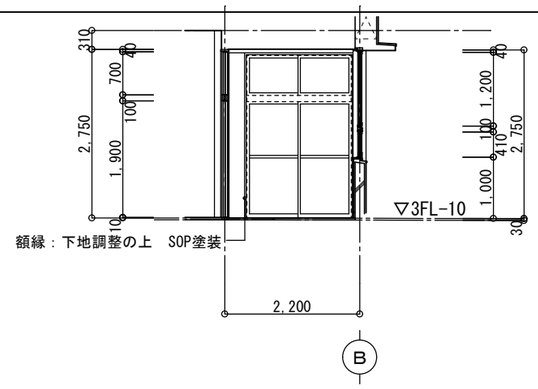
室名					
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
					下地補修の上　EP-G
	下地	軽天下地	床	仕上	下地調整の上、防滑性ビニル床シート張
壁	仕上	A面　下地調整の上　EP-G B面　下地調整の上　EP-G C面　木製学校間仕切　新設 ＬＧＳ壁：(W＝100）下地　強化ＰＢ厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　下地調整の上　EP-G		下地	モルタル
			備考		既存流用 額縁：下地調整の上　SOP塗装 緩降機BOX：下地調整の上　SOP塗装 スチール製フックφ70：下地調整の上　SOP塗装 新設 掲示板



Ｃ面



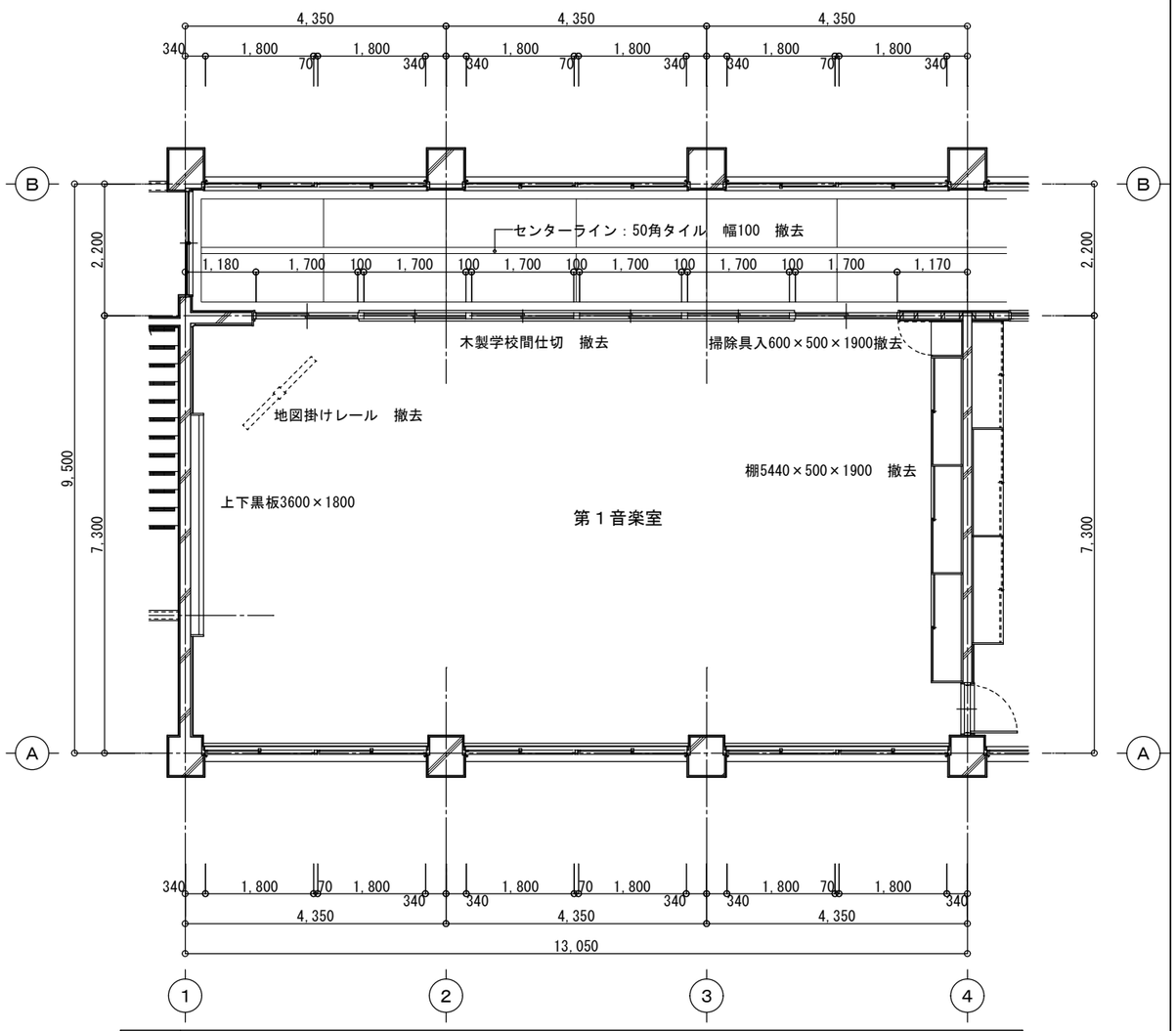
Ｃ面



Ｄ面

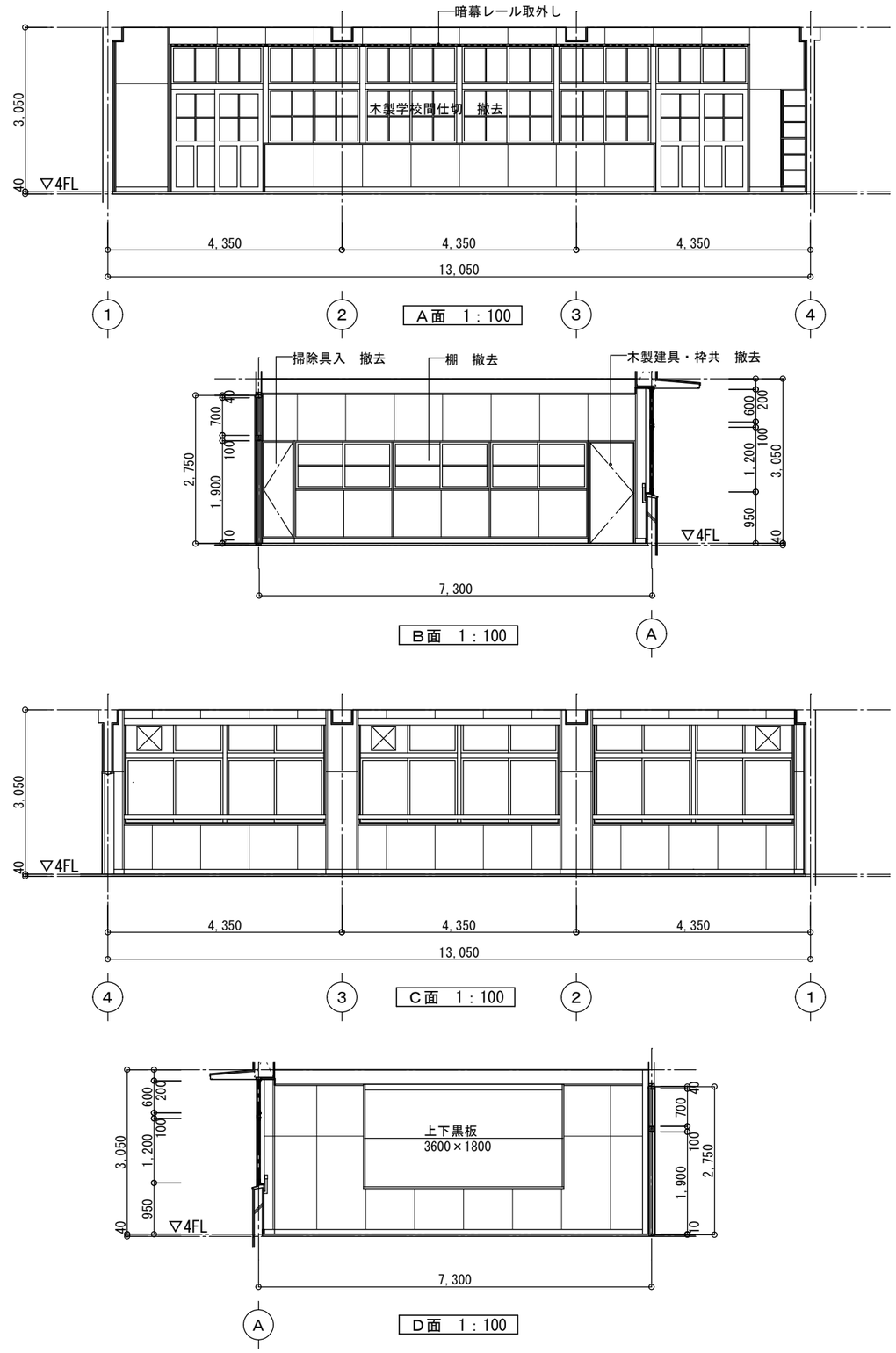
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事 改修　３階廊下展開図　A1：1/ 50　A3：1/ 100 鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－６４

改修前	４階　第１音楽室　平面詳細図	1：100



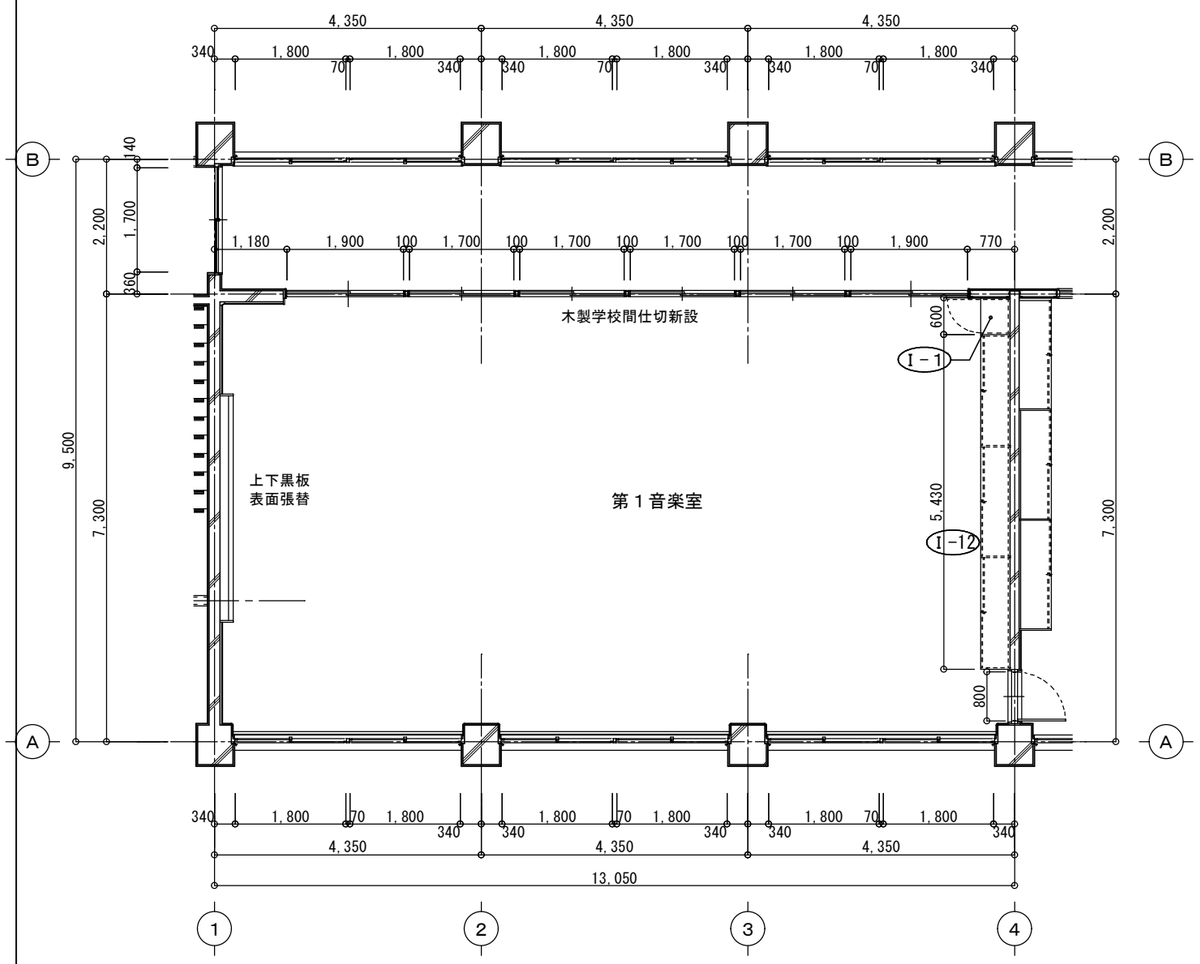
室名	第1音楽室				
天井	仕上	PB t=9.0 の上 t=9.0 吸音板貼	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90
	下地	軽天下地			
		梁型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	床	仕上	ニードルパンチカーペット貼
壁	仕上	A面　木製学校間仕切　撤去 木組下地（コンクリート下地H=100） 木胴縁下地 有孔ベニヤ t=5.5 OP塗装 （木組下地・躯体・木胴縁共撤去） B面　木胴縁下地 有孔ベニヤ t=5.5 OP塗装 （木胴縁共撤去） C面　木胴縁下地 有孔ベニヤ t=5.5 OP塗装 （木胴縁共撤去） D面　木胴縁下地 有孔ベニヤ t=5.5 OP塗装 （木胴縁共撤去） 柱型　木胴縁下地 有孔ベニヤ t=5.5 OP塗装 （木胴縁共撤去）			
				下地	モルタル
			備考		既存流用 木製カーテンボックス：t=21 OP塗装 窓手摺：スチール：□-75×45×2.5　OP塗装 上下黒板3600×1800 暗幕レール 撤去 棚、掃除具入れ 地図掛けレール 室名札

改修前	４階　第１音楽室　展開図	1：100



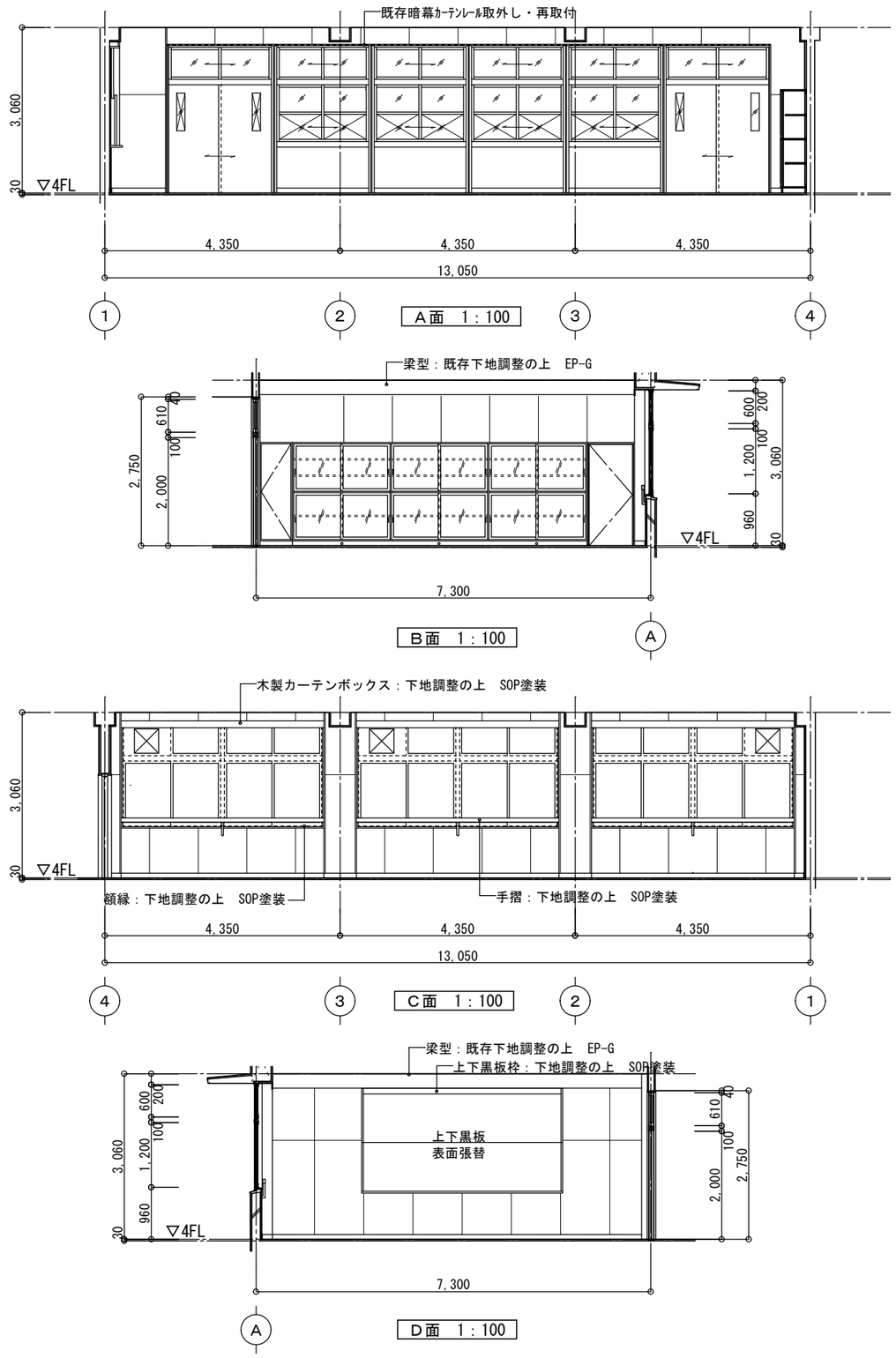
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	既存４階　第1音楽室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－６５

改修後	４階　第１音楽室　平面詳細図	１：100



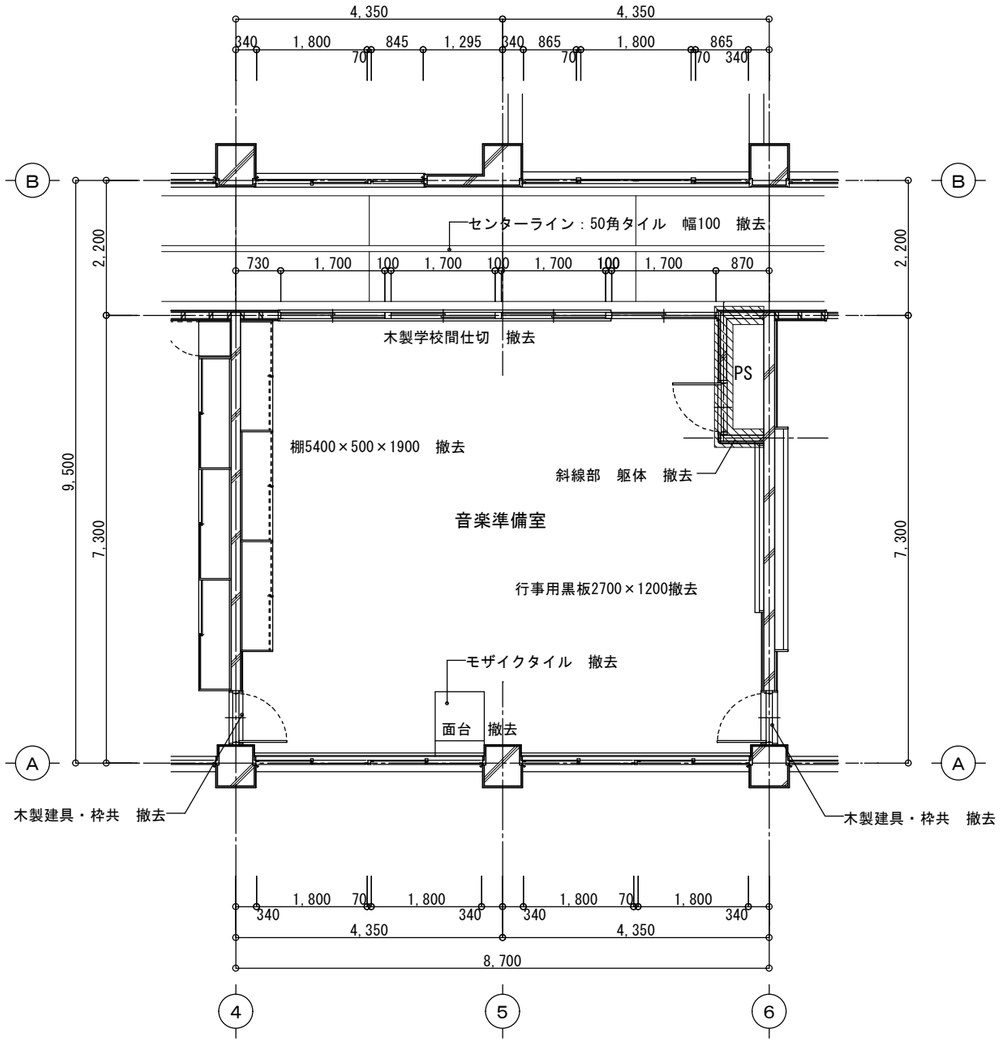
室名	第１音楽室				
天井	仕上	石膏ボード（7）9.5の上　岩綿吸音板（7）9張	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　木製巾木　CL　H=90
	下地	軽天下地	床	仕上	既存仕上撤去後　下地調整の上、　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張
		梁型　下地調整の上　EP-G塗装	備考		既存流用 木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装 額縁：下地調整の上　SOP塗装 手摺：下地調整の上　SOP塗装 上下黒板3600×1800 暗幕カーテンレール（S）　取り外し・再取付
壁	仕上	A面　木製学校間仕切 既存RC下地 既存木胴縁下地撤去後 有孔ｼﾅ合板（7）9　目透し張の上　ＣＬ 既存木組下地 既存木組下地＋ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りH=100共撤去後 ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上 有孔ｼﾅ合板（7）9　目透し張の上　ＣＬ （ｸﾞﾗｽｳｰﾙ寒冷紗押え厚50mm充填） B面　木胴縁下地撤去後 木胴縁下地の上有孔ｼﾅ合板（7）9　目透し張の上　ＣＬ C面　木胴縁下地撤去後 木胴縁下地の上有孔ｼﾅ合板（7）9　目透し張の上　ＣＬ D面　木胴縁下地撤去後 木胴縁下地の上有孔ｼﾅ合板（7）9　目透し張の上　ＣＬ 柱型　木胴縁下地撤去後 木胴縁下地の上有孔ｼﾅ合板（7）9　目透し張の上　ＣＬ			新設 収納棚、掃除用具入 室名札

改修後	４階　第１音楽室　展開図	１：100



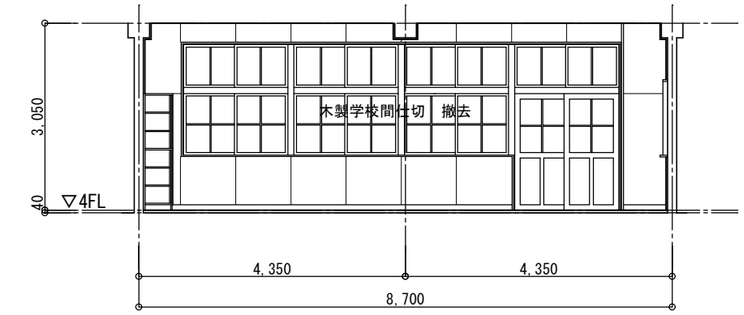
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	改修４階　第1音楽室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－６６

改修前	４階　音楽準備室　平面詳細図	1：100

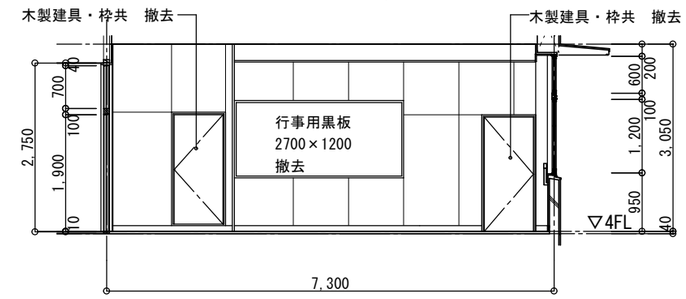


室名	音楽準備室				
天井	仕上	PB t=9.0 の上 t=9.0 吸音板貼	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90
	下地	軽天下地			
		梁型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	床	仕上	パーケットフロア貼
壁	仕上	A面　木製学校間仕切　撤去 木組下地（コンクリート下地H=100） 木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） B面　木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） C面　木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） D面　木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木胴縁共撤去） 柱型　木胴縁下地 有孔ベニヤ t=5.5 OP塗装 （木胴縁共撤去）			モザイクタイル貼
				下地	モルタルコテ押え
			備考		既存流用 木製カーテンボックス：t=21 OP塗装 窓手摺：スチール：□-75×45×2.5　OP塗装 撤去 行事用黒板2700×1200 棚 面台 室名札

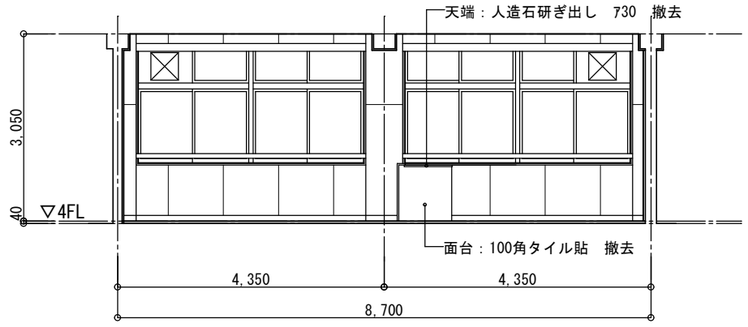
改修前	４階　音楽準備室　展開図	1：100



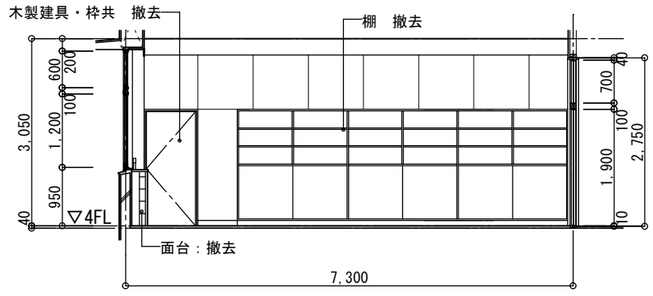
A面　1：100



B面　1：100



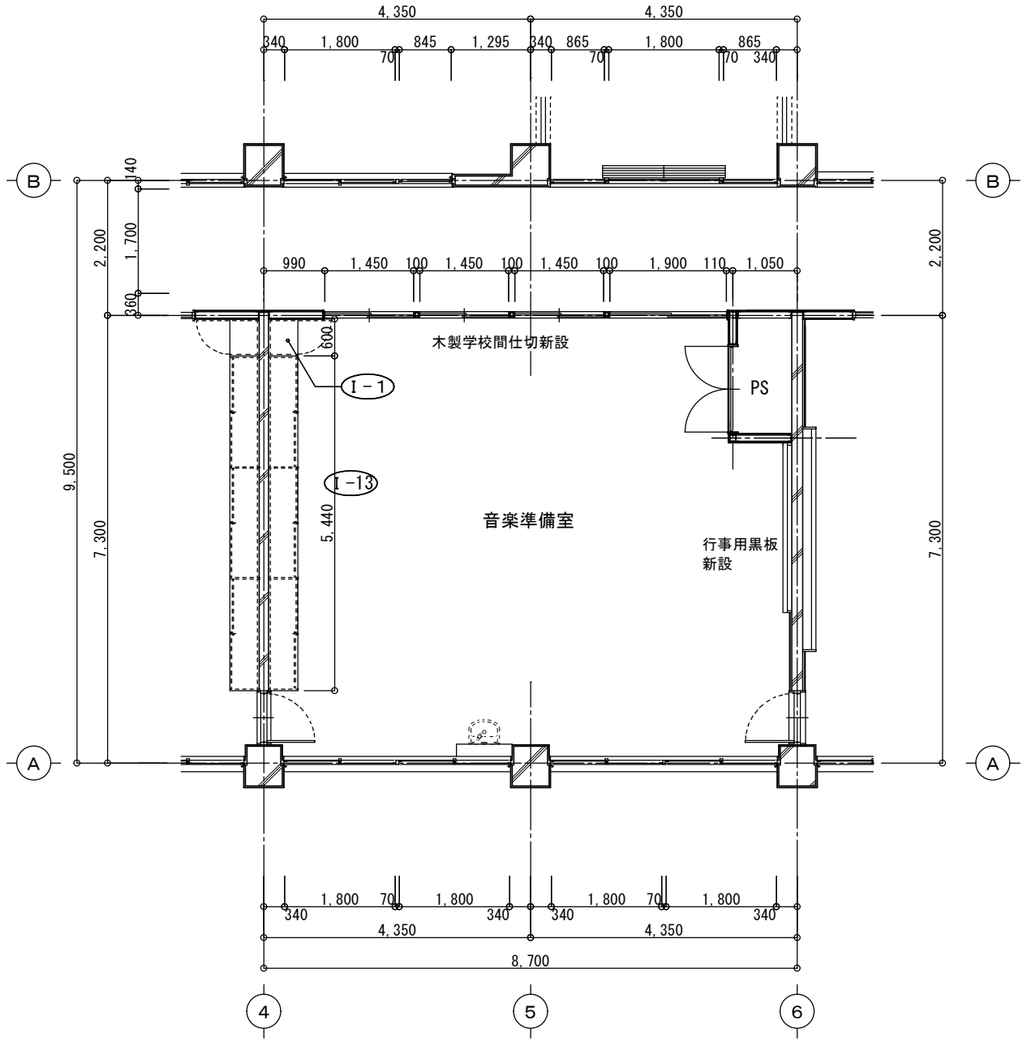
C面　1：100



D面　1：100

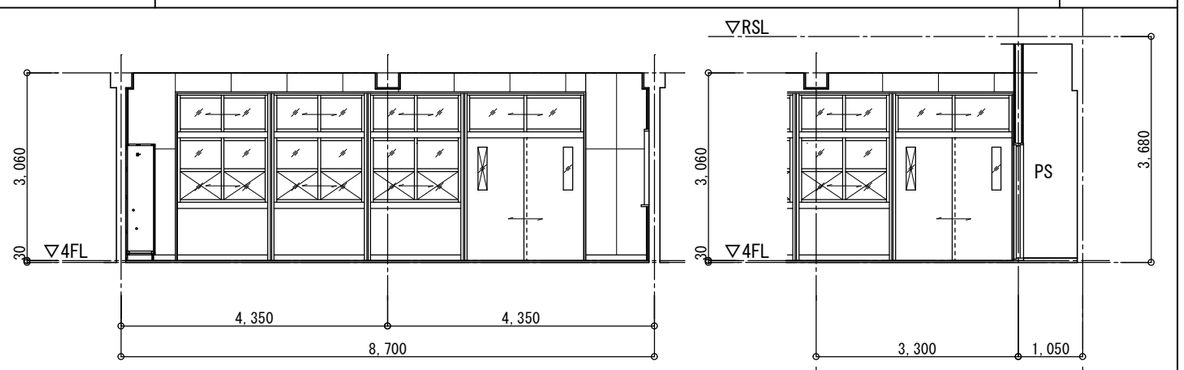
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	既存４階　音楽準備室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－６７
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修後	４階　音楽準備室　平面詳細図	1：100



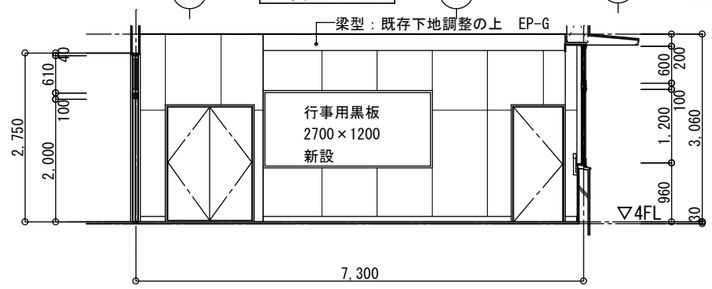
室名	音楽準備室				
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
	下地	軽天下地	床	仕上	既存仕上撤去後　下地調整の上、　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張
		梁型　下地調整の上　EP-G塗装	備考		既存流用 木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装 額縁：下地調整の上　SOP塗装 手摺：下地調整の上　SOP塗装
壁	仕上	A面　木製学校間仕切 既存RC下地　撤去 既存木胴縁下地撤去 既存木組下地 既存木組下地＋ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りH=100共撤去後 ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G B面　木胴縁下地撤去後 PB厚9.5（GL工法）＋　ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G C面　既存下地調整の上　EP-G D面　木胴縁下地撤去後 PB厚9.5（GL工法）＋ ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G 柱型　木胴縁下地撤去後 PB厚9.5（GL工法）＋ ｹｲｶﾙ板厚6.0二重張の上 EP-G			新設 収納棚、掃除用具入 行事用黒板　2700×1200 室名札 面台：LGS（W=90）下地、耐水合板79.0の上 ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板張 天端：ﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑ719×210 柱型コーナー部：見切（塩ビ製）

改修後	４階　音楽準備室　展開図	1：100

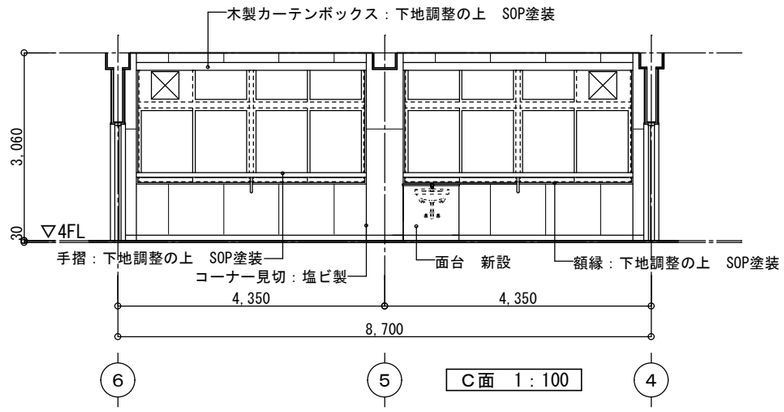


A面　1：100

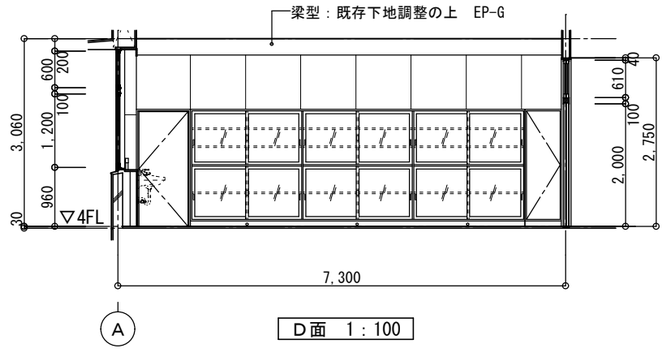
A面　1：100



B面　1：100



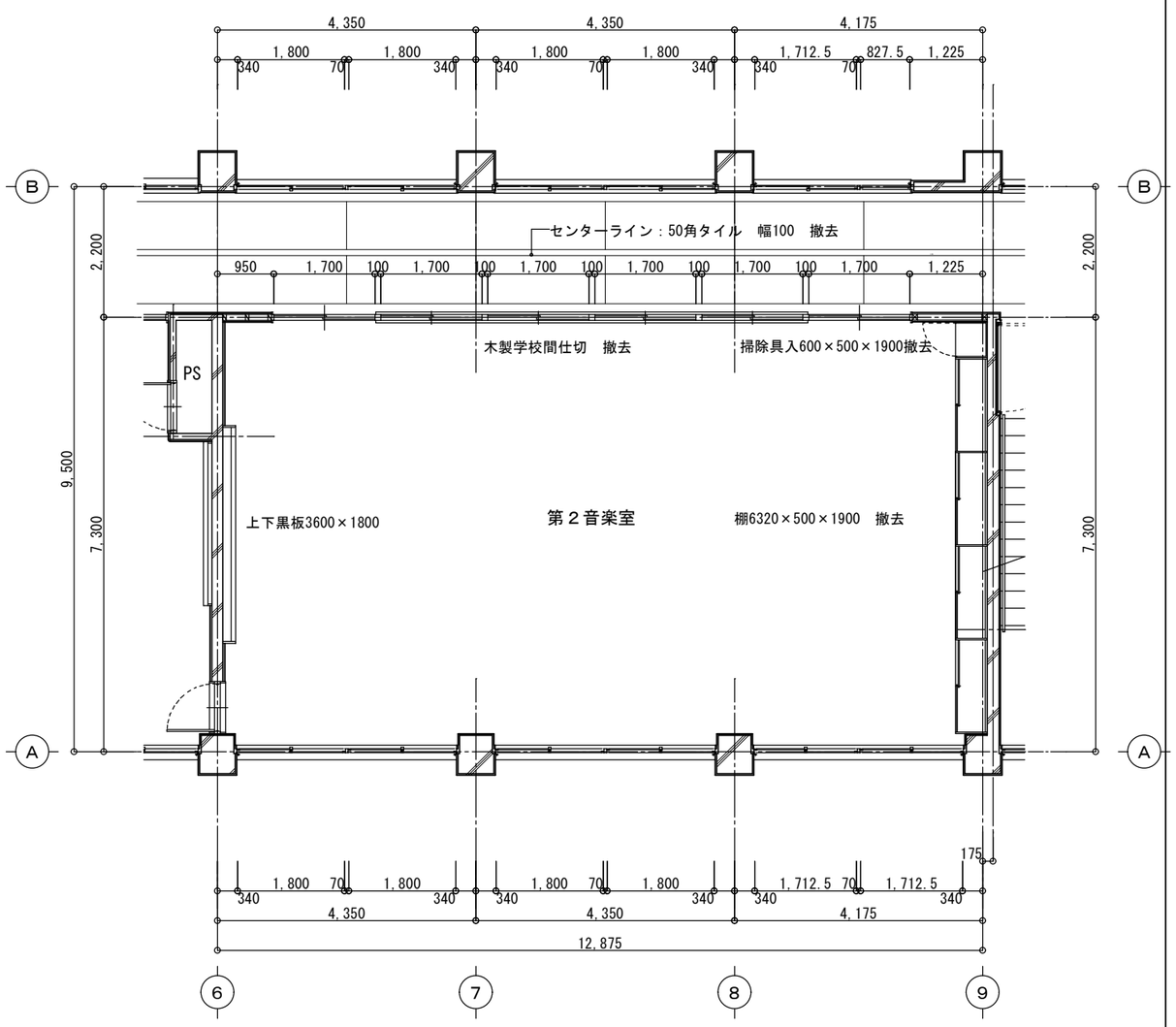
C面　1：100



D面　1：100

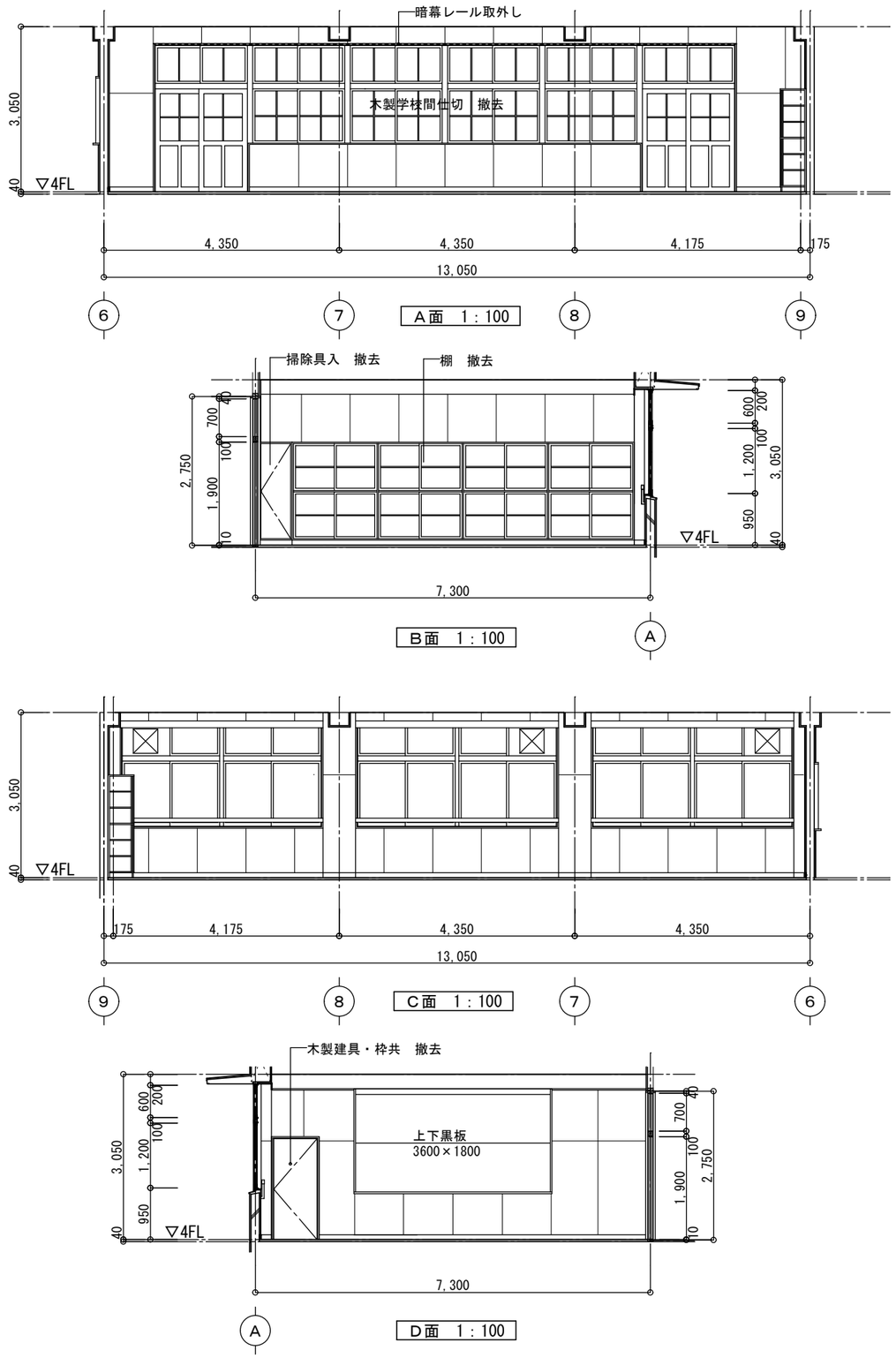
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	改修４階　音楽準備室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－６８

改修前	４階　第２音楽室　平面詳細図	1：100



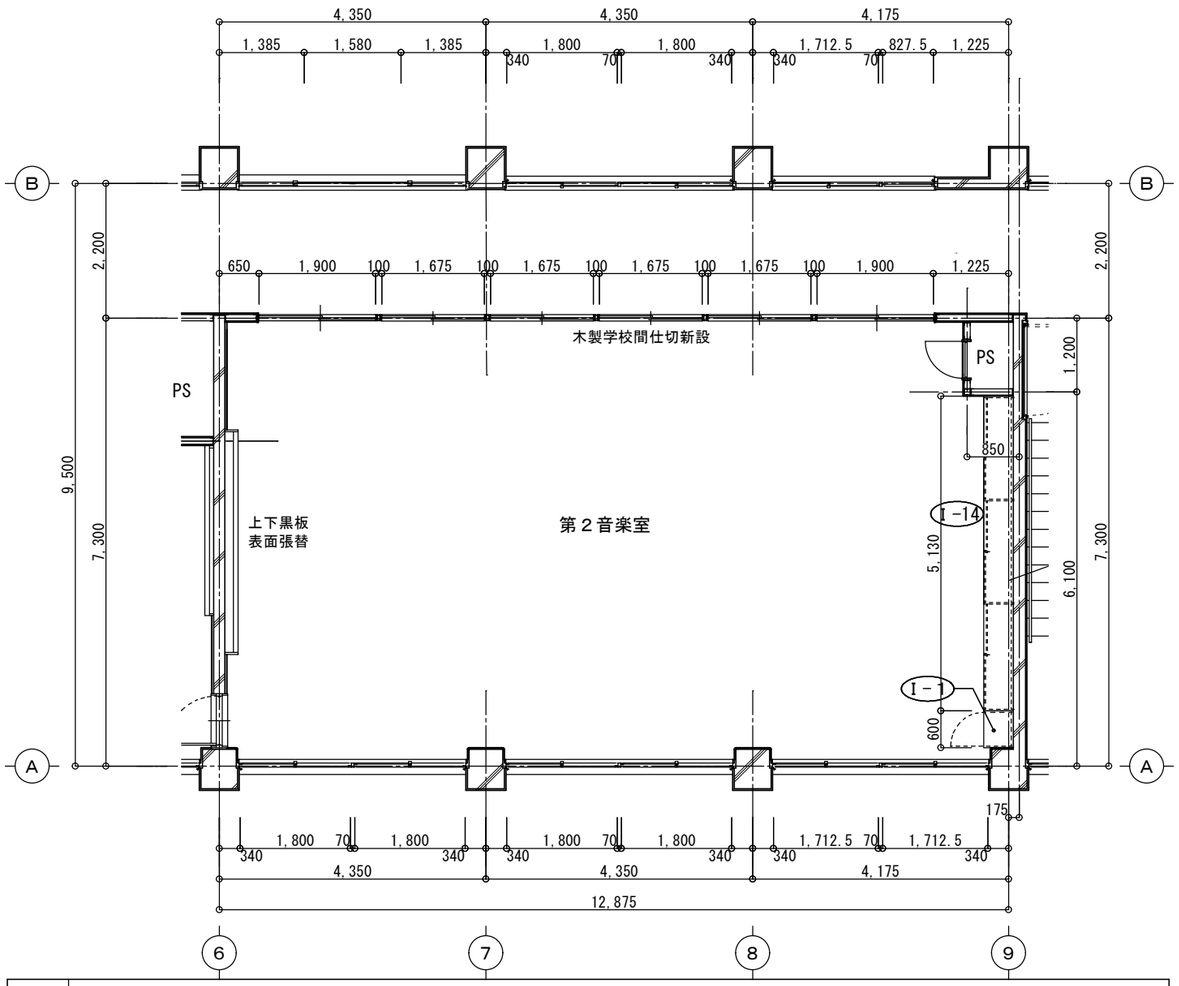
室名	第2音楽室				
天井	仕上	PB t=9.0 の上 t=9.0 吸音板貼	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90
	下地	軽天下地			
		梁型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	床	仕上	パーケットフロア貼　撤去
壁	仕上	A面　木製学校間仕切　撤去 木組下地（コンクリート下地H=100） 木胴縁下地 有孔ベニヤ t=5.5 OP塗装 （木組下地・躯体・木胴縁共撤去） B面　木胴縁下地 有孔ベニヤ t=5.5 OP塗装 （木胴縁共撤去） C面　木胴縁下地 有孔ベニヤ t=5.5 OP塗装 （木胴縁共撤去） D面　木胴縁下地 有孔ベニヤ t=5.5 OP塗装 （木胴縁共撤去） 柱型　木胴縁下地 有孔ベニヤ t=5.5 OP塗装 （木胴縁共撤去）			
				下地	モルタル
			備考		既存流用 木製カーテンボックス：t=21 OP塗装 窓手摺：スチール：□-75×45×2.5　OP塗装 暗幕レール 撤去 上下黒板3600×1800 棚、掃除具入れ 室名札

改修前	４階　第２音楽室　展開図	1：100



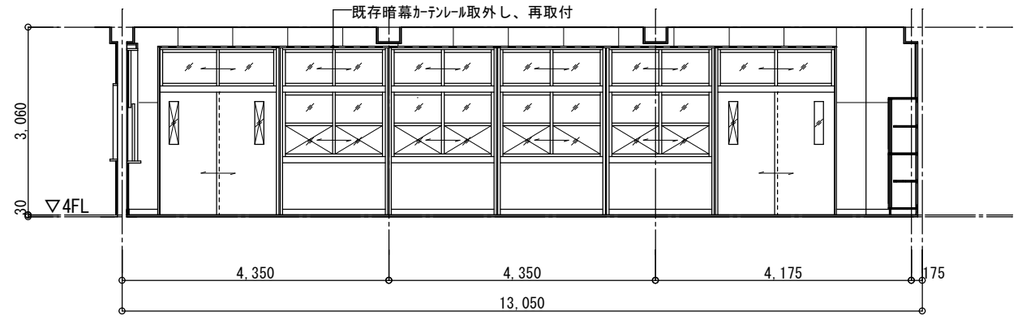
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	既存４階　第２音楽室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－６９
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修後	４階　第２音楽室　平面詳細図	1：100

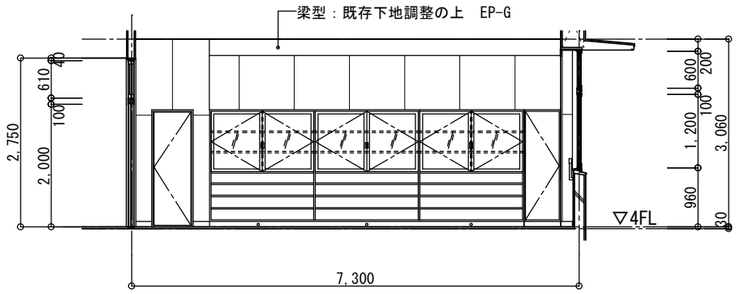


室名	第２音楽室				
天井	仕上	石膏ボード（7）9.5の上　岩綿吸音板（7）9張	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　木製巾木　CL　H=90
	下地	軽天下地	床	仕上	既存仕上撤去後　下地調整の上、　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張
		梁型　下地調整の上　EP-G塗装	備考		既存流用 木製カーテンボックス：下地調整の上　SOP塗装 額縁：下地調整の上　SOP塗装 手摺：下地調整の上　SOP塗装 上下黒板3600×1800 暗幕カーテンレール（S）　取り外し・再取付
壁	仕上	A面　木製学校間仕切 既存木胴縁下地撤去後 有孔ｼﾅ合板（7）9　目透し張の上　ＣＬ 既存木組下地 既存木組下地＋ｺﾝｸﾘｰﾄ立上りH=100共撤去後 ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100）下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上 有孔ｼﾅ合板（7）9　目透し張の上　ＣＬ （ｸﾞﾗｽｳｰﾙ寒冷紗押え厚50mm充填） ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100）下地　ＰＢ　厚12.5 ＋有孔ｼﾅ合板（7）9　目透し張の上　ＣＬ B面　木胴縁下地撤去後 木胴縁下地の上有孔ｼﾅ合板（7）9　目透し張の上　ＣＬ ＬＧＳ壁:(Ｗ＝100）下地　ＰＢ　厚12.5 ＋有孔ｼﾅ合板（7）9　目透し張の上　ＣＬ C面　木胴縁下地撤去後 木胴縁下地の上有孔ｼﾅ合板（7）9　目透し張の上　ＣＬ D面　木胴縁下地撤去後 木胴縁下地の上有孔ｼﾅ合板（7）9　目透し張の上　ＣＬ 柱型　木胴縁下地撤去後 木胴縁下地の上有孔ｼﾅ合板（7）9　目透し張の上　ＣＬ			新設 収納棚、掃除用具入 室名札

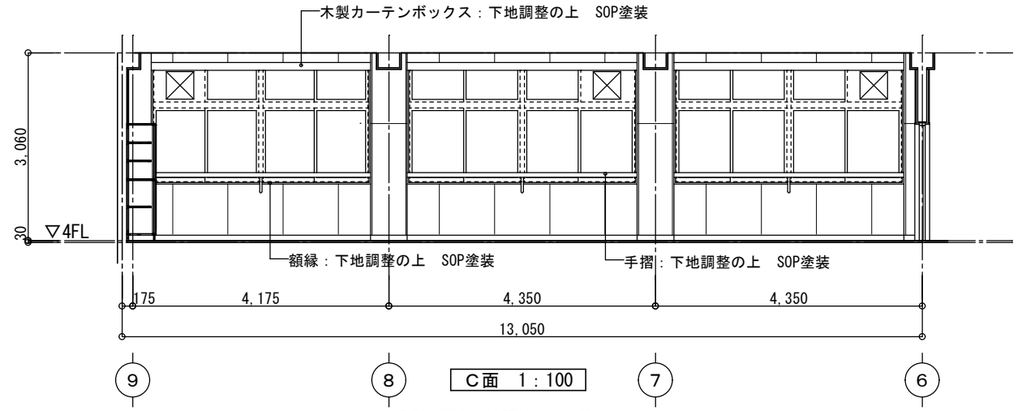
改修後	４階　第２音楽室　展開図	1：100



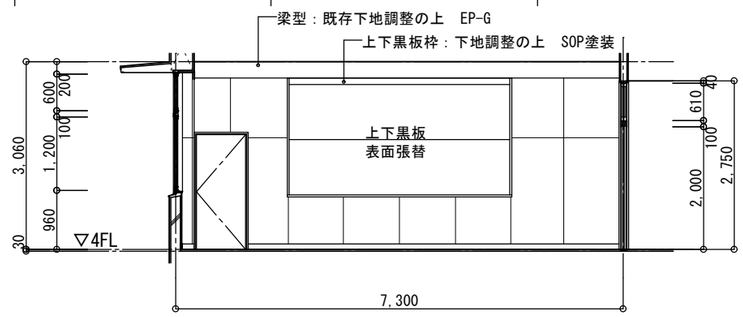
A面　1：100



B面　1：100



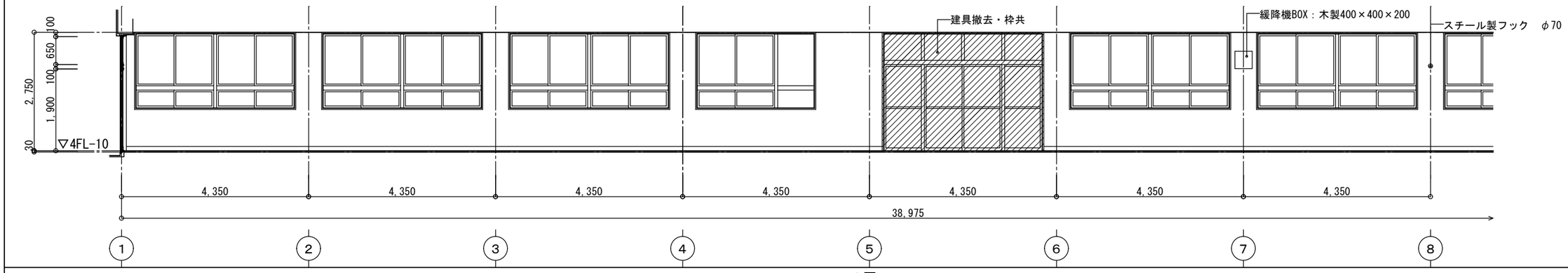
C面　1：100



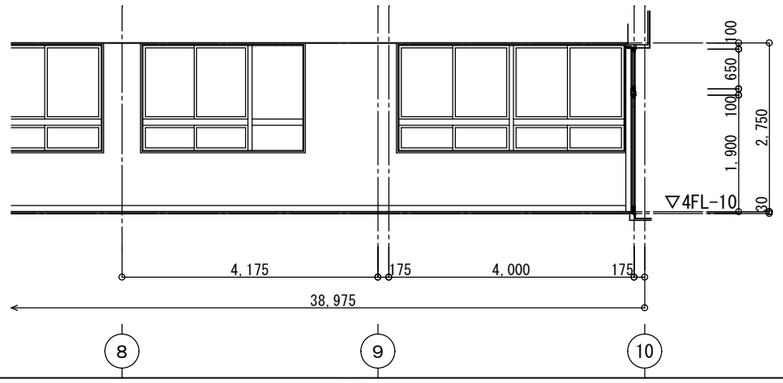
D面　1：100

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	改修４階　第２音楽室 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	Ａ－７０
	鹿児島市建設局建築部建築課		

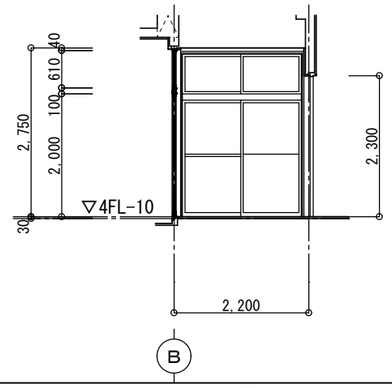
改修前	４階廊下　展開図	1：100



Ａ面

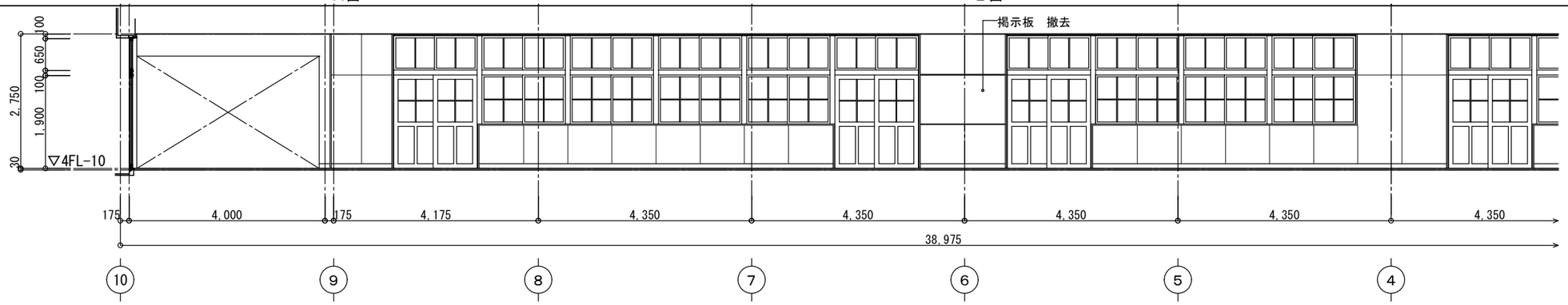


Ａ面

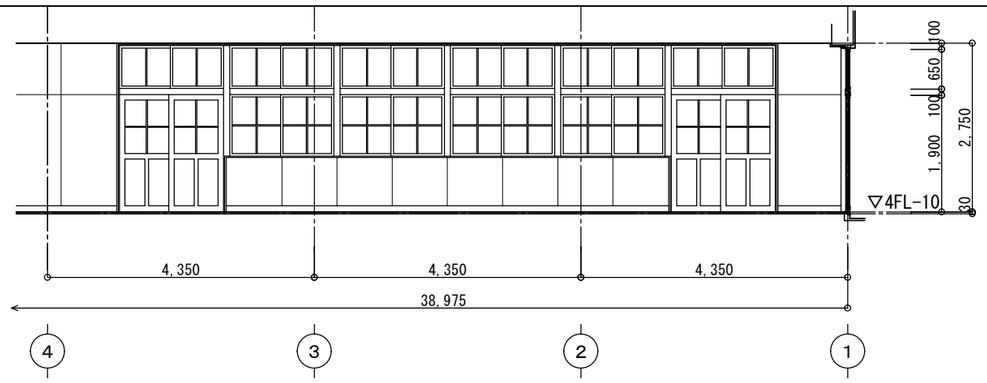


Ｂ面

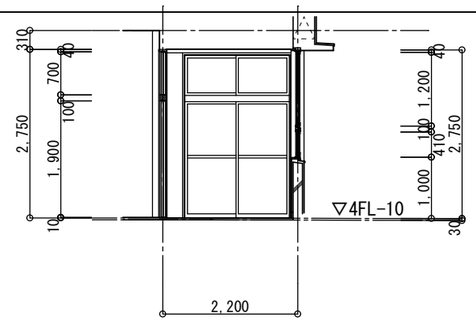
室名	4階廊下				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装　撤去	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90　撤去
		化粧石膏ボード　撤去			モルタル金コテ押え　AEP塗装
	下地	軽天下地　撤去	床	仕上	人造石金コテ押え　真鍮目地入り
					ライン：50角タイル貼　撤去
壁	仕上	A面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 B面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 C面　木製学校間仕切　撤去 木組下地（コンクリート下地H=100） 木胴縁下地 T1ベニヤ　75.5　OP塗装 （木組下地・躯体・木胴縁共撤去） モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　モルタル金コテ押え　AEP塗装		下地	モルタル
			備考		既存流用 緩降機BOX スチール製フックφ70 撤去 掲示板



Ｃ面



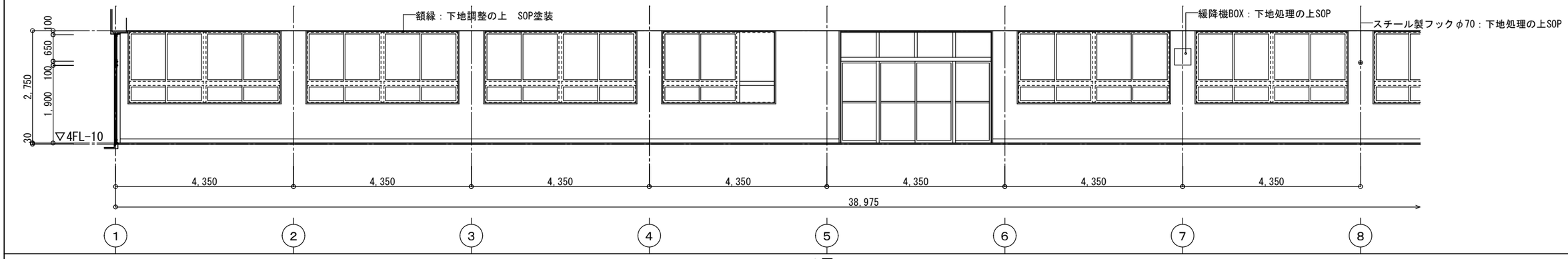
Ｃ面



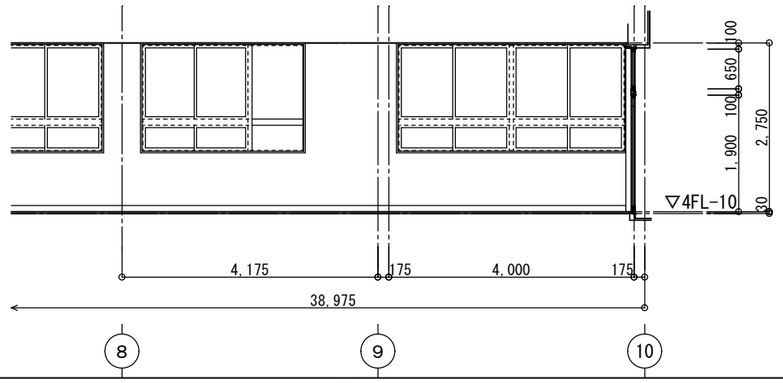
Ｄ面

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	既存　４階廊下展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－７１

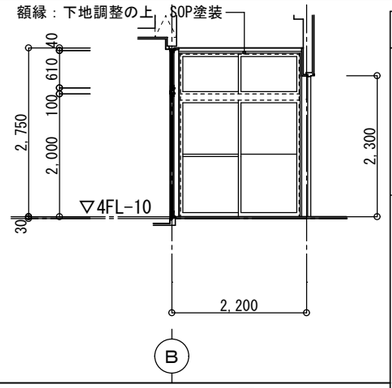
改修後	４階廊下　展開図	1：100



Ａ面

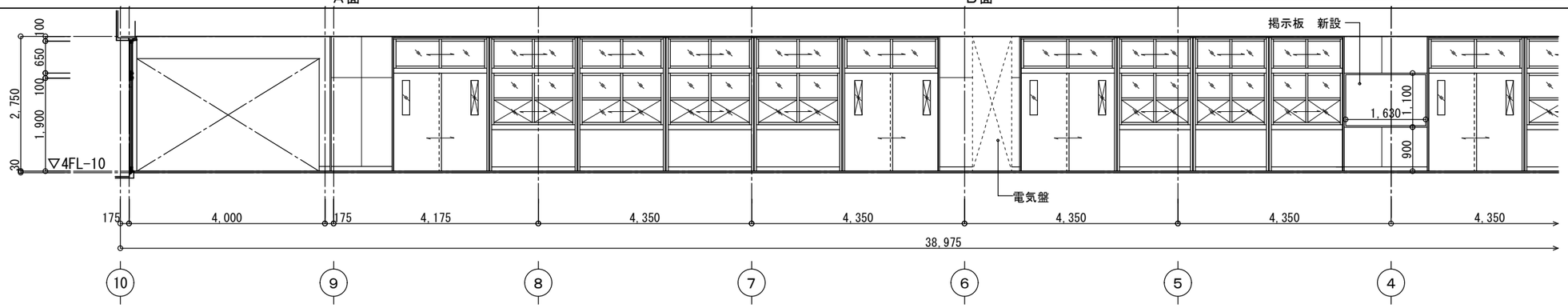


Ａ面

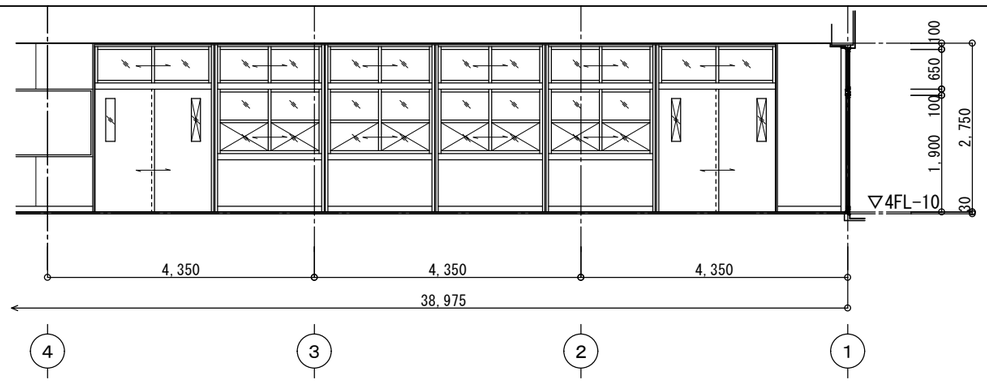


Ｂ面

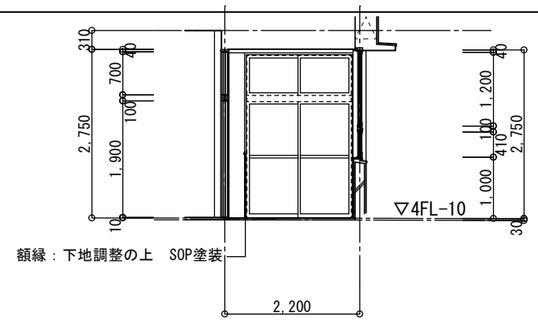
室名					
天井	仕上	化粧石膏ボード（7）9.5	巾木	仕上	既存巾木撤去　下地補修の上　ソフト巾木　H=90
					下地補修の上　EP-G
	下地	軽天下地	床	仕上	下地調整の上、防滑性ビニル床シート張
壁	仕上	A面　下地調整の上　EP-G B面　下地調整の上　EP-G C面　木製学校間仕切　新設 ＬＧＳ壁:（W＝100）下地　強化ＰＢ厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　下地調整の上　EP-G		下地	モルタル
			備考		既存流用 額縁：下地調整の上　SOP塗装 緩降機BOX：下地調整の上　SOP塗装 スチール製フックφ70：下地調整の上　SOP塗装 新設 掲示板



Ｃ面



Ｃ面



Ｄ面

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事 改修　４階廊下展開図　A1：1/ 50　A3：1/ 100 鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－７２

改修前　1階天井伏図

	番号	部分名称
撤去	①	パルプセメント板 AEP塗装
	②	化粧石膏ボード79.5張り
	③	PB t=9.0 の上 t=9.0 吸音板貼

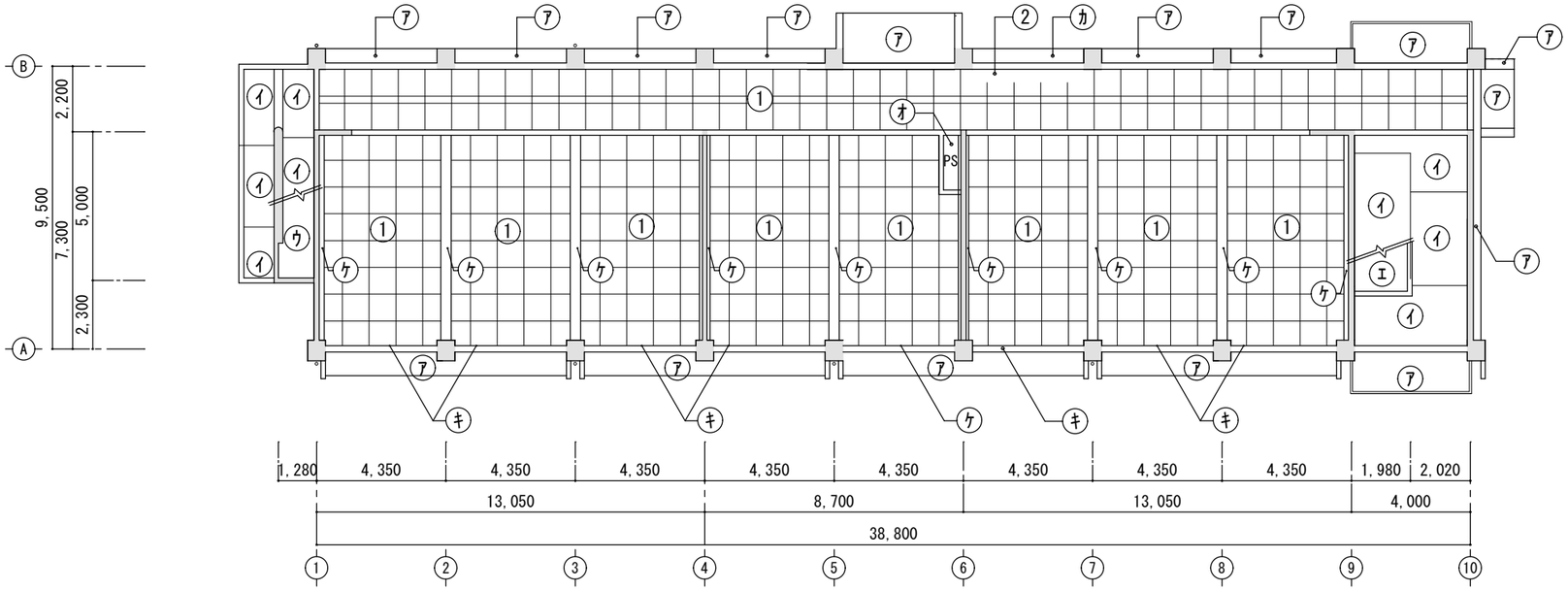
	番号	部分名称
撤去	Ⓐ	TVハンガー
	Ⓑ	地図掛ﾚｰﾙ
	Ⓒ	吊下げ式ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ
	Ⓓ	
	Ⓔ	
	Ⓕ	

	部分名称
撤去	
既存仕上げ	

	部分名称
既存仕上げ	㋐ モルタル刷毛引　吹付タイル（エポキシ）
	㋑ モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付
	㋒ モルタルコテ押え
	㋓ モルタルコテ押え　AEP塗装
	㋔ コンクリート打放し補修
	㋕ アルミ製庇

	部分名称
既存仕上げ	㋖ カーテン木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装 カーテンレール：ステンレス製（W）
	㋗ 暗幕ﾚｰﾙSUS（S)ﾚｰﾙ
	㋘ アルミ製カーテンボックス
	㋙

	部分名称
既存仕上げ	



改修後　1階天井伏図

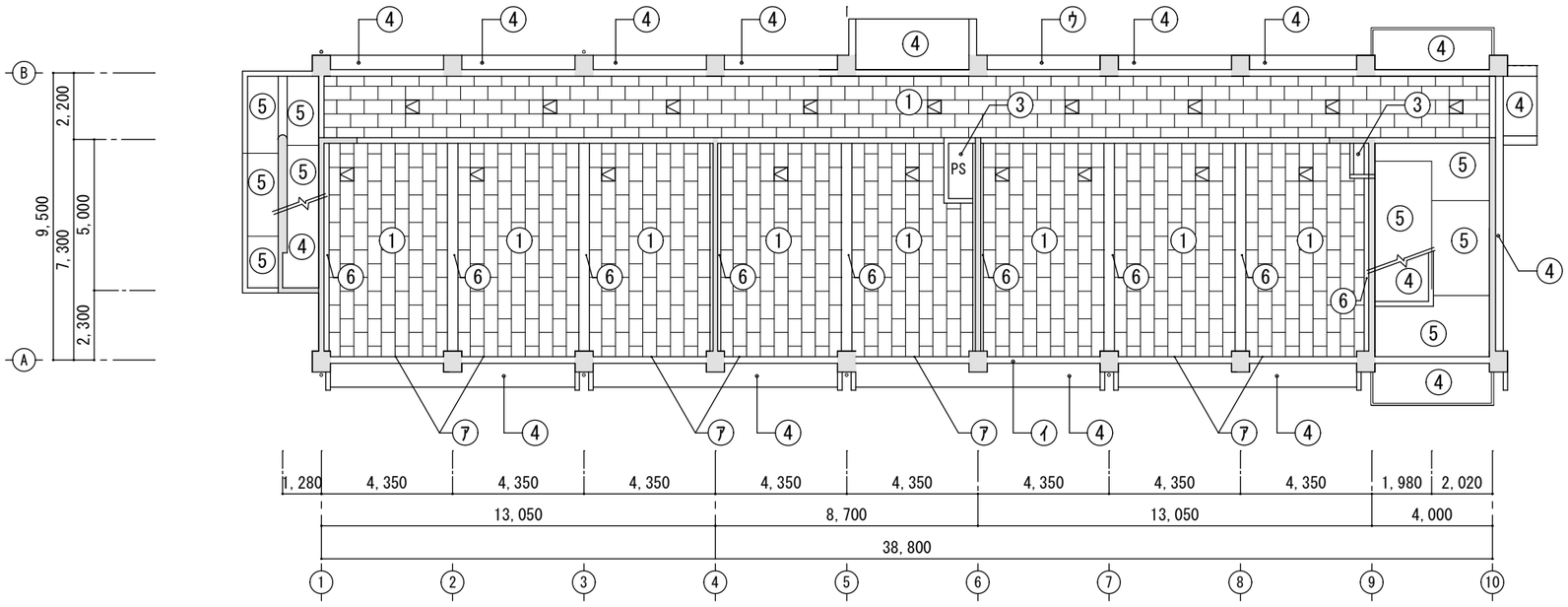
番号		部分名称
①	下地	軽天下地
	仕上	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5
②	下地	軽天下地
	仕上	PB 79.5 の上 岩綿吸音板79.0 貼
③	下地	コンクリート
	仕上	既存のまま

番号		部分名称
④	下地	モルタル刷毛引　吹付タイル（エポキシ）
	仕上	既存高圧水洗浄の上アクリル系軒天用仕上塗材
⑤	下地	モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付
	仕上	下地補修の上アクリル系軒天井用仕上塗材
⑥	下地	モルタル金コテ押え AEP塗装
	仕上	下地調整の上 EP-G塗装

番号	部分名称

番号	部分名称
⑦	カーテン木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：下地補修の上　SOP塗装 既存カーテンレール：取外し・再取付
㋑	アルミ製カーテンボックス：既存のまま
㋒	アルミ製庇：既存のまま
㋓	暗幕ﾚｰﾙSUS（S)ﾚｰﾙ

番号	部分名称
⊠	天井点検口　450角 ※天井点検口位置は監督員の指示による。



株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	1階天井伏図	A1：1/ 100 A3：1/ 200	Ａ－７３
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修前

2階天井伏図

	番号	部分名称
撤去	①	パルプセメント板 AEP塗装
	②	化粧石膏ボード79.5張り
	③	PB t=9.0 の上 t=9.0 吸音板貼

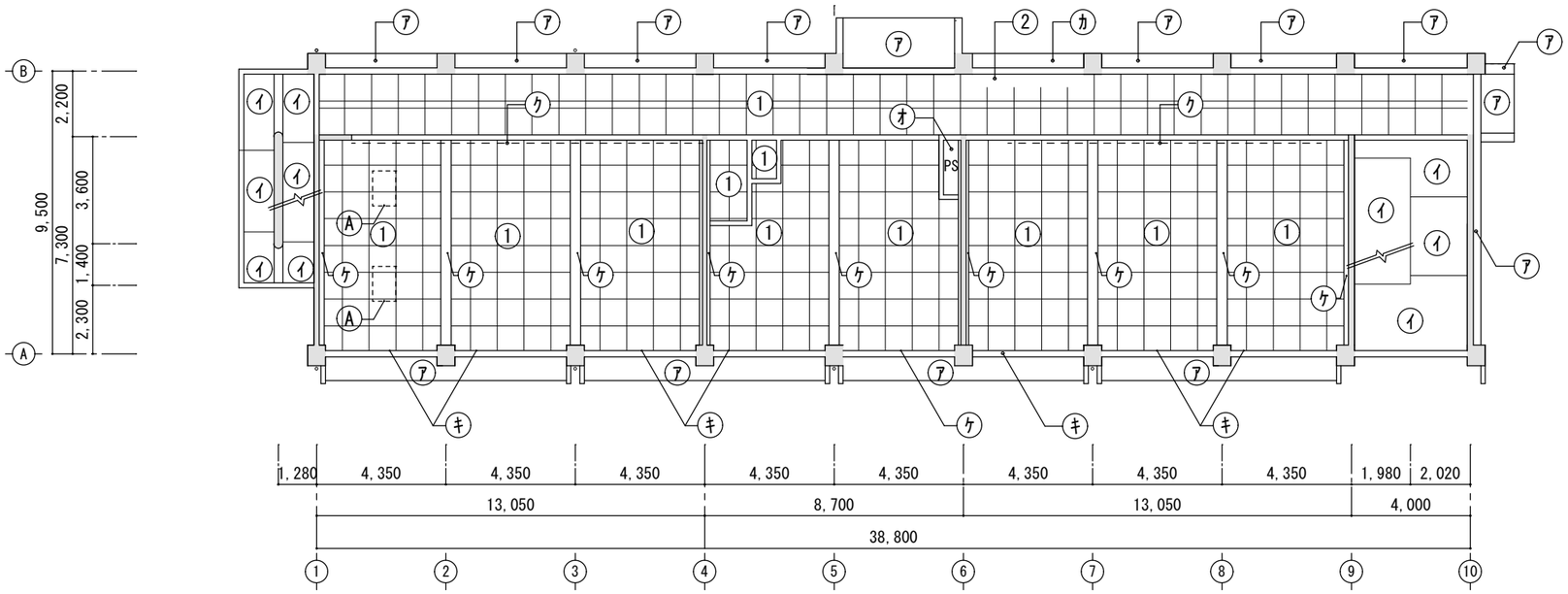
	番号	部分名称
撤去	Ⓐ	TVハンガー
	Ⓑ	地図掛ﾚｰﾙ
	Ⓒ	吊下げ式ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ
	Ⓓ	
	Ⓔ	
	Ⓕ	

	部分名称
撤去	
既存仕上げ	

	部分名称
既存仕上げ	㋐ モルタル刷毛引　吹付タイル（エポキシ）
	㋑ モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付
	㋒ モルタルコテ押え
	㋓ モルタルコテ押え　AEP塗装
	㋔ コンクリート打放し補修
	㋕ アルミ製庇

	部分名称
既存仕上げ	㋖ カーテン木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装 カーテンレール：ステンレス製（W）
	㋗ 暗幕ﾚｰﾙSUS（S)ﾚｰﾙ
	㋘ アルミ製カーテンボックス
	㋙

	部分名称
既存仕上げ	



改修後

2階天井伏図　　１：２００

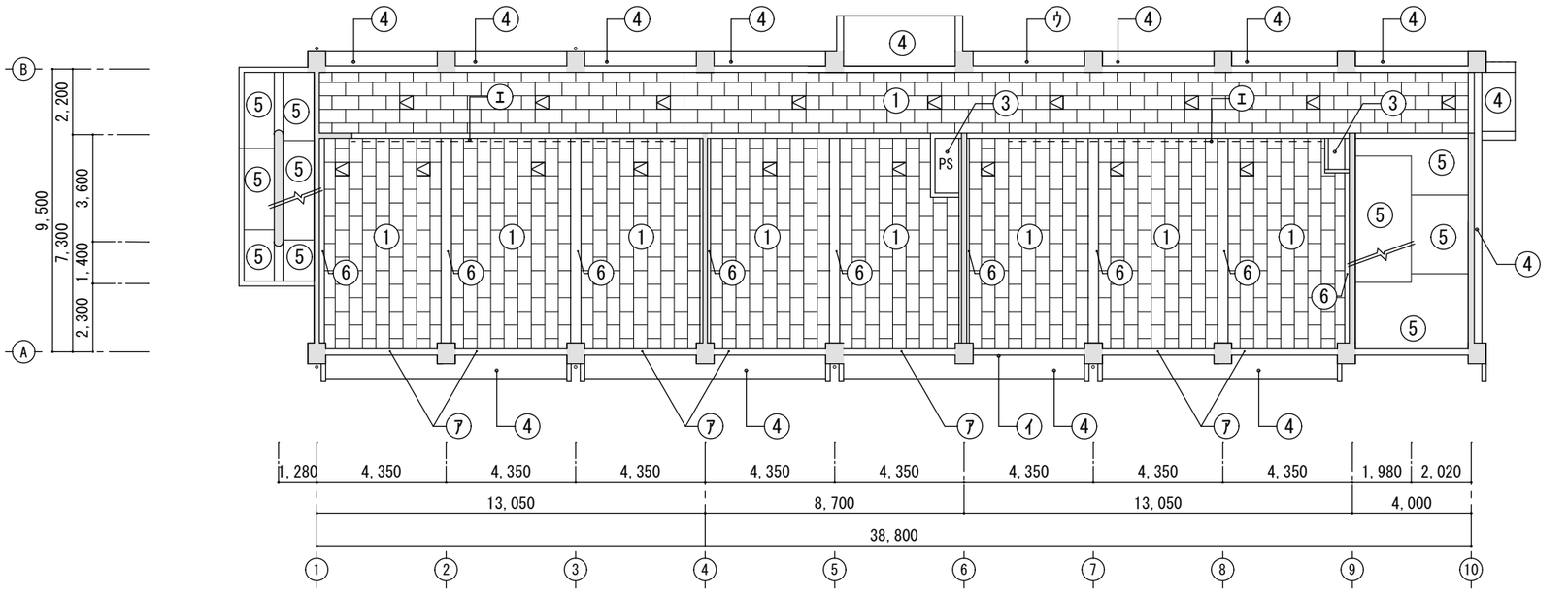
番号		部分名称
①	下地	軽天下地
	仕上	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5
②	下地	軽天下地
	仕上	PB 79.5 の上 岩綿吸音板79.0 貼
③	下地	コンクリート
	仕上	既存のまま

番号		部分名称
④	下地	モルタル刷毛引　吹付タイル（エポキシ）
	仕上	既存高圧水洗浄の上アクリル系軒天用仕上塗材
⑤	下地	モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付
	仕上	下地補修の上アクリル系軒天井用仕上塗材
⑥	下地	モルタル金コテ押え AEP塗装
	仕上	下地調整の上 EP-G塗装

番号	部分名称

番号	部分名称
⑦	カーテン木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：下地補修の上　SOP塗装 既存カーテンレール：取外し・再取付
㋑	アルミ製カーテンボックス：既存のまま
㋒	アルミ製庇：既存のまま
㋓	暗幕ﾚｰﾙSUS（S)ﾚｰﾙ

番号	部分名称
⊠	天井点検口　450角 ※天井点検口位置は監督員の指示による。



株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	2階天井伏図	A1：1/ 100 A3：1/ 200	Ａ－７４
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修前　3階天井伏図

	番号	部分名称
撤去	①	パルプセメント板 AEP塗装
	②	化粧石膏ボード79.5張り
	③	PB t=9.0 の上 t=9.0 吸音板貼

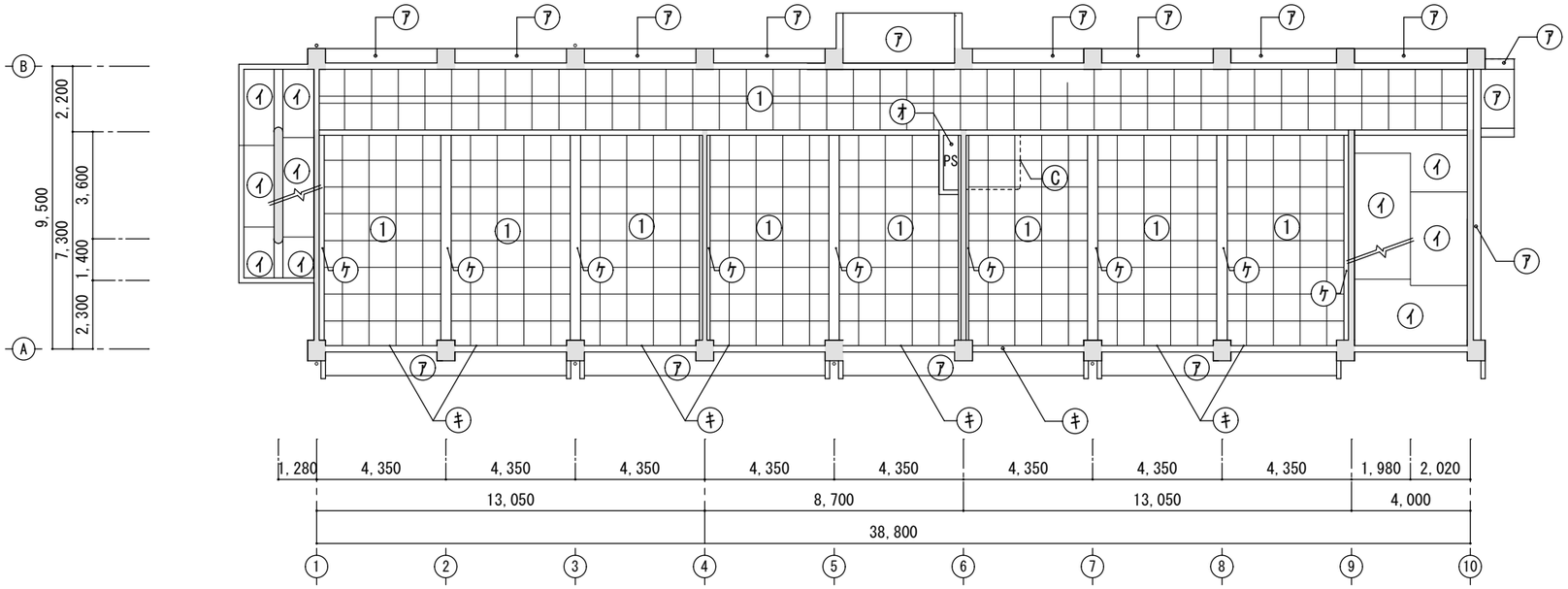
	番号	部分名称
撤去	Ⓐ	TVハンガー
	Ⓑ	地図掛ﾚｰﾙ
	Ⓒ	吊下げ式ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ
	Ⓓ	
	Ⓔ	
	Ⓕ	

	部分名称
撤去	

	部分名称
既存仕上げ	㋐ モルタル刷毛引　吹付タイル（エポキシ）
	㋑ モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付
	㋒ モルタルコテ押え
	㋓ モルタルコテ押え　AEP塗装
	㋔ コンクリート打放し補修
	㋕ アルミ製庇

	部分名称
既存仕上げ	㋖ カーテン木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装 カーテンレール：ステンレス製（W）
	㋗ 暗幕ﾚｰﾙSUS（S)ﾚｰﾙ
	㋘ アルミ製カーテンボックス
	㋙

	部分名称
既存仕上げ	



改修後　3階天井伏図

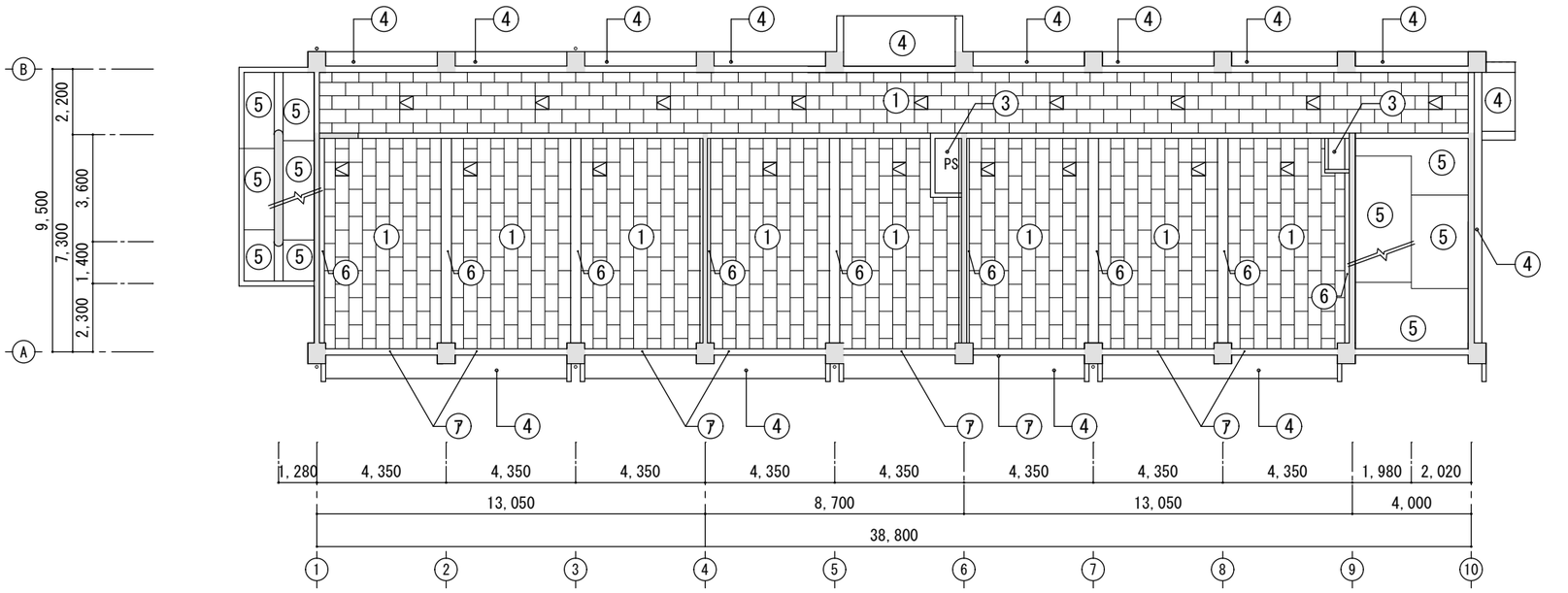
番号		部分名称
①	下地	軽天下地
	仕上	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5
②	下地	軽天下地
	仕上	PB 79.5 の上 岩綿吸音板79.0 貼
③	下地	コンクリート
	仕上	既存のまま

番号		部分名称
④	下地	モルタル刷毛引　吹付タイル（エポキシ）
	仕上	既存高圧水洗浄の上アクリル系軒天用仕上塗材
⑤	下地	モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付
	仕上	下地補修の上アクリル系軒天井用仕上塗材
⑥	下地	モルタル金コテ押え AEP塗装
	仕上	下地調整の上 EP-G塗装

番号	部分名称

番号	部分名称
⑦	カーテン木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：下地補修の上　SOP塗装 既存カーテンレール：取外し・再取付
㋑	アルミ製カーテンボックス：既存のまま
㋐	アルミ製庇：既存のまま
㋓	暗幕ﾚｰﾙSUS（S)ﾚｰﾙ

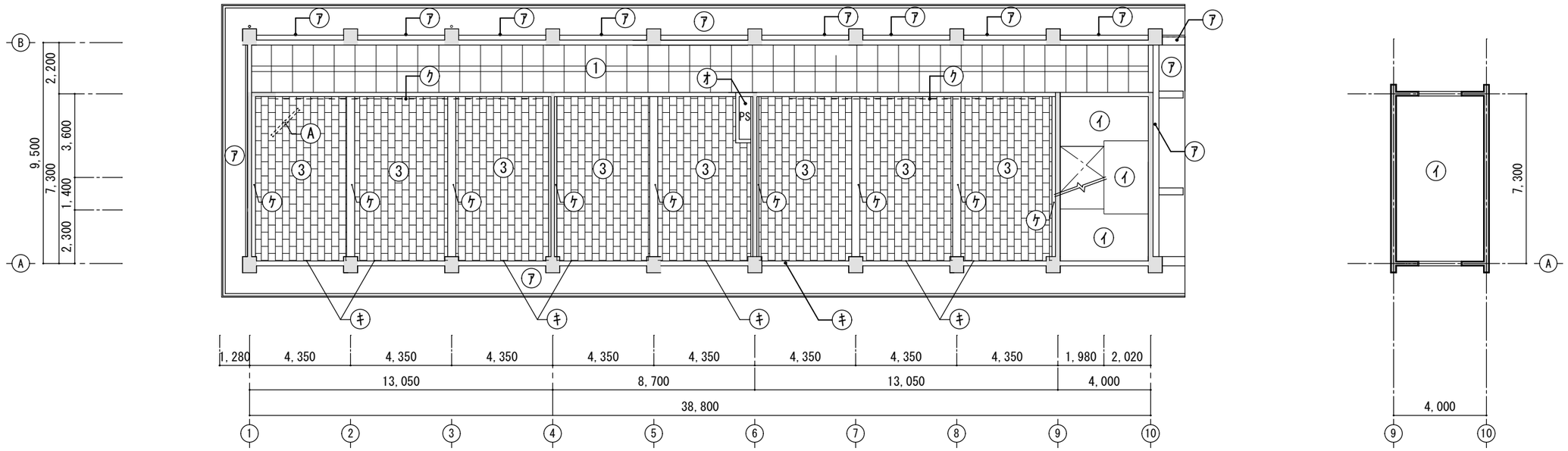
番号	部分名称
⊠	天井点検口　450角 ※天井点検口位置は監督員の指示による。



株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	3階天井伏図	A1：1/ 100 A3：1/ 200	Ａ－７５
	鹿児島市建設局建築部建築課		

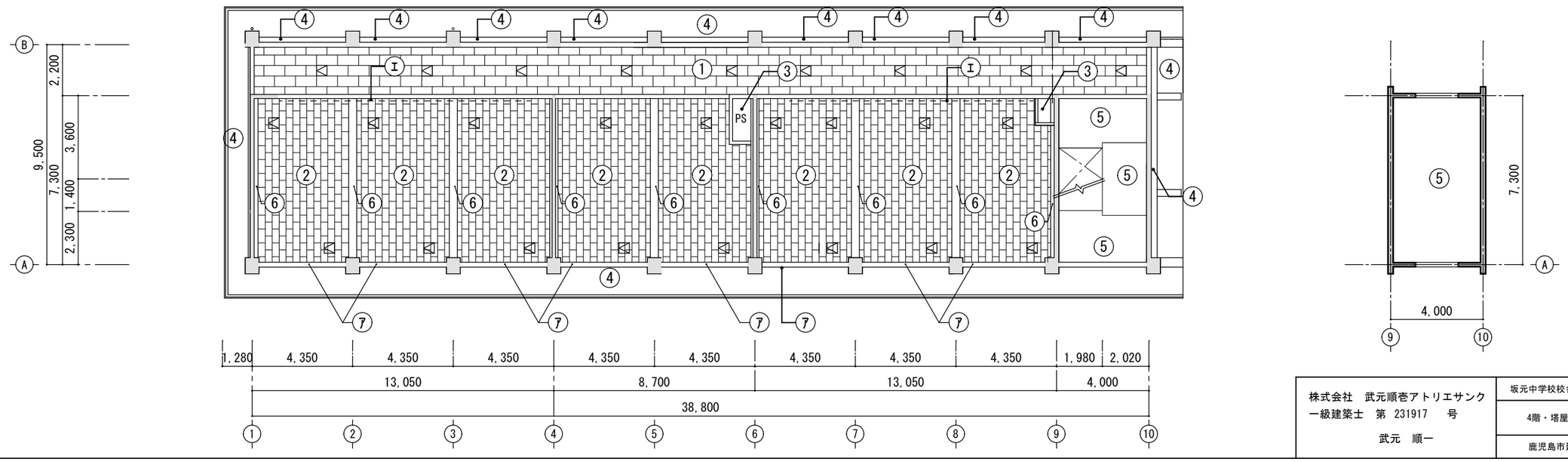
改修前　4階天井伏図

	番号	部分名称		番号	部分名称			部分名称			部分名称			部分名称			部分名称
撤去	①	パルプセメント板 AEP塗装	撤去	Ⓐ	TVハンガー	撤去			既存仕上げ	㋐	モルタル刷毛引　吹付タイル（エポキシ）	既存仕上げ	㋔	カーテン木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：t=21 OP塗装 カーテンレール：ステンレス製（W）	既存仕上げ		
	②	化粧石膏ボード79.5張り		Ⓑ	地図掛ﾚｰﾙ					㋑	モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付		㋕	暗幕ﾚｰﾙSUS（S)ﾚｰﾙ			
	③	PB t=9.0 の上 t=9.0 吸音板貼		Ⓒ	吊下げ式ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ					㋒	モルタルコテ押え		㋖	アルミ製カーテンボックス			
				Ⓓ						㋓	モルタルコテ押え　AEP塗装		㋗				
				Ⓔ						㋔	コンクリート打放し補修						
				Ⓕ						㋕	アルミ製庇						



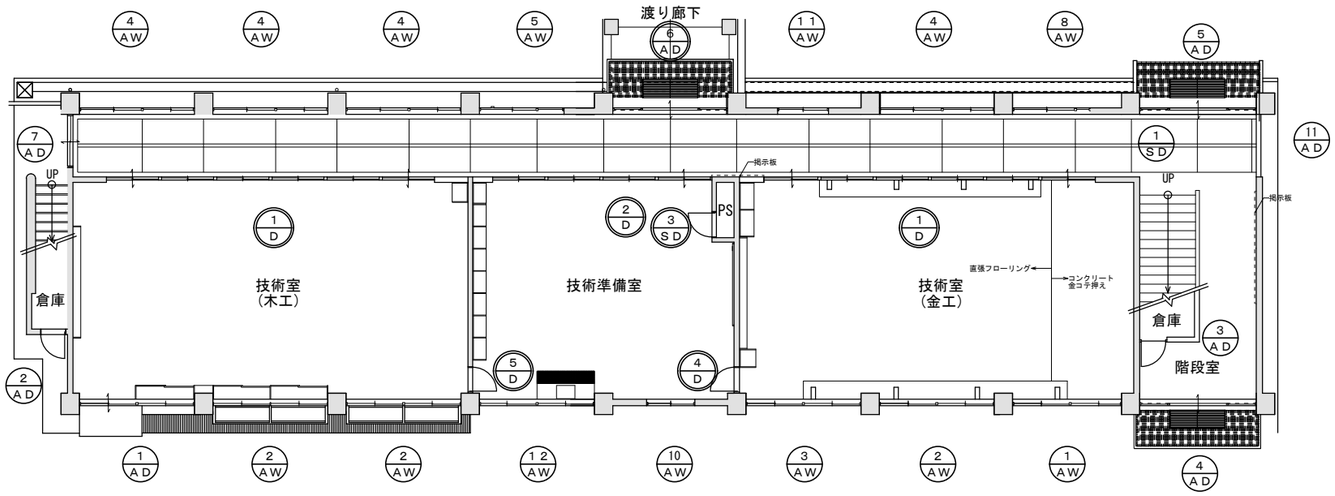
改修後　4階天井伏図

番号		部分名称	番号		部分名称	番号		部分名称	番号	部分名称	番号	部分名称
①	下地	軽天下地	④	下地	モルタル刷毛引　吹付タイル（エポキシ）				⑦	カーテン木製ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ：下地補修の上　SOP塗装 既存カーテンレール：取外し・再取付	⊠	天井点検口 450角 ※天井点検口位置は監督員の指示による。
	仕上	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(7)9.5		仕上	既存高圧水洗浄の上アクリル系軒天用仕上塗材							
②	下地	軽天下地	⑤	下地	モルタル刷毛引 アクリルリシン吹付				㋑	アルミ製カーテンボックス：既存のまま		
	仕上	PB 79.5 の上 岩綿吸音板79.0 貼		仕上	下地補修の上アクリル系軒天井用仕上塗材				㋒	アルミ製庇：既存のまま		
③	下地	コンクリート	⑥	下地	モルタル金コテ押え AEP塗装				㋓	暗幕ﾚｰﾙSUS（S)ﾚｰﾙ		
	仕上	既存のまま		仕上	下地調整の上 EP-G塗装							

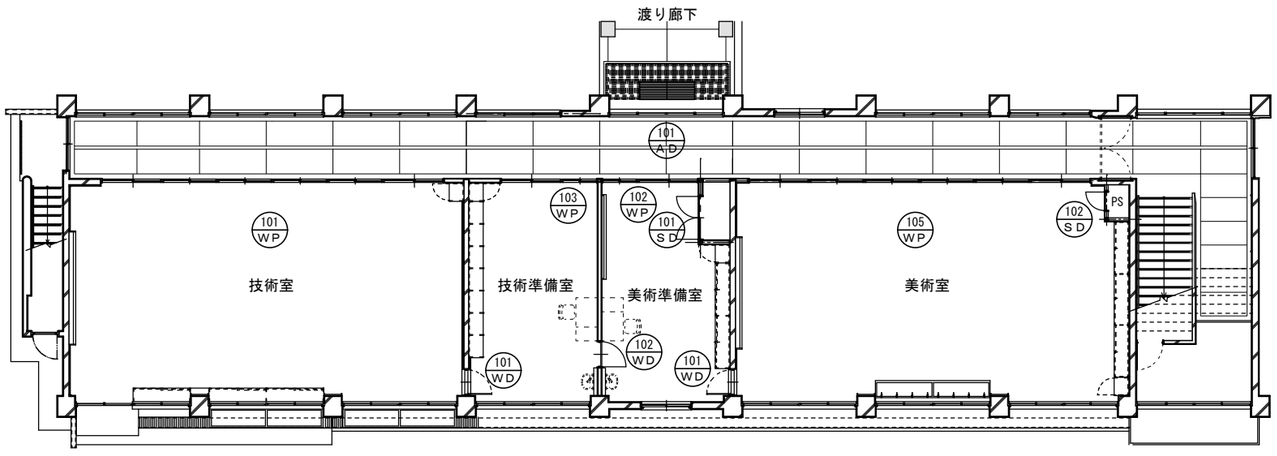


株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	4階・塔屋天井伏図	A1：1/ 100 A3：1/ 200	A－７６
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修前	１階建具キープラン



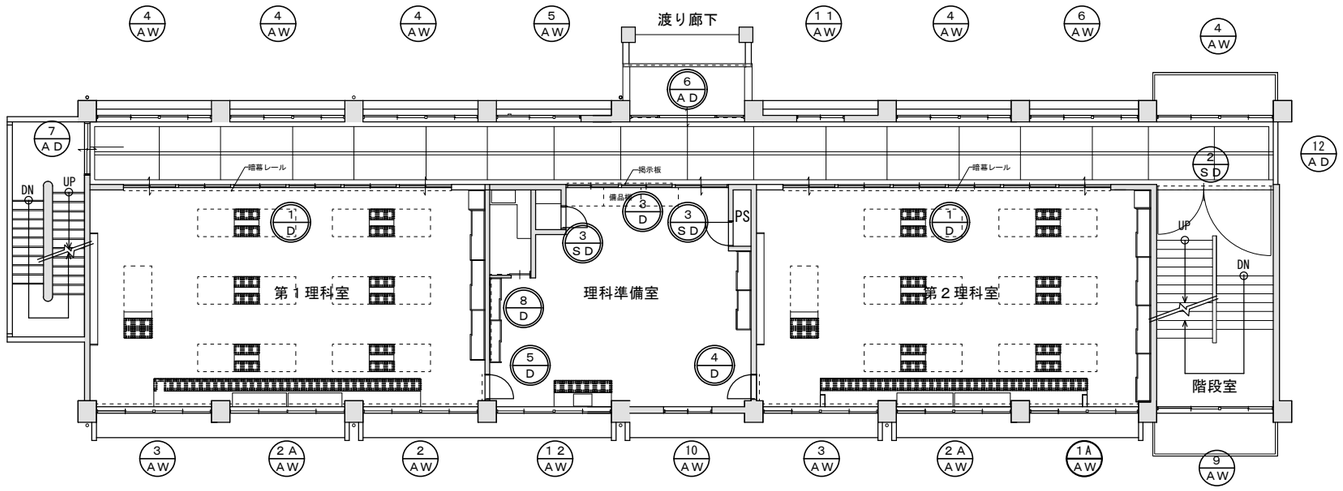
改修後	１階建具キープラン



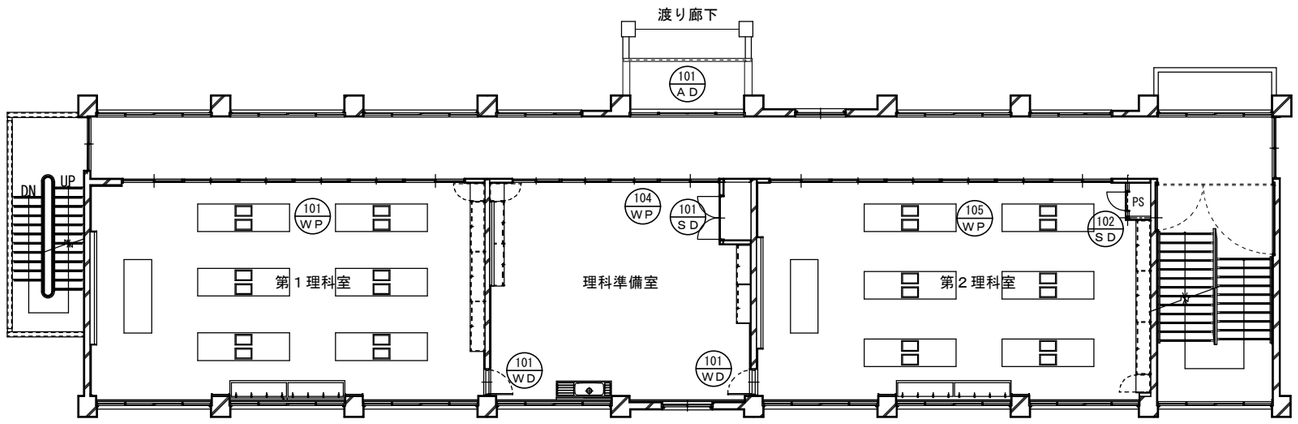
撤去建具を示す

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	1階建具キープラン	A1：1/ 100 A3：1/ 200
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－７７

改修前	２階建具キープラン



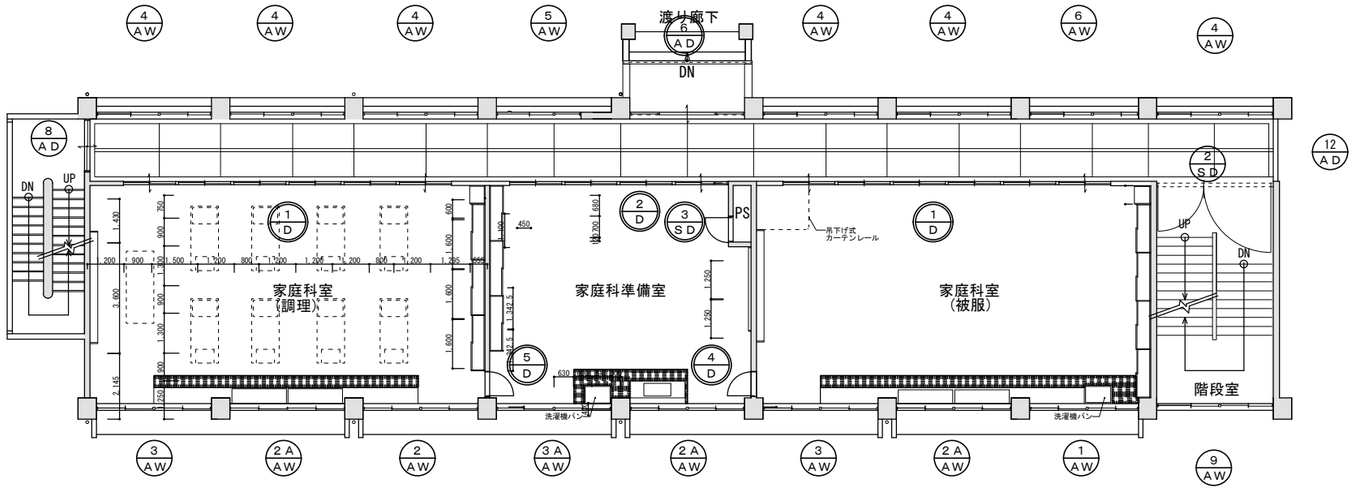
改修後	２階建具キープラン



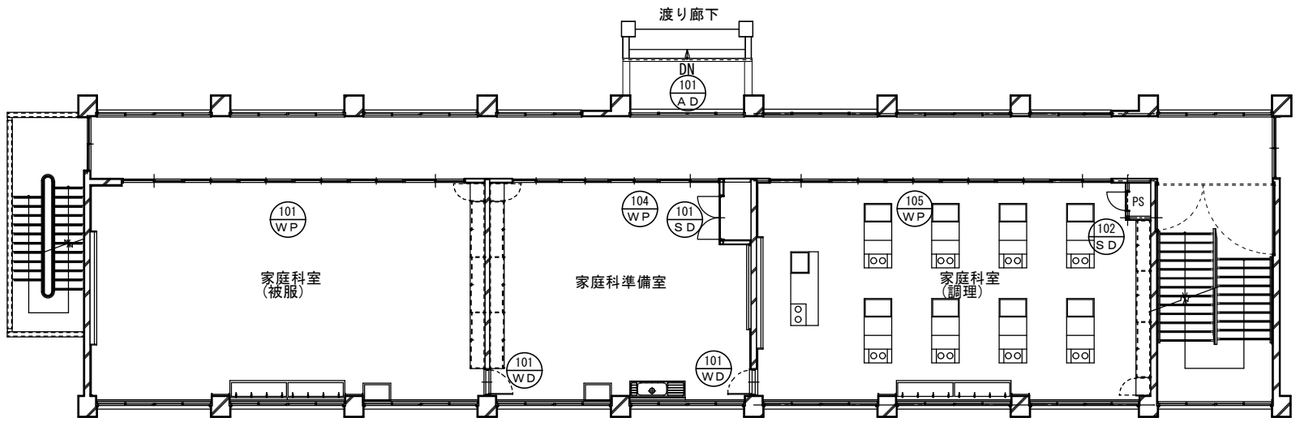
撤去建具を示す

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	2階建具キープラン	A1：1/ 100 A3：1/ 200	Ａ－７８
	鹿児島市建設局建築部建築課		

改修前	３階建具キープラン



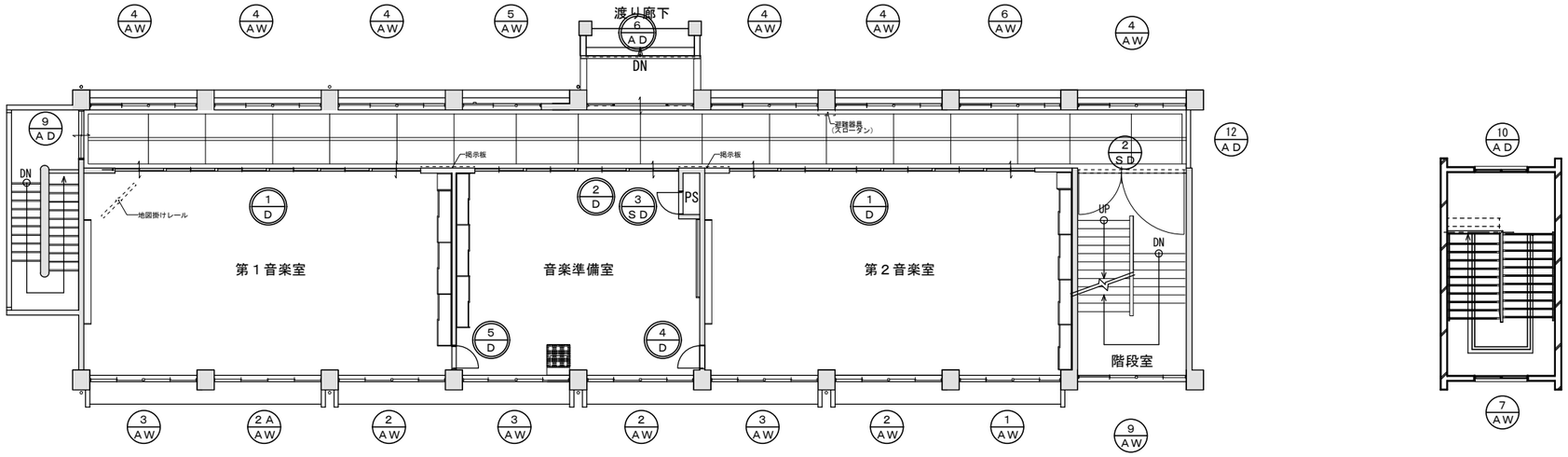
改修後	３階建具キープラン



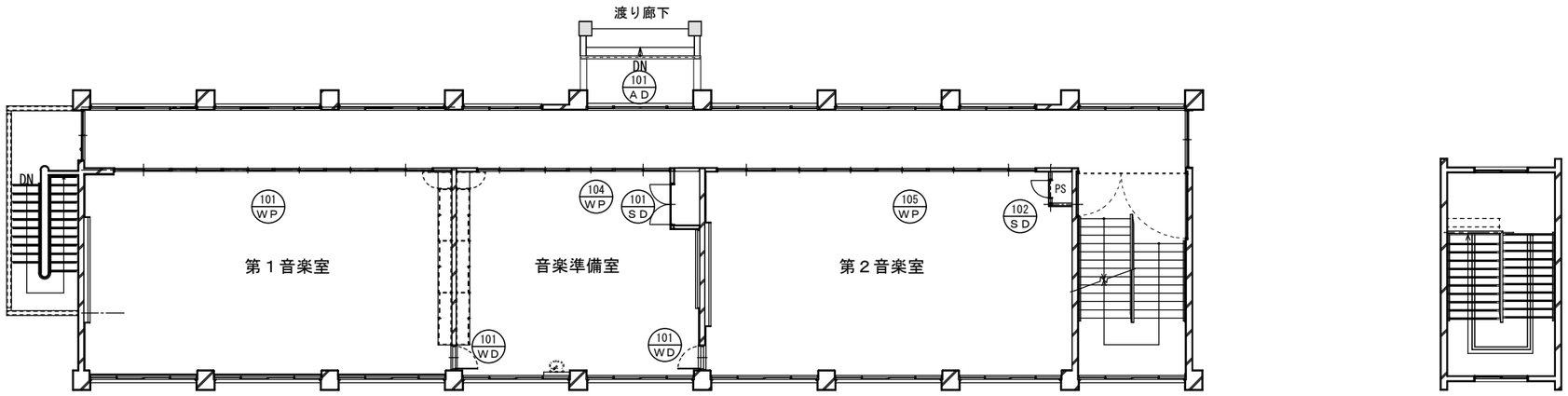
撤去建具を示す

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事 3階建具キープラン	A1：1/ 100 A3：1/ 200
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－７９

改修前	４階･塔屋建具キープラン



改修後	４階･塔屋建具キープラン



撤去建具を示す

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	4階・塔屋階 建具キープラン	A1：1/ 100 A3：1/ 200	Ａ－８０
	鹿児島市建設局建築部建築課		

記号	1 / AD 技術室(木工室)	1ヶ所	2 / AD 倉庫	1ヶ所	3 / AD 倉庫	1ヶ所	4 / AD 階段室	1ヶ所	5 / AD 1F廊下	1ヶ所	6 / AD 廊下 撤去	4ヶ所
姿図	※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替		※既存流用　鍵取替え		※既存流用　鍵取替え		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車取替		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車取替			
型式	引違い窓・ハメ殺しランマ付引違い窓		片開き戸		片開き戸		両袖及ランマハメ殺し付引分アルミドア		ランマ及びハメ殺し袖付引分け戸		両袖及ランマハメ殺し付引分アルミドア	
材質見込	アルミ製		アルミ製		アルミ製　（乙種防火戸）		アルミ製		アルミ製		アルミ製	
硝　子	戸下部:73.0 アルミパネル、戸上部:76.8 アミ入り透明、窓・ランマ部:73.0透明						下段:73.0 アルミパネル、上段:76.8 アミ入り透明(ランマ部分含)		下段:73.0 アルミパネル、上段:76.8 アミ入り透明、ランマ部：75.0 透明		上段:76.8 アミ入り透明、下段:73.0アルミパネル、ランマ部:75.0透明	
仕　上												
附属金物	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	
備　考	換気扇取付用アルミパネル 73.0、アルミアングル		アルミパネル 73.0、アルミアングル		アルミパネル 73.0、アルミアングル		ステンレス巾木 H=50、アルミアングル		ステンレス巾木 H=50、アルミアングル		ステンレス巾木 H=50、アルミアングル	

記号	7 / AD 1･2F廊下	2ヶ所	8 / AD 3F廊下	1ヶ所	9 / AD 4F廊下	1ヶ所	10 / AD 塔屋	1ヶ所	11 / AD 1F廊下	1ヶ所	12 / AD 2～4F廊下	3ヶ所	1 / AW 技術室(金工) 家庭科室(被服) 第二音楽室	3ヶ所	1A / AW 第二理科室	1ヶ所
姿図	※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車取替		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替 ランマFIX部・第二理科室のみ アルミパネル73.0新設			
型式	ランマ付き引違い戸		ランマ付き引違い戸		ランマ付き引違い戸		付き引違い戸		付き引違い戸		付き引違い戸		２連・ランマ付き引違い窓			
材質見込	アルミ製		アルミ製		アルミ製　70以上		アルミ製　70以上		アルミ製　70以上		アルミ製　70以上		アルミ製　70以上			
硝　子	上部:76.8アミ入り透明、 下部:73.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ、ランマ部:75.0透明		上部:76.8アミ入り透明、 下部:73.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ、ランマ部:75.0透明		上部:76.8アミ入り透明、 下部:73.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ、ランマ部:75.0透明		上部:76.8アミ入り透明、 下部:73.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ		上部:76.8アミ入り透明、 下部:73.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ		上部:76.8アミ入り透明、 下部:73.0ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ		75.0 透明			
仕　上																
附属金物	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式			
備　考	アルミアングル		アルミアングル		アルミアングル		アルミアングル		アルミアングル		アルミアングル		換気扇取付用アルミパネル 73.0、アルミアングル			

記号	2 / AW 各教室	8ヶ所	2A / AW 各教室	6ヶ所	3 / AW 各教室	8ヶ所	3A / AW 家庭科準備室	1ヶ所	4 / AW 廊下	21ヶ所	5 / AW 廊下	4ヶ所	6 / AW 廊下	3ヶ所
姿図	※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替				※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替				※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替	
型式	２連・ランマ付き引違い窓				２連・ランマ付き引違い窓				２段、２連引違い窓		ハメゴロシ袖付２段引違い窓		２段、２連引違い窓	
材質見込	アルミ製　70以上				アルミ製　70以上				アルミ製　70以上		アルミ製　70以上		アルミ製　70以上	
硝　子	75.0 透明				75.0 透明				75.0 透明		75.0 透明		75.0 透明	
仕　上														
附属金物	付属金物一式				付属金物一式				付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	
備　考	換気扇取付用アルミパネル 73.0、2A/AW アルミ製額縁 25×55付				換気扇取付用アルミパネル 73.0、3A/AW アルミ製額縁 25×55付				アルミアングル		アルミアングル		アルミアングル	

株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第 231917　号
武元　順一

坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

建具表-1（既存改修）　A1:1/50　A3:1/100

鹿児島市建設局建築部建築課

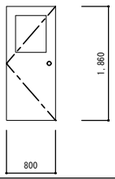
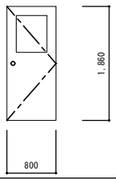
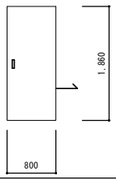
A－８１

記号	7 AW 塔屋	1ヶ所	8 AW 1F廊下	1ヶ所	9 AW 2・3・4階階段室	3ヶ所	10 AW 技術準備室・理科準備室	2ヶ所	11 AW 1・2階廊下	2ヶ所
姿図	※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替		※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替	
型式	引違い窓		ハメゴロシ袖付２段引違い窓		２連引違い窓		引き違い窓		2段引き違い窓	
材質見込	アルミ製		アルミ製		アルミ製　70以上		アルミ製		アルミ製	
硝　子	75.0 透明		75.0 透明		76.8 ラフワイヤー		75.0 透明ガラス		75.0　透明ガラス	
仕　上										
附属金物	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	
備　考	アルミアングル		アルミアングル		アルミアングル		アルミアングル		アルミアングル	

記号	12 AW 技術準備室・理科準備室	2ヶ所	1 SD 1階階段室	1ヶ所	2 SD 2・3・4階階段室	3ヶ所	3 SD 各準備室　撤去	5ヶ所		
姿図	※アタッチメント付ペアガラスへ取替 LOW-E3.0+A6.0+3.0 ※戸車、クレセント取替		※既存流用：SOP塗替え		※既存流用：SOP塗替え					
型式	２連・ランマ付き引違い窓		両開きスチールドア		潜り戸付親子スチールドア		片開きドア			
材質見込	アルミ製		スチール製　（甲種防火戸）		スチール製		スチール製			
硝　子	75.0　透明ガラス									
仕　上			油性調合ペイント塗		油性調合ペイント塗		油性調合ペイント塗			
附属金物	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式			
備　考	アルミアングル									

記号	1 D 各教室　撤去	8ヶ所	2 D 技術・家庭科・音楽準備室　撤去	3ヶ所	3 D 理科準備室　撤去	1ヶ所
姿図						
型式	ランマ付引違い戸・ランマ付引違い窓		ランマ付引違い戸・ランマ付引違い窓		ランマ付引違い戸・ランマ付引違い窓	
材質見込	木製		木製		木製	
硝　子	ランマ部：72.0 透明ガラス、他部：72.0 スリガラス（1部 72.0透明）		ランマ部：72.0 透明ガラス、他部：72.0 スリガラス（1部 72.0透明）		ランマ部：72.0 透明ガラス、他部：72.0 スリガラス（1部 72.0透明）	
仕　上	油性調合ペイント塗		油性調合ペイント塗		油性調合ペイント塗	
附属金物	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式	
備　考						

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事 建具表-2（既存改修）　A1:1/50　A3:1/100 鹿児島市建設局建築部建築課	A－82

記号	4/D 各準備室　撤去	4ヶ所	5/D 各準備室　撤去	4ヶ所	8/D 理科準備室　撤去	1ヶ所				
姿図										
型式	片開きドア		片開きドア		片引き戸					
材質見込	木製　36		木製　36		木製　36					
硝　　子	74.0 型ガラス		74.0 型ガラス							
仕　　上	油性調合ペイント塗		油性調合ペイント塗		油性調合ペイント塗					
附属金物	付属金物一式		付属金物一式		付属金物一式					
備　　考	音楽・理科・調理・被服・各準備室の出入口はステンレス容摺付		音楽・理科・調理・被服・各準備室の出入口はステンレス容摺付							

記号										
姿図										
型式										
材質見込										
硝　　子										
仕　　上										
附属金物										
備　　考										

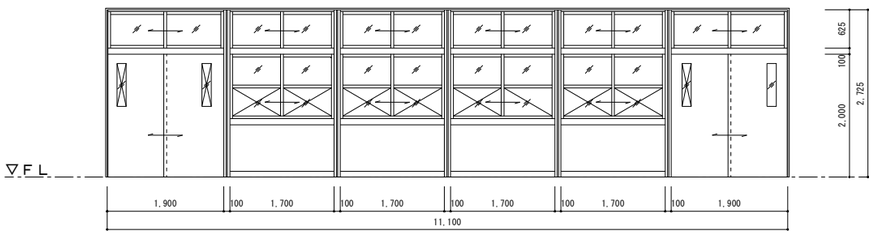
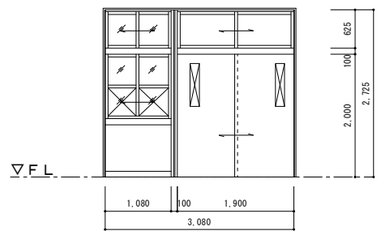
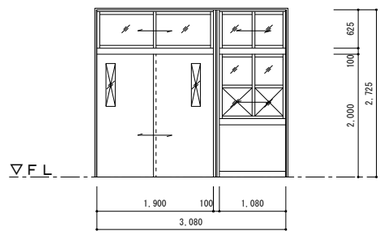
記号					
姿図					
型式					
材質見込					
硝　　子					
仕　　上					
附属金物					
備　　考					

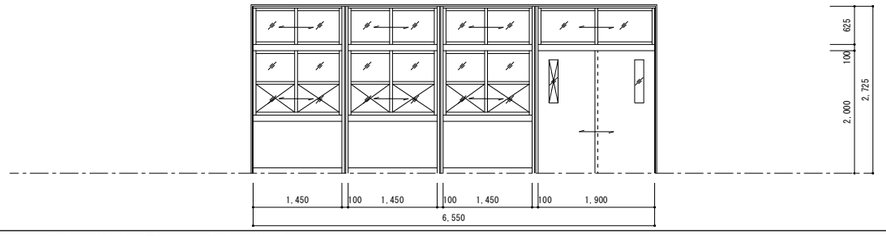
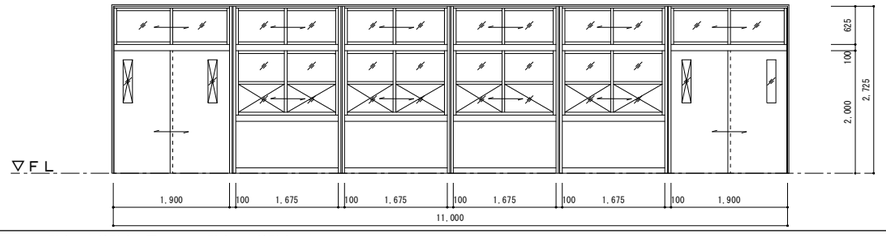
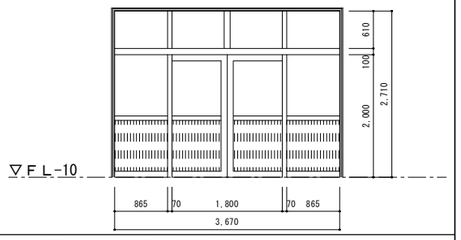
株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第　231917　　号
武元　順一

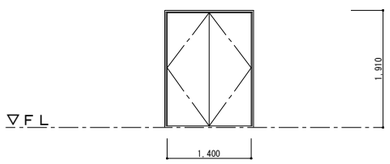
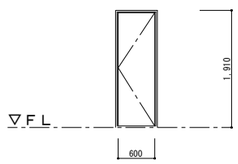
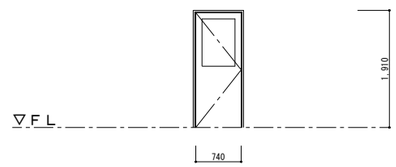
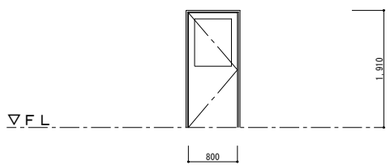
坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

建具表-3（既存改修）　A1：1/50　A3：1/100

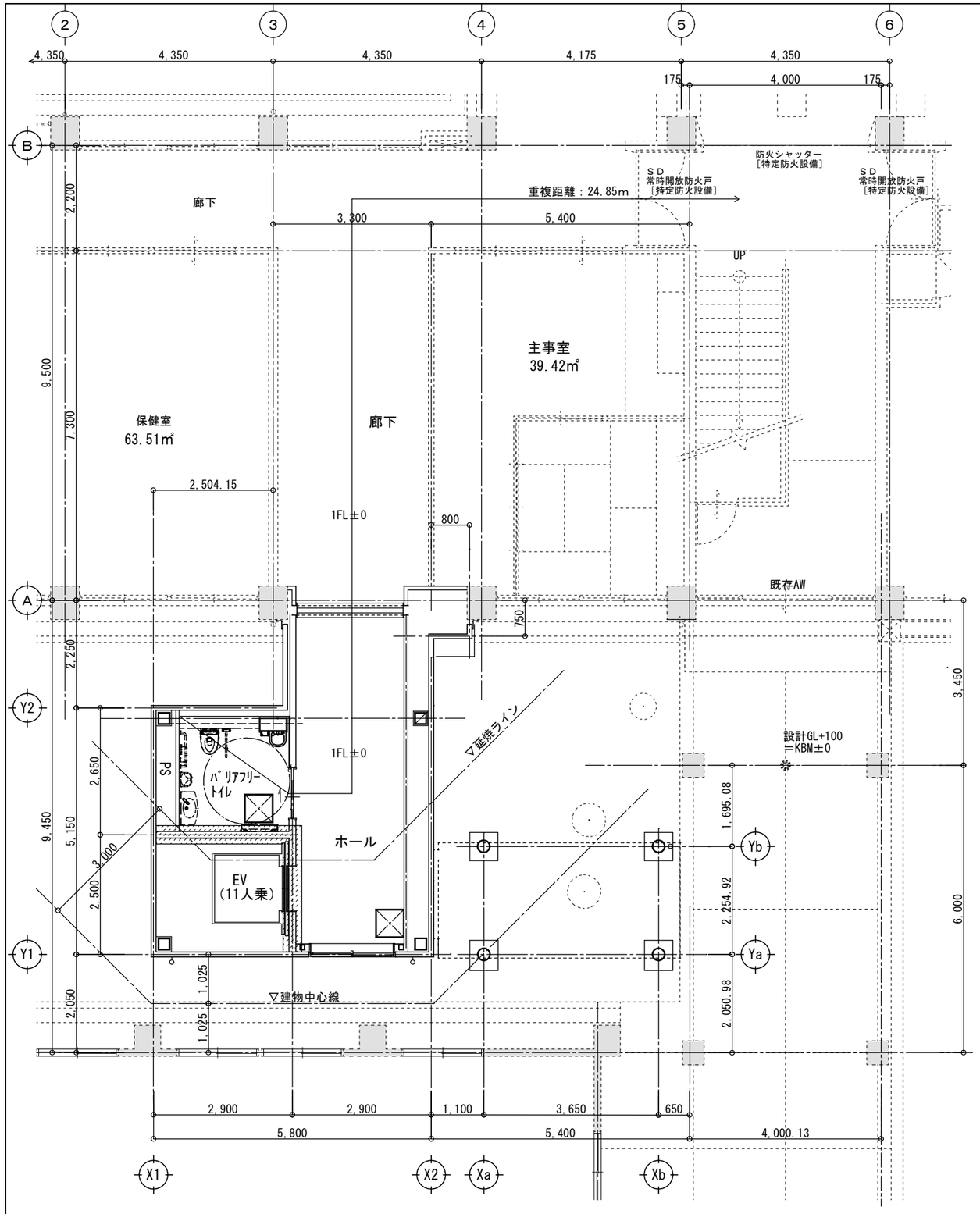
鹿児島市建設局建築部建築課

記号	101 WP 技術室、第一理科室、家庭科(被服室)、第一音楽室	4ヶ所	102 WP 美術準備室	1ヶ所	103 WP 技術準備室	1ヶ所		
姿図	☒ 型板ガラスを示す(共通) 							
型　式	ランマ引違い窓付引違い戸、ランマ引違い窓付引違い窓		ランマ引違い窓付引違い戸、ランマ引違い窓付引違い窓		ランマ引違い窓付引違い戸、ランマ引違い窓付引違い窓			
見　込	100+額縁		100+額縁		100+額縁			
硝　子	透明ガラス　t=3　すり板ガラス　t=3		透明ガラス　t=3　すり板ガラス　t=3		透明ガラス　t=3　すり板ガラス　t=3			
仕　上	杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装 腰壁：シナ合板 t=5.5 CL塗装		杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装 腰壁：シナ合板 t=5.5 CL塗装		杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装 腰壁：シナ合板 t=5.5 CL塗装			
附属金物	下枠：ステンレス T=1.5、ステンレス戸車(非脱輪仕様)　　引違い戸錠、クレセント、ｱﾙﾐV型レール、付属金物一式		下枠：ステンレス T=1.5、ステンレス戸車(非脱輪仕様) 引違い戸錠、クレセント、ｱﾙﾐV型レール、付属金物一式		下枠：ステンレス T=1.5、ステンレス戸車(非脱輪仕様) 引違い戸錠、クレセント、ｱﾙﾐV型レール、付属金物一式			
備　考								

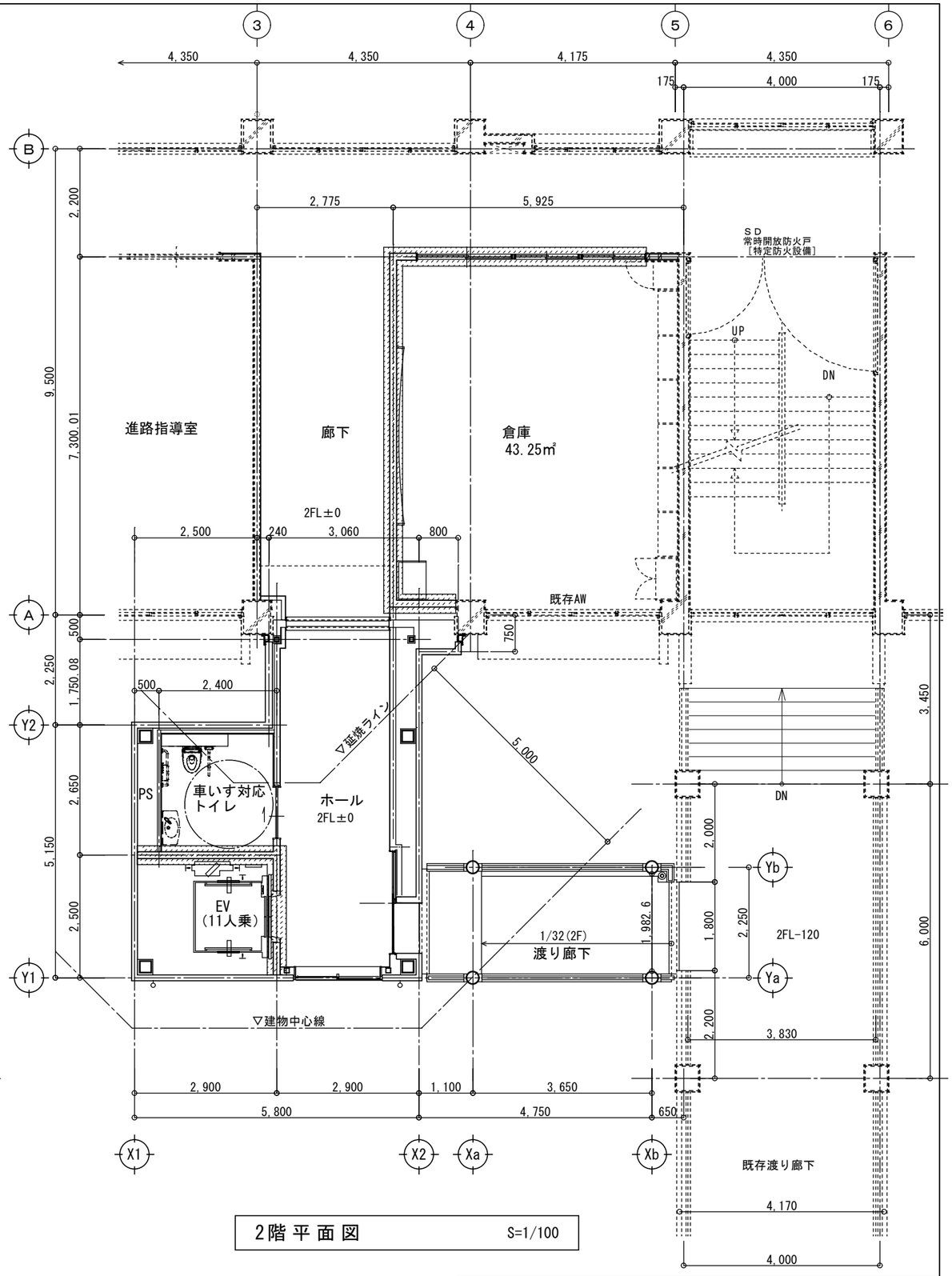
記号	104 WP 理科準備室、家庭科準備室、音楽準備室	3ヶ所	105 WP 美術室、第二理科室、家庭科室(調理)、第二音楽室	4ヶ所	101 AD 各階廊下	4ヶ所
姿図						
型　式	ランマ引違い窓付引違い戸、ランマ引違い窓付引違い窓		ランマ引違い窓付引違い戸、ランマ引違い窓付引違い窓		アルミ製両袖ランマはめ殺し窓付引分け戸	
見　込	100+額縁		100+額縁		100	
硝　子	透明ガラス　t=3　すり板ガラス　t=3		透明ガラス　t=3　すり板ガラス　t=3		下段：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t=3　上段：3.0(Low-e)+A 6.0+網入透明6.8 ランマ：3.0(Low-E)+A 6.0+3.0	
仕　上	杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装 腰壁：シナ合板 t=5.5 CL塗装		杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装 腰壁：シナ合板 t=5.5 CL塗装		B-1種	
附属金物	下枠：ステンレス T=1.5、ステンレス戸車(非脱輪仕様)　　引違い戸錠、クレセント、ｱﾙﾐV型レール、付属金物一式		下枠：ステンレス T=1.5、ステンレス戸車(非脱輪仕様)　　引違い戸錠、クレセント、ｱﾙﾐV型レール、付属金物一式		フラットﾚｰﾙ(SUS)　堀込取手　シリンダー錠　他付属金物一式	
備　考						

記号	101 SD 各階PS	4ヶ所	102 SD 各階PS	4ヶ所	101 WD 各階準備室	8ヶ所	102 WD 1階準備室	1ヶ所		
姿図										
型　式	スチール製両開き戸		スチール製片開き戸		木製片開きフラッシュ戸		木製片開きフラッシュ戸			
見　込	スチール溶融亜鉛メッキ鋼板ｔ＝１．６　　見込：４０		スチール溶融亜鉛メッキ鋼板ｔ＝１．６　　見込：４０		見込み36		見込み36			
硝　子					型板ガラス　74.0		型板ガラス　74.0			
仕　上	SOP塗装		SOP塗装		ポリ合板　74.0		ポリ合板　74.0			
附属金物	ドアクローザー、レバーハンドル錠、ステンレス製沓摺、戸当り、フランス落し		ドアクローザー、レバーハンドル錠、ステンレス製沓摺、戸当り、		レバーハンドル,シリンダー錠 ドアチェック 丁番		レバーハンドル,シリンダー錠(両面) ドアチェック 丁番			
備　考	他附属金物一式		他附属金物一式		他附属金物一式		他附属金物一式			

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	建具表-4（新設）	A1:1/50 A3:1/100	Ａ－８４
	鹿児島市建設局建築部建築課		



1 階 平 面 図　　S=1/100

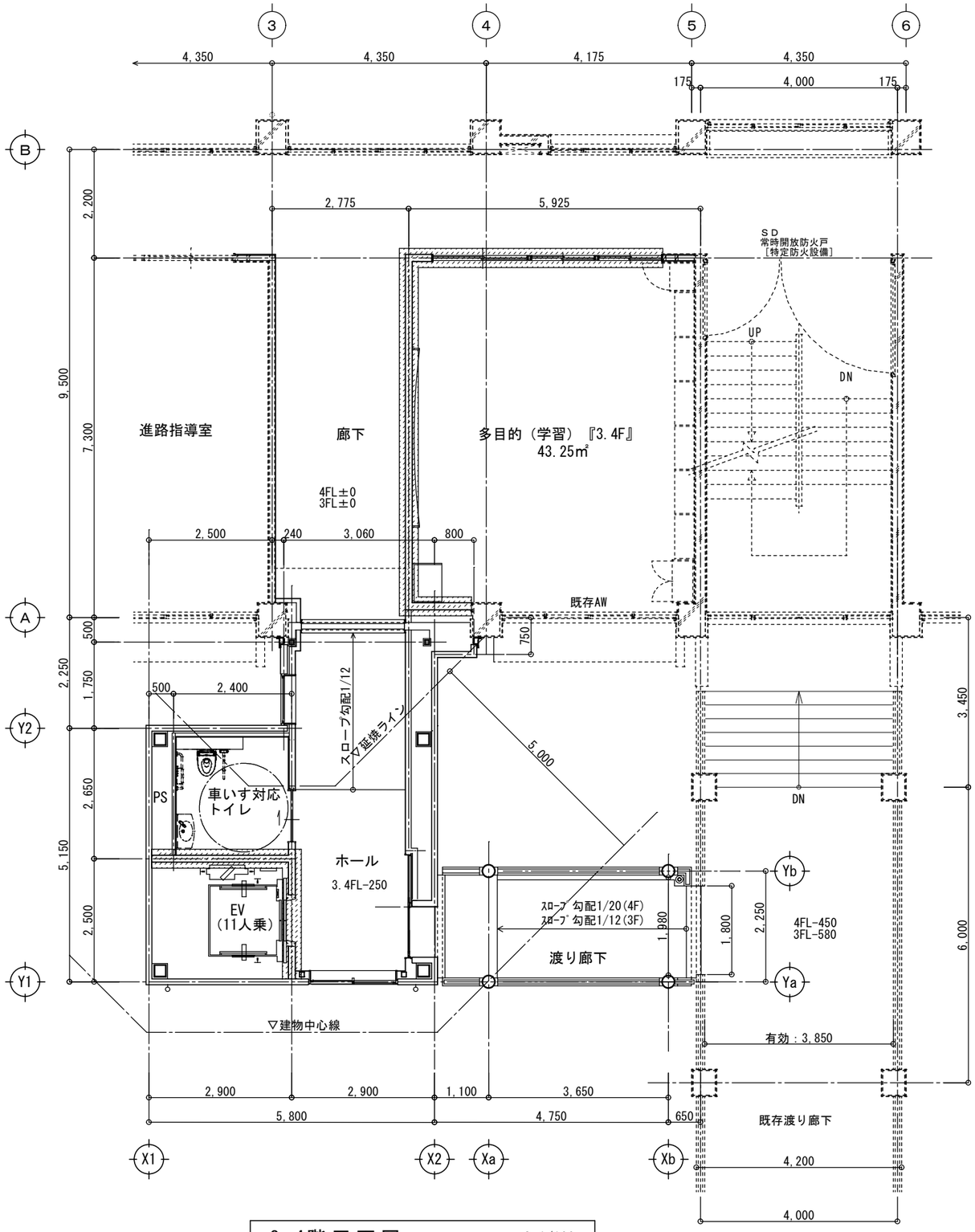


2階 平 面 図　　S=1/100

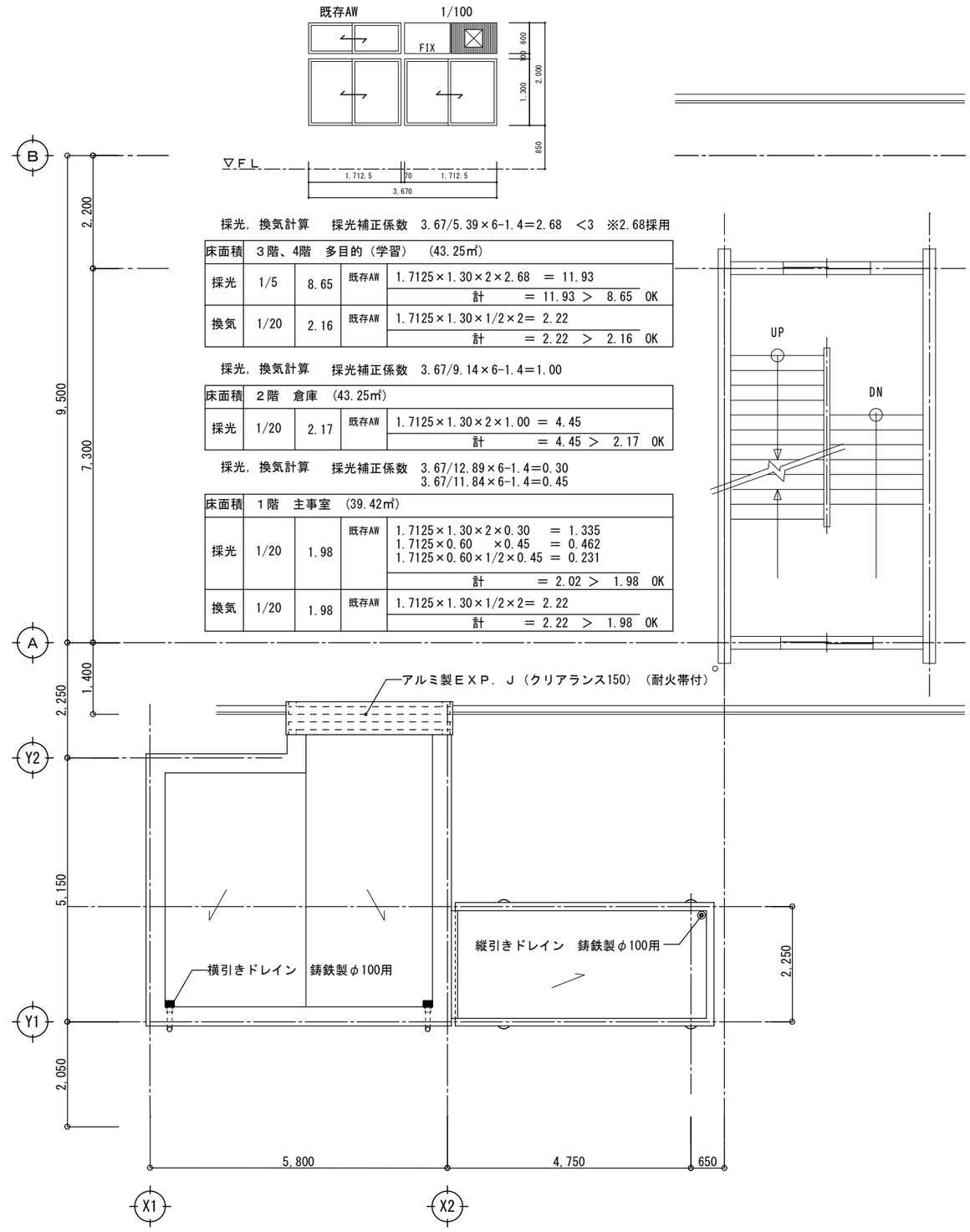
凡例

主要間仕切壁　ＬＧＳ(W=１００)
強化ＰＢ厚１２．５＋ケイ酸カルシウム板厚６．０　両面張り
１時間耐火（認定書の構造方法等とする。）

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事 EV棟 １．２階平面図	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－８５



3．4階平面図　S=1/100



採光，換気計算　採光補正係数　3.67/5.39×6-1.4=2.68　<3　※2.68採用

床面積	３階、4階　多目的（学習）　(43.25㎡)			
採光	1/5	8.65	既存AW	1.7125×1.30×2×2.68　＝ 11.93
				計　＝ 11.93 ＞ 8.65　OK
換気	1/20	2.16	既存AW	1.7125×1.30×1/2×2＝ 2.22
				計　＝ 2.22 ＞ 2.16　OK

採光，換気計算　採光補正係数　3.67/9.14×6-1.4=1.00

床面積	２階　倉庫　(43.25㎡)			
採光	1/20	2.17	既存AW	1.7125×1.30×2×1.00 ＝ 4.45
				計　＝ 4.45 ＞ 2.17　OK

採光，換気計算　採光補正係数　3.67/12.89×6-1.4=0.30
3.67/11.84×6-1.4=0.45

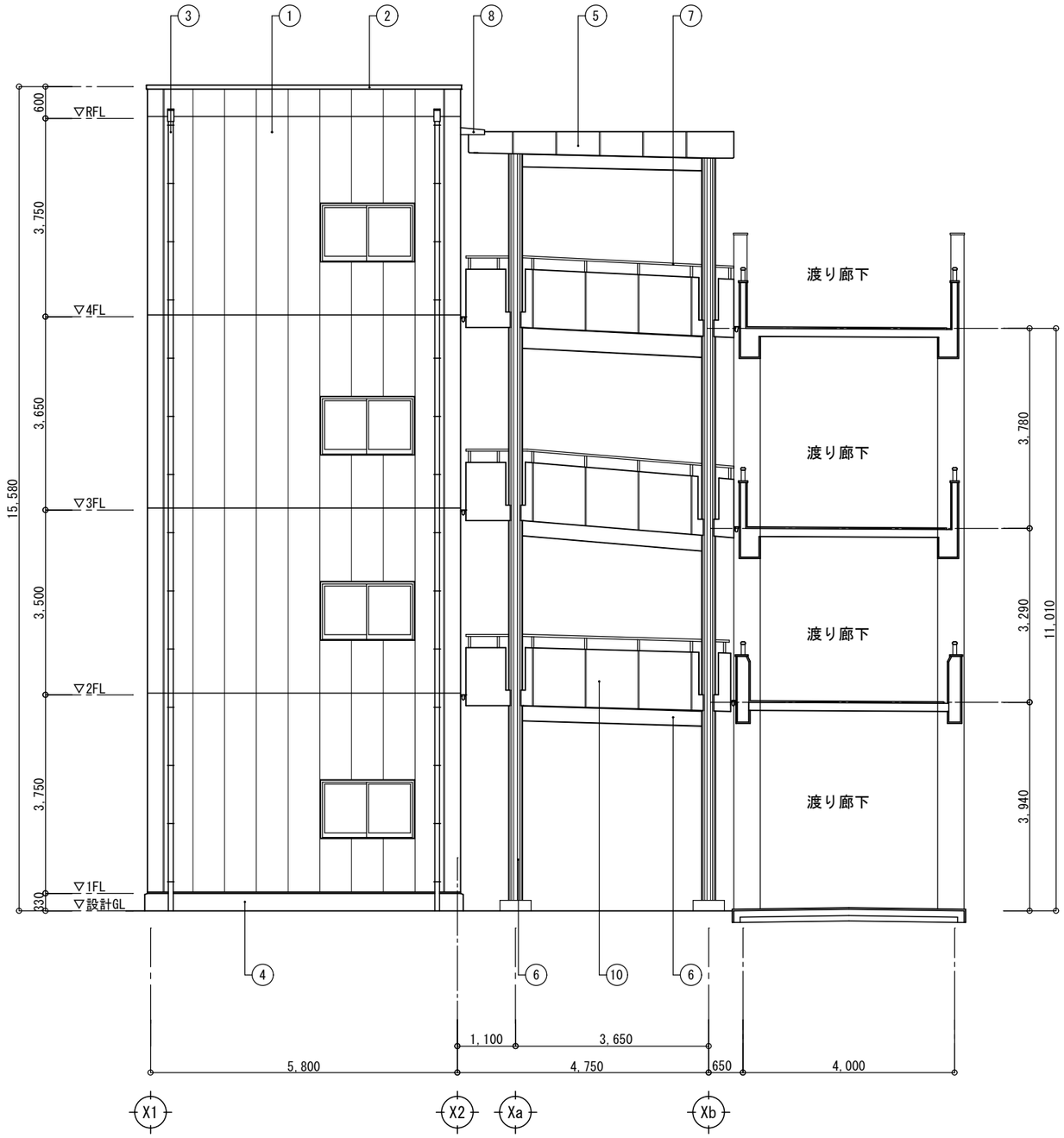
床面積	１階　主事室　(39.42㎡)			
採光	1/20	1.98	既存AW	1.7125×1.30×2×0.30　＝ 1.335 1.7125×0.60　×0.45　＝ 0.462 1.7125×0.60×1/2×0.45 ＝ 0.231
				計　＝ 2.02 ＞ 1.98　OK
換気	1/20	1.98	既存AW	1.7125×1.30×1/2×2＝ 2.22
				計　＝ 2.22 ＞ 1.98　OK

屋根伏図　S=1/100

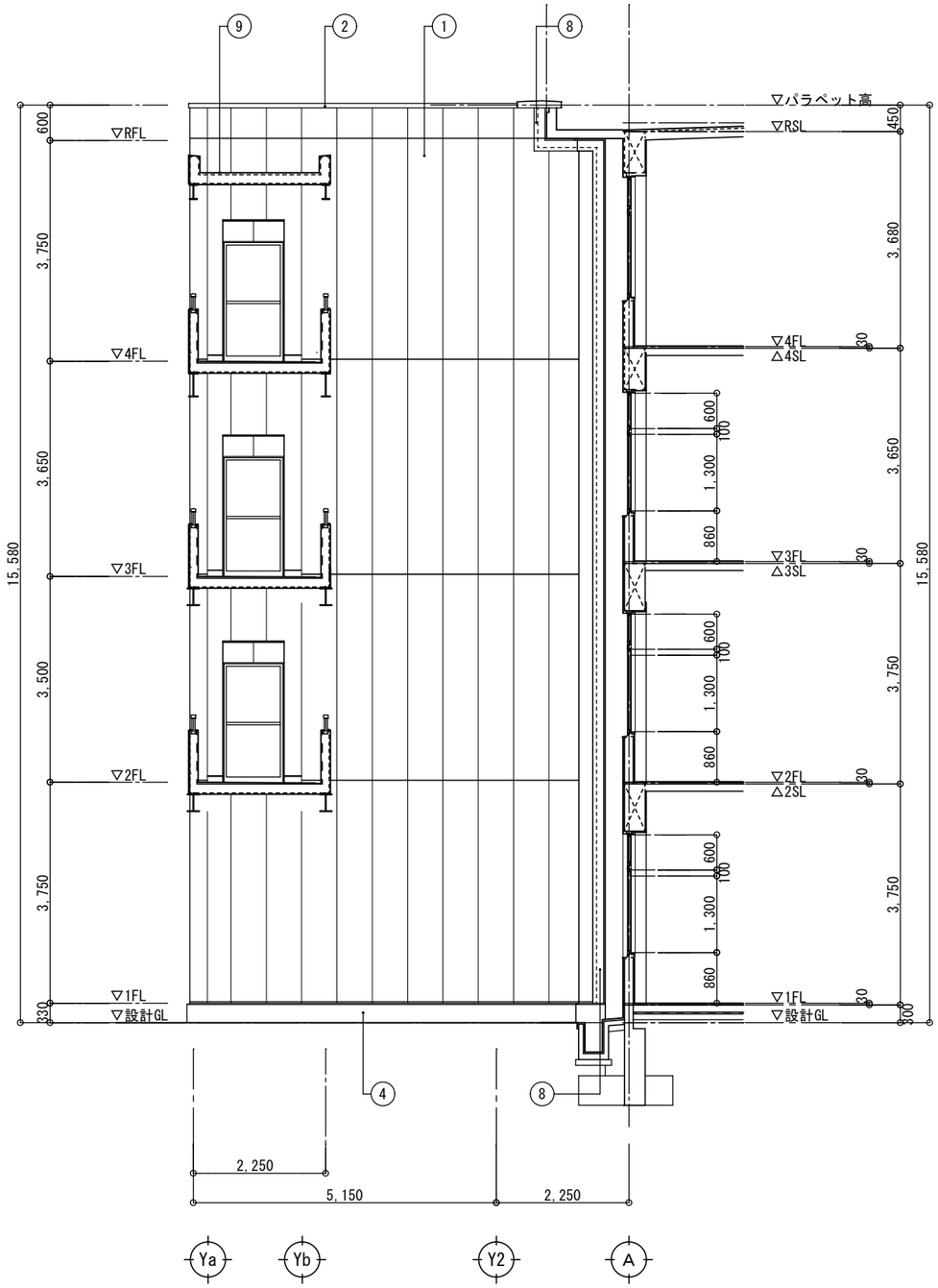
凡例

主要間仕切壁　ＬＧＳ(W=１００)
強化ＰＢ厚１２．５＋ケイ酸カルシウム板厚６．０　両面張り
１時間耐火（認定書の構造方法等とする。）

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	EV棟 ３．４階平面図・屋根伏図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－８６
	鹿児島市建設局建築部建築課		



南側立面図　S=1/100

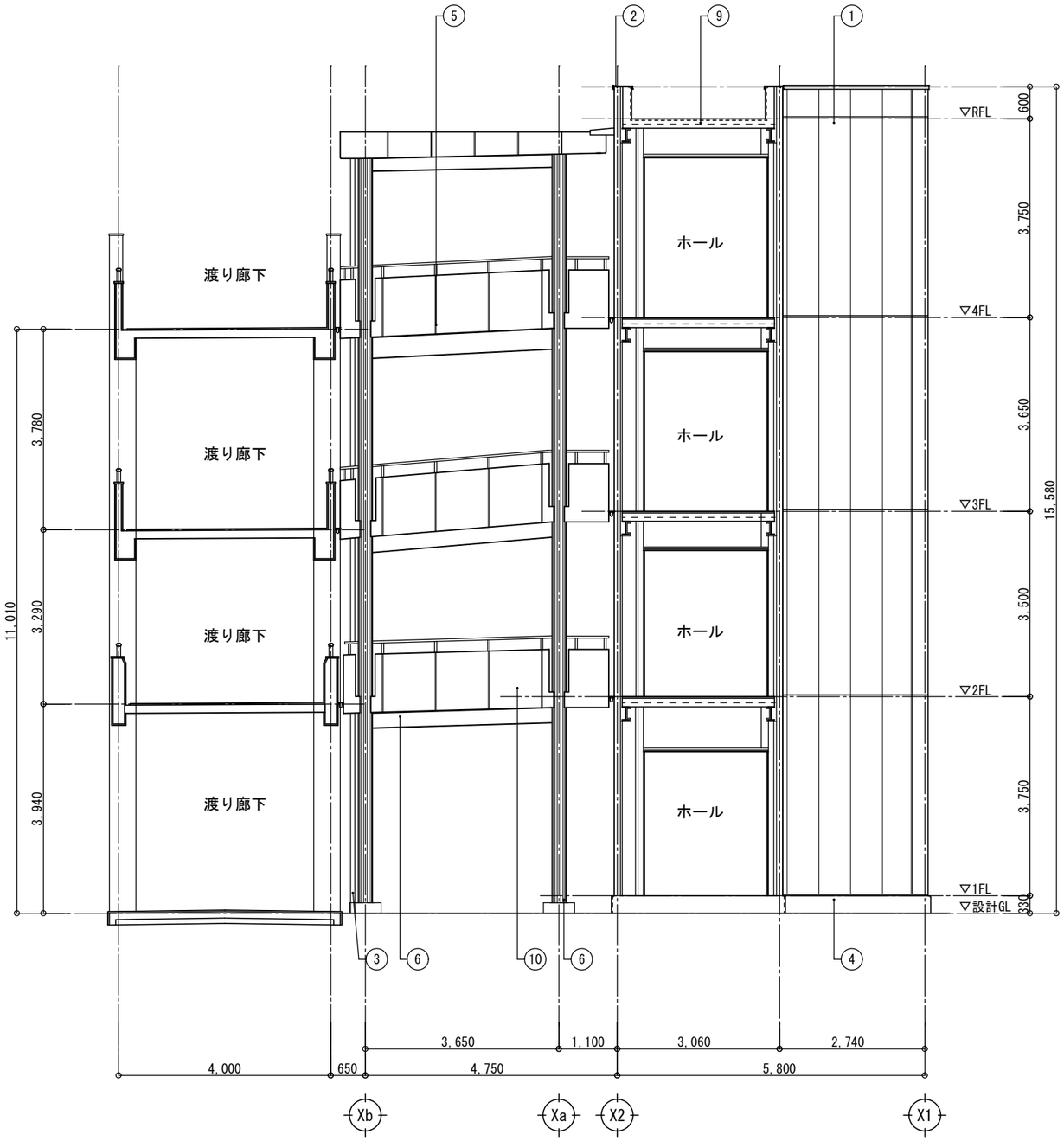


東側立面図　S=1/100

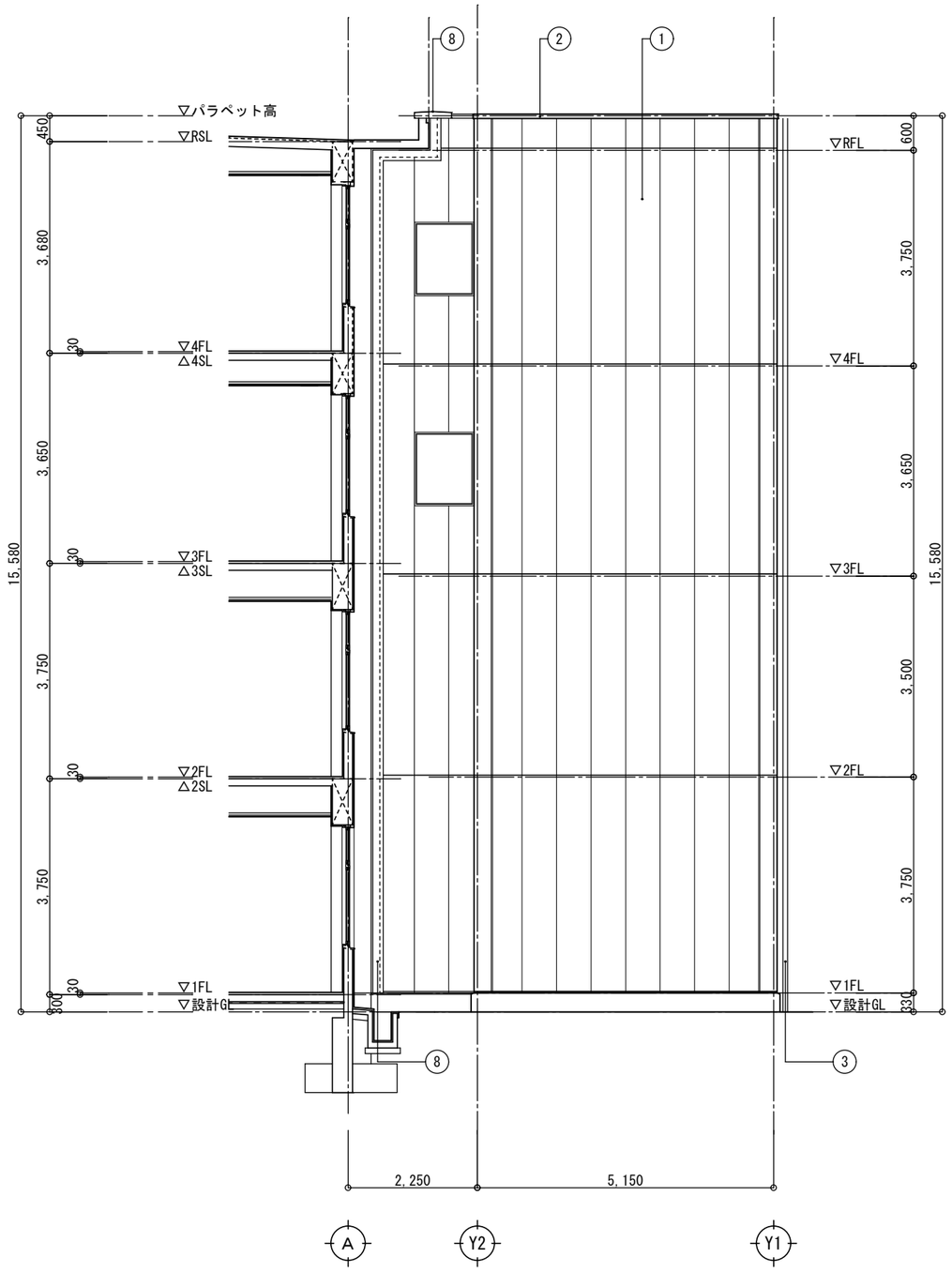
凡例

①	外壁：ALC板 ｱ120　下地調整(C-1)の上 複層塗材E	⑥	柱･梁：溶融亜鉛ﾒｯｷ処理
②	笠木：ｱﾙﾐ製 既製品 W=40	⑦	手摺：ｱﾙﾐ製 笠木 70×40 支柱 50×50@900
③	竪樋：VPφ100ｶﾗｰ 掴み金物 @1000以内	⑧	アルミ製 EXP.J(ｸﾘｱﾗﾝｽ150)(耐火)
④	巾木：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修	⑨	屋根：防水ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押エ 増打30(ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭφ150×150×6)
⑤	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・腰壁：下地調整 (C-1) の上 複層塗材E	⑩	化粧目地切　巾20

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	EV棟 立面図01	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－８７



北側立面図　S=1/100

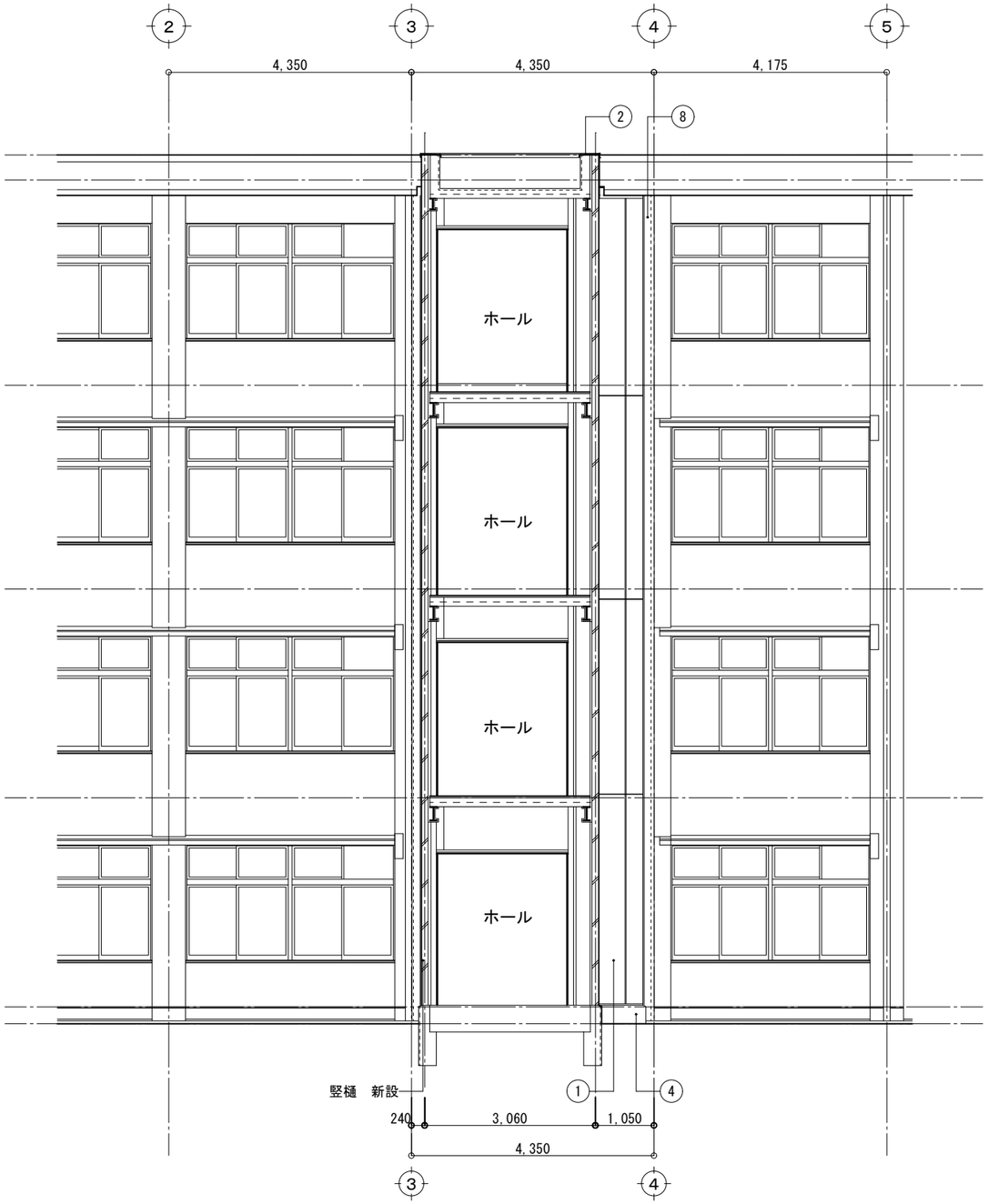


西側立面図　S=1/100

凡例

①	外壁：ALC板 7120　下地調整(C-1)の上 複層塗材E	⑥	柱･梁：溶融亜鉛ﾒｯｷ処理
②	笠木：ｱﾙﾐ製 既製品 W＝40	⑦	手摺：ｱﾙﾐ製 笠木 70×40 支柱 50×50@900
③	竪樋：VPφ100ｶﾗｰ 掴み金物 SUS304製@1000以内	⑧	アルミ製 EXP.J(ｸﾘｱﾗﾝｽ150)(耐火)
④	巾木：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修	⑨	屋根：防水ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押ｴ 増打30(ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭφ150×150×6)
⑤	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・腰壁：下地調整 (C-1) の上 複層塗材E	⑩	化粧目地切　巾20

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	EV棟 立面図02	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－８８
	鹿児島市建設局建築部建築課		



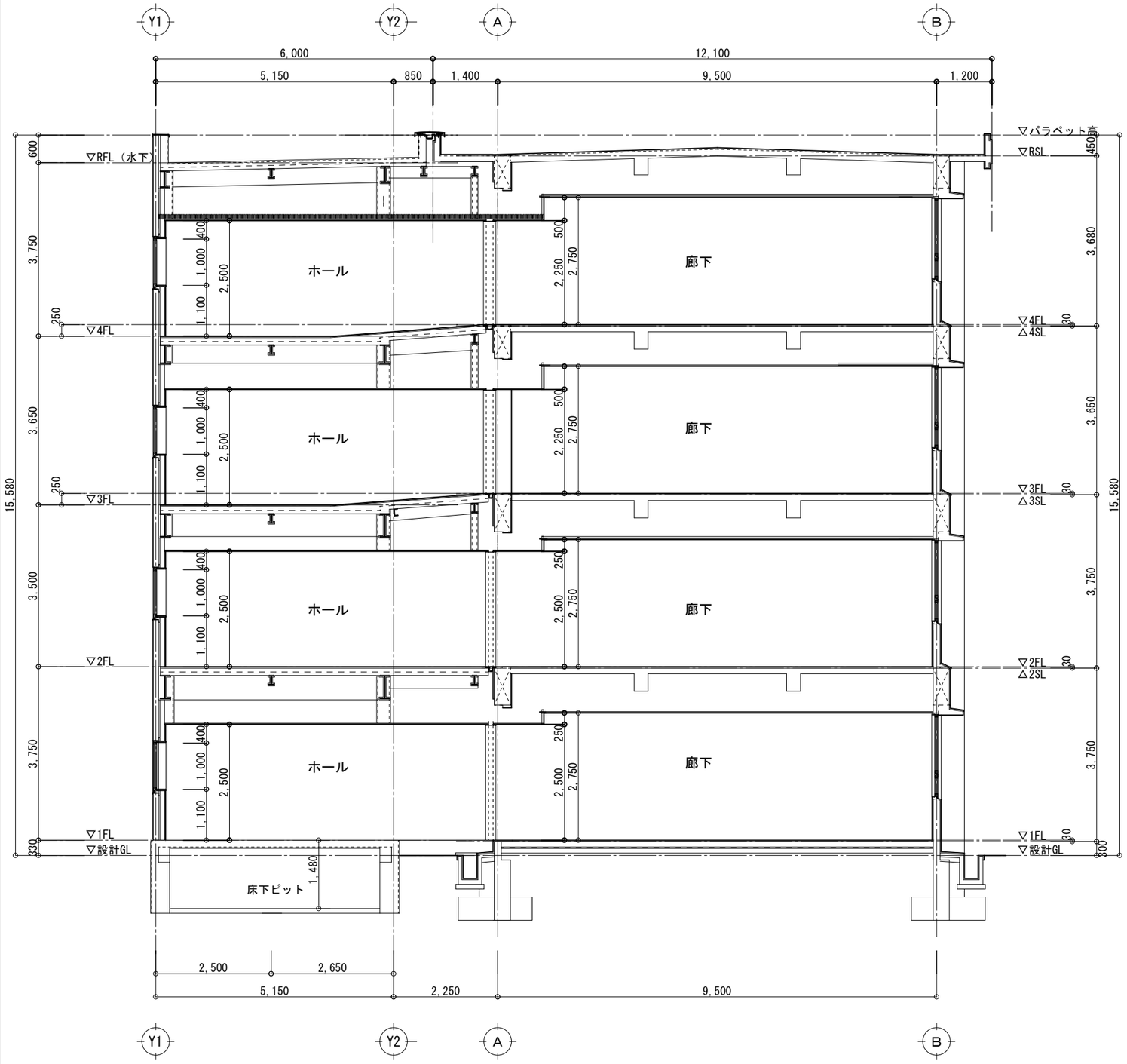
南側立面図　S=1/100

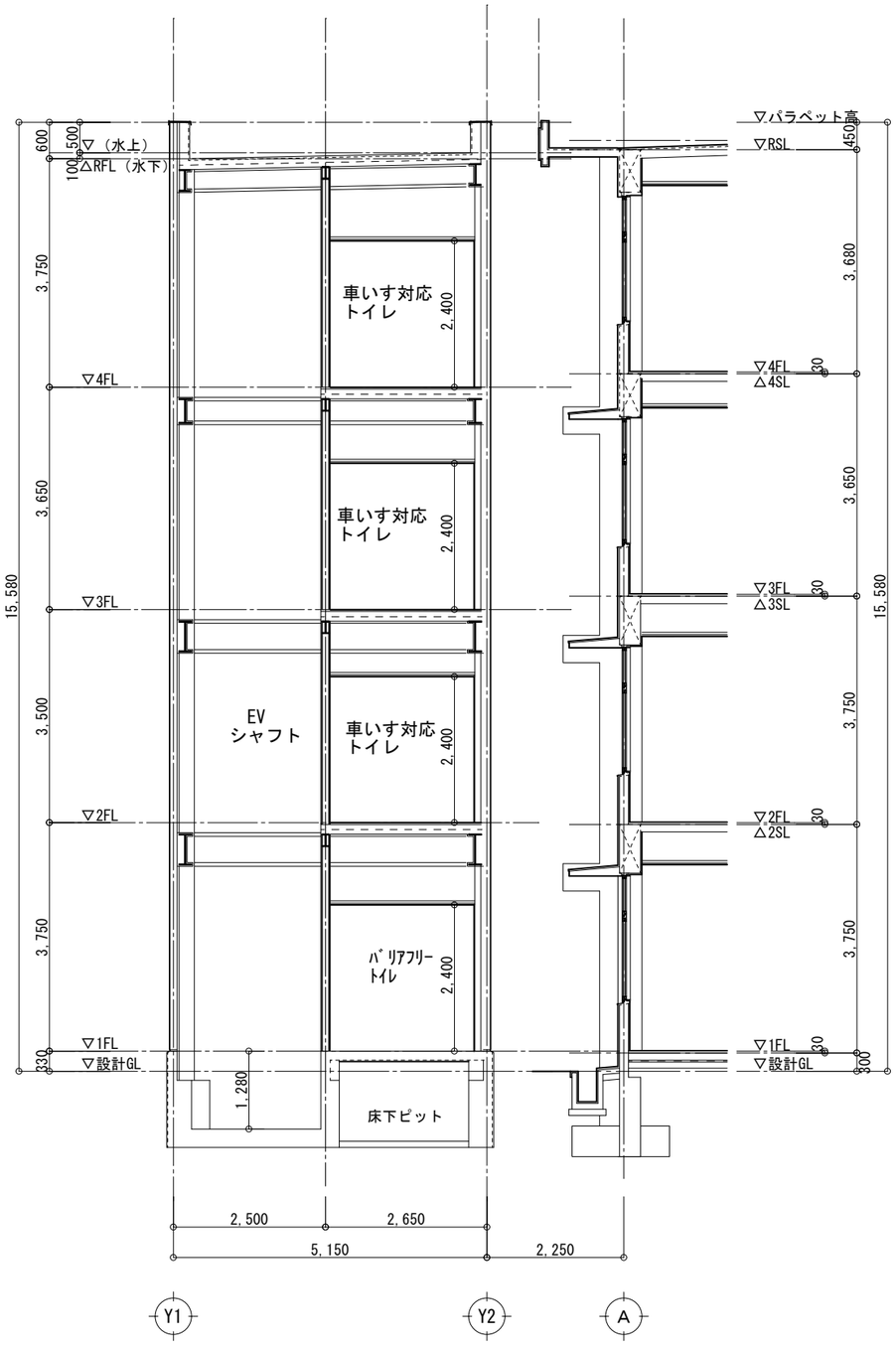
既存南側立面図　S=1/100

凡例

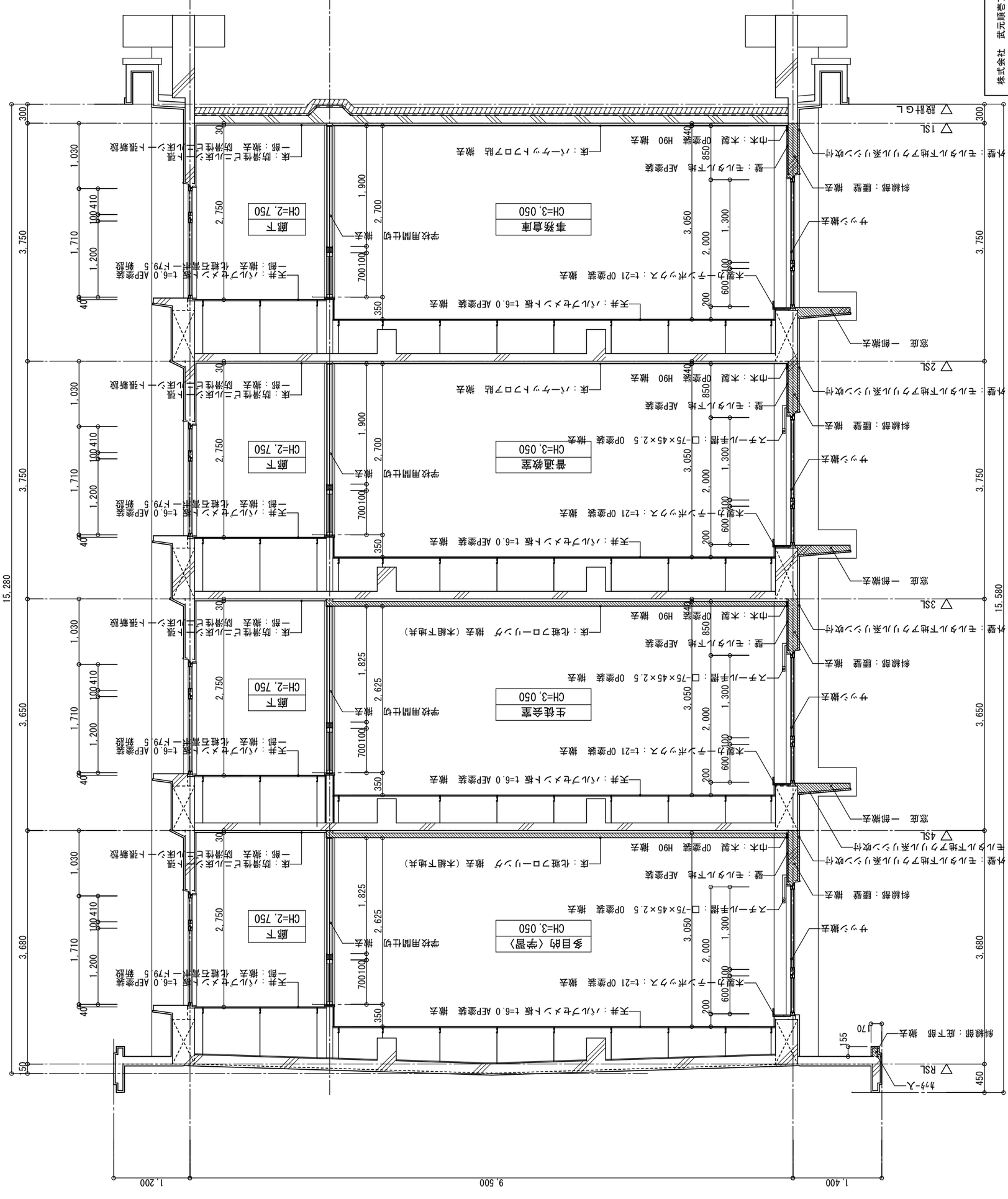
①	外壁：ALC板 7120　下地調整(C-1)の上 複層塗材E	⑥	柱･梁：溶融亜鉛ﾒｯｷ処理
②	笠木：ｱﾙﾐ製 既製品 W=40	⑦	手摺：ｱﾙﾐ製 笠木 70×40 支柱 50×50@900
③	竪樋：VPφ100ｶﾗｰ 掴み金物 SUS304製@1000以内	⑧	アルミ製 EXP.J(ｸﾘｱﾗﾝｽ150)(耐火)
④	巾木：ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し補修	⑨	屋根：防水ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾃ押ｴ 増打30(ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭφ150×150×6)
⑤	ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ・腰壁：下地調整 (C-1) の上 複層塗材E	⑩	化粧目地切　巾20

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	EV棟 立面図03	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－８９





株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	EV棟 断面図01	A1：1/ 50 A3：1/ 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－９０

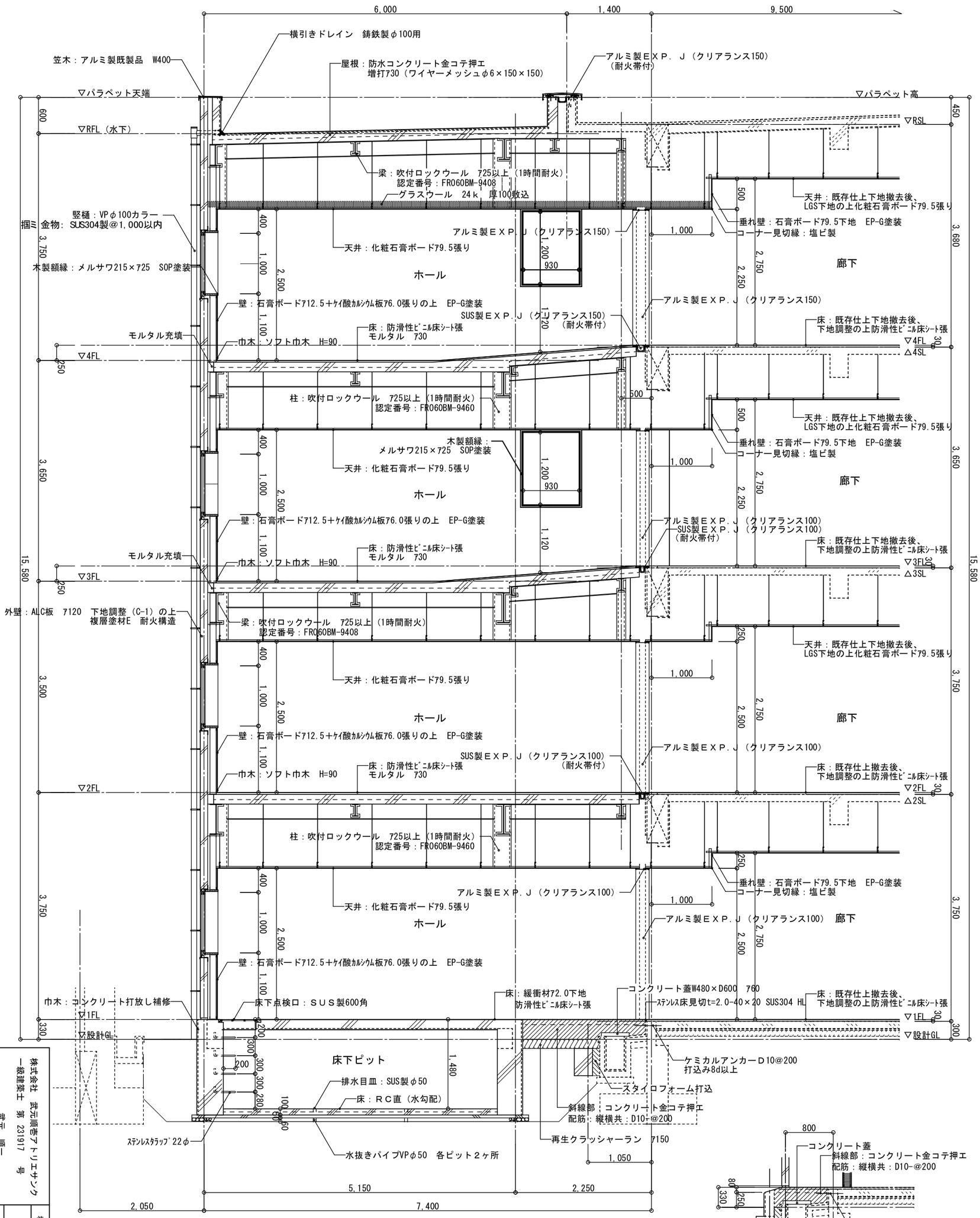


既存 矩計図 S=1:60

株式会社 武元順壱アトリエサンク
一級建築士 第 231917 号
武元 順一

坂元中学校舎2号棟長寿命化改良その他本体工事

管理教室棟 既存矩計図	A1:1/30 A3:1/60
鹿児島市建設局建築部建築課	A－91



A-A　矩計図　S＝1：60

B-B　矩計図　S＝1：60

株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第　231917　号
武元　順一

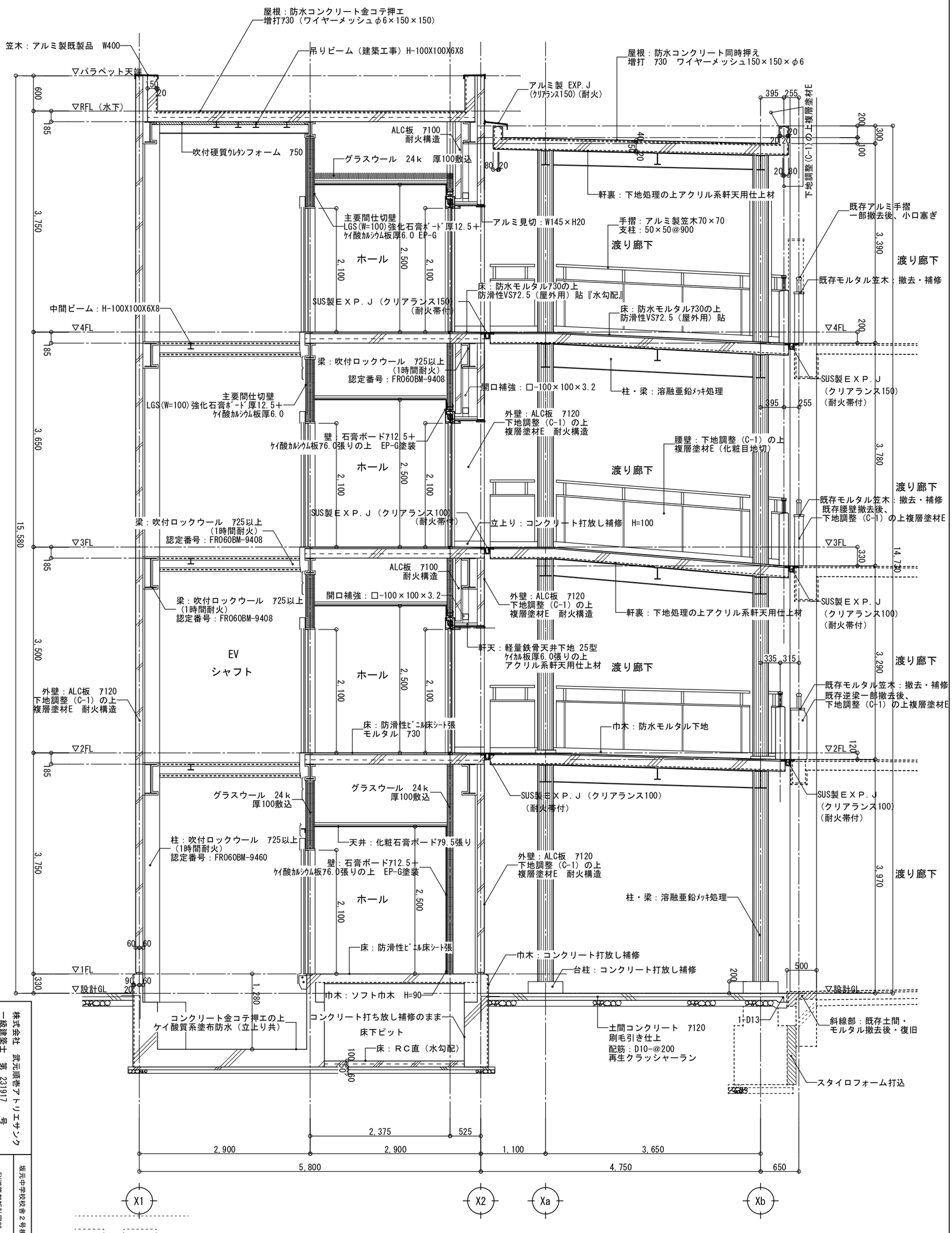
坂元中学校校舎2号棟長寿命化改良その他木体工事

EV棟　矩計図01

鹿児島市建設局建築部建築課

A1：1/30
A3：1/60

A－92



株式会社 武元順壱アトリエサンク
一級建築士 第 231917 号
武元 順一

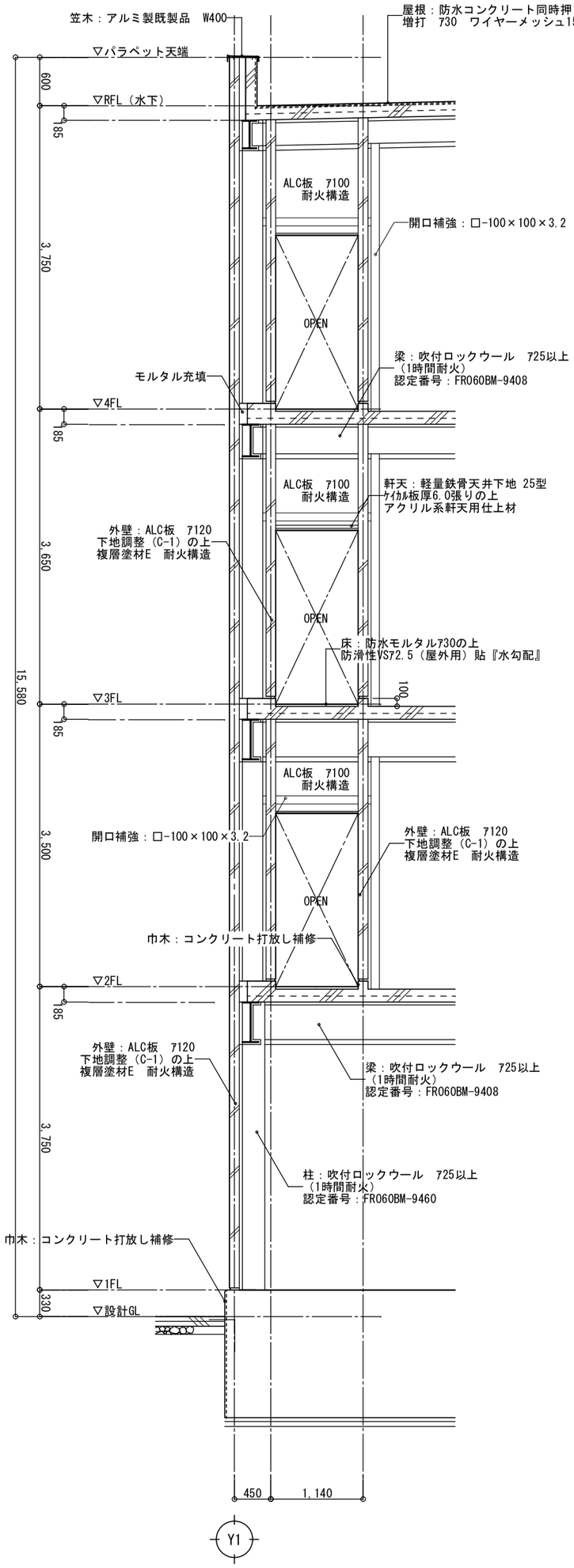
坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他木体工事

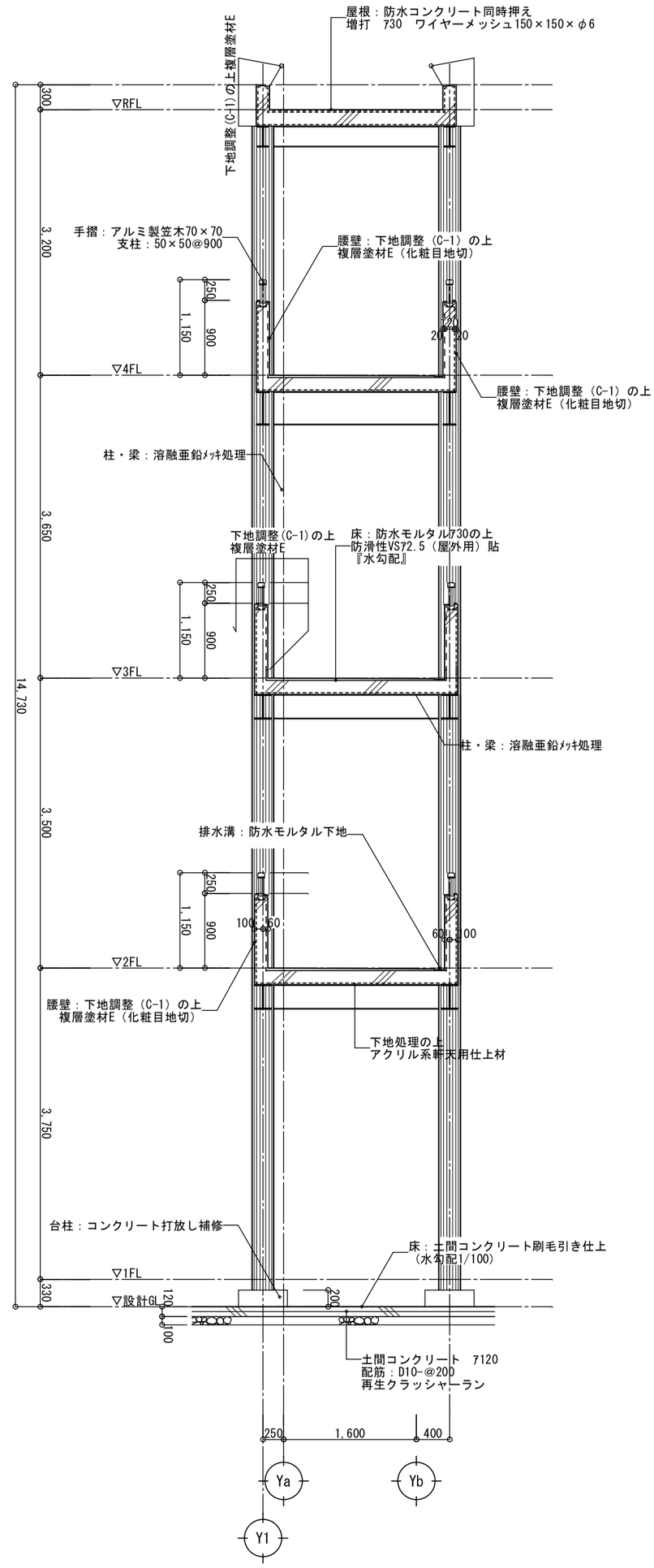
EV増築部矩計図02

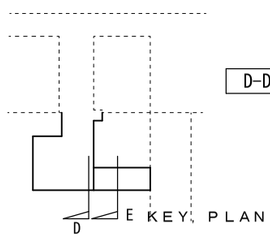
A1：1/30
A3：1/60

鹿児島市建設局建築部建築課

A－93







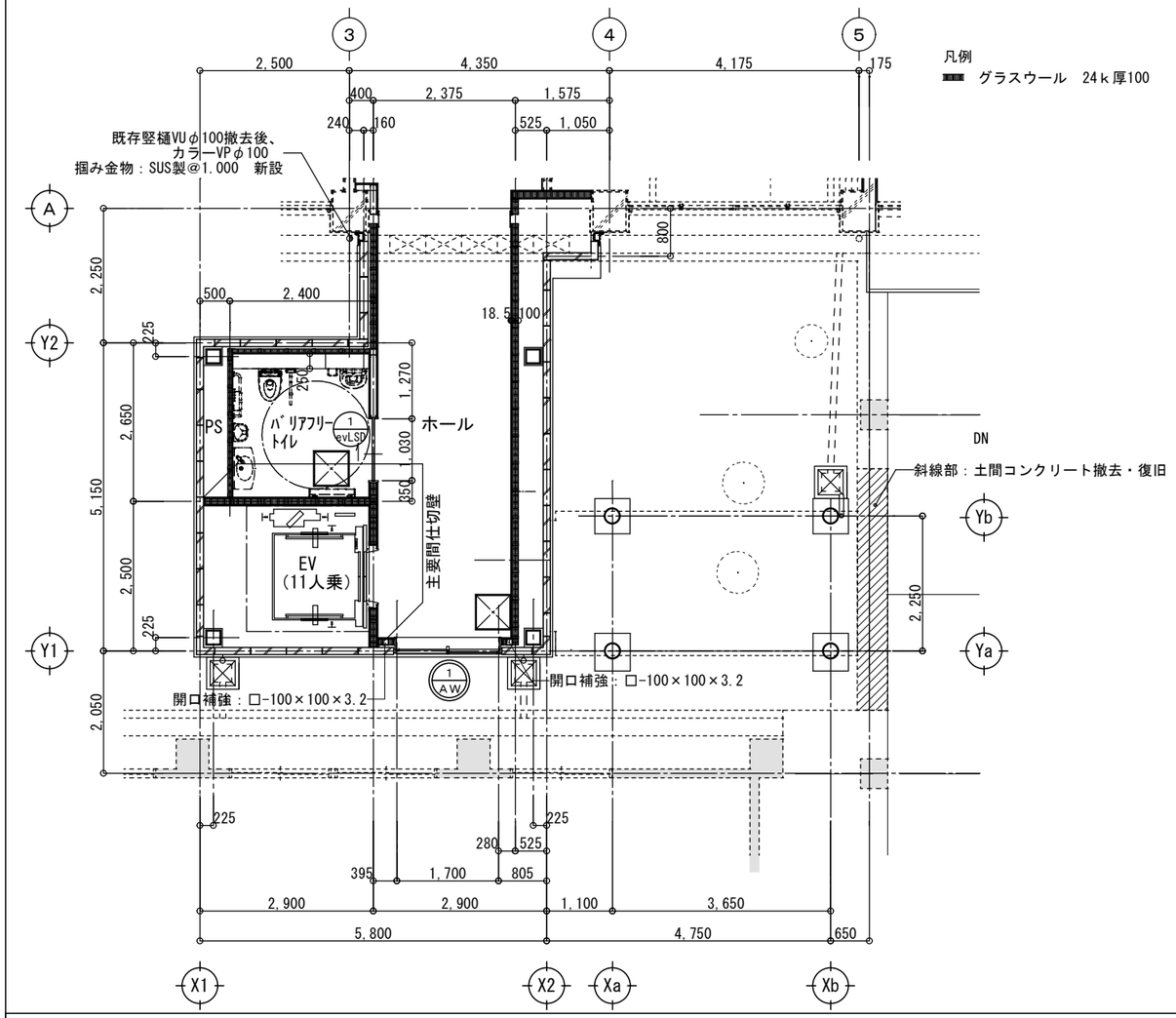
D-D　矩計図　S＝1：60

E-E　矩計図　S＝1：60

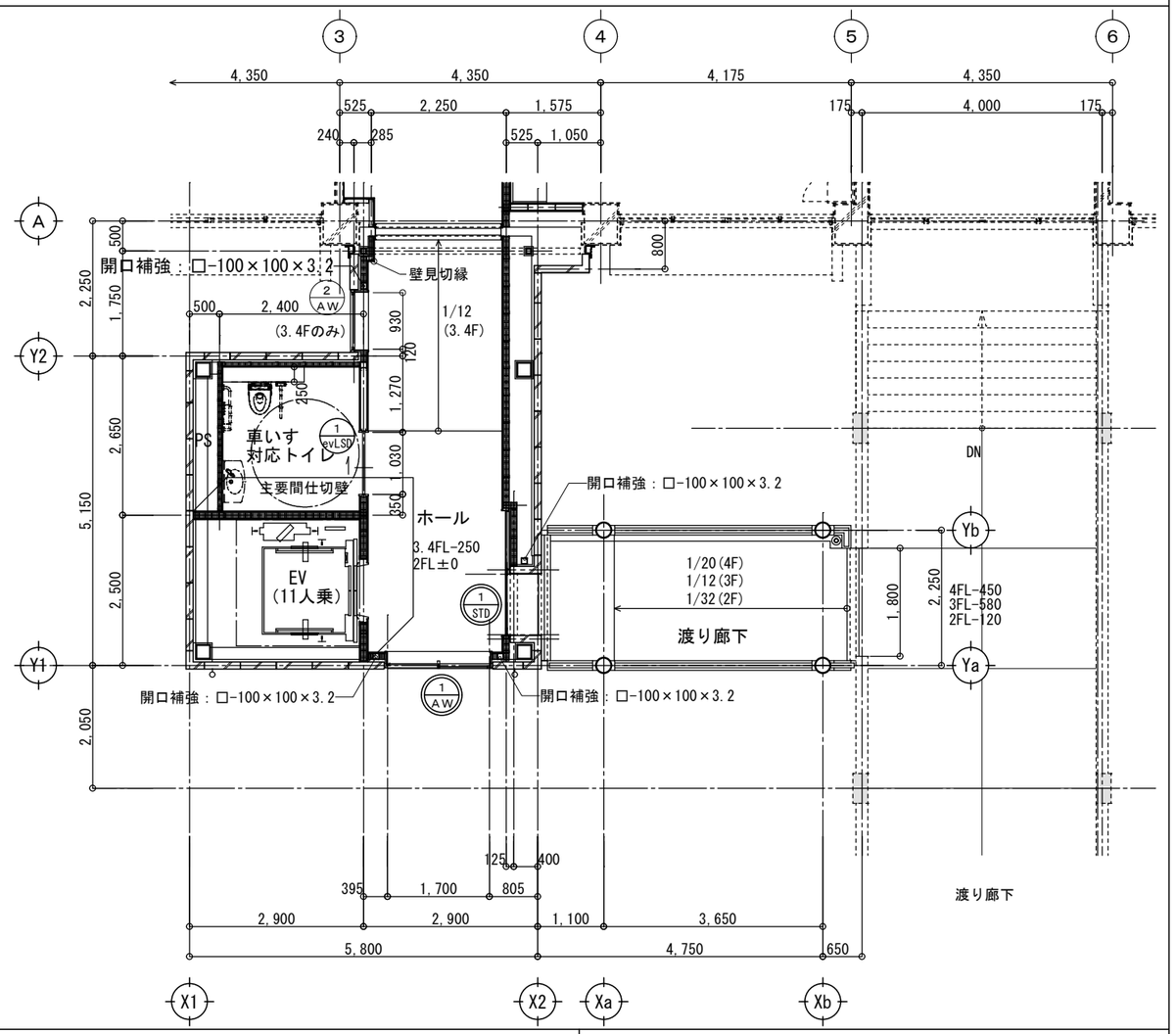
株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第　231917　号
武元　順一

坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事
EV増築部矩計図03
鹿児島市建設局建築部建築課
A1：1/30
A3：1/60
A－94

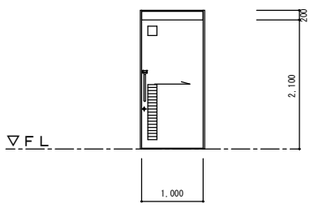
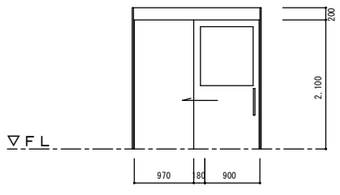
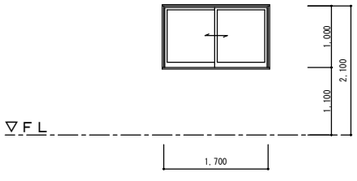
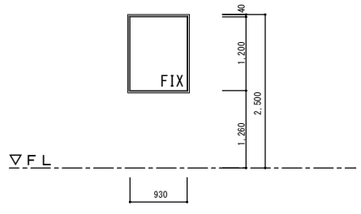
1階平面詳細図



2.3.4階平面詳細図



建具表

記号	1 evLSD ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ　車いす対応ﾄｲﾚ　4ヶ所	1 STD ホール　『防火設備』　3ヶ所	1 AW ホール　『防火設備』　4ヶ所	2 AW ホール　2ヶ所
姿図			※ALC外壁部のアルミ製建具廻りはロックウール充填及び二重シールとする。 	※ALC外壁部のアルミ製建具廻りはロックウール充填及び二重シールとする。 
型式	軽量鉄骨片引きハンガードア	上吊り片引き込みﾌﾗｯｼｭ戸	引違い窓	嵌め殺し窓
材質見込	亜鉛鋼板t0.8 ﾌﾗｯｼｭ　見込み：70	ステンレスｔ1.5　見込み：150	アルミ合金押出型材　見込み：70	アルミ合金押出型材　見込み：70
硝子	型板ガラス　7.4.0	LOW-e透明ガラス t=3.0+A6.0+網入り透明ガラス t=6.8	LOW-e透明ガラス t=3.0+A6.0+網入り透明ガラス t=6.8	LOW-e透明ガラス t=3.0+A6.0+透明ガラス t=3.0
仕上	スチール焼付塗装	HL	アルミシルバー(B-1種)	アルミシルバー(B-1種)
附属金物	非常開放装置付引戸錠錠、ドアハンドル(L＝450)、自動閉鎖装置	引戸錠、ドアハンドル(L=450)、上吊りレール、附属金物一式	アルミ水切、戸車、アルミアングル(木額縁)、クレセント	アルミ水切、アルミアングル(木額縁)、結露排水弁
備考	内側大型ｻﾑﾀｰﾝ、表示錠、アルミガラリ、ハンガードア金物一式、ゴム戸当たり、他附属金物一式		他附属金物一式	他附属金物一式

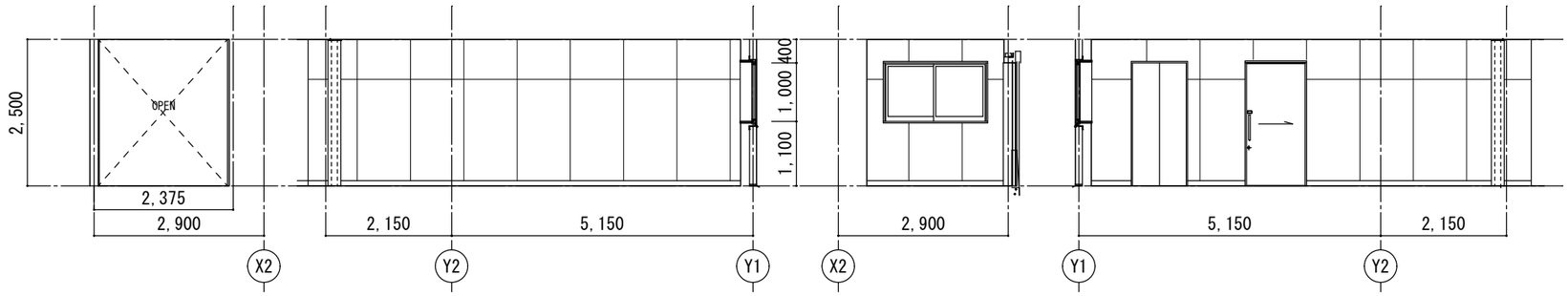
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	EV棟 平面詳細図・建具表	A1：1/ 50 A3：1/100
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－９５

EV棟　展開図

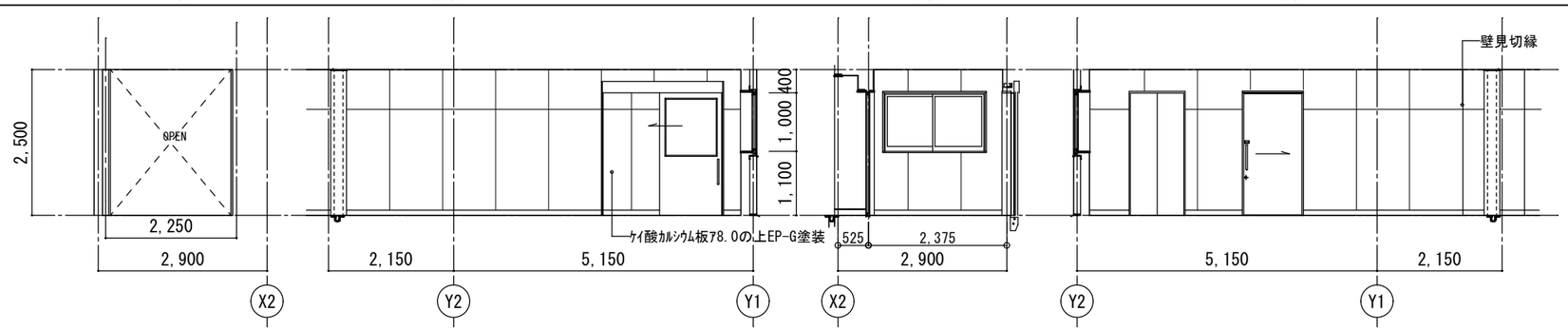
内部仕上表

ホール		
天井	仕上	化粧PB t＝9.5(準不燃)
	下地	LGS
	※4F天井はｸﾞﾗｽｳｰﾙ敷込み	
壁	仕上	ABCD面 (壁)：ｹｲｶﾙ板 t＝6.0+EPG塗装
	下地	LGS下地 PB t＝12.5 EV側壁面(竪穴区画)主要間仕切壁： LGS(W＝100)+強化PBﾎﾞｰﾄﾞ7 12.5
巾木	ビニル巾木 H90	
床	仕上	防滑性ビニル床シート t＝2.0
	下地	モルタル (2.3.4F) コンクリート (1F)
備考	□450天井点検口 ※ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(24kg/m3) t＝100 充填、スラブ下まで達せしめること ※設備品取付下地は打合せのこと 床下点検口　600角 床見切 EXP.J	

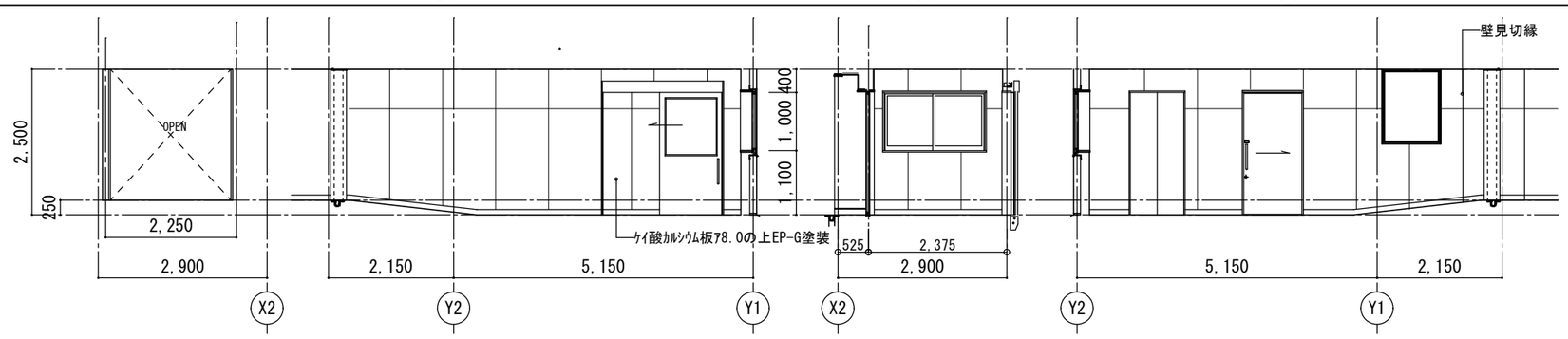
1階　ホール



2階　ホール



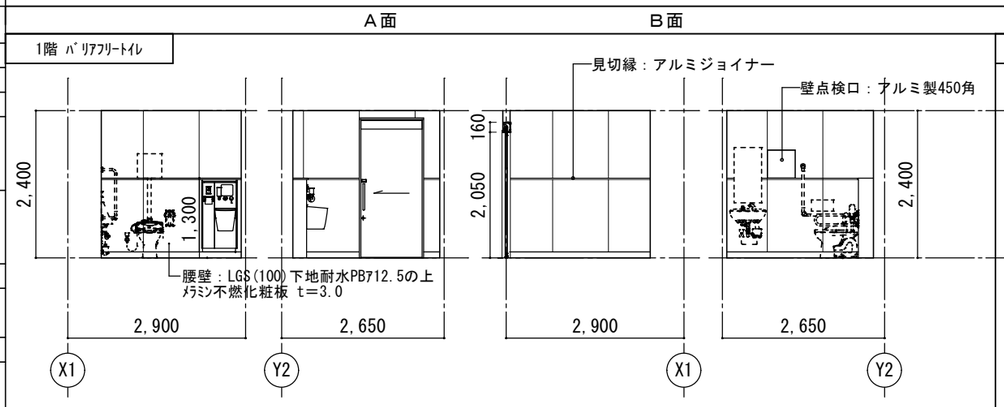
3・4階　ホール



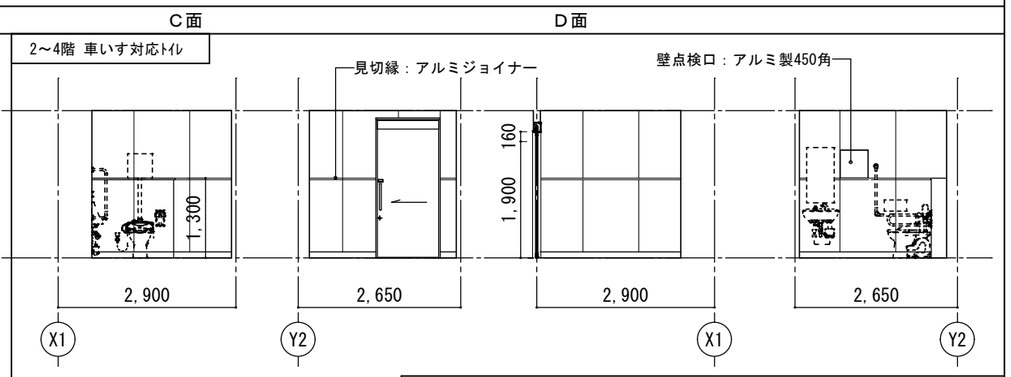
内部仕上表

天井	仕上	化粧PB t＝9.5(準不燃)
	下地	LGS
	※4F天井はｸﾞﾗｽｳｰﾙ敷込み	
壁	仕上	ABCD面 (壁)：ｹｲｶﾙ板 t＝6.0+EPG塗装 (腰壁)：ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 t＝3.0
	下地	LGS下地 耐水PB t＝12.5 EV側壁面(竪穴区画)主要間仕切壁： LGS(W＝100)+強化PBﾎﾞｰﾄﾞ7 12.5
巾木	ビニル床シート巻上 H100	
床	仕上	防菌・防滑性ＶＳビニル床シート
	下地	コンクリート
備考	面台、□450壁点検口 □450天井点検口 ※ｸﾞﾗｽｳｰﾙ(24kg/m3) t＝100 充填、スラブ下まで達せしめること ※設備品取付下地は打合せのこと	

1階 ﾊﾞﾘｱﾌﾘｰﾄｲﾚ

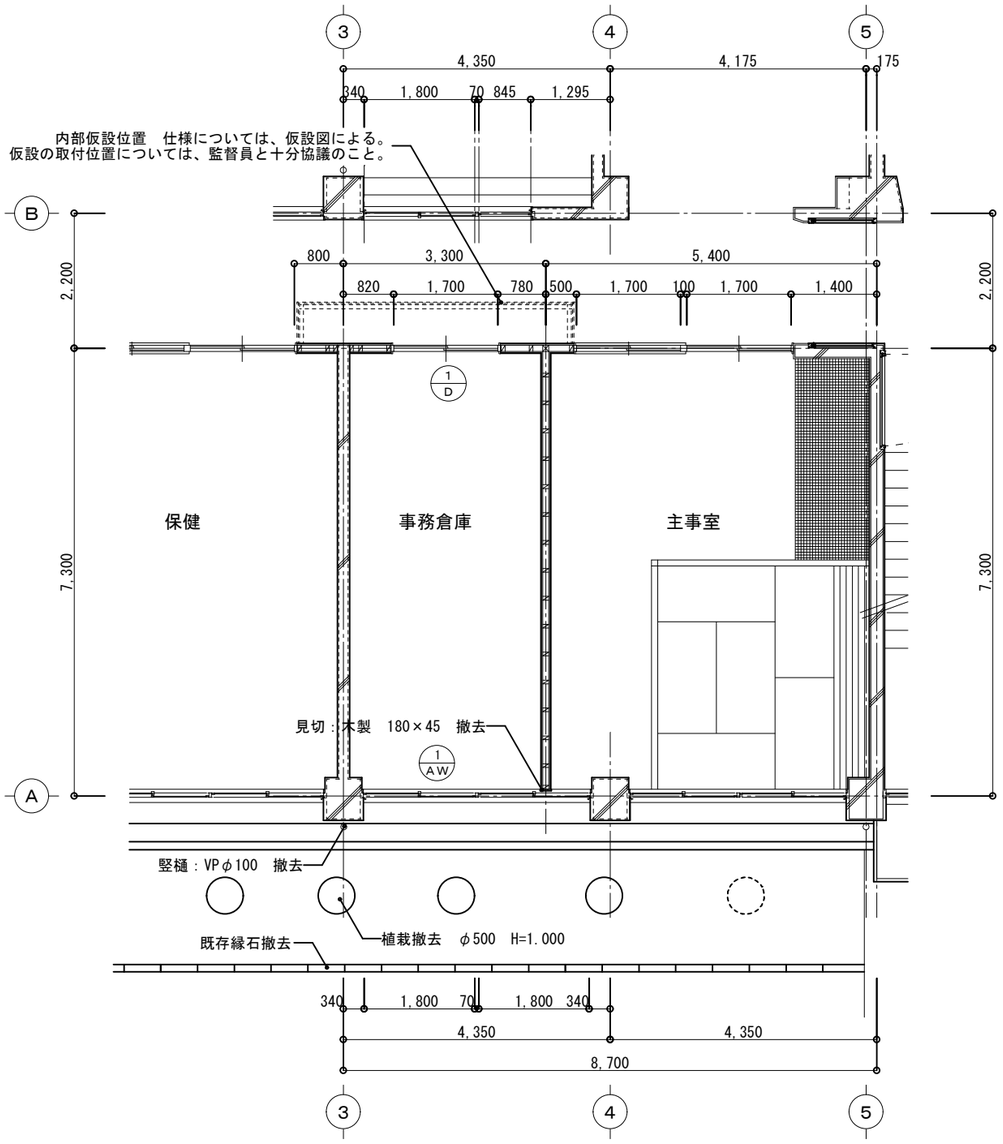


2～4階 車いす対応ﾄｲﾚ



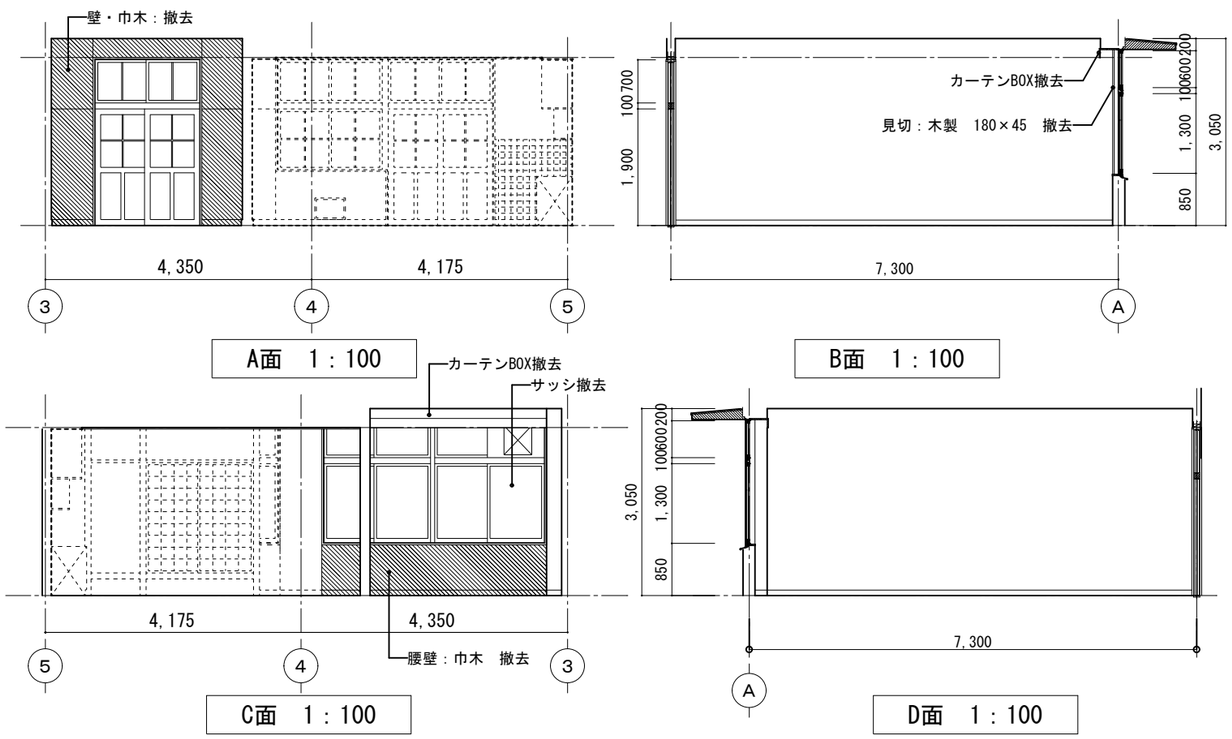
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事
	EV棟　展開図　A1：1/ 50　A3：1/100
	鹿児島市建設局建築部建築課
	A－９６

既存　1階　主事室 事務倉庫　平面詳細図

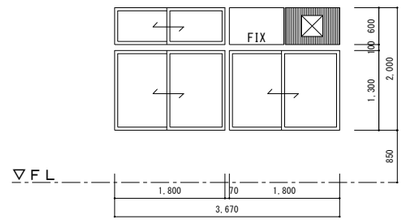
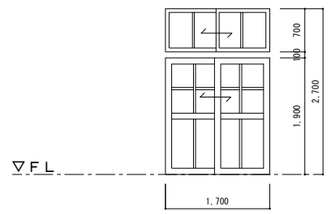


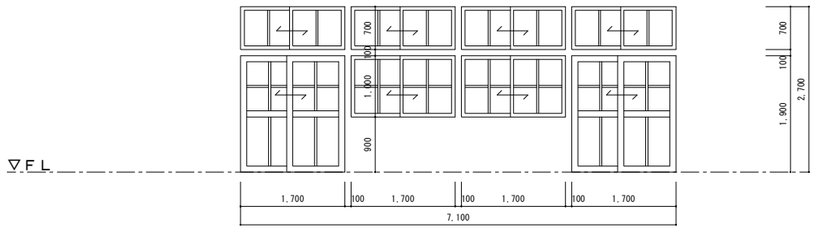
室名	主事室 事務倉庫				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	巾木	仕上	木製巾木　H=90
	下地	軽天下地			
		梁型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	床	仕上	パーケットフロア貼
壁	仕上	A面　木製学校間仕切　撤去 T1ﾍﾞﾆﾔ張り OP塗装			
		B面　T1ﾍﾞﾆﾔ貼　OP塗装		下地	モルタル
		C面　モルタル金コテ押え　AEP塗装	備考		既存流用
		D面　モルタル金コテ押え　AEP塗装			撤去
		柱型　モルタル金コテ押え　AEP塗装			

既存　1階　主事室 事務倉庫　展開図



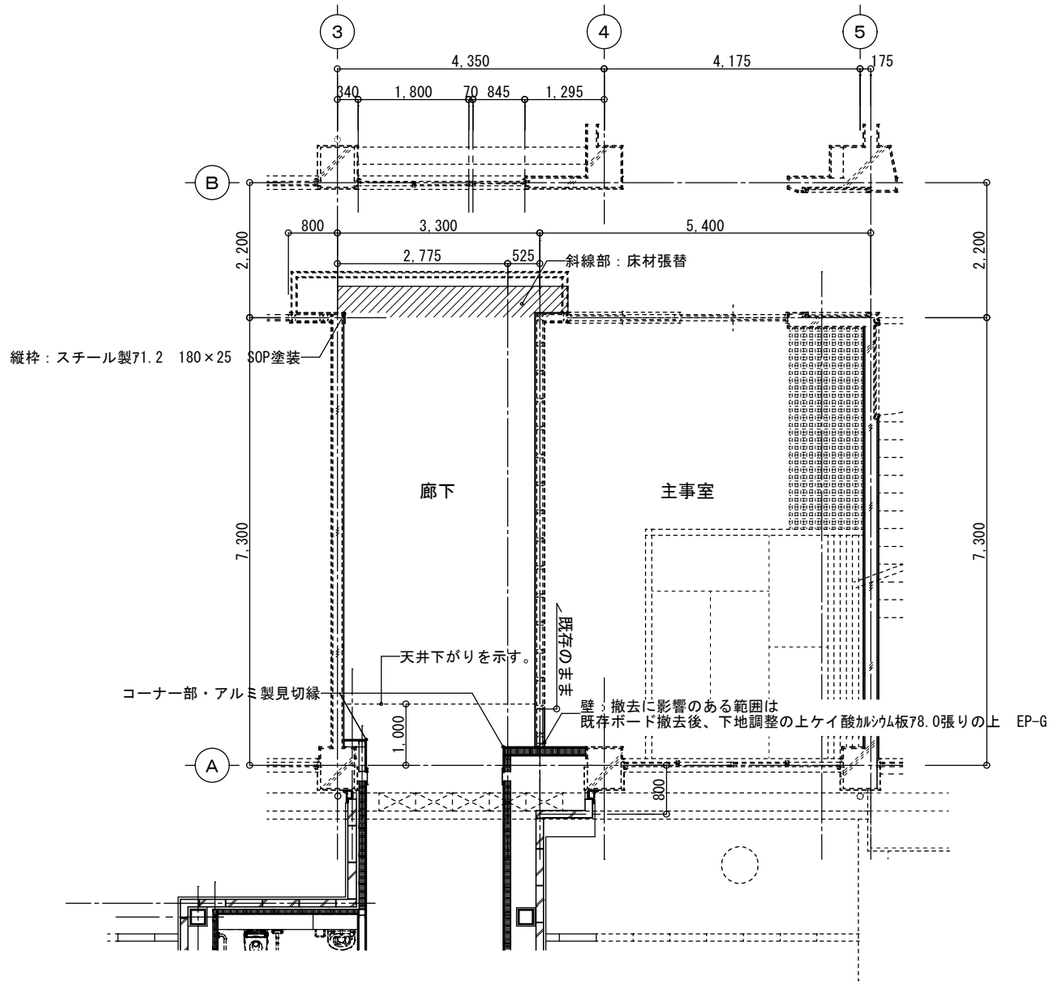
解体撤去建具表

記号	1/AW　事務倉庫、普通教室、生徒会室、多目的　4ヶ所	1/D　事務倉庫　1ヶ所
姿図		
型式	２連・ランマ付き引違い窓	ランマ付引違い戸・ランマ付引違い窓
材質見込	アルミ製	木製
硝　子	75.0 透明	ランマ部：72.0 透明ガラス、他部：72.0 スリガラス（1部 72.0透明）
仕　上		油性調合ペイント塗
附属金物	付属金物一式	付属金物一式
備　考	換気扇取付用アルミパネル 73.0	

記号	2/D　普通教室、生徒会室、多目的　3ヶ所
姿図	
型式	ランマ付引違い戸・ランマ付引違い窓
材質見込	木製
硝　子	ランマ部：72.0 透明ガラス、他部：72.0 スリガラス（1部 72.0透明）
仕　上	油性調合ペイント塗
附属金物	付属金物一式
備　考	

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	管理教室棟 既存　1階　平面詳細図 展開図・撤去建具表	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－９７
	鹿児島市建設局建築部建築課		

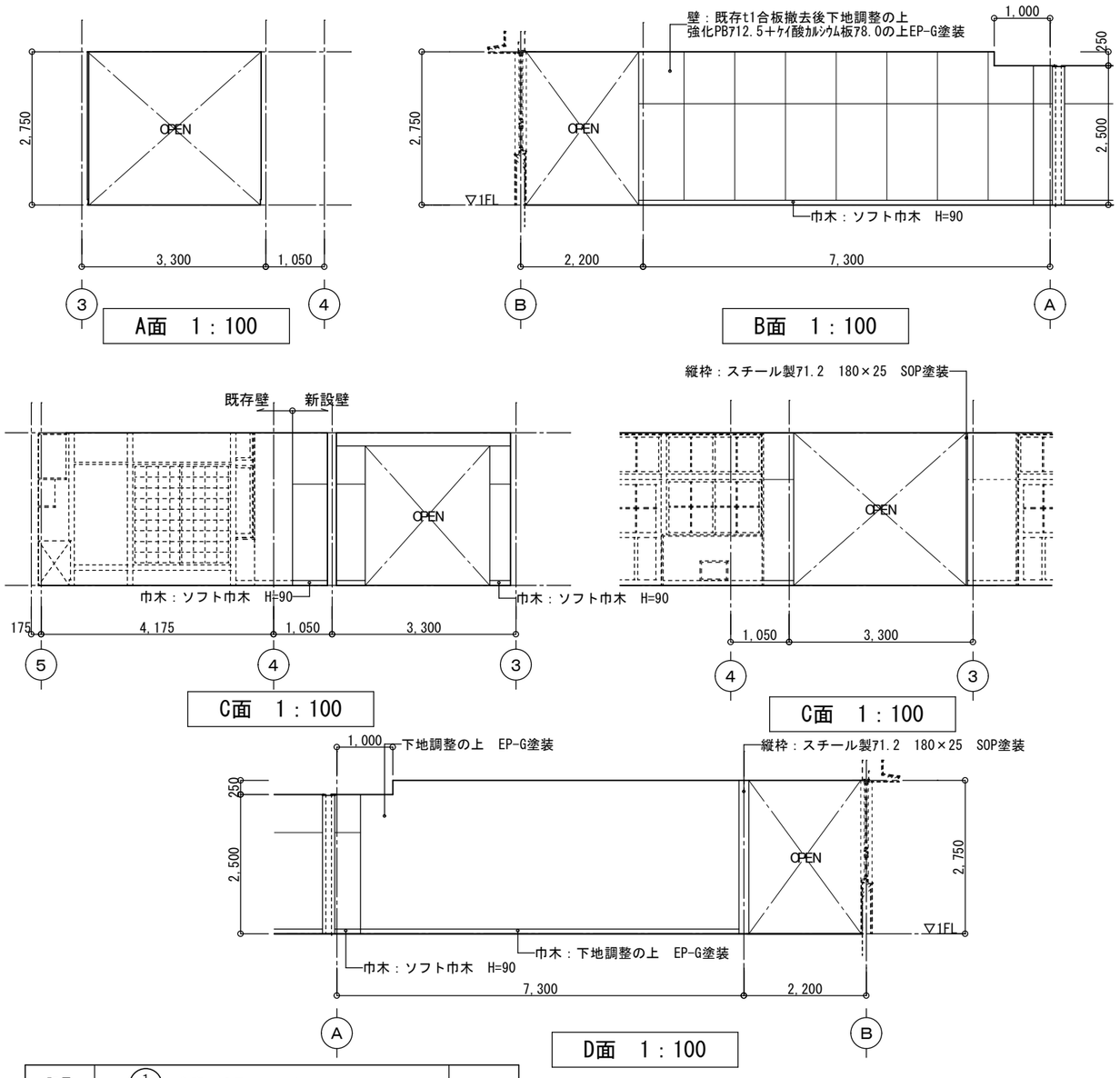
改修	１階　主事室 事務倉庫　平面詳細図

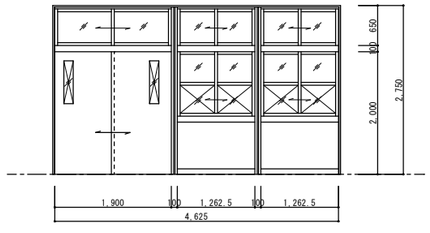


室名	廊下	
天井	仕上	既存仕上下地撤去後化粧石膏ボード79.5張
	下地	軽天下地
壁	仕上	B面　LGS 壁:(W＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G 一部：既存t1合板撤去後下地調整の上　強化ＰＢ厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G C面　LGS 壁:(W＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G D面　LGS 壁:(W＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G 一部：既存下地調整の上　EP-G
巾木	仕上	ソフト巾木　H=90
		一部：下地調整の上　　EP-G塗装
床	仕上	既存仕上撤去下地調整の上防滑性ビニル床シート張
	下地	モルタル
備考		

室名	主事室	
天井	仕上	既存のまま（一部化粧石膏ボード79.5張　補修）
壁	仕上	A面　既存のまま B面　既存のまま C面　LGS 壁:(W＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G 一部：既存のまま（4～5通り間） D面　既存のまま 一部：既存ボード撤去後、下地調整の上 強化ＰＢ厚12.5＋ ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G
巾木	仕上	既存のまま
		一部：ソフト巾木　H=90
床	仕上	既存のまま
備考		

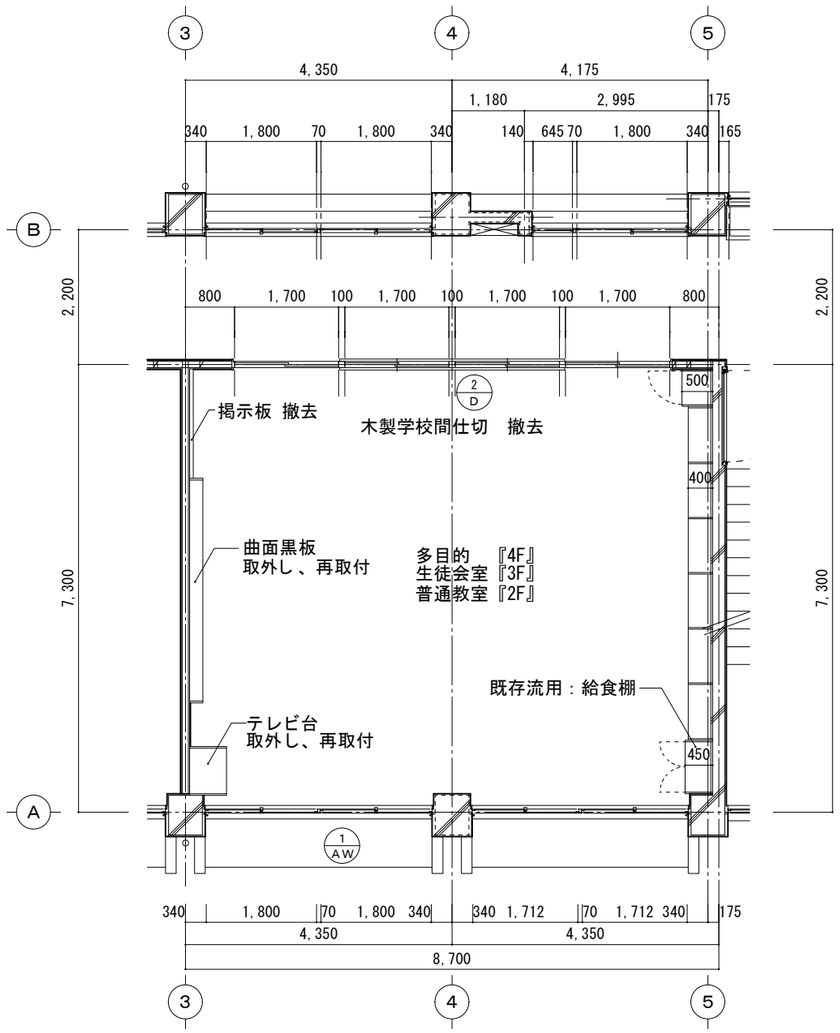
改修	１階　主事室 事務倉庫　平面詳細図



記号	1/D　倉庫、多目的(学習)	３ヶ所
姿図		
型式	ランマ引違い窓付引違い戸、ランマ引違い窓付引違い窓	
材質見込	100+額縁	
硝　子	透明ガラス　t=3　型板ガラス　t=3	
仕　上	杉集成材CL塗装、扉表面材：シナ合板 t=4.0 CL塗装 腰壁：シナ合板 t=5.5 CL塗装	
附属金物	下枠：ステンレス T=1.5、ステンレス戸車(非脱輪仕様) 引違い戸錠、クレセント、ｱﾙﾐV型レール、付属金物一式	
備　考		

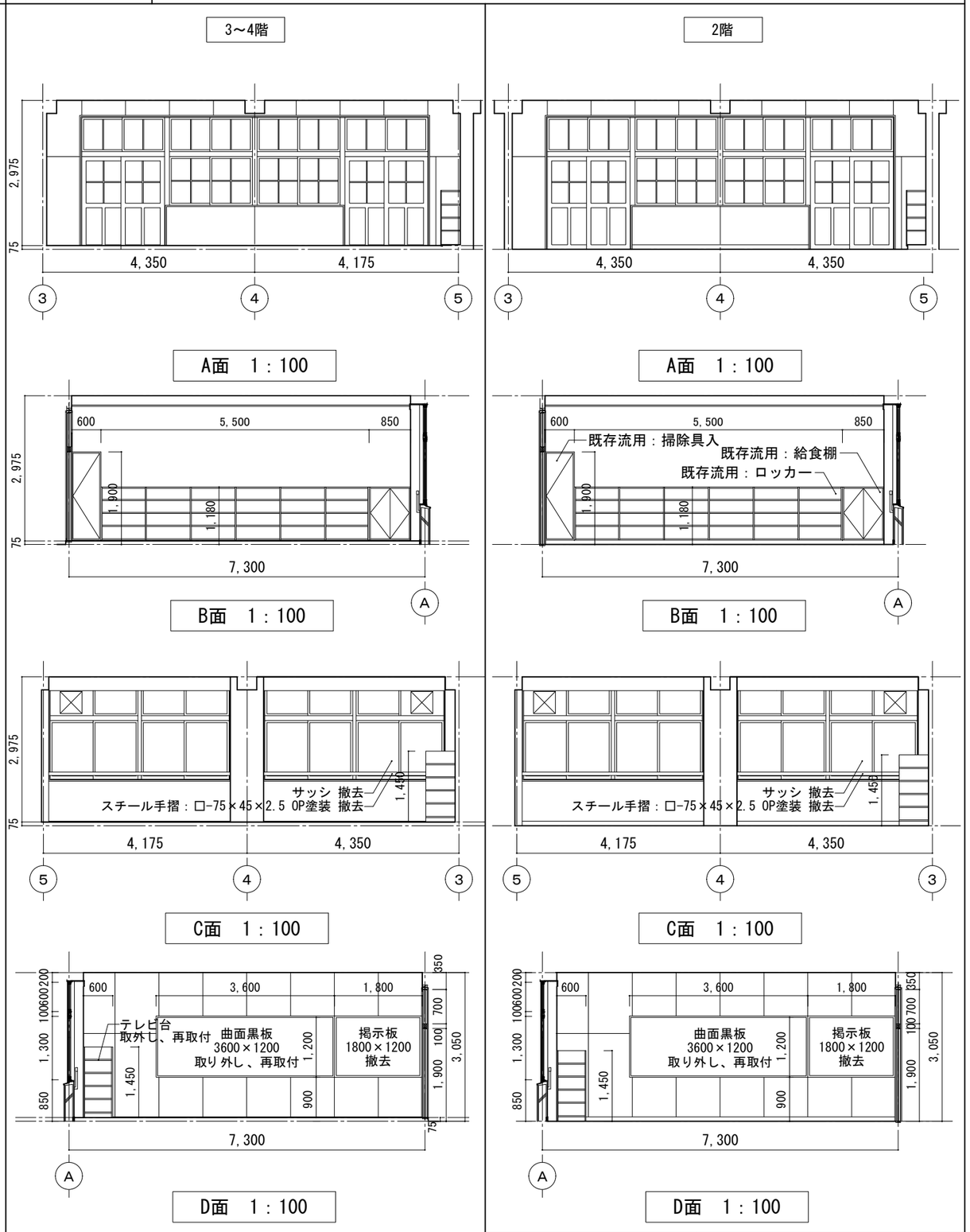
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	管理教室棟 改修　1階　平面詳細図 展開図・撤去建具表	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－９８
	鹿児島市建設局建築部建築課		

既存	2.3.4階　普通教室・生徒会室・多目的(学習)　平面詳細図



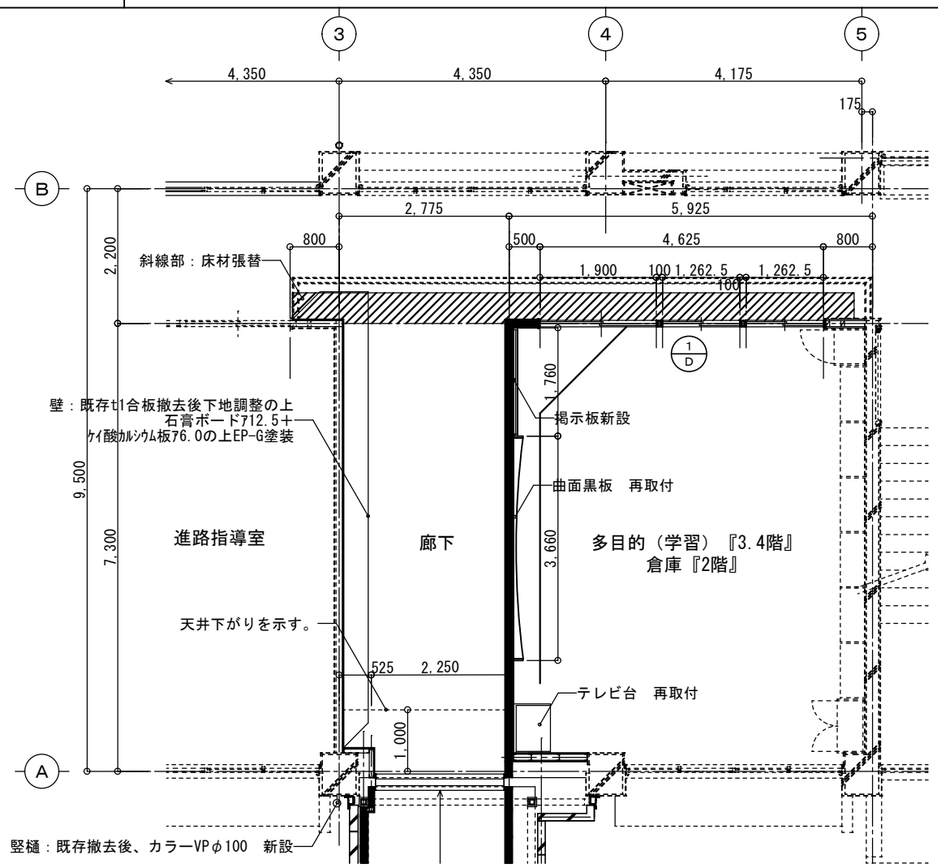
室名	普通教室				
天井	仕上	パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装	巾木	仕上	木製巾木　OP塗装　H=90
	下地	軽天下地			
		梁型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	床	仕上	床(2階)：パーケットフロア貼　撤去
壁	仕上	A面　木製学校間仕切　撤去 T1ﾍﾞﾆﾔ張り OP塗装			床(3～4階)：化粧フローリング　撤去
				下地	
		B面　T1ﾍﾞﾆﾔ　OP塗装 C面　モルタル金コテ押え　AEP塗装 D面　木胴縁下地 T1ﾍﾞﾆﾔ張り OP塗装 柱型　モルタル金コテ押え　AEP塗装	備考		既存流用 ・掃除具入、ロッカー ・曲面黒板 ・テレビ台 撤去 ・掲示板

既存	2.3.4階　普通教室・生徒会室・多目的(学習)　展開図



株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	管理教室棟 既存　2.3.4階 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－９９
	鹿児島市建設局建築部建築課		

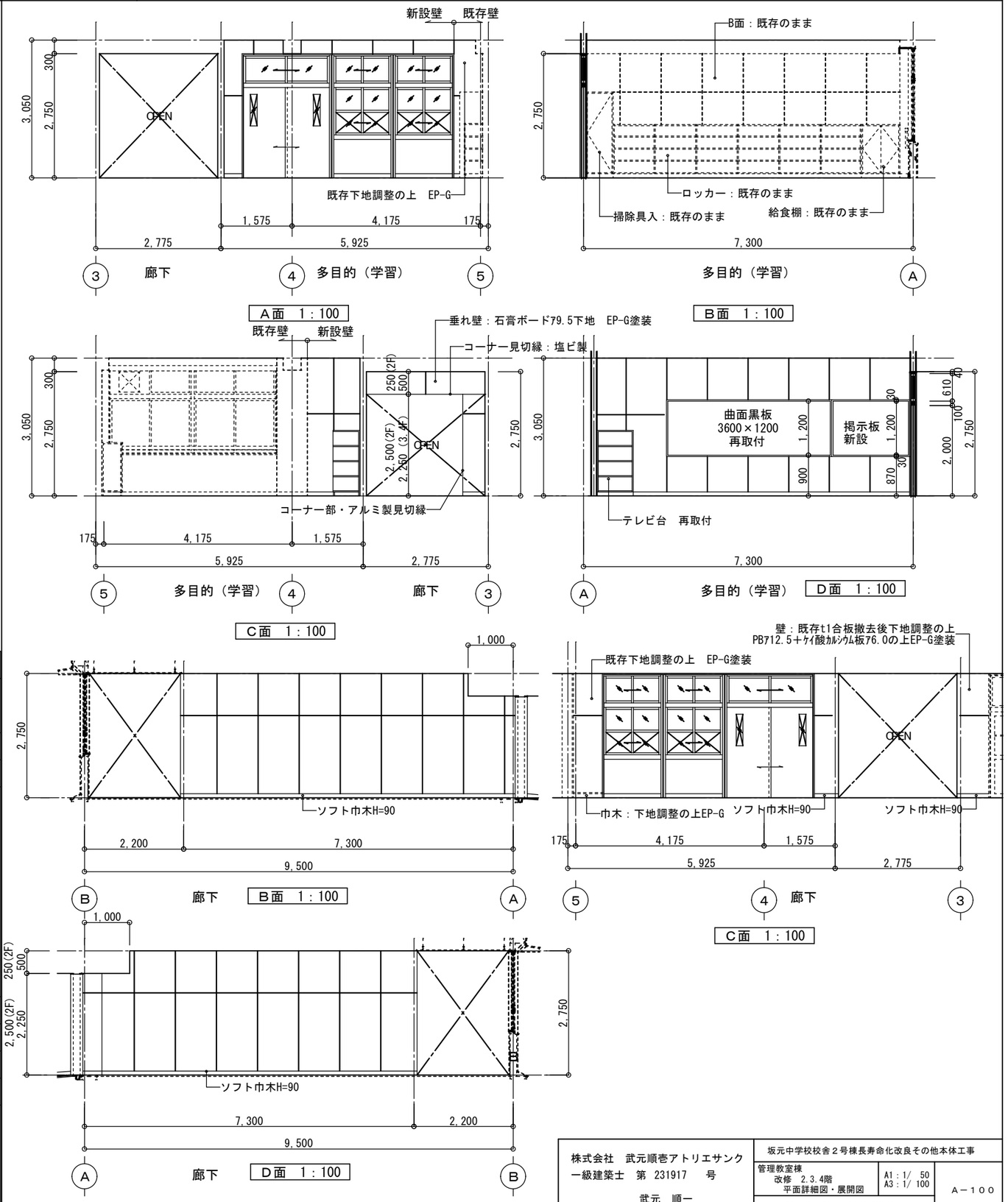
改修後　2.3.4階　廊下・倉庫・多目的（学習）　平面詳細図



室名	廊下	
天井	仕上	既存仕上下地撤去後化粧石膏ボード79.5張
	下地	軽天下地
壁	仕上	B面　LGS 壁:(W＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G C面　LGS 壁:(W＝100) 下地　ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G 一部：既存t1合板撤去後下地調整の上　強化ＰＢ厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G 一部：既存下地調整の上　EP-G D面　既存t1合板撤去後下地調整の上　ＰＢ厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G
巾木	仕上	ソフト巾木　H=90
		一部：下地調整の上　EP-G塗装
床	仕上	既存仕上撤去下地調整の上防滑性ビニル床シート張
	下地	モルタル
備考		

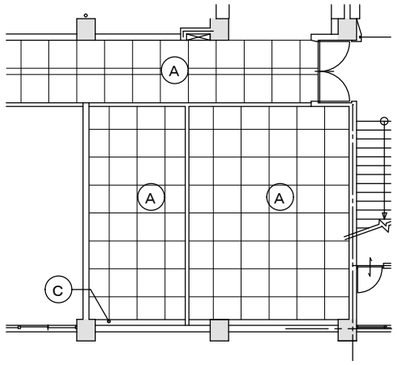
室名	2.3.4階　倉庫・多目的（学習）	
天井	仕上	化粧石膏ボード79.5張
	下地	軽天下地
		梁型　下地調整の上　EP-G塗装
壁	仕上	A面　木製学校間仕切 既存下地・仕上撤去後 LGS 壁:(W＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G 一部：既存下地調整の上　EP-G B面　既存のまま C面　LGS 壁:(W＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G 一部：既存のまま D面　LGS 壁:(W＝100) 下地　強化ＰＢ　厚12.5 ＋ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板厚6.0二重張の上　EP-G 柱型　既存のまま
巾木	仕上	ソフト巾木　H=90
		一部：既存のまま
床	仕上	既存仕上撤去後　下地調整の上、　ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ張
	下地	モルタル
備考		既存流用 ・ロッカー、給食棚、掃除具入、曲面黒板 ・テレビ台 新設 ・掲示板

改修後　2.3.4階　廊下・倉庫・多目的（学習）　展開図

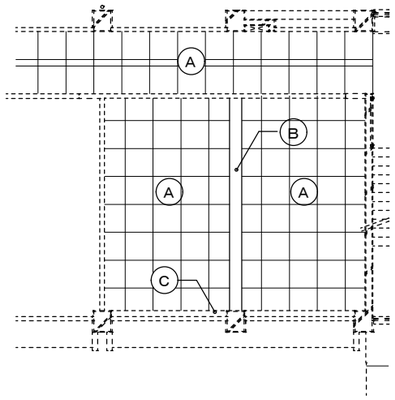


株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	管理教室棟 改修　2.3.4階 平面詳細図・展開図	A1：1/ 50 A3：1/ 100	A－１００
	鹿児島市建設局建築部建築課		

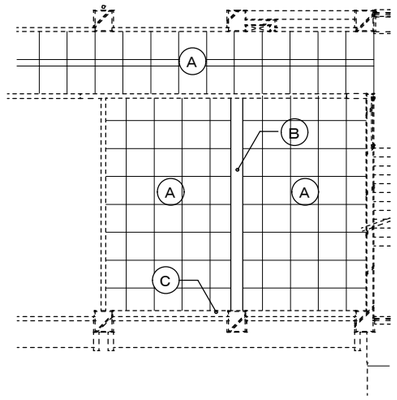
改修前



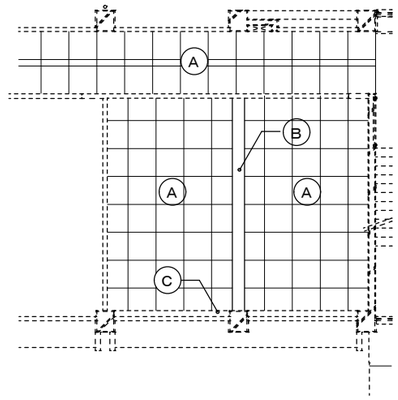
既存１階天井伏図　　１：２００



既存２階天井伏図　　１：２００



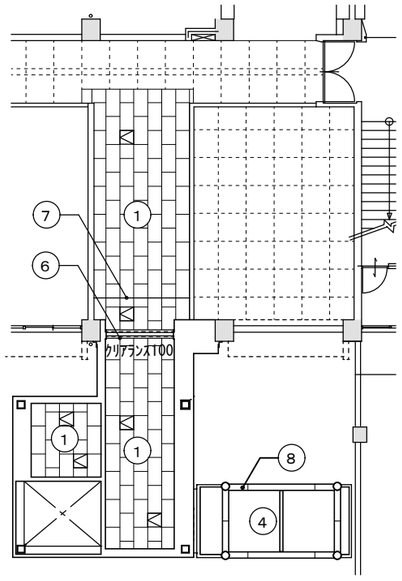
既存３階天井伏図　　１：２００



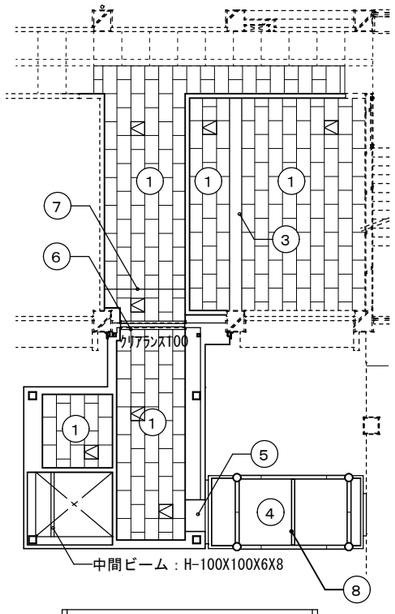
既存４階天井伏図　　１：２００

既存天井仕上表	
記号	仕上
A	軽天下地･パルプセメント板 t=6.0 AEP塗装
B	梁型：モルタル金コテ押え AEP塗装
C	木製カーテンボックス：t=21 OP塗装
D	アルミ製 EXP.J金物（耐火帯付）
E	
F	

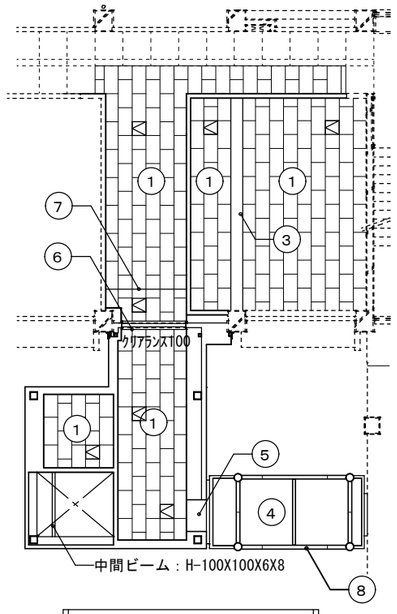
改修後



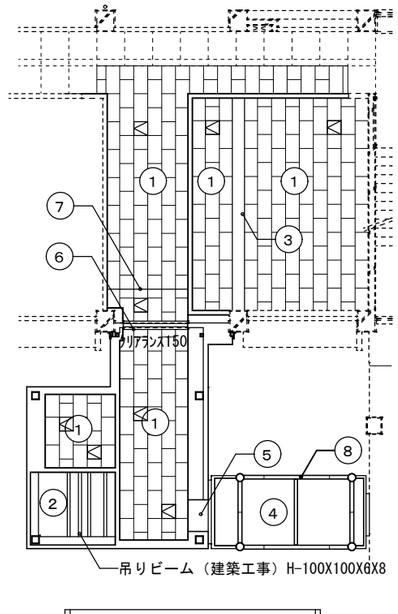
改修１階天井伏図　　１：２００



改修２階天井伏図　　１：２００



改修３階天井伏図　　１：２００



改修４階天井伏図　　１：２００

天井仕上表	
記号	仕上
1	化粧石膏ボード79.5張り（準不燃）
2	吹付硬質ウレタンフォーム　750
3	梁型：下地調整の上　EP-G塗装
4	下地処理の上アクリル系軒天用仕上材（化粧目地切）
5	ｹｲｶﾙ板厚6.0張りの上アクリル系軒天用仕上材
6	アルミ製 EXP.J金物
7	コーナー見切縁：塩ビ製
8	梁：溶融亜鉛ﾒｯｷ処理
⊠	天井点検口 450角 ※天井点検口位置は監督員の指示による。

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	EV棟　各階天井伏図	A1：1/ 100 A3：1/ 200	Ａ－１０１
	鹿児島市建設局建築部建築課		

エレベーター仕様

基本仕様	号機名		NO.1
	型式		機械室レス標準型エレベーター
	用途		乗用兼車いす用
	定格積載質量/定員		750kg/11人乗
	定格速度		45m/min
	運転方式		乗合全自動方式（乗り捨て方式）
	制御方式		インバータ制御方式（マイコン制御）
	停止階		4箇所（1～4 階）
	かご寸法		間口1400mm 奥行1350mm 天井高さ2250mm
	出入口寸法		幅800mm 高さ2100mm
	戸型式		２枚戸中央開き
	電動機		AC 3.5kW
	動力用電源		AC 3φ 210V 60Hz
	照明用電源		AC 1φ 100V 60Hz
	連絡装置 設置場所		同時通話式インターホン 設置場所：（ ）
	監視装置		リモートメンテナンスインターフェース付 （リモートメンテナンスを提供するためには、別途保守契約を していただく必要があります）
管制運転		地震	有り（Ｐ波およびＳ波感知）（リスタート機能付）
		火災	有り（火報と連動した接点による自動式）
		停電	有り
		自家発	無し
乗場仕様	三方枠	1～4階	大枠 ステンレスヘアライン仕上
	乗場戸	1～4階	鋼板塗装仕上
	幕板	1～4階	無し
	敷居	1～4階	ステンレス製
	ホールランタン	1～4階	無し
	インジケーター	1～4階	縦型デジタル表示 カバー：ステンレスヘアライン仕上
	ホールボタン	1～4階	抗菌凸文字ボタン（φ45）（ＳＩＡＡ認証） インジケーターに組込
かご仕様	天井		スタンダード（メーカー標準） （天井照明色：白色）
	前側板		化粧鋼板
	側板		化粧鋼板
	戸		化粧鋼板
	出入口上部		化粧鋼板
	床		樹脂タイル（2T）
	幅木		化粧鋼板（グレイッシュホワイト）
	敷居		ステンレス製
	操作盤	ボタン	抗菌凸文字ボタン（φ33）（ＳＩＡＡ認証）
		カバー	ステンレスヘアライン仕上
	インジケーター		カラー液晶表示（背景色：白）操作盤に組込
	車いす用操作盤	ボタン	抗菌凸文字ボタン（φ33）（ＳＩＡＡ認証）
		カバー	ステンレスヘアライン仕上
	気くばり操作盤	ボタン	無し
		カバー	無し
	鏡		ステンレス製
	ハンドレール		ステンレスパイプ：ステンレスヘアライン仕上（2方向）
監視盤			無し
耐震クラス			A_{14}

特記仕様	NO.1
	昇降機技術基準の解説 2016年版対応
	ピット冠水退避運転（基本仕様）
	音声案内装置付（緊急時4ヵ国語）
	防振対策付
	遮煙性能付乗場戸（大臣認定品）（火災、停電付）（1～4階）
	点字注意銘板付（横型）
	車いす仕様付
	視覚障がい者仕様付（全ての操作盤と乗場ボタンに点字銘板付）
	運転休止スイッチ（1階に取付）
	インジケーターに全階休止灯付
	戸当り目地付（かご戸）（ ひも挟まれ検知機能用）
	フェッシャプレート付
	昇降路内同軸ケーブル付（昇降路外は電気工事）
	車いす呼び戸開き時間延長
	一般呼び戸開き時間延長
	発音式ボタン（かご）
	非常放送・一般放送用スピーカー付（かご天井上）
	スピーカー用アッテネータをかご上に設置
	ひも挟まれ検知機能付（3mm以上のひも検知仕様）
	かご内荷摺り（ステンレスヘアライン仕上，床からH=300mm）
	かご側板保護マット（高さ：床面から1800mm（取付範囲は荷摺り上端から））付
	かご床マット付
	多光軸ドアセンサー（お知らせサイン付）付
	乗り場側利用者検知機能付
	かご戸袋引き込まれ低減機能付
	空気清浄機能付（イオン発生機能同等品）
	戸開き時間延長ボタン付
	かご内操作盤スイッチボックス内の波型スイッチによるサービス切離（各階個別）（1～4階）
	乗場キースイッチによる特定階ホール呼び一時自動登録（各階個別）（1～4階）
	煙感知器点検扉用ドアスイッチ付
	公共建築工事標準仕様書（R4）適用
	４ｍレール使用
	ステンレス材一式：ＳＵＳ３０４
	レールサイズアップ
	可変速機能（最大速度60m/min）
	中間ビーム１列付（ピット部）
	-W-

・三方枠が大枠の場合、枠幅が300mm、幕板高さ1250mm以上を超える時は別途見積りとなります。
・工事使用有：１０日未満（１０日以上使用の場合、また積載量：１０００ｋｇ以上場合は別途見積りとなります）
・エレベーター出入口側の壁がＡＬＣの場合、エレベーター機器と干渉しないよう、
ＡＬＣ留め金具がエレベーターシャフト側へ出張らないよう施工お願いします。

標準型エレベーターの荷役制限について

・軽台車などで荷物を運搬する場合には、250kg以下/回。

遮煙性能付乗場戸設置上の条件

・遮煙性能付乗場戸を設置するためには、自動火災報知設備が必要です。
設置義務の無い建物であっても、必ず設けてください。
・自動火災報知設備の設置義務の無い建物の場合には、遮煙性能付乗場戸設置階の
エレベーターホールに必ず煙感知器などの火災感知器設置し、
火災感知信号を自動火災警報盤を介してエレベーター制御盤に供給してください。

特定防火設備：防犯窓ガラス設置不可（防犯あみ入りガラス窓付きの場合は防火設備となります）

工事区分

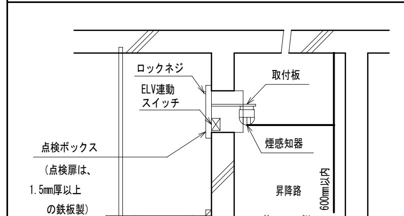
号機名	NO.1					
	項目	工事名	建築	電気	空衛	ELV
昇降路	1	昇降路の築造と誤差修正工事 1）壁または囲いは隙間なきものとする 2）昇降路の壁又は囲い及び出入口の戸は、任意の5cm²の面に これと直角な方向の300Nの力が昇降路外から作用した場合 において15mmを超える変形や塑性変形が発生しないこと 3）コンクリート厚さは150mm以上とする 4）コンクリート基準圧縮強度 21N/mm²以上とする	○			
	2	昇降路内鉄骨構造階の構造耐火処理工事および補修工事	○			
	3	各階出入口まわり壁の穴あけ工事 （出入口、ホールボタン、インジケータ、ホールモニターなど）	○			
	4	エレベーター据付後の出入口壁 および床その他建築仕上及び補修工事	○			
	5	三方枠、インジケータなどと壁間の防火区画処理	○			
	6	三方枠、インジケータなどと壁間のすきま塞ぎ工事 （ふさぎ板またはラス材）				○
	7	ピット内防水仕上工事（ピット仕上面の水平度は1/200以下）	○			
	8	並設されたエレベーターの最下階が異なる場合の ピット間仕切り工事（H=1800以上）	○			
	9	オーバーヘッド・ピット寸法が図面と異なる場合の はつり・埋め戻し工事	○			
	10	ピット点検用タラップまたは梯子の設置工事				○
	11	ピット点検用コンセント設置工事（1ヶ/台）		○		
	12	インターホンならびにその他の機器（放送（一般・非常） 自家発商用電源識別接点・火災時管制用接点・防犯カメラ等）用 配管、配線工事（配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	13	昇降路最上階の受電制御盤への動力電源、照明用電源および アース線の引き込みならびにつなぎ込み工事 （配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	14	監視盤がある場合の監視盤用配管配線工事 （監視盤配置場所より昇降路最上階の制御盤位置まで引き込み）		○		
	15	昇降路頂部の煙感知器の設置工事（昇降路外部から保守点検可能な構造） （点検扉は、厚さ1.5mm以上の鉄板製）		○		
	16	昇降路頂部の煙感知器点検扉ELV連動停止スイッチ取付				○
	17	リモートメンテナンス用として電話中継盤から 昇降路最上階までの配管（最小直径25mm）、配線工事 （配線サイズ、本数は電気設備欄による）		○		
	18	昇降路出入口側内壁（敷居下および出入口上部）とかご前端が 125mm以上離れる場合のフェッシャプレート取付用下地設置工事	○			
	19	昇降路出入口側内壁（敷居下および出入口上部）とかご前端 が125mm以上離れる場合のフェッシャプレート設置工事				○
	20	昇降路内配管工事に伴う区画貫通部の耐火処理工事		○		
	21	昇降路頂部への吊りビーム設置工事	○			
	22	昇降路内の中間ビーム，ファスナープレート，立柱設置工事	○			
	23	レール・三方枠・敷居・ホールボタン・インジケータなどの 固定用鋼材設置工事および誤差是正工事	○			
	24	不停止階の昇降路救出口扉の設置工事（施行令129条の7の1による）	○			
	25	かごドレン式クーラー設置時のピット排水管工事	○			
	26	昇降路内温度が40℃超過の場合のガラリ設置工事	○			
	27	昇降路内温度が40℃超過の場合の換気扇設置工事		○		
	28	昇降路内温度が5℃未満40℃超過の場合の空調設備設置工事			○	
その他	1	エレベーター部品搬入経路の確保 （必要に応じてコンクリートの穴あけおよび埋め戻し工事）	○			
	2	エレベーター重量部品搬入の際の仮設揚重機の貸与	○			
	3	エレベーター据付工事員現場詰所および材料置場の確保	○			
	4	エレベーター据付工事用電力の供給（動力用および照明用電源）	○	○		
	5	エレベーター運転調整用電力の供給 （動力線および照明用電源線はエレベーター着工前までに 本設電源配管経路で引き込み）	○	○		
	6	医療機器、放送用機器、コンピューター機器などの 電源とエレベーター動力用電源およびアース線の系統分離工事		○		
	7	昇降路と居室が隣接する場合の居室側防音および防振工事	○			
	8	昇降路内建築工事仮設床（水平養生）用の 金網・デッキプレートなどの撤去工事	○			
	9	エレベーター着工前の各階出入り口開口部の塞ぎ材支給および施工	○			
	10	出入口が直接外気と接する乗場における雨水よけ工事 （庇、水切り等）	○			
	11	昇降路内仮設足場の設置および解体工事	○			
	12	エレベーター承認図と躯体が異なる場合の手直し	○			
	13	昇降路がガラスの場合の養生施工および塗装工事	○			
	14	ALC継目の補修、コンクリート型枠抑え用セパボルト（Pコン） の撤去	○			
	15	非常用エレベーター全階乗場への避難経路板設置工事	○			
	16	非常用エレベーター乗場水勾配、排水溝、グレーチング施工	○			
	17	監視盤用電源の監視盤までの引き込み工事		○		

電気設備

号機名	NO.1			
動力用電源	AC 3φ 210V 60Hz 5.5mm² ×1回路（CV）/台			
	線サイズ（mm²）	3.5	5.5	8
	最大引込距離（m）	32	51	74
	ＭＣＢ容量	40A/台		
	トランス容量	4kVA/台		
	起動KVA	14kVA/台		
照明用電源	AC 1φ 100V 60Hz 5.5mm² ×1回路/台			
アース線	3.5mm²（D種）/台			
インターホン用配管配線	FCPEV0.9-5P/台（200mまで）			
リモートメンテナンス用配管配線（電話線）	CPEV0.9-1P，配管サイズφ25/台（MDF～昇降路間）			
ピット点検用コンセント	AC100V 1.5kVA以上×1個/台 （最下階FL+200の出入口付近に設置）			
火災報知信号無電圧ａ接点支給及び配管配線	印加電圧DC24V 接点容量1A以上/台			
一般兼非常放送用スピーカー用配管配線	HP1.2-3C/台			
防犯カメラ用配管配線（昇降路外）	同軸ケーブル 5C-2V/台			
注意事項	上記の配管配線はエレベーター制御盤から各設備ならびに機器の設置場所まで引込み 上記の配管配線はエレベーターの着工前までに本設配線で引込み			

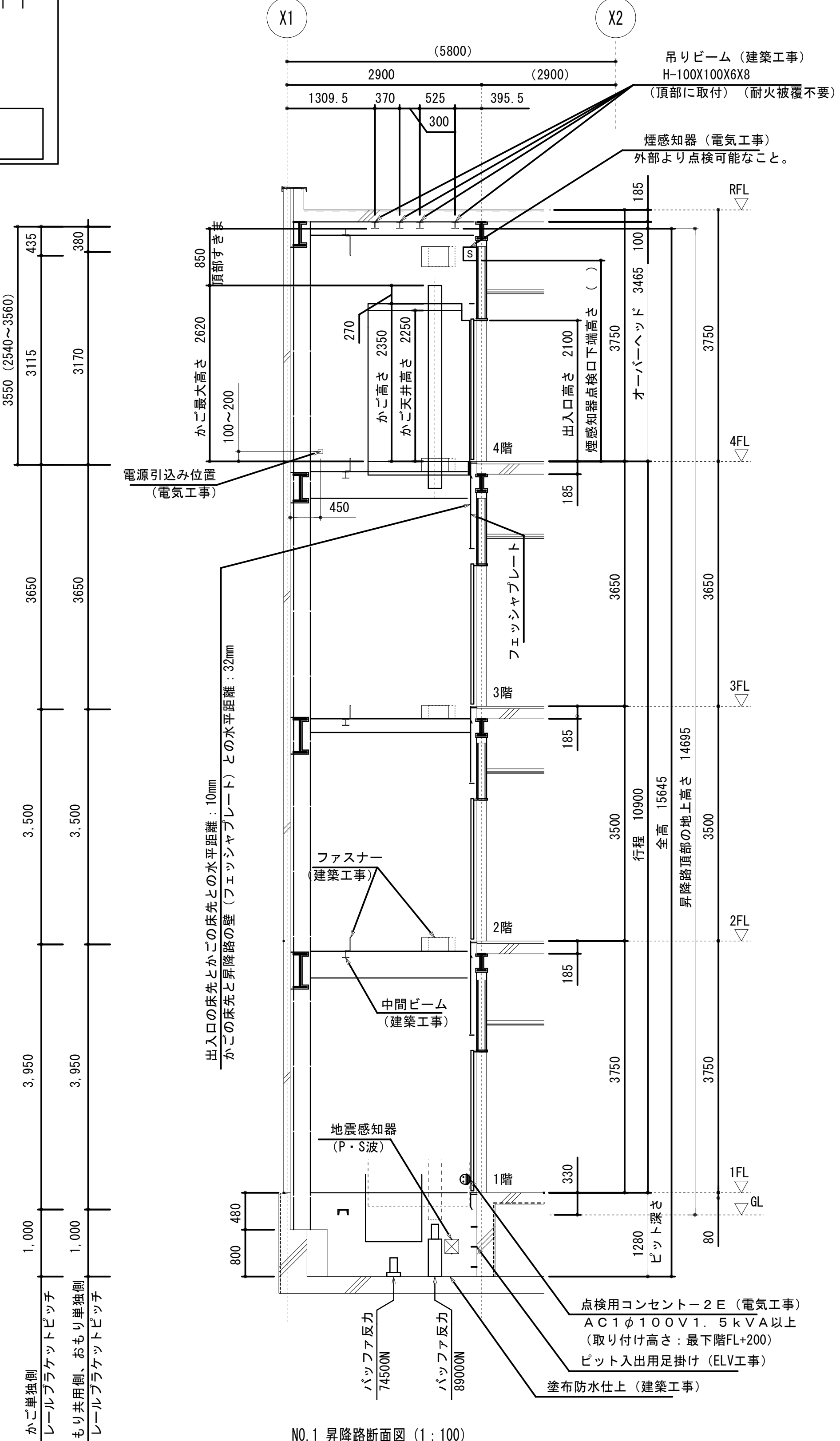
労基法適用（本設用）： 有（設置届・設置報告）・ ㊵無

煙感知器施工例



点検ボックスは下記エレベーター昇降路専用品としてください。
・ホーチキ (KUS-1C)
・能美防災 (FXS J001A-HU)
・ニッタン (NID-T-G)
・パナソニック (BV95351+BV95381H)
（点検扉を開いた場合はエレベーターは停止します。）

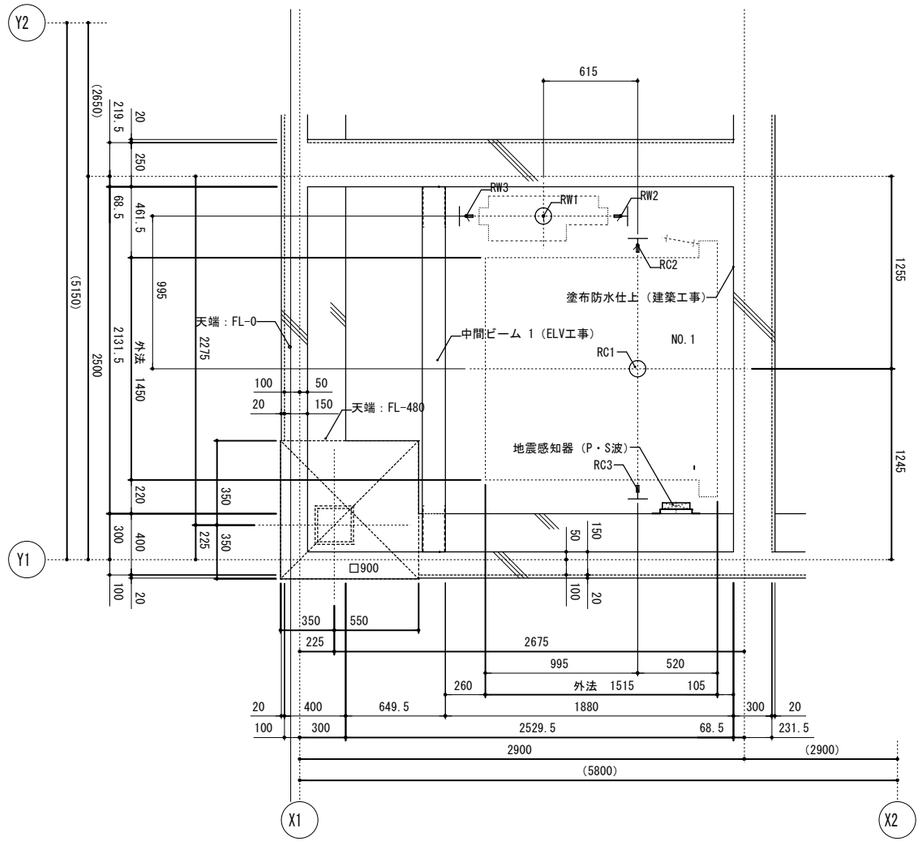
・煙感知器取付高さがかご天井高さ+1800mmを超える場合は当社技術員に
ご相談ください。
・エレベーター出入口側に煙感知器を設置する場合はかご出入口機器と干渉する
恐れがあるので事前にご相談ください。



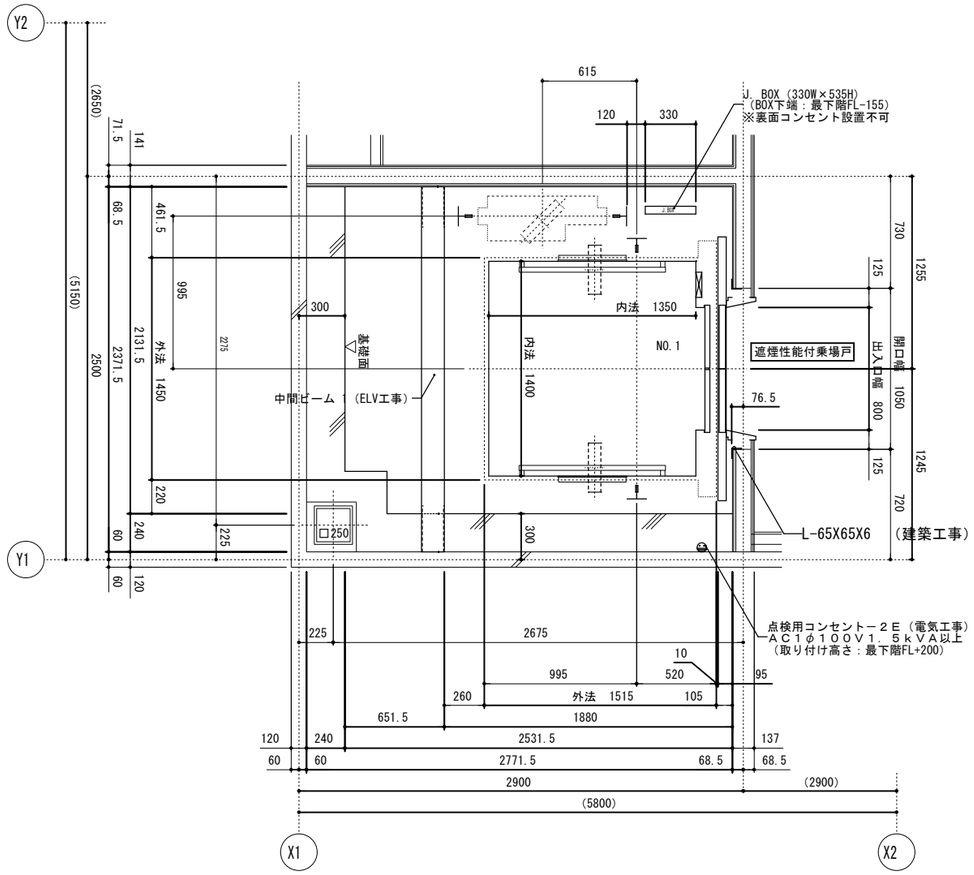
NO.1 昇降路断面図（1：100）

（参考図）

株式会社 武元順壱アトリエサンク 一級建築士 第 231917 号 武元 順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	エレベーター詳細図（１）	A1：1/ 50 A3：1/ 100	Ａ－１０２
	鹿児島市建設局建築部建築課		



ピット平面図（1：40）



1階 昇降路平面図（1：40）

中間ビームリスト	
番号	部　材
1	⊓-150X75X9

ピット反力値（N）

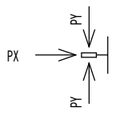
	短期荷重		長期荷重			
号機名	RC1	RW1	RC2	RC3	RW2	RW3
NO.1	89000	74500	8000	28000	42000	32000

コンクリート厚さは150mm以上とする

コンクリート基準圧縮強度21N/mm^{2}以上とする

中間ビームリスト	
番号	部　材
1	⊓-150X75X9

耐震クラス：Ａ１４



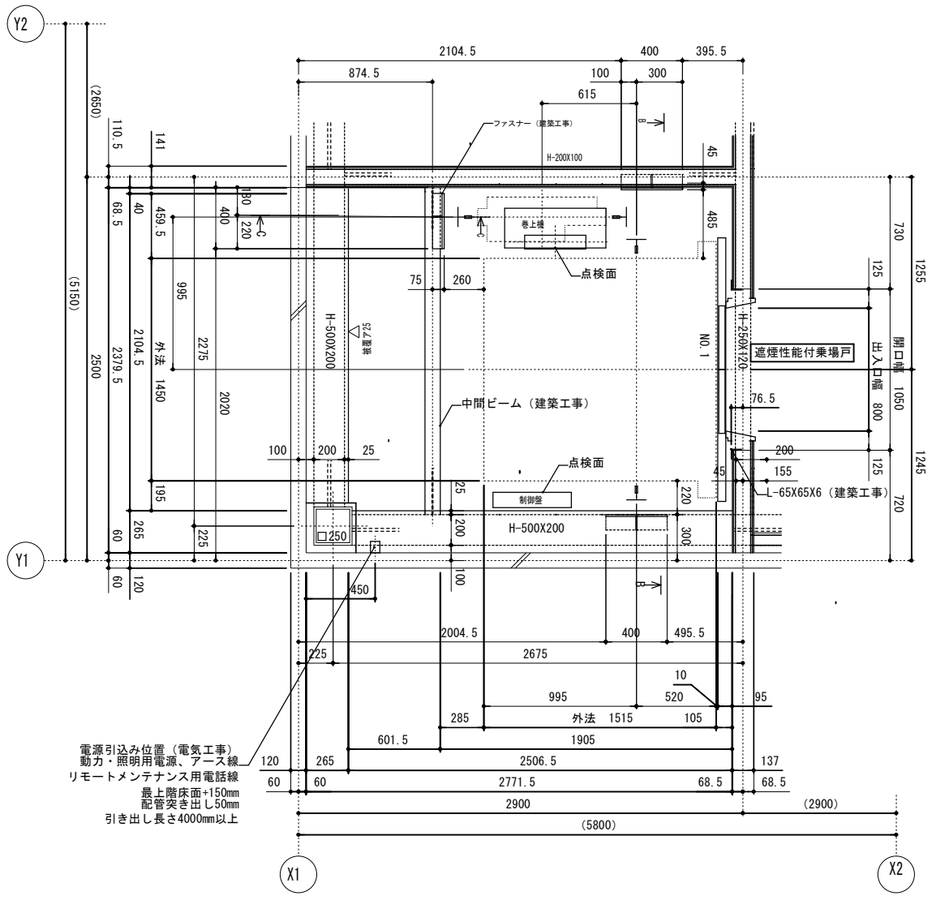
ガイドレール部分荷重（N）	かご側		ウェート側	
	ＰＸ	ＰＹ	ＰＸ	ＰＹ
NO.1	4800	2900	7550	3800

注）　上記荷重により柱及びはりのたわみは
５mm以下になるよう部材を設計のこと

地震時建物に掛る荷重

（ 参考図）

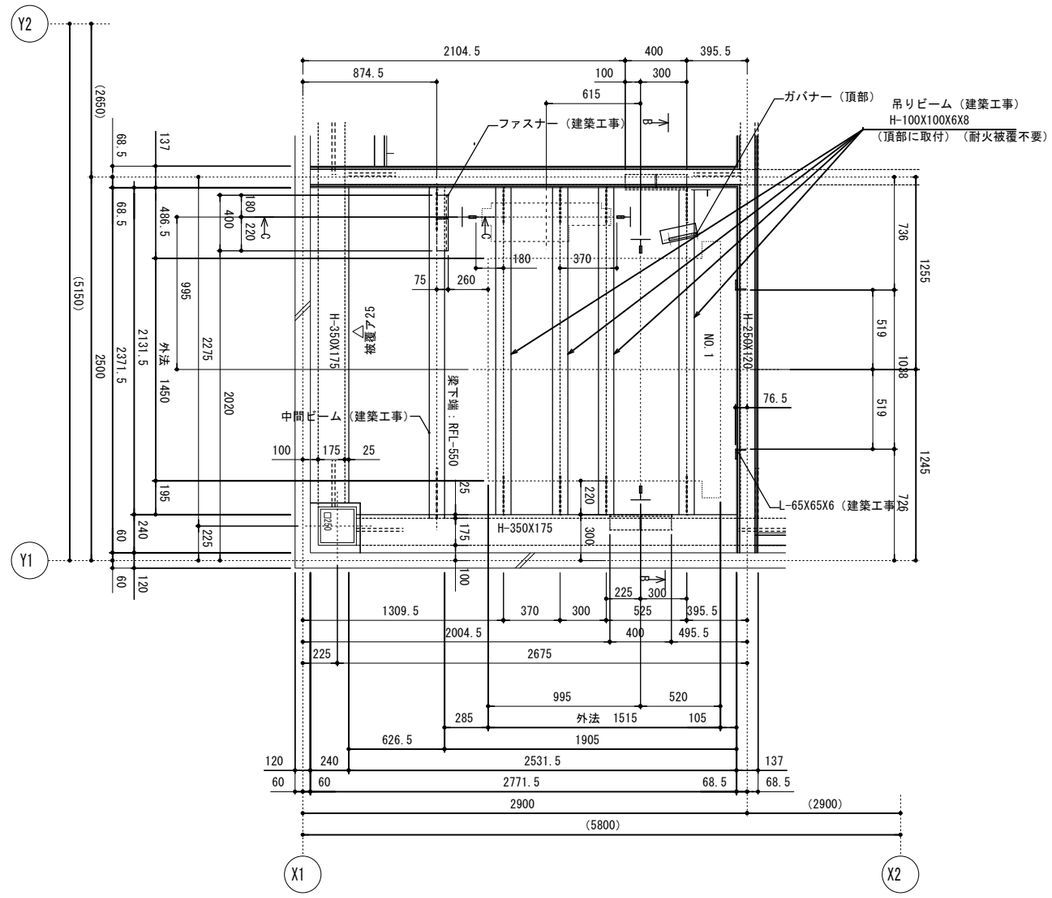
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	エレベーター詳細図（２）	A1：1/ 20 A3：1/ 40	Ａ－１０３
	鹿児島市建設局建築部建築課		



2～4階 昇降路平面図（1：40）

ファスナー12T 、補強リブ9T（建築工事）

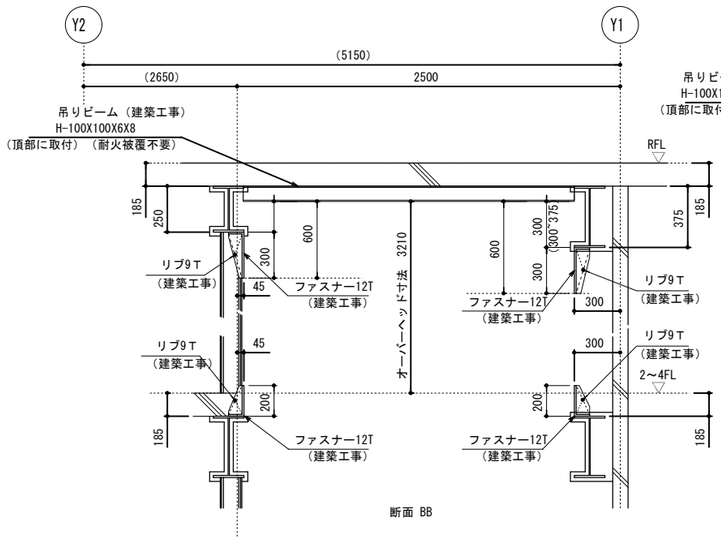
中間ビーム：H-100X100X6X8-1列（建築工事）



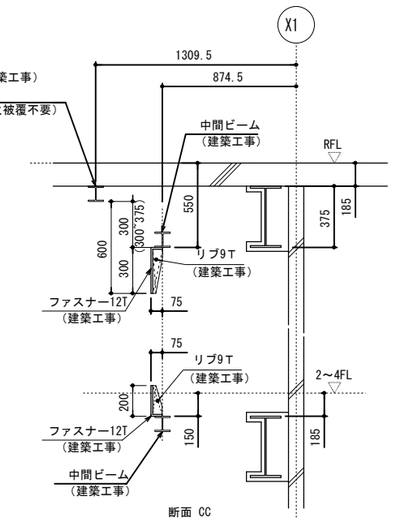
頂部 昇降路平面図（1：40）

ファスナー12T 、補強リブ9T（建築工事）

中間ビーム：H-100X100X6X8-1列（建築工事）



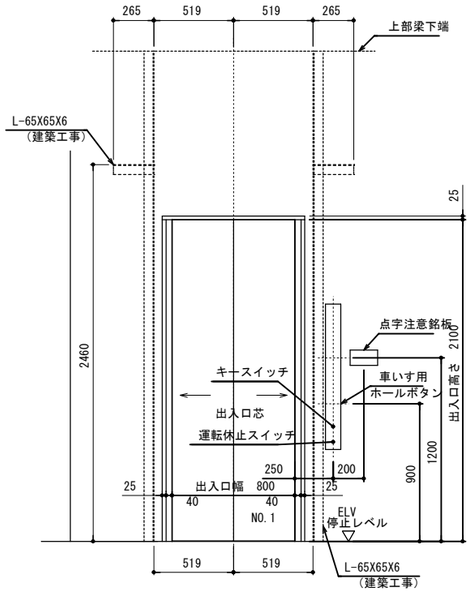
断面 BB

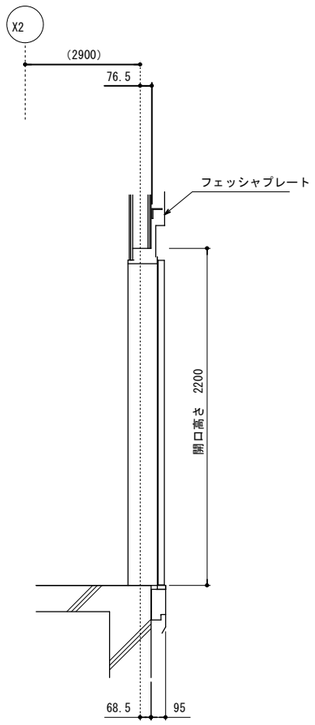


断面 CC

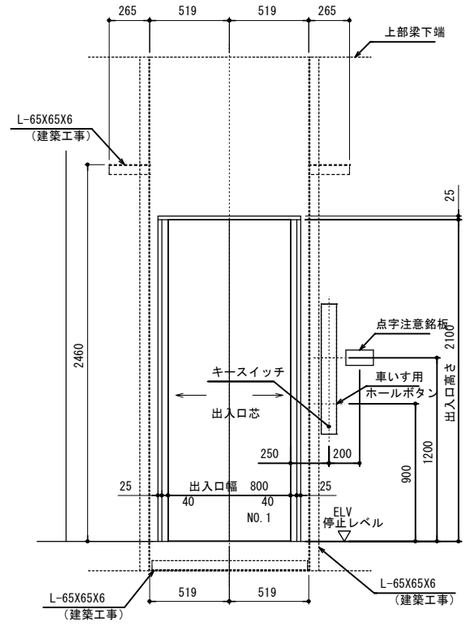
（参考図）

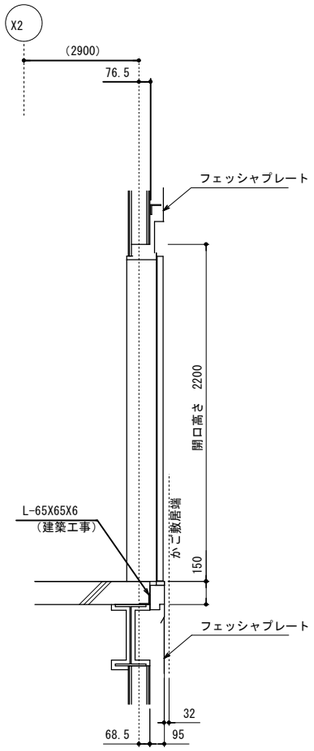
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	エレベーター詳細図（3）	A1：1/ 20 A3：1/ 40	Ａ－１０４
	鹿児島市建設局建築部建築課		





1階 出入口正面及断面図（1：40）

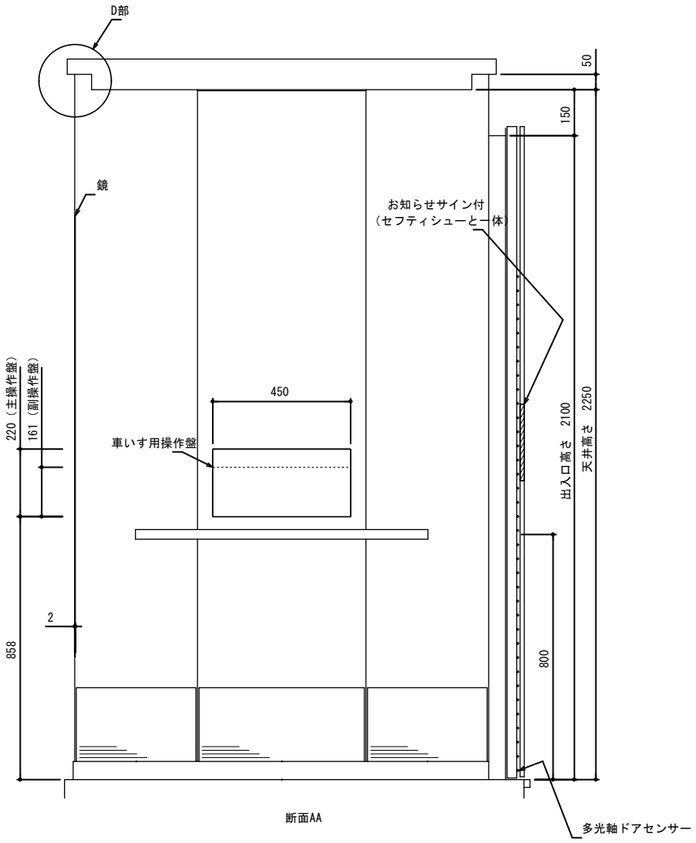




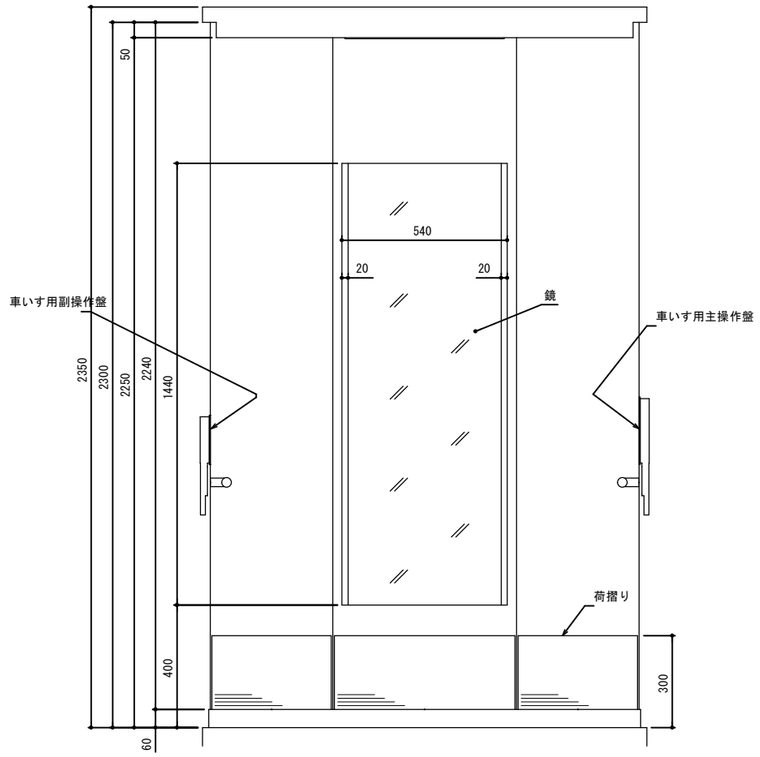
2～4階 出入口正面及断面図（1：40）

（参考図）

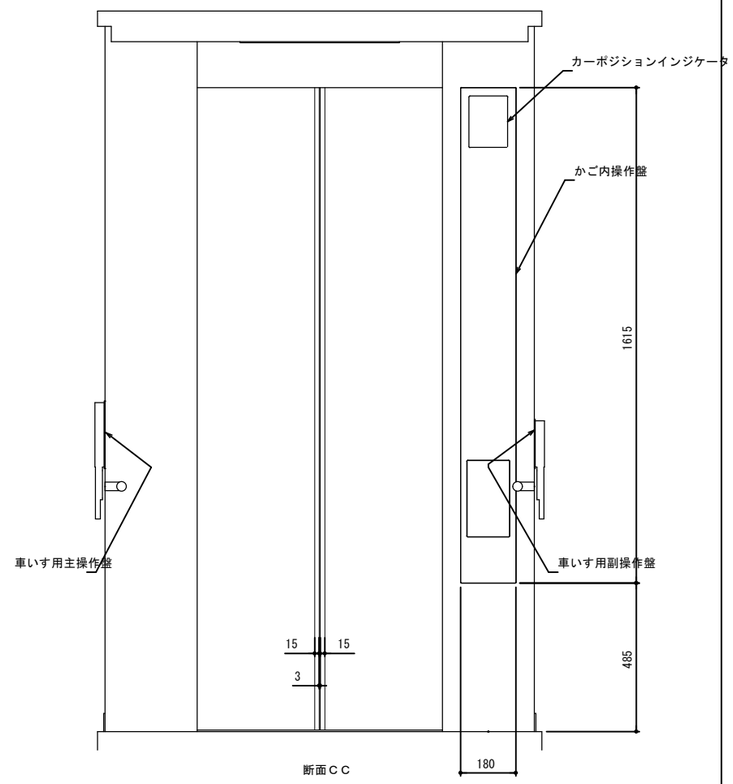
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	エレベーター詳細図（4）	A1：1/ 20 A3：1/ 40	Ａ－１０５
	鹿児島市建設局建築部建築課		



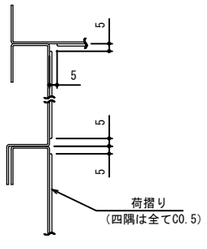
断面AA



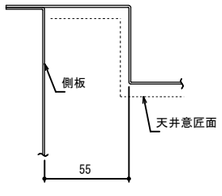
断面BB



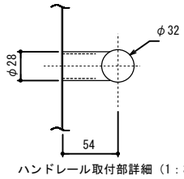
断面ＣＣ



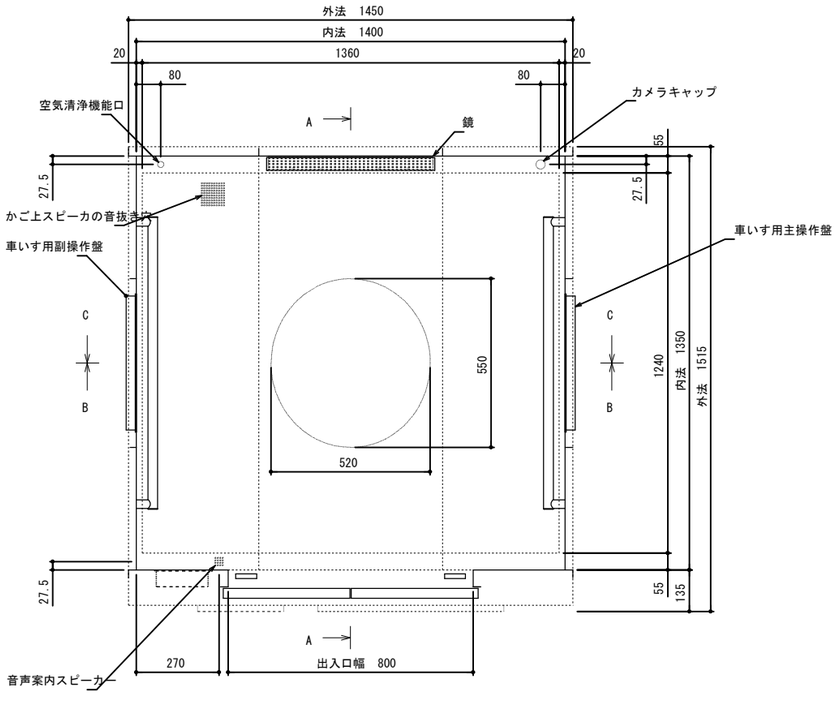
側板コーナー及び中間継目詳細（1：2）



D部詳細（1：2）



ハンドレール取付部詳細（1：3）

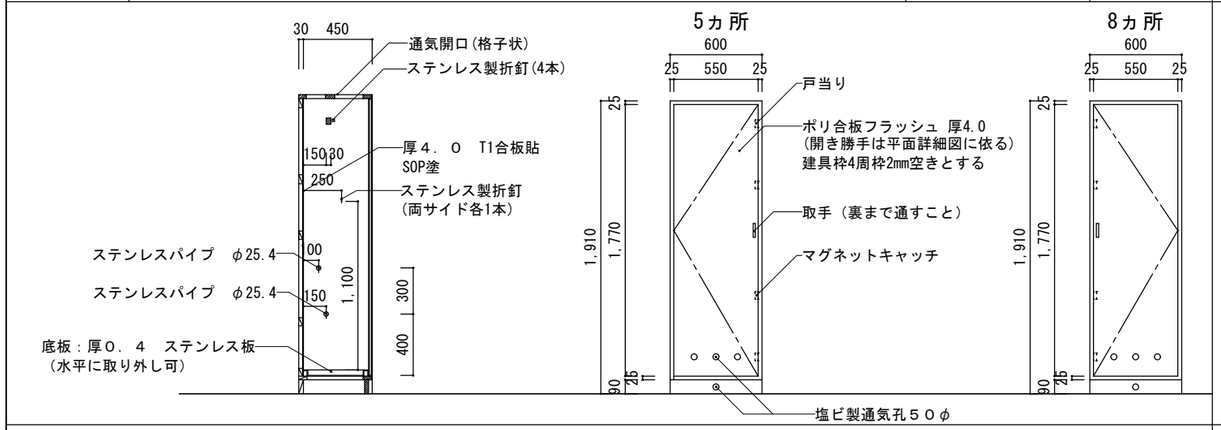


品　名	仕　様
前側板，出入口上部枠	化粧鋼板
幅　木	化粧鋼板（グレイッシュホワイト）
側板，戸	化粧鋼板
天井	化粧鋼板
照　明	乳白色アクリルカバーLED照明 （天井照明色：白色）
停電灯	LED
換　気	ファン
床	樹脂タイル（2T）
敷　居	ステンレス製
鏡	ステンレス鏡面（両脇ヘアライン仕上）
ハンドレール	ステンレスパイプ（ヘアライン仕上）
光電装置	多光軸ドアセンサー（お知らせサイン付）
天井換気ルーバー， カメラキャップ	ABS樹脂
荷摺り	ステンレスヘアライン仕上（床から300mm）
付属品	車いす仕様付，視覚障がい者仕様付
	ひも挟まれ検知機能付（3mm以上のひも検知仕様） （かご戸当り部にステンレスフォーミング目地付）
	乗り場側利用者検知機能付　，かご戸袋引き込まれ低減機能付
	空気清浄機能付（イオン発生機能同等品）　，音声案内装置付
	非常放送・一般放送用スピーカー付
	かご側板保護マット付，かご床マット付

（参考図）

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	エレベーター詳細図（５）	A1：1/ 20 A3：1/ 40	Ａ－１０６
	鹿児島市建設局建築部建築課		

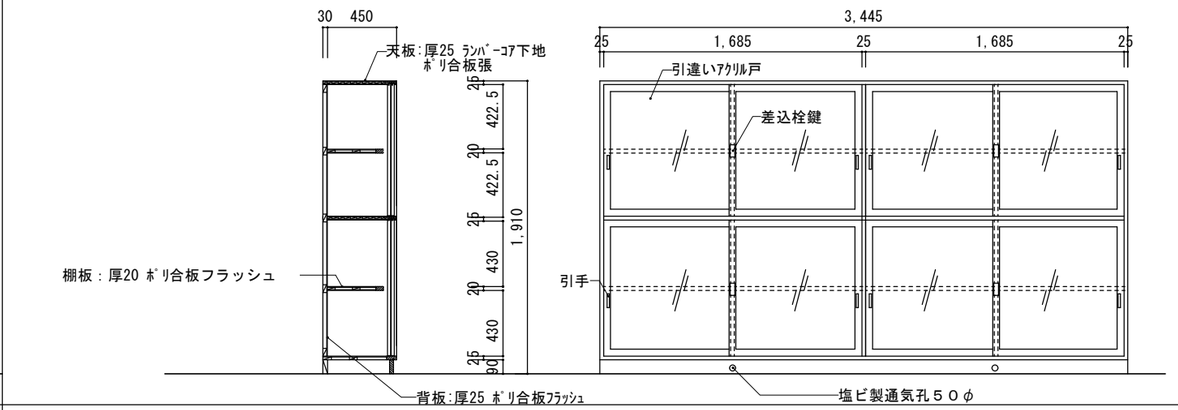
Ｉ－１　掃除具入：技術室･美術室･理科室･家庭科室･音楽室・各準備室　Ｓ＝１：４０　13ヵ所



取手(裏まで貫通)、丁番(3個)、マグネットキャッチ(2ヵ所、金属ケース)、アームストッパー(扉側貫通ボルト止め)

φ25.4 ｽﾃﾝﾚｽﾊﾟｲﾌﾟ(SUS304 2ヵ所)、ｽﾃﾝﾚｽ製折釘(2ヵ所、金属ｹｰｽ入)、座板：厚0.4ｽﾃﾝﾚｽ板(取外し可)

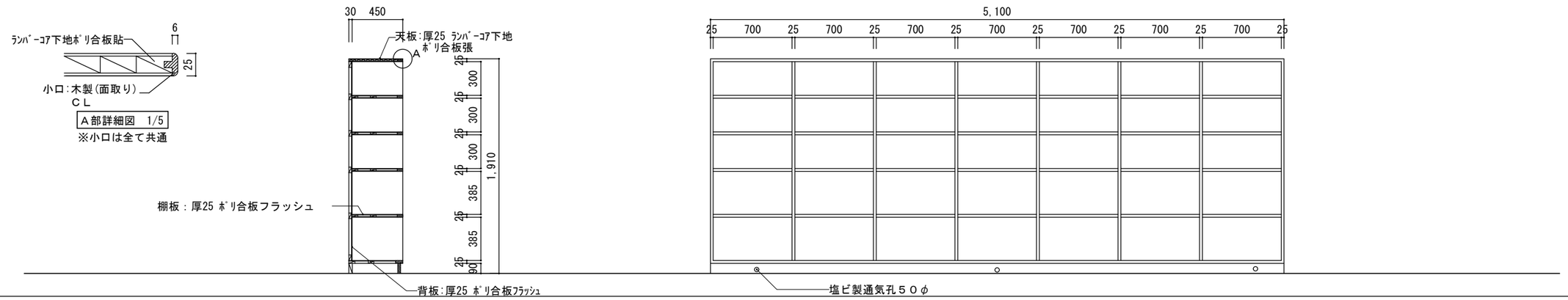
Ｉ－２　収納棚：美術準備室　Ｓ＝１：４０　１ヶ所



引違ｱｸﾘﾙ戸：見込24mm、引手、戸車、ｱﾙﾐﾚｰﾙ、φ12ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾎﾞ、差込栓鍵

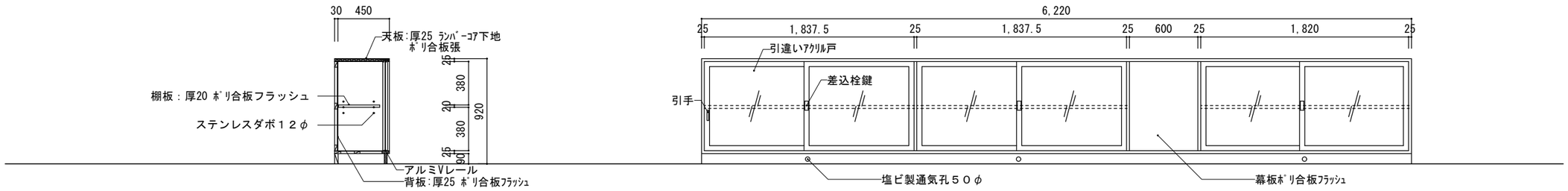
見え掛かり木部はすべてＣＬ塗装とする

Ｉ－３　収納棚：技術準備室　Ｓ＝１：４０　１ヶ所



見え掛かり木部はすべてＣＬ塗装とする

Ｉ－４　収納棚：技術室　Ｓ＝１：４０　１ヶ所

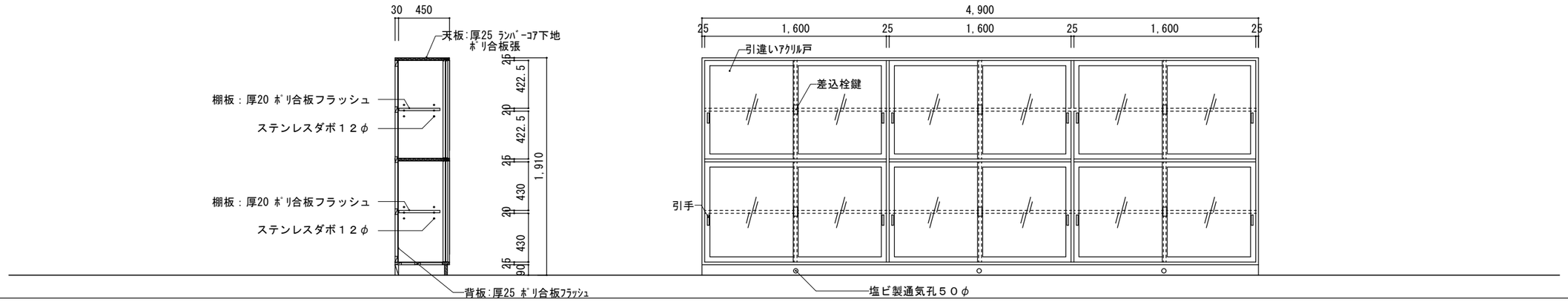


引違ｱｸﾘﾙ戸：見込24mm、引手、戸車、ｱﾙﾐﾚｰﾙ、φ12ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾎﾞ、差込栓鍵

見え掛かり木部はすべてＣＬ塗装とする

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	家具詳細図-1	A1：1/ 2.5.20 A3：1/ 5.40	Ａ－１０７
	鹿児島市建設局建築部建築課		

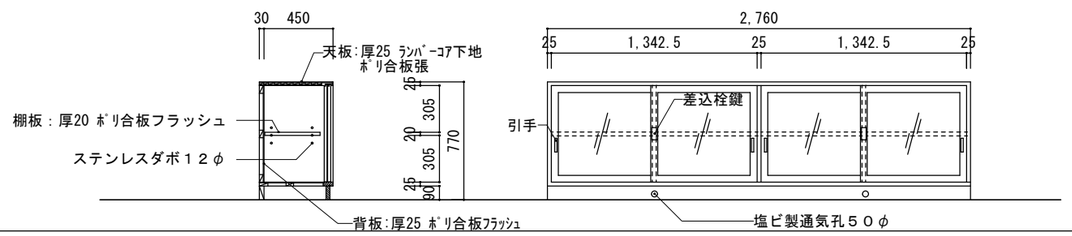
Ｉ－５	収納棚：第１理科室	Ｓ＝１：４０	１ヶ所



引違ｱｸﾘﾙ戸：見込24mm、引手、戸車、ｱﾙﾐﾚｰﾙ、φ12ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾎﾞ、差込栓鍵

見え掛かり木部はすべてＣＬ塗装とする

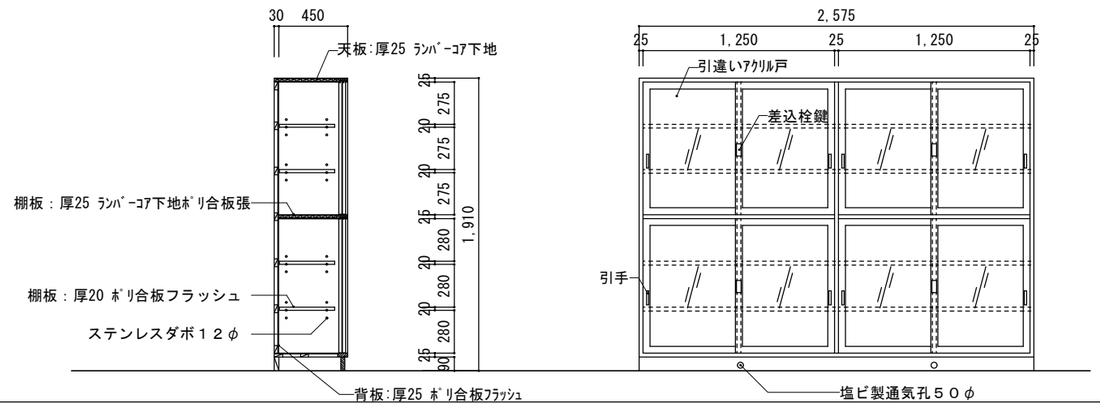
Ｉ－６	収納棚：理科準備室	Ｓ＝１：４０	１ヶ所



引違ｱｸﾘﾙ戸：見込24mm、引手、戸車、ｱﾙﾐﾚｰﾙ、φ12ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾎﾞ、差込栓鍵

見え掛かり木部はすべてＣＬ塗装とする

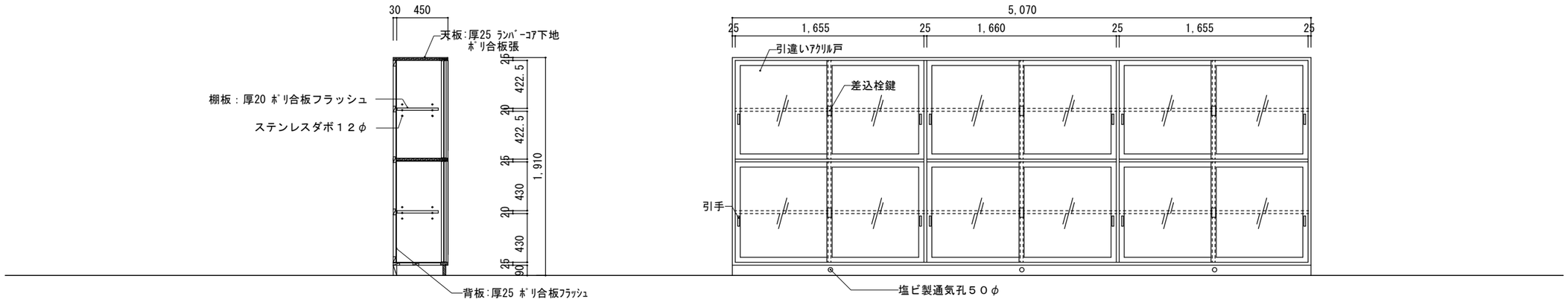
Ｉ－７	収納棚：理科準備室	Ｓ＝１：４０	１ヶ所



引違ｱｸﾘﾙ戸：見込24mm、引手、戸車、ｱﾙﾐﾚｰﾙ、φ12ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾎﾞ、差込栓鍵

見え掛かり木部はすべてＣＬ塗装とする

Ｉ－８	収納棚：第２理科室・美術室	Ｓ＝１：４０	２ヶ所

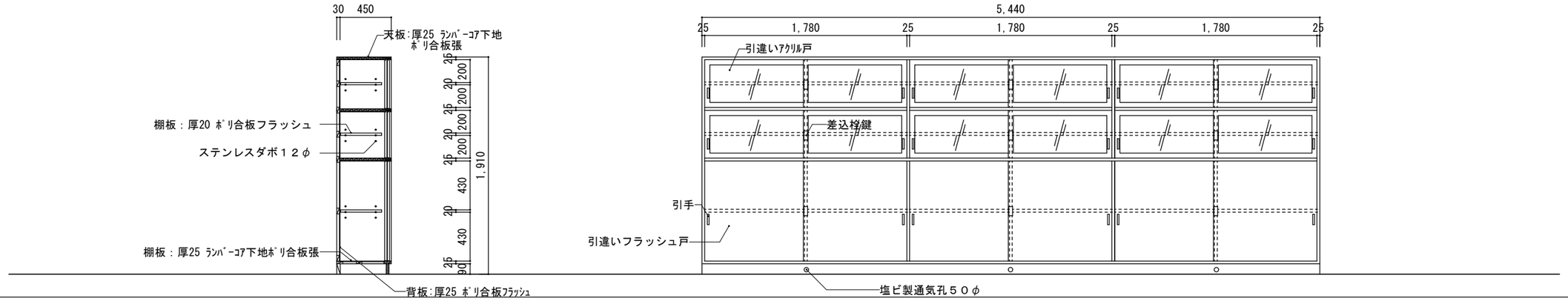


引違いｱｸﾘﾙ戸：見込24mm、引手、戸車、ｱﾙﾐﾚｰﾙ、φ12ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾎﾞ、差込栓鍵

見え掛かり木部はすべてＣＬ塗装とする

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事
	家具詳細図-2　A1：1/ 20　A3：1/ 40　Ａ－１０８
	鹿児島市建設局建築部建築課

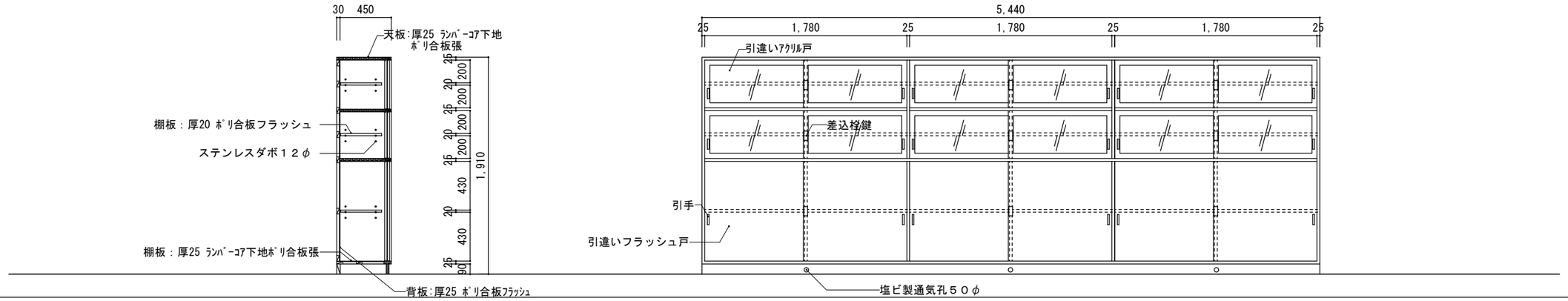
Ｉ－９	収納棚：家庭科室(被服)	Ｓ＝１：４０	１ヶ所



引違ﾌﾗｯｼｭ戸･ｱｸﾘﾙ戸：見込24mm、引手、戸車、ｱﾙﾐﾚｰﾙ、φ12ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾎﾞ、差込栓鍵

見え掛かり木部はすべてＣＬ塗装とする

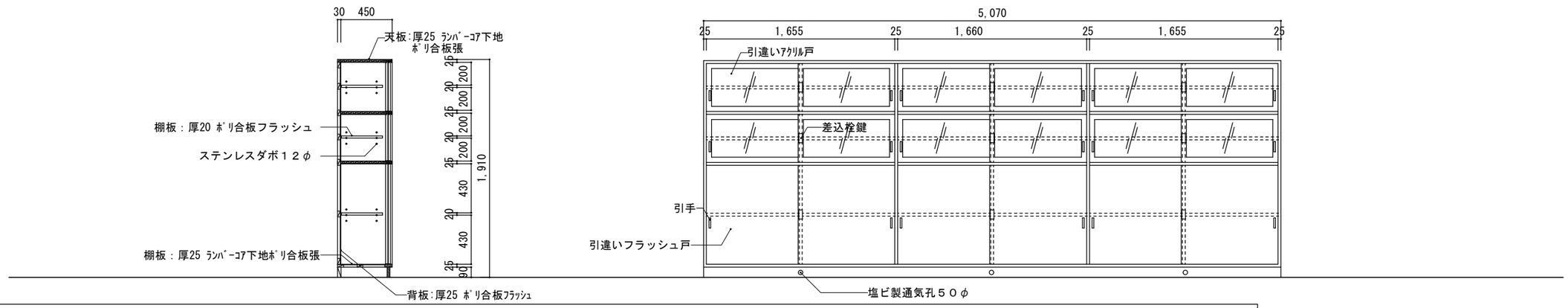
Ｉ－１０	収納棚：家庭科準備室	Ｓ＝１：４０	１ヶ所



引違ﾌﾗｯｼｭ戸･ｱｸﾘﾙ戸：見込24mm、引手、戸車、ｱﾙﾐﾚｰﾙ、φ12ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾎﾞ、差込栓鍵

見え掛かり木部はすべてＣＬ塗装とする

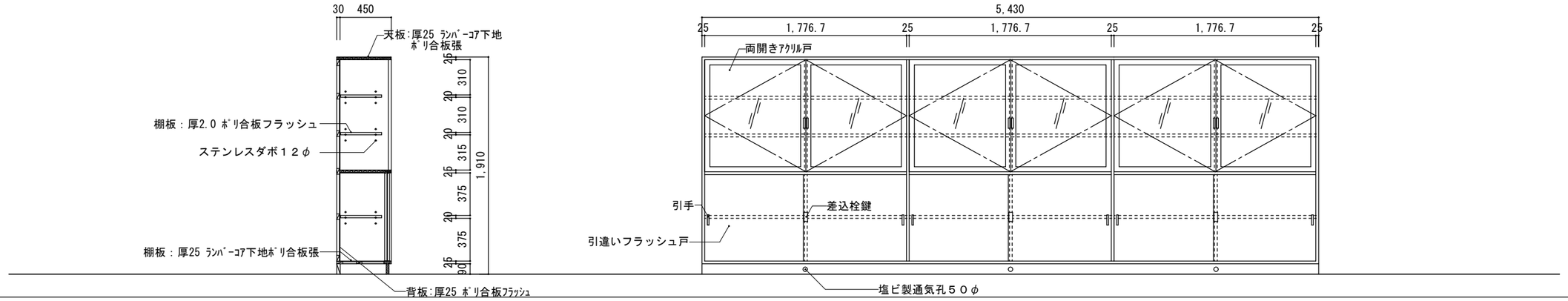
Ｉ－１１	収納棚：家庭科室(調理)	Ｓ＝１：４０	１ヶ所



引違ﾌﾗｯｼｭ戸･ｱｸﾘﾙ戸：見込24mm、引手、戸車、ｱﾙﾐﾚｰﾙ、φ12ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾎﾞ、差込栓鍵

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	家具詳細図-3	A1：1/ 20 A3：1/ 40	Ａ－１０９
	鹿児島市建設局建築部建築課		

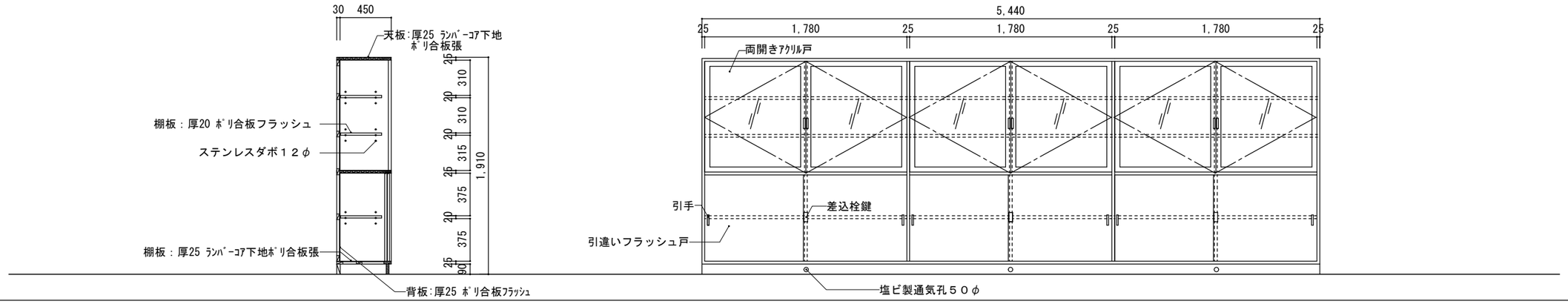
Ｉ－１２	収納棚：第１音楽室	Ｓ＝１：４０	１ヶ所



両開きｱｸﾘﾙ戸：見込24、取手(裏まで貫通)、丁番(2個)、ﾏｸﾞﾈｯﾄｷｬｯﾁ(金属ケース)、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ(扉側貫通ﾎﾞﾙﾄ止め)、　引違ﾌﾗｯｼｭ戸：見込24mm、引手、戸車、ｱﾙﾐﾚｰﾙ、φ12ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾎﾞ、差込栓鍵

見え掛かり木部はすべてＣＬ塗装とする

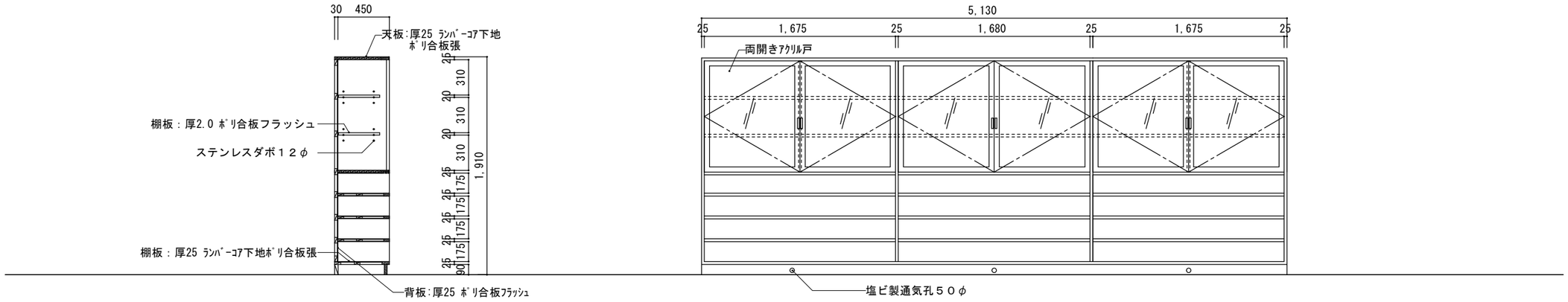
Ｉ－１３	収納棚：音楽準備室	Ｓ＝１：４０	１ヶ所



両開きｱｸﾘﾙ戸：見込24、取手(裏まで貫通)、丁番(2個)、ﾏｸﾞﾈｯﾄｷｬｯﾁ(金属ケース)、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ(扉側貫通ﾎﾞﾙﾄ止め)、　引違ﾌﾗｯｼｭ戸：見込24mm、引手、戸車、ｱﾙﾐﾚｰﾙ、φ12ｽﾃﾝﾚｽﾀﾞﾎﾞ、差込栓鍵

見え掛かり木部はすべてＣＬ塗装とする

Ｉ－１４	収納棚：第２音楽室	Ｓ＝１：４０	１ヶ所

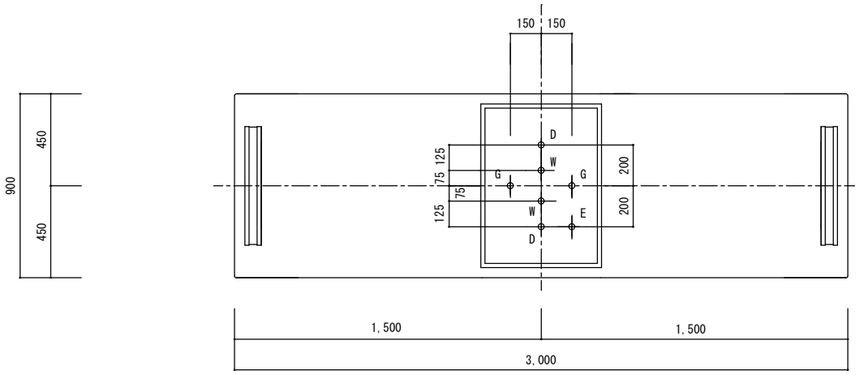


両開きｱｸﾘﾙ戸：見込24、取手(裏まで貫通)、丁番(2個)、ﾏｸﾞﾈｯﾄｷｬｯﾁ(金属ケース)、ｱｰﾑｽﾄｯﾊﾟｰ(扉側貫通ﾎﾞﾙﾄ止め)、

見え掛かり木部はすべてＣＬ塗装とする

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	家具詳細図-4	A1：1/ 20 A3：1/ 40	Ａ－１１０
	鹿児島市建設局建築部建築課		

Ｊ－１	実験台：第１理科室･第２理科室　（参考図）	Ｓ＝１：20・30	１２ヶ所



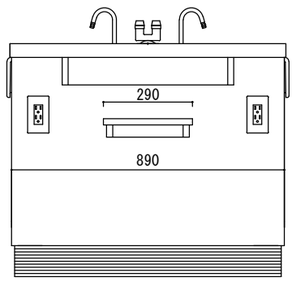
配管立ち上り平面図　S1/30

記　号	名　称
D	排　水
W	給　水
E	電　気
G	ガ　ス

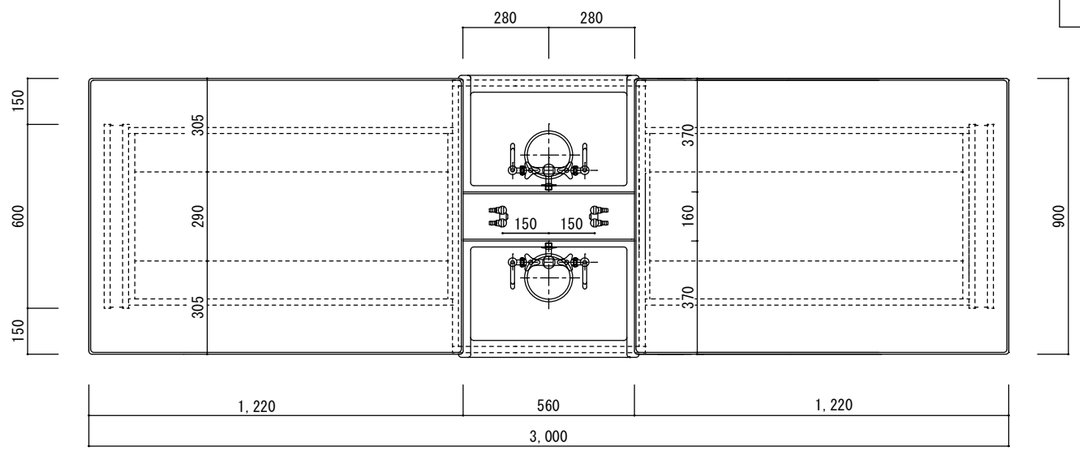
※　立ち上りは、FL60mm以内でプラグ止め
給水･排水・ガス・電気の床上から器具までの接続工事及び、
地板の穴あけ工事等は、設備工事にて施工。

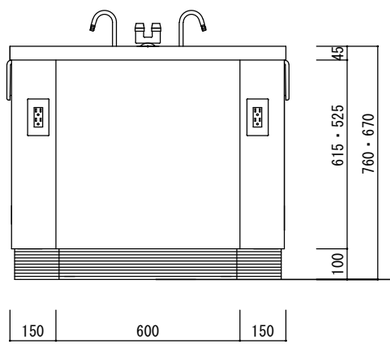
寸　法	3000W×900D×760・670H	
天　板	ケミプロ　t 45	
	芯材：下地材は、フラッシュ構造とし、ハニカム構造芯を使用	
	すること。	
	エッジ：ポリプロピレン製　R加工	
主　材	両面メラミン化粧パーティクルボード	
	木口：樹脂エッジ　ホットメルト加工	
棚　板	両面メラミン化粧パーティクルボード	
	木口：樹脂エッジ　ホットメルト加工	
台　輪	黒ウレタン塗装	
附属品	折りたたみ化学水栓	2
	陶器流し	2
	ＡＣコンセント（アース付）	4
	ガスコック（都市ガスの場合は付属しない）	2
	天板フタ(メラミン化粧板)	2

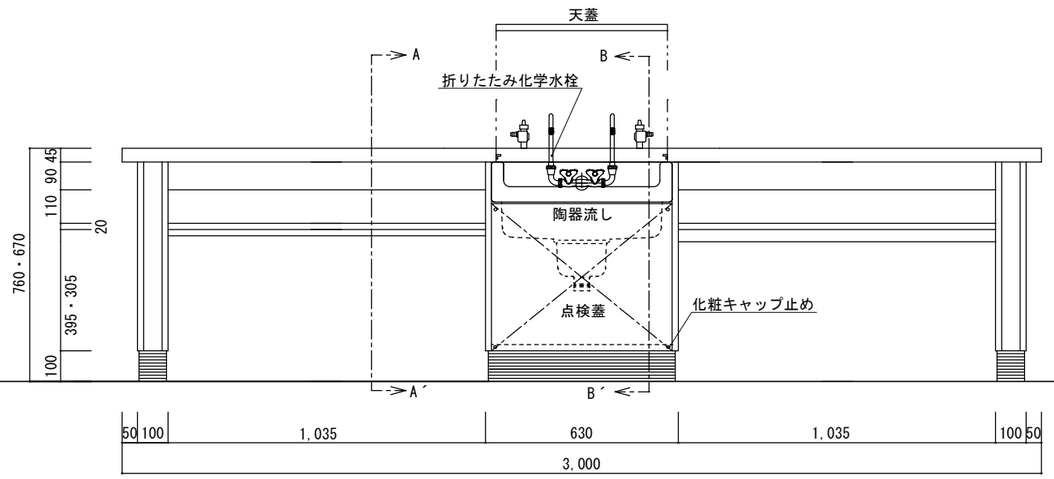
製作に使用する材料・塗料・接着剤は、F☆☆☆☆適合商品とする。

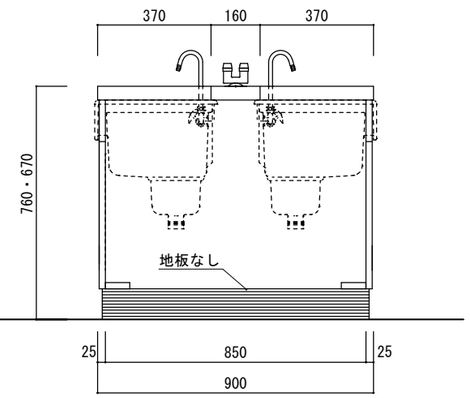


A-A断面図







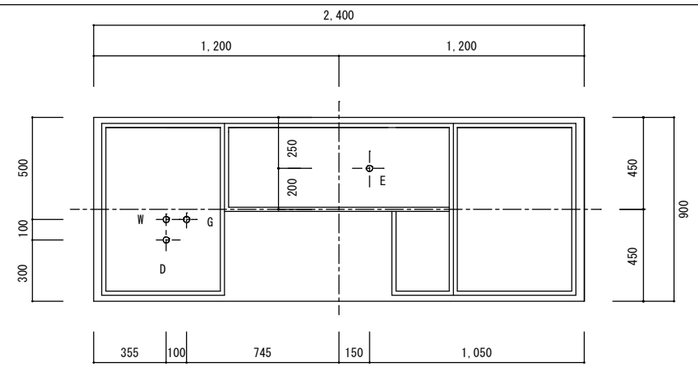


断面図B-B´

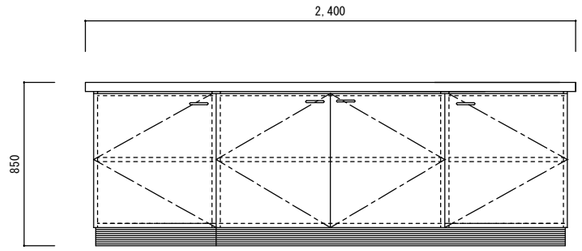
（参考図）

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	家具詳細図-5	A1：1/ 10･15 A3：1/ 20･30	Ａ－１１１
	鹿児島市建設局建築部建築課		

J－2	教師用実験台：第１理科室･第２理科室　（参考図）	Ｓ＝１：20・30	２ヶ所



配管立ち上がり図　1：30



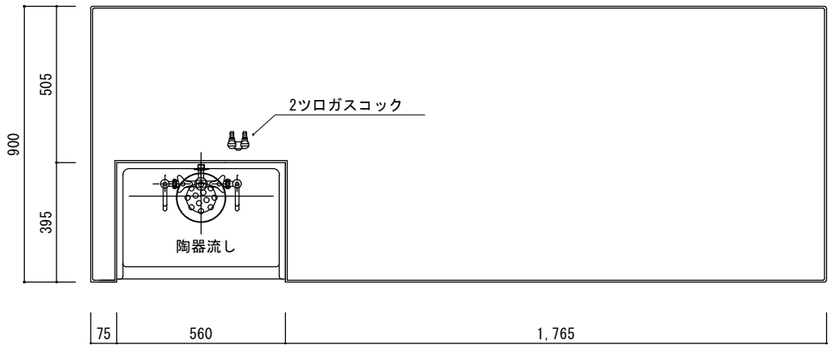
生徒側

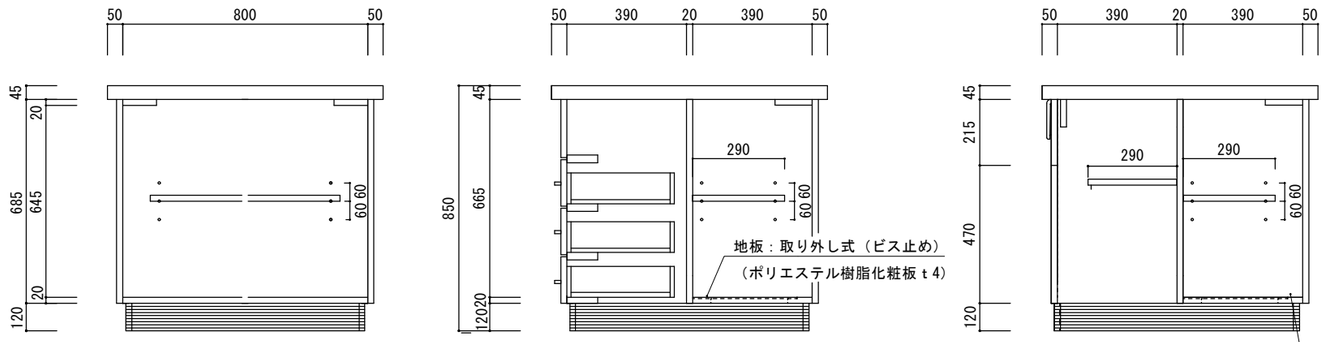
※　立ち上りは、FL60mm以内でプラグ止め
給水･排水・ガス・電気の床上から器具までの接続工事及び、
地板の穴あけ工事等は、設備工事にて施工。

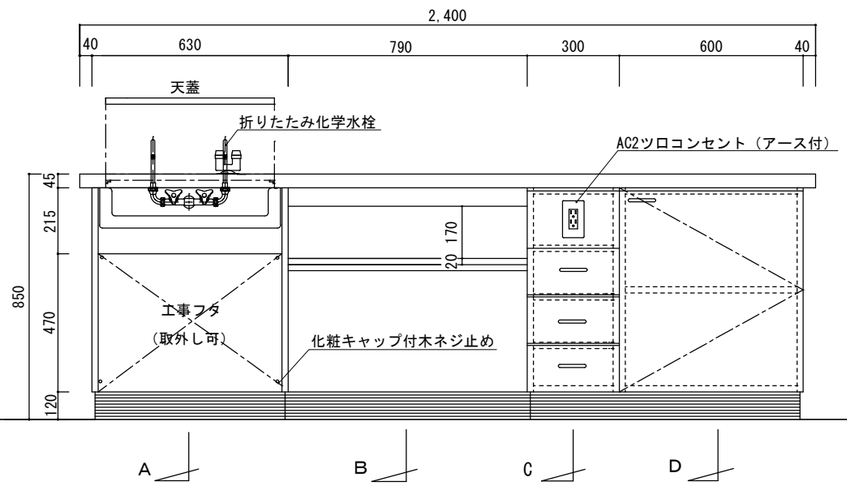
記　号	名　称
D	排　水
W	給　水
E	電　気
G	ガ　ス

寸　法	2400W×900D×850H	
天　板	ケミプロ　t 45	
	芯材：下地材は、フラッシュ構造とし、ハニカム構造芯を使用	
	すること。	
	エッジ：ポリプロピレン製　R加工	
主　材	両面化粧メラミン化粧パーティクルボード	
	木口：樹脂エッジ ホットメルト加工	
棚　板	両面化粧メラミン化粧パーティクルボード	
	棚受けダボ9φ　可動ピッチ60mm　2段	
抽　斗	抽斗前板：低圧両面メラミン化粧パーチクルボード	
	木口：樹脂ﾌﾗｯﾄエッジ　ホットメルト加工	
	側板・向板：ｵﾚﾌｨﾝ系化粧合板仕上　12mm	
	底板：ｵﾚﾌｨﾝ系化粧合板仕上げ	
	抽斗レール：スチール製スライドローラー式ストッパー構造	
開　戸	両面化粧メラミン化粧パーティクルボード	
	木口：樹脂ﾌﾗｯﾄエッジ　ホットメルト加工	
	蝶番：ワンタッチスライド蝶番	
台　輪	黒ウレタン塗装	
附属品	折りたたみ化学水栓	1
	陶器流し	1
	ＡＣコンセント（アース付）	1
	ガスコック（都市ガスの場合は付属しない）	1
	天板フタ(メラミン化粧板)	1

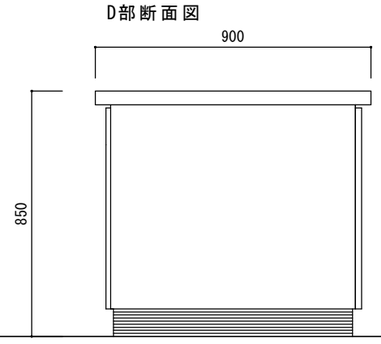
製作に使用する材料・塗料・接着剤は、F☆☆☆☆適合商品とする。

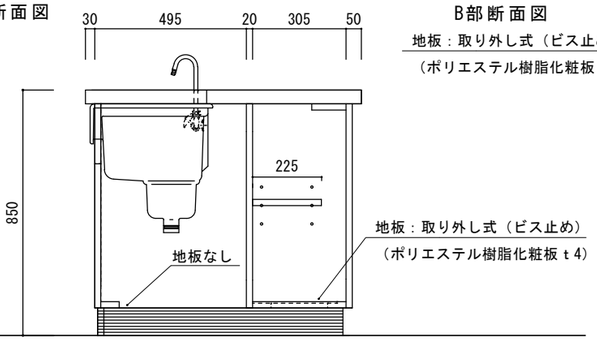






教師側



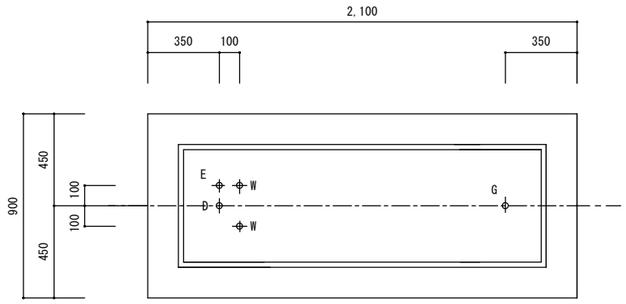


A部断面図

（参考図）

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	家具詳細図-6	A1：1/ 10･15 A3：1/ 20･30	Ａ－１１２
	鹿児島市建設局建築部建築課		

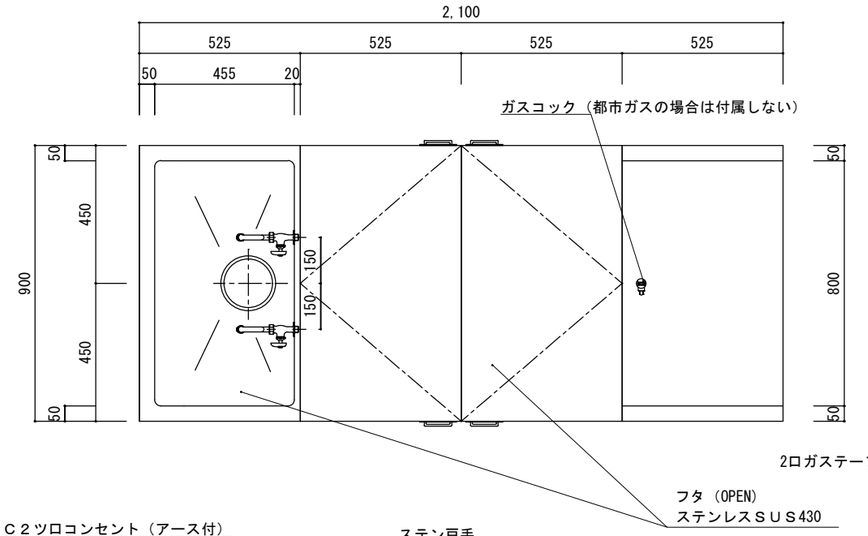
Ｊ－３	調理台：家庭科室(調理)　（参考図）	Ｓ＝１：20・30	８ヶ所



配管立ち上り平面図　S1/30

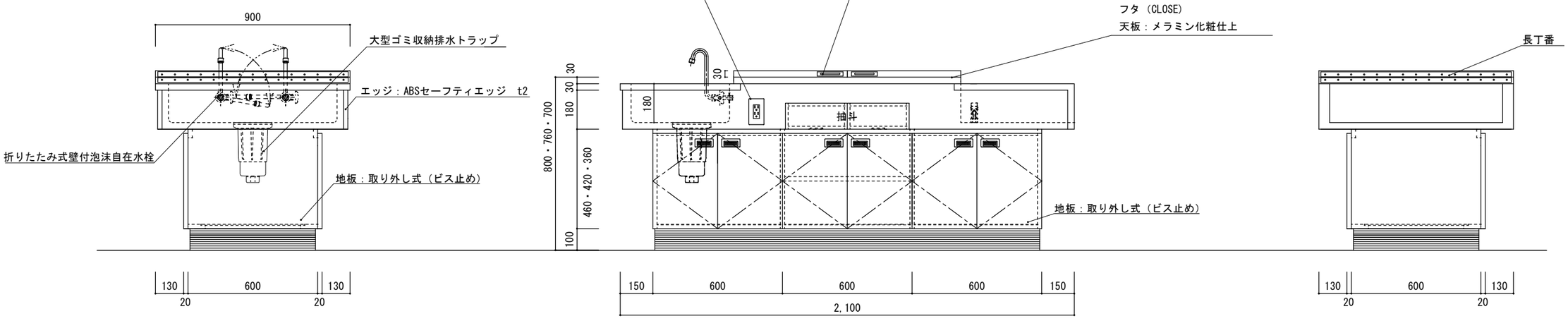
記　号	名　称
D	排　水
W	給　水
E	電　気
G	ガ　ス

※　立ち上りは、FL60mm以内でプラグ止め
給水･排水・ガス・電気の床上から器具までの接続工事及び、
地板の穴あけ工事等は、設備工事にて施工。



寸　法	2100W*900Ｄ*800・760・700Ｈ	
天　板	ステンレスＳＵＳ430t1.0　フタ（OPEN）	
	メラミン化粧仕上（アイボリー）フタ（CLOSE）	
本　体	両面メラミン化粧パーティクルボード	
	木口：樹脂エッジ　ホットメルト加工	
抽　斗	両面メラミン化粧パーティクルボード	
	木口：樹脂エッジ　ホットメルト加工	
	側板・向板：オレフィン系化粧合板仕上　12mm	
	底板：オレフィン系樹脂化粧合板仕上げ	
開　戸	両面メラミン化粧パーティクルボード	
	木口：樹脂エッジ　ホットメルト加工	
	蝶番：ワンタッチスライド蝶番	
	引手：通気孔付ABS掘り込み引手	
台　輪	黒ウレタン塗装	
付属品	2ッロガステーブル	1
	折りたたみ式壁付泡沫自在水栓	2
	ガスコック（都市ガスの場合は付属しない）	1
	ＡＣコンセント（アース付）	2
	大型ゴミ収納排水トラップ	1

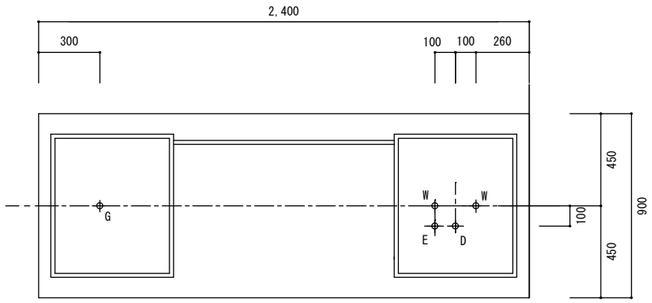
製作に使用する材料・塗料・接着剤は、F☆☆☆☆適合商品とする。



（参考図）

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	家具詳細図-7	A1：1/ 10･15 A3：1/ 20･30	Ａ－１１３
	鹿児島市建設局建築部建築課		

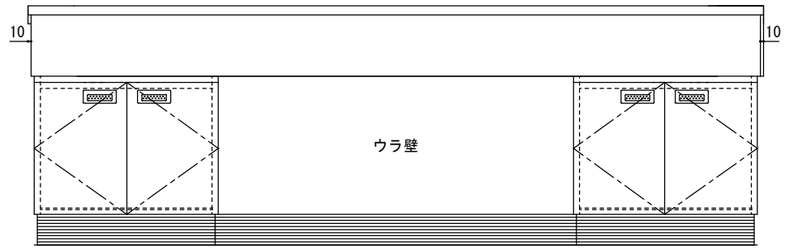
Ｊ－４	教師用調理台：家庭科室(調理)　(参考図)	Ｓ＝１：20・30	１ヶ所



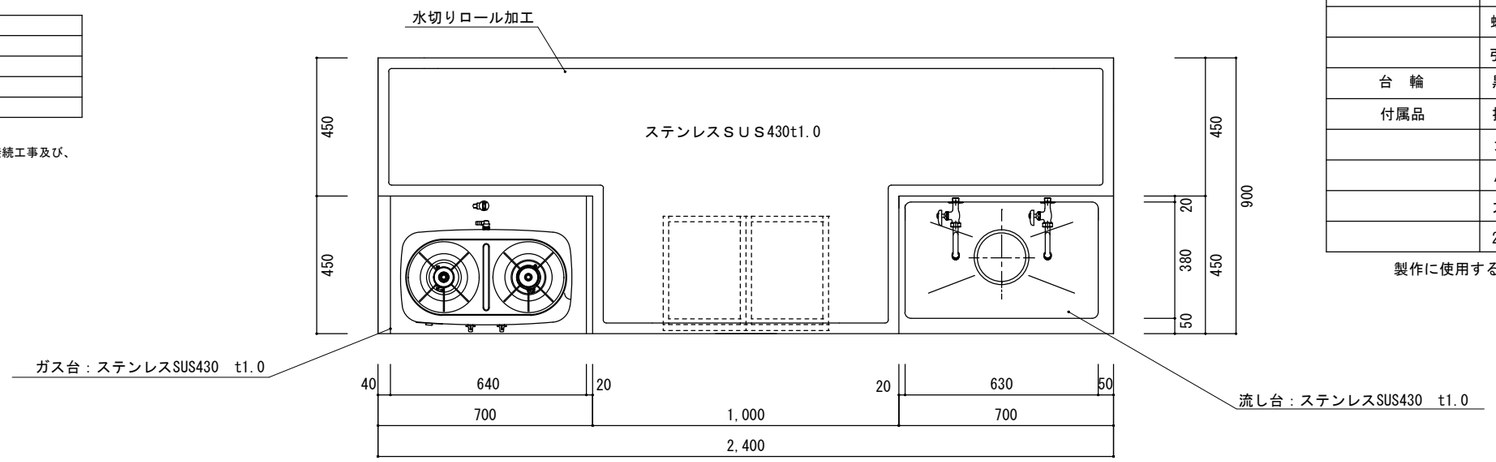
配管立ち上がり図　1：30

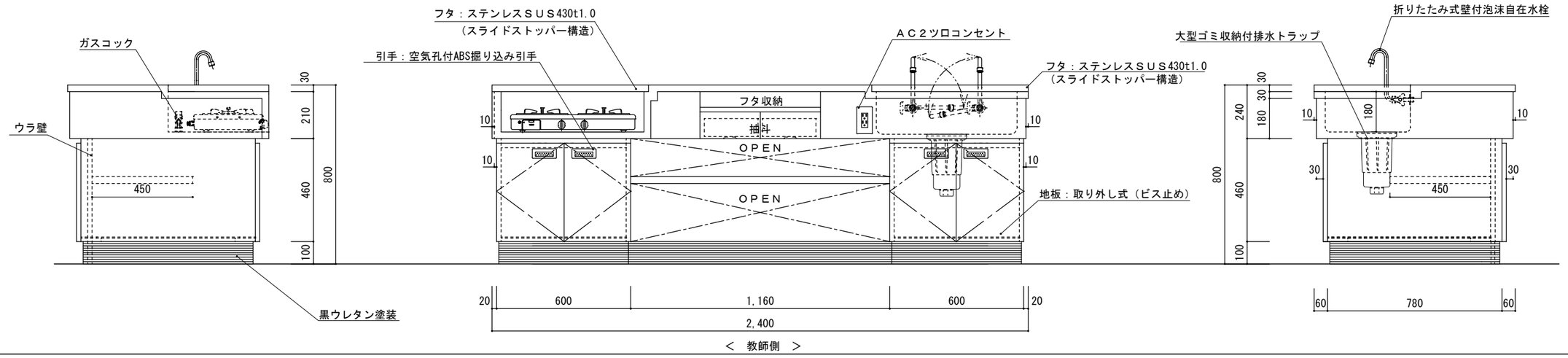
記　号	名　称
D	排　水
W	給　水
E	電　気
G	ガ　ス

※　立ち上りは、FL60mm以内でプラグ止め
給水･排水・ガス・電気の床上から器具までの接続工事及び、
地板の穴あけ工事等は、設備工事にて施工。



＜　生徒側　＞





＜　教師側　＞

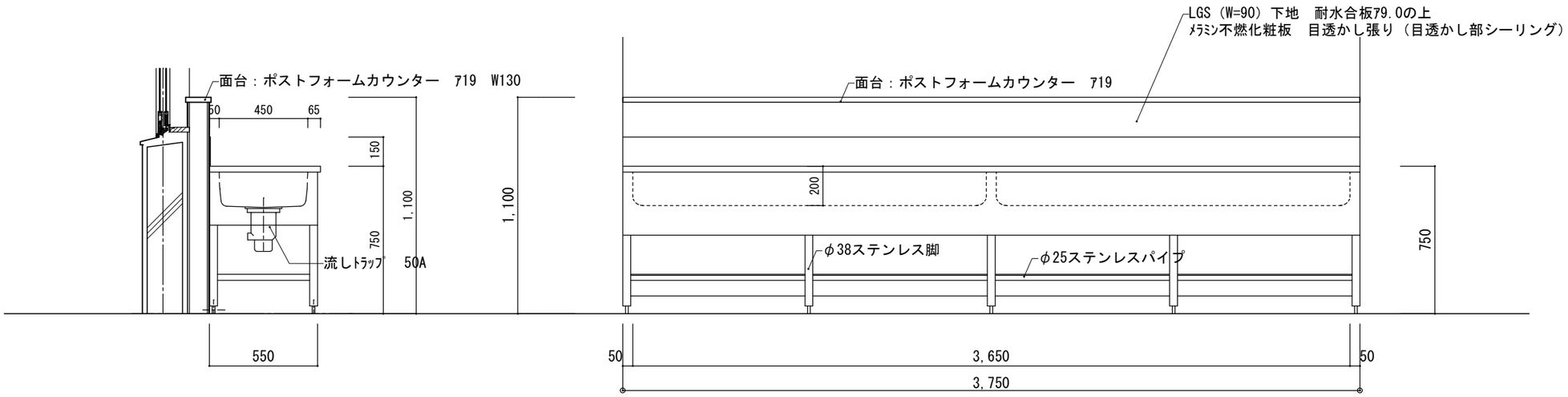
規　格	2400W*900Ｄ*800H
天　板	ステンレスＳＵＳ430t1.0
フ　タ	ステンレスＳＵＳ430t1.0（スライドストッパー構造）
主　材	両面メラミン化粧パーティクルボード
	木口：樹脂エッジ　ホットメルト加工
抽　斗	両面メラミン化粧パーティクルボード
	木口：樹脂エッジ　ホットメルト加工
	側板・向板：オレフィン系樹脂化粧合板仕上　12mm
	底板：オレフィン系樹脂化粧合板仕上げ
開　戸	両面メラミン化粧パーティクルボード
	木口：樹脂エッジ　ホットメルト加工
	蝶番：ワンタッチスライド蝶番
	引手：通気孔付ABS掘り込み引手
台　輪	黒ウレタン塗装
付属品	折りたたみ式壁付泡沫自在水栓　2
	ガスコック（都市ガスの場合は付属しない）　1
	ＡＣコンセント（アース付）　1
	大型ゴミ収納排水トラップ　1
	2ツロガステーブル　1

製作に使用する材料・塗料・接着剤は、F☆☆☆☆適合商品とする。

（参考図）

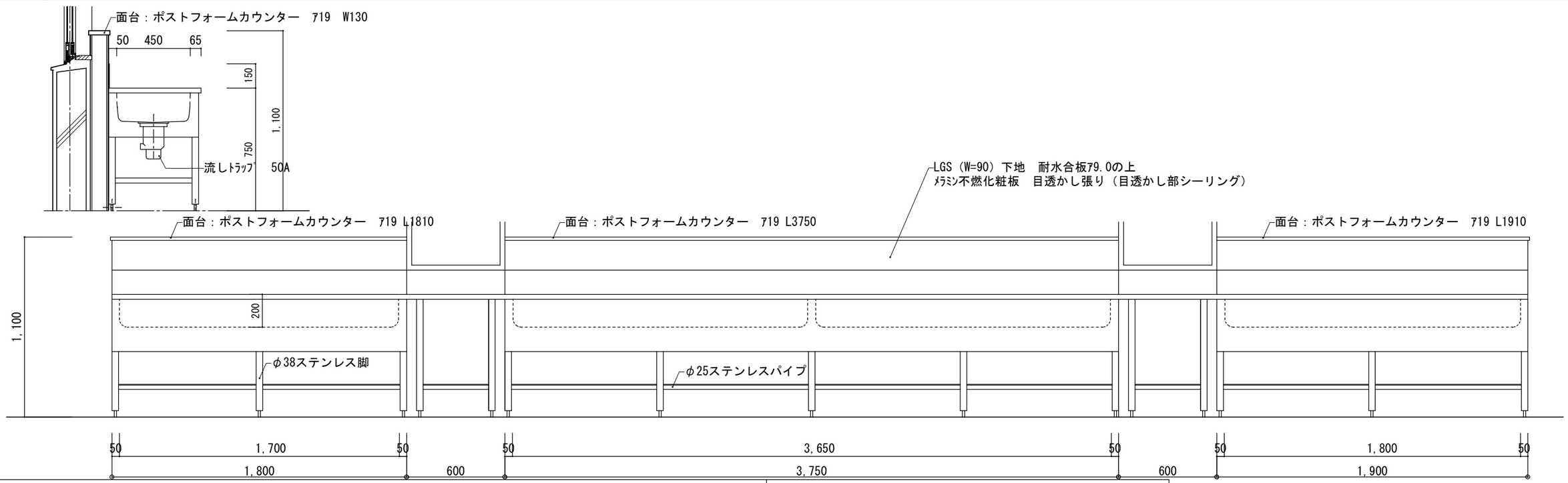
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	家具詳細図-8	A1：1/ 10･15 A3：1/ 20･30	Ａ－１１４
	鹿児島市建設局建築部建築課		

E－2	SUS製流し台	S＝1：25	4ヶ所



1　シンクトップ(SUS304 t=1.2mm)目皿(流しﾄﾗｯﾌﾟ付き) ※シンクは発泡剤裏打ちを行うこと。※シンク底は勾配を付ける事	2　トラップは建築工事とする(塩ビ製流しﾄﾗｯﾌﾟ)
3　脚部は床面に固定すること	4　流し台納まりは、設備と打合せの事

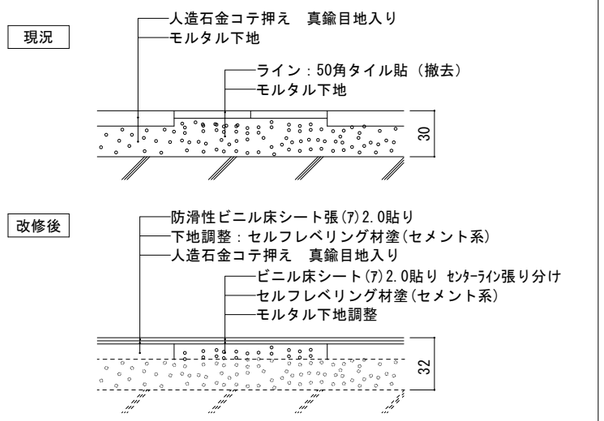
E－3	SUS製流し台	S＝1：25	1ヶ所



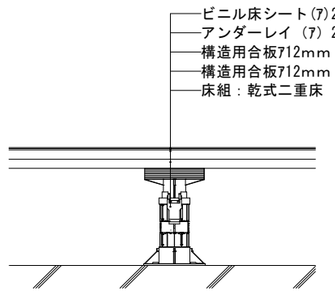
1　シンクトップ(SUS304 t=1.2mm)目皿(流しﾄﾗｯﾌﾟ付き) ※シンクは発泡剤裏打ちを行うこと。※シンク底は勾配を付ける事	2　トラップは建築工事とする(塩ビ製流しﾄﾗｯﾌﾟ)
3　脚部は床面に固定すること	4　流し台納まりは、設備と打合せの事

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	家具詳細図-9	A1：1/ 12.5 A3：1/ 25	A－115
	鹿児島市建設局建築部建築課		

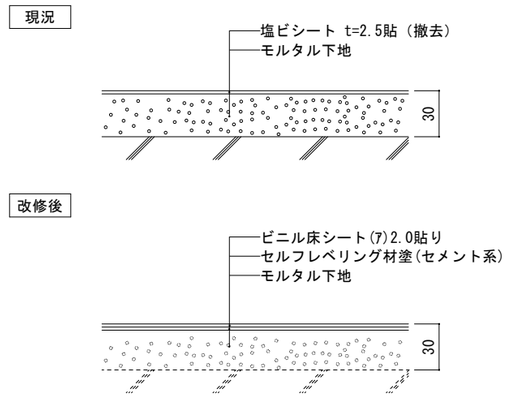
A－1　防滑性ビニル床シート貼（各階廊下・階段）　1/4



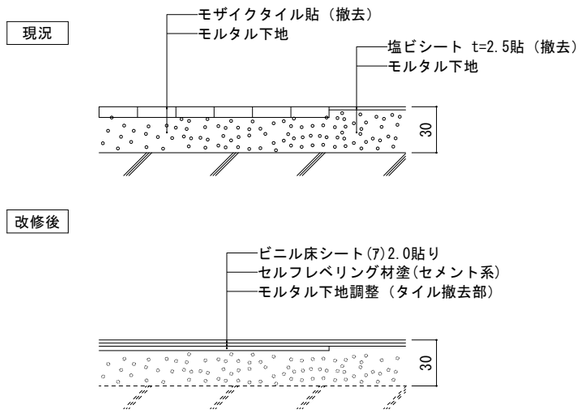
A－2　ビニル床シート貼（１階床組下地）　1/10



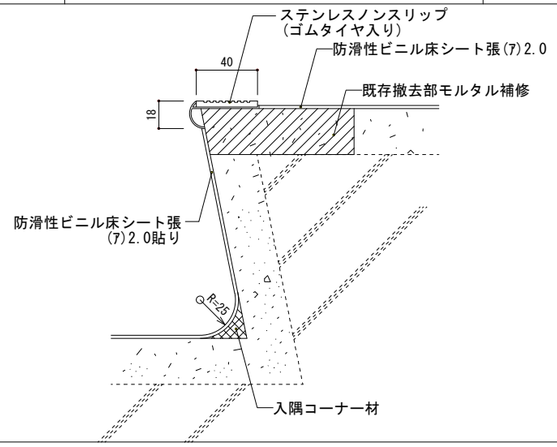
A－3　ビニル床シート貼（塩ビシート撤去）　1/4



A－4　ビニル床シート貼（モザイクタイル撤去）　1/4

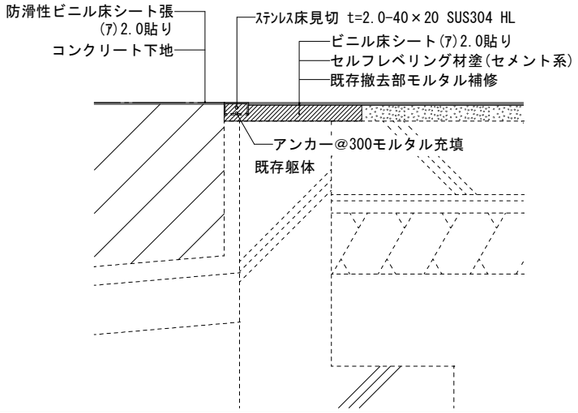


A－5　ステンレスノンスリップ　1/4

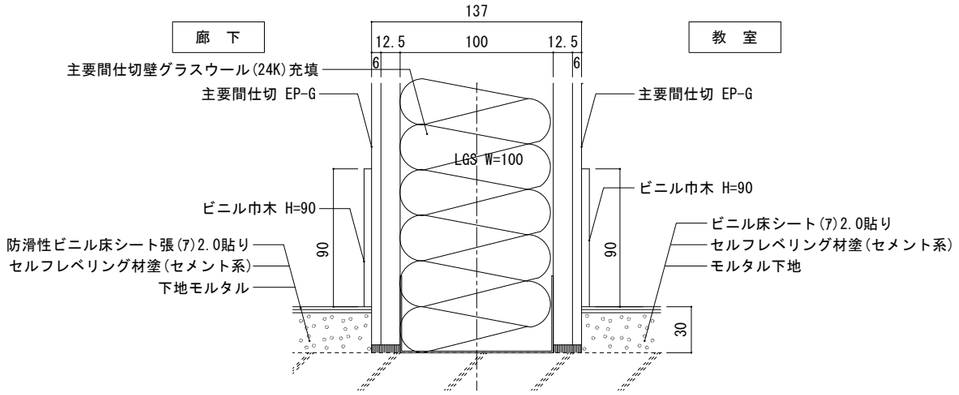


※内部階段はゴムタイヤ入、外部階段はゴムタイヤなしとする。

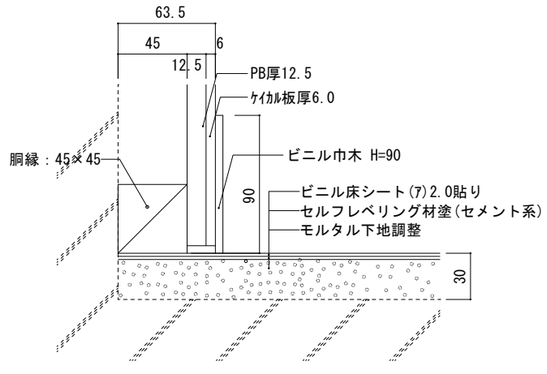
A－6　ステンレス床見切り　1/10



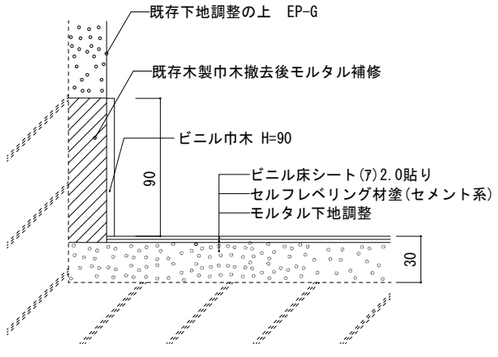
B－1　ビニル巾木及び木製巾木(廊下－教室間)　1/4



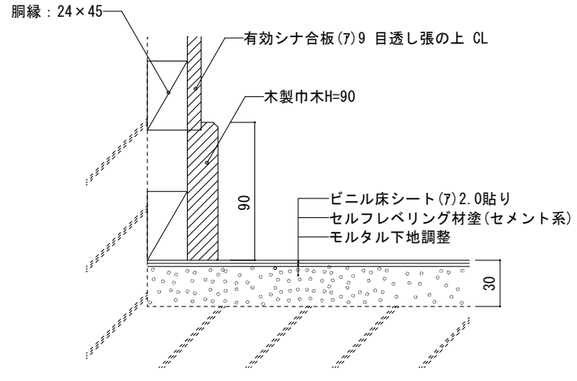
B－2　ビニル巾木　1/4



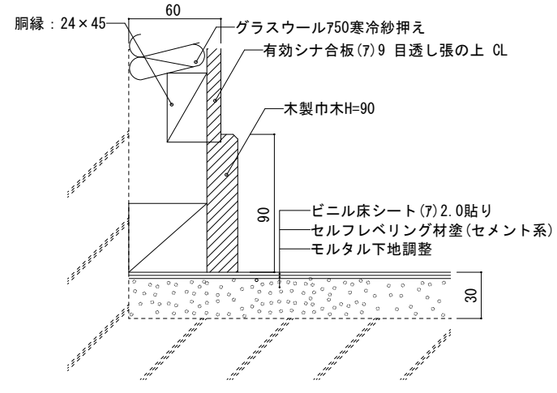
B－3　ビニル巾木(モルタル下地)　1/4



B－4　木製巾木(4階音楽室　外壁側)　1/4

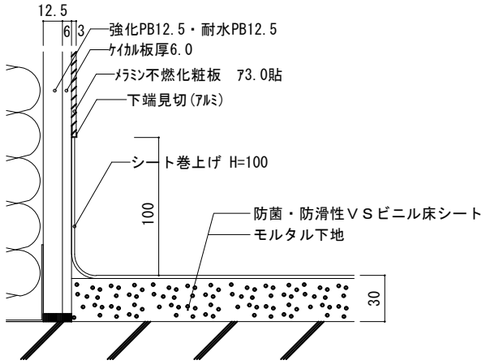


B－5　木製巾木(4階音楽室)　1/4

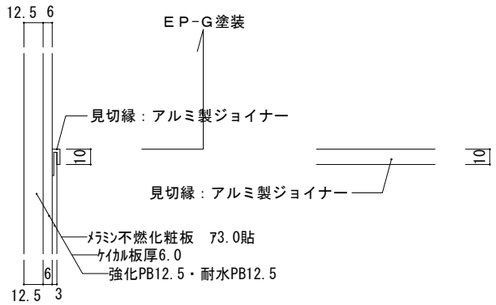


株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	部分詳細図 1	A1:1/2 5 A3:1/4 10	Ａ－１１６
	鹿児島市建設局建築部建築課		

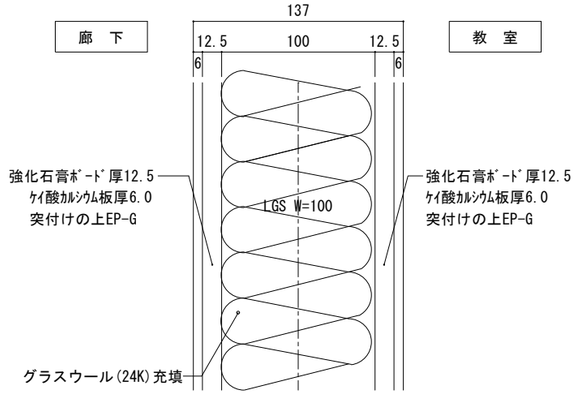
B-6　床材立上H=100（トイレ）　1/4



B-7　トイレ部分見切縁：アルミ製ジョイナー　1/4

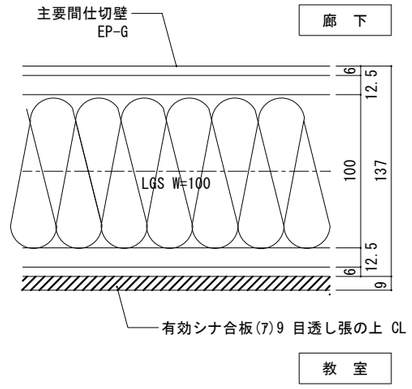


C-1　主要間仕切壁(廊下ー教室間)　1/4

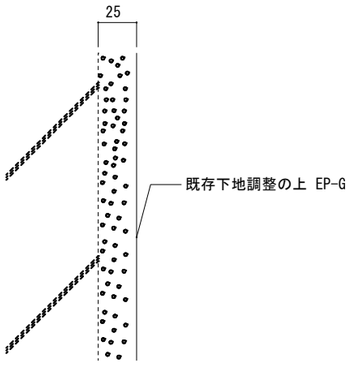


※主要間仕切壁の仕様は認定書の構造方法等による。

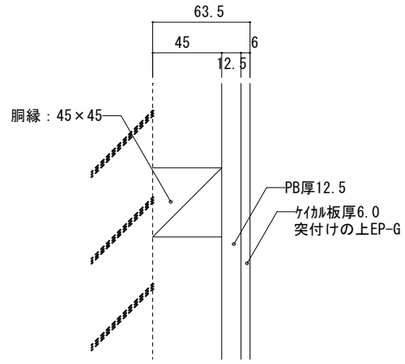
C-2　壁(廊下ー教室『音楽室』：平面)　1/4



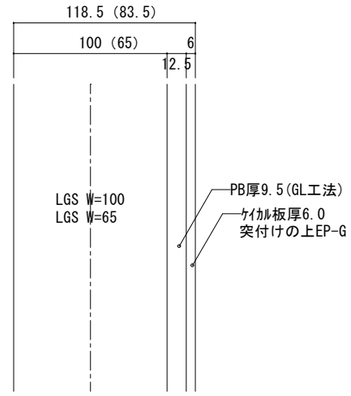
C-2　ＥＰ－Ｇ塗装（既存モルタル下地）　1/4



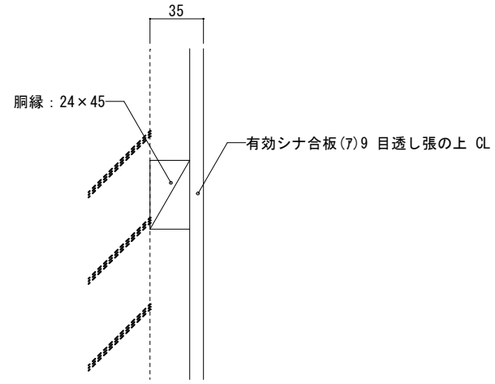
C-3　ＥＰ－Ｇ塗装　1/4



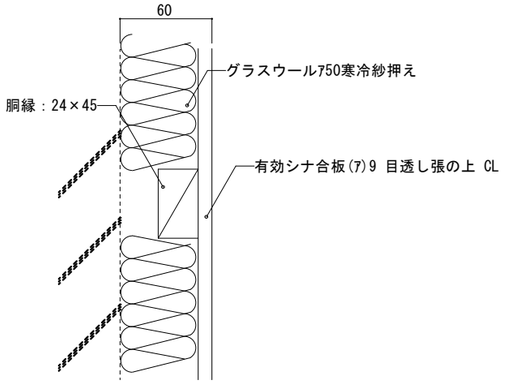
C-4　ＥＰ－Ｇ塗装（軽鉄下地）　1/4



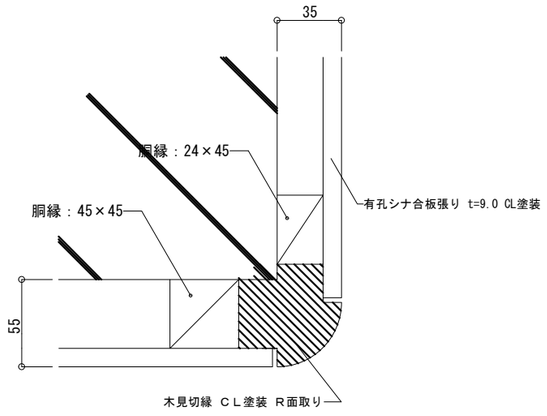
C-5　有孔シナ合板（音楽教室　外壁側）　1/4



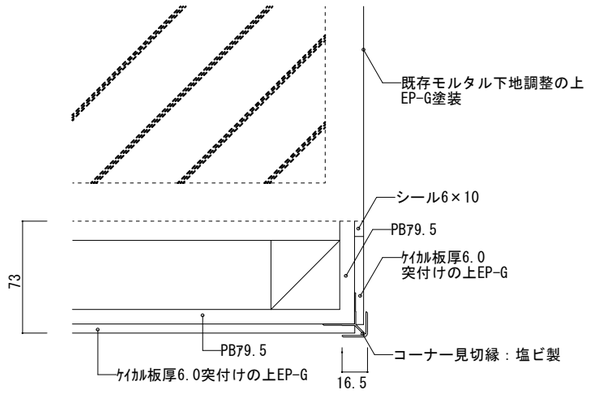
C-6　有孔シナ合板（音楽教室）　1/4



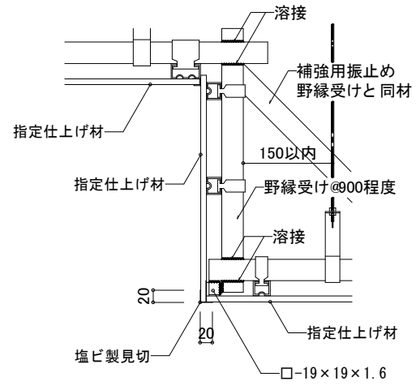
C-7　有孔シナ合板　出隅部分　1/10



C-8　壁『柱型』(コーナー：平面)　1/10

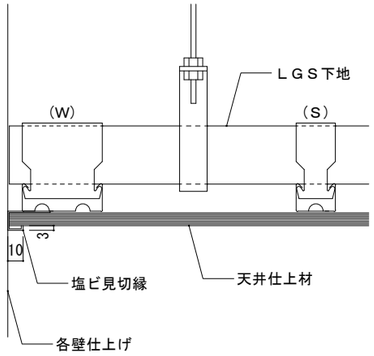


D-1　垂れ壁　1/10

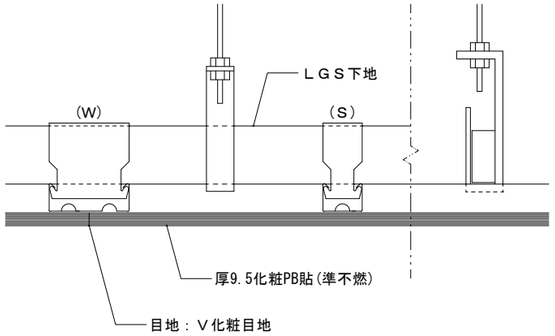


株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	部分詳細図 2	A1:1/2.5 A3:1/4.10	Ａ－１１７
	鹿児島市建設局建築部建築課		

D－2　天井見切縁(突付け目地)　1/4



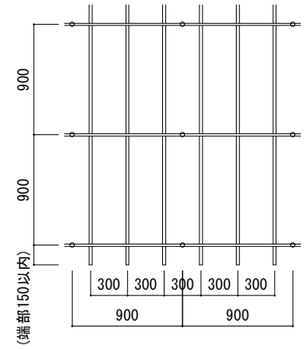
D－3　天井(一般部)　1/4



D－4　天井下地仕様　1/50

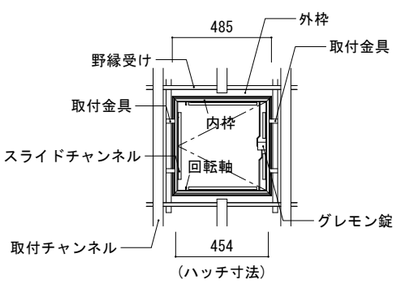
	吊りボルト 12φ(屋外) 9φ(屋内)	野縁(バー)受 亜鉛鉄板厚 1.6(屋外) 1.2(屋内)	ダブルバー(W) 亜鉛鉄板厚 0.8(屋外) 0.5(屋内)	ｼﾝｸﾞﾙﾊﾞｰ(S) 亜鉛鉄板厚 0.8(屋外) 0.5(屋内)	仕上材
捨張り用	@900以下	@900以下	1方向のみ @1,800	@300	岩綿吸音板
目地割 900×900			X、Y方向共 @900	@300	PB、石綿板、フレキシブル板 ケイカル板、目地鋲共
目地割 900×1,800			X方向@1,800 Y方向@900	@300	
直張り用			1方向のみ @300	@225	岩綿吸音板
吹付下地			X、Y方向共 目地当り	@300 @225※	ジョイントボード張

注）1.ピッチ寸法は全て以内とする。　(※ひる石吹付の場合を示す)
2.ダクト等で吊ボルト@900以上とする場合は、ダクト下に吊ボルト受けの補強材を入れること。
3.天井面は水平加速度0.6Gに耐える様に壁際及び天井面の補強を施すこと。
4.外装天井の場合、耐風圧強度は±200kg/㎡とし、ブレース、圧縮材にて補強すること。
5.金属板天井材の締結には、ステンレス製ビス(@200以内)を使用する。
6.異種金属とす接する部分には、ジンクロメートル錆び止めペイント塗布のこと。



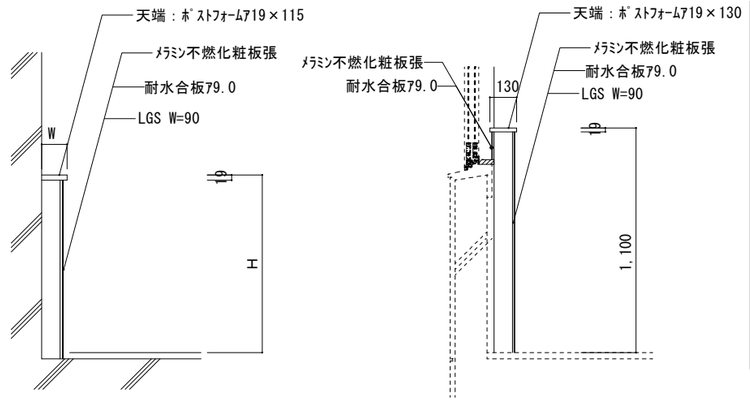
D－5　天井点検口(平面)　1/30

参考図



天井点検口（アルミ枠：450角）

E－1　ライニング面台　1/30

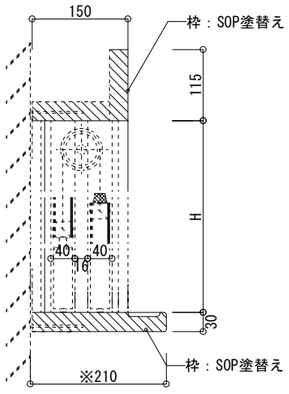


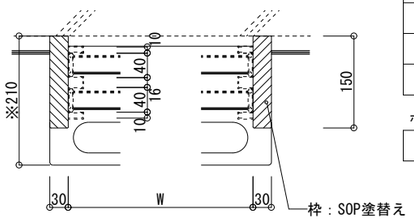
室名	H	W	L
美術室	図示	図示	家具図による。
第１理科室	図示	図示	家具図による。
第２理科室	図示	図示	家具図による。
家庭科室（被服）	図示	図示	家具図による。
家庭科室（調理）	図示	図示	家具図による。
技術準備室	1,100	120	1,050
技術準備室	800	450	250
美術準備室	1,100	120	1,050
理科準備室	図示	図示	1,810
家庭科準備室	図示	図示	1,810
音楽準備室	920	図示	910

※　設備工事による衛生器具取付下地補強完了後、耐水合板を施工すること。

F－1　上下黒板（既存張替え）　1/10

参考図





黒板

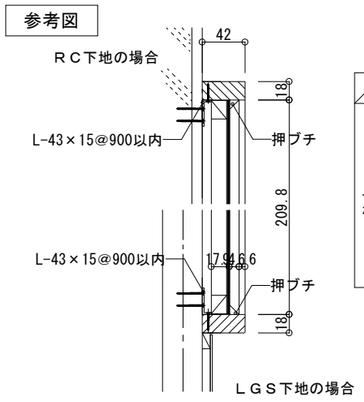
室名	規格	数量
技術室	W3600 × H1800	１カ所
美術室	W3600 × H1800	１カ所
第１理科室	W3600 × H1800	１カ所
第２理科室	W3600 × H1800	１カ所
家庭科室（被服）	W3600 × H1800	１カ所
第１音楽室	W3600 × H1800	１カ所
第２音楽室	W3600 × H1800	１カ所

ホワイトボード

家庭科室（調理）	W3600 × H1800	１カ所

F－2　掲示板　新設　1/10

参考図



	室名	規格	数量
2号棟	１階　技術室	W600 × H1800	２カ所
	１階　美術室	W600 × H1800	２カ所
	２階　第１理科室	W600 × H1800	２カ所
	２階　第２理科室	W600 × H1800	２カ所
	３階　家庭科室(被服)	W600 × H1800	２カ所
	３階　家庭科室(調理)	W600 × H1800	２カ所

	室名	規格	数量
2号棟	１階　廊下	W1800 × H1100	１カ所
	２階　廊下	W1680 × H1100	１カ所
	３階　廊下	W1680 × H1100	１カ所
	４階　廊下	W1680 × H1100	１カ所
	階段	W1800 × H900	４カ所
1号棟	２階　倉庫	W1200 × H1200	１カ所
	３階多目的（学習）	W1200 × H1200	１カ所
	４階多目的（学習）	W1200 × H1200	１カ所

塗板寸法（※）は、各メーカーにより多少の相違あるものとする。　黒板：スチール製ホーロー仕上　張替え(家庭科室(調理)のみホワイトボードへ張替え)

枠：木製　SOP塗替え　チョークボックス　アルミ製ダブルボックス取替え

※中桟：２４×３０（ＪＡＳＳ　１等品）＠３００　※接着剤：中桟と面材下地ベニヤ等の木質同士はＪＩＳ　Ｋ　６８０４酢酸ビニール樹脂エマルジョン

※枠：木製　メルサワ　SOP塗装　木材接着剤(ノンホルマリン)１種認定番号３６４１８４号を使用する。

株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第　231917　号
武元　順一

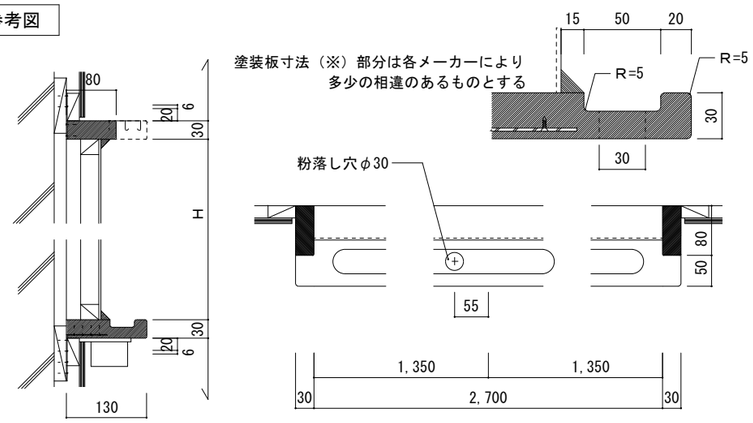
坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

部分詳細図 3　A1:1/2,5,15,25　A3:1/4,10,30,50　Ａ－１１８

鹿児島市建設局建築部建築課

F－3　行事用黒板　新設　1/10

参考図



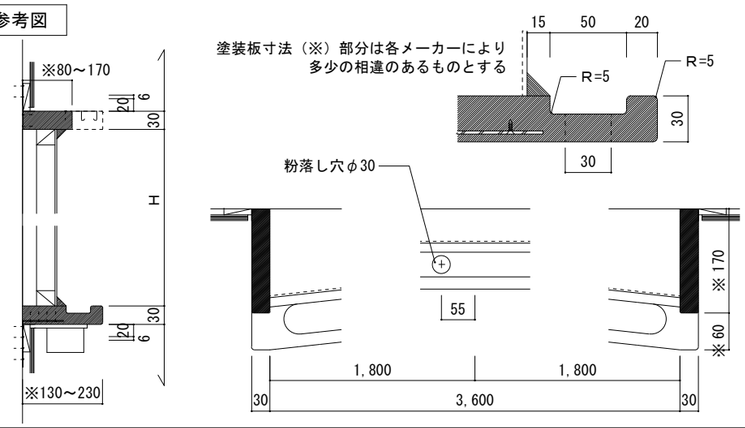
室名	規格	数量
美術技術室	W2700 × H1200	1カ所
理科技術室	W2700 × H1200	1カ所
家庭科技術室	W2700 × H1200	1カ所
音楽技術室	W2700 × H1200	1カ所

※塗装:地板　ｽﾁｰﾙ研出し　補強桟　ﾒﾙｻﾜ（ﾗﾜﾝ）仕上寸法30×24(JAS S1等品)タテ、上下@300

※枠：メルサワ（ラワン）防虫仕上 SOP塗り　チョークボックス　アルミ製ダブルボックス枠：面取りをする

曲面黒板　取り外し・再取付　1/10

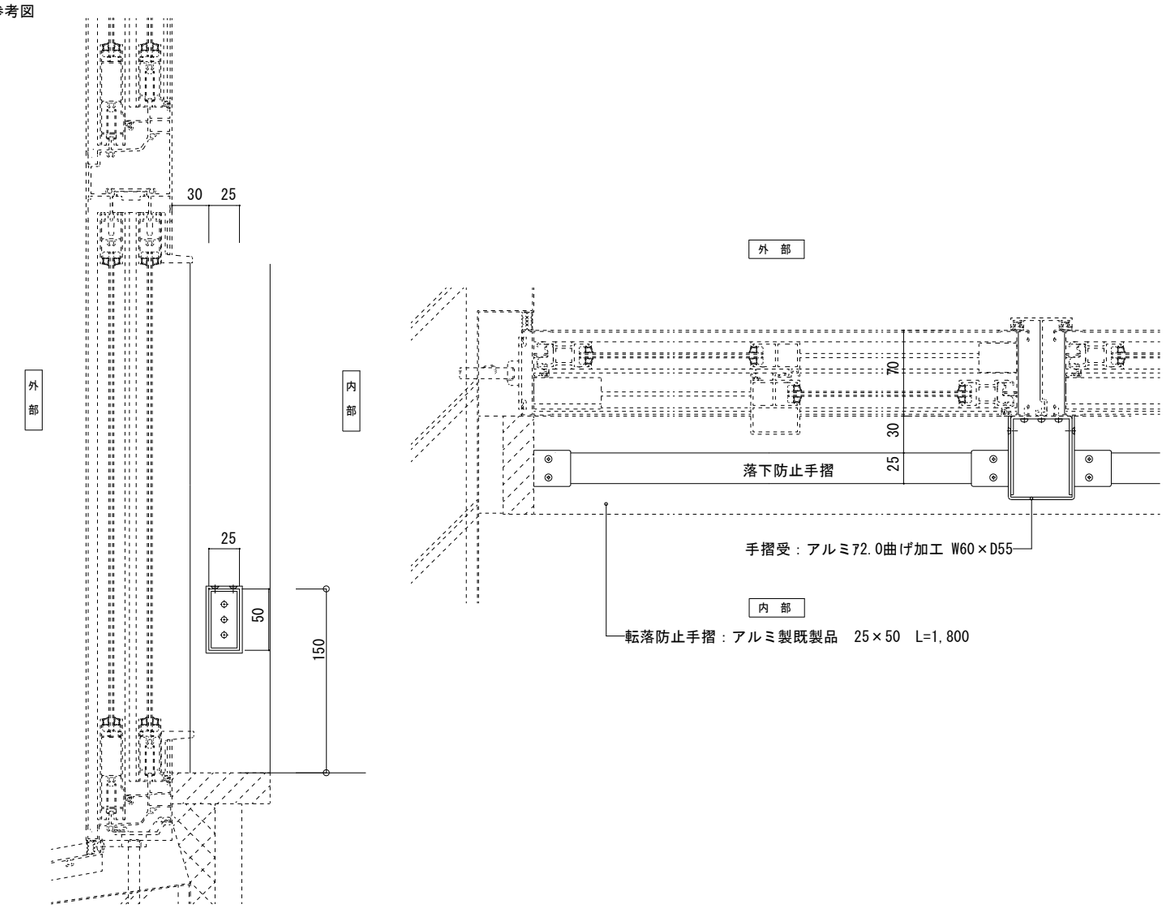
参考図



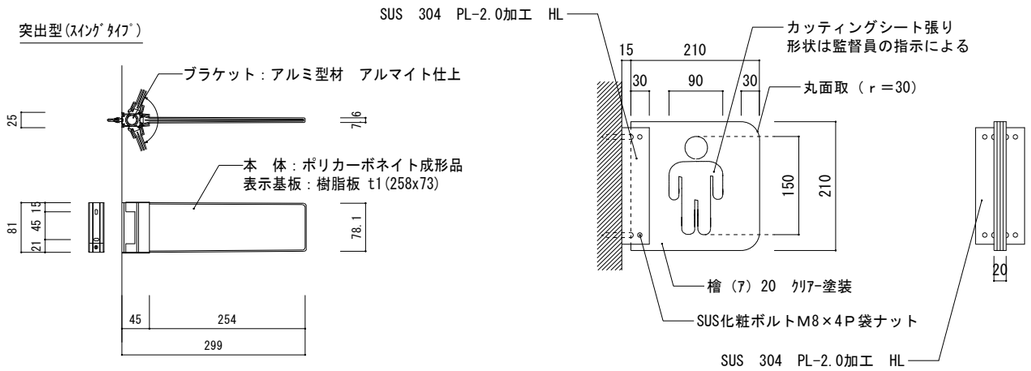
室名	規格	数量
管理棟2階倉庫	W3600 × H1200	1カ所
管理棟3階多目的	W3600 × H1200	1カ所
管理棟4階多目的	W3600 × H1200	1カ所

F－4　転落防止用　アルミ製手摺　1/5

参考図

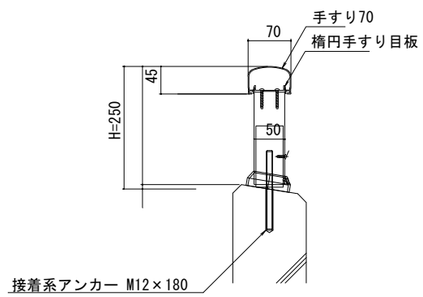


H－1　室名札　ピクトサイン　1/10

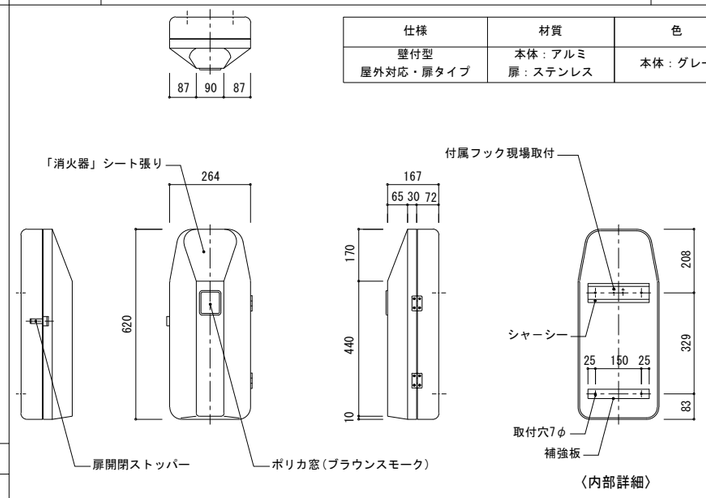


転落防止用　アルミ製手摺　1段　1/10

参考図

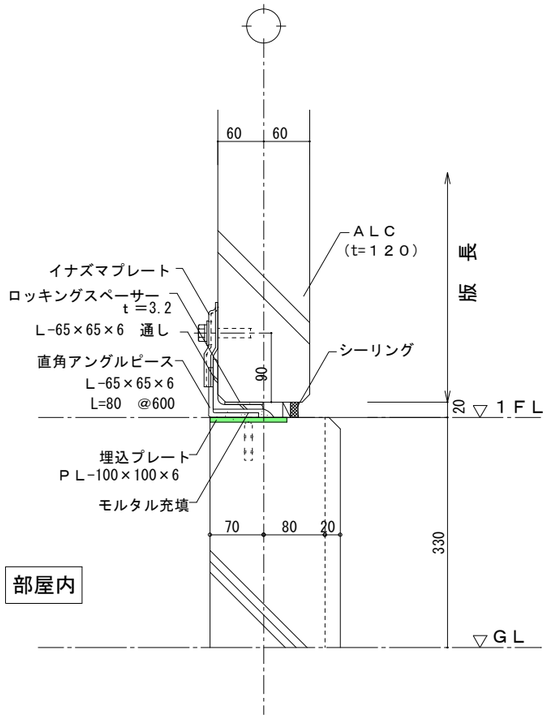


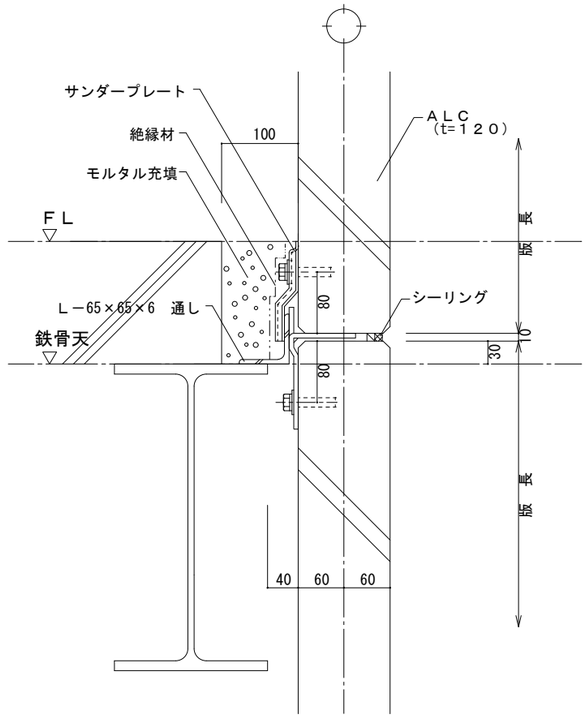
消火器ボックス(参考図)　1/20

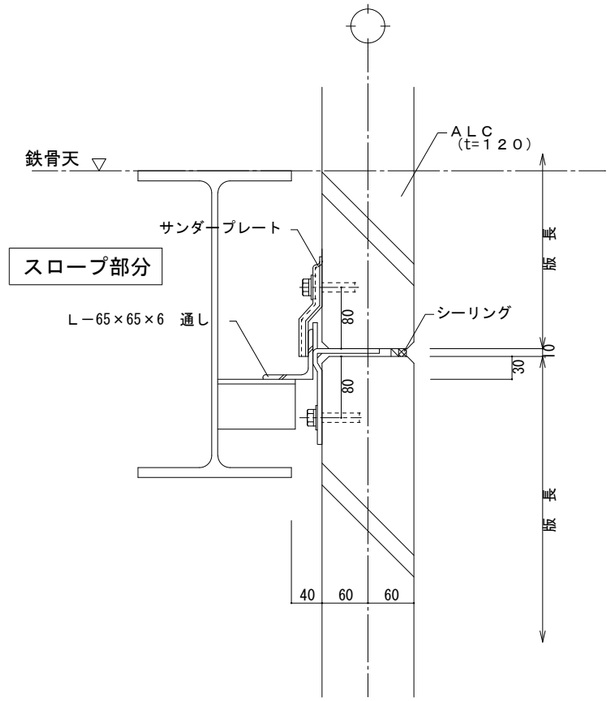


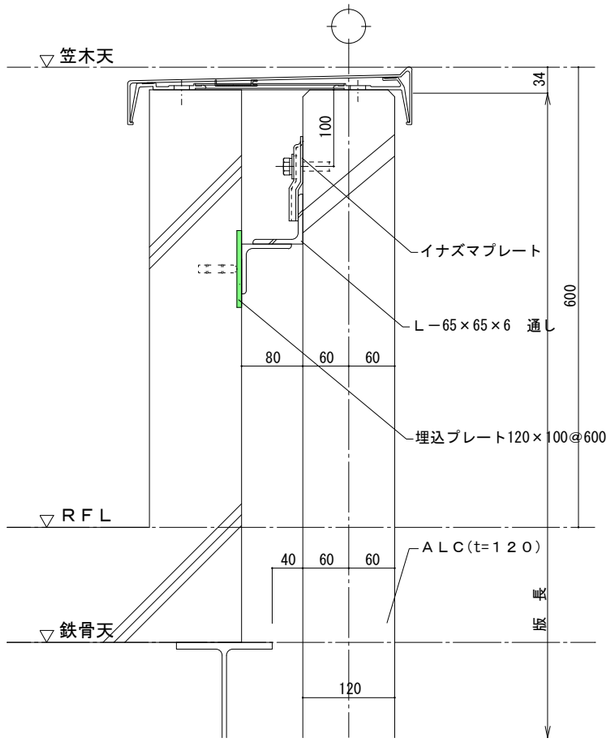
仕様	材質	色
壁付型 屋外対応・扉タイプ	本体：アルミ 扉：ステンレス	本体：グレー

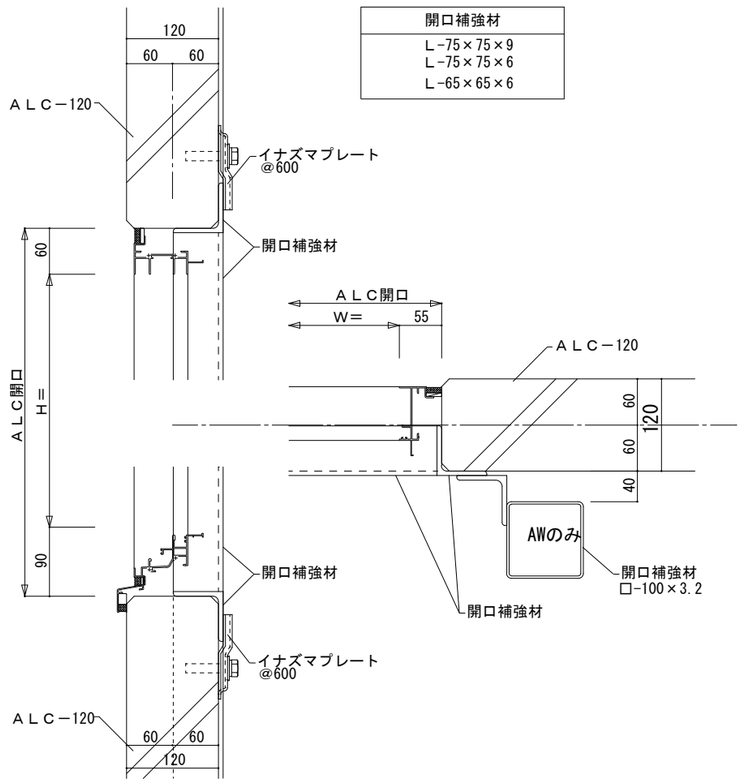
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	部分詳細図 4	A1:1/2.5,5 A3:1/5,10
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－１１９











開口補強材
L-75×75×9 L-75×75×6 L-65×65×6

株式会社 武元順壱アトリエサンク
一級建築士 第 231917 号
武元 順一

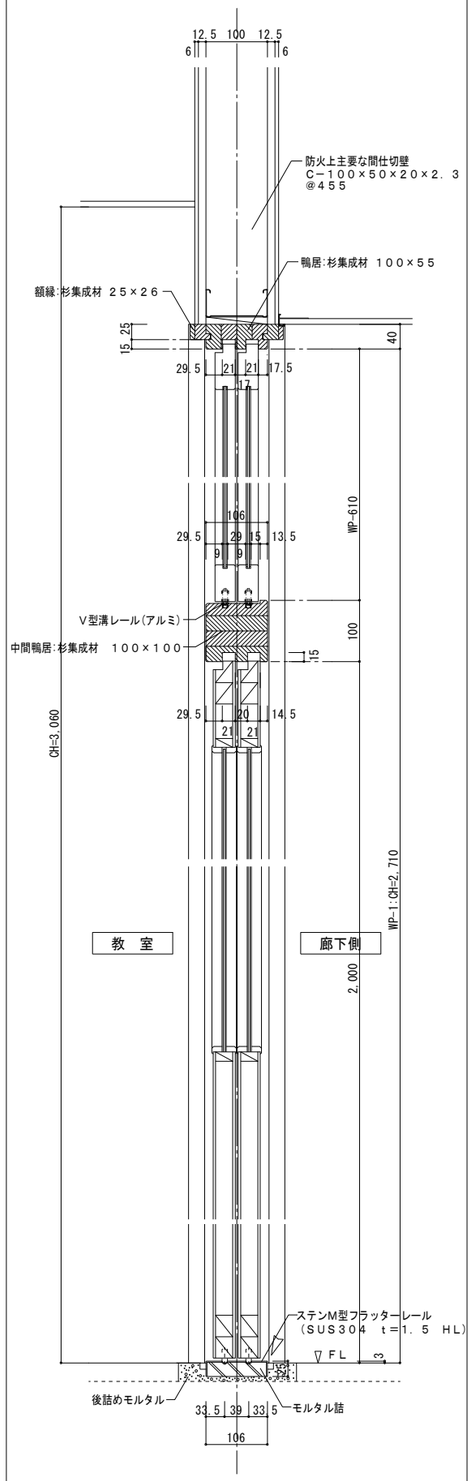
坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

部分詳細図 5 | A1:1/4 A3:1/8 | Ａ－１２０

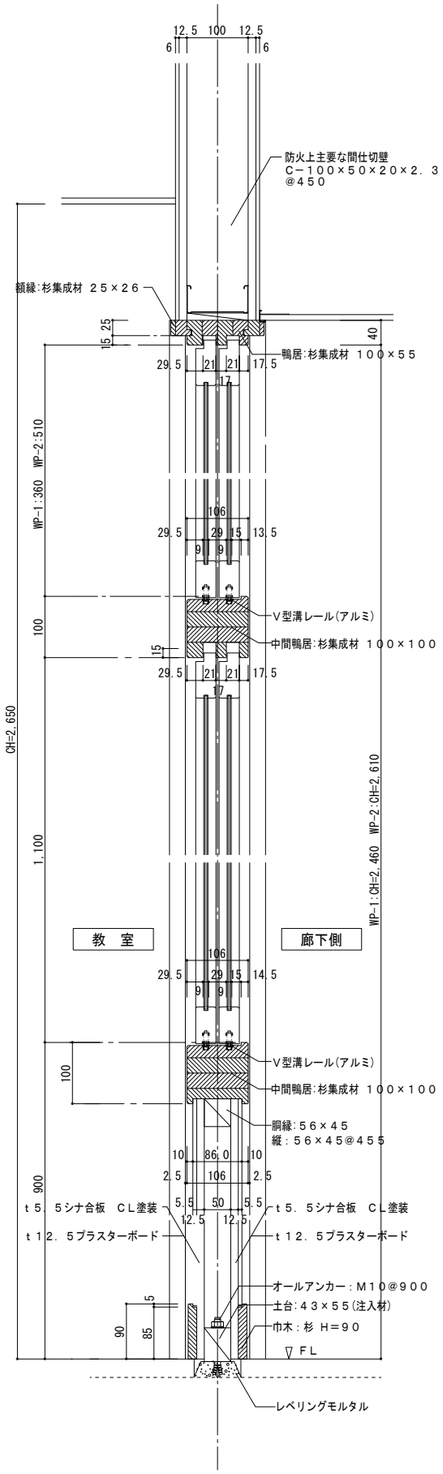
鹿児島市建設局建築部建築課

新設木製学校間仕切り　（参考図）　S=1/10

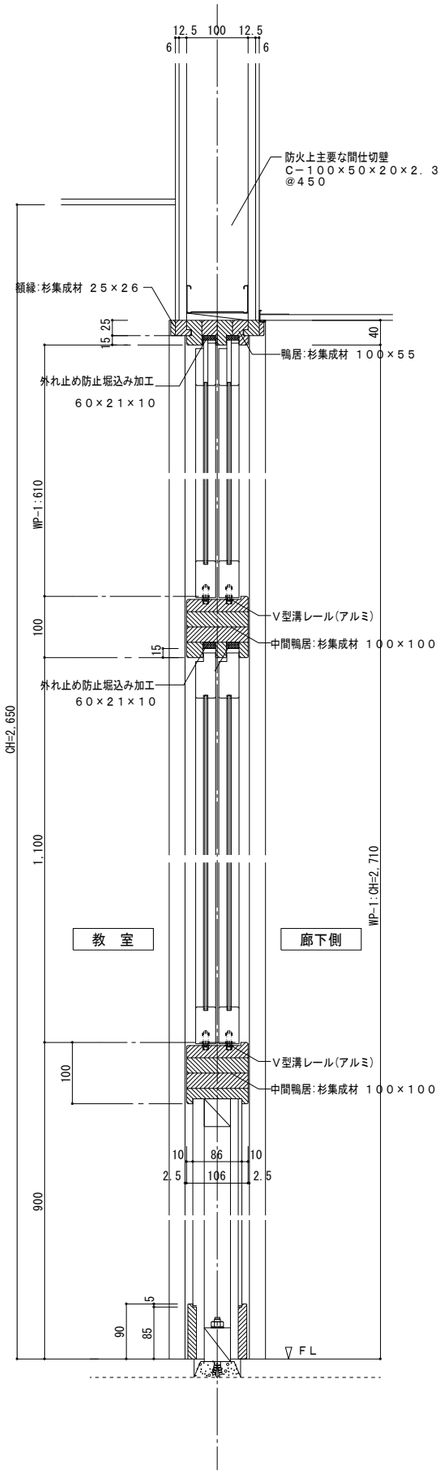
出入口部断面詳細図



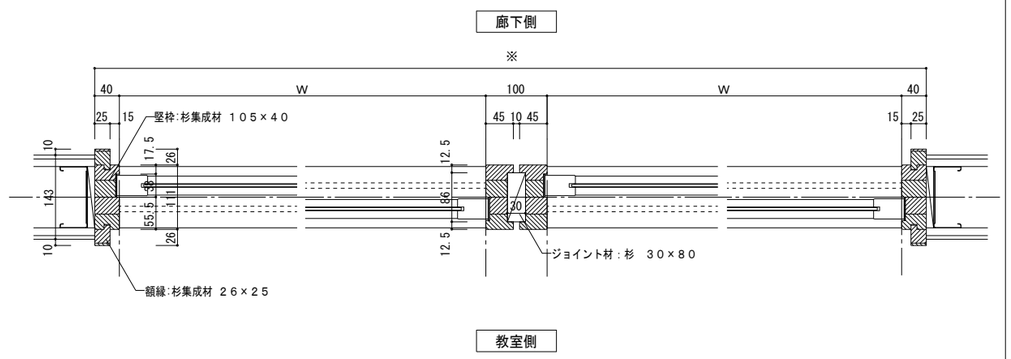
腰窓付部断面詳細図



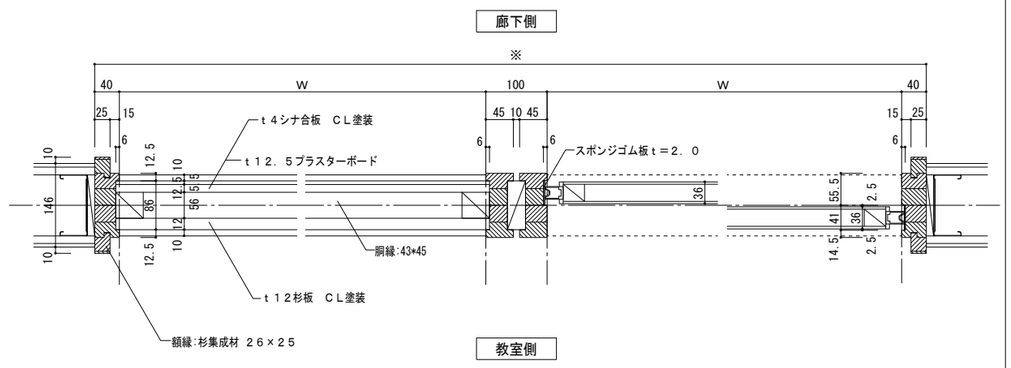
外れ止め防止部断面詳細図



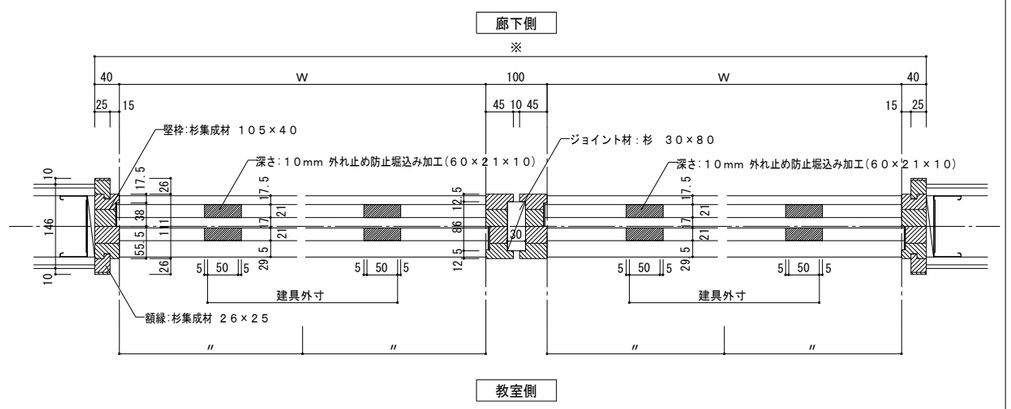
天窓部横断面図



腰壁部横断面図



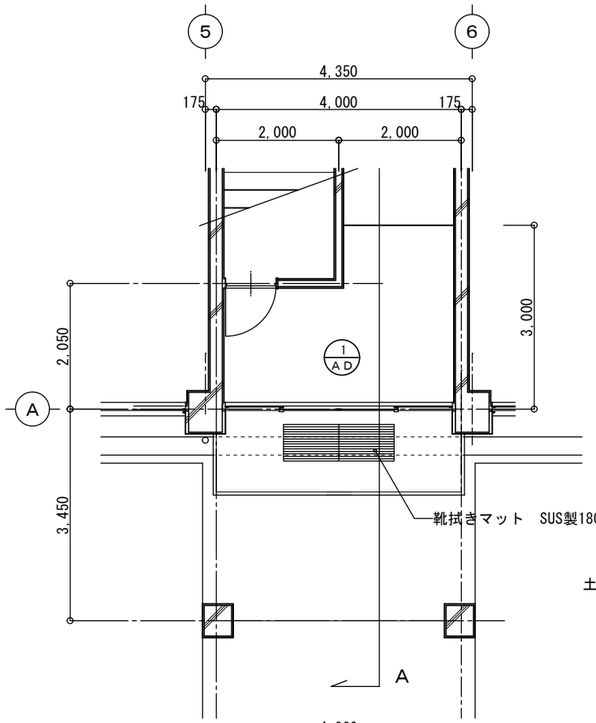
腰窓・天窓部 鴨居横断面図

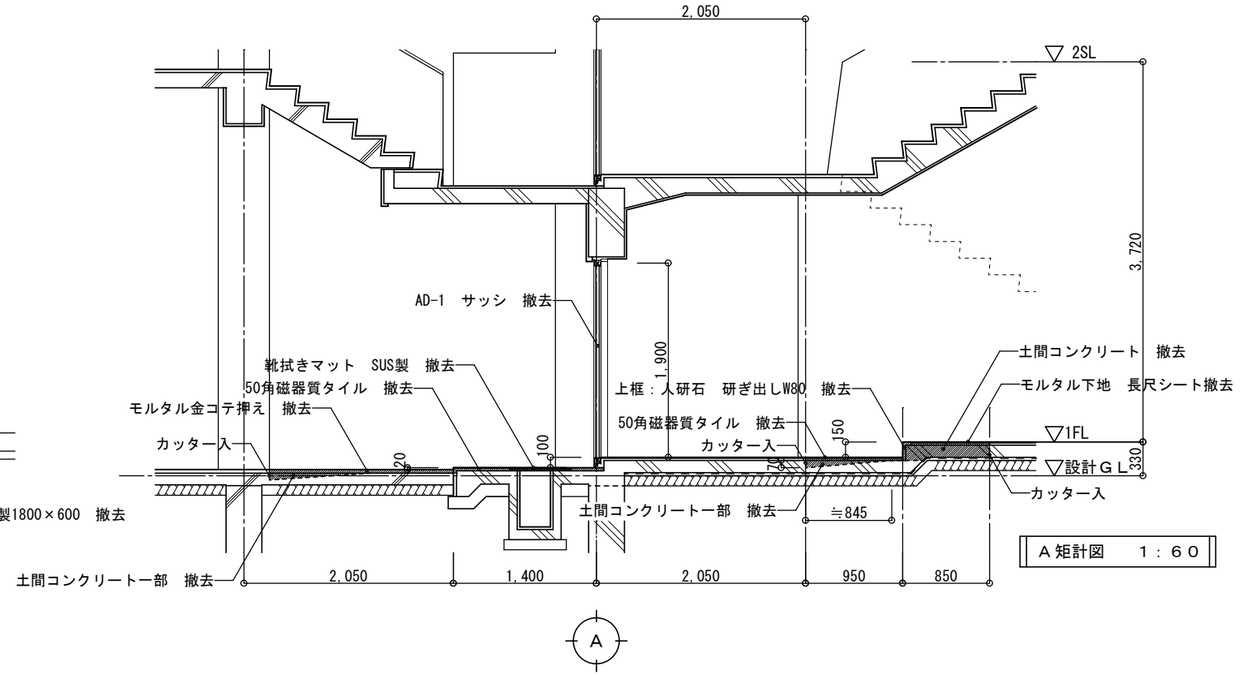


レール：ステンレス製フラッターレール　，戸車：非脱輪仕様　枠-ステンレス，車-ジュラコン

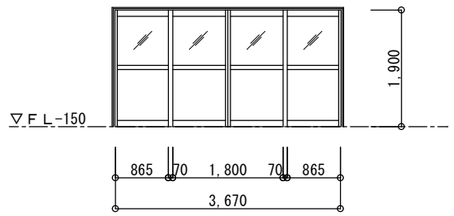
※木部は全てCL塗装

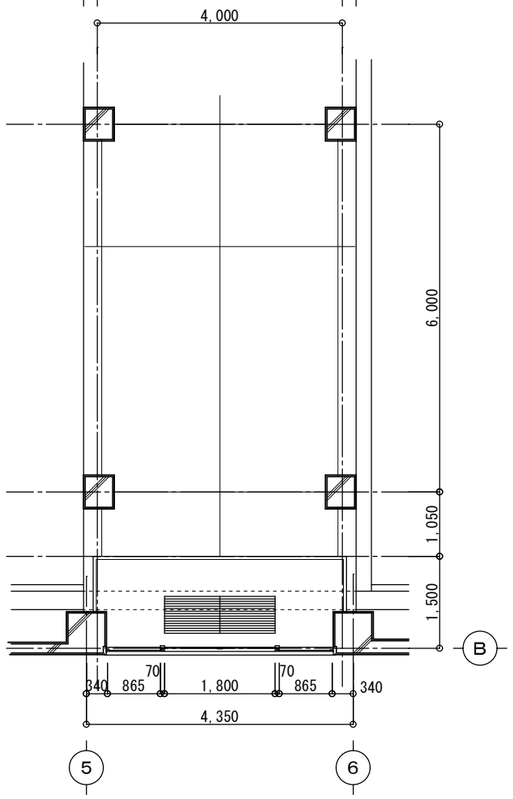
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	部分詳細図 6	A1: 1/5 A3: 1/10
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－121



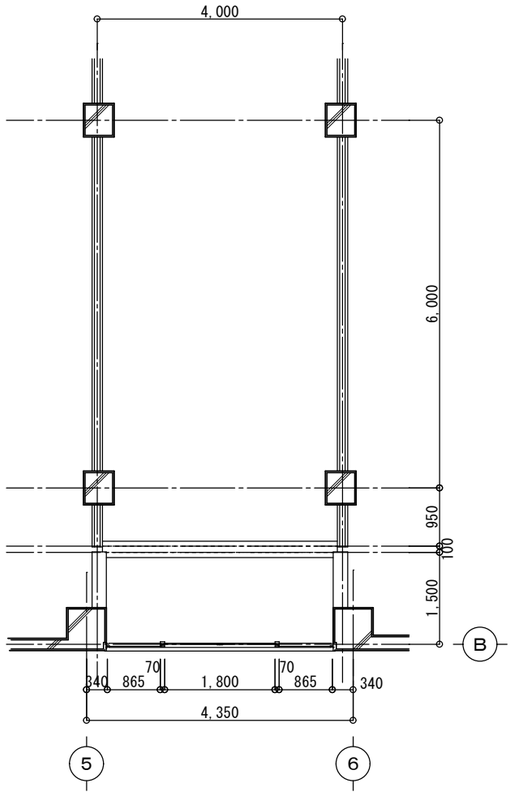


Ａ矩計図　１：６０

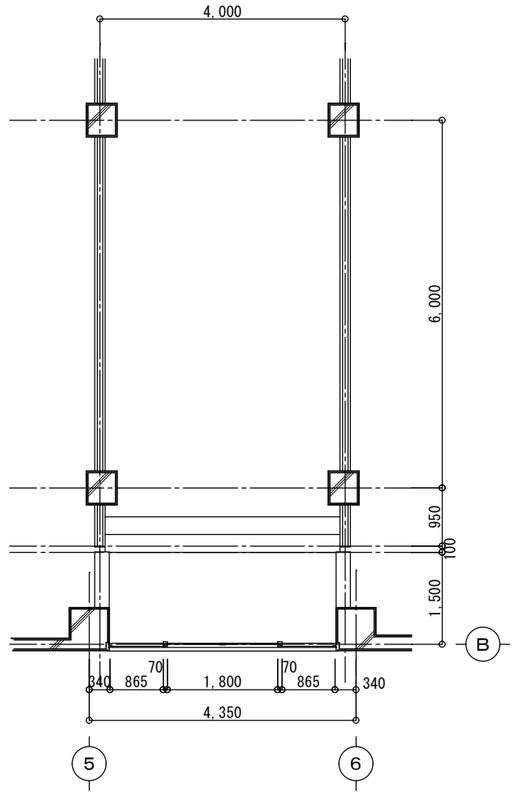
記号	1/AD 階段下出入口　撤去	１ヶ所
姿図		
型　式	アルミ両袖はめ殺し窓付引分け戸	
見　込	100	
硝　子	下段：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t=3　上段：網入透明6.8	
仕　上	B-1種	
附属金物	アルミ額縁　堀込取手　シリンダー錠　他付属金物一式	



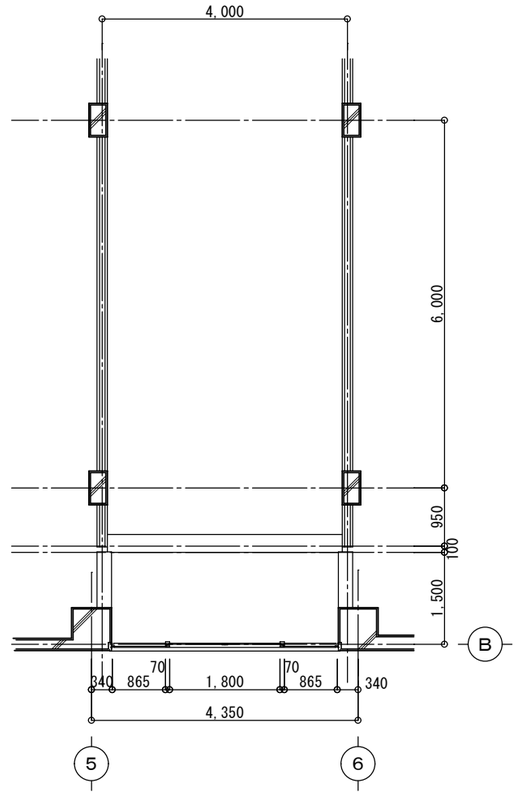
既存1階平面図　１：１００



既存2階平面図　１：１００

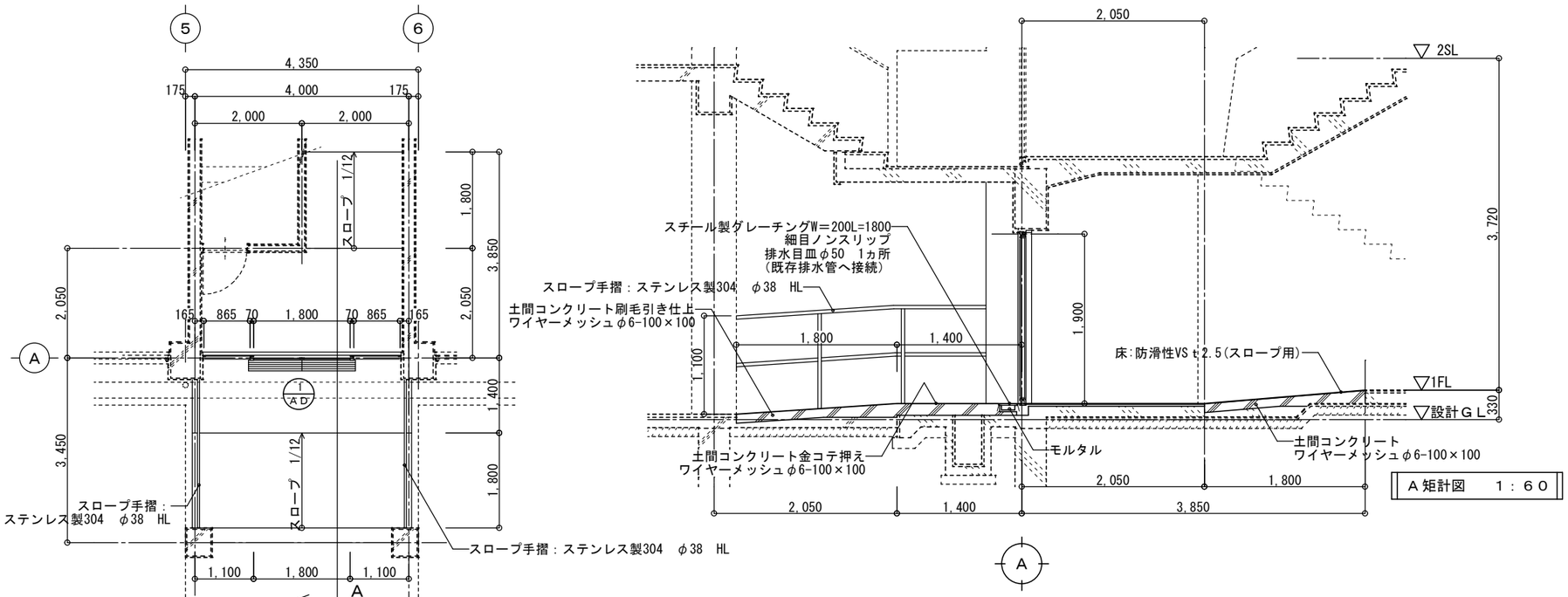


既存3階平面図　１：１００

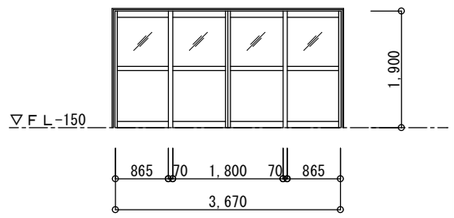


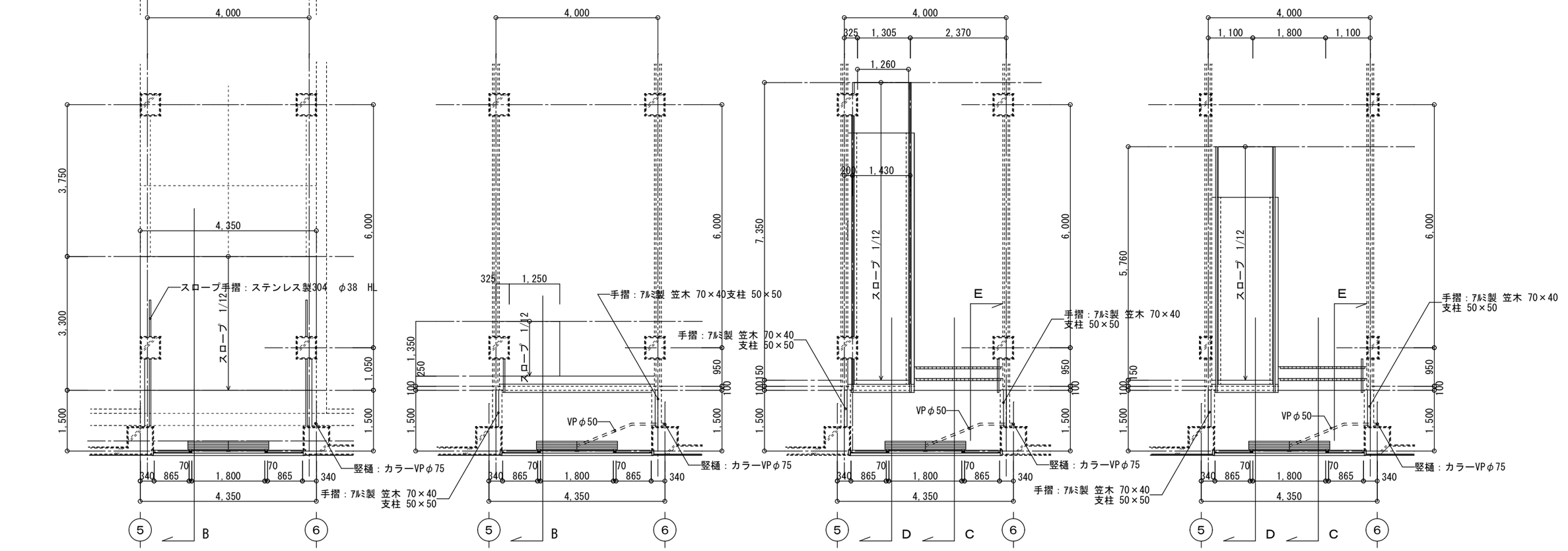
既存4階平面図　１：１００

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	既存渡り廊下平面図 矩計図、建具表	A1：1/30　50 A3：1/60　100
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－１２２



A矩計図　1：60

記号	1/AD 階段下出入口　新設	1ヶ所
姿図		
型　式	アルミ両袖はめ殺し窓付引分け戸	
見　込	100	
硝　子	下段：ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙ t=3　上段：3.0(Low-e)+A 6.0+網入透明6.8	
仕　上	B-1種	
附属金物	フラットﾚｰﾙ(SUS)　堀込取手　シリンダー錠　他付属金物一式	



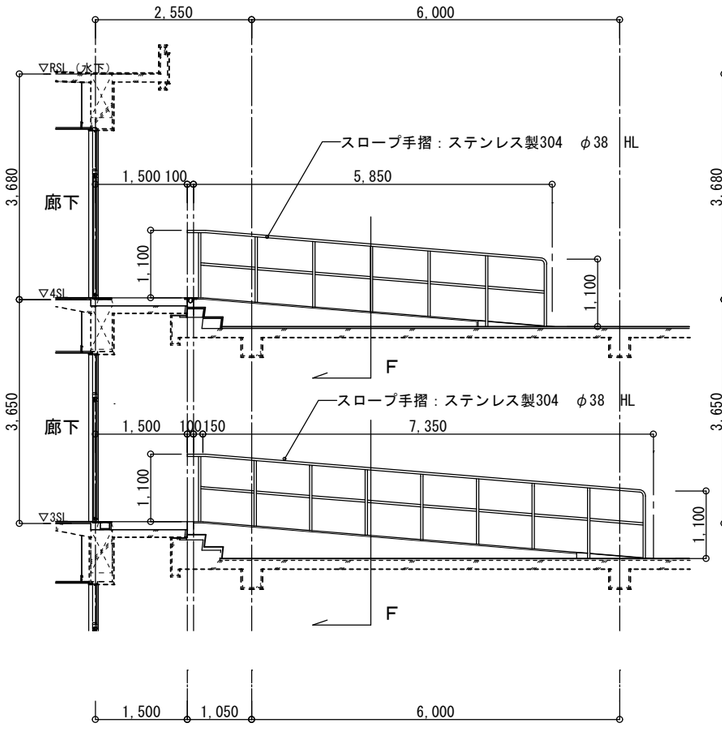
改修1階平面図　1：100

改修2階平面図　1：100

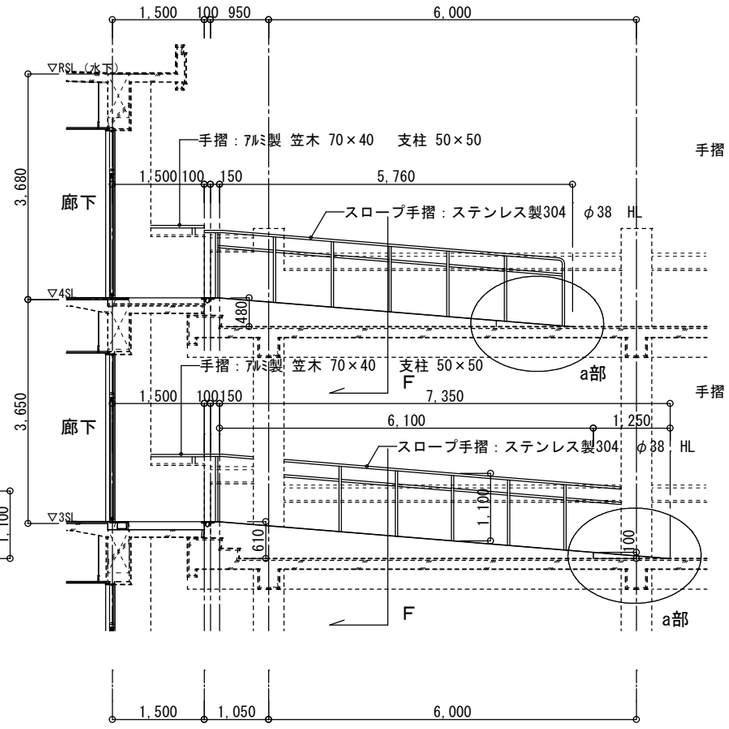
改修3階平面図　1：100

改修4階平面図　1：100

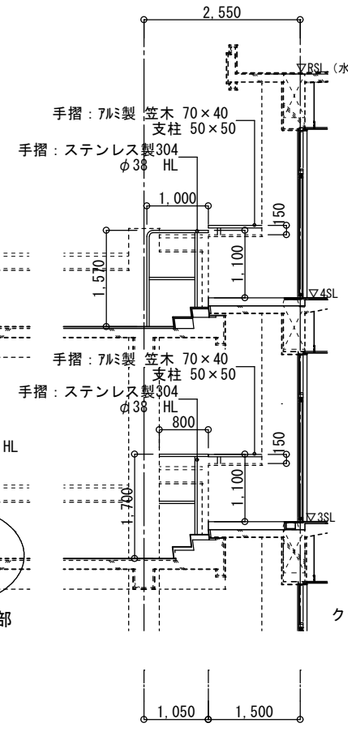
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	改修渡り廊下平面図 矩計図、建具表	A1：1/ 30.50 A3：1/ 60.100
	鹿児島市建設局建築部建築課	A－123



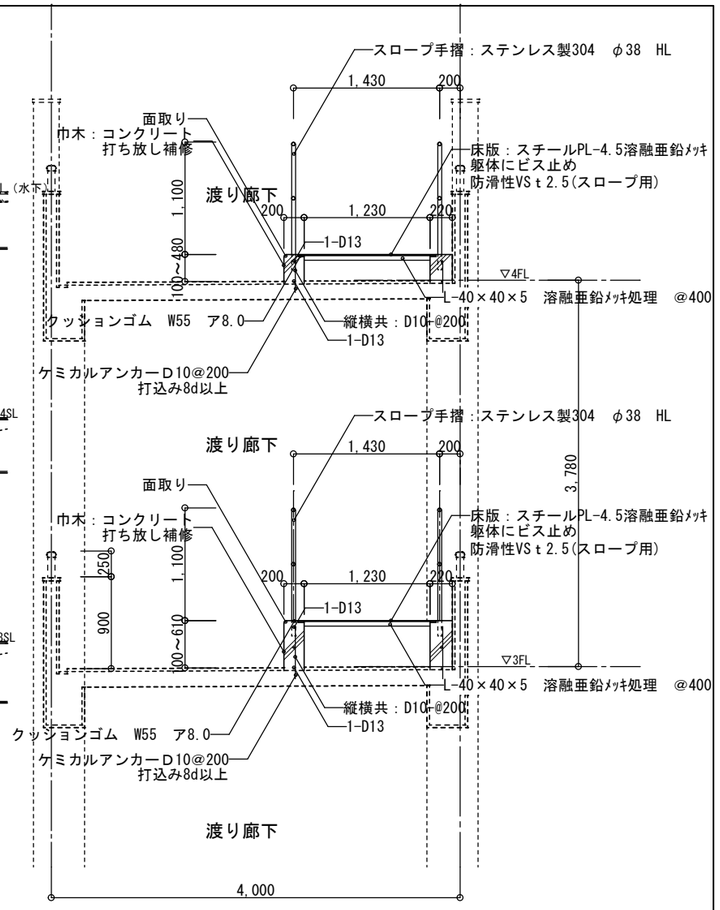
改修C -C 断面図　　1：100



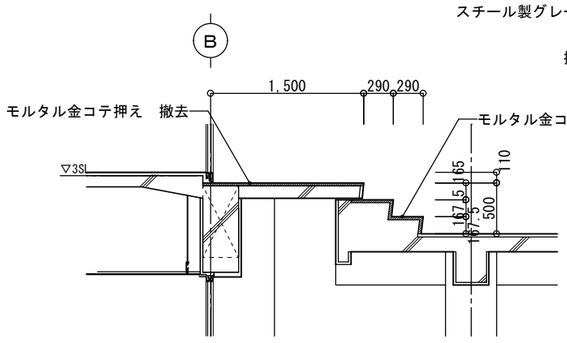
改修D -D 断面図　　1：100



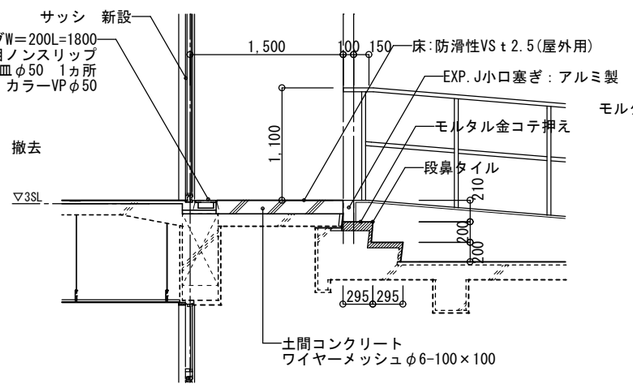
改修E -E 断面図　　1：100

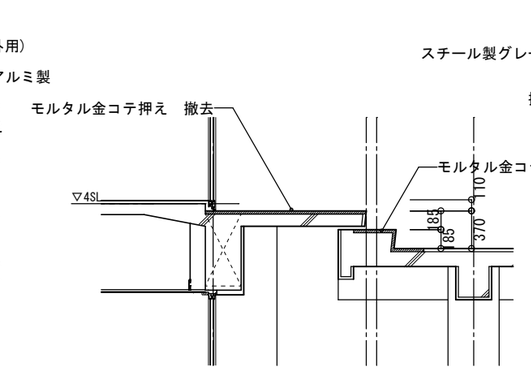


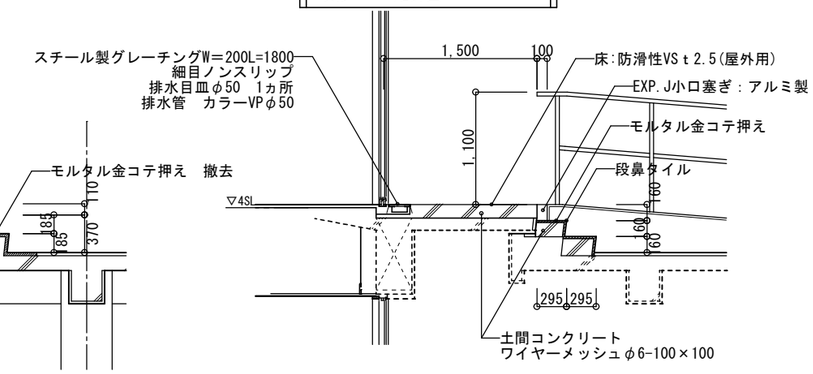
改修F -F 矩計図　　1：60



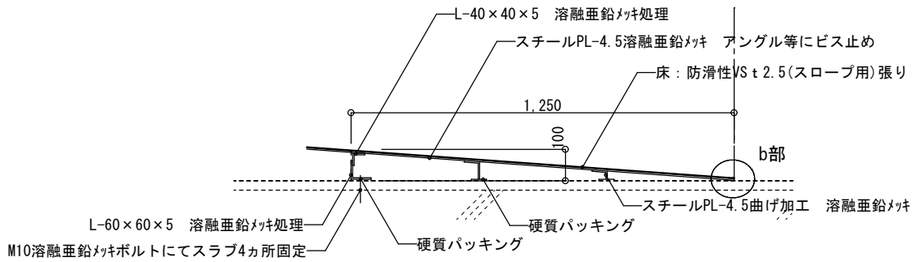
3 階階段部詳細図　　1：60



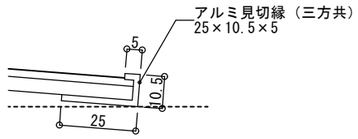




4 階階段部詳細図　　1：60

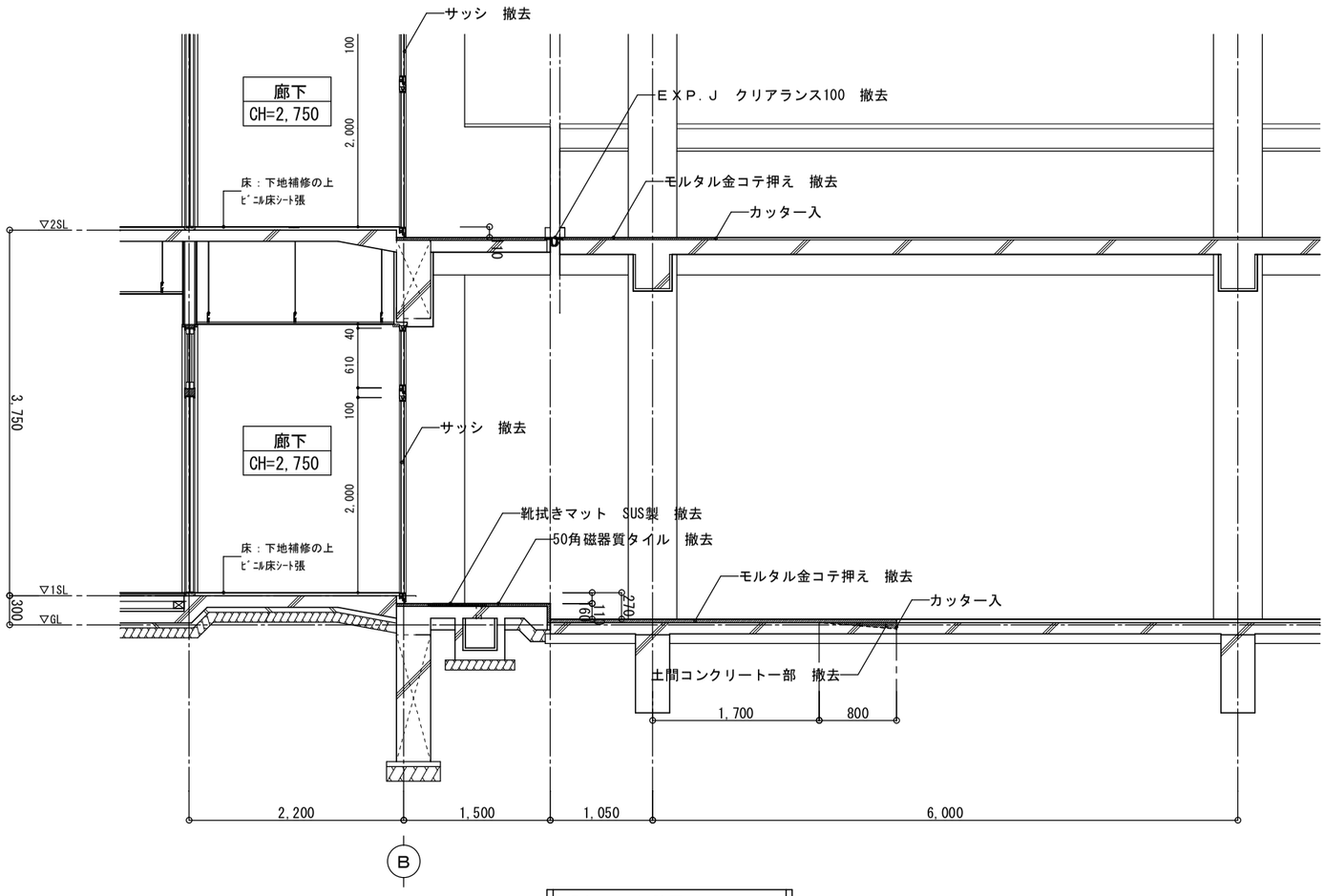


a 部 詳細図　　1：20

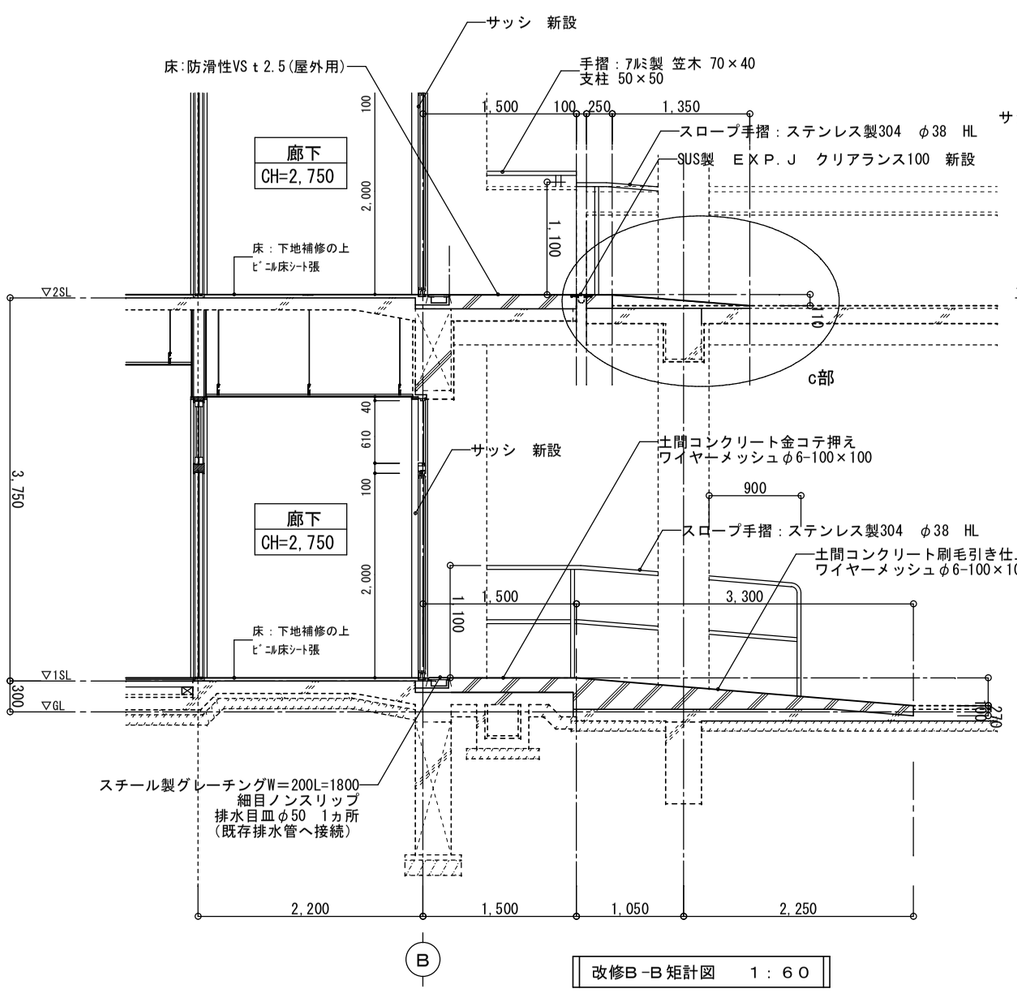


b 部 詳細図　　1：2

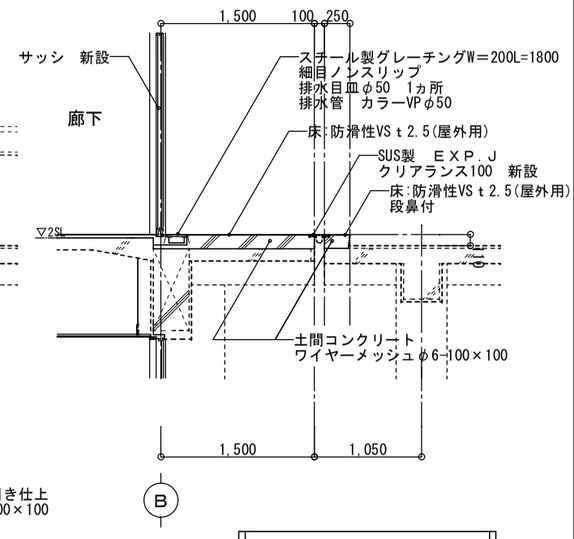
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	スロープ改修 断面図・矩計図	A1：1/ 30 50 A3：1/ 60 100	A－124
	鹿児島市建設局建築部建築課		



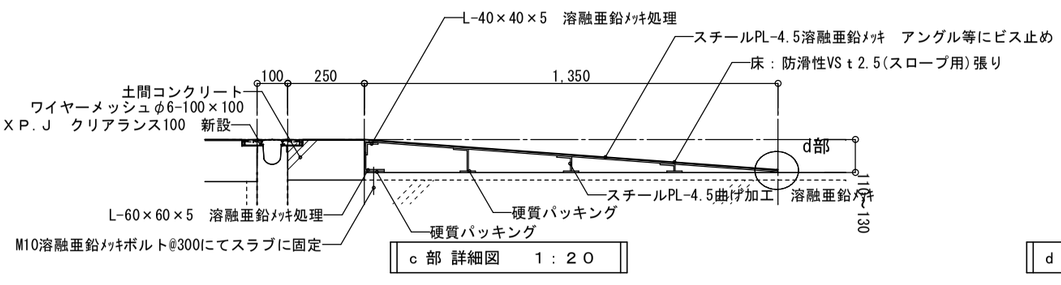
既存Ｂ－Ｂ矩計図　１：６０



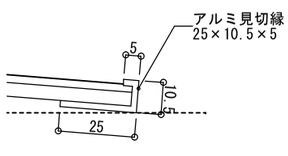
改修Ｂ－Ｂ矩計図　１：６０



改修Ｂ－Ｂ矩計図　１：６０



ｃ部 詳細図　１：２０



ｄ部 詳細図　１：２

株式会社　武元順壱アトリエサンク
一級建築士　第　231917　号
武元　順一

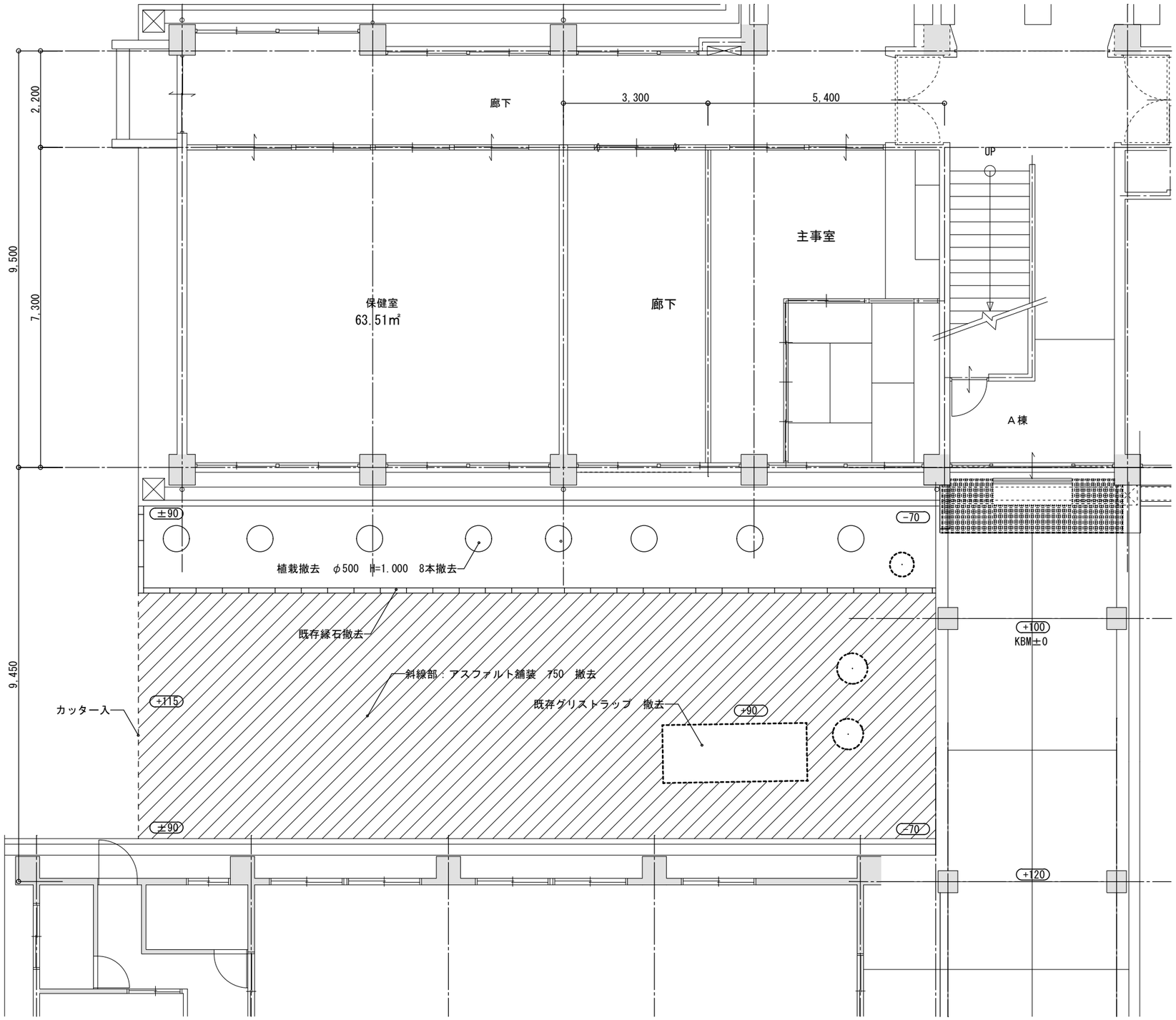
坂元中学校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事

B－B矩計図

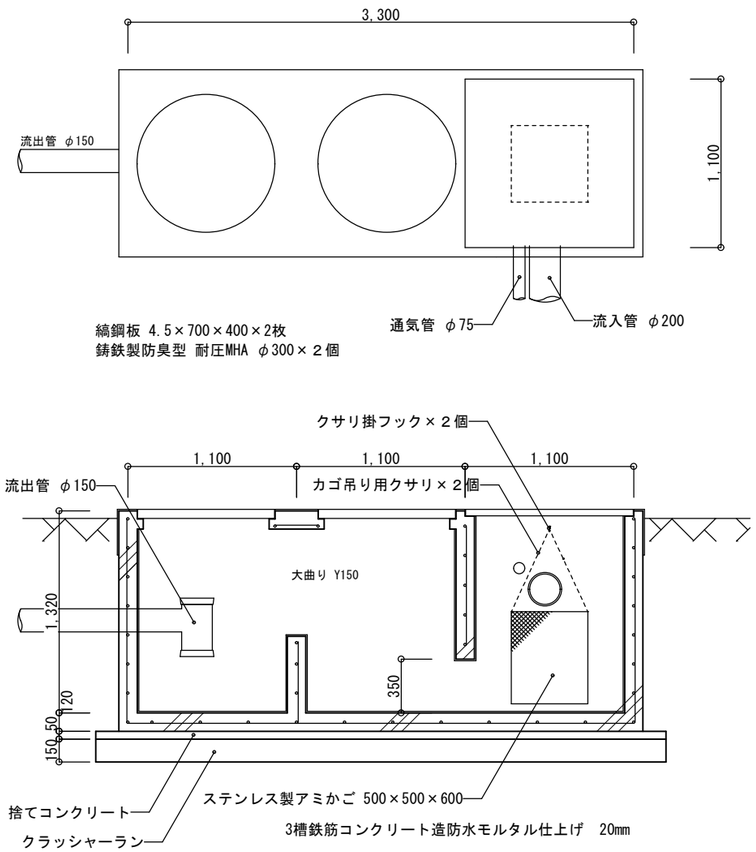
鹿児島市建設局建築部建築課

A1：1/30
A3：1/60

A－125

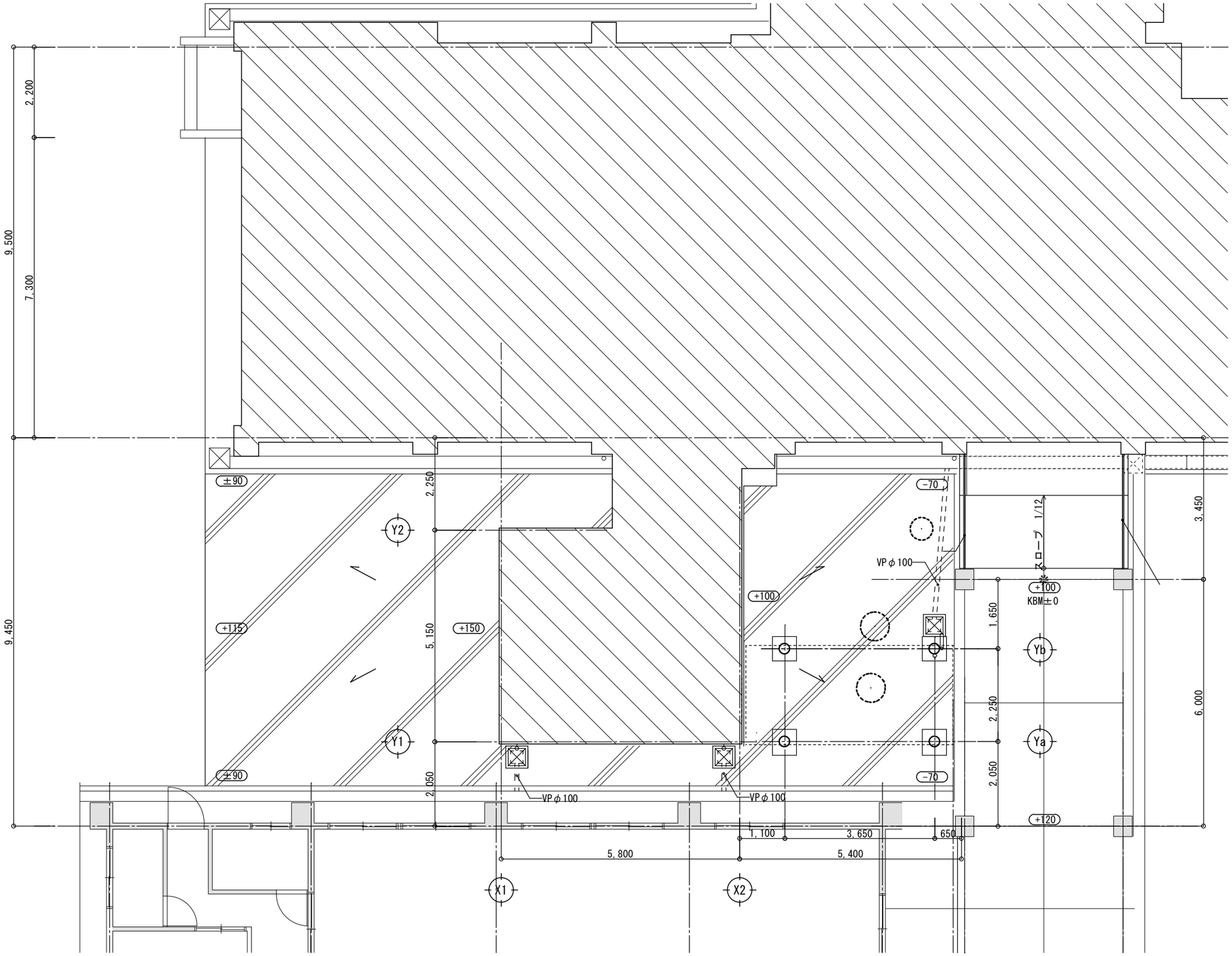


1 階 平 面 図　　S=1/100

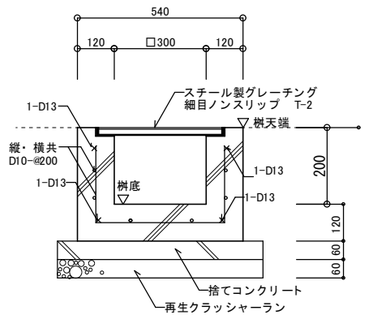


既存グリストラップ 平面詳細図・断面詳細図　1：40

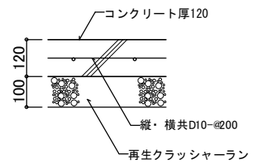
株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事		
	既存外構図	A1：1/20.50 A3：1/40.100	A－１２６
	鹿児島市建設局建築部建築課		

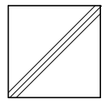


集水枡A 詳細図　1：20



コンクリート 舗装詳細図　1：20





コンクリート舗装
土間厚120

外構図　S=1/100

株式会社　武元順壱アトリエサンク 一級建築士　第 231917　号 武元　順一	坂元中学校校舎２号棟長寿命化改良その他本体工事	
	外構図	A1：1/ 10 50 A3：1/ 20 100
	鹿児島市建設局建築部建築課	Ａ－１２７